

宮城県文化財調査報告書第 111 集

# 田 柄 貝 塚 II

土 製 品 編  
石 器・石 製 品

昭 和 61 年 3 月

宮 城 県 教 育 委 員 会  
建設省東北地方建設局

## 目 次

### 第3章 第2節 土製品と石器・石製品

I.はじめに.....	1
II.土製品.....	2
袖珍土器.....	2
土偶.....	4
土製耳飾り.....	16
円盤状土製品.....	19
土玉.....	28
有溝土錘.....	28
棒状土製品.....	28
スタンプ形土製品.....	28
ウニ形土製品.....	33
動物形土製品.....	36
有孔円柱状土製品.....	36
不明土製品.....	36
III.石器.....	37
石鏃.....	37
尖頭器.....	96
石錐.....	106
石匙.....	124
不定形石器.....	139
打製石斧.....	187
磨製石斧.....	209
磨石類・石皿類.....	229
石棒類.....	279
IV.石製品.....	282
玉類.....	282
ペンドント類.....	282



岩 偶 .....	283
沈刻棒状石製品 .....	283
浮 子 .....	283
円盤状石製品 .....	283
不明石製品 .....	283
石 錘 .....	283
V. まとめ .....	303
土製品 .....	303
石器・石製品 .....	303
 付編：田柄貝塚から出土した石器類の材質について .....	309
付編：遺跡から出土した石器に薄片作製について .....	321

## 挿 図 目 次

第1図 袖珍土器.....	3	第29図 石鏃分類別長さ・幅相関図.....	40
第2図 土偶 (1) .....	5	第30図 石鏃分類別重さ分布図.....	41
第3図 土偶部位図.....	6	第31図 石鏃アスファルト付着タイプ別 模式図.....	43
第4図 土偶 (2) .....	7	第32図 石鏃 (1) .....	45
第5図 土偶 (3) .....	8	第33図 石鏃 (2) .....	46
第6図 土偶 (4) .....	9	第34図 石鏃 (3) .....	47
第7図 土偶 (5) .....	11	第35図 石鏃 (4) .....	48
第8図 土偶部位残存状況図.....	14	第36図 石鏃 (5) .....	49
第9図 土製耳飾り部位各称図.....	16	第37図 石鏃 (6) .....	50
第10図 土製耳飾り分類別径分布図.....	18	第38図 石鏃 (7) .....	51
第11図 土製耳飾り時期別出土数量図.....	18	第39図 石鏃 (8) .....	52
第12図 円盤状土製品時期別出土数量図.....	19	第40図 石鏃 (9) .....	53
第13図 土製耳飾り (1) .....	20	第41図 石鏃 (10) .....	54
第14図 土製耳飾り (2) .....	21	第42図 石鏃 (11) .....	55
第15図 土製耳飾り (3) .....	22	第43図 石鏃 (12) .....	56
第16図 土製耳飾り (4) .....	23	第44図 石鏃 (13) .....	57
第17図 土製耳飾り (5) .....	24	第45図 石鏃 (14) .....	58
第18図 土製耳飾り (6) .....	25	第46図 石鏃 (15) .....	59
第19図 土製耳飾り (7) .....	26	第47図 石鏃 (16) .....	60
第20図 土製耳飾り (8) .....	27	第48図 石鏃 (17) .....	61
第21図 円盤状土製品 (1) .....	29	第49図 石鏃 (18) .....	62
第22図 円盤状土製品 (2) .....	30	第50図 石鏃 (19) .....	63
第23図 円盤状土製品 (3) .....	31	第51図 石鏃 (20) .....	64
第24図 円盤状土製品 (4) .....	32	第52図 石鏃 (21) .....	65
第25図 円盤状土製品 (5) .....	33	第53図 石鏃 (22) .....	66
第26図 土玉・有溝土錐・棒状土製品・ スタンプ形土製品.....	34	第54図 石鏃 (23) .....	67
第27図 ウニ形土製品・動物形土製品・ 有孔円柱状土製品・不明土製品A・B .....	35	第55図 石鏃 (24) .....	68
		第56図 石鏃 (25) .....	69
第28図 石器部位名称・計測基準図.....	38	第57図 石鏃 (26) .....	70

第58図 石鍼 (27) .....	71	第90図 突頭器 (5) .....	103
第59図 石鍼 (28) .....	72	第91図 突頭器 (6) .....	104
第60図 石鍼 (29) .....	73	第92図 突頭器 (7) .....	105
第61図 石鍼 (30) .....	74	第93図 石錐分類別長さ・幅相関図.....	108
第62図 石鍼 (31) .....	75	第94図 石錐分類別使用痕分布図.....	109
第63図 石鍼 (32) .....	76	第95図 石錐アスファルト付着状況.....	110
第64図 石鍼 (33) .....	77	第96図 石錐 (1) .....	111
第65図 石鍼 (34) .....	78	第97図 石錐 (2) .....	112
第66図 石鍼 (35) .....	79	第98図 石錐 (3) .....	113
第67図 石鍼 (36) .....	80	第99図 石錐 (4) .....	114
第68図 石鍼 (37) .....	81	第100図 石錐 (5) .....	115
第69図 石鍼 (38) .....	82	第101図 石錐 (6) .....	116
第70図 石鍼 (39) .....	83	第102図 石錐 (7) .....	117
第71図 石鍼 (40) .....	84	第103図 石錐 (8) .....	118
第72図 石鍼 (41) .....	85	第104図 石錐 (9) .....	119
第73図 石鍼 (42) .....	86	第105図 石錐 (10) .....	120
第74図 石鍼 (43) .....	87	第106図 石錐 (11) .....	121
第75図 石鍼 (44) .....	88	第107図 石錐 (12) .....	122
第76図 石鍼 (45) .....	89	第108図 石錐 (13) .....	123
第77図 石鍼 (46) .....	90	第109図 石匙分類別長さ・幅相関図.....	125
第78図 石鍼 (47) .....	91	第110図 石匙アスファルト付着状況.....	128
第79図 石鍼 (48) .....	92	第111図 石匙 (1) .....	129
第80図 石鍼 (49) .....	93	第112図 石匙 (2) .....	130
第81図 石鍼 (50) .....	94	第113図 石匙 (3) .....	131
第82図 石鍼 (51) .....	95	第114図 石匙 (4) .....	132
第83図 突頭器分類別長さ・幅相関図.....	96	第115図 石匙 (5) .....	133
第84図 突頭器分類別厚さ分布表.....	97	第116図 石匙 (6) .....	134
第85図 突頭器分類別重さ分布表.....	98	第117図 石匙 (7) .....	135
第86図 突頭器 (1) .....	99	第118図 石匙 (8) .....	136
第87図 突頭器 (2) .....	100	第119図 石匙 (9) .....	137
第88図 突頭器 (3) .....	101	第120図 石匙 (10) .....	138
第89図 突頭器 (4) .....	102	第121図 鹿中足骨加工痕と第V類.....	144

第122図 加工痕と工具の関係概念図	144	第152図 不定形石器 (30)	174
第123図 不定形石器 (1)	145	第153図 不定形石器 (31)	175
第124図 不定形石器 (2)	146	第154図 不定形石器 (32)	176
第125図 不定形石器 (3)	147	第155図 不定形石器 (33)	177
第126図 不定形石器 (4)	148	第156図 不定形石器 (34)	178
第127図 不定形石器 (5)	149	第157図 不定形石器 (35)	179
第128図 不定形石器 (6)	150	第158図 不定形石器 (36)	180
第129図 不定形石器 (7)	151	第159図 不定形石器 (37)	181
第130図 不定形石器 (8)	152	第160図 不定形石器 (38)	182
第131図 不定形石器 (9)	153	第161図 不定形石器 (39)	183
第132図 不定形石器 (10)	154	第162図 不定形石器 (40)	184
第133図 不定形石器 (ビエス・エスキューを 含む) (11)	155	第163図 不定形石器 (41)	185
第134図 不定形石器 (ビエス・エスキュー・ 石核を含む) (12)	156	第164図 不定形石器 (42)	186
第135図 不定形石器 (13)	157	第165図 打製石斧第I類長さ・幅相関図	190
第136図 不定形石器 (14)	158	第166図 打製石斧第II～V類長さ・幅相関図	190
第137図 不定形石器 (15)	159	第167図 打製石斧第III類着柄復元図	192
第138図 不定形石器 (16)	160	第168図 打製石斧 (1)	193
第139図 不定形石器 (17)	161	第169図 打製石斧 (2)	194
第140図 不定形石器 (18)	162	第170図 打製石斧 (3)	195
第141図 不定形石器 (石核) (19)	163	第171図 打製石斧 (4)	196
第142図 不定形石器 (20)	164	第172図 打製石斧 (5)	197
第143図 不定形石器 (21)	165	第173図 打製石斧 (6)	198
第144図 不定形石器 (22)	166	第174図 打製石斧 (7)	199
第145図 不定形石器 (23)	167	第175図 打製石斧 (8)	200
第146図 不定形石器 (24)	168	第176図 打製石斧 (9)	201
第147図 不定形石器 (25)	169	第177図 打製石斧 (10)	202
第148図 不定形石器 (26)	170	第178図 打製石斧 (11)	203
第149図 不定形石器 (27)	171	第179図 打製石斧 (12)	204
第150図 不定形石器 (28)	172	第180図 打製石斧 (13)	205
第151図 不定形石器 (29)	173	第181図 打製石斧 (14)	206
		第182図 打製石斧 (15)	207
		第183図 打製石斧 (16)	208

第184図 磨製石斧第I・II類の形態	209	第216図 磨製類・石皿類(15)	250
第185図 磨製石斧の破損類型	212	第217図 磨製類・石皿類(16)	251
第186図 磨製石斧の着柄	213	第218図 磨製類・石皿類(17)	252
第187図 磨製石斧(1)	215	第219図 磨製類・石皿類(18)	253
第188図 磨製石斧(2)	216	第220図 磨製類・石皿類(19)	254
第189図 磨製石斧(3)	217	第221図 磨製類・石皿類(20)	255
第190図 磨製石斧(4)	218	第222図 磨製類・石皿類(21)	256
第191図 磨製石斧(5)	219	第223図 磨製類・石皿類(22)	257
第192図 磨製石斧(6)	220	第224図 磨製類・石皿類(23)	258
第193図 磨製石斧(7)	221	第225図 磨製類・石皿類(24)	259
第194図 磨製石斧(8)	222	第226図 磨製類・石皿類(25)	260
第195図 磨製石斧(9)	223	第227図 磨製類・石皿類(26)	261
第196図 磨製石斧(10)	224	第228図 磨製類・石皿類(27)	262
第197図 磨製石斧(11)	225	第229図 磨製類・石皿類(28)	263
第198図 磨製石斧(12)	226	第230図 磨製類・石皿類(29)	264
第199図 磨製石斧(13)	227	第231図 磨製類・石皿類(30)	265
第200図 磨製石斧(14)	228	第232図 磨製類・石皿類(31)	266
第201図 磨製類・石皿類長さ・幅相関図	233	第233図 磨製類・石皿類(32)	267
第202図 磨製類・石皿類(1)	236	第234図 磨製類・石皿類(33)	268
第203図 磨製類・石皿類(2)	237	第235図 磨製類・石皿類(34)	269
第204図 磨製類・石皿類(3)	238	第236図 磨製類・石皿類(35)	270
第205図 磨製類・石皿類(4)	239	第237図 磨製類・石皿類(36)	271
第206図 磨製類・石皿類(5)	240	第238図 磨製類・石皿類(37)	272
第207図 磨製類・石皿類(6)	241	第239図 磨製類・石皿類(38)	273
第208図 磨製類・石皿類(7)	242	第240図 磨製類・石皿類(39)	274
第209図 磨製類・石皿類(8)	243	第241図 磨製類・石皿類(40)	275
第210図 磨製類・石皿類(9)	244	第242図 磨製類・石皿類(41)	276
第211図 磨製類・石皿類(10)	245	第243図 磨製類・石皿類(42)	277
第212図 磨製類・石皿類(11)	246	第244図 磨製類・石皿類(43)	278
第213図 磨製類・石皿類(12)	247	第245図 石棒類(1)	284
第214図 磨製類・石皿類(13)	248	第246図 石棒類(2)	285
第215図 磨製類・石皿類(14)	249	第247図 石棒類(3)	286

第248図	石棒類(4) .....	287	第256図	石棒類(12) .....	295
第249図	石棒類(5) .....	288	第257図	石棒類(13) .....	296
第250図	石棒類(6) .....	289	第258図	石棒類(14) .....	297
第251図	石棒類(7) .....	290	第259図	石棒類(15) .....	298
第252図	石棒類(8) .....	291	第260図	石棒類(16) .....	299
第253図	石棒類(9) .....	292	第261図	玉類・ベンダント類 .....	300
第254図	石棒類(10) .....	293	第262図	岩偶・沈刻棒状石製品・浮子 ..	301
第255図	石棒類(11) .....	294	第263図	浮子・石錐・その他の石製品 ..	302

## 挿表目次

第1表	土製品・石器・石製品時期区分表 ..	1
第2表	袖珍土器観察表 ..	4
第3表	土偶時期出土数量表 ..	13
第4表	土製耳飾り時期別出土数量表 ..	18
第5表	円盤状土製品時期別出土数量表 ..	28
第6表	石鎚時期別・分類別出土数量表 ..	39
第7表	石鎚時期別・石材別出土数量表 ..	42
第8表	無茎鐵分類別・石材別出土数量表 ..	42
第9表	有茎鐵分類別・石材別出土数量表 ..	42
第10表	アスファルト付着石鐵・タイプ別 時期別出土数量表 ..	44
第11表	石鎚の射込まれた動物遺存体観察 表 ..	44
第12表	尖頭器時期別・分類別出土数量表 ..	97
第13表	尖頭器時期別・石材別出土数量表 ..	98
第14表	尖頭器分類別・石材別出土数量表 ..	106
第15表	石錐時期別・分類別出土数量表 ..	107
第16表	石錐時期別・石材別出土数量表 ..	108
第17表	石錐分類別・石材別出土数量表 ..	108
第18表	石錐分類別欠損率表 ..	109
第19表	石是時期別・分類別出土数量表 ..	124

第21表	石匙分類別・石材別出土数量表 ..	125
第22表	石匙素材表 ..	126
第23表	石匙つまみ部と打面部相関表 ..	126
第24表	不定形石器時期別・分類別出土 土数量表 ..	140
第25表	不定形石器時期別・石材別出土 数量表 ..	141
第26表	不定形石器別・石材別出土数量 表 ..	141
第27表	打製石斧時期別・分類別出土数量表 ..	189
第28表	打製石斧時期別・石材別出土数量表 ..	189
第29表	磨製石斧分類別・石材別出土数量表 ..	209
第30表	磨石類・石皿類時期別・分類別 出土数表 ..	231
第31表	磨石類・石皿類時期別・分類=形 態出土数量表 ..	231
第32表	磨石類・石皿類石材別・ 分類別出土数量表 ..	232
第33表	石棒類分類別・石材別出土数量表 ..	280
第34表	石器組成表 ..	304

## 写 真 図 版 目 次

図版1 袖珍土器・土偶1.....	325	図版28 石匙4.....	352
図版2 土偶2.....	326	図版29 不定形石器1.....	353
図版3 土偶3.....	327	図版30 不定形石器2.....	354
図版4 土偶4.....	328	図版31 不定形石器3.....	355
図版5 土製耳飾り1.....	329	図版32 不定形石器4.....	356
図版6 土製耳飾り2.....	330	図版33 不定形石器5.....	357
図版7 円盤状土製品1.....	331	図版34 不定形石器6.....	358
図版8 円盤状土製品2.....	332	図版35 不定形石器7.....	359
図版9 土玉・有溝土錐・棒状土製品・ スタンプ形土製品.....	333	図版36 不定形石器8.....	360
図版10 ウニ形土製品・動物形土製品・ 有孔円柱土製品・不明土製品A・B ..	334	図版37 不定形石器9.....	361
図版11 石鎌1.....	335	図版38 不定形石器10.....	362
図版12 石鎌2.....	336	図版39 不定形石器11.....	363
図版13 石鎌3.....	337	図版40 不定形石器12・打製石斧1 ..	364
図版14 石鎌4.....	338	図版41 打製石斧2.....	365
図版15 石鎌5.....	339	図版42 打製石斧3.....	366
図版16 石鎌6.....	340	図版43 打製石斧4.....	367
図版17 石鎌7.....	341	図版44 打製石斧5.....	368
図版18 石鎌8.....	342	図版45 打製石斧6.....	369
図版19 石鎌9.....	343	図版46 磨製石斧1.....	370
図版20 石鎌10・尖頭器1 .....	344	図版47 磨製石斧2.....	371
図版21 尖頭器2.....	345	図版48 磨製石斧3.....	372
図版22 尖頭器3・石錐1 .....	346	図版49 磨製石斧4・磨製類・石皿類1 ..	373
図版23 石錐2.....	347	図版50 磨石類・石皿類2.....	374
図版24 石錐3.....	348	図版51 磨石類・石皿類3.....	375
図版25 石錐4・石匙1 .....	349	図版52 磨石類・石皿類4 .....	376
図版26 石匙2.....	350	図版53 磨石類・石皿類5 .....	377
図版27 石匙3.....	351	図版54 磨石類・石皿類6 .....	378
		図版55 磨石類・石皿類7 .....	379
		図版56 磨石類・石皿類8 .....	380
		図版57 磨石類・石皿類9 .....	381

図版58 磨石類・石皿類10 .....	382	図版67 岩偶・浮子・その他の石製品..	391
図版59 磨石類・石皿類11 .....	383	図版68 石鎌の射込まれた痕跡のある	
図版60 磨石類・石皿類12 .....	384	動物遺存体.....	392
図版61 磨石類・石皿類13・石棒類1 ...	385	図版69 石鎌の射込まれた痕跡のある	
図版62 石棒類2.....	386	動物遺存体.....	393
図版63 石棒類3.....	387	図版70 石鎌の射込まれた痕跡のある	
図版64 石棒類4.....	388	動物遺存体.....	394
図版65 石棒類5 .....	399	図版71 石器の使用痕.....	395
図版66 石棒類6・玉類・ペンダント類 ..	390		

土製品と石器・石製品

## I. はじめに

第2分冊では土製品(592点)と石器(2541点)・石製品(36点)を扱う。これらは、CL39～CM41区の南側遺物包含層から出土したものが中心である。住居跡・土塙墓等に伴うものについては第1分冊で扱っている。

遺物は、発掘調査時に採集したものと堆積土をふるいにかけて発見したもの、とがある。貝層下の土層(第II・III相当)のものは水洗を行っていないため、また、表土下の第IX期に相当する層は、後世の搅乱や削平が及んでおり、これらの層出土のものにいてはデータとして制約がある。これらのこと考慮し、時期ごとの数量的比較を行なうに当たっては貝層形成後の第IV期～第VIII期までの時期を主に検討の対象とした。

分類に当たっては、器種ごとに分け細分を試みている。時期については、共伴する土器をもとに区分(第1表参照)した。

石器と関連する遺物には、多くのチップや剥片が出土している。このうち、チップについては各区・各層ごとに41当たりの重量を計測し、第3分冊で示してある。

以下、土製品、石器、石製品の順に記することにする。

大 地 带 位	土 质 部 位	土 质 表 式	地 带	土壤名・特征・泥炭地帯区分
底土・中層	樹木下土壤	大糞式	帶Ⅳ中部	
底土(中層以下)	樹木下土壤	大糞式BC-C1	鐵道附近・中帶	帶Ⅲ带
底土(上層灰化土)	樹木下土壤	大糞式	鐵道附近	帶Ⅲ带
底土(上層小草)	樹木下土壤	大糞式	鐵道附近	帶Ⅲ带
底土(中層灰化土)	樹木下土壤	大糞式	鐵道附近深處	帶Ⅲ带
底土(中層灰化土)	森林土	森林土	帶Ⅳ南部	
底土(中層灰化土)	樹木下土壤	森林土	鐵道附近深處	帶Ⅲ带
樹木地(下層灰化土)	樹木下土壤	森林土	鐵道附近	帶Ⅲ带
樹木地(中層以下)	樹木下土壤	森林土	鐵道附近	帶Ⅲ带
樹木地(中層以下)	樹木下土壤	森林土(春耕日目付4.6日)	鐵道附近中帶	帶Ⅲ带
樹木地(中層以下)	樹木下土壤	大糞式B-9-10 例題	鐵道附近中帶～鐵道附近	帶Ⅲ带
樹木地(上)與灌木下土壤	樹木下土壤	山地土壤・紫泥土・流入人丁原・大糞式・大糞式・大糞式	鐵道附近中帶	帶Ⅲ带
樹木地(上)與灌木下土壤	樹木下土壤	山地土壤・紫泥土・流入人丁原・大糞式・大糞式・大糞式	鐵道附近中帶	帶Ⅲ带

#### 第1表 主要品种·石墨·石墨品种与用途分类表

## II. 土 製 品

田柄貝塚で出土した土製品には袖珍土器19点、土偶52点、土製耳飾り239点、円盤状土製品262点、土玉8点、有溝土鍤2点、棒状土製品1点、スタンプ形土製品4点、ウニ形土製品1点、動物形土製品1点、有孔円柱状土製品1点、不明土製品2点才害あり計592点におよぶ。特に土製耳飾りの多いことが注目される。以下、種類ごとに説明したい。

### **a 袖珍土器** (第1図・図版1)

深鉢形、鉢形、皿形、壺形、注口付、脚形がある。以下、個別に説明を加える。

#### **a 深鉢形** (第1図1~4)

1・2は屈曲の少ない単純な器形である。1は、口縁部に4単位でU字状に隆帯が貼り付けられ、長梢円形の影去が施される。地文は縄文(R L)である。2は無文である。3・4は、口縁部を欠損するが、胴上部でくびれる器形のものと思われる。3は、胴中央部以上に文様が配される。胴中央部には頂部に二分された突起が貼り付き、この間を沈線で連結し、下位にも横位沈線がめぐる。文様帶中には櫛歯状沈線が施され、胴下部は無文である。4は、胴上部が内窓気味にくる。底部はくぼみ、揚げ底風になっている。胴中央部に4個の突起がつき、沈線による弧状の文様が描かれており、櫛歯状沈線が施される。

#### **b 鉢形** (第1図5~10)

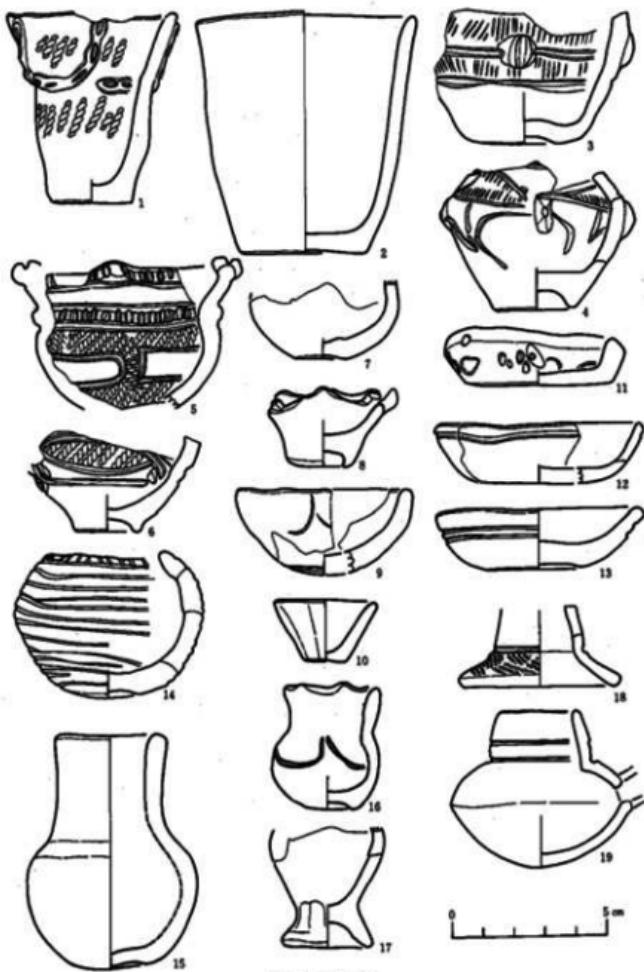
5は、胴部がふくらみをもって立ち上がり、上部でくびれ、口縁部が外傾する器形である。口唇部には、4単位の小突起がつく。口縁端部、くびれ部に横位沈線がめぐり、刻目が施され頭部は無文である。胴部には区画沈線による磨消曲線文様が配される。6は胴下部から底部の資料である。5同様に胴上部でくびれる器形のものと思われ、深鉢形の可能性もある。底部は揚げ底風で胴部に入組文が配され、縄文が充填される。7は、底部がわざかにくぼみ、胴部ふくらみをもって立ち上がり、上部でくびれるものと思われる。無文である。8は、口縁部が3単位の波状を呈し、波底部に山形の小突起がつく。胴部は直線的に外傾し、底部は揚げ底である。9は底部が丸底風で、胴部はふくらみをもって立ち上がる。胴下部に横位沈線がめぐり、上部には沈線文が描かれている。10は壺形のもので無文である。

#### **c 皿形** (第1図11~13)

11は胴部が直立気味に、12・13では丸味をもって立ち上がる。11は胴部に浅い刺突、半円状の弧線、指頭によるオサエ痕を残す。12・13は口縁部にそれぞれ1・2本の沈線がめぐるだけの無文のものである。

#### **d 壺形** (第1図14~17)

14は無頭のもので、底部がわざかにくぼみ、胴部がふくらみ、胴上部から口縁部にかけて内窓する。口縁部には縦位の刻目が施され、胴部には平行沈線がほぼ等間隔で下位まで施される。



第1図 神珍土器

番号	地名・層位	時 期	部類番号	部類番号	番号	地名・層位	時 期	部類番号	部類番号
1	CL 47-30	Ⅲ	256	1-1	12	C M40-36	Ⅳ	266	1-10
2	C M40-12	Ⅲ	267	1-2	13	C L40-3	Ⅳ(?)	267	1-11
3	C M40-12	Ⅲ	268	1-2	14	C L40-1-2	Ⅳ(?)	268	1-12
4	C M40-8	Ⅲ	269	1-4	15	C L40-1-2	Ⅳ	269	1-13
5	C M40-25	Ⅲ	270	1-5	16	C L40-25	Ⅲ	270	1-14
6	C L40-14	Ⅲ(?)	271	1-6	17	C M40-25	Ⅲ-Ⅳ	271	1-15
7	C M40-25	Ⅲ	272	1-7	18	C M40-25	Ⅳ	272	1-16
8	C M40-25	Ⅲ-Ⅳ	273	1-8	19	C M40-18	Ⅳ	273	1-17
9	C M40-19	Ⅳ	274	1-9	20	C L47-36	Ⅳ	274	1-18
10	C L30-32	Ⅲ-Ⅳ	275	1-13					

第2表 袖珍土器観察表

15・16は長頸のものである。15は平口縁、16は波状口縁でともに底部は揚げ底風である。15は無文であるが、16は胴上部に連弧文が配される。17はワイングラス状を呈する。底部から台部にかけて指頭による調整痕を残す。

#### e 注口形 (第1図18)

口頭部が内傾し、胴部はソロバン玉状を呈し、底部は丸底風となる。頭部に2本の沈線がめぐる。

#### f 脚形 (第1図19)

裾部が開くものである。脚部は無文で下位に沈線がめぐり、沈線下の裾部には縦文が施さられる。

以上、出土した19点についての、出土地区、層位は第2表に示す通りである。所属時期については、出土層位で共存した土器の年代を基に、文様の種類(袖珍土器に描かれる文様は、当該時期の日常品である土器の文様をそのまま採用するものが多い)などによって決定した。時期的には、後期前葉(II期)から晩期初頭(第VIII期)まであり、後期中葉(III期)頃のものが僅かに多い程度である。

### 土 偶 (第2~8図、図版1~4)

土偶の総数は52点である。全て破片で、全体を窺い知る資料は1点のみである。全体の2分の1以下の小さな破片が多い。これらは、土器片や他の遺物などと一緒に貝塚の堆積層からバラバラに発見されたもので、遺構の中とか特殊な状態で出土したものではない。破片が小さい上に、形態・文様にはばらつきがあり、類型化して分類するのは困難であった。そこで、分類については、頭部・胴・腕・脚の部位ごとに形態・文様の特徴をあげ、これを基本に各部位の集まっている比較的大形の破片を利用して、各部位のつながりをはかり、全体像の類型化を試みたい。

なお、観察表の土偶の部位については、岩手県大迫町教育委員会の『立石遺跡』(1979.3)の



番号	種類・部位	形態	分類	質地	寸法	表面	内部	YAPAS	目	主な特徴	参考文献	年	出典
1	CLM-32(土器)	輪	輪底	G				1.5			佐々木正義	200	1-20
2	CLM-39	平底	輪底	G						輪底の内側に斜め溝	006	1-20	
3	CMH-25	V	輪底	G	φ 100	斜め溝	圓窓		○	輪底の内側に斜め溝、輪底に圓窓	024	1-20	
4	CMH-3	平底	輪底	G						輪底の内側に斜め溝、輪底に圓窓	042	1-20	
5	CMH-34	V	輪底	G						輪底の内側に斜め溝、輪底に圓窓	064	2-1	
6	CLM-34C	輪	輪底	G						輪底の内側に斜め溝、輪底に圓窓	087	2-2	
7	ASH-1	平底	輪底	G						輪底の内側に斜め溝、輪底に圓窓	04	2-2	

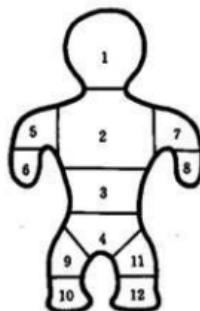
第2図 土 壁(1)

ものを利用させて頂いた（第3図）。

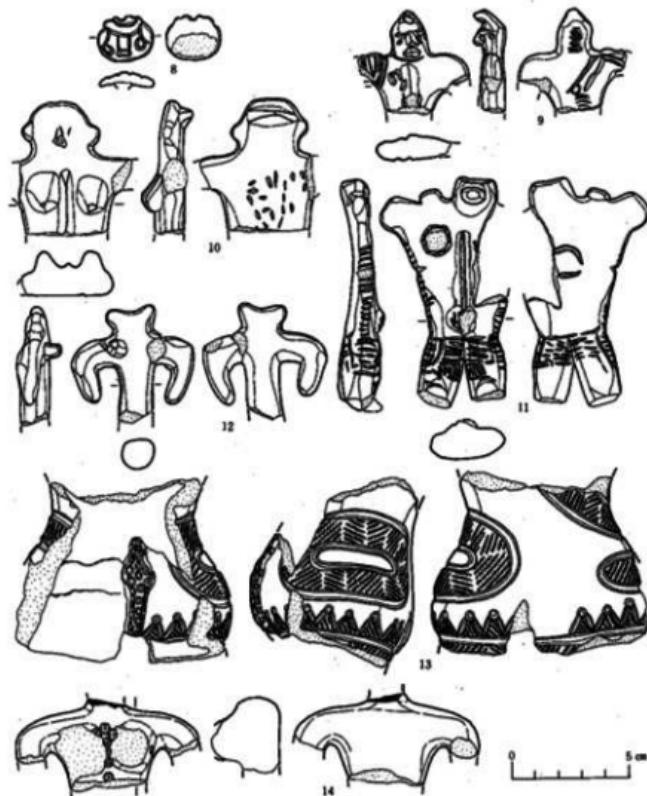
### 分類

**頭 部** 12点のうち、中空のものが2点あるが、他のものは内部が充実したものである。全て個別的にしか分類できまい。

- A. 中空の大形品。眼を大きく表現したいわゆる遮光器土偶である。（1）
  - B. 中空の中形品。瞼・唇を楕円の細縦帶で表現。口は穴があり、内部に通じる。（2）
  - C. 中形品。丸顔で竹管文が特徴的。頭部の頂きに凹みがみられる。（3）
  - D. 中形品。丸顔で右の眉の上と両眼の下の沈線歛特徴的。（4）
  - E. 中形品。顔の半分以下しかなく、特徴をとらえにくいものを一括した。（5・6・7）
  - F. 小形品。顔の表情を沈線で象徴的に表現。（8）
  - G. 小形品。出頭部の頂きが三角形に尖り、前に折れる。眉と鼻を隆線で、眼と口を窪みで表現。（9）
  - H. 小形品。偏平な頭部。顔のうち耳と口だけを表現。（10）
  - I. 小形品。小さな頭部で、顔全体を囲ませ細部は表現しない。（11）
  - J. 小形品。頭部の頂きが窪み、その左右がやや上方にのびるもの。顔は平坦で、細部は表現されない。（12）
- 胴 部** 18点ある。うち頭部と連続しているものは5点しかない。中空のものは1点で、他のものは内部が充実しているものである。胴（部位の2・3・4）が揃っているものは、僅か3点である。半分以上の大きさをもつもの（部位の2・3あるいは3・4をもつもの）は6点、半分以下のもの8点である。中空のもの以外は、特徴がよくあらわれていると思われる正中線の形態を基準に分類してみた。なお、胸（部位の2）にはすべて乳房があるが、突起によるものが多く、沈線で表現されるものは1点しかない（19）。正中線の有無を知ることのできないもの4点（22・23・24・25）分類の対象に入れていない。
- A. 中空の大形品。曲線的を磨消縞文をもつ。正中線は隆帶で下腹部の突起の下まで続く。この正中線・突起は竹管文で飾られる。（13）
  - B. 中形品が多い。装飾的な正中線をもつもので、丁寧な作りのものが多い。細分すると次のようになる。
    - B1. 隆帶に竹管文が加わるもの。（3）
    - B2. 竹管文によるもの。（14）

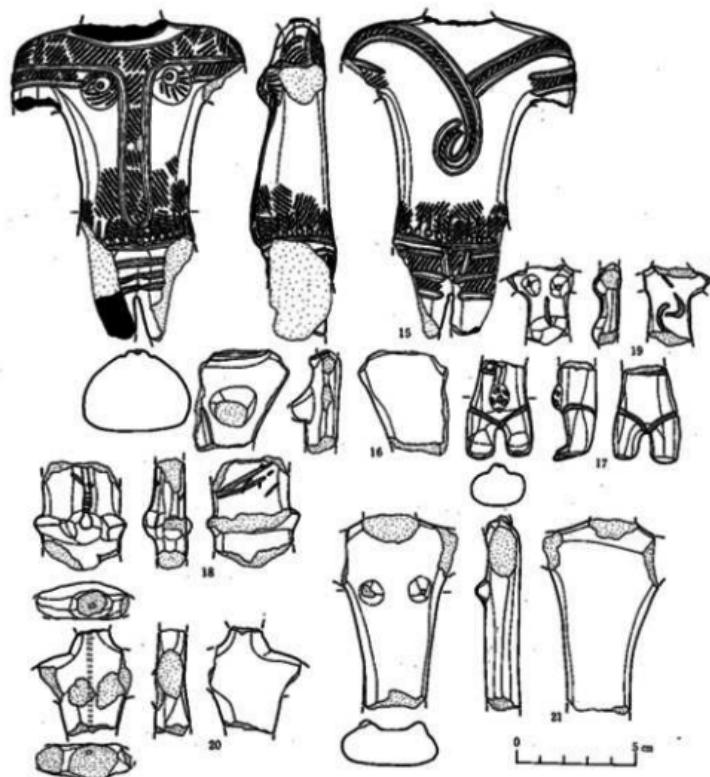


第3図 土偶部位図



番号	種類	骨格部																	
8	CL46-II	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨
9	CL46-13	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨
10	CKB-IIa	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨
11	CL46-V	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨
12	CKB-IIb	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨
13	CKB-IIc	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨
14	CM46-B	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨	骨

第4図 土偶(2)



番号	地質・層位	種類	分類	器形	施文	テクスチャ	彩色	正中縫	下部縫	孔	縁	器	器	器
15	CL40-27(3)	石	圓筒形	直筒	○	無	無	無	無	○	無	無	無	無
16	CL41-31	石	圓筒形	直筒	○	無	無	無	無	○	無	無	無	無
17	CL39-20	石	圓筒形	直筒	○	無	無	無	無	○	無	無	無	無
18	CL39-4	石	圓筒形	直筒	○	無	無	無	無	○	無	無	無	無
19	CL39-24	石	圓筒形	直筒	○	無	無	無	無	○	無	無	無	無
20	CL39-21	石	圓筒形	直筒	○	無	無	無	無	○	無	無	無	無
21	CL40-7b	石	圓筒形	直筒	○	無	無	無	無	○	無	無	無	無

第5図 土偶(3)



番号	地質・岩相	母岩	沙	母岩	沙	母岩	沙	母岩	沙	母岩	沙	母岩	沙	母岩	沙	母岩	沙	母岩	沙	母岩	沙	母岩	沙	
25	C140-25	Y	砂岩B.1			○○○																		
25	C140-25	Y	砂岩A.9			○○○	L.R.	○○○		T	小砂粒													
25	C140-25	Y	砂岩			○○○		○○○		○○○	丸粒													
25	C140-25	Y	砂岩			○○○		○○○		○○○	丸粒													
25	C140-25	Y	砂岩			○○○		○○○		○○○	丸粒													
26	C140-25	Y	砂岩A.9			○○○		○○○		○○○	丸粒													
27	CQd-1	中砂	砂岩A.5			○○○		○○○		○○○	丸粒													
28	C140-33	中砂	砂岩A.5			○○○		○○○		○○○	丸粒													
29	C140-33	中砂	砂岩A.5			○○○		○○○		○○○	丸粒													
30	C140-33	中砂	砂岩A.5			○○○		○○○		○○○	丸粒													
30	C140-33(?)	Y	砂岩A.5			○○○		○○○		○○○	丸粒													
31	C140-11	中砂	砂岩A.5			○○○		○○○		○○○	丸粒													
32	C140-12-23	中砂	砂岩A.5			○○○		○○○		○○○	丸粒													
33	C140-8	中砂	砂岩A.5			○○○		○○○		○○○	丸粒													
34	C140-15	Y	砂岩D.1			○○○		○○○		○○○	丸粒													
35	C140-25	Y	砂岩D.1			○○○		○○○		○○○	丸粒													
36	C140-25	Y	砂岩D.1			○○○		○○○		○○○	丸粒													
37	C140-12	中砂	砂岩D.1			○○○		○○○		○○○	丸粒													
38	C140-13	中砂	砂岩D.1			○○○		○○○		○○○	丸粒													

第6図 土 側(4)

- B3. 沈線に狭まれた区画縄文によるもの。(15)
- C. 小移品が多い。単なる隆帯による正中線をもつもの。(9・10・16・17・18)
- D. 小形品。隆帯に沈線が加わるもの。(11)
- E. 小形品。単なる沈線による正中線をもつもの。(19)
- F. 小形～中形品。正中線がないもの。(12・20・21)
- 腕 部** 23点ある。上腕から手まであるものは10点で、このうち胸部と連続しているものは4点である。文様・形態・手首の表現などで分類を試みる。
- A. 文様をもつもの中細分すると次のようにある。
- A0. 竹管支・沈線文・磨消縄文などの文様があるが、手首がかけているもの(9・15・26・27・28)
- A1. 竹管文をもち、手首の表現ない。(29)
- A2. 利点文をもち、手首の表現ない。(30)
- B. 無文のもの。細分すると次のようにある。
- B0. 文様がみられず、手首が欠けているもの。(31・32・33)
- B1. 手首を凹みで表現(3・22・34・35)
- B2. 手首の表現ない(12・36・37・38・39・40・41・42)
- B3. 腕が短く、手首の表現がない(11)
- 脚 部** 14点ある。股から足先まであるのは9点で、このうち胸部と連続しているものは2点である。文様・形態・足首の表現などで分類を試みる。
- A. 文様をもつもの。
- A0. 磨消縄文・隆帯縄文をもつが、足先が欠けている。(15・23)
- A1. 磨消縄文的な文様をもつもの、足の指を表現。(43)
- A2. 沈線文をもち、足首を凹みで表現。(11・44)
- A3. 沈線文をもち、足の指まで表現。(44)
- A4. 縄文があり、足首を凹みで表現。(40)
- B. 無文のもの。
- B1. 足首を表現(17・47・48・49・50)
- B2. 足の指を表現。(51)
- B3. 足首を膨らみで表現。(52)
- 次に、各部位の集まっている比較的大形の破片を利用して、以上で分類した各部位の繋がりをはかってみるが、大形破片が少ないため全体を類型化した分類は困難で、小破片の部位は類型化した分類からはずれるものが多かった。



番号	地質・層位	形態	分類	器	内面	外面	大きさ	下限	上限	状況	備考
39	CIM-18	平底	筒形B2	39						縦溝なし。斜め溝無れ。	430
40	CL57-3-14	V	筒形B2	40						斜め溝なし。	430
41	CIM-9	平底	筒形B2	41						斜め溝なし。やや内側溝有り。	397
42	CIM-9	平底	筒形B2	42						斜め溝なし。少し内側。	395
43	CL40-36	V	筒形A1	43						斜め溝なし。縦溝有り。	340
44	CIM-933	平底	筒形A2	44						斜め溝なし。縦溝有り。	430
45	CIM-12	V	筒形A3	45						斜め溝なし。縦溝有り。	310
46	CIM-3	平底	筒形A4	46						縦の溝有り。文様なし。	400
47	CL40-33	V	筒形B1	47						縦の溝有り。縦い文様。	370
48	CL40-25	V	筒形B1	48						縦の溝有り。縦い文様。	350
49	CIM-44	V	筒形B1	49						縦溝なし。下限削痕有り。	340
50	CL40-31	V	筒形B1	50						文様なし。	340
51	CL40-36	V	筒形B2	51						縦溝なし。文様有り。	350
52	CLM-25	V	筒形B2	52						縦溝なし。文様有り。	400

第7図 土 僕(3)

比較的大形の破片を利用した各部位の繋がりは次の通りである。

① 頭A ——— 胴A (1・13)

中空の大形品といわゆる遮光器土偶である。頭と胴は直接接合はしないが、大きさ・形態・文様からみて同一個体と考えた。

② 頭C ——— 胴B1 ——— 腕B1 (3)

胴B2 ——— 腕B0 (14)

胴B3 ——— 腕A0 ——— 脚A0 (15)

飾られた正中線をもつ胸部Bを媒介にしてまとめてみた。表現のはっきりした厚みのある頭部で、体部には飾られた正中線をもつものである。正中線以外の部分が無文であっても、研磨され丁寧に作られている。3の腕部からみて、脚部B1のうち丁寧な作りのものは、この仲間に含まれるであろう。15のように正中線以外に磨消縞文や沈線文などのしっかりした体部文様をもつものからみて、胸部A・脚部Aのうちしっかりした装飾文をもつ破片は、この群に入れてよいであろう。中形の大きさをもつ頭部D(4)・E(5・6・7)もこの仲間とみたい。

③ 頭G ——— 胴C ——— 腕A0 (9)

頭H ——— 胴C (10)

胴C ——— 脚B1 (17)

単なる隆帯で正中線を表現している胴部Cを媒介としてまとめてみた。頭部の作りは余り丁寧でなく偏平である。顔の表現も稚拙で、目鼻を省略しているのもある。胴部も②と比較して偏平で、作りも簡略化されている。9の胴部・肩部からみて、文様のある胸部A・脚部Aのうち簡単な沈線文・列点文をもつもの及び無文で余り研磨されていをいものは、この群に入るのもあろう。

④ 頭I ——— 胴D ——— 腕B3 ——— 脚A2 (11)

顔を凹みで表現し、偏平な体部をもつ。正中線を示す隆帯上に一条の沈線が加わる。短い腕部をもつのは、④に属する 11 以外には見当たらない。胴部の側面や股の周囲に短い沈線を多用した文様がみられる。③と同じく、文様のある胸部A・脚部Aのうち簡単な沈線文・列点文をもつもの及び無文で余り研磨されていをいものは、この群に入るのもあろう。

⑤ 頭J ——— 胴F ——— 腕B2 (12)

顔の表現はなく、のっぺら坊である。細長い棒状の胴部で、正中線もなく、他の文様もない。胸部B2からみて、脚部は文様をもたず足首を表現している脚部B1が最も可能性がある。

以上、5類型にまとめてみたが、この類型に分類することが出来ない破片があることは、すでに述べたとおりである。また、この5類型も、③から⑤までは小形で作りも余り丁寧でないものとしてまとめることが可能であろう。

なお、第2図3の土偶の耳の内部には、径2mm・長さ3mmの輪切りにしたヤカドツノガイが嵌め込まれている。(図版第4図1拡大)

次に年代について考えてみよう。出土層位からみて、後期後半から晩期初頭の土器にともなうものである。個々の土偶の出土層位および共伴の土器型式については、観察表を参考にしてほしい。形態からみても、胸部や脚部がよく表現されており、後期後半のものが多いとみられる。

①は中空のいわゆる遮光器土偶で、文様・頭部の形態からみて、晩期初頭の大洞B式に伴うものである。

②および頭部Bは後期後半のものであろう。後期前半を中心とした宮城県蔵王町二屋敷遺跡の土偶とは異なる特徴を示している。ただし、38は晩期初頭の層から出土している。

③・④・⑤は小形で、作りもあり丁寧でない。丁寧に作られた①や②を補完するために作られたものであろう。形態から時期を特定するのは困難であるが、層位からみて、後期後半から晩期初頭にかけてのものである。

時期	II	III	IV	V	VI	七	八	計	不	総
個数	0	2	2	6	4	5	12	31	21	52
(%)	(0)	(6.5)	(6.5)	(19.0)	(12.5)	(16.1)	(23.1)	(100.0)		

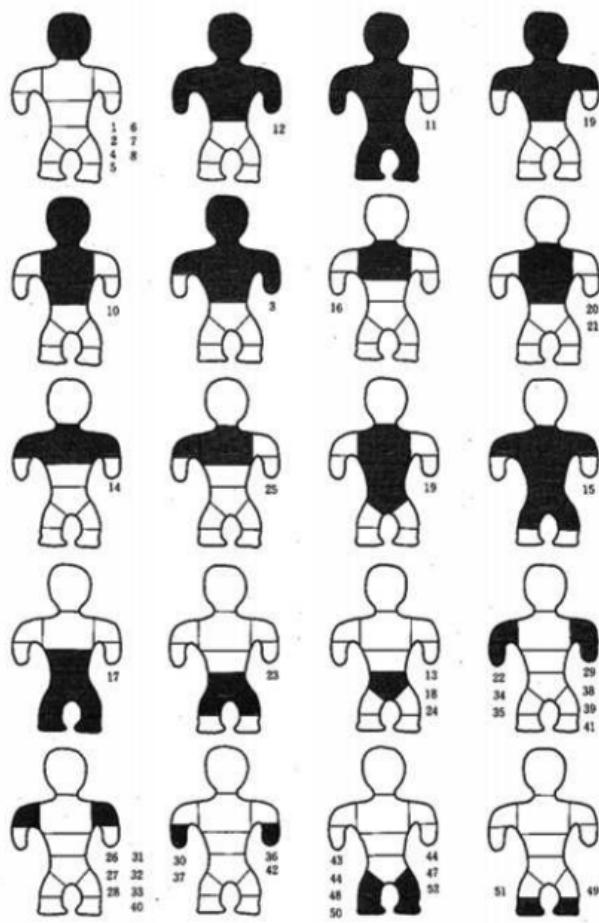
第3表 土偶時期別出土数量表

#### 土偶の部位と出土状況・残存状況

土偶の形態は簡略化された部位をもつものもあるが、基本的にはすべて頭部および四肢をもつものである。土偶の部位については、岩手県大迫町教育委員会の『立石遺跡』(1979.3)の土偶の項を参考にした。

土偶は52個あり、すべて破片である。残存状況は、目で見てわかるように第8図で示した。2ヶ所以上の部位をもつもの、バラバラの部位として数えあげると、各部位の数は次のようになる。腕・脚の部位については、左右不明なものもあるので、左右の平均化した数を( )に示した。

1—頭部	—————	12
2—首から乳房の下まで	—————	12
3—乳房から臍の上まで	—————	10
4—臍の上から股まで	—————	11
5—右肩から右肘まで	11	7



第8图 土偶部位残存状况图

7—左肩から左肘まで	12	27
—5あるいは7 (左右不明)	4	(平均 13.5)
6—右肘から手の先まで	6	
8—左肘から手の先まで	4	15
—6あるいは8 (左右不明)	5	(平均 7.5)
9—股から右膝まで	8	
11—股から左膝まで	6	15
—9あるいは11	1	(平均 7.5)
10—右膝から足先まで	15	
12—右膝から足先まで	5	22
—10あるいは12 (左右不明)	2	(平均 11)

この数値をみると、各部位の数は少ないもので 7.5 個、多いもので 13.5 個である。最多と最もものを除いたものの平均は 11.4 個である。四肢の捉えかたには難しい点があるので、全体としては、各部位の数は、部位によってそれほど偏りがあるとは思えない。部位を頭部(部位の 1)・胸腹部(部位の 2・3・4)・胸部(部位の 5・6・7・8)・脚部(部位の 9・10・11・12)に大別して、各部位の数の平均をしめると、それぞれ 12, 11, 10.5, 9.25 となり、部位による偏りは更に少なくなる。層位・地点を無視したものであるが、廃棄の段階で選択的に部位に応じた捨てられ方があったとは思われない。

土偶はすべて破片として出土した。土器片や他の遺物などと一緒に貝塚の堆積層からバラバラに発見されたもので、遺構の中とか特殊な状態で出土したものはない。したがって、土偶の破片は他の不要な品々と一緒にごく普通に棄てられたものと推定される。

土偶の残存状況は、すでに述べた通りで、すべて破片である。しかも、同一個体に属すると認定できる破片が極めて少ない。まさにバラバラである。しかし、欠損面あるいはその付近を観察しても、特別に壊れやすく工夫してあるとか、故意に叩いて割ったとかの痕跡を見出すことは出来なかった。だが、土偶を手に持って折るとか割るとかすれば、その痕跡は残らないであろう。今回出土した土偶を個別的に観察しても、故意に破損したのか、あるいは偶然破損したものなのかなは判断できないようである。

ここで問題になるのは、土偶の破損面にみられるアスファルトである。これは破損面に見られるところから接着剤であろう。事実、立石遺跡(1979.3)ではアスファルトで接合された状態のまま出土したものがみられる。田柄貝塚では土偶総数 52 点のうちアスファルトの付着するものは 5 点あり、約 1 割を占める。うち 1 点は 3ヶ所の破損部にアスファルトがみられる(第 5 図 15、図版 3 の 1、図版 4 の 2(首部)・3(腕部)・4(脚部)拡大)。アスファルトを接着

剤とみるかぎり、アスファルトの痕跡は破損した土偶を接着によって復元しようとした縄文人の意志の現れである。土偶を個別的に観察しても、故意に破損したのか偶然破損したのか判断するのは、極めて困難であることはすでに述べたが、少なくとも破損したものを再び復元しようとしたことは読み取ることができる。立石遺跡では土偶総数218点のうちアスファルト付着例は32例、全体の15%にあたるという。不確かな状況証拠や縄文農耕説を下敷にした考えに基づいて、土偶を故意に破損したと考えるよりは、「土偶は、その一部が小さく壊れても、機能に関係ない場合には、そのまま用いられたり、また、補修されたりして、繰り返し使用されたのであろう。機能をまとうできないほど破損したときに初めて、他の不要品と同じ扱いを受け、廃棄され、処分された。出土した土偶の破片を接合しても、なかなか完全な形に復原できないことも、こうした事情による……」(1979.3)とみることは出来ないであろうか。ここでは、土偶が破片となり、バラバラになって出土する理由を、土偶の破損面にみられる接着剤すなわちアスファルトを重視して、従来の土偶破壊説をとらず、繰り返し使用のされた過程で破損してしまった結果と考えたい。なお、七ヶ宿小梁川遺跡(宮城県教育委員会:1986.3予定)からは、中期初頭の土偶にアスファルトが破損部に付着しているものが出土している。これは土偶が補修されていた初期の最も古い例と考えられる。

#### 土製耳飾り(第10~17図、図版5~6)

土製耳飾りは総計239点出土している。このうち土器などと共に所属時期が明らかなるものは134点である。すべて耳朶に穴をあけてそこに直接耳飾りをはめこむ形式のもので、耳栓あるいは滑車状耳飾りとよばれるものに属する。形態・装飾・大きさなどに変化がみられる。なお、図版には時期の特定できるものすべてと、不明なもの一部を掲げた。

#### 形態による分類

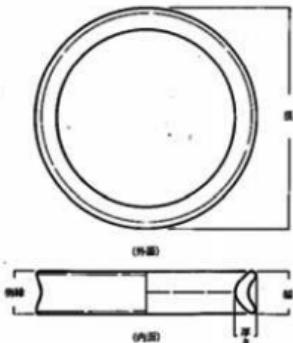
A類 円筒状のもので内部が充実しているもの。  
内外面はともに直線である。耳朶に接する側内側彎曲している。

I 内外面の径がおなじ大きさのもの。

a. 小型品

b. 大型品

II 外面が内面より径が大きい。



第9図 土製耳飾り部位各図

B類 中央が空白で、環状をなすもの。

- I 内外両端面が丸みを持ち、断面が弓なりになるものとくの字形になるものがある。
- II 断面が三角形に近いものをあつめた。断面がくの字形のものと区別づけにくいものがあるので、ここでは輪の厚さと幅が1対1以上のものとした。
- III 側面がやや外側に膨らみ気味か直線的なものを集めた。断面は薄いもの（Iでいうと弓なりの断面形に近い）が多い。
- IV 外面が平坦で、断面がやや長方形にちかいもの。
  - a. 文様があるもの
  - b. 文様がないもの

C類 周囲は環状となるが、外面の部分に覆いをつけた形のものである。

- I 外面が透彫の手法で飾られているもの
- II 外面が透彫の手法によらずドーム状になるもの

以上、形態から3つに大別したが、これらを次に各類ごとにその特徴をみてみる。

A I a類は小指大のもので、内外面が平坦なもの（136）や、一方の面が欠損しているが、他方の面が凹むものの（118）がある。A I a類は径37mm、幅20mmとやや大きく、内外面が凹む（29）これらA類は、その形状から、魚類の椎骨に類似したものと言える。

A II類は、中央部に内外面に通じる小孔をもつもの（4）、外面に円文がみられ内面がやや深く凹むもの（3）や、内面が平坦で外面がやや凸面で、重いもの（137）の3点がある。

B類は、分類で示したように、齊一性が強いものである。

C I類は薄手で、内ぞり（32）、あるいはやや直線的な（148）側縁をもつものがある。

C II類は小破片で、全体形を知ることが難しいが、内面径が外面径より大きく内外両端面に段をもつ陵がみられる（131）。

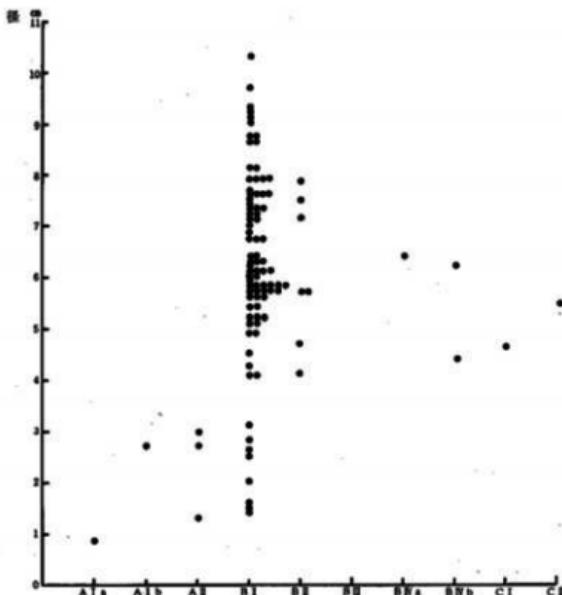
次に、文様、径、時期的変遷について以下述べていく。

## 文 様

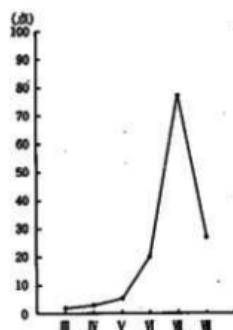
文様のあるものには、外面に円文がみられるA II類（3）の1点、外面に三叉文・内側に3条の沈線が巡るB IV a類（147）の1点、透彫に刻みがはいるC I類（32・148）の2点、計4点が出土しており、全体1.7%にあたる。その他はすべて無文のものである。また、彩色されているものは特に認められなかった。

## 径

径の復元可能なものについて扱う。第10図をみてわかるように、径3cm以下の小型のもの、径4cm以上8cm以下の中型のもの、径8cm以上の大型のものの3つに大別することができる。特に、中型のものに集中する傾向性が強く、大型のものは数的にも少ない。小型のも



第10図 土製耳鉢り分類別径分布図



第11図 土製耳鉢り時期別出土数量図

D	期	期	件									
			II	III	IV	V	VI	VII	VIII	VIX	X	
A	I	a									1	1 (3.7)
	b										1	1 (3.7)
	c										2	2 (1.4)
B	D					2	3	3	20	71	32	320 (6.0)
	E										2	4 (3.1)
C	F	a										1
	b										2	2 (1.4)
	c										1	1 (3.7)
H	G										1	1 (3.7)
	H										1	1 (3.7)
	J										1	1 (3.7)
	K										1	1 (3.7)
	L										1	1 (3.7)
	M										1	1 (3.7)
	N										1	1 (3.7)
	O										1	1 (3.7)
	P										1	1 (3.7)
	Q										1	1 (3.7)
	R										1	1 (3.7)
	S										1	1 (3.7)
	T										1	1 (3.7)
	U										1	1 (3.7)
	V										1	1 (3.7)
	W										1	1 (3.7)
	X										1	1 (3.7)
	Y										1	1 (3.7)
	Z										1	1 (3.7)
	AA										1	1 (3.7)
	BB										1	1 (3.7)
	CC										1	1 (3.7)
	DD										1	1 (3.7)
	EE										1	1 (3.7)
	FF										1	1 (3.7)
	GG										1	1 (3.7)
	HH										1	1 (3.7)
	II										1	1 (3.7)
	JJ										1	1 (3.7)
	KK										1	1 (3.7)
	LL										1	1 (3.7)
	MM										1	1 (3.7)
	NN										1	1 (3.7)
	OO										1	1 (3.7)
	PP										1	1 (3.7)
	QQ										1	1 (3.7)
	RR										1	1 (3.7)
	SS										1	1 (3.7)
	TT										1	1 (3.7)
	UU										1	1 (3.7)
	VV										1	1 (3.7)
	WW										1	1 (3.7)
	XX										1	1 (3.7)
	YY										1	1 (3.7)
	ZZ										1	1 (3.7)
	AA										1	1 (3.7)
	BB										1	1 (3.7)
	CC										1	1 (3.7)
	DD										1	1 (3.7)
	EE										1	1 (3.7)
	FF										1	1 (3.7)
	GG										1	1 (3.7)
	II										1	1 (3.7)
	JJ										1	1 (3.7)
	KK										1	1 (3.7)
	LL										1	1 (3.7)
	MM										1	1 (3.7)
	NN										1	1 (3.7)
	OO										1	1 (3.7)
	PP										1	1 (3.7)
	QQ										1	1 (3.7)
	RR										1	1 (3.7)
	SS										1	1 (3.7)
	TT										1	1 (3.7)
	UU										1	1 (3.7)
	VV										1	1 (3.7)
	WW										1	1 (3.7)
	XX										1	1 (3.7)
	YY										1	1 (3.7)
	ZZ										1	1 (3.7)
	AA										1	1 (3.7)
	BB										1	1 (3.7)
	CC										1	1 (3.7)
	DD										1	1 (3.7)
	EE										1	1 (3.7)
	FF										1	1 (3.7)
	GG										1	1 (3.7)
	II										1	1 (3.7)
	JJ										1	1 (3.7)
	KK										1	1 (3.7)
	LL										1	1 (3.7)
	MM										1	1 (3.7)
	NN										1	1 (3.7)
	OO										1	1 (3.7)
	PP										1	1 (3.7)
	QQ										1	1 (3.7)
	RR										1	1 (3.7)
	SS										1	1 (3.7)
	TT										1	1 (3.7)
	UU										1	1 (3.7)
	VV										1	1 (3.7)
	WW										1	1 (3.7)
	XX										1	1 (3.7)
	YY										1	1 (3.7)
	ZZ										1	1 (3.7)
	AA										1	1 (3.7)
	BB										1	1 (3.7)
	CC										1	1 (3.7)
	DD										1	1 (3.7)
	EE										1	1 (3.7)
	FF										1	1 (3.7)
	GG										1	1 (3.7)
	II										1	1 (3.7)
	JJ										1	1 (3.7)
	KK										1	1 (3.7)
	LL										1	1 (3.7)
	MM										1	1 (3.7)
	NN										1	1 (3.7)
	OO										1	1 (3.7)
	PP										1	1 (3.7)
	QQ										1	1 (3.7)
	RR										1	1 (3.7)
	SS										1	1 (3.7)
	TT										1	1 (3.7)
	UU										1	1 (3.7)
	VV										1	1 (3.7)
	WW										1	1 (3.7)
	XX										1	1 (3.7)
	YY										1	1 (3.7)
	ZZ										1	1 (3.7)
	AA										1	1 (3.7)
	BB										1	1 (3.7)
	CC										1	1 (3.7)
	DD										1	1 (3.7)
	EE										1	1 (3.7)
	FF										1	1 (3.7)
	GG										1	1 (3.7)
	II										1	1 (3.7)
	JJ										1	1 (3.7)
	KK										1	1 (3.7)
	LL										1	1 (3.7)
	MM										1	1 (3.7)
	NN										1	1 (3.7)
	OO										1	1 (3.7)
	PP										1	1 (3.7)
	QQ										1	1 (3.7)
	RR										1	1 (3.7)
	SS										1	1 (3.7)
	TT										1	1 (3.7)
	UU										1	1 (3.7)
	VV										1	1 (3.7)
	WW										1	1 (3.7)
	XX										1	1 (3.7)
	YY										1	1 (3.7)
	ZZ										1	1 (3.7)

第4表 土製耳鉢り時期別出土数量表

のはA類に多い。

### 時期的変遷

時期別の出土数は第19図と第4表に示したように、III期(後期中葉)からみられVII期(後期末葉)には73点(時期のわかるもののうちの57%にあたる)と急増する。VIII期(晚期初頭)に至って減少する。この後期末葉に最も多くみられることは、他の遺物と傾向性が異なり、注目すべきことである。

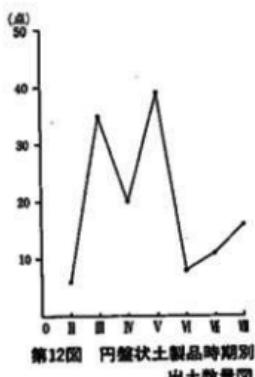
これらを分類ごとにみると、A I類はVII~VIIIに、A II類はV期にみられる。大半を占めるB 1類はIII~VII期にかけて広くみられ、VIIに盛行する。B II~IV類もVII~VIII期に集中する傾向があり、C I・II類もVIII期にみられる。全体には、A類→B類→C類の大きな変遷を考えられる。ただし、A I類はVII・VIII期の新しい時期まで残るものと言える。

### 円盤状土製品(第21~25図、図版7・8)

円盤状土製品は計262点出土している。その出土状況は南斜面の貝層(第21・22・23図1~35)のもの144点、南斜面貝層の東側遺物包含層(第23図36~51)のもの16点、溝・その他の地区・表土および地区層位不明(第24・25図)のもの92点で、一定の単位でまとめて出土するという状況ではなく、土器等と共に廃棄された状態で発見されている。これらの中で、時期が判明するものは南斜面の貝層とその東側の遺物包含層である。土器との共伴関係から前者は第II~VIII期、後者は第III期と推定される。それ以外のものは時期が特定できないもので第I~IX期のいずれかの時期に含まれるとと思われる。

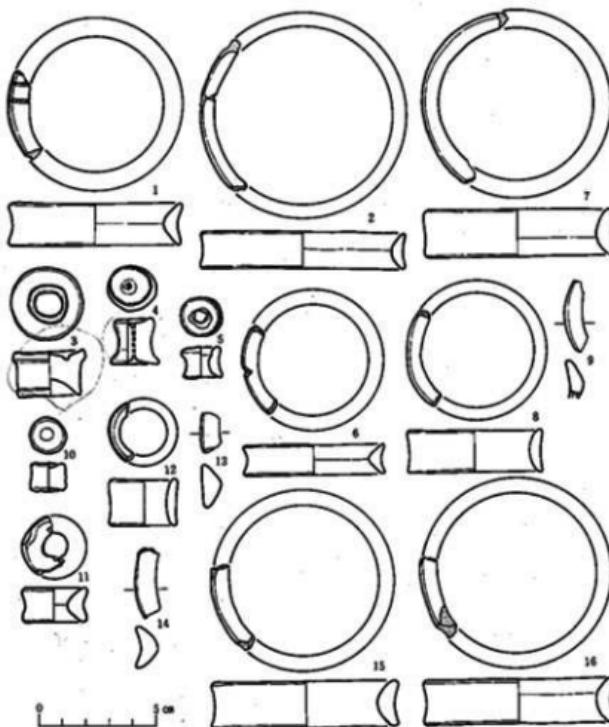
次に、本遺跡出土の円盤状土製品の特徴をまとめてみたい。

円盤状土製品の形態は土器片の周縁を打ち欠いて円形・梢円形にしている。この中には周



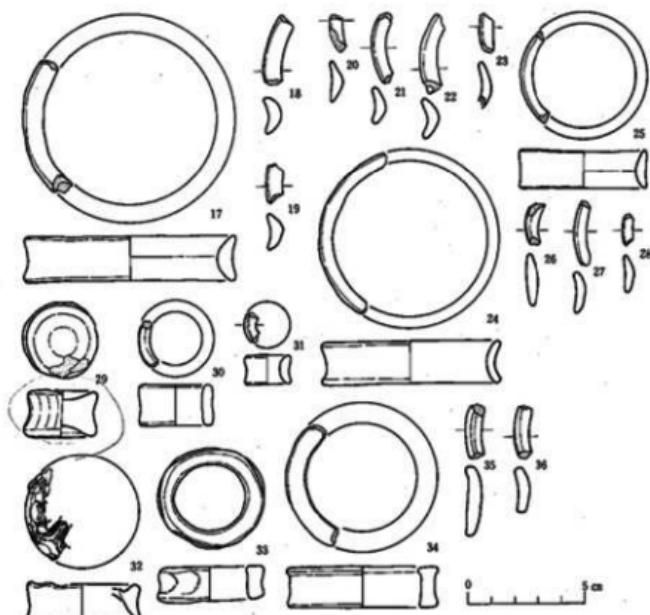
第12図 円盤状土製品時期別出土数量図

縁を打ち欠いた後に研磨しているものもある(矢印でその範囲を示した)。大きさは1.6~7.0cmのものまであるが各時期とも3.0~4.0cm前後のものが多い。重さは1.2~66.7gまであり、5~15gのものが多い。しかし、いずれにも集中することはない。素材となる土器片は大部分が胴部破片であるが、口縁部(第21図53、第23図36、第25図10・14)・底部(第22図43、第23図5・23・24・47、第25図26)破片も少量ある。これらの円盤状土製品には文様をもつもの、地文のもの、無文のものがある。この中には第22図38のように中央に穿孔したものや第22図36のよう第12図円盤状土製品時期別に穿孔しかけたものがある。これは円盤状土製品としてはごく稀なものである。



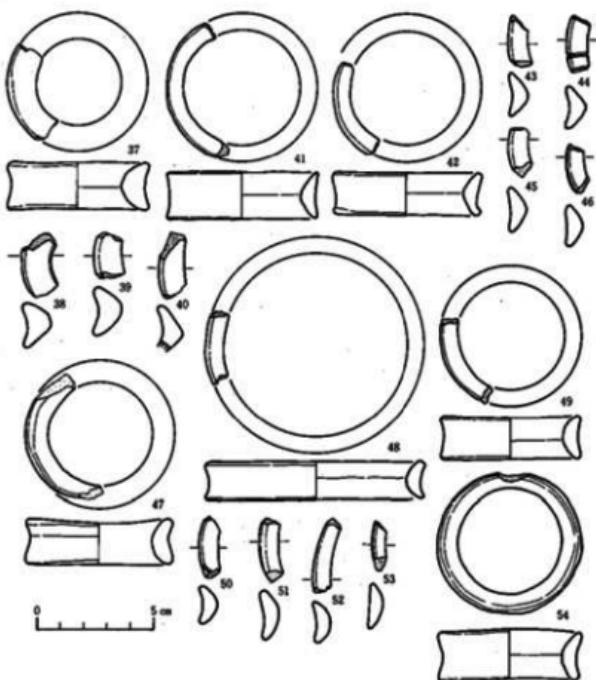
番号	名	正・裏	寸	分	秒	内 (cm)	外 (cm)	厚 (mm)	備考	番号	名	正・裏
1	CLM-19		20	0	1	72.0	18.0	0.1		4212		
2	CLM-18, CLM-19	正+裏	20	0	1	68.0	16.0	0.1		4201-4201	正+裏	
3	CLM-31	正	22	0	0	27.0	18.0	—	蓋身17.7mm・円穴	4201	正	
4	CLM-35	正	22	0	0	34.0	18.0	—	蓋身 5.4mm・裏縫合し	3860	正	4
5	CLM-35	裏	21	0	0	34.0	12.0	0.6		560	正	5-7
6	CLM-8	正+裏	21	0	0	38.0	13.0	0.8		6402		
7	CLM-31, CLM-32, CLM-33	正+裏	21	0	0	79.0	20.0	2.0		6211-6212	正+裏	
8	CLM-8	正+裏	21	0	0	38.0	18.0	0.6		6207		
9	CLM-36	正	21	0	0	—	17.0	0.6		6208		
10	CLM-8	正+裏	21	0	0	35.0	13.0	—		621		
11	CLM-35C	正	21	0	0	28.0	18.0	0.5		627		
12	CLM-36	正	21	0	0	38.0	20.0	0.8		6209		
13	CLM-35C	正	21	0	0	—	18.0	0.5		6270		
14	CLM-35C	正	22	0	0	—	18.0	0.8		624		
15	CLM-7	正	21	0	0	77.0	20.0	2.0		951		
16	CLM-35C	正	21	0	0	79.0	20.0	0.9		620		

第13回 土製耳飾り(1)



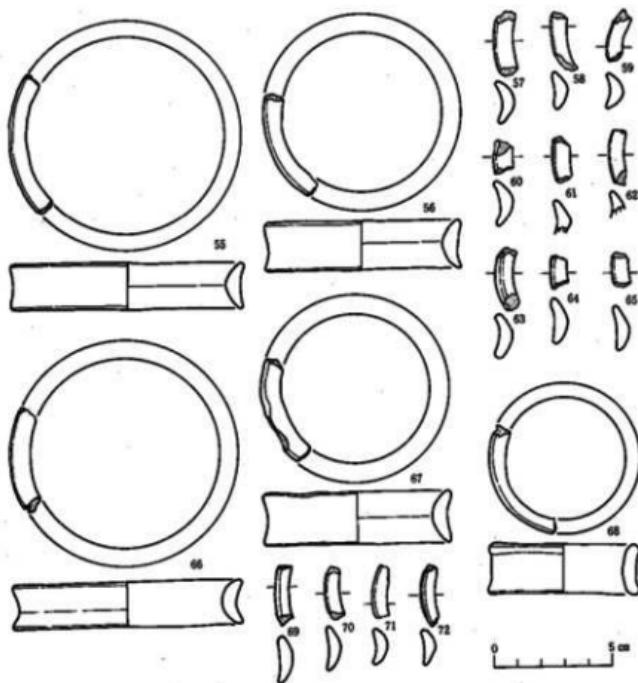
番号	地	式	標	地	式	標	寸	分	厘	径 (cm)	厚 (cm)	厚 (cm)	標	名	記載番号	圖	版
17	C	L	CLB-294	白	B 1		87.0	10.0	0.2					白	874	4-2	
18	C	L	CLB-19	白	B 1		—	—	—	14.0	—	7.35			8122		
19	C	L	CLB-29	白	B 1		—	—	—	15.0	—	6.05			6499		
20	C	L	CLB-29	白	B 1		—	—	—	15.0	—	5.8			6499		
21	C	L	CLB-29C	白	B 1		—	—	—	15.0	—	5.9			6499		
22	C	L	CLB-29C	白	B 1		—	—	—	15.0	—	7.5			6499		
23	C	L	CLB-29	白	B 1		—	—	—	20.0	—	5.2			6497		
24	C	L	CLB-15, CLB-29C	白	B 1		72.0	10.0	0.5						6254		
25	C	L	CLB-29C	白	B 1		54.0	17.0	4.0						650-659		
26	C	L	CLB-19	白	B 1		—	—	—	22.0	—	5.5			6262		
27	C	L	CLB-29	白	B 1		—	—	—	19.0	—	5.2			6499		
28	C	L	CLB-29	白	B 1		—	—	—	14.0	—	5.0			6499		
29	C	M	CM1-18	白	A 1 ½		30.0	26.0	—					白	3715	5-2	
30	C	M	CM1-24	白	B 1		21.0	17.0	—						6499		
31	C	M	CM1-28	白	B 1		16.0	13.0	—						6262	5-18	
32	C	M	CM1-16	白	C 1		46.0	17.0	—					白	145	5-24	
33	C	M	CM1-27	白	B 1		43.0	16.0	—						670		
34	C	M	CM1-14+18	白	B 0 ½		42.0	18.0	—						1130-6494	5-12	
35	C	M	CM1-15	白	B 1		—	—	—	28.0	—	5.4			205		
36	C	M	CM1-5	白	B 0 ½		34.5	20.0	—						6499	5-13	

第14図 土製耳飾り(2)



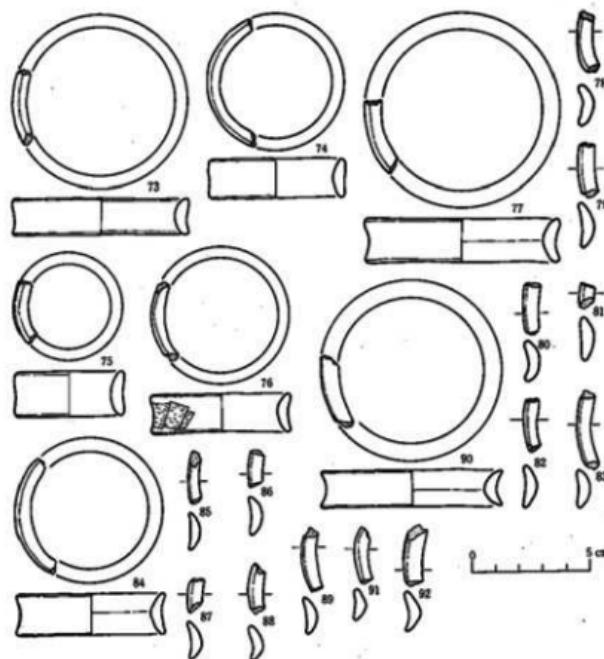
番号	名	文・層	形	直	幅	厚	径 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	番号	名	文・層	形	直	幅	厚
37	C.L41-5		環	31	37.0	21.0	21.00			43	CL41-5	5-5				
38	C.M60-20		環	31	—	18.0	17.7			44						
39	C.M60-20		環	31	—	21.0	21.3			45						
40	C.L41-11		環	31	—	21.0	20.1			46						
41	C.L41-20-11		環	31	32.0	20.0	6.5			47	CL41-20-11	5-4				
42	C.L41-20		環	31	32.0	18.0	7.4			48						
43	C.M60-20		環	31	—	20.5	8.2			49						
44	C.M60-18		環	31	—	20.0	8.00			50						
45	C.M60-18		環	31	—	20.0	8.3			51						
46	C.L39-25		環	31	—	20.0	7.6			52						
47	C.L39-27		環	31	28.0	20.0	7.75			53						
48	C.L41-16		環	31	31.0	16.0	8.0			54						
49	C.L39-27		環	31	28.0	20.0	8.3			55						
50	C.L41-16		環	31	—	17.0	7.7			56						
51	C.L41-20		環	31	—	21.0	7.00			57						
52	C.M60-18		環	31	—	20.0	6.7			58						
53	C.L39-21		環	31	—	20.0	6.2			59						
54	C.M60-18		環	31	27.0	22.0	—			60						

第154図 土製耳飾り(3)



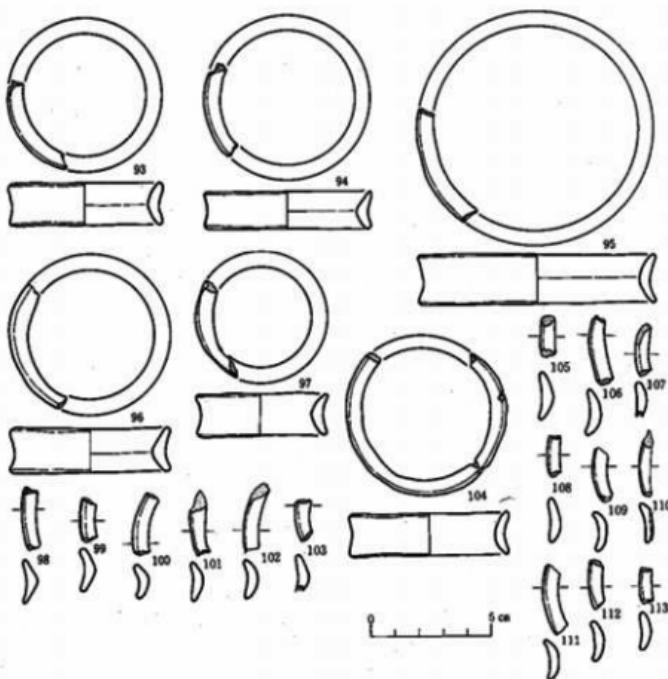
番号	地 色・素 級	形	目	寸	幅 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	形	寸	地 色	素 級
55	CMAH-10-30	円	55	9.1	37.5	36.0	7.2				415-420 4-7
56	CLAH-11	円	56	9.1	32.5	30.0	7.7				500
57	CMBH-6	円	57	9.1	—	38.0	6.2				600
58	CLAH-8	円	58	9.1	—	38.0	6.2				610
59	CMAH-25	円	59	9.1	—	38.0	7.2				620
60	CMBH-30	円	60	9.1	—	30.0	6.6				640
61	CLBH-29C	円	61	9.1	—	36.0	7.2				647
62	CLAH-16	円	62	9.1	—	33.0	6.0				650
63	CMAH-20	円	63	9.1	—	36.0	7.4				670
64	CLAH-18	円	64	9.1	—	36.0	7.25				646
65	CLAH-10	円	65	9.1	—	38.0	7.0				617
66	CLAH-18	円	66	9.1	39.0	38.0	6.45				636
67	CMAH-19	円	67	9.1	78.0	33.0	6.3				651
68	CMBH-20	円	68	9.1	61.0	33.0	6.6				636 6-6
69	CLBH-27	円	69	9.1	—	31.0	6.1				672
70	CLAH-9	円	70	9.1	—	30.0	6.35				6305
71	CMAH-34	円	71	9.1	—	35.0	6.2				6366
72	CLBH-30	円	72	9.1	—	35.0	5.6				661

第16図 土器耳飾り(4)



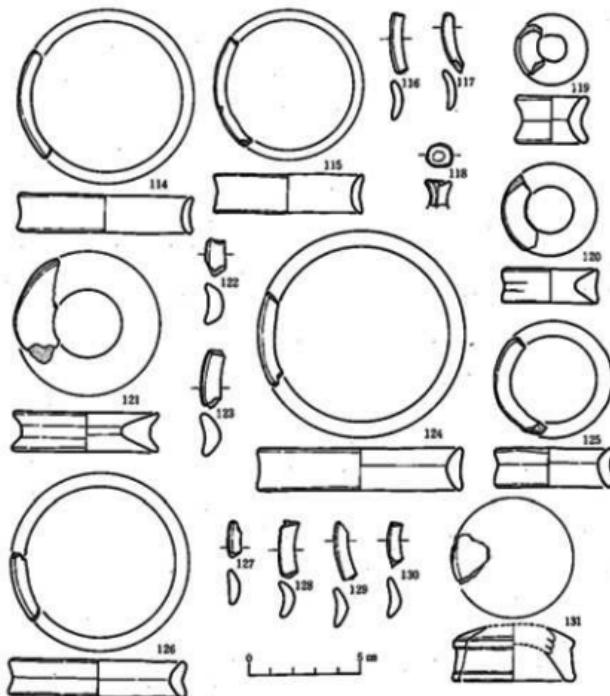
番号	地 区・部 位	性 別	年 齡	外 径	内 径	厚 度	重 量	規 格 号	備 考
73	C.48-18	男	B.I	73.0	16.0	6.1	—	246a	
74	C.48-18.C.48-44	男+母	B.I	57.0	16.0	5.4	—	770	
75	C.48-19	男	B.I	65.0	19.0	5.0	—	4616	
76	C.48-25	男	B.I	57.0	17.0	5.5	—	321	
77	C.48-31	男	B.I	75.0	18.0	6.0	—	307	
78	C.48-11	男	B.I	—	18.0	6.0	—	505	
79	C.48-15	男	B.I	—	18.0	6.0	—	—	
80	C.48-15-18	男+母	B.I	—	20.0	4.0	—	6168	
81	C.48-25	男	B.I	—	17.0	4.5	—	6179	
82	C.48-9	男	B.I	—	18.0	4.2	—	6184	
83	C.48-26	男	B.I	—	18.0	5.0	—	1720	
84	C.48-6	男	B.I	—	18.0	4.4	—	6173	
85	C.48-17-18	男	B.I	50.0	18.0	4.4	—	3027+3469	8-9
86	C.48-14	男	B.I	—	18.0	3.8	—	6174	
87	C.48-16	男	B.I	—	16.0	3.0	—	6175	
88	C.48-9	男	B.I	—	18.0	5.2	—	6181	
89	C.48-16	男	B.I	—	15.0	5.0	—	6171	
90	C.48-18	男	B.I	—	16.0	5.5	—	6169	
91	C.48-25	男	B.I	73.0	15.0	7.0	—	320	
92	C.48-19	男	B.I	—	14.0	5.0	—	6169	
93	C.48-26	男	B.I	—	18.0	—	—	6169	

第17図 土製耳飾り(8)



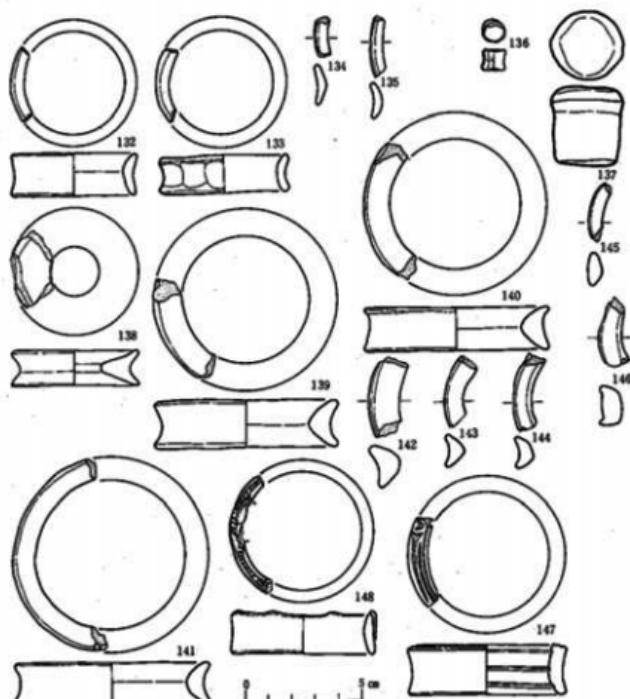
番号	地 区・器 種	径 寸	少 量	厚 さ (mm)	幅 (mm)	周 長 (mm)	形 式	出 版
93	C.L49-35	16	B1	21.0	16.0	6.35		143
94	C.L41-35	16	B1	27.0	16.0	6.7		328-3650
95	C.L39-27	16	B1	25.0	21.0	6.4		371
96	C.L41-35,C.M41-38	16	B1	23.0	19.0	6.9		6108-2015
97	C.L41-35	16	B1	21.0	18.0	6.5		473
98	C.M41-35	16	B1	—	18.0	6.1		432
99	C.L41-35	16	B1	—	18.0	6.2		4512
100	C.L41-35	16	B1	—	14.0	5.9		6200
101	C.M41-35	16	B1	—	16.0	5.7		4574
102	C.M41-35	16	B1	—	17.0	4.3		4584
103	C.L39-35	16	B1	—	16.0	4.1		5429
104	C.L40-35,C.L49-37-38	16	B1	23.0	18.0	6.0		801-2017
105	C.L41-35	16	B1	—	20.0	4.2		520
106	C.L49-35	16	B1	—	19.0	5.7		4129
107	C.M40-35	16	B1	—	15.0	5.35		5500
108	C.M40-35	16	B1	—	15.0	5.2		4497
109	C.M41-35	16	B1	—	15.0	5.0		4176
110	C.M39-35	16	B1	—	16.0	4.0		4976
111	C.L40-35	16	B1	—	17.0	5.7		4149
112	C.M41-35	16	B1	—	17.0	5.5		4162
113	C.M41-35	16	B1	—	16.0	5.3		4482

第18図 土製耳飾り(6)



品番	地・画	形	寸	幅 (cm)	高 (cm)	厚 (mm)	備考	品番	地・画	形	寸	幅 (cm)	高 (cm)	厚 (mm)	備考
114	C LM=34, CL AB=6	盤	W+R	31	75.4	15.5		115	—	盤	W	31	—	5.4	4511-4512
115	CL AB=18	盤	W	31	84.6	15.0		116	—	盤	W	31	—	5.4	4523-4525
116	CL AB=27	盤	W	31	—	—		117	—	盤	W	31	—	5.5	4526
117	CL AB=16	盤	W	31	—	—		118	—	盤	W	31	—	5.7	4527
118	C MH=8	盤	W	31	—	—		119	—	盤	W	31	—	5.7	4528
119	C MH=31	盤	W	31	26.8	21.0		120	—	盤	W	31	—	5.15	4529-4530
120	C MH=7	盤	W	31	43.0	14.0		121	—	盤	W	31	—	5.15	4531-4532
121	CL AB=5	盤	W	31	57.0	17.0		122	—	盤	W	31	—	5.15	4533-4534
122	CL AB=4	盤	W	31	—	—		123	—	盤	W	31	—	5.15	4535-4536
123	C MH=7	盤	W	31	—	—		124	—	盤	W	31	—	5.15	4537-4538
124	C MH=4.6	盤	W	31	38.0	19.0		125	—	盤	W	31	—	5.15	4539-4540
125	C MH=19 (CL AB=12)	盤	W	31	49.0	18.0		126	—	盤	W	31	—	5.15	4541-4542
126	C MH=14	盤	W	31	70.0	16.0		127	CL AB=6	盤	W	31	—	5.2	4543
127	CL AB=6	盤	W	31	—	—		128	C MH=4.6	盤	W	31	—	5.25	4544
128	C MH=4.6	盤	W	31	—	—		129	C MH=4.6	盤	W	31	—	5.25	4545
129	C MH=9	盤	W	31	—	—		130	C MH=10	盤	W	31	—	5.25	4546
130	C MH=10	盤	W	31	34.0	26.0								4547-4548	

第19回 土器耳飾り(7)



品番	用 式・形 状	内 径	外 径	高 (mm)	幅 (mm)	厚 さ(mm)	備 考	登録番号	規 格
132	C140-12a	可	B1	32.0	36.0	5.0		4127	
133	C140-5b	可	B1	32.0	37.0	5.0		4127	
134	C140-5b	可	B2	—	36.0	5.0		4124	
135	C140-30b	可	B2	—	36.0	4.0		4122	
136	T-10	可	A1×2	8.0	9.0	—	■99-2.78	4127	
137	C140-12b	可	A10	35.0	34.0	—	■99-4.42	4127	S-1
138	C140-1	可	B10	47.0	55.0	10.0		4123	
139	C140-30B	可	B10	35.0	31.0	10.0		719	S-7
140	C140-1×2	可	B10	35.0	39.0	10.0		476-046	S-10
141	C140-30-10	可	B10	35.0	38.0	10.0		517-002	S-10
142	C140-30	可	B10	35.0	38.0	10.0		517-002	S-10
143	C140-10	可	B10	—	38.0	10.0		5094	
144	C140-10	可	B10	—	34.0	10.0		5079	
145	C140-10	可	B10	—	34.5	10.0		5079	
146	C140-6	可	B10	—	32.0	10.0		5103	
147	C140-2	可	B10	—	35.0	10.0		5103	
148	C140-2	可	B10	—	35.0	10.0		5103	
149	C140-2-2	可	B10	—	35.0	10.0		5103	
150	C140-2-2	可	C1	32.0	39.0	4.0	江戸室 内蔵・江戸室鉢底	611	
151	C140-2-2	可	C1	32.0	39.0	4.0	江戸室鉢底	6100-6407	S-10

第20図 土製耳飾り

本遺跡から出土した円盤状土製品の出土量について述べてみたい。既に述べているように時期の推定できるものは南斜面の貝層とその東側包含層である。これらの遺構から出土した円盤状土製品は縄文時代後期前葉の第II期6点、後期中葉の第III期35点・第IV期20点、後期後葉の第V期39点・第VI期8点・第VII期11点、晚期初期の第VIII期16点である。このように、円盤状土製品は各時期とも製作されているが縄文時代後期後葉の第V期を境にして、それ以後減少する。

時 期	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	年 標	総 計
個 数	(6.4)	(25.9)	(14.8)	(26.9)	(5.8)	(18.2)	(11.9)	(10.4)	127			282

第5表 円盤状土製品時期別出土数量表

### 土玉 (第26図1~8)

- A : 円形で偏平な小形の土製品である(1)。側面にごく小さな貫通孔がある。用途不明。  
 B : 球形の土製品である。大きさで次のように分類した。  
 I : 径が6.7~8.2cmあり、一本の貫通孔があるもの(2~4)。  
 II : 径が18.0cmあり、三方向からの三個の孔があるが、いずれも盲孔となるもの(5)。  
 III : 径が33.1~33.7cmあり、一本の貫通孔があるもの(6~8)。

Iは紐を通して装身具としたと思われる。IIは用途不明である。IIIは重量があり錘としての用途も考えられる。なお、IIIの6の表面には縄文(RL)が見られるが、他のものはすべて無文である。

### 有溝土錘 (第26図9・10)

長楕円形を呈する、横断面形の丸い土製品で溝が巡るもののが2点ある。

- I : 溝が短軸を一周し、それを切って長軸にさらに半周巡るもの(9)。  
 長軸に孔を有する。

- II : 溝が短軸・長軸に各一周するもの(10)  
 短軸方向のものが切られている。孔はない。

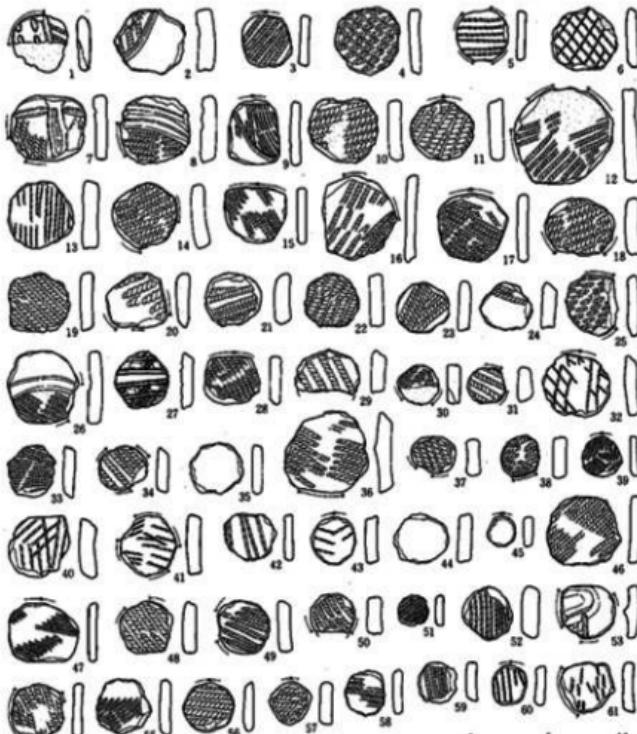
これらは、渡辺誠(1973)の分類によると、I類は溝が長軸に一周巡る第2類J種に近いもので、II類は第1類C種と同類のものである。

### 棒状土製品 (第26図11)

断面が円形で、両端にいくつも孔が小さくなる。端部は一方がやや瘤み、他方がやや脹らむ。孔などはない。用途不明である。

### スタンプ形土製品 (第26図12~15)

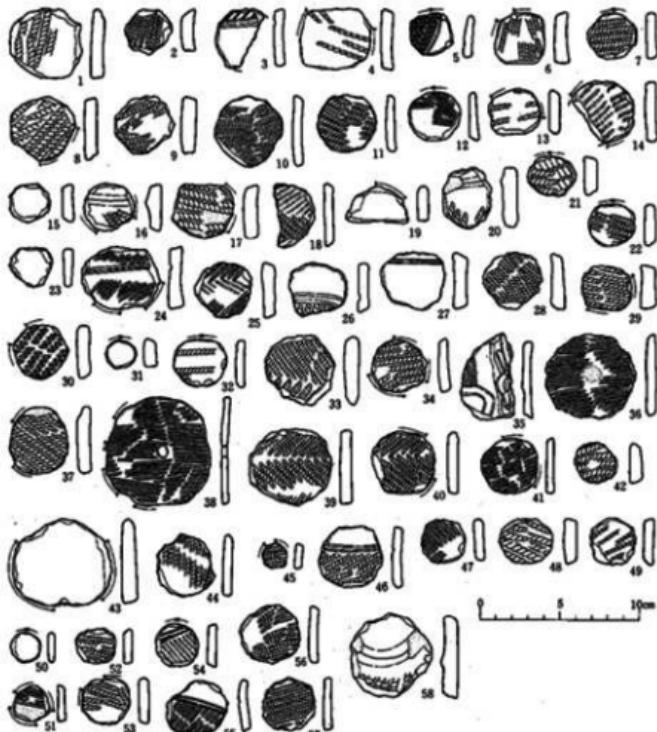
柄のあるスタンプに似た土製品で、通常、スタンプ形土製品と呼ばれているが、用途は不明である。印面にあたる部分(以下、平坦部とよぶ)が平坦で文様がある。平坦部の平面形で分



0 5 10 mm

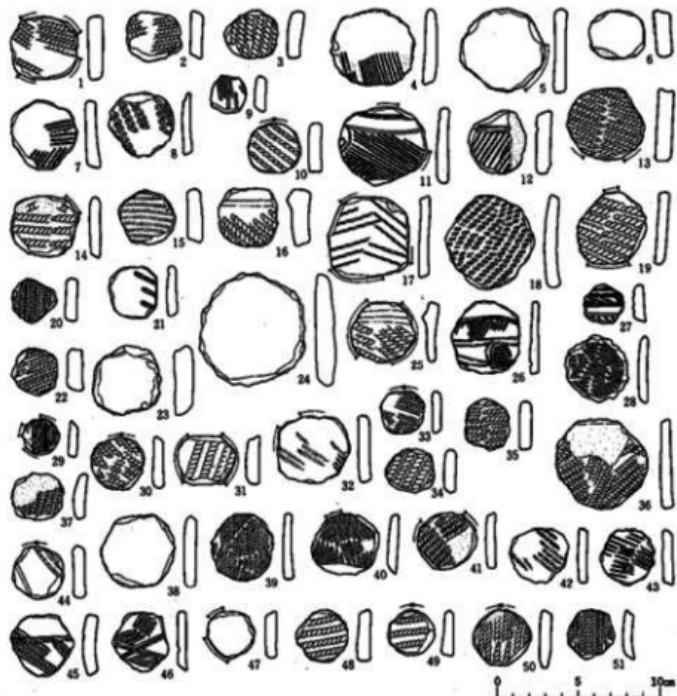
番号	岩相	地質学的特徴	成因	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100																																																																																																																																																																																																																													
1	CML-20	II	6558	7-1	17	C L41-25	20	6559	7-12	33	C L41-25	27	6560	7-12	39	C ML-25	27	6561	7-12	40	C L40-25	27	6562	7-12	41	C L40-25	27	6563	7-12	42	C L40-25	27	6564	7-12	43	C L40-25	27	6565	7-12	44	C L40-25	27	6566	7-12	45	C L40-25	27	6567	7-12	46	C L40-25	27	6568	7-12	47	C L40-25	27	6569	7-12	48	C L40-25	27	6570	7-12	49	C L40-25	27	6571	7-12	50	C L40-25	27	6572	7-12	51	C L40-25	27	6573	7-12	52	C L40-25	27	6574	7-12	53	C L40-25	27	6575	7-12	54	C L40-25	27	6576	7-12	55	C L40-25	27	6577	7-12	56	C L40-25	27	6578	7-12	57	C L40-25	27	6579	7-12	58	C L40-25	27	6580	7-12	59	C L40-25	27	6581	7-12	60	C L40-25	27	6582	7-12	61	C L40-25	27	6583	7-12	62	C L40-25	27	6584	7-12	63	C L40-25	27	6585	7-12	64	C L40-25	27	6586	7-12	65	C L40-25	27	6587	7-12	66	C L40-25	27	6588	7-12	67	C L40-25	27	6589	7-12	68	C L40-25	27	6590	7-12	69	C L40-25	27	6591	7-12	70	C L40-25	27	6592	7-12	71	C L40-25	27	6593	7-12	72	C L40-25	27	6594	7-12	73	C L40-25	27	6595	7-12	74	C L40-25	27	6596	7-12	75	C L40-25	27	6597	7-12	76	C L40-25	27	6598	7-12	77	C L40-25	27	6599	7-12	78	C L40-25	27	6600	7-12	79	C L40-25	27	6601	7-12	80	C L40-25	27	6602	7-12	81	C L40-25	27	6603	7-12	82	C L40-25	27	6604	7-12	83	C L40-25	27	6605	7-12	84	C L40-25	27	6606	7-12	85	C L40-25	27	6607	7-12	86	C L40-25	27	6608	7-12	87	C L40-25	27	6609	7-12	88	C L40-25	27	6610	7-12	89	C L40-25	27	6611	7-12	90	C L40-25	27	6612	7-12	91	C L40-25	27	6613	7-12	92	C L40-25	27	6614	7-12	93	C L40-25	27	6615	7-12	94	C L40-25	27	6616	7-12	95	C L40-25	27	6617	7-12	96	C L40-25	27	6618	7-12	97	C L40-25	27	6619	7-12	98	C L40-25	27	6620	7-12	99	C L40-25	27	6621	7-12	100	C L40-25	27	6622	7-12

図214 円盤状土膜(1)



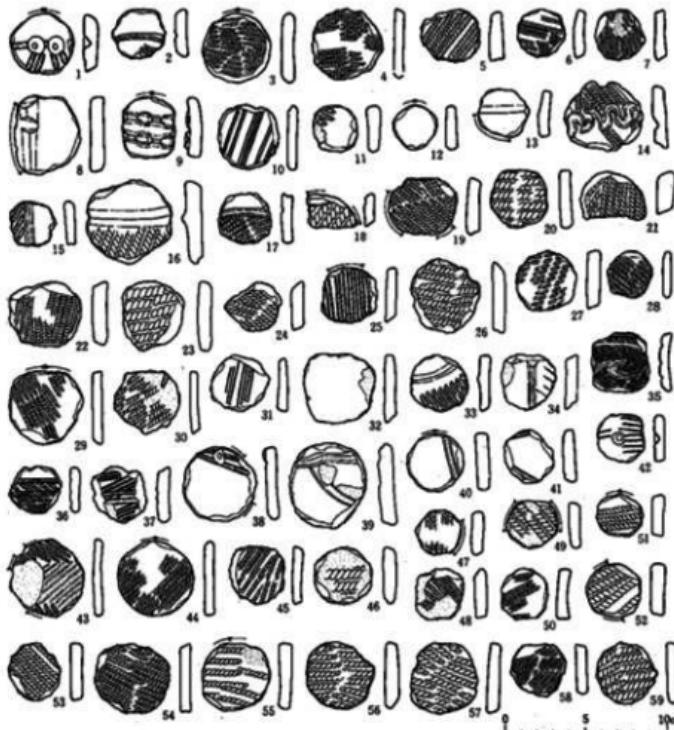
番号	地名・標注	種類	岩相	組成	特徴	番号	地名・標注	種類	岩相	組成	特徴	番号	地名・標注	種類	岩相	組成			
1	CMA-25	V	6344	7-22	36	CLB-21	V	6408	7-77	23	CMB-21-27	V	6399	7-92	40	CMB-4-4.5	■	6402	7-287
2	CMA-25	V	6329	7-22	37	CLB-21	V	6444	7-79	32	CLB-18	V	6328	7-93	47	CMB-4-4.5	■	6407	7-289
3	CMA-26	V	6405	7-94	38	CLB-21	V	6409	7-79	33	CMB-20	V	6301	7-94	48	CMB-4-4.5	■	6404	7-293
4	CMA-26	V	6398	7-95	39	CLB-21	V	6423	7-81	34	CMB-20	V	3724	2-95	49	CMB-4-4.5	■	6406	7-295
5	CLB-21	V	6514	7-95	40	CMB-8	V	2091	7-81	35	CMB-18	V	6504	7-95	50	CMB-4-4.5	■	6702	7-311
6	CLB-24	V	3848	7-95	41	CMB-8	V	2092	7-92	36	CMB-18	V	4172	7-97	51	CMB-4-7	■	6403	7-322
7	CLB-24	V	3847	7-95	42	CMB-8	V	2093	7-93	37	CLC-18	V	4111	7-95	52	CMB-10	■	6703	7-332
8	CLB-25	V	3849	7-95	43	CMB-8	V	2098	7-94	38	CLB-25	V	1605	7-99	53	CMB-10	■	6405	7-344
9	CLB-25	V	3850	7-95	44	CLC-14	V	4206	7-95	39	CLB-25	V	209	7-100	54	CLB-17	■	6402	7-355
10	CMA-25	V	6397	7-71	45	CLB-25d	V	4275	7-95	40	CLB-25	V	209	7-101	55	CLB-13	■	6403	7-356
11	CMA-25	V	6391	7-71	46	CLB-25e	V	4405	7-97	41	CMB-6	V	3772	7-102	56	CLB-5	■	6201	7-357
12	CLB-25	V	3851	7-72	47	CLB-25	V	3773	7-98	42	CMB-18	V	3724	7-103	57	CMB-9	■	5204	7-358
13	CLB-25	V	3852	7-71	48	CLB-25	V	4202	7-98	43	CMB-22	V	4072	7-104	58	CMB-4.5	■	6404	7-359
14	CLB-25	V	422	7-72	49	CMB-21	V	4203	7-98	44	CLB-22	V	5409	7-105					
15	CLC-13	V	3857	7-73	50	CMB-21	V	4205	7-98	45	CLB-21	V	310	7-106					

第22回 円盤状土製品(2)



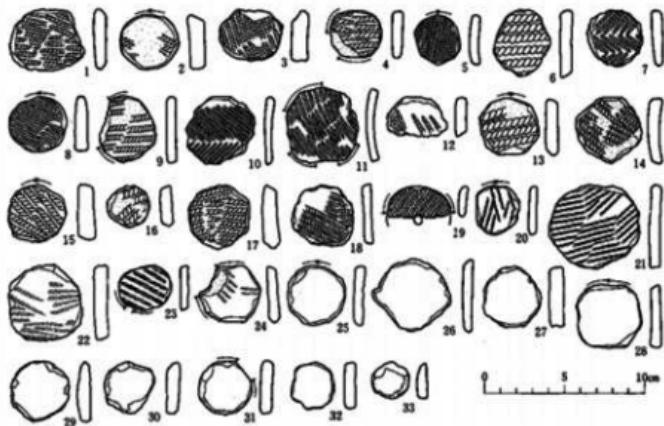
番号	地名・標高	地質	岩相	深度	地名・標高	地質	岩相	深度	地名・標高	地質	岩相	深度	地名・標高	地質	岩相	深度	地名・標高	地質	岩相	深度	
1	C.KM-10	1140	4000	7-120	14	C.KM-10	1140	4000	7-120	C.L47-6	910	6500	8-15	C.L47-3	11	6500	8-15				
2	C.KM-10	1140	4025	7-120	15	C.KM-4	1140	3027	7-120	C.L47-6	910	2200	8-17	C.L47-3	11	2200	8-17				
3	C.KM-10	1140	4030	7-120	16	C.KM-4	1140	3030	7-120	C.L47-6	910	6500	8-13	C.L47-3	11	6500	8-13				
4	C.KM-10	1140	3247	7-120	17	C.L38-25	1140	4000	8-15	C.M40-3	11	1770	8-13	C.L47-3	11	1770	8-13				
5	C.KM-10	1140	6250	7-120	18	C.L38-20	1140	4000	8-12	C.M40-3	11	6500	8-10	C.M40-3-1-4	11	6500	8-10				
6	C.KM-10	1140	6275	7-120	19	C.L38-25	1140	6275	7-140	C.M40-3	11	6500	8-13	C.M40-3-1-4	11	6500	8-13				
7	C.KM-9	1140	6200	7-120	20	C.L38-25	1140	6200	7-120	C.M40-3	11	2000	8-13	C.M40-3-1-4	11	2000	8-13				
8	C.KM-8	1140	6275	7-120	21	C.L38-25	1140	6275	7-120	C.M40-3	11	6500	8-13	C.M40-3-1-4	11	6500	8-13				
9	C.KM-8	1140	6417	7-120	22	C.L40-10	1140	6200	7-120	C.M40-3	11	6500	8-14	C.M40-3	11	6500	8-14				
10	C.KM-8	1140	7157	7-120	23	C.L40-10	1140	2550	7-120	C.L47-3-2-4	11	1750	8-15	C.M40-3	11	1750	8-15				
11	C.KM-6	1140	4250	7-120	24	C.L47-10	1140	2550	8-12	C.L47-3-3-4	11	6500	8-16	C.M40-3	11	6500	8-16				
12	C.KM-6	1140	4262	7-120	25	C.L47-8-1-9	1140	6200	8-12	C.L47-3-3-4	11	1500	8-17	C.M40-3	11	1500	8-17				
13	C.KM-6	1140	6261	7-120	26	C.L47-6	1140	6200	8-13	C.L47-3	11	6500	8-18								

第23回 円盤状土器(3)



番号	形態・性質	出土地名	地層	年代	測定	測定年	測定値	測定年	測定値	測定年	測定値	測定年	測定値	測定年	測定値	測定年	測定値	測定年	測定値
1 2種	円盤	1317	8-21 16	C LD-2	年86	8-48	20	C Kd-2	年86	8-61	48	A TS2-2	年86	100	8-16				
2 2種	円盤	1349	8-32	C MH-2	年86	8-47	20	C Ld-4	年86	8-55	125	A-3-47	C LM-1-2	年86	174	8-77			
3 2種	円盤	1652	8-33 18	C LS-29	年86	8-48	20	C Ld-2	年86	8-63	48	A TS2-2	年86	105	8-19				
4 2種	円盤	1372	8-34 19	B Cd-4	年86	8-49	24	A TS2-2	年86	8-64	49	A TS2-2	年86	104	8-79				
5 2種	円盤	1654	8-35 20	B Cd-4	年86	8-49	20	C Qd-2	年86	8-65	50	C Ld-2	年86	100	8-40				
6 2種	円盤	1663	8-36 21	C LS-17	年86	8-51	36	A TS2-2	年86	8-67	51	B Bd-2	年86	103	8-81				
7 2種	円盤	1656	8-37 22	C Md-4	年86	8-52	27	C Kd-2	年86	8-67	52	B Bd-2	年86	102	8-81				
8 C D4種	円盤	1656	8-38 23	C Lf-21	年86	8-53	31	Wf	年86	8-68	53	B Bd-2	年86	103	8-81				
9 C D4種	円盤	1666	8-39 24	C Lf-21	年86	8-54	39	B Cd-1	年86	8-69	54	B Cd-1	年86	123	8-91				
10 4種	円盤	1650	8-40 25	C Ld-4	年86	8-55	40	C Kd-2	年86	8-70	55	B Cd-2	年86	120	8-91				
11 B Cd種	円盤	1594	8-41 26	A TS2-2	年86	8-56	42	Wf	年86	8-71	56	B Cd-2	年86	102	8-91				
12 B Cd種	円盤	1669	8-42 27	A TS2-2	年86	8-57	42	C Kd-2	年86	8-72	57	B Cd-2	年86	104	8-91				
13 C Pd-3	円盤	1379	8-43 28	D Fd-2	年86	8-58	43	C Qd-2	年86	8-73	58	C Pd-1	年86	103	8-91				
14 C Ld-3	円盤	1371	8-44 29	C Ld-4	年86	8-59	44	C Qd-2	年86	8-74	59	Wf	年86	177	8-92				
15 C Ld-3	円盤	1664	8-45 30	C Qd-3	年86	8-60	45	B Bd-2	年86	8-75									

第24図 円盤状土器品(4)



品番	出所	時代	形状	文様	寸法	備考	品番	出所	時代	形状	文様	寸法	備考	品番	出所	時代	形状	文様	寸法
1	C LA4-1	平野	4502	8-10	19	CMAI-2	平野	264	8-10	19	C 25-1	平野	40	8-10	20	B 100-1	平野	2277	8-12
2	C LA4-2	平野	134	8-10	11	平野	6270	8-10	20	C 26-2	平野	6075	8-10	19	B 107-3	平野	3023	8-12	
3	C K41-1	平野	6230	8-10	12	CMBP-2	平野	6067	8-10	21	C P-C 044	平野	1481	8-10	20	A T3-2	平野	2082	8-12
4	C K41-2	平野	635	8-10	13	CMBP-2	平野	1756	8-10	22	C P-C 47-2	平野	1633	8-10	21	C LA4-1	平野	2237	8-12
5	C K39-2	平野	4274	8-10	14	C O4-1	平野	6648	8-10	23	平野	6278	8-10	12	B C 48-2	平野	1294	8-12	
6	C K39-3	平野	4264	8-10	15	C N6-1	平野	2558	8-10	24	B P5-1	平野	1600	8-10	23	B A32-2	平野	2264	8-12
7	C K39-4	平野	471	8-10	16	C J40-2	平野	1527	8-10	25	C R3-2	平野	879	8-10					
8	C MB-1	平野	437	8-10	17	C J30-1-2	平野	2699	8-10	26	B O4-2	平野	1629	8-10					
9	C MB-2	平野	6532	8-10	18	DE21-2	平野	1366	8-10	27	B D9-2	平野	995	8-10					

第25図 円盤状土製品(5)

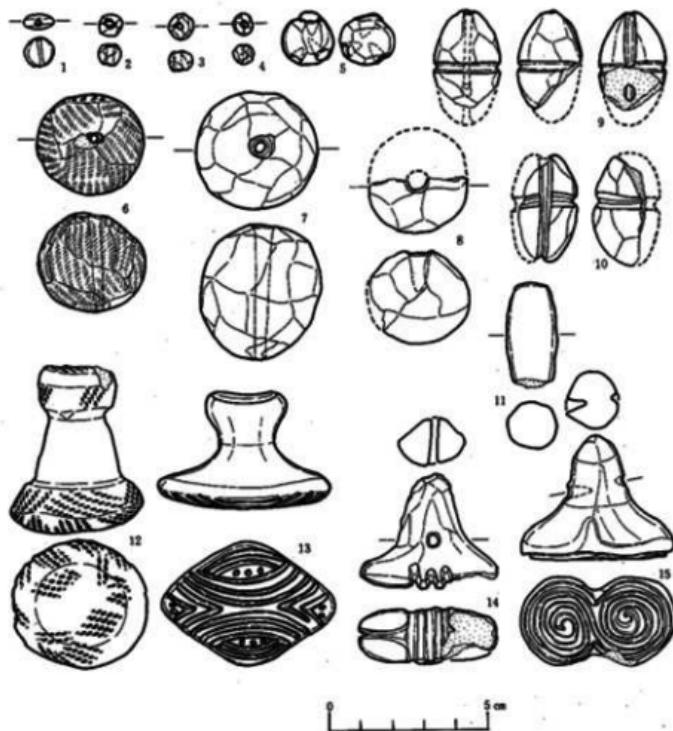
類すると次のようになる。

- I 円形のもの。摘み部の横断面も円形である。(12)
- II 菱形のもの。摘み部の横断面はやや楕円形である。(13)
- III 長楕円形のもの。摘み部の横断面はやや楕円形である。(14)
- IV 括弧のある長楕円形のもの。摘み部の横断面はやや楕円形である。(15)

平坦部の文様をみると、Iが縦文があるのみではあるが、IIは弧線と列点からなる左右対称的なもの、IIIは直線からなる左右対称的なもの、IVはS字状の渦巻文である。いずれの文様も幾何学的で端正である。摘み部には孔があるものとないものとがある。

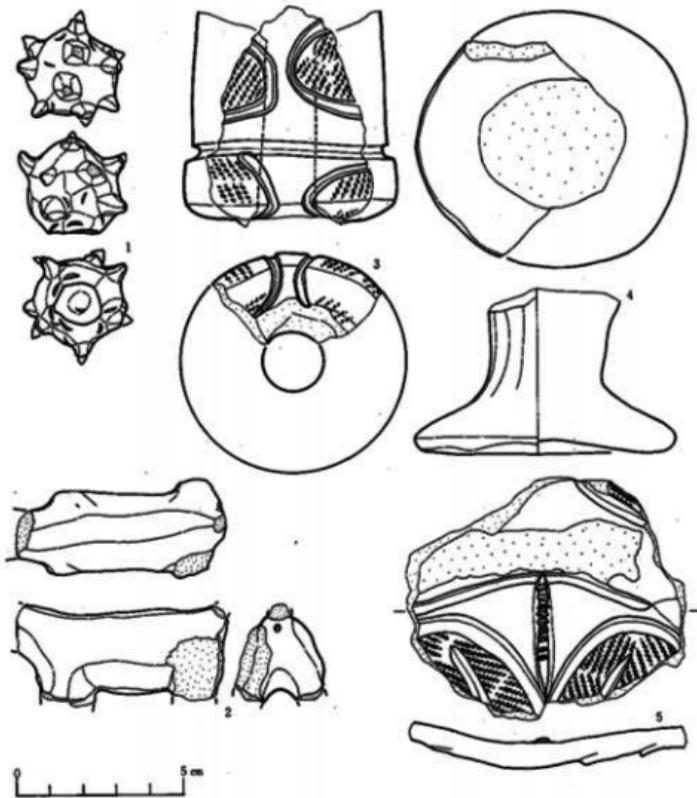
#### ウニ形土製品 (第27図1)

不整形の球状のものに小さな突起が11個ついている。下端と思われる部分に円形の浅い窪みがあり、その部分を下にして置くと安定がよい。突起を棘にみてれば棘皮動物のウニに最も



番号	地 区	層 号	時 期	分 類	長さ (mm)	幅 (mm)	備 考	資料番号	圖 形
1	C L40-16	16	土器	土器	8.7	5.1		4405	9-1
2	C L40-15	15	土器	土器	6.6	7.2		2200	9-2
3	C M40-5	15	土器	土器	6.2	6.2		3317	9-3
4	C L39-25	15	土器	土器	5.6	6.7		4800	9-4
5	C L39-31	15	土器	土器	16.8	16.0		4800	9-5
6	C M39-37	15	土器	土器	36.7	35.7		3317	9-6
7	C M40-18	平頭	土器	土器	42.1	37.1		3317	9-7
8	D E39-2	平頭	土器	土器	39.4	35.2		33	9-8
9	C M40-7	平頭	土器	土器	30.5	32.8		3300	9-9
10	C M40-27	15	土器	土器	36.1	33.7		5400	9-10
11	C L39-36	15	標記土器	土器	31.8	35.2		3300	9-11
12	C M40-3	15	ハタツゲ形土器	土器	36.7	45.9		4807	9-12
13	C L39-21A	15	ハタツゲ形土器	土器	35.5	45.8		33	9-13
14	C L41-2	平頭	ハタツゲ形土器	土器	39.0	46.7		4809	9-14
15	C L39-33	15	ハタツゲ形土器	土器	34.7	35.1		3376	9-15

第26図 土玉・有滑土器・棒状土器品・スタンプ形土器品



番号	地 区	形 似	時 期	分 類	高さ (mm)	幅 (mm)	目	出典番号	備 考
1	C L49-34	Y		○+砂土製品	39.8	33.0		307	10-1
2	C K38-10	不詳		動物形土製品	63.2	22.7	△+砂	373	10-2
3	C L42-2-4	II		有孔内模式土製品	62.8	48.1		6479	10-3
4	C M48-2	不詳		半塑土製品A	49.5	77.3		-	10-4
5	C M41-19	Y		半塑土製品B	72.1	62.6	圓盤；底中央	6371	10-5

第27図 ウニ形土製品・動物形土製品・有孔円柱状土製品・不明土製品A・B

似ている。ウニとすれば下端の円形は口のある部分に相当する。なお、表面には突起を摘みだす時に爪先の痕部がいくつもある。

### **動物形土製品（第27図2）**

頭部・四肢・尾部がおのれの欠落し、縄文や文様などが一際ない、つくりの粗雑な動物形の土製品である。首から腰にかけてなだらかで尾がやや上向きかげんになる。肩や民部があまり張り出さず、全体的にスマートである。腹部はやや下方に膨らみ、尾の下には肛門と考えられる刺突がみられる。この動物形土製品は、たてがみがないことや首のつくり出しが明瞭であることなどから大に類似したものと考えられる。

### **有孔円柱状土製品（第27図3）**

円柱状の土製品で、中央に太い孔が縱貫する。破片のため全体の大きさや文様などはわからない。端部近くに一条の沈線がめぐり、その間に磨消縄文を伴う連弧文が(4個?)めぐる。

端部の孔の周囲は幾分高まりがあったようであるが、破れていて不明である。用途は装身具であろうか。

### **不明土製品A（第27図4）**

平板な部分しか残っていない土製品の破片である。端部の一部が残っているが、本来の形状はわからない。表面に磨消縄文を伴う曲線的な沈線文が配されているがモチーフはわからない。端部近くと推定される部分に沈線が円弧状にみられるので、全体の平面形は円や椭円に近いものであった可能性もある。裏面は調整されず、粘土を押された時の壁(鐵)や凹凸が著しいので、この部分は目に触れにくい部分か、調整しにくい部分であったとも考えられる。剥離した面であることも考えたが、そうではないようである。なお、粘土を押された部分には非常に目の細かな編布の痕跡がある。

これは2mm間に3本程度の横糸がみられるが、縦糸は圧痕としては不明瞭なものである。

用途については土面の一部とも考えたがよくわからない。ごくありふれた器形の土器の一部で無いことだけは確かである。

### **不明土製品B（第27図5）**

円盤状の台に円柱状のものがつく土製品の破損品である。円盤状の内面はやや窪みかげんで無文である。用途については不明である。

### III. 石器

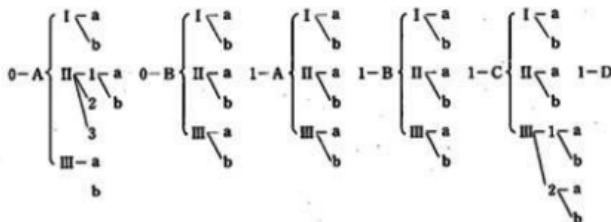
田柄貝塚から出土した石器には、石鉄、尖頭器、石錐、石匙、不定形石器、ピエス・エスキュー、石核、打製石斧、磨製石斧、磨石類・石皿類、石棒類がある。これらの石器は第28図に示した基準で計測し、観察表にその数値を記入した。なお、遺物の微細な観察にはオリンパス三眼鏡筒式実体顕微鏡XT-Rを使用した。

#### 石鏃 (第32図～第82図)

ここでは矢の先に付けて用いたと考えられる小型の石器を扱う。総数1265点出土している。

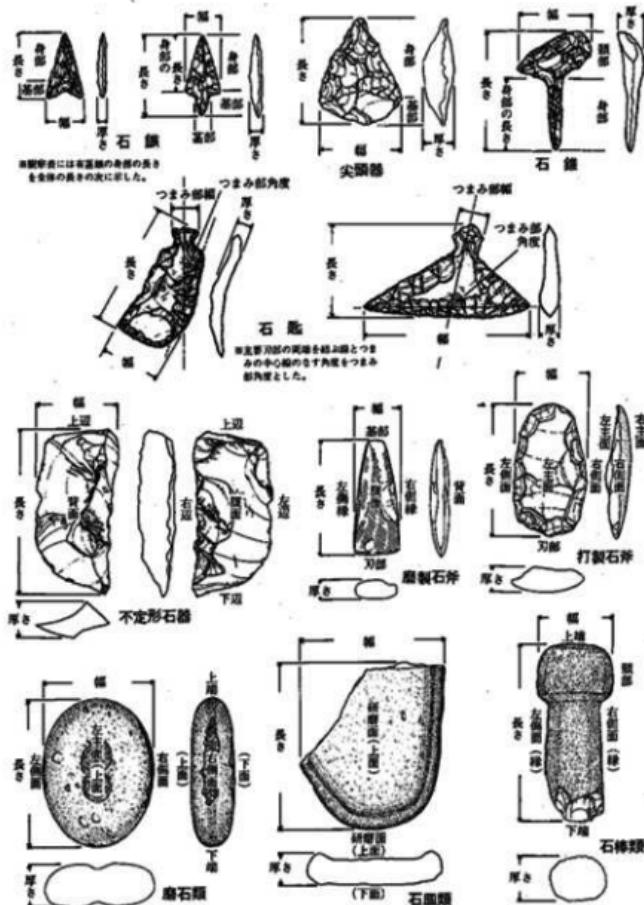
##### 1分類

分類に当たっては完形品を中心にして、破損品でも形態の想定できるものについてはこれに含めてある。分類は無茎鐵(0)と有茎鐵(1)に大別し、基部形態で(A)凹基のもの、(B)平基のもの、(C)凸基のもの、(D)尖基のものに、側縁部形態で(I)直線的なもの、(II)外弯するもの、(III)内弯もしくはくびれるものに分け、各類ごとに(a)身部が正三角形状のもの、(b)身部が二等辺三角形状のものに分類した。ただし、無茎鐵0A II類は基部の抉りの特徴で(1)浅いもの、(2)逆U字状で深いもの、(3)半円状で浅いものに分け、有茎鐵1A III類は基部の下端の特徴で(1)鋭利なもの、(2)鈍く丸みをおびるものに分けられた。また、有茎鐵1D類の基部形態が尖基としたものは從来の尖基鐵とするものである。これらをまとめると次のような種類がある。



##### 2出土状況と時期的変化

これらの石鏃には、8号胎児骨に伴うものが1点(第1分冊遺構編参照)ある。他は總て南側遺物包含層から出土したものである。総数1,265点の内、時期の特定できるものは968点(76.5%)である。これらを地区ごと見ると、CL39区から243点、CL41区から234点、CM41区から189点、CL40区から167点と多出し、CM39区、CM40区はそれぞれ47点と80点の出土であり少ない。CM39区、CM40区が少ないので後世の削平が原因と考えられる。次に細



第26図 石器部位名称・計測基準図

分類	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII	XVIII
0 A I a	2	6	7	6	6	5	5	3	30	2	45					
0 A I b		1	10	10	13	4	12	49	22	72						
0 A II a	5	2	13	10	10	9	4	1	59	12	71					
0 A II b	2	3	5	9		4	3	1	27	16	45					
0 A III a		1	3	3	1				8	2	10					
0 A III b		1			2	2	48	1	34	6	60					
0 A IV a	1	2	9	4	1				18	12	31					
0 A IV b		3	6	23	7	7			46	16	60					
0 A V a			8	19	9	3			27	9	36					
0 B I a			5	2	3	2			12	1	22					
0 B I b	3	1	4	6	1	3			17	4	21					
0 B II a	2		5	2	2			3	22	1	22					
0 B II b	1		4	1	6			2	11	17	36					
0 C I a	1		2	2	2			2	8	3	11					
小計	10	25	74	96	60	35	39	4	367	122	516					
1 A I a		1	1	1		1			5	1	6					
1 A I b		2			2	1			4							
1 A II a		2	3	5	2	1			12	1	34					
1 A II b					1				1	1	2					
1 A III a		2	3						2	1	4					
1 A III b			1						3	3	3					
1 A IV a								1		3	1					
1 B I a	1		3	1	1	1			5	3	6					
1 B I b		2	3	1	3	2			8	4	12					
1 B II a			1						1		1					
1 B II b			3	1					4	4	6					
1 B III a		1							2		3					
1 B III b			2													
1 C I a	1		14	20	16	12	2	1	85	9	96					
1 C I b	2		20	40	26	5	9		140	49	140					
1 C II a	1		8	20	14	12	10		40	12	70					
1 C II b	5		14	62	13	8	21		122	20	240					
1 C III a	1	1	4	14	3	1	1		35	4	39					
1 C III b	2		13	6	4	4	2		36	12	41					
1 C IV a				1					1	2	3					
1 C IV b	1		10	2	6	4			26	11	36					
1 C V a	1		8	26	14	4	6		48	8	55					
D		1	5	9	4	2	2		22	14	37					
小計	8	25	106	222	196	58	60	1	561	266	747					
合計	10	37	179	277	173	93	130	5	908	297	1260					

第5表 石器時期別・分類別出土数量表

分された層位ごとに出土数量を見る。第IV期に属するCL39区36層から49点、CL41区17層から44点、CL41区18層から40点、第V期に属するCL41区16層から53点、CM41区25層から48点と層によってはまとまった出土を示すものもある。

時期別分類別出土量数表を作成すると第6表となる。第V期には327点(33.8%)の最大数を示し、第VII期は93点(9.6%)と少ない。第VIII期は138点(14.3%)とやや増加を示す。

無茎鐵と有茎鐵別で見ると、第IV期から第VII期では有茎鐵の多出が見られ、第VIII期では逆に無茎鐵の多出が見られる。次に細分した器種ごとで見ると、0A III a類、1C III b類第IV期に、0A I a類、0A III b類、1C I a類、1C I a類、1C II b類、1C II b類、1C III a類が第V期に、0A II<sub>3</sub>類が第VIII期にそれぞれ多出を示す。全期を通して見ると無茎鐵では0A I類、0A II<sub>3</sub>類、0A III b類がそれぞれ多出し、有茎鐵では1C I類、1C II類がそれぞれ多出している。

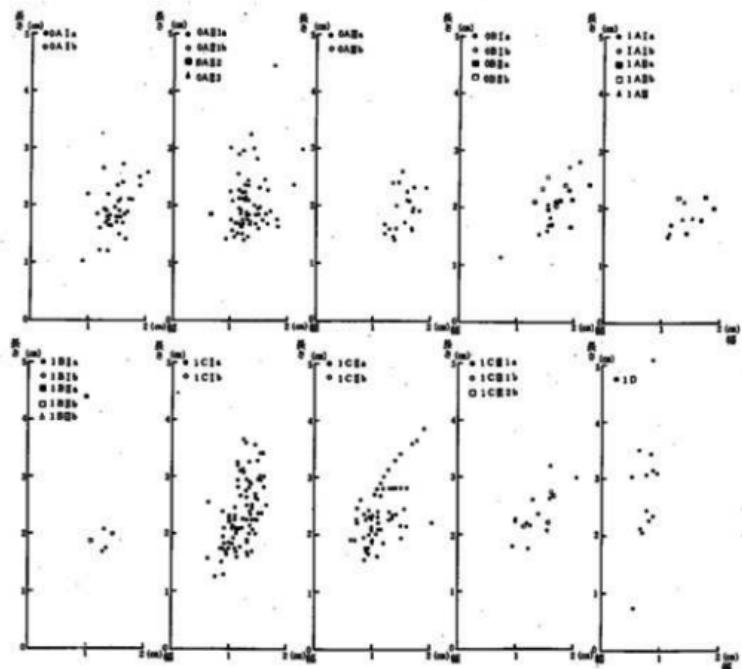
### 3属性の特徴

#### 大きさと重さ

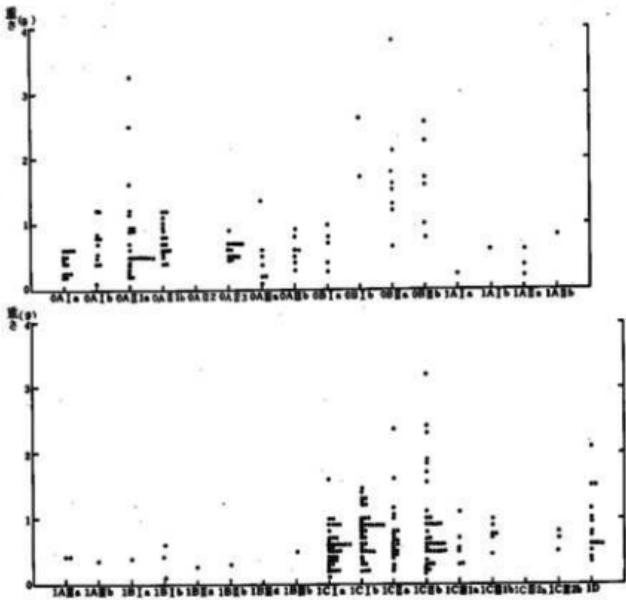
完形品に限って各類の計測を行なった。第29図は各類の長さと幅の関係を示したものである。

無茎鍔では、長さは1.5~2.5cmの間に、幅は1.5cm前後に集中して多く認められ、中にはA II類のように一部長さの長いものもある。有茎鍔では、1A類、1B類が長さ2cm前後に幅1~1.5cmの間に集中し、1C類は長さ2~3cm前後に幅は1A類、1B類同様1~1.5cm前後に集中して多い。1D類は長さ2~3.5cmの間に、幅は0.5~1cmの間に多く見られる。

第30図は各類の重さを示したものである。有茎・無茎を問わず大半のものが1g以下である。



第29図 石器分類別長さ・幅相関図



第30図 石類分類別重さ分布図

しかし、中には0A II<sub>1</sub>a類、0B I b類、0B II a類、0B II b類、1C II a類、1C II b類、1D類の一部に2gを越える重いものも少数見られ、量的に少ない1A類や1B類には0.5g以下の軽いものもある。

#### 石材

石材の種類は13種類を数える。各時期ごとの石材別出土数量を見ると第7表となる。各時期を通して珪質頁岩(38.3%)、珪化凝灰岩(28.3%)、黒色頁岩(14.4%)の使用頻度が高く、これら3種類だけで全体の80%を越えている。これらを第IV期～第VII期の間で見ると、珪質頁岩はほぼ安定して多く利用され、珪化凝灰岩は第IV期に幾分少なく第VII期は逆に多く使用される傾向にある。黒色頁岩は第IV期に珪化凝灰岩よりも多く利用されるが徐々に使用頻度が下がり、特に第VII、VIII期には急激に少なくなる傾向を示している。

次に、分類ごとに占める石材別の出土数量を見ると、無茎鐵では第8表、有茎鐵では第9表となる。出土量の比較的少ない黒曜岩、碧玉、石英安山岩質凝灰岩は無茎鐵の中でも回基無

石種	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	Ⅺ	Ⅻ	Ⅼ	Ⅽ
結晶質岩	81(98.0)	43(26.17)	49(24.13)	129(37.4)	49(26.9)	49(23.0)	54(36.8)	31(48.0)	273	127(42.4)	469			
結晶質變質岩	26(30.0)	21(20.5)	24(22.0)	69(27.2)	26(26.9)	27(29.0)	29(24.2)	11(25.0)	274	66(28.4)	362			
黑色變質岩	1(6.2)	4(11.1)	4(22.2)	6(17.4)	3(23.9)	4(6.5)	7(5.6)	0	139	36(16.1)	169			
黑 磷 岩	1(2.2)	1(2.7)	1(5.6)	1(2.0)	1(4.8)	1(3.3)	4(2.8)	0	35	12(4.1)	47			
綠 玉	1(6.2)	1(2.7)	1(1.6)	1(2.0)	1(4.8)	1(3.3)	1(0.7)	0	33	1(2.4)	49			
玉 精	1(6.2)	4(16.6)	1(6.1)	1(19.7)	1(7.6)	1(16.6)	1(6.6)	1(20.6)	95	33(7.1)	133			
灰 級 石				1(0.2)	1(0.6)	1(1.1)	1(1.4)		9	1(0.2)	6			
砂質變質岩					1(0.4)				1		1			
綠色變質岩									3	1(0.2)	3			
石灰岩山地變質岩				4(2.2)	3(0.9)	1(0.4)	1(2.2)	3(2.2)	24	9(3.6)	29			
綠色變質岩				1(0.4)					3		1			
綠色花崗岩山地變質岩				1(0.2)					3		1			
黑 級 石										1(0.2)	1			
計	161(99.6)	271(100.0)	179(100.0)	307(100.0)	179(100.0)	193(100.0)	138(100.0)	51(100.0)	368	387(100.0)	1260			

第7表 石器時期別・石材別出土數量表

分類	石種	結晶質岩	結晶質變質岩	黑色變質岩	黑 級 石	綠 玉	玉 精	灰 級 石	綠色變質岩	綠色花崗岩	綠色變質岩山地	綠色花崗岩山地變質岩	黑 級 石	計
OAH <sub>1</sub>	19	15	2	4	1	4	1	—	—	—	—	—	46	
OAH <sub>2</sub>	36	36	3	2	3	5	8	—	—	—	—	—	71	
OAH <sub>3</sub>	27	16	1	1	11	7	1	1	—	—	—	—	72	
OAH <sub>4</sub>	26	10	1	3	3	3	5	1	—	—	—	—	45	
OAH <sub>5</sub>	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
OAH <sub>6</sub>	25	26	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	60	
OAH <sub>7</sub>	12	6	2	3	3	3	3	1	—	—	—	—	31	
OAH <sub>8</sub>	18	27	5	5	3	4	6	—	—	—	—	—	62	
OAH <sub>9</sub>	14	6	1	8	4	2	—	—	—	—	—	—	36	
OBI <sub>1</sub>	5	5	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	13	
OBI <sub>2</sub>	12	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	
OBI <sub>3</sub>	1	6	1	—	—	4	1	—	—	—	—	—	13	
OBI <sub>4</sub>	14	9	1	1	—	—	2	1	—	—	—	—	28	
OBI <sub>5</sub>	4	3	—	2	1	1	—	—	—	—	—	—	11	
計	255	261	23	36	32	45	17	2	1	—	—	—	510	

第8表 無莖葉分類別・石材別出土數量表

分類	石種	結晶質岩	結晶質變質岩	黑色變質岩	黑 級 石	綠 玉	玉 精	灰 級 石	綠色變質岩	綠色花崗岩	綠色變質岩山地	綠色花崗岩山地變質岩	黑 級 石	計
2AH <sub>1</sub>	1	1	1	1	—	1	1	—	—	—	—	—	0	
2AH <sub>2</sub>	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
2AH <sub>3</sub>	2	8	1	—	1	4	—	—	—	—	—	—	14	
2AH <sub>4</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
2AH <sub>5</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
2AH <sub>6</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
2AH <sub>7</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
2AH <sub>8</sub>	2	2	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	6	
2AH <sub>9</sub>	2	7	1	—	—	3	1	—	—	—	—	—	10	
2AH <sub>10</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>11</sub>	3	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	6	
2AH <sub>12</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>13</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>14</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>15</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>16</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>17</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>18</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>19</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>20</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>21</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>22</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>23</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>24</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>25</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>26</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>27</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>28</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>29</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>30</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>31</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>32</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>33</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>34</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>35</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>36</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>37</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>38</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>39</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>40</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>41</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>42</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>43</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>44</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>45</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>46</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>47</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>48</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>49</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>50</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>51</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>52</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>53</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>54</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>55</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>56</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>57</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>58</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>59</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>60</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>61</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>62</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>63</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>64</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>65</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>66</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>67</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>68</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>69</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>70</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>71</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>72</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>73</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>74</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>75</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>76</sub>	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
2AH <sub>77</sub>	1	—	—	—										

茎鐵に多く認められ、特に有茎鐵には少ない傾向を示す。出土量が極めて少ないので細粒凝灰岩、細粒石英安山岩質凝灰岩、砂質凝灰岩は有茎鐵の中でも凸基有茎鐵にだけ認められる。

#### 欠損部

総数1,265点の内、971点(76.8%)が欠損品である。これら欠損品の多くは有茎・無茎の別を問わず先端部の欠損するものが多く、さらに無茎鐵ではかいし部、有茎鐵では茎部の欠損するものも多い。中には他の類にはあまり見られない特異な欠損状況を示すものがある。0A II<sub>3</sub>類は特異な例であり、身部の中央部から横折れするものや先端部から基部にかけて縦割れしている(第67図17、第68図7~25、第73図24・25)ものが多い。

#### 4アスファルト付着状況

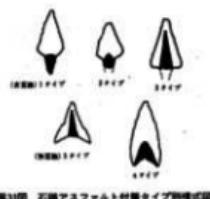
総数1,265点の内、アスファルトが付着するものは148点(11.7%)である。付着状態を個々に観察すると4種のタイプ(第31図模式図)に分けることができる。

1タイプ：茎部に付着し、身部との境が平らに観察されるもの

2タイプ：基部から身部の下端部まで付着し、身部の下端部では三角形もしくは丸みをおびて観察されるもの

3タイプ：基部から身部の中央部または先端部まで付着し、身部上では除女に先が細くなる槍先状に観察されるもの

4タイプ：基部から身部の中央部まで付着し、舌状に観察されるもの



以上4種のタイプは、石鐵の矢柄への固定方向の違いを示すと考えられる。1タイプ、2タイプは有茎鐵だけ認められるが無茎鐵の一部にも認められる。4タイプは無茎鐵にだけ認められる。これらのことをふまえた固定方法を想定すると、1タイプは茎部だけを固定するもん、2タイプは茎部のみならず身部の下端までも固定する。(矢柄の先端が幾分尖り気味である可能性がある)もの、3タイプは矢柄の先端を細長く尖らせ身部全体をも挟み込むように固定するもの、4タイプは基部から身部の中央部までを挟み込んで固定するものと考えられる。

これらの4種のタイプをもとに、時期別・タイプ別出土数量表を作成すると第10表となる。

1タイプと2タイプは共に第V期に、第3タイプは第IV期に、4タイプは第VIIIそれぞれ多出している。

次に、無茎鐵・有茎鐵別で見ると無茎鐵は25点で無茎鐵全体に占める割合は48%である。有茎鐵は123点で有茎鐵全体に占める割合は16.5%である。このことは無茎鐵に占めるアスファルト付着率は有茎鐵に比べ低いことを示している。

タイプ	期別										平均	総計
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X		
無茎鐵	3 (6.7)	3 (25.0)	25 (50.0)	45 (30.0)	11 (20.0)	6 (30.0)	14 (20.0)	35 (17.5)	26 (15.0)	123	33.3	333
1タイプ	2	2	7	26	10	4	12	—	—	75	10	85
2タイプ	—	—	7	8	1	3	1	—	—	10	6	25
3タイプ	1	5	2	—	—	1	—	—	—	3	4	20
無茎鐵	2 (4.9)	1 (1.5)	2 (3.2)	3 (4.4)	2 (3.5)	10 (32.7)	1 (3.5)	29 (5.4)	4 (3.5)	4	3.5	36
2タイプ	1	1	1	—	—	—	—	—	—	4	3	7
3タイプ	1	—	—	1	3	1	10	—	—	16	1	17
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
合計	1 (6.3)	5 (34.7)	29 (30.0)	50 (34.0)	14 (8.0)	8 (4.0)	26 (27.0)	1 (2.0)	12 (12.7)	24	14.0	160

第10表 アスファルト付着石鐵・タイプ別時期別出土数表

アスファルトの付着率を時期ごとに見ると、無茎鐵は第V期が最も低率であり以後第VIII期まで徐々に高率化する傾向にある。有茎鐵は第V期にやや高い率を示すが第VII期にはさらに高率となり、有茎無茎を問わず第VIII期にはアスファルトの付着率が高くなることが言える。

### 50A II<sub>3</sub>類について

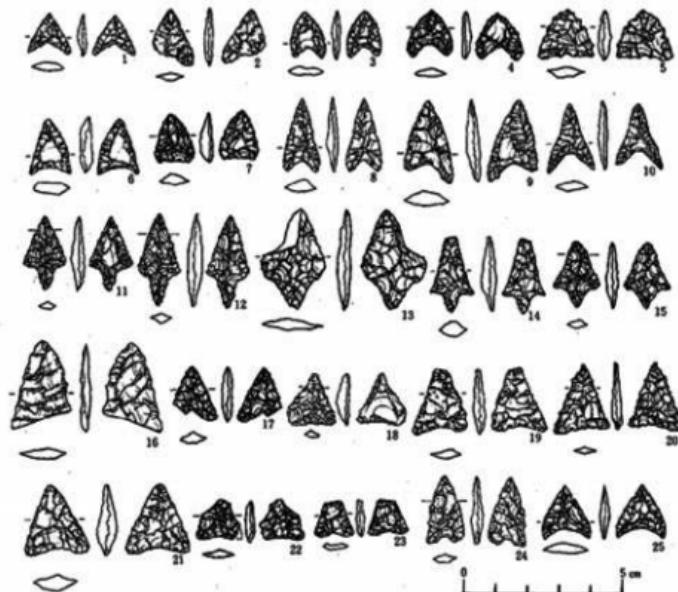
宮城県中沢貝塚(須藤-1984)では、「凹基の薄手な石鐵」が根ばさみの二又部にアスファルトで固定された状態で出土している。このことによって根ばさみは二又部に石鐵を挟み込んで固定し使用されたものであることが確認されている。この二又部に固定された石鐵を見ると本遺跡出土の0A II<sub>3</sub>類は形態及びアスファルトの付着状況において酷似している。また時期的にも大きく隔たるものではない。さらに、0A II<sub>3</sub>類が第VIII期に急増傾向を示すが、本遺跡出土の根ばさみもまた同様に第VIII期に顕著な急増傾向(第III分冊参照)を示している。このことは石鐵0A II<sub>3</sub>類が根ばさみの二又部へ装着され使用されたものであることを裏付ける結果となっている。

### 6石鐵の射込まれた痕跡のある動物遺存体(図版68~70)

既に『季刊考古学第11号特集「動物の骨が語る世界」-1985・5』で報告されているが、田柄貝塚では石鐵の射込まれた痕跡のある動物遺存体が6例出土している。そのうちわけは、イノシシの下顎骨1例(図版68-1)・肩甲骨1例(図版68-2)・肋骨2例(図版69-3・4・5)とニホンジカの頭骨1例(図版69-6・7)・肩甲骨1例(図版70-8・9)である。

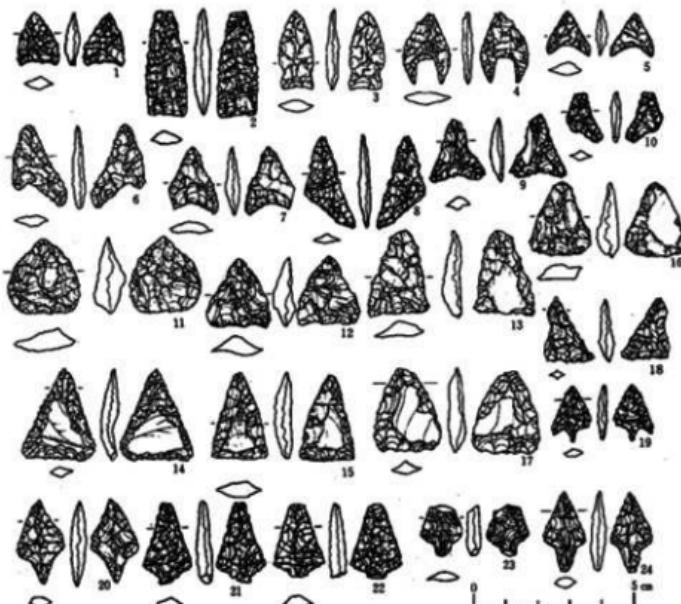
番号	地区	標記	時期	場	形	長さ(cm)	幅(cm)	圖版号
1	C L40-15	電	イノシシ	上下顎骨下顎内側面	46.8	32.2	左前方中央から右側斜方向、骨縫隙	68-1
2	C L40-17-18	電	イノシシ	左前甲子後端近辺	46.3	30.2	右中央前方から左側斜方向、骨縫隙	68-2
3	C M40-25	電	イノシシ	左前甲子後端	168.8	23.5	右中央中央から左側斜方向、骨縫隙	68-3・4
4	C L40-31 (30)	電	イノシシ	左前6肋骨	175.6	14.6	右中央中央から左側斜方向、骨縫隙	68-3・5
5	C L40-38	電	ニホンジカ	右前6肋骨内側面	141.4	42.5	左前中央中央から右側斜方向、骨縫隙	68-4・7
6	C L41-18	電	ニホンジカ	左前甲子後端近辺	190.4	66.4	右中央中央から左側斜方向、骨縫隙	70-8・9

第11表 石鐵の射込まれた動物遺存体



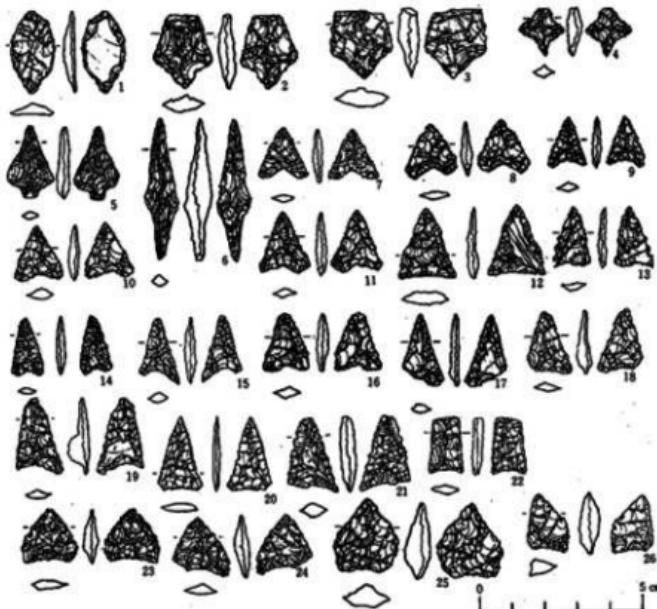
番号	時代・種類	地図	D	標	西	東	北	南	直立( cm )	横立( cm )	厚さ( mm )	頭( mm )	先端( mm )	アラカルト	標	年	出土地名	回	説
1	CMS-18	II	SA1a						18.3	13.3	2.5	9.05					2494	11-1	
2	CMS-19	II	SA1a						18.2	(12.2)	2.6	9.82	直端				2515	11-2	
3	CMS-10	II	SA1b						14.6	10.6	2.5	5.28					2493	11-3	
4	CLS-36	II	SA1b						15.6	14.0	2.5	5.3					2518	11-4	
5	CLA-22	II	SA1b						15.7	(17.3)	3.1	5.7	直端				2477	11-5	
6	CMH-36	II	SA1b						17.5	12.6	3.8	5.5					2519	11-6	
7	CLS-38	II	SA1b						15.5	12.8	3.5	5.5					2427	11-7	
8	CMH-19	II	SA1b						22.4	11.2	4.2	6.7					2442	11-8	
9	CLA-33	II	SA1b						20.4	(15.0)	5.5	(3.8)	直端				2516	11-9	
10	CLS-36	II	SA1b						(21.0)	(20.0)	2.5	(3.0)	先端・直端				2494	11-10	
11	CLS-36	II	IC 1a						23.3	15.0	3.0	4.8					2520	11-11	
12	CLS-36	II	IC 1b						20.8	19.2	3.0	4.4	6.8			1	2524	11-12	
13	CLS-36	II	IC 1b						23.30	20.0	4.8	(2.75)	先端				2479	11-13	
14	CMS-27	II	1BBS						(25.0)	(18.0)	3.5	4.8					2411	11-14	
15	CLS-36	II	ICM 2a						(21.0)-(15.4)	(16.0)	3.5	6.60	先端・直端				2425	11-15	
16	CMS-27	II	(1C)						(27.1)	(18.7)	2.5	(1.35)	直端・直端				2467	11-16	
17	CLS-37	II	SA1a						17.5	(13.0)	2.8	(0.85)	直端				2497	11-17	
18	CLA-29	II	SA1a						16.6	(14.0)	3.5	6.48					2520	11-18	
19	CMH-36	II	SA1a						21.0	17.5	3.5	(0.77)	先端・直端				2459	11-19	
20	CLA-19	II	SA1a						21.0	17.3	3.5	6.6					2442	11-20	
21	CLA-27	II	SA1a						22.40	20.8	4.5	(1.30)	先端				2466	11-21	
22	CLS-36	II	SA1a						(33.0)	(34.0)	7.7	(9.8)	先端・直端				2461	11-22	
23	CLA-27	II	SA1a						21.30	(12.0)	2.7	(0.30)	先端・直端				2467	11-23	
24	CMH-36	II	SA1b						23.0	(18.0)	3.5	(0.40)	直端				2463	11-24	
25	CLA-19	II	SA1b						26.1	19.8	3.5	(0.41)	直端				2463	11-25	

第32回 石 銛(1)



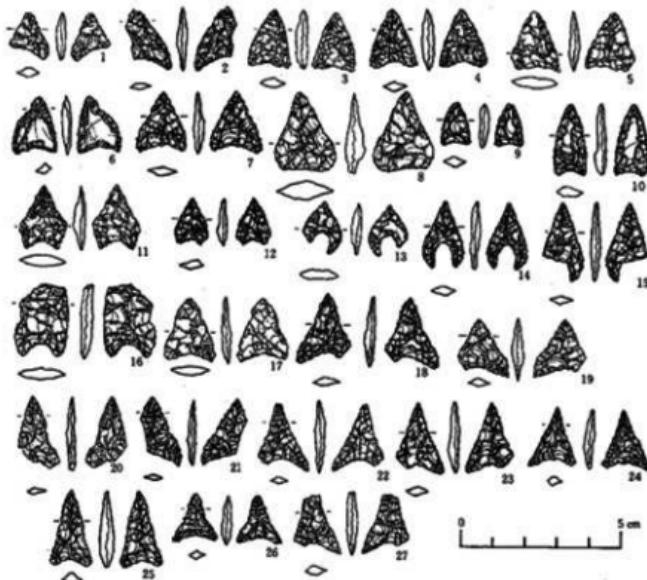
番号	地名・層位	地相	分類	名	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	火 灼 面	フリフリ	番号	地名・層位	地相
1	CLB-37	II	SA3a	直刃石器	16.0	13.2	4.0	6.5		3318	II-26	
2	CLB-38	II	SA3b	直刃石器	12.0	12.0	4.0	(3.4) 先端		3319	II-27	
3	CMB-1	II	SA3b	直刃石器	24.0	16.4	3.9	(3.1) 先端		3340	II-28	
4	CLB-37	II	SA3c	直刃石器	22.0	14.5	3.1	(3.45) 先端	3	3351	II-29	
5	CLB-37	II	SA3a	直刃石器	14.0	13.8	3.3	8.2		3359	II-30	
6	CMB-18	II	SA3a	直刃石器	26.0	17.0	3.8	(3.4) 先端		3360	II-31	
7	CLB-37	II	SA3a	直刃石器	21.0	13.0	3.7	(3.4) 先端		3361	II-32	
8	CLB-37	II	SA3b	直刃石器	20.0	13.0	3.9	(3.2) 先端		3362	II-33	
9	CLB-37	II	SA3b	直刃石器	26.0	17.0	3.2	(3.45) 先端		3363	II-34	
10	CLB-37	II	SA3b	直刃石器	24.0	17.0	3.2	(3.45) 先端		3364	II-35	
11	CMB-28	II	SA3a	直刃石器	22.0	15.2	5.5	3.4		3326	II-36	
12	CMB-28	II	SA3a	直刃石器	22.0	15.2	5.5	3.4		3327	II-37	
13	CLB-3-4	II	SD3a	側刃石器	22.0	16.5	5.5	1.70		3355	II-38	
14	CLB-27	II	SD3b	側刃石器	22.0	16.5	4.7	1.7		3357	II-39	
15	CLB-29	II	SD3b	側刃石器	22.0	16.5	4.5	1.20		3343	II-40	
16	CLB-1	II	SD3b	側刃石器	22.0	16.5	5.0	1.20		3348	II-41	
17	CLB-2	II	SD3b	側刃石器	22.0	16.5	5.0	1.20		3349	II-42	
18	CLB-10	II	SD3b	側刃石器	22.0	16.5	5.0	1.20		3350	II-43	
19	CLB-10	II	SD3b	側刃石器	22.0	16.5	5.0	1.20		3351	II-44	
20	CMB-19	II	SC3a	刮削器	26.0	17.0	2.5	(3.3) 滑面		3386	II-45	
21	CLB-37	II	SC3b	刮削器	20.0	13.0	4.0	(1.6) 先端		3388	II-46	
22	CMB-26	II	SC3b	刮削器	22.0	13.0	5.0	(3.4) 先端	1	3399	II-47	
23	CLB-37	II	SC3b	刮削器	20.0	13.0	4.0	(3.4) 先端		3402	II-48	
24	CMB-26	II	SC3b	刮削器	20.0	13.0	4.1	(3.4) 先端	1	3403	II-49	

第33図 石器(2)



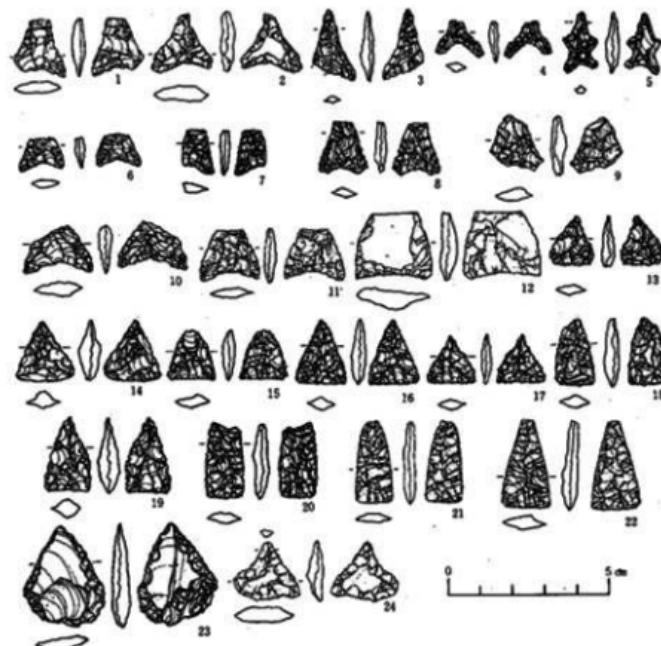
番号	地質・地層	形態	分類	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	大きさ	テクスチャ	目	登録番号	図	
1	CLB-37	H	HCB1b	石器	(23.6) - (27.5)	12.2	3.5	(0.30)	尖端		500	11-20
2	CLB-37	H	HCB1b	石器	(23.6) - (24.4)	18.2	4.7	(1.32)	尖端		5012	11-21
3	CLB-37	H	HCB1b	石器	(21.3) - (23.5)	18.7	6.5	(2.32)	尖端		506	11-22
4	CLB-37	H	HCB1a	石器	(18.2) - (19.5)	14.0	4.4	(0.45)	尖端		5214	11-23
5	CLB-37	H	HCB1b	石器	(23.3) - (23.5)	13.3	3.7	(0.77)	尖端・基部	3	5311	11-24
6	CLB-37	H	ID	石器	45.4	18.0	6.0	2.08			5774	11-25
7	CLB-18	H	SA1a	石器	15.2	13.1	2.0	0.4			5623	11-26
8	CLB-26	H	SA1a	石器	(16.3)	(16.6)	3.4	(0.42)	尖端・基部		5230	11-27
9	CLB-26	H	SA1a	石器	16.9	13.0	2.3	0.35			5149	11-28
10	CLB-26	H	SA1a	石器	17.0	15.0	3.1	0.5			2975	11-29
11	CLB-26	H	SA1a	石器	(28.6)	(28.6)	3.3	(0.4)	基部		5227	11-30
12	CLB-17	H	SA1a	石器	21.5	17.5	3.2	0.6			4229	11-31
13	CMH-27	H	SA1b	石器	18.5	(21.0)	2.2	(0.20)	尖端		3395	11-32
14	CLB-18	H	SA1b	石器	(17.2)	(16.6)	2.5	(0.30)	尖端・基部		4345	11-33
15	CMH-27	H	SA1b	石器	(28.5)	(22.4)	3.0	(0.3)	尖端・基部		3397	11-34
16	CLB-26	H	SA1b	石器	(27.5)	14.2	2.0	0.54			3760	11-35
17	CLB-26	H	SA1b	石器	(22.2)	(19.4)	2.0	(0.3)			5145	11-36
18	CMH-27	H	SA1b	石器	(29.4)	(18.3)	4.0	(0.45)	尖端	(SFC)・先端研磨面II	3239	11-37
19	CLB-17	H	SA1b	石器	(20.4)	(24.1)	3.2	(1.2)	尖端	先端面・先端研磨面II	4233	11-38
20	CLB-26	H	SA1b	石器	(22.4)	(25.2)	2.2	(0.35)	尖端		3972	11-39
21	CLB-18	H	SA1b	石器	(23.4)	(24.4)	4.5	(1.0)	尖端		4204	11-40
22	CMH-27	H	SA1b	石器	(28.6)	11.6	3.0	(0.4)	尖端	(SFC)	3236	11-41
23	CLB-18	H	SA1b	石器	(26.8)	(27.4)	4.4	(0.45)	尖端		4253	11-42
24	CLB-17	H	SA1b	石器	18.0	(27.4)	4.4	(1.0)	尖端		4234	11-43
25	CLB-26	H	SA1b	石器	23.5	19.0	7.7	2.5		(SFC)	3237	11-44
26	CLB-18	H	SA1b	石器	(26.8)	(22.8)	4.0	(0.35)	尖端		4266	11-45

第34図 石器(3)



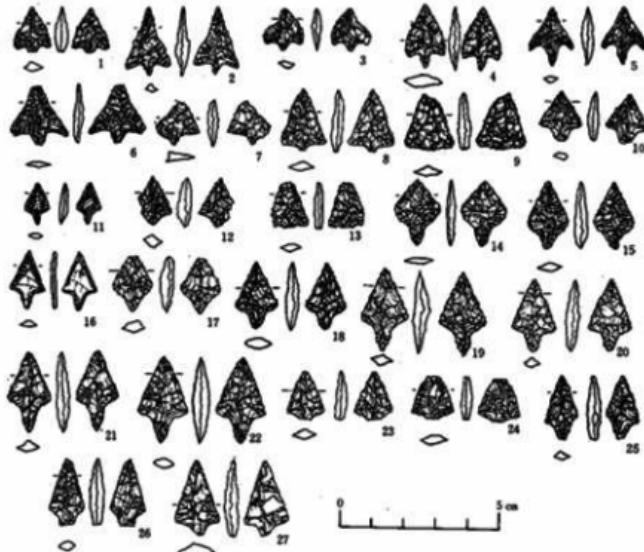
番号	地名・層位	種類	分類	計数	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	大きさ	特徴	標	年	登録番号	組
1	CMS-27	?	?	1	(14.0)	(12.0)	3.7	(0.2)	先端・腹側			2241	11-77	
2	CL41-18	?	?	1	(23.0)	(18.0)	3.6	(0.45)	先端・腹側			4207	11-78	
3	CL41-17	?	?	1	(17.0)	(12.0)	3.5	(0.45)				4219	11-79	
4	CL41-18	?	?	1	(17.0)	(12.0)	3.5	(0.7)	先端			4244	11-80	
5	CL41-26	?	?	1	(18.0)	(17.0)	3.8	(0.7)	腹側			2079	11-81	
6	CL41-15	?	?	1	(17.0)	(12.0)	3.5	(0.45)	(0.6)			4207	11-82	
7	CL41-26	?	?	1	(18.0)	(15.0)	3.8	(0.6)				2225	11-83	
8	CL41-17	?	?	1	(15.0)	(12.0)	3.5	(0.6)				4224	11-84	
9	CL41-26	?	?	1	(14.0)	(10.0)	3.5	(0.55)	先端・腹側			2226	11-85	
10	CL41-26	?	?	1	(12.0)	(10.0)	3.5	(0.45)	先端			2226	11-86	
11	CL41-26	?	?	1	(18.0)	(17.0)	3.8	(0.7)	腹側			2079	11-87	
12	CL41-26	?	?	1	(18.0)	(17.0)	3.8	(0.7)	先端	(15個)		2227	11-88	
13	CL41-18	?	?	1	(15.0)	(12.0)	3.5	(0.6)	腹側			4245	11-89	
14	CL41-26	?	?	1	(15.0)	(13.0)	3.7	(0.65)	先端			2224	11-90	
15	CL41-26	?	?	1	(18.0)	(13.0)	3.8	(0.7)	先端・腹側	(15個)		2226	11-91	
16	CL41-17	?	?	1	(20.0)	(16.0)	3.5	(0.4)	先端			4223	11-92	
17	CL41-26	?	?	1	(18.0)	(16.0)	3.8	(0.6)				2226	11-93	
18	CL41-26	?	?	1	(18.0)	(16.0)	3.8	(0.6)	腹側			2226	11-94	
19	CL41-26	?	?	1	(18.0)	(16.0)	3.8	(0.6)	腹側			2079	11-95	
20	CL41-17	?	?	1	(20.0)	(18.0)	3.5	(0.65)	腹側			4227	11-96	
21	CL41-18	?	?	1	(20.0)	(19.0)	3.5	(0.6)	腹側			4242	11-97	
22	CL41-17	?	?	1	(20.0)	(18.0)	3.0	(0.6)	腹側	3	鹿ハゲナ	4224	11-98	
23	CL41-26	?	?	1	(21.0)	(18.0)	3.2	(0.65)	腹側			2229	11-99	
24	CL41-17	?	?	1	(18.0)	(15.0)	2.9	(0.5)	腹側			4228	11-100	
25	CL41-26	?	?	1	(18.0)	(15.0)	3.0	(0.6)				2228	11-101	
26	CL41-18	?	?	1	(18.0)	(15.0)	3.0	(0.6)	先端・腹側			4242	11-102	
27	CL41-17	?	?	1	(17.0)	(15.0)	3.0	(0.6)	先端・腹側			4226	11-103	

第35図 石旗(4)



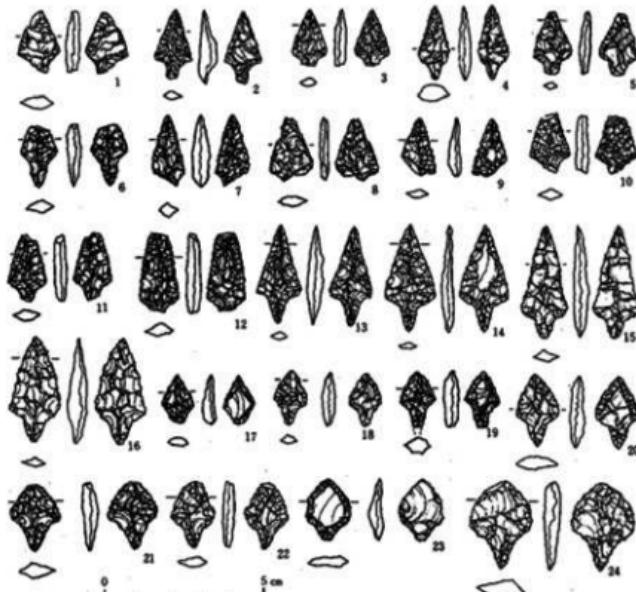
番号	地質・層位	種類	分類	計 寸	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	材 質	形 状	特 徴	標 本 號	出 處
1	CLM-25	?	海螺	16.8	(16.8)	4.0	0.95	角質	塔形		2071	11-204
2	CLM-30	?	海螺	16.5	(16.5)	4.6	0.77	角質	塔形	2109	11-205	
3	CLM-17	?	海螺	22.7	(23.0)	4.3	0.60	角質	塔形	2105	11-206	
4	CLM-27	?	海螺	22.0	(22.0)	2.5	0.12	角質・薄肉	塔形	2106	11-207	
5	CLM-36	?	貝	19.0	(19.0)	3.9	0.9	角質	塔形	2094	11-208	
6	CLM-17	?	貝	13.7	(13.7)	3.6	0.36	角質	塔形	2105	11-209	
7	CLM-36	?	貝	13.0	(13.0)	3.6	0.35	角質	塔形	2115	11-210	
8	CLM-18	?	貝	18.9	(18.9)	3.5	0.65	角質	塔形	2107	11-211	
9	CLM-18	?	貝	21.0	(21.0)	4.6	0.60	角質	塔形	2108	11-212	
10	CLM-27	?	貝	21.0	(21.0)	4.9	0.45	角質	塔形	2109	11-213	
11	CLM-17	?	貝	21.4	(21.4)	18.5	3.5	(3.6)	角質	2120	11-214	
12	CLM-26	?	貝	21.5	(21.5)	24.0	4.5	(2.2)	角質	1006	11-215	
13	CLM-25	?	貝	15.3	(15.3)	14.0	3.6	0.4	角質	9145	11-216	
14	CLM-25	?	貝	18.0	(18.0)	8.0	0.5	(0.35)	角質	9146	11-217	
15	CLM-26	?	貝	19.0	(19.0)	15.0	3.7	0.40	角質・薄肉	9125	11-218	
16	CLM-26	?	貝	19.5	(19.5)	15.2	4.4	0.85	角質	9147	11-219	
17	CLM-26	?	貝	15.8	(15.8)	15.2	3.0	0.25	角質	9126	11-220	
18	CLM-26	?	貝	21.0	(21.0)	18.0	4.4	0.70	角質	9127	11-221	
19	CLM-36	?	貝	22.0	(22.0)	4.4	1.7	角質	9128	11-222		
20	CLM-36	?	貝	22.0	(22.0)	4.5	1.17	角質	9129	11-223		
21	CLM-15	?	貝	20.5	(20.5)	11.0	3.6	0.90	角質	4001	11-224	
22	CLM-15	?	貝	22.0	(22.0)	18.5	4.5	0.31	角質	4002	11-225	
23	CLM-25	?	貝	20.0	(20.0)	25.0	5.5	3.3	角質	5102	11-226	
24	CLM-17	?	貝	18.0	(18.0)	30.5	4.9	1.00	角質	6209	11-227	

第36図 石 譜(5)



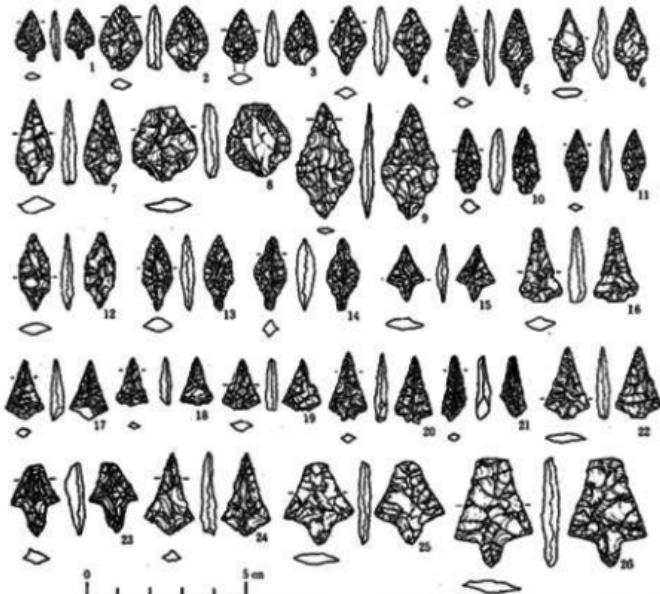
番号	種類・断面	時代	分類	目	寸法(cm)	重さ(g)	寸法(g)	性状	出所	参考番号	地図
1	CL41-36	?	IA 1a	直角双刃器	13.0 ± 12.4	11.1	3.9 (0.4)	直角	—	4307	12-6
2	CL41-37	?	IA 1b	直角双刃器	18.3 ± 18.8	13.0	4.0 (0.4)	直角	—	4308	12-7
3	CL41-36	?	IA 1a	直角	13.1 ± (12.2) (12.0)	3.0 (0.20)	直角	—	4309	12-8	
4	CM41-27	?	IA 2a	直角	16.8 ± 15.9	13.0	3.2 (0.25)	直角	—	4310	12-9
5	CL41-36	?	IA 1a	直角二三刃器	18.2 ± 13.0	13.4	3.4 (0.4)	直角	—	4311	12-10
6	CL41-18	?	IA 2a	直角	18.1 ± (18.0) (17.7)	2.7 (0.4)	直角	直角	—	4312	12-11
7	CL41-18	?	IB 1a	直角双刃器	13.5 ± (18.0) (18.4)	3.2 (0.4)	直角	直角	—	4313	12-12
8	CM41-27	?	IB 1b	直角双刃器	19.0 ± 17.1	14.9	3.2 (0.4)	直角	直角	4314	12-13
9	CL41-36	?	IB 1	直角双刃器	19.1 ± 19.0	15.5	4.0 (0.4)	直角	直角	4315	12-14
10	CL41-39	?	IC 1a	直角双刃器	13.0 ± 10.5	13.8	3.0 (0.4)	直角	—	4316	12-15
11	CL41-36	?	IC 1c	直角双刃器	16.8 ± 8.2	7.5	2.8 (0.1)	直角	—	4317	12-16
12	CL41-36	?	IC 1a	直角双刃器	13.0 ± 11.2	11.0	4.8 (0.3)	直角	—	4318	12-17
13	CL41-37	?	IC 1a	直角双刃器	14.0 ± 13.0	10.7	2.8 (0.4)	直角	—	4319	12-18
14	CL41-37	?	IC 2a	直角	16.3 ± 12.2	14.0	2.5 (0.5)	直角	—	4320	12-19
15	CL41-36	?	IC 2a	直角双刃器	15.0 ± 14.0	13.0	0.7	直角	—	4321	12-20
16	CL41-37	?	IC 1a	直角双刃器	15.0 ± 13.0	10.5	1.4 (0.25)	直角	—	4322	12-21
17	CM41-27	?	IC 1a	直角双刃器	12.7 ± (12.0) (12.0)	4.0 (0.4)	直角	直角	—	4323	12-22
18	CL41-39	?	IC 1a	直角双刃器	15.5 ± 14.2	12.5	4.0 (0.4)	直角	—	4324	12-23
19	CL41-36	?	IC 1a	直角双刃器	16.5 ± 16.0	14.0	1.8 (0.2)	直角	—	4325	12-24
20	CL41-36	?	IC 1a	直角双刃器	15.5 ± 16.0	14.0	1.8 (0.2)	直角	—	4326	12-25
21	CL41-36	?	IC 1a	直角双刃器	15.5 ± 16.0	14.0	4.0 (0.5)	直角	—	4327	12-26
22	CM41-27	?	IC 1a	直角双刃器	12.0 ± (12.0) (12.0)	3.0 (0.4)	直角	直角	—	4328	12-27
23	CL41-36	?	IC 1a	直角	27.0	25.2	5.1 (1.37)	直角	—	4329	12-28
24	CM41-27	?	IC 1a	直角双刃器	13.0 ± (12.0) (12.0)	3.2 (0.50)	直角	直角	—	4330	12-29
25	CL41-36	?	IC 1b	直角双刃器	12.0 ± (12.0) (12.0)	3.2 (0.50)	直角	直角	—	4331	12-30
26	CL41-36	?	IC 1b	直角	19.0 ± 18.0	10.0	4.0 (0.4)	直角	直角	4332	12-31
27	CL41-36	?	IC 1b	直角	19.0 ± 18.0	12.0	4.0 (0.4)	直角	直角	4333	12-32

第37回 石 鑿(6)



号	種類	形態	分類	Ⅱ	Ⅲ	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	性別	器種	文様	出土地点	地名	出土地点番号	地名
1	CLD-36	W	SC 1b	直角形		(39.3)- (39.5)	12.6	4.0	0.77		刮削器				402	22-24
2	CLD-37	W	SC 1b	直角形		29.5	(31.5)	0.5	0.90		刮削器				403	22-25
3	CLD-38	W	SC 1b	直角形		(37.4)- (38.1)	10.6	2.5	0.80		刮削器			1	3215	22-26
4	CLD-39	W	SC 1b	直角形		23.2 - 25.4	10.6	2.8	0.8		刮削器				4030	22-27
5	CLD-36	W	SC 1b	直角形		(39.4)- (39.1)	(31.5)	2.5	0.93		刮削器			2	3216	22-28
6	CLD-36	W	SC 1b	直角形		(29.5)- (29.4)	12.6	4.5	0.80		刮削器				3214	22-28
7	CLD-36	W	SC 1b	直角形		(39.4)- (38.5)	10.6	2.5	0.77		刮削器				3219	22-33
8	CLD-37	W	SC 1b	直角形		(39.4)- (38.3)	(33.4)	2.6	0.80		刮削器			2	4279	22-46
9	CLD-36	W	SC 1b	直角形		(38.5)- (37.5)	(39.5)	2.6	0.80		刮削器				3204	22-43
10	CLD-37	W	SC 1b	直角形		(38.3)- (38.0)	12.7	4.0	0.80		刮削器				4297	22-45
11	CLD-36	W	SC 1b	直角形		(38.4)- (38.6)	12.5	2.5	0.77		刮削器				3218	22-43
12	CLD-36	W	SC 1b	直角形		(38.4)- (38.7)	12.5	4.4	0.80		刮削器				3207	22-44
13	CLD-36	W	SC 1b	直角形		11.6 - 22.4	14.5	4.6	1.0		刮削器				3206	22-45
14	CLD-35	W	SC 1b	直角形		24.0 - 25.4	10.5	2.5	1.0		刮削器				3226	22-46
15	CLD-36	W	SC 1b	直角形		11.2 - 26.6	14.5	4.3	1.3		刮削器				4258	22-47
16	CLD-36	W	SC 1b	直角形		11.2 - 24.6	(36.4)	6.0	2.00		刮削器				3202	22-48
17	CLD-35	W	SC 1a	直角形		(38.1)- (38.6)	10.8	2.6	0.80		刮削器				3242	22-49
18	CLD-36	W	SC 1a	直角形		(37.5)- (38.6)	11.6	4.6	0.80		刮削器				3208	22-50
19	CLD-36	W	SC 1a	直角形		(37.4)- (38.6)	12.5	4.5	0.80		刮削器			1	3213	22-51
20	CLD-37	W	SC 1a	直角形		22.5 - 25.4	12.5	4.2	0.8		刮削器				4212	22-52
21	CLD-36	W	SC 1a	直角形		21.5 - 31.3	16.6	4.9	0.7		刮削器				3204	22-53
22	CLD-36	W	SC 1a	直角形		(36.4)- (32.2)	12.5	3.4	0.77		刮削器			2	3207	22-54
23	CLD-36	W	SC 1a	直角形		18.7 - 34.4	(24.0)	3.7	0.75		刮削器			1	3244	22-55
24	CLD-37	W	SC 1a	直角形		(27.5)- (36.4)	10.5	5.5	0.80		刮削器				3209	22-56

第36回 石 鑿(7)



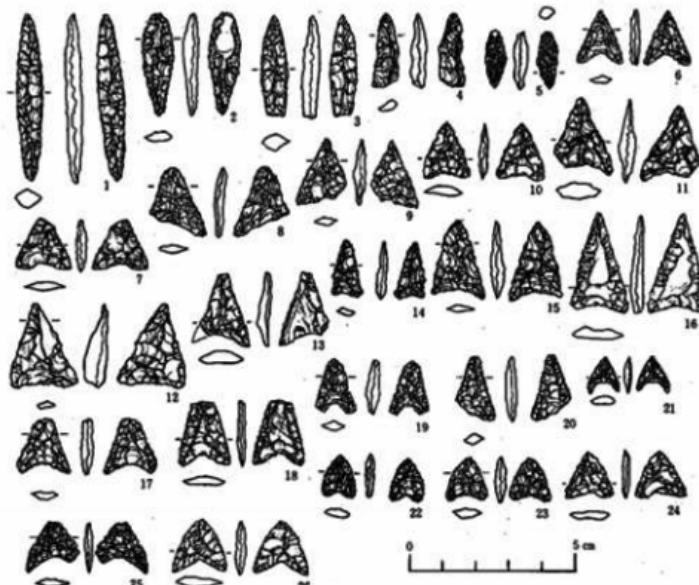
番号	地名・標本	時代	分	種	科	年	高さ(㎜)	幅(㎜)	厚さ(㎜)	壳	壳形	壳頂	壳口	壳底	壳側	壳縫合	壳外觀		
1	GL41-27	W	ICB19				15.7 - 16.9	8.5	2.4	0.2							4219	12-27	
2	GL41-36	W	ICB19				(26.10) - (28.32)	13.5	3.8	(0.90)	直角・深部	2						4219	12-36
3	GL41-35	W	ICB19				(27.40) - 14.5	11.0	4.5	(0.40)	直角						4219	12-35	
4	GL41-17	W	ICB19				(21.10) - (22.27)	11.2	4.5	(0.40)	直角						4219	12-17	
5	GL41-27	W	ICB19				(24.10) - (26.87)	16.0	3.2	(0.27)	直角	2					4219	12-27	
6	GL41-27	W	ICB19				22.5 - 15.1	10.0	4.2	0.6							4219	12-27	
7	GL41-27	W	ICB19				(27.60) - 20.0	11.8	4.5	(1.00)	直角	2					4219	12-27	
8	GL41-27	W	ICB19				(23.40) - (26.47)	20.4	4.5	(0.65)	直角・深部						4219	12-27	
9	GL41-26	W	ICB19				26.5 - 22.7	17.8	3.2	1.7							2804	12-26	
10	GL41-36	W	ICB19				(26.10) - (28.32)	8.5	4.8	(0.45)	直角・深部	2					4219	12-36	
11	GL41-27	W	ICB19				(9.20) - 10.0	7.2	3.0	0.36		2					4219	12-27	
12	GL41-27	W	ICB19				14.8 - 15.5	9.5	3.5	0.6							4219	12-27	
13	GL41-26	W	ICB19				22.5 - 15.8	8.8	3.9	0.5							4219	12-26	
14	GL41-27	W	ICB19				22.5 - 15.5	10.0	5.5	1.0							4219	12-27	
15	GL41-27	W	ICB19				17.5 - 13.0	12.0	3.2	0.3							4219	12-27	
16	GL41-26	W	ICB19				(23.40) - (24.67)	13.8	4.7	(0.75)	直角・深部	2					777	12-26	
17	GL41-26	W	ICB19				(28.70) - 19.7	11.3	3.7	(0.35)	直角						4219	12-26	
18	GL41-27	W	ICB19				(15.40) - 14.0	9.8	3.1	(0.35)	直角						4219	12-27	
19	GL41-26	W	ICB19				(36.50) - (37.77)	12.0	3.0	(0.35)	直角・深部						4219	12-26	
20	GL41-26	W	ICB19				(21.10) - 19.1	11.1	3.5	(0.65)	直角						4219	12-26	
21	GL41-26	W	ICB19				(20.50) - (20.80)	16.0	3.9	(0.35)	直角・深部						4219	12-26	
22	GL41-27	W	ICB19				(22.40) - 20.2	12.0	4.0	(0.42)	直角	2					4219	12-27	
23	GL41-26	W	ICB19				(23.50) - (23.67)	19.5	5.5	(0.65)	直角						4219	12-26	
24	GL41-26	W	ICB19				(24.60) - 21.2	15.2	4.5	(0.7)	直角						4219	12-26	
25	GL41-27	W	ICB19				(26.60) - (27.80)	22.6	2.9	(1.25)	直角						4219	12-27	
26	GL41-27	W	ICB19				(34.60) - (34.80)	14.0	4.6	(2.4)	直角						4219	12-27	

第39回 石綿(8)



番号	地名	性質	形態	全 長	幅	厚さ	長軸(m)	幅軸(m)	厚軸(m)	大きさ	アラベラ	地名	出土地名	性質
1	CL4-13	W	ICM1a	尖頭	(28.4) - (32.2)	8.3	2.6	(8.38)	尖頭			4236	13- 83	
2	CL4-17	W	ICM1a	尖頭	22.2	5.5	2.5	5.5	2.5	中等		4296	13- 84	
3	CL4-17	W	ICM1b	尖頭尖切	(26.3) - (27.7)	(23.8)	5.6	(3.12)	尖頭・直形			4350	13- 85	
4	CL4-20	W	ICM1b	尖頭尖切	(21.5) - (22.8)	16.9	6.6	(8.85)	尖頭			5206	13- 86	
5	CL4-17	W	ICM1b	尖頭尖切	(24.2) - (25.3)	25.5	4.5	(4.21)	尖頭			4286	13- 87	
6	CL4-15	W	ICM1b	尖頭尖切	(26.5) - (27.1)	20.9	4.6	(8.85)	尖頭			4239	13- 88	
7	CL4-17	W	ICM1b	尖頭	(22.4) - (27.4)	24.8	4.9	(3.12)	尖頭・直形			4249	13- 89	
8	CL4-15	W	ICM1b	尖頭尖切	(28.4) - (31.1)	25.5	2.7	(8.37)	尖頭			4333	13- 90	
9	CL3-34	W	ICM1b	尖頭尖切	(24.4) - (28.4)	26.5	5.5	(3.33)	尖頭			5148	13- 91	
10	CL4-17	W	ICM1b	尖頭尖切	(27.5) - (30.2)	22.0	2.5	(8.85)	尖頭	1		4245	13- 92	
11	CL3-34	W	ICM1b	尖頭尖切	(29.4) - (30.3)	23.6	4.9	(3.12)	尖頭・直形	2		5209	13- 93	
12	CL4-18	W	ICM1b	尖頭	(26.5) - (29.4)	25.2	4.2	(3.12)	尖頭・直形	2	(横河原)	4227	13- 94	
13	CL4-17	W	ICM1b	尖頭尖切	(23.4) - (23.4)	15.7	4.7	(3.42)	尖頭・直形			1955	13- 95	
14	CL4-17	W	ICM1b	尖頭尖切	(20.5) - (28.4)	15.0	3.8	(8.77)	尖頭・直形	2		4259	13- 96	
15	CL4-20	W	ICM1b	尖頭尖切	(24.4) - (29.4)	15.8	2.5	(8.42)	尖頭・直形			4234	13- 97	
16	CL4-19	W	IC	尖頭尖切	(27.4) - (28.5)	12.0	2.9	(8.61)	尖頭・直形			4281	13- 98	
17	CL3-34	W	IC	尖頭	(24.2) - (28.7)	16.5	4.5	(8.42)	尖頭・直形			5205	13- 100	
18	CL3-34	W	IC	尖頭	(23.4) - (28.2)	9.4	2.5	(8.35)	尖頭・直形			5206	13- 101	
19	CL3-34	W	IC	尖頭尖切	(22.4) - (23.1)	17.4	5.6	(3.02)	尖頭			5212	13- 102	
20	CL4-18	W	IC	尖頭	(29.4) - (32.4)	25.4	4.2	(3.12)	尖頭・直形			4255	13- 103	
21	CL4-18	W	IC	尖頭尖切	(26.5)	(27.4)	3.2	(3.42)	尖頭			4264	13- 104	
22	CL4-18	W	IC	尖頭尖切	(22.5)	(24.4)	6.2	(8.42)	尖頭			4266	13- 105	
23	CL4-18	W	IC	尖頭	(26.4)	(26.4)	4.1	(8.42)	尖頭			4261	13- 106	

第400回 石 鋒(9)



番号	地名・標本	時代	D	種	齿 长 (mm)	齿 宽 (mm)	齿厚 (mm)	大 齿 长	大 齿 宽	大 齿 厚	PAPPAS	記 号	標本番号	地 区
1	CMI-27	F	1D	鰓孔複合齒	25.6	6.6	4.7	1.5					2247	32-106
2	CLB-35	F	1D	鰓孔複合齒	25.5	9.5	4.5	1.5					2251	32-107
3	CLB-36	F	1D	鰓孔複合齒	23.8	8.8	4.9	0.8					2242	32-108
4	CLB-35	F	1D	鰓孔複合齒	23.3	7.0	4.5	0.7					2256	32-109
5	CLB-36	F	1D	鰓孔複合齒	(22.5)-(28.5)	6.5	4.0	(0.4)	外輪・複合				2258	32-110
6	CMI-25	V	SA 1a	鰓孔複合齒	24.5	14.2	2.2	0.5	複合				2440	32-111
7	CLB-36	V	SA 1a	鰓孔複合齒	23.6	17.6	2.8	0.4	複合				2257	32-112
8	CLB-36	V	SA 1a	鰓孔複合齒	22.6	13.3	2.6	0.7	複合				2264	32-113
9	CMI-25	V	SA 1a	鰓孔複合齒	23.8	13.2	3.6	0.4	複合				2440	32-114
10	CLB-35	V	SA 1a	鰓孔	24.5	13.8	2.1	(0.4)					2267	32-115
11	CMI-23	V	SA 1a	鰓孔複合齒	23.5	17.5	4.6	(1.0)	複合				2264	32-116
12	CLB-31	V	SA 1a	鰓孔複合齒	26.6	20.5	6.9	(2.0)	複合				2274	32-117
13	CLB-35	V	SA 1b	鰓孔複合齒	23.0	13.0	3.4	(0.7)	複合				2264	32-118
14	CLB-36	V	SA 1b	鰓孔	27.0	20.0	2.9	(0.3)	外輪・複合				2276	32-119
15	CLB-32C	V	SA 1b	鰓孔	24.0	16.0	4.0	(0.9)	複合				2264	32-120
16	CMI-25	V	SA 1b	鰓孔複合齒	26.5	17.5	3.4	(1.1)	複合				2268	32-121
17	CLB-35	V	SA 1b	鰓孔複合齒	27.0	18.0	3.5	(0.3)	複合				2270	32-122
18	CLB-36	V	SA 1b	鰓孔複合齒	218.3	93.2	2.8	(0.6)	外輪				2265	32-123
19	CMI-25	V	SA 1b	鰓孔複合齒	27.0	20.0	3.7	(0.4)	外輪・複合				2259	32-124
20	CLB-35b	V	SA 1b	鰓孔複合齒	29.5	20.0	2.7	(0.3)	外輪・複合				2261	32-125
21	CLB-35	V	SA 1b	鰓孔複合齒	30.4	9.3	2.2	1.2					2261	32-126
22	CLB-32	V	SA 1b	鰓孔	23.0	18.0	2.5	(0.3)	外輪・複合				2269	32-127
23	CLB-32C	V	SA 1b	鰓孔	24.0	18.0	2.7	(0.3)	外輪・複合				2269	32-128
24	CLB-36	V	SA 1b	鰓孔	23.5	18.0	2.5	(0.2)	外輪・複合				2260	32-129
25	CMI-26	V	SA 1b	鰓孔複合齒	23.5	18.0	2.6	(0.3)	複合				2253	32-130
26	CLB-36	V	SA 1b	鰓孔複合齒	24.6	18.0	2.6	0.5	外輪				2269	32-131

第41図 石 齒(10)



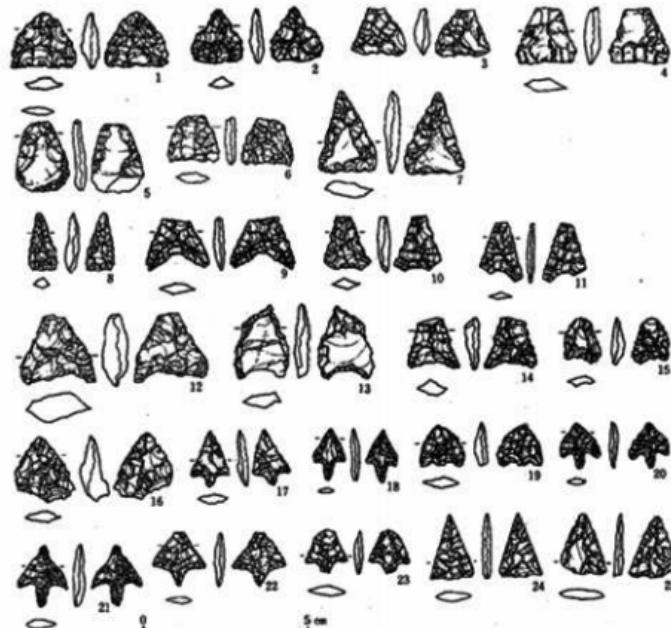
番号	地質・標本	地點	年 代	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	文 様	テクスチャ	名 称	参考書	出 版
1	CMH-8	Y	SAH1a	32.8	12.7	3.2	(8.4)	丸輪・直輪	斜ナード	3314	34- 37	
2	CMH-15	Y	SAH1a	34.2	12.0	3.5	8.16	直輪		3441	32-331	
3	CMH-16	Y	SAH1a	36.2	18.4	5.3	1.02			4097	35- 3	
4	CMH-16	Y	SAH1a	36.5	16.2	5.1	1.35			4098	35- 3	
5	CMH-25	Y	SAH1a	38.0	19.2	5.2	0.12	丸輪・直輪		3438	32-332	
6	CMH-24	Y	SAH1a	38.0	14.5	4.4	0.93			3391	33-334	
7	CLB-25	Y	SAH1a	35.2	12.0	3.6	0.80	丸輪・直輪		3340	32-332	
8	CLB-36	Y	SAH1a	27.5	15.5	3.4	0.42			4054	32-332	
9	CLB-36	Y	SAH1a	36.2	15.1	2.1	0.46			4100	34-350	
10	CMH-25	Y	SAH1a	37.5	12.2	3.1	0.55	丸輪・直輪		3442	33-332	
11	CMH-8	Y	SA1a	37.2	19.5	2.2	0.4			3311	34- 14	
12	CLB-25	Y	SAH1b	36.0	14.0	3.4	0.43	丸輪・直輪		3394	33-337	
13	CLB-36	Y	SAH1b	36.0	19.8	2.5	0.96			4096	32-332	
14	CMH-25	Y	SAH1b	36.0	15.5	4.7	0.40	丸輪・直輪		3394	33-340	
15	CMH-25	Y	SAH1b	31.0	12.0	3.6	0.30	丸輪・直輪		404	33-141	
16	CLB-25	Y	SAH1b	32.8	19.0	2.7	0.30	丸輪・直輪		3392	33-340	
17	CLB-25	Y	SAH1b	30.0	16.6	3.7	0.40	丸輪・直輪		4046	33-143	
18	CMH-25	Y	SAH1b	30.0	19.0	3.5	0.30	丸輪・直輪		3394	33- 1	
19	CMH-26	Y	SAH1b	29.0	14.0	4.7	0.70	丸輪・直輪		4094	33- 2	
20	CLB-24	Y	SAH1b	30.0	14.6	2.5	0.30			3397	33- 3	
21	CLB-25C	Y	SAH1b	31.0	15.0	3.5	0.20	丸輪・直輪		3399	33- 4	
22	CLB-25	Y	SAH1b	31.5	14.0	2.5	0.25	丸輪・直輪		3396	33- 40	
23	CLB-25	Y	SAH1b	31.5	14.0	2.5	0.25	丸輪・直輪		3396	33- 40	
24	CLB-25	Y	SAH1a	32.0	12.0	4.6	0.17	丸輪・直輪		3341	33- 3	
25	CLB-25	Y	SAH1b	34.2	12.0	2.5	0.30	丸輪・直輪		3350	33- 6	
26	CLB-25	Y	SAH1b	30.0	19.0	3.2	0.37	丸輪・直輪		3399	33- 7	
27	CMH-25	Y	SAH1b	32.0	19.0	4.6	1.25			4048	33- 3	
28	CMH-25	Y	SAH1b	33.0	19.0	2.4	0.35	丸輪		3348	33- 9	
29	CMH-25	Y	SAH1b	33.0	19.0	3.2	0.40	丸輪		3344	33- 10	
30	CLB-25	Y	SAH1b	33.0	19.0	2.4	0.47	丸輪・直輪		3345	33- 11	

第42回 石 質 (11)



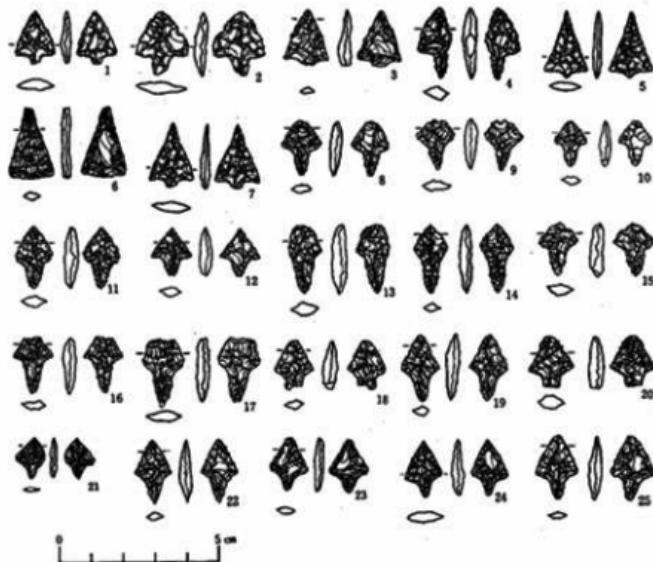
号	地层・部位	层位	分	属	科	种名 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	壳 (g)	壳形	TA/T%	图	参考编号	注
1	CL40-25	V	6A35a	瓣壳珊瑚		27.6	(33.0)	3.6	(0.4)	长椭		2098	13-13	
2	CL40-36	V	6A35b	瓣壳珊瑚		19.0	2.1	0.4	壳椭		2104	13-14		
3	CL40-26	V	6A35b	瓣壳珊瑚		33.0	(16.0)	2.7	(0.3)	壳椭-基椭		4493	13-15	
4	CL40-34	V	6A35b	瓣壳珊瑚		33.0	(13.0)	2.7	(0.3)	壳椭-基椭		2095	13-16	
5	CL40-15	V	6A35b	瓣壳珊瑚		33.0	(19.0)	2.6	(0.4)	壳椭-基椭		2094	13-17	
6	CL40-32	V	6A35b	瓣壳珊瑚		27.5	(15.0)	2.8	(0.4)	基椭		2095	13-18	
7	CL40-33	V	6A35b	瓣壳珊瑚		27.0	26.8	2.8	(0.2)	壳椭	3	2103	13-19	
8	CL40-34	V	6A35b	瓣壳珊瑚		29.8	24.8	2.2	0.2	基椭		2104	13-20	
9	CL40-8	V	6A35c	瓣壳珊瑚		33.0	(27.0)	3.9	(0.4)	壳椭-基椭		2102	13-21	
10	CL40-34	V	6A35c	瓣壳珊瑚		33.0	26.8	2.9	(0.4)	壳椭		2095	13-22	
11	CL40-25	V	6A35d	瓣壳珊瑚		17.0	12.0	3.7	(0.2)	壳椭		2093	13-23	
12	CL40-22	V	6A35d	瓣壳珊瑚		25.6	17.0	3.7	(0.2)	壳椭		2095	13-24	
13	CL40-15	V	6A35d	瓣壳珊瑚		15.8	12.0	3.3	0.2	壳椭-基椭		2095	13-25	
14	CL40-25	V	6A35d	瓣壳珊瑚		23.4	17.2	4.0	0.4	基椭		2095	13-26	
15	CL40-15	V	6A35d	瓣壳珊瑚		20.0	15.5	4.4	(1.0)	壳椭		2095	13-27	
16	CL40-9	V	6A35d	瓣壳珊瑚		33.0	(33.0)	2.7	(0.4)	壳椭-基椭		2102	14-48	
17	CL40-15	V	6A35d	瓣壳珊瑚		34.0	26.7	2.4	(0.5)	壳椭		2093	14-50	
18	CL40-25	V	6A35d	瓣壳珊瑚		19.6	17.2	3.9	0.5	壳椭		1620	14-54	
19	CL40-8	V	6A35d	瓣壳珊瑚		17.0	(34.0)	2.9	(0.45)	壳椭-基椭		2100	14-55	
20	CL40-32	V	6A35d	瓣壳珊瑚		13.0	17.8	2.0	(0.2)	壳椭-基椭		2092	14-56	
21	CL40-24	V	6A3	瓣壳珊瑚		13.0	17.5	2.8	(0.3)	壳椭		2100	14-58	
22	CL40-25	V	6A3	瓣壳珊瑚		12.0	16.2	4.3	(0.4)	壳椭		2047	14-59	
23	CL40-30	V	6B1a	瓣壳珊瑚		13.0	12.4	3.8	(0.3)	壳椭		2120	14-60	
24	CL40-36	V	6B1a	瓣壳珊瑚		17.0	16.5	3.3	(0.3)	壳椭-基椭		1620	14-71	
25	CL40-25	V	6B1a	瓣壳珊瑚		18.0	(33.0)	4.4	(0.4)	壳椭-基椭		606	14-73	
26	CL40-25	V	6B1a	瓣壳珊瑚		20.0	(28.0)	4.2	(1.4)	壳椭-基椭		4497	14-74	
27	CL40-25	V	6B1a	瓣壳珊瑚		20.0	(28.0)	4.5	(1.4)	基椭		4498	14-75	
28	CL40-32	V	6B1a	瓣壳珊瑚		21.0	17.5	5.2	(1.4)	壳椭-基椭		2072	14-76	

第43回 石 錐(12)



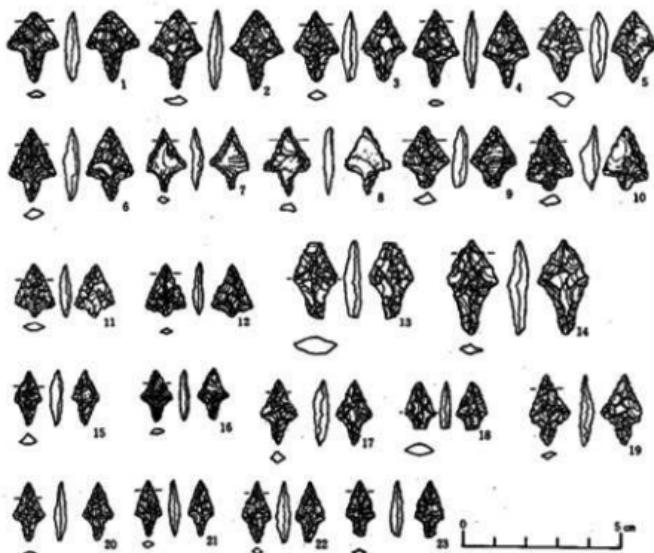
番号	地名・等高	時代	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	大きさ	アラクナル	種	参考番号	地	層	
1	CL41-34	V	60.1a	後乳頭骨	16.5	19.2	4.8	1.7		4091	13-36		
2	CH39-22	V	60.1a	後乳頭骨	17.6	16.0	4.0	0.8	高球	5004	13-25		
3	CL40-25	V	60.1a	後乳頭骨	(31.4)	(10.0)	5.0	(0.9)	後乳・前乳	1058			
4	CH40-9	V	60.1b	後乳頭骨	(37.0)	16.0	2.6	(1.1)	後乳・前乳	73	13-28		
5	CL40-26	V	60.1b	後乳頭骨	(31.1)	16.2	2.6	(1.1)	後乳	5022	13-28		
6	CH41-24	V	60.1a	前乳	(34.8)	15.5	2.8	(0.8)	後乳・前乳	4991	13-28		
7	CH40-8	V	60.1b	後乳頭骨	(28.0)	(17.8)	4.4	(1.1)	後乳・前乳	74	13-28		
8	CH40-24	V	60.1b	後乳頭骨	(37.0)	16.8	3.5	(0.8)	後乳	4526	13-28		
9	CL40-24	V	60.2	前乳	(36.0)	15.0	3.5	(0.8)	後乳・前乳	3299	13-25		
10	CL41-24	V	60.2	後乳頭骨	(34.2)	12.0	1.3	(0.8)	後乳	4524	13-25		
11	CL41-18	V	60.2	後乳	(38.1)	(32.0)	2.1	(0.8)	後乳・前乳	4595	13-25		
12	CH41-23	V	60.2	前乳	(21.0)	12.5	2.2	(0.8)	後乳	501	13-25		
13	CH39-32	V	60.2	後乳頭骨	22.0	17.6	4.2	1.0		5024	13-25		
14	CH39-32	V	60.2	後乳頭骨	(34.0)	(16.0)	4.0	(0.8)	後乳	5023	13-25		
15	CH39-32	V	60.2	後乳頭骨	(34.0)	(13.2)	2.7	(0.8)	後乳・前乳	3071	13-25		
16	CL41-14	V	60.2	後乳頭骨	(39.0)	(15.0)	3.8	(0.8)	後乳	4110	13-27		
17	CH41-25	V	60.2a	後乳頭骨	17.8	13.8	11.6	8.1	(0.8)	後乳	5021	13-25	
18	CL39-31	V	60.2a	後乳頭骨	16.7	9.4	9.3	2.3	0.7	(未確認)	4094	13-25	
19	CL40-24	V	60.2a	後乳頭骨	(32.2)	12.0	13.8	2.5	(0.8)	後乳	5020	13-28	
20	CL39-21	V	60.2a	後乳頭骨	(32.0) + (30.3)	12.2	2.2	(0.8)	後乳	4055	13-25		
21	CH41-23	V	60.2a	後乳頭骨	16.7	13.0	15.1	3.3	0.8	5093	13-25		
22	CH41-25	V	60.2a	後乳頭骨	(34.5) + (32.1)	16.0	2.9	(0.8)	後乳	3410	13-25		
23	CL41-15	V	60.1a	後乳頭骨	(32.5) + (30.7)	15.3	2.8	(0.8)	後乳・前乳	3057	13-24		
24	CH41-21	V	60.1b	後乳頭骨	(39.2) + (38.4)	2.6	0.8	0.8	後乳・前乳	3428	13-25		
25	CL41-15	V	60.1b	後乳頭骨	(38.2) + (37.8)	3.2	0.8	0.8	後乳・前乳	3052	13-25		

第44図 石 頭(13)



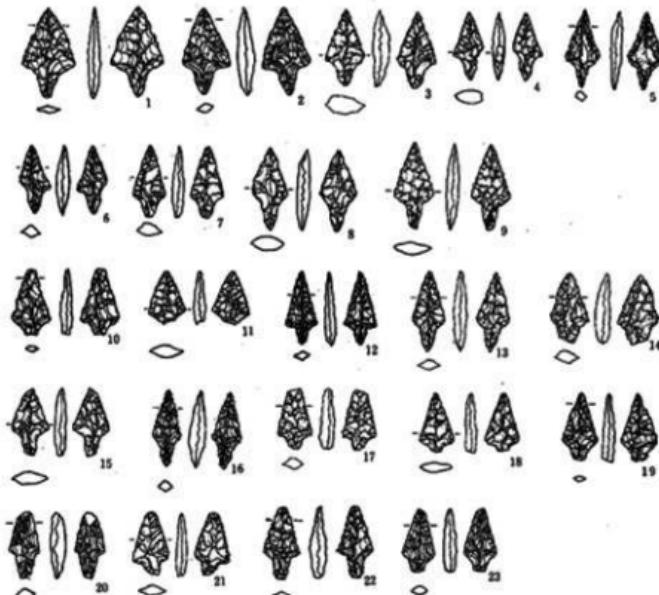
番号	地名	層位	O	N	Cl	Sh	底面(m)	高さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	大きさ	テクスチャ	目	岩相名	記
1	GLA-33	V	100m				(38.0) - 34.7	12.0	3.2	0.4	底面			3000	13-37
2	GLA-33	V	100m				(38.0) - 34.7	16.2	4.6	0.5	底面			3000	13-38
3	CMH-2	V	100m				(34.0) - 33.4	13.4	3.9	0.4	底面			2500	13-39
4	CMH-22	V	100m				(22.0) - 18.8	(31.0)	4.8	0.4	底面	2	底面-側面斜面互成	3000	13-40
5	GLA-36	V	100m				26.4 - 19.2	13.0	2.7	0.3				4000	13-41
6	GLA-36	V	100m				(21.0) - 17.2	13.2	2.7	0.3	光面・底面	3	(一孔底面)	2500	13-42
7	GLA-36	V	100m				(19.0)	13.6	3.9	0.4	底面			4000	13-43
8	CMH-2	V	SC1a				(27.0) - 23.0	12.5	3.2	0.4	光面			3000	13-44
9	CMH-25	V	SC1a				(16.0) - (16.7)	(19.0)	3.7	0.3	光面			3000	13-45
10	CMH-25	V	SC1a				(14.0) - (7.0)	10.5	3.6	0.3	光面			3000	13-46
11	CMH-25	V	SC1a				(14.0) - 9.8	12.5	2.7	0.3	底面			3000	13-47
12	GLB-3C	V	SC1a				(31.0) - (19.0)	(16.0)	4.4	0.3	光面・底面	1		4000	13-48
13	CMH-25	V	SC1a				21.5 - 8.5	16.5	3.8	0.4				3000	13-49
14	CMH-25	V	SC1a				(16.0) - (9.7)	13.0	4.6	0.4	光面・底面			3000	13-50
15	CMH-25	V	SC1a				(17.0) - (8.0)	13.5	4.2	0.4	光面			3000	13-51
16	CMH-25	V	SC1a				(17.0) - (7.0)	13.5	4.6	0.4	光面			3000	13-52
17	CMH-25	V	SC1a				(13.0) - (7.0)	13.0	4.6	0.4	光面			3000	13-53
18	GLA-23	V	SC1a				(16.0) - (16.0)	13.0	4.5	0.4	光面・底面			3000	13-54
19	CMH-25	V	SC1a				(16.0) - (11.0)	12.0	3.9	0.3	光面			3000	13-55
20	GLB-3a	V	SC1a				(16.0) - (16.2)	14.2	4.3	0.3	光面・底面			3000	13-56
21	GLB-3a	V	SC1a				11.4 - 7.3	9.0	3.6	0.3	底面			4000	13-57
22	GLB-3a	V	SC1a				20.0 - 12.0	11.5	3.6	0.4				4000	13-58
23	CMH-25	V	SC1a				(16.0) - (16.2)	6.7	2.7	0.4	光面・底面			3000	13-59
24	GLA-36	V	SC1a				13.0 - 9.2	11.0	3.6	0.3				4000	13-60
25	GLA-36	V	SC1a				(16.0) - (12.0)	11.0	4.1	0.3	光面	1		3000	13-61

第45図 石 織(14)



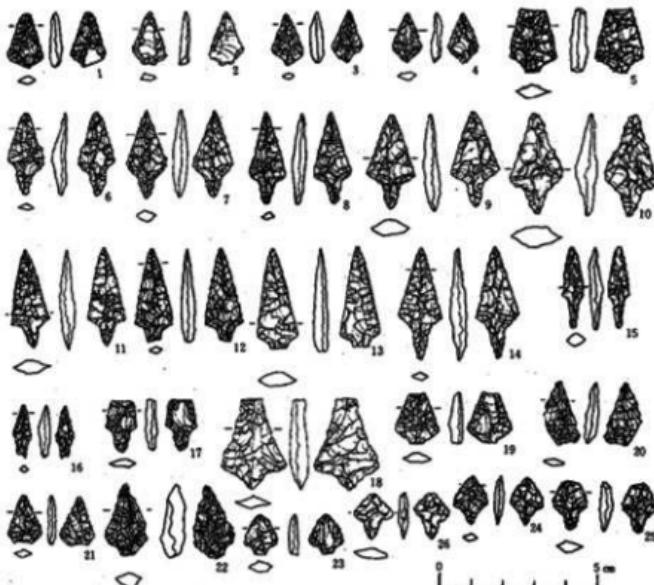
番号	石器・石核	内面	少	基	形	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	火	標	アラベラ	年	出土地名	地
1	CLet-20	V	IC1a	直刃打削器	(22.0-13.0)	16.0	4.2	(0.35)	火候			2792	13-6	
2	CM4-5	V	IC1a	直刃打削器	(26.0-14.0)	17.0	4.2	(0.35)	火候			2895	13-6	
3	CLd-30	V	IC1a	直刃打削器	22.5-13.5	14.5	4.7	-		CLd-30	2793	13-6		
4	CM4-14	V	IC1a	直刃打削器	24.5-14.0	14.0	3.9	0.6		1	4837	13-6		
5	CM4-25	V	IC1a	直刃打削器	22.5-12.5	14.5	5.0	1.0			3024	13-6		
6	CLd-21	V	IC1a	直刃打削器	25.5-15.0	15.0	4.2	0.7		2	4845	13-6		
7	CM4-19	V	IC1a	直刃打削器	25.0-15.5	15.0	3.0	0.3			3030	13-6		
8	CM4-29	V	IC1a	直刃打削器	(22.0-12.0)	20.0-16.0	3.0	(0.35)	火候		3014	13-6		
9	CLd-10C	V	IC1a	直刃打削器	(19.0-12.5)	16.5	4.2	(0.45)	火候	1	4894	13-6		
10	CLd-11	V	IC1a	直刃	26.0	16.0	3.6	0.6			4847	13-6		
11	CM4-29	V	IC1a	直刃打削器	27.0-14.0	14.0	3.0	(0.35)	火候		3025	13-6		
12	CLd-20	V	IC1a	直刃打削器	18.5-13.5	15.0	3.0	0.35			3026	13-6		
13	CLd-12	V	IC1a	直刃打削器	(24.0-18.0)	18.0	3.0	(0.35)	火候・磨耗	2	3036	13-6		
14	CLd-12	V	IC1a	直刃打削器	26.0-15.0	16.0	4.1	1.0			3054	13-6		
15	CM4-28	V	IC1a	直刃打削器	17.0-12.0	9.5	3.7	0.3		2	3010	13-6		
16	CLd-20	V	IC1a	直刃打削器	14.0-11.0	9.5	3.7	0.3			3099	13-6		
17	CM4-6	V	IC1a	直刃打削器	19.0-12.5	11.0	4.1	0.35		2	2997	13-6		
18	CLd-13	V	IC1a	直刃打削器	(14.0-11.0)	9.0	3.4	(0.45)	火候・磨耗		3029	13-6		
19	CLd-21	V	IC1a	直刃打削器	22.0-13.2	(22.0)	4.0	(0.45)	火候		3054	13-6		
20	CM4-20	V	IC1b	直刃打削器	26.0-11.0	19.0	3.6	0.3		1	4810	13-6		
21	CLd-10B	V	IC1b	直刃	27.0-21.0	9.5	3.3	0.3		(火候等一様)	3053	13-6		
22	CLd-25	V	IC1b	直刃打削器	28.5-22.2	9.0	4.2	0.4		1	2895	13-6		
23	CLd-21	V	IC1b	直刃打削器	26.0-20.2	9.0	3.3	(0.35)	火候	1	4857	13-6		

第46図 石器(15)



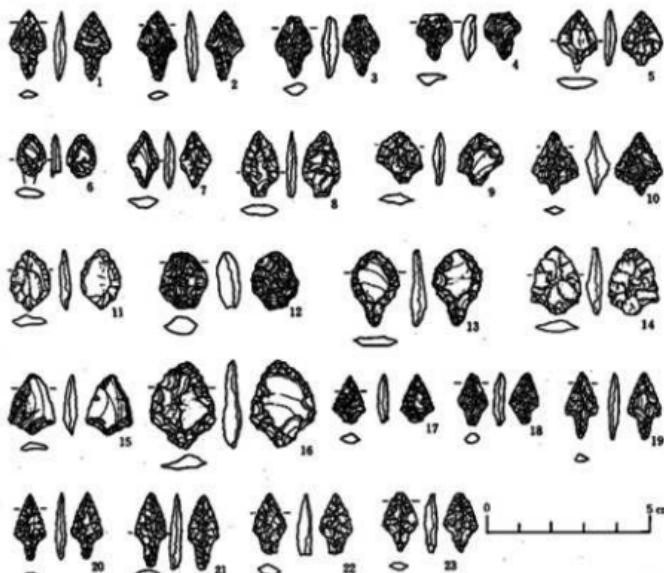
番号	地名・標本	種類	石	形	長さ(ミ)	幅(ミ)	厚さ(ミ)	重さ(グ)	大きさ	形状	年	出土地	参考番号
1	CLE-24	V	IC1a	複合頭部	28.0	10.2	3.0	0.9	1	(複合化)	1970	13-104	
2	CLE-22	V	IC1a	複合頭部	26.8	17.8	4.0	0.9	1	(複合化)	1971	13-105	
3	CML-25	V	IC1b	複合頭部	34.0	16.2	3.2	0.8	1	直頭部	1968	13-106	
4	CLE-26	V	IC1a	複合頭部	26.7	13.3	4.2	0.8	1	直頭部	1975	13-107	
5	CLE-21	V	IC1b	複合頭部	34.5	16.8	3.0	0.9	1	直頭部	1968	13-107	
6	CLE-26	V	IC1a	複合頭部	(28.0)-(28.1)	(9.2)-(9.3)	4.0	0.8	1	直頭部	1975	13-108	
7	CLE-26	V	IC1b	複合頭部	25.6	16.6	3.5	0.9	1	直頭部	1970	13-109	
8	CLE-26	V	IC1b	複合頭部	25.6	16.6	3.0	0.9	1	直頭部	1970	13-109	
9	CLE-26	V	IC1b	複合頭部	26.7	17.4	3.0	0.9	1	直頭部	1970	13-110	
10	CML-26	V	IC1b	複合頭部	(21.4)-(26.4)	(9.2)-(9.3)	3.5	0.8	1	直頭部	1977	13-110	
11	CLE-25	V	IC1b	複合頭部	(26.1)-(22.4)	(10.1)-(10.2)	3.6	0.8	1	直頭部	1968	13-111	
12	CML-26	V	IC1b	複合頭部	23.0	27.1	3.0	0.9	1	直頭部	1968	13-112	
13	CML-26	V	IC1b	複合頭部	(24.9)-(28.6)	(8.6)-(8.7)	3.0	0.8	1	直頭部	1968	13-113	
14	CLE-22	V	IC1b	複合頭部	(22.4)-(25.2)	(12.0)	4.5	0.7	1	直頭部	1968	13-114	
15	CLE-25	V	IC1b	複合頭部	(20.5)-(23.9)	(10.3)	3.8	0.8	1	直頭部	1968	13-115	
16	CLE-21a	V	IC1b	複合頭部	24.0	15.3	3.0	0.8	1	直頭部	1968	13-116	
17	CML-26	V	IC1b	複合頭部	20.1	14.7	3.0	0.8	1	直頭部	1968	13-117	
18	CLE-26	V	IC1b	複合頭部	(20.4)	15.2	3.0	0.8	1	直頭部	1974	13-118	
19	CLE-25	V	IC1b	複合頭部	(21.2)-(23.2)	15.6	3.5	0.8	1	直頭部	1968	13-119	
20	CLE-25	V	IC1b	複合頭部	(20.3)-(22.3)	9.3	4.8	0.8	1	直頭部	1968	13-120	
21	CML-25	V	IC1b	複合頭部	(20.4)-(23.4)	(10.0)	3.0	0.8	1	直頭部	1968	13-121	
22	CLE-25	V	IC1b	複合頭部	(21.4)-(23.4)	(10.0)	3.2	0.8	1	直頭部	1968	13-122	
23	CLE-26	V	IC1b	複合頭部	(20.1)-(24.0)	9.7	4.0	0.8	1	直頭部	1968	13-123	

第47図 石器(16)



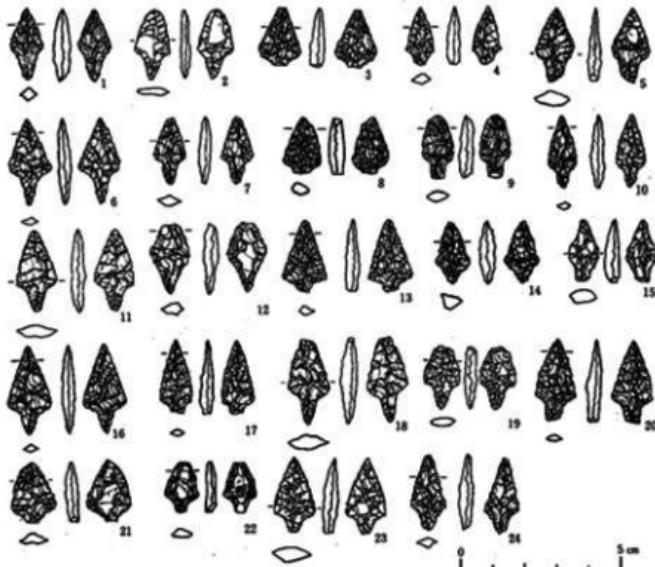
番号	出所・地點	形態	分類	三・四	長さ(ミリ)	幅(ミリ)	厚さ(ミリ)	重さ(グラム)	大きさ	アラベラ	備考	出所番号
1	CLM-21	V	IC1b		(37.3) - (34.2)	10.8	2.4	10.00				2766
2	CLM-20	V	IC1b		(34.0) - 15.4	11.0	2.7	9.32	丸頭			3421
3	CLM-8		直刃石器		(34.0) - (32.5)	9.5	3.8	9.42	丸頭・直刃			2258
4	CLM-35	V	IC1b		(34.0) - (31.8)	9.5	3.6	9.22	丸頭・直刃			4495
5	CLM-9	V	IC1b		(35.0) - (34.8)	10.6	5.5	11.35	直刃・直刃			3827
6	CLM-31	V	IC1b		(34.0) - (33.8)	10.5	5.5	11.35	直刃・直刃			3827
7	CLM-29	V	IC1b		(37.5) - 19.2	10.8	4.4	9.0		1		3829
8	CLM-21	V	IC1b		(36.8) - 19.8	10.5	4.5	9.7		1		3826
9	CLM-25	V	IC1b		(36.0) - 19.5	10.5	4.7	1.2				3823
10	CLM-23	V	IC1b		(31.0) - (27.2)	17.0	6.5	11.00	丸頭			3847
11	CLM-25	V	IC1b		(31.7) - 19.2	12.5	4.9	9.0				3813
12	CLM-34	V	IC1b		(29.0) - 18.8	12.0	4.4	10.00	丸頭			3851
13	CLM-13	V	IC1b		(31.0) - 27.4	12.0	4.2	11.22	丸頭			3859
14	CLM-8	V	IC1b		(36.0) - 23.1	12.0	4.5	1.4				2262
15	CLM-36	V	IC1b		(35.5) - 19.4	6.5	4.0	9.3				4673
16	CLM-35	V	IC1b		(37.0) - 18.6	6.0	3.6	10.12	丸頭			4690
17	CLM-23	V	IC1b		(35.0) - (34.3)	9.5	3.4	9.33	丸頭			3837
18	CLM-8	V	IC2a		(29.0) - (28.1)	20.8	5.5	21.75	丸頭			2261
19	CLM-20b	V	IC2b		(35.0) - (30.3)	14.0	4.9	9.40	丸頭			3851
20	CLM-26	V	IC1b		(39.4) - (37.8)	9.0	3.9	9.00	丸頭			4683
21	CLM-26	V	IC1b		(35.0) - (31.7)	10.0	3.2	10.2	丸頭			4684
22	CLM-26	V	IC1b		(33.0) - (37.8)	10.0	7.0	11.32	下直刃			4687
23	CLM-10b	V	IC1b		(33.0) - 9.5	11.0	3.0	9.00	丸頭	1		3830
24	CLM-16	V	IC1b		(34.0) - (36.9)	11.2	3.7	9.46	丸頭			3834
25	CLM-20b	V	IC1b		(35.0) - 9.5	11.0	2.8	9.3				3843
26	CLM-32	V	IC1b		(25.0) - (7.9)	12.0	4.0	9.00	丸頭	2		3849

第48回 石器(17)



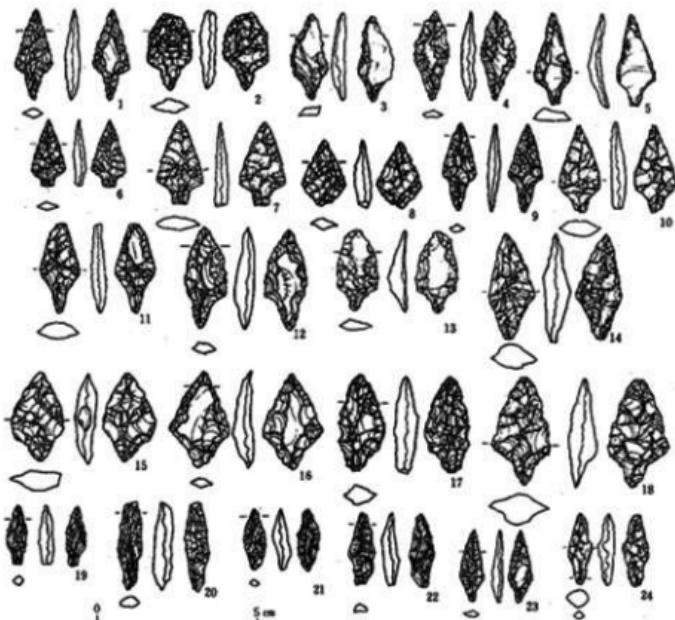
番号	成岩・埋没	鉱物	形	幅 (mm)	厚 (mm)	長さ (mm)	大きさ (mm)	火成岩	テクスチャ	形	幅 (mm)	厚 (mm)	長さ (mm)
1	CL49-34	V	ICBn	褐色斑状	21.0	11.7	11.0	3.1	6.4	1	3792	13-14	
2	CL49-34	V	ICBn	褐色斑状	21.1	9.5	12.0	3.0	6.0		3256	13-20	
3	CL49-35	V	ICBn	褐色斑状	(28.0) - (21.2)	11.0	4.5	6.0	6.0		3321	13-18	
4	CL49-35	V	ICBn	褐色斑状	(24.4) - (27.4)	11.0	4.0	6.0	6.0		3287	13-18	
5	CL49-35	V	ICBn	褐色斑状	(30.2) - (22.6)	22.1	2.0	6.0	6.0		4096	13-13	
6	CL49-35	V	ICBn	褐色斑状	(33.4) - (30.2)	8.7	2.0	6.0	6.0	1	3943	13-14	
7	CL49-36	V	ICBn	褐色斑状	16.9	11.6	9.2	2.9	6.45	2	4071	13-15	
8	CL49-36	V	ICBn	褐色斑状	(29.7) - (34.0)	11.6	3.0	6.0	6.0		4088	13-16	
9	CL49-36	V	ICBn	褐色斑状	(30.6) - (18.8) (33.7)	23.2	3.0	6.0	6.0		4099	13-14	
10	CL49-36	V	ICBn	玉髓	(28.0) - (32.2)	13.0	6.0	6.0	6.0		4079	13-15	
11	CM41-35	V	ICBn	褐色斑状	18.5	14.8	13.0	3.0	6.5		3249	13-13	
12	CL39-31	V	ICBn	褐色斑状	(27.5) - (31.7)	34.4	6.5	(13.0)	火成・晶出		4090	14-17	
13	CL39-32	V	ICBn	褐色斑状	(25.0) - (32.8)	35.0	4.4	(0.3)	火成・晶出		3956	14-3	
14	CL41-36	V	ICBn	褐色斑状	(29.0) - (32.7)	33.0	4.0	(0.3)	火成		3244	14-3	
15	CL41-36	V	ICBn	玉髓	(28.0) - (32.7)	34.2	3.7	(0.3)	火成		4066	14-4	
26	CM49-22	V	ICBn	褐色斑状	22.8	20.5	20.2	5.5	1.6		3950	14-5	
27	CM49-22	V	ICBn	褐色斑状	(35.2) - (31.4)	20.5	3.0	6.0	6.0		3958	14-6	
28	CL41-35	V	ICBn	褐色斑状	(28.0) - (35.6)	8.5	0.9	6.0	6.0	2	3250	14-7	
29	CL39-31	V	ICBn	褐色斑状	(31.0) - (35.4)	16.5	0.6	6.0	6.0		4051	14-8	
30	CM44-25	V	ICBn	褐色斑状	29.5	15.9	16.0	2.6	0.2	2	4079	14-9	
31	CL39-31	V	ICBn	褐色斑状	(22.0) - (22.9)	9.5	2.7	(0.4)	晶出	1	4042	14-10	
32	CM44-25	V	ICBn	褐色斑状	(28.0) - (32.4)	18.2	4.3	6.0	6.0		3989	14-12	
33	CM44-25	V	ICBn	褐色斑状	(28.0) - (31.0)	18.5	3.5	6.0	6.0	1 (火成)	3949	14-13	

第49図 石 鑽(18)



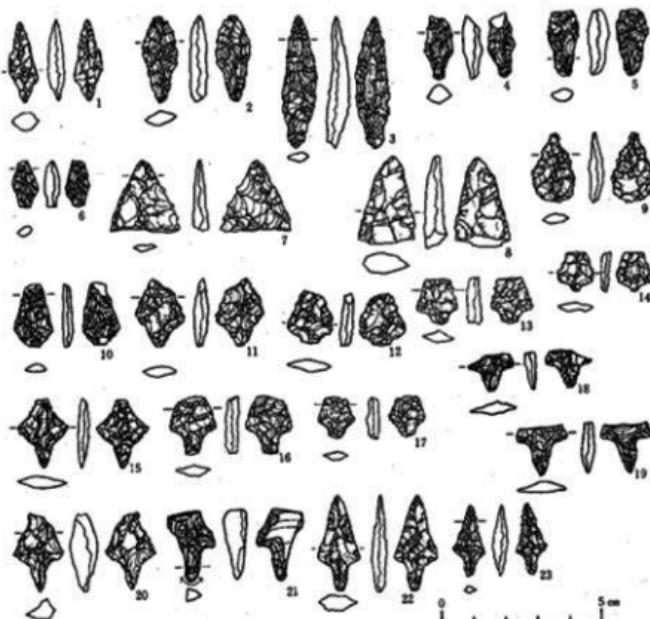
番号	地名・時代	分類	形 式	長さ(cm)	幅さ(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	文様 級	参考番号	地 号	出土地名	地 号
1	CIMe-25	Y	ICOba	細長頭器	23.6 × 12.4	9.0	0.6		2		2000	14-14
2	CIMe-16	Y	ICOba		22.5 × 15.1	11.0	3.0	(3) (3) (3)	1		2400	14-12
3	CLM-3C	Y	ICOba		(24.1) × (23.5)	12.2	4.3	(3) (3) (3)			2000	14-20
4	CLM-24	Y	ICOba	細長頭器	(26.5) × 16.1	9.5	2.0	(3) (3) (3)	2		2000	14-27
5	CIMe-1	Y	ICOba	細長頭器	(23.3) × 13.1	9.5	2.0	(3) (3) (3)			2400	14-22
6	CLM-25	Y	ICOba	細長頭器	26.5 × 18.8	(23.0)	3.8	(3) (3) (3)	1	(3) (3) (3)	2000	14-18
7	CIMe-23	Y	ICOba	細長頭器	(23.6) × (23.0)	20.0	3.6	(3) (3) (3)			2000	14-23
8	CLM-24	Y	ICOba	細長頭器	(27.5) × (23.0)	21.2	4.7	(3) (3) (3)	2		2000	14-22
9	CIMe-19	Y	ICOba	細長頭器	(23.5) × (23.0)	9.2	4.2	(3) (3) (3)			2000	14-23
10	CLM-25	Y	ICOba	細長頭器	22.5 × 22.7	9.5	4.0	(3) (3) (3)			2000	14-24
11	CLM-26	Y	ICOba	細長頭器	25.5 × 27.1	22.0	2.9	(3) (3) (3)			2000	14-25
12	CIMe-26	Y	ICOba	細長頭器	(23.5) × (23.0)	22.0	4.6	(3) (3) (3)			2000	14-26
13	CLM-26a	Y	ICOba	細長頭器	(23.5) × 27.0	24.0	4.5	(3) (3) (3)			2000	14-26
14	CIMe-22	Y	ICOba	細長頭器	20.5 × 24.2	20.0	4.7	0.00			2000	14-29
15	CLM-25	Y	ICOba	細長頭器	(23.5) × (23.0)	9.1	4.0	(3) (3) (3)	1		2000	14-29
16	CIMe-26	Y	ICOba	細長頭器	26.5 × 28.4	23.0	4.0	(3) (3) (3)			2000	14-26
17	CLM-21	Y	ICOba	細長頭器	(23.5) × 19.1	9.5	4.1	(3) (3) (3)			2000	14-21
18	CLM-21	Y	ICOba	細長頭器	(27.4) × (28.7)	20.0	4.8	(3) (3) (3)			2000	14-21
19	CLM-16	Y	ICOba	細長頭器	(23.7) × (23.0)	21.0	3.7	(3) (3) (3)			2000	14-20
20	CLM-22	Y	ICOba	細長頭器	(23.5) × 18.0	20.0	4.4	(3) (3) (3)			2000	14-27
21	CLM-14	Y	ICOba	細長頭器	(23.5) × (23.0)	23.0	4.0	(3) (3) (3)	2		2000	14-13
22	CLM-24	Y	ICOba	細長頭器	(23.5) × (23.0)	20.2	3.0	(3) (3) (3)	1		2000	14-26
23	CLM-15	Y	ICOba	細長頭器	(23.5) × 17.0	22.5	4.7	(3) (3) (3)			2000	14-26
24	CLM-14	Y	ICOba	細長頭器	24.0 × 15.5	11.0	4.1	(3) (3) (3)	1		2000	14-27

第50図 石 鋒(19)



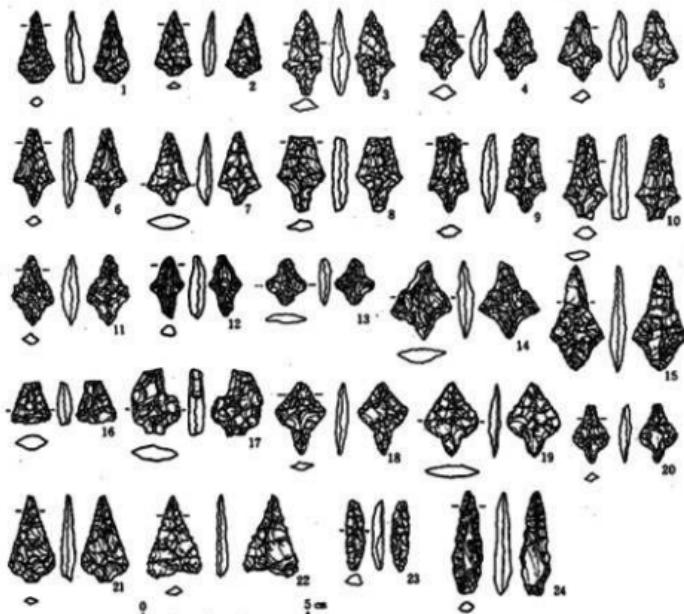
番号	地名・標本	時代	分類	目	寸	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	記載者	参考文	登録番号	年
1	CLB-1IC	V	ICB5	直刃尖端	26.0 - 27.5	12.0	4.2	6.7		1		4902	14- 39
2	CMH-22	V	ICB5	直刃尖端	(31.5) - (32.5)	14.0	4.7	(3.0)	直端	(直端)		5002	14- 39
3	CLB-21	V	ICB5	直刃尖端	26.8	18.0	11.0	4.0	(直端)		2790	14- 40	
4	CLB-21	V	ICB5	直刃尖端	26.0	26.5	13.0	4.8	5.9	(直端)		4809	14- 41
5	CLB-14	V	ICB5	直刃尖端	(26.5) - (27.5)	13.0	4.8	(3.0)	直端	(直端)		4975	14- 42
6	CMH-12	V	ICB5	直端	(21.0) - (21.5)	12.0	3.4	(3.0)	直端		4975	14- 43	
7	CMH-15	V	ICB5	直端	(26.0) - (26.5)	14.0	4.8	(1.8)	直端		3629	14- 44	
8	CMH-22	V	ICB5	直刃尖端	(21.0) - (21.5)	13.0	4.0	5.6	(3.0)	直端	(直端)	5009	14- 45
9	CLB-25	V	ICB5	直刃尖端	27.6	26.7	10.5	3.7	5.6		2609	14- 45	
10	CMH-15	V	PVB5	直刃尖端	(27.0) - (28.0)	13.0	4.6	(3.0)	直端・茎部		5010	14- 47	
11	CLB-16	V	ICB5	直刃尖端	(27.0) - (28.0)	13.0	4.2	(3.0)	直端	1	4800	14- 48	
12	CMH-24	V	ICB5	直刃尖端	21.5	21.8	13.0	5.8	1.9		4800	14- 49	
13	CMH-15	V	ICB5	直刃尖端	(28.0) - (28.5)	13.0	5.5	(3.0)	直端		4800	14- 50	
14	CLB-21	V	ICB5	直刃尖端	26.0	26.5	14.0	5.8	2.3		394	14- 51	
15	CLB-15	V	ICB5	直刃尖端	27.2	25.0	8.0	4.8	7.4	(直端)		3804	14- 52
16	CMH-28	V	ICB5	直刃尖端	(26.0) - (27.0)	8.0	4.2	5.2	直端		4800	14- 53	
17	CMH-29	V	ICB5	直刃尖端	(28.0) - (29.0)	14.0	7.0	(2.0)	直端・茎部	直端(II)	5007	14- 54	
18	CMH-23	V	ICB5	直刃尖端	(28.0) - (28.5)	18.0	6.0	(3.0)	直端	(直端)	2607	14- 55	
19	CLB-21	V	ICB5	直刃尖端	(26.0) - (26.5)	15.0	4.2	(3.0)	直端・茎部	直端(III)	5006	14- 56	
20	CLB-15	V	ICB5	直刃尖端	(27.0) - (28.0)	7.0	3.0	(3.0)	直端	1	3872	14- 57	
21	CLB-21	V	ICB5	直刃尖端	26.0	24.0	7.0	4.0	4.0		4800	14- 58	
22	CLB-21b	V	ICB5	直刃尖端	(22.0) - (22.5)	7.0	4.0	4.0	直端	(直端)	3621	14- 59	
23	CMH-25	V	ICB5	直刃尖端	22.0	19.4	7.0	3.2	3.2		5009	14- 60	
24	CLB-16	V	ICB5	直刃尖端	22.0	19.4	7.0	4.0	4.0		4902	14- 61	

第51図 石 鋸(20)



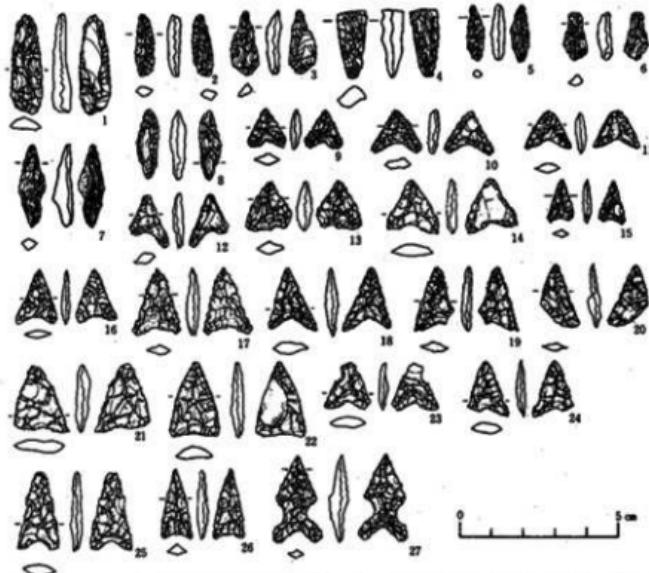
番号	地区・層位	形態	分	科	種	材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	大きさ	テクスチャ	地	岩相	記録番号	地	
1	CL41-16	V	NCB			細長い貝	25.2	16.2	0.2	細長い	均一	河内	陸相河川	4659	地	
2	CL41-NW17	V	NCB			細長い貝	24.80 - 24.52	16.1	3.2	細長い	均一	河内	陸相河川	4661	地	
3	CL41-NW17	V	NCB			細長い貝	24.60 - 24.32	16.2	4.5	細長い	均一	河内	陸相河川	4675	地	
4	CL41-17	V	NCB			細長い貝	19.8	11.6	0.5	細長い	均一	河内	陸相河川	4676	地	
5	CM41-26	V	NCB			細長い貝	20.00 - 20.23	20.2	8.5	0.5	細長い	均一	河内	陸相河川	4690	地
6	CL40-31	V	NCB			細長い貝	24.40 - 24.53	7.0	4.5	0.5	細長い	均一	河内	陸相河川	4695	地
7	CL40-32	V	NC			細長い貝	23.0	0	0	細長い	均一	河内	陸相河川	4701	地	
8	CM41-24	V	NC			細長い貝	28.0	7.5	7.0	細長い	均一	河内	陸相河川	703	地	
9	CL40-33	V	NC			細長い貝	22.2	10.0	4.0	細長い	均一	河内	陸相河川	5108	地	
10	CL40-24	V	NC			細長い貝	29.7	23.82	11.3	細長い	均一	河内	陸相河川	5107	地	
11	CL40-30	V	NC			細長い貝	21.01	13.03	0.53	細長い	均一	河内	陸相河川	5107	地	
12	CL40-15	V	NC			細長い貝	15.01	13.02	0.53	細長い	均一	河内	陸相河川	5107	地	
13	CM41-15	V	NC			細長い貝	15.01	13.02	0.53	細長い	均一	河内	陸相河川	5107	地	
14	CL40-16	V	NC			細長い貝	13.40	13.22	4.3	細長い	均一	河内	陸相河川	5121	地	
15	CL40-16	V	NC			細長い貝	13.01	0.97	11.2	細長い	均一	河内	陸相河川	5121	地	
16	CM40-17	V	NC			細長い貝	13.01	0.97	14.0	細長い	均一	河内	陸相河川	5121	地	
17	CM40-17	V	NC			細長い貝	13.01	0.97	14.0	細長い	均一	河内	陸相河川	5121	地	
18	CM40-18	V	NC			細長い貝	13.01	0.97	14.0	細長い	均一	河内	陸相河川	5121	地	
19	CM40-19	V	NC			細長い貝	13.01	0.97	14.0	細長い	均一	河内	陸相河川	5121	地	
20	CM40-20	V	NC			細長い貝	13.01	0.97	14.0	細長い	均一	河内	陸相河川	5121	地	
21	CM40-21	V	NC			細長い貝	13.01	0.97	14.0	細長い	均一	河内	陸相河川	5121	地	
22	CM40-22	V	NCB			細長い貝	16.0	29.3	13.2	細長い	均一	河内	陸相河川	2406	地	
23	CM40-23	V	NCB			細長い貝	16.0	29.4	4.5	細長い	均一	河内	陸相河川	2406	地	
24	CL39-21	V	NCB			細長い貝	22.5	14.4	10.0	細長い	均一	河内	陸相河川	4643	地	

第52図 石 滅(21)



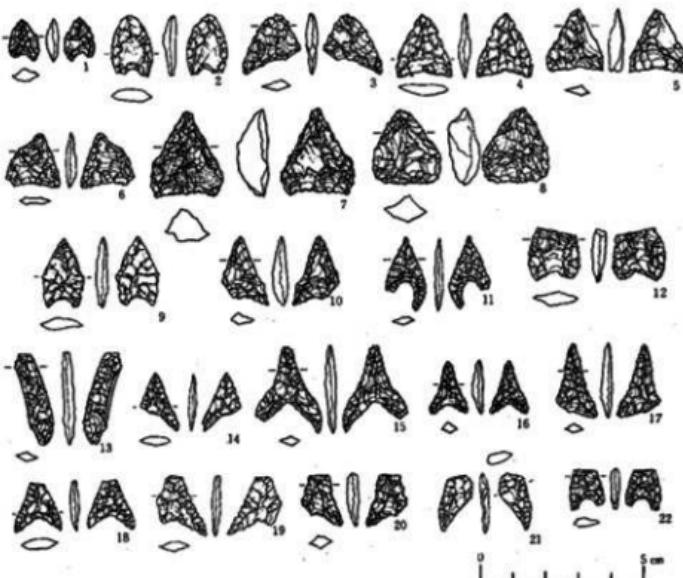
番号	時代	地質	種類	形	壳長(cm)	殻幅(cm)	殻厚(cm)	文様	標本	地點	標本番号	形
1	EC.	NBB <sup>(1)</sup>	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.4) + (21.5)	27.5	5.5	(0.85)	先端	2545	14 - 84
2	CH44 - E	V	ICR1a	褐色貝殼	(20.5) + (20.5)	21.0	5.5	(0.85)	先端	2515	14 - 85	
3	CH44 - E	V	ICR1a	褐色貝殼	(20.5) + (20.5)	21.0	5.5	(0.85)	先端	2543	14 - 87	
4	CL49 - 25	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (24.2)	23.0	5.5	0.7		2594	14 - 88	
5	CM41 - 23	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (24.2)	23.0	5.5	0.85	先端 - 延伸	2588	14 - 89	
6	CL49 - 23	V	ICR1a	褐色貝殼	(20.5) + (20.5)	20.5	4.5	0.85	先端	2594	14 - 90	
7	CL41 - 26	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	22.4	4.7	0.70	先端 - 延伸	2595	14 - 91	
8	CL49 - 23	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	24.5	4.5	0.85	先端 - 延伸	2551	14 - 92	
9	CM41 - 26	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	22.0	4.8	0.75		2479	14 - 93	
10	CL49 - 25	V	ICR1a	褐色貝殼	(20.5) + (20.5)	20.5	4.2	0.75	先端 - 延伸	2529	14 - 94	
11	CM41 - 23	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	22.0	4.9	0.7		2417	14 - 95	
12	CL49 - 25	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	22.0	4.8	0.75		2592	14 - 96	
13	CM41 - 24	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	22.0	5.5	0.75	先端 - 延伸	2485	14 - 97	
14	CM41 - 25	V	ICR1a	褐色貝殼	(20.5) + (20.5)	20.5	4.6	0.75	先端 - 延伸	2443	14 - 98	
15	CL41 - 26	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	22.0	4.5	0.75		2524	14 - 99	
16	CM49 - 2	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	24.4	4.4	0.85	先端 - 延伸	2517	15 - 249	
17	CL41 - 15	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	25.5	2.5	0.85	先端	2460	14 - 73	
18	CM41 - 2	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	25.5	2.5	0.85	先端	2390	14 - 292	
19	CL41 - 16	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	25.7	2.3	0.8		2495	14 - 383	
20	CM41 - 25	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	21.5	2.3	0.85		2423	14 - 394	
21	CL41 - 16	V	ICR1a	褐色貝殼	(21.5) + (21.5)	24.4	4.0	0.85	先端 - 延伸	2464	14 - 395	
22	CM41 - 24	V	IIC	褐色貝殼	(24.5)	23.0	2.3	0.85	先端 - 延伸	2459	14 - 396	
23	CL49 - 16	V	ID	褐色貝殼	(21.5)	9.7	2.5	0.85		2552	14 - 397	
24	CL49 - 16	V	ID	褐色貝殼	(20.9)	8.6	4.6	1.35		2553	14 - 398	

第53回 石 賽(22)



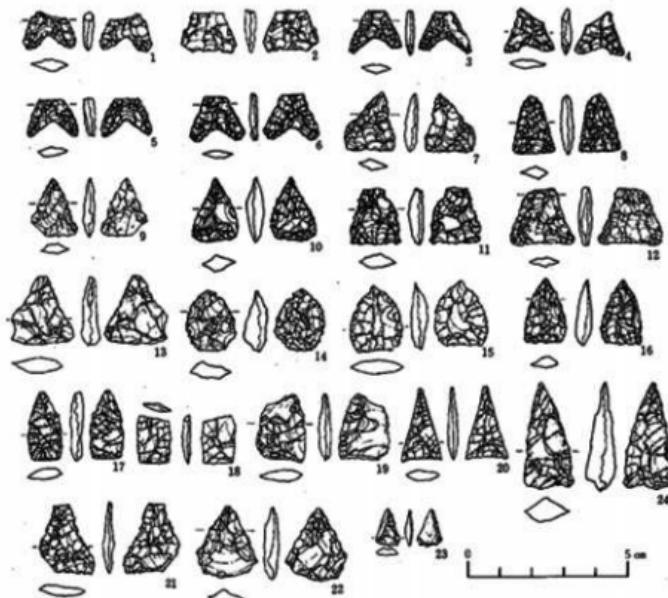
番号	地名・層位	時代	分類	石種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	火照度	フクシマガ	標	登録番号	出	入
(中等級火照)													
1	CL45-16	Y	ID	磨光石器	31.2	9.5	1.6	1.5			4190	34-110	
2	CM46-26	Y	ID	磨光石器	(38.0)	6.2	3.0	(0.30)			3653	34-113	
3	CL45-15	Y	ID	磨光石器	(30.0)	9.4	4.5	(0.40)			3650	34-112	
4	CL45-15	Y	ID	磨光石器	(33.1)	9.2	4.4	(1.00)			3662	34-113	
5	CL45-16	Y	ID	磨光石器	7.5	5.3	4.1	0.36			4002	34-113	
6	CL45-23	Y	ID	磨光石器	(33.0)	6.7	4.1	(0.30)			3660	34-117	
7	CL45-24	Y	ID	磨光石器	(26.0)	6.2	6.5	(0.80)			3667	34-124	
8	CL45-24	Y	ID	磨光石器	23.6	6.6	4.5	0.8			3667	34-125	
9	CL45-29	Y	GA-1a	磨光石器	33.8	10.0	3.5	0.3			3239	34-128	
10	CL45-29	Y	GA-1a	磨光石器	34.2	10.0	3.5	0.2			4791	34-129	
11	CL45-32	Y	GA-1a	磨光石器	(32.0)	14.5	2.9	0.25			3295	34-129	
12	CM46-7	Y	GA-1a	磨光石器	36.8	(13.0)	2.9	(0.30)			63	34-121	
13	CL45-20	Y	GA-1a	磨光石器	(24.0)	(15.0)	4.4	(0.40)			4000	34-120	
14	CL45-12	Y	GA-1a	磨光石器	(27.7)	16.2	3.5	(0.60)			3650	34-123	
15	CL45-29	Y	GA-1a	磨光石器	(24.0)	(7.5)	3.5	(0.40)			4792	34-124	
16	CM46-11	Y	GA-1b	磨光石器	27.8	13.4	2.5	0.2			494	34-125	
17	CL45-29	Y	GA-1b	磨光石器	23.8	10.5	3.8	0.7			3237	34-126	
18	CL45-12	Y	GA-1b	磨光石器	30.8	(15.0)	3.4	(0.40)			3653	34-127	
19	CL45-20	Y	GA-1b	磨光石器	(26.0)	(18.0)	2.6	(0.30)			3652	34-128	
20	CL45-29C	Y	GA-1b	磨光石器	(20.0)	(18.0)	3.6	(0.40)			3653	34-129	
21	CL45-14	Y	GA-1b	磨光石器	(21.0)	(17.0)	4.1	(0.30)			3663	34-130	
22	CL45-14	Y	GA-1b	磨光石器	(23.0)	(16.5)	3.4	(0.30)			3670	34-131	
23	CL45-14	Y	GA-1b	磨光石器	(24.0)	(16.5)	3.4	(0.40)			3660	34-132	
24	CL45-13	Y	GA-1b	磨光石器	(26.0)	(16.5)	2.6	(0.40)			3662	34-123	
25	CL45-12	Y	GA-1b	磨光石器	(24.0)	(16.5)	3.1	(1.00)			3664	34-124	
26	CL45-29	Y	GA-1b	磨光石器	23.8	10.5	3.4	(0.30)			3654	34-125	
27	CL45-29	Y	GA-1b	磨光石器	27.2	10.0	3.9	2.2			3654	34-126	

第54図 石 鋒 (23)



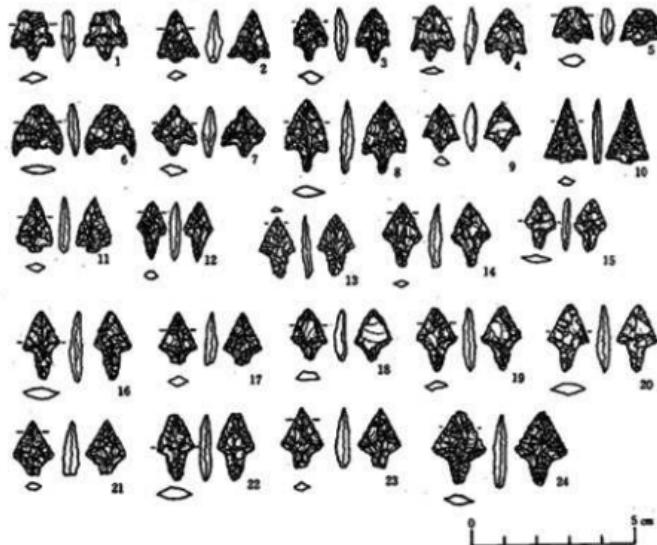
番号	地区・層位	種類	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	火成岩	堆積岩	標名	出露場所	層位
1	CL30-30	テ	SA22a	12.2	9.2	2.6	(0.1)	基盤			4688	14-157
2	CL41-12	テ	SA22a	12.5	9.2	2.9	(1.6)	火成・堆積			3629	15-2
3	CM41-22	テ	SA22a	19.4	17.0	3.5	(0.5)	火成・堆積			3644	15-3
4	CL41-22	テ	SA22a	19.2	11.8	4.6	(0.9)				3627	15-4
5	CL40-26	テ	SA22a	19.0	17.0	4.4	0.9				3628	15-5
6	CM41-22	テ	SA22a	18.6	18.0	3.4	(0.5)	火成・基盤			3643	15-6
7	CL40-26	テ	SA22a	18.6	18.0	3.5	(4.17)	火成・基盤			3650	15-7
8	CL39-30	テ	SA22a	21.9	21.8	9.2	2.85				4555	15-8
9	CL41-14	テ	SA22a	21.9	13.2	2.6	0.8				4556	15-9
10	CL39-30	テ	SA22a	21.5	13.0	2.5	0.7				4557	15-10
11	CL39-30	テ	SA22	21.2	15.8	2.6	(0.5)	基盤			4558	15-11
12	CL39-30	テ	SA22	21.0	16.9	4.0	(0.42)	基盤			4559	15-12
13	CL40-26	テ	SA22	21.0	17.0	3.1	(0.56)	火成・基盤	4		3627	15-13
14	CL41-14	テ	SA22a	18.6	18.0	2.4	(0.32)	基盤			3650	15-14
15	CL39-26	テ	SA22b	27.4	20.0	3.3	(0.5)	火成・基盤			4555	15-15
16	CL40-22	テ	SA22b	16.6	22.0	3.5	0.9				4556	15-16
17	CL39-26	テ	SA22b	23.5	12.5	3.4	(0.3)	基盤			4557	15-17
18	CL41-12	テ	SA22b	16.1	14.0	2.6	0.45				3629	15-18
19	CL39-26	テ	SA22b	23.2	18.2	2.4	(0.5)	火成・基盤			3626	15-19
20	CL39-26	テ	SA22b	23.5	12.0	3.5	(0.5)	火成・基盤			4556	15-20
21	CL41-12	テ	SA22b	23.0	18.7	2.5	(0.4)	火成・基盤			3623	15-21
22	CM41-21	テ	SA22	27.0	13.5	2.3	(0.5)	火成・基盤			3629	15-22

第55図 石 織(24)



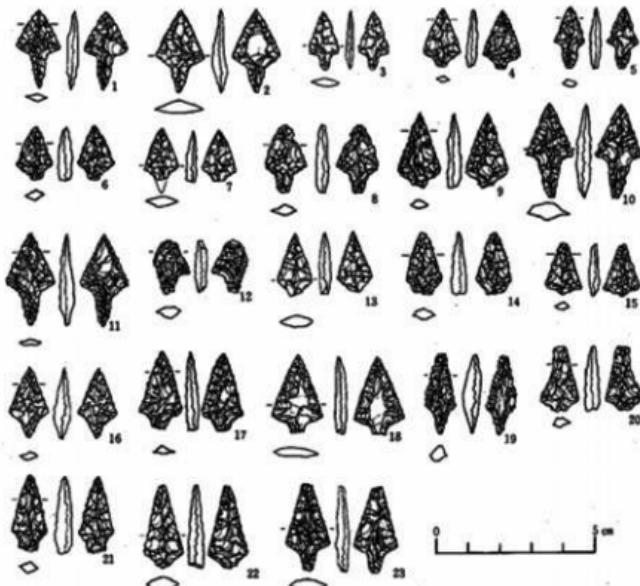
番号	MNC・標名	時代	分類	石種	高さ(㎜)	幅(㎜)	厚さ(㎜)	重さ(g)	文様	特徴	備考	図	記載番号	図
1	CLB-36	W.	(SA)	放射網形	12.5	16.0	3.0	0.35	無縫			4894	13-22	
2	CLB-14	W.	(SA)	放射網形	12.7	17.1	3.4	0.35	無縫・直縫			3804	13-24	
3	CLB-30	W.	(SA)	放射網形	14.0	18.0	2.4	0.35	無縫・直縫			4897	13-25	
4	CMH-21	W.	(SA)	放射網形	14.0	16.5	2.6	0.35	無縫			3807	13-26	
5	CLB-30	W.	(SA)	放射網形	12.0	16.0	3.2	0.35	無縫			4878	13-27	
6	CLB-30	W.	(SA)	放射網形	14.0	17.0	3.3	0.42	無縫・直縫			3808	13-28	
7	CLB-39	W.	(SA)	放射網形	18.1	18.7	3.5	0.77	無縫・直縫			4789	14-58	
8	CLB-40	W.	(SA)	放射網形	18.0	18.2	3.5	0.75	無縫			3807	13-39	
9	CMH-1	W.	(SA)	放射網形	18.5	20.4	3.3	0.65	無縫			3222	13-31	
10	CLB-39	W.	(SA)	放射網形	18.0	20.5	3.3	0.65	無縫・直縫			3806	13-32	
11	CLB-72	W.	(SA)	放射網形	18.0	20.0	4.5	0.30	無縫			3806	13-33	
12	CMH-22	W.	(SA)	放射網形	18.0	20.0	4.8	0.42	無縫	(横縫?)・無アフ	424	13-24		
13	CLB-13	W.	(SA)	放射網形	21.0	20.0	6.3	0.32	無縫			3806	13-35	
14	CLB-30	W.	(SA)	放射網形	19.5	21.5	6.8	1.2		(横縫?)		3804	13-27	
15	CLB-42	W.	(SA)	放射網形	20.6	26.7	4.5	1.6				3826	15-38	
16	CLB-30	W.	(SA)	放射網形	21.0	23.6	5.0	0.8				3804	13-39	
17	CLB-43	W.	(SA)	放射網形	21.0	22.0	5.0	0.90	無縫			3806	13-40	
18	CLB-15	W.	(SA)	放射網形	24.0	20.0	3.6	0.50	無縫			3801	13-41	
19	CLB-19	W.	(SA)	放射網形	29.7	25.5	4.2	1.40	無縫	(横縫?)・無アフ?		3804	13-42	
20	CLB-12	W.	(SA)	放射網形	23.0	23.0	3.6	0.40	無縫			3804	13-43	
21	CLB-13	W.	(SA)	放射網形	22.0	24.7	3.1	1.40	無縫・直縫	(横縫?)		3804	13-44	
22	CLB-20d	W.	(SA)	放射網形	24.5	7.4	2.0	0.50				3801	13-45	
23	CLB-20d	W.	(SA)	放射網形	23.5	20.0	4.0	1.00	無縫・直縫			4813	13-45	
24	CLB-11	W.	(SA)	放射網形	23.5	23.5	9.5	2.7				3804	13-46	

図56 図 石 (25)



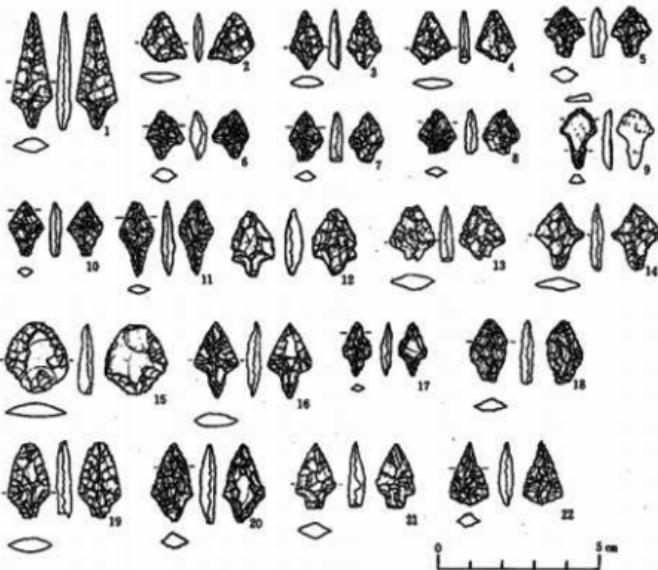
番号	種名・原出	種類	分類	名	材	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	度合(g)	文	質	アラマサ	番	号	標本番号	年
1	CL39-30	W	IA 1a	細胞輪形	(15.7)-(11.5)(13.2)	3.5	0.35	光端・直線					455	13-39		
2	CL39-30	W	IA 1b	圓形	(16.0)-(24.2)(15.4)	4.5	0.35	光端・直線					456	13-39		
3	CM39-21	W	IA 1a	細胞輪形	(15.8)-(11.8)(16.2)	5.5	0.42	光端・直線					539	13-32		
4	CM41-21	W	IA 1a	細胞輪形	(16.5)-(24.4)(20.2)	3.5	0.42	光端・直線					538	13-31		
5	CL39-30	W	IA 1a	細胞輪形	(11.8)-(9.3)(12.0)	3.5	0.35	光端・直線					457	13-34		
6	CL39-30	W	IA 1a	細胞輪形	(16.0)-(13.0)(16.5)	3.5	0.35	光端・直線					458	13-35		
7	CL39-29	W	IA 1a	圓形	(15.0)-(22.0)(16.0)	3.5	0.35	光端・直線					470	13-36		
8	CM39-21	W	IA 1a	細胞輪形	15.2 - 16.5	8.8	0.4						537	13-37		
9	CM41-21	W	IA 1a	細胞輪形	15.8 - 12.0	11.0	0.5	0.5					536	13-38		
10	CL41-16	Y	IB 1b	圓形	(21.4)-(27.2)(24.4)	3.5	0.45	直端					462	13-39		
11	CL39-29	W	IC 1a	圓形	(17.0)-(16.5)(21.0)	2.7	0.35	直端					461	13-40		
12	CM41-15	W	IC 1a	細胞輪形	16.8 - 9.7	14.0	2.0	0.2		1			526	13-41		
13	CL40-25	W	IC 1a	細胞輪形	(18.0)-(16.5)(16.0)	3.7	0.35	直端					525	13-42		
14	CL40-25	W	IC 1a	細胞輪形	(18.0)-(16.5)(15.0)	3.5	0.35	直端					524	13-43		
15	CL41-14	W	IC 1a	細胞輪形	(15.4)-(14.5)(15.5)	5.5	2.5	0.25	直端				523	13-44		
16	CL41-14	W	IC 1a	細胞輪形	21.0 - 22.3	11.0	2.8	0.32	直端				522	13-45		
17	CL39-20	W	IC 1a	細胞輪形	(16.0)-(11.3)(12.0)	3.5	0.35	直端					460	13-46		
18	CL39-20	W	IC 1a	細胞輪形	16.0 - 8.2	11.5	3.1	0.25					462	13-47		
19	CL39-19	W	IC 1a	細胞輪形	18.0 - 10.2	13.6	3.5	0.3					459	13-48		
20	CM40-7	W	IC 1a	細胞輪形	(20.0)-(13.0)(13.6)	3.8	0.45	先端	1				520	13-49		
21	CM40-7	W	IC 1a	細胞輪形	(16.0)-(11.0)(12.0)	4.5	0.52	直端					521	13-50		
22	CL39-20	W	IC 1a	圓形	(19.3)-(21.0)(16.0)	3.5	0.35	直端					459	13-51		
23	CL39-20	W	IC 1a	圓形	(16.5)-(11.5)(12.0)	2.8	0.35	直端					458	13-52		
24	CL39-20	W	IC 1a	細胞輪形	(22.0)-(22.0)(15.7)	5.5	0.45	先端・直端					459	13-53		

第57図 石 錆(26)



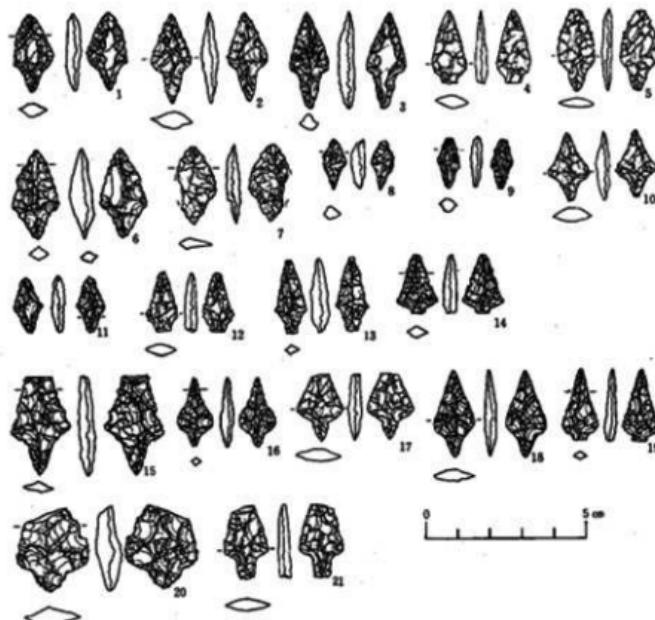
号	地名・遺跡	時代	分類	目	長さ(cm)	幅さ(cm)	厚さ(cm)	尖端	刃	断面	工具名	器種番号	分類
1	CLM-20	W	IC1b	直刃石矛頭	20.0	15.0	14.0	3.1	0.4	直刃	(直縫化)	4783	15-74
2	CLM-21	W	IC1b	直刃石矛頭	20.0	15.0	14.0	4.2	0.9	直刃	(直縫化)	4784	15-75
3	CLM-34	W	IC1b	直刃石矛頭	18.3	12.0	9.0	3.2	0.3	直刃	(直縫化)	3675	15-76
4	CLM-264	W	IC1b	直刃石矛頭	(18.3) - 16.2	11.5	2.0	(0.3)	直刃	(直縫化)	4612	15-77	
5	CLM-22	W	IC1b	直刃石矛頭	(18.3) - 16.0	9.5	3.1	(0.3)	直刃	(直縫化)	3679	15-78	
6	CLM-30	W	IC1b	直刃石矛頭	(17.0) - (12.3)	11.5	4.5	(0.4)	直刃・直頭	(直縫化)	4600	15-79	
7	CMH-7	W	IC1c	直刃石矛頭	(18.4) - (12.0)	10.4	3.2	(0.3)	直刃	(直縫化)	2444	15-80	
8	CLM-38	W	IC1b	直刃石矛頭	(21.2) - (14.2)	12.0	3.0	(0.7)	直刃・直頭	(直縫化)	4649	15-81	
9	CLM-23	W	IC1b	直刃石矛頭	(21.2) - 19.0	12.5	4.0	(1.0)	直刃	(直縫化)	3680	15-82	
10	CLM-14	W	IC1b	直刃石矛頭	20.3	16.0	10.0	4.5	0.9	直刃	(直縫化)	3672	15-83
11	CLM-35	W	IC1b	直刃石矛頭	20.3	16.0	10.5	4.5	0.9	直刃	(直縫化)	4626	15-84
12	CLM-31	W	IC1b	直刃石矛頭	(21.2) - (13.2)	(16.4)	3.5	(0.3)	直刃・直頭	(直縫化)	3682	15-85	
13	CLM-12	W	IC1b	直刃石矛頭	(18.3) - (16.0)	10.7	4.3	(0.4)	直刃	(直縫化)	3622	15-87	
14	CLM-39	W	IC1b	直刃石矛頭	(20.2) - (16.1)	11.0	4.7	(0.4)	直刃・直頭	(直縫化)	4674	15-88	
15	CMH-22	W	IC1b	直刃石矛頭	(17.0) - (14.2)	12.0	3.2	(0.3)	直刃・直頭	(直縫化)	3662	15-89	
16	CLM-22	W	IC1b	直刃石矛頭	20.5	16.5	12.5	4.0	0.8	直刃	(直縫化)	3683	15-90
17	CLM-25	W	IC1b	直刃石矛頭	(20.3) - 19.2	12.5	3.9	(0.4)	直刃	(直縫化)	3676	15-91	
18	CMH-7	W	IC1b	直刃石矛頭	(20.3) - (16.2)	14.0	3.0	(0.4)	直刃	(直縫化)	4615	15-92	
19	CLM-26	W	IC1b	直刃石矛頭	(20.3) - (16.7)	8.0	3.3	(0.4)	直刃	(直縫化)	3669	15-93	
20	CLM-30	W	IC1b	直刃石矛頭	(20.3) - (17.0)	12.0	4.0	(0.4)	直刃・直頭	(直縫化)	4677	15-95	
21	CLM-29	W	IC1b	直刃石矛頭	(20.3) - (17.8)	11.0	4.3	(0.5)	直刃	1	4781	15-96	
22	CMH-7	W	IC1b	直刃石矛頭	(20.3) - (16.2)	12.5	4.6	(0.4)	直刃・直頭	1	4616	15-97	
23	CLM-24	W	IC1b	直刃石矛頭	(21.2) - (18.4)	14.2	2.8	(0.7)	直刃・直頭		3673	15-98	

第58図 石 鋸(27)



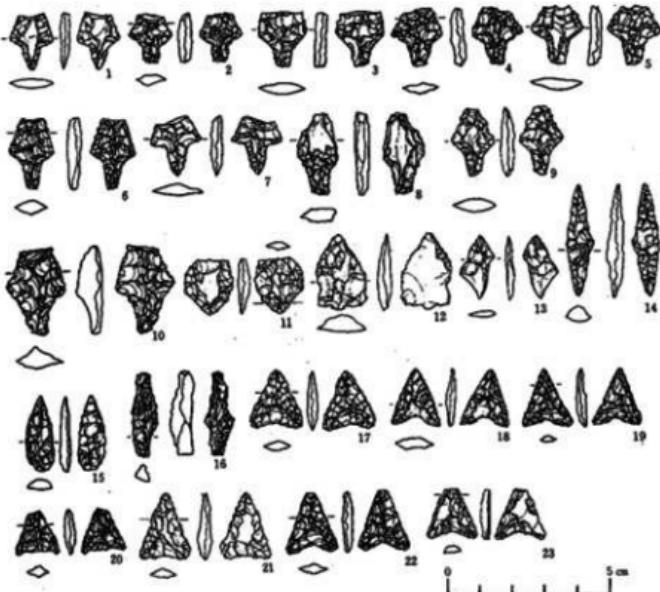
番号	地質・層位	形態	分類	石	厚	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	文様	フリット	磨	名	登録番号	地	出
1	CIAF-21	尖状器	IC1b	燧石	薄	(20.0) × (27.0)	22.0	2.8	0.30	先端・		先端・	1	009	15-109	
2	CIAF-14	尖状器	IC1b	燧石	薄	(33.0) × (33.0)	31.0	2.7	0.40	先端・	縦縞	先端・	2	3698	15-100	
3	CIAF-7	尖状器	IC1b	燧石	薄	(37.7) × (26.1)	30.0	2.6	0.40	先端・	縦縞	先端・	3	3643	15-101	
4	CIAF-22	尖状器	IC1b	燧石	薄	(34.0) × (28.0)	23.0	2.9	0.40	先端・	縦縞	先端・	4	3621	15-102	
5	CIAF-20	尖状器	IC1a	燧石	薄	(35.5) × (35.0)	32.0	4.6	0.30	先端・	縦縞	先端・	5	4554	15-103	
6	CIAF-10	尖状器	IC1a	燧石	薄	(34.0) × (34.0)	32.0	3.6	0.40	先端・	縦縞	先端・	6	4578	15-104	
7	CIAF-19	尖状器	IC1a	燧石	薄	(35.0) × (35.0)	32.0	3.2	0.30	先端・		先端・	7	4598	15-105	
8	CIAF-13	尖状器	IC1a	燧石	薄	(35.0) × (35.0)	32.0	3.5	0.40	先端・		先端・	8	3226	15-106	
9	CIAF-7	尖状器	IC1a	燧石	薄	(38.0) × (38.0)	30.0	2.8	0.3				9	3399	15-107	
10	CIAF-24	尖状器	IC1a	燧石	薄	(37.0) × (37.0)	32.0	3.2	0.40	先端・	縦縞	先端・	10	4514	15-108	
11	CIAF-21	尖状器	IC1a	燧石	薄	(35.0) × (35.0)	32.0	3.8	0.30	先端・		先端・	11	3391	15-109	
12	CIAF-7	尖状器	IC1a	燧石	薄	(36.0) × (36.0)	32.0	5.7	0.30	先端・	縦縞	先端・	12	3239	15-110	
13	CIAF-20	尖状器	IC1a	燧石	薄	(36.0) × (36.0)	32.0	4.9	0.30	先端・	縦縞	先端・	13	3230	15-111	
14	CIAF-14	尖状器	IC1a	燧石	薄	(36.0) × (32.0)	32.0	4.3	0.30	先端・	縦縞	先端・	14	3659	15-112	
15	CIAF-13	尖状器	IC1a	燧石	薄	(36.0) × (32.0)	32.0	4.1	0.30	先端・	縦縞	先端・	15	3650	15-113	
16	CIAF-12	尖状器	IC1a	燧石	薄	(31.0) × (26.0)	26.0	4.2	0.30	先端・	縦縞	先端・	16	3651	15-114	
17	CIAF-29	尖状器	IC1a	燧石	薄	(35.0) × (35.0)	34.0	3.8	0.40				17	4507	15-115	
18	CIAF-20	尖状器	IC1a	燧石	薄	(36.0) × (36.0)	32.0	5.6	0.30	先端・		先端・	18	3390	15-116	
19	CIAF-13	尖状器	IC1a	燧石	薄	(35.0) × (37.0)	32.0	4.1	0.30	先端・	縦縞	先端・	19	3650	15-117	
20	CIAF-21	尖状器	IC1a	燧石	薄	(34.0) × (35.0)	32.0	4.5	0.30	先端・		先端・	20	5399	15-118	
21	CIAF-20	尖状器	IC1a	燧石	薄	(35.0) × (35.0)	32.0	4.7	0.30	先端・		先端・	21	3651	15-119	
22	CIAF-18	尖状器	IC1a	燧石	薄	(36.0) × (36.0)	32.0	4.6	0.30	先端・		先端・	22	4702	15-120	

第59図 石 鋒(28)



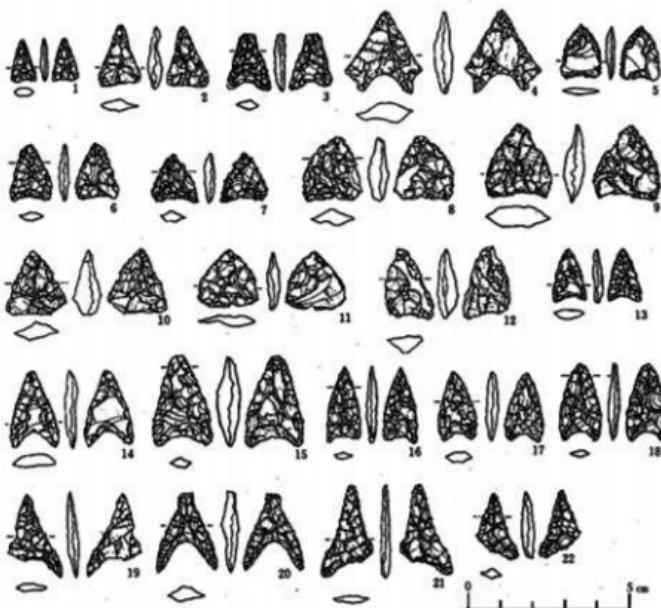
番号	地質・地層	出所	分類	形	刃	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	大きさ	性質	参考文献	番号	地質・地層
1	CLB-29	石	石器	細長矢頭	刃	24.5 × 15.5	13.0	4.5	中等	新石器時代	3889	石	CL-121
2	CMB-7	石	石器	細長矢頭	刃	25.0 × 15.5	13.0	5.0	中等		41	石	CL-120
3	CLG-31	石	石器	細長矢頭	刃	30.0 × 15.4	13.0	5.0	中等		3877	石	CL-127
4	CLG-34	石	石器	細長矢頭	刃	(22.4) × 16.2	10.4	2.7	(中等)		3874	石	CL-129
5	CLG-33	石	石器	細長矢頭	刃	(25.3) × (16.0)	11.5	2.5	(中等)		3875	石	CL-129
6	CLB-28	石	石器	細長矢頭	刃	26.0 × 17.3	13.0	7.0	大		3868	石	CL-120
7	CLB-29	石	石器	細長矢頭	刃	(24.6) × 16.5	(13.5)	4.0	(中等)		3865	石	CL-121
8	CM41-11	石	石器	細長矢頭	刃	(15.5) × (8.5)	7.5	4.5	(中等)		3858	石	CL-120
9	CLG-21	石	石器	細長矢頭	刃	(18.5) × (8.5)	6.5	3.5	中等		3860	石	CL-122
10	CLG-12	石	石器	細長矢頭	刃	(38.8) × 15.1	(21.4)	4.9	(大)		3860	石	CL-125
11	CLG-20	石	石器	細長矢頭	刃	(18.5) × (13.8)	8.5	4.0	(中等)		3873	石	CL-126
12	CLG-24	石	石器	細長矢頭	刃	(38.5) × (23.5)	(24.4)	3.8	(中等)		3876	石	CL-128
13	CLG-21	石	石器	細長矢頭	刃	(23.0) × (18.8)	10.0	3.4	(中等)		3877	石	CL-129
14	CLB-30	石	石器	細長矢頭	刃	(28.5) × (23.9)	12.0	4.0	(中等)		4850	石	CL-140
15	CMB-25	石	石器	細長矢頭	刃	(28.0) × (28.2)	19.0	5.0	(大)		3859	石	CL-141
16	CLB-30	石	石器	細長矢頭	刃	21.5 × 15.5	11.0	3.0	中等		3857	石	CL-142
17	CLG-13	石	石器	細長矢頭	刃	(28.0) × (21.2)	14.5	3.0	(中等)		3869	石	CL-143
18	CM41-12	石	石器	細長矢頭	刃	27.0 × 16.5	12.0	3.0	中等		3865	石	CL-141
19	CLB-24	石	石器	細長矢頭	刃	(22.0) × 15.0	11.0	3.0	(中等)		4853	石	CL-140
20	CLB-20	石	石器	細長矢頭	刃	(28.0) × 25.2	22.0	7.5	(大)		3879	石	CL-140
21	CLG-11	石	石器	細長矢頭	刃	(23.5) × (14.5)	13.4	4.2	(中等)		3859	石	CL-147

圖60 圖 石 鐵(29)



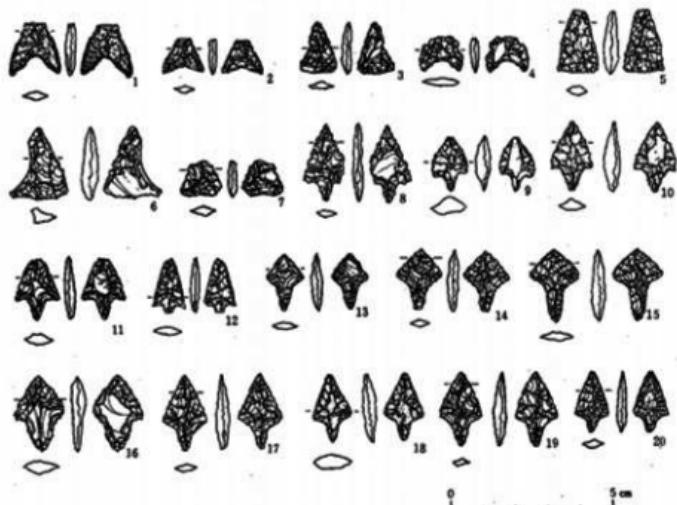
番号	地名・遺跡	形態	分類	目	年	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	火候	テクスチャ	圖	年	出土地名	地
1	CLM-34	石	(NC)	直刃石器	(18.0) × (8.0)	8.5	2.5	0.55	火候	-	-	1	1979	16-10	
2	CLM-26a	石	(NC)	直刃石器	(18.0) × (7.0)	15.0	4.0	0.40	火候・直刃	-	-	2	1981	16-10	
3	CLM-22	石	(NC)	直刃石器	(16.0) × (7.0)	14.7	3.8	0.45	火候・直刃	-	-	3	1980	16-10	
4	CMH-21	石	(NC)	直刃石器	(17.0) × (9.0)	16.0	3.0	0.75	火候・直刃	1	-	4	1980	16-1	
5	CLM-19	石	(NC)	直刃石器	(18.0) × (8.0)	18.3	4.1	0.60	火候・直刃	1	-	5	1984	16-2	
6	CLM-27	石	(NC)	直刃石器	(18.0) × (9.0)	13.8	4.5	0.60	火候・直刃	-	-	6	1980	16-3	
7	CMH-7	石	(NC)	直刃石器	(18.0) × (8.0)	15.7	4.0	0.60	火候	-	-	7	1980	16-4	
8	CLM-25	石	(NC)	刮削	(25.0) × (8.0)	13.0	4.1	0.40	火候・直刃	-	-	8	1980	16-5	
9	CLM-18	石	(NC)	刮削	(26.0) × (8.0)	13.1	4.2	0.40	火候・直刃	(南北端研磨)	-	9	1984	16-6	
10	CLM-28	石	(NC)	直刃石器	(27.0) × (8.0)	14.0	4.0	0.40	火候	-	-	10	1980	16-7	
11	CLM-29	石	(NC)	直刃石器	(17.0) × (10.0)	15.0	3.7	0.60	火候	-	-	11	1980	16-8	
12	CLM-14	石	(NC)	直刃石器	(21.7) × (22.5)	15.0	4.0	1.17	直刃	(直化)	-	12	1982	16-48	
13	CLM-16	石	(NC)	直刃石器	(20.5) × (11.0)	2.5	0.30	-	-	-	-	13	1980	16-9	
14	CLM-26	石	ID	直刃石器	34.0	8.0	0.2	0.98	-	-	14	1980	16-10		
15	CMH-21	石	ID	直刃石器	22.0	8.1	0.2	0.75	-	-	15	1980	16-11		
16	CLM-29a	石	ID	直刃石器	(26.0) × (8.0)	6.4	0.12	0.40	-	-	16	1980	16-12		
17	CLM-25	石	直刃石器	18.5	16.2	3.1	0.45	-	-	-	-	17	1979	16-13	
18	CLM-42	石	直刃石器	18.0	15.0	2.0	0.2	-	-	-	-	18	1980	16-14	
19	CMH-6	石	直刃石器	18.0	15.2	3.0	0.52	-	-	-	-	19	1980	16-15	
20	CMH-21	石	直刃石器	(14.0)	15.5	3.2	0.20	火候	-	-	-	20	1980	16-16	
21	CMH-5	石	直刃石器	20.0	15.0	4.4	0.85	-	-	-	-	21	1980	16-17	
22	CLM-36	石	直刃	(18.0)	(16.0)	3.0	0.40	火候	-	-	-	22	1980	16-18	
23	CLM-38	石	直刃	(25.0)	16.0	2.0	0.35	火候	-	-	-	23	1980	16-19	

第61回 石 鋸(30)



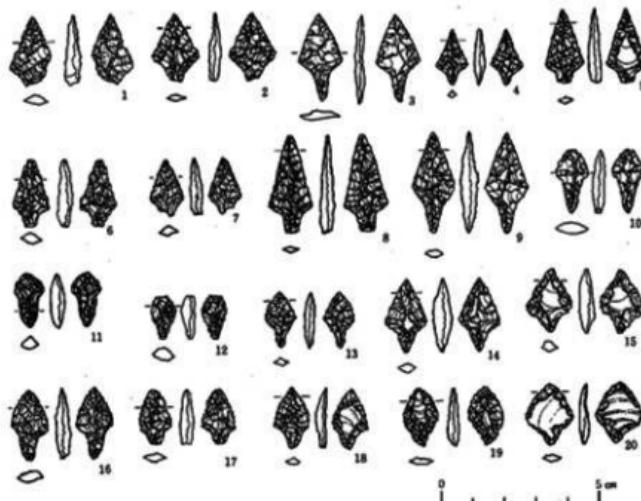
番号	種名	地層	分類	所	高さ(cm)	幅(cm)	重さ(g)	火成岩	テクスチャ	種	年	発見場所	地	経	
1	CMA-8	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	17.0	2.4	(3.2)	光面・高規		2200	34-35			
2	CMA-20	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	12.0	4.5	9.4			2070	34-34			
3	CLA-27	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	13.0	3.5	(9.0)	光面・高規		2000	34-35			
4	CLA-36	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	24.0	4.5	(3.0)	光面	2	(3.0)	800	34-36		
5	CLA-8	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	12.0	2.4	0.8			1000	34-38			
6	CLA-27	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	12.0	3.5	0.2			1700	34-39			
7	CLA-28	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	12.0	3.0	(0.5)	高規		1650	34-38			
8	CLA-26	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	6.0	1.2	光面		1600	34-33			
9	CLA-38	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	20.0	5.5	(2.2)	高規		2700	34-38			
10	CLA-25	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	6.0	(2.2)	高規		2000	34-33			
11	CMA-5	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	3.0	0.95			2400	34-34			
12	CMA-6	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	6.0	(1.25)	光面・高規			2400	34-35		
13	CLA-19	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	2.0	0.4			2700	34-38			
14	CLA-11	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	2.0	1.2	光面		2600	34-37			
15	CLA-25	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	7.5	(2.45)	光面		2500	34-38			
16	CMA-20	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	2.0	(0.8)	高規			2000	34-33		
17	CLA-10	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	2.5	0.8		4		2000	34-42		
18	CLA-12	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	2.4	0.7	光面		1600	34-42			
19	CLA-15	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	17.0	0.8	(0.5)	高規		(3.0)	700	34-43		
20	CLA-18	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	5.0	(0.8)	光面		1600	34-46			
21	CMA-2	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	2.5	(0.4)	光面			2200	34-45		
22	CLA-27	Y	SA1b	後期寒武紀	03.0	18.0	2.5	(0.8)	光面			1700	34-47		

第62図 石 鰩(31)



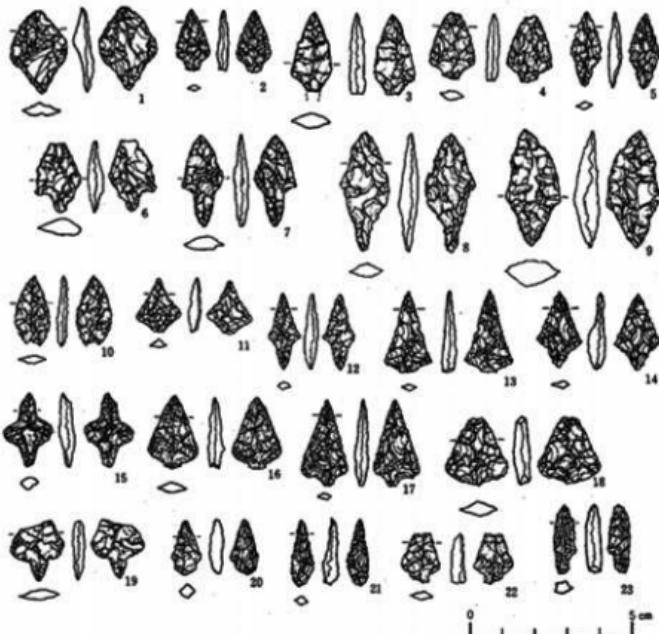
編號	地點	時間	分類	形狀	A (cm)	B (cm)	C (cm)	D (cm)	工具形	性質	發掘地點	圖版序號	圖
1	CMH-28	晚	SABd	圓錐形	18.0	12.5	2.5	0.02	尖端	全鋒	3711	16-48	
2	CLB-24	晚	SABd	圓錐形	21.0	12.5	2.0	0.02	尖端	(圓鋒)	4033	16-21	
3	CLB-18	晚	SABd	圓錐形	24.0	11.5	3.0	0.02	尖端	全鋒	4413	16-32	
4	CLB-19	晚	SAB	圓錐形	28.0	12.1	2.5	0.02	尖端	全鋒	422	16-27	
5	CMH-20	晚	SAB	圓錐形	29.0	12.0	4.5	0.7	尖端	全鋒	3580	16-39	
6	CLB-26	晚	SHD b	圓錐形	22.5	12.0	5.1	0.02	圓鋒	全鋒	4728	16-49	
7	CLB-15	晚	SHD b	圓錐形	21.0	12.0	2.5	0.02	尖端	全鋒	2397	16-61	
8	CMH-17b	晚	SHD b	圓錐形	24.0	12.0	3.0	0.02	尖端	全鋒	3888	16-63	
9	CMH-29	晚	SHD a	圓錐	21.0	12.0	4.1	0.02	尖端	(圓鋒的圓)	1179	16-64	
10	CLB-16	晚	SHD a	圓錐	22.0	11.5	12.5	0.5	尖端	(圓鋒的圓)	4413	16-55	
11	CLB-15	晚	SHD b	圓錐形	23.0	12.0	3.5	0.02	尖端	全鋒	3185	16-46	
12	CLB-8	晚	SHD a	圓錐形	24.0	12.0	2.0	0.02	圓鋒	全鋒	3759	16-55	
13	CMH-6	晚	SC1 a	圓錐形	17.0	7.0	12.0	3.0	尖端	(圓鋒)	7430	16-69	
14	CLB-25	晚	SC1 a	圓錐形	24.0	8.0	14.0	2.0	圓鋒	全鋒	4972	16-79	
15	CLB-27	晚	SC1 a	圓錐形	20.0	7.5	10.0	0.5	圓鋒	全鋒	4747	16-73	
16	CLB-9	晚	SC1 a	圓錐形	25.0	12.0	15.5	4.0	圓鋒	全鋒	4156	16-73	
17	CLB-16	晚	SC1 a	圓錐形	25.0	12.0	15.0	4.0	圓鋒	(圓鋒)	4406	16-73	
18	CMH-17c	晚	SC1 a	圓錐形	21.0	14.1	12.0	3.0	圓鋒	全鋒	3587	16-74	
19	CLB-16	晚	SC1 a	圓錐形	25.0	12.0	15.0	4.0	圓鋒	全鋒	4400	16-75	
20	CLB-28	晚	SC1 a	圓錐	25.0	12.0	15.0	2.0	圓鋒	全鋒	4952	16-76	

第63圖 石 鋒 (32)



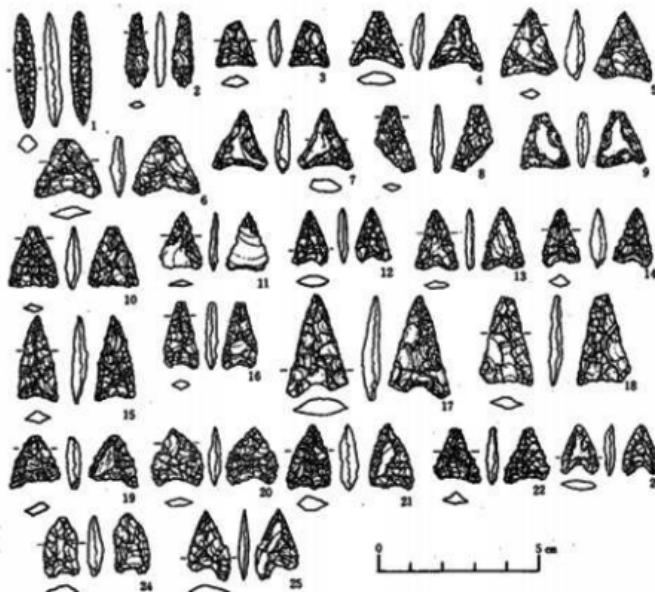
番号	地名・標本	種類	分類	石 片	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	火 焼 鉄	チタナイト	番 号	登録番号	地 域
1	CLB-15	岩	IC1a	波状断面形	38.0 ± 38.0	13.0	4.5	9.40	無鉄・無錫		2004	34-77	
2	CMU-28	岩	IC1a	波状断面形	32.0 ± 34.6	12.0	3.5	9.40	無鉄	2	2277	34-78	
3	CLB-10	岩	IC1a	波状断面形	38.0 ± 38.5	12.5	4.0	9.7			2005	34-79	
4	CLB-18	岩	IC1a	波状断面形	37.0 ± 33.5	12.0	3.4	9.3			2003	34-80	
5	CLB-16	岩	IC1b	波状断面形	32.0 ± 38.5	12.0	3.5	9.40	無鉄		4410	34-81	
6	CLB-25	岩	IC1b	波状断面形	32.0 ± 36.3	12.0	4.0	9.30	無鉄・無錫		4579	34-82	
7	CLB-27	岩	IC1b	波状断面形	37.0 ± 32.5	12.5	3.7	9.40	無鉄		4745	34-83	
8	CLB-27	岩	IC1b	波状断面形	32.0 ± 32.5	12.5	4.5	9.40	無鉄		2213	34-84	
9	CLB-25	岩	IC1b	波状断面形	35.0 ± 38.0	12.5	5.5	1.2			4576	34-85	
10	CLB-11	岩	IC2a	波状断面形	32.0 ± 32.0	12.5	3.5	9.40	无焼		2005	34-86	
11	CMU-26	岩	IC2a	波状断面形	34.0 ± 31.0	12.0	4.0	9.40	无焼		3004	34-87	
12	CLB-24	岩	IC2a	波状断面形	32.0 ± 34.0	12.0	4.3	9.20	无焼		4567	34-88	
13	CLB-25	岩	IC2a	波状断面形	37.0 ± 36.0	12.0	3.8	9.20		1	4571	34-89	
14	CLB-27	岩	IC2a	波状断面形	32.0 ± 35.0	12.0	3.7	9.10		1	(未焼)	4745	34-90
15	CMU-19	岩	IC2a	波状断面形	32.0 ± 34.0	12.0	4.8	9.40	无焼		2002	34-91	
16	CMU-18	岩	IC2a	波状断面形	32.0 ± 33.1	12.0	4.6	9.40	無鉄		2770	34-92	
17	CLB-25	岩	IC2b	波状断面形	37.0 ± 32.0	12.0	4.0	9.40	无焼		2004	34-93	
18	CLB-27	岩	IC2b	波状断面形	32.0 ± 33.0	12.0	3.9	9.40	無鉄		4746	34-94	
19	CLB-30	岩	IC2b	波状断面形	32.0 ± 32.0	12.0	3.5	9.40	无焼		4571	34-95	
20	CLB-12	岩	IC2b	波状断面形	32.0 ± 32.0	12.0	3.0	9.0			3000	34-97	

図64 四 石 錆(33)



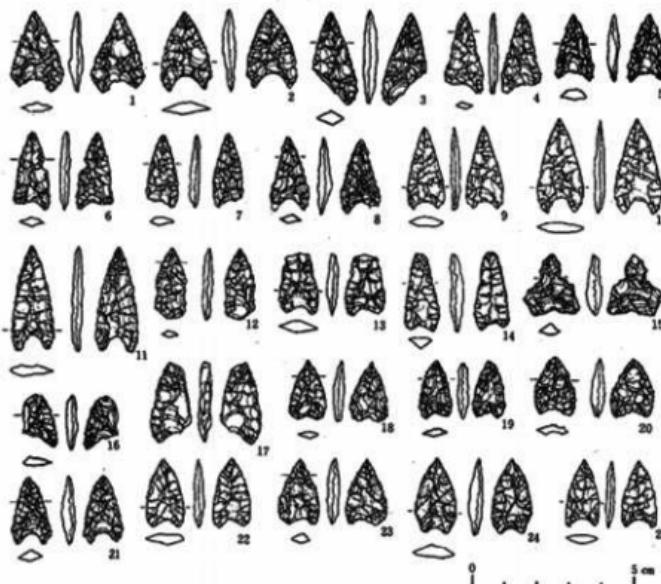
番号	地名・遺跡	時期	少	細	石	長さ(cm)	幅さ(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	大	削	アラカルト	遺	年	登録番号	出
1	CLB-25	古	XCBa	細石核	(CB.0) + (CB.1)	38.0	9.0	0.8	1.00	先端				4875	36- 35	
2	CLB-25	古	XCBb	細石核	(CB.0) + 24.5	35.5	9.0	0.8	0.80	先端				4874	36- 35	
3	CLB-15	古	XCBb	細石核	(CB.0) + 28.7	32.5	4.5	0.8	0.80	先端・裏面	1			510	36-200	
4	CMG-19	古	XCBb	細石核	(CB.0) + (CB.1)	34.0	9.0	0.8	0.80	先端・裏面				3074	36-161	
5	CMG-17a	古	XCBb	細石核	22.2 + 22.0	30.0	9.0	0.8	0.80	先端				3056	36-142	
6	CLB-11	古	XCBa	細石核	(CB.0) + (CB.1)	33.0	9.0	0.8	1.00	先端・裏面				3023	36-103	
7	CMG-17b	古	XCBa	細石核	28.2 + 27.0	30.0	9.0	0.8	0.80	先端				3055	36-106	
8	CLB-16	古	XCBb	細石核	37.0 + 35.0	35.0	5.5	0.8	1.00	先端・裏面				4887	36-120	
9	CLB-14	古	XCBb	細石核	36.8 + 35.5	37.0	7.0	1.2	1.00	先端・裏面				2086	36-108	
10	CLB-15	古	XCBb	細石核	(CB.0) + 37.5	31.0	5.0	0.8	0.80	先端				613	36-120	
11	CMG-10	古	XCBa	細石核	(CB.0) + (CB.1)	9.0	5.0	0.5	0.50	先端・裏面				2079	36-159	
12	CMG-10	古	XCBb	細石核	(CB.0) + (CB.1)	30.0	4.5	0.8	0.80	先端				2072	36-158	
13	CMG-15	古	XCBb	細石核	28.0 + 25.0	34.5	4.5	0.8	0.80	裏面				5820	36-111	
14	CMG-20	古	XCBb	細石核	(CB.0) + (CB.1)	35.0	4.5	0.8	0.80	先端				3076	36-113	
15	CLB-27	古	XCBb	細石核	22.5 + 26.0	33.0	5.5	0.8	0.80	先端				5889	36-112	
16	CLB-15	古	XCBb	細石核	(CB.0) + 27.5	35.1	5.0	0.8	0.80	裏面	2			2019	36-114	
17	CMG-26	古	XCBb	細石核	(CB.0) + 25.0	34.5	4.5	0.8	0.80	裏面・裏面				5888	36-115	
18	CMG-27	古	XCBb	細石核	(CB.0) + (CB.1)	39.5	4.5	0.8	0.80	先端・裏面	2			5880	36-116	
19	CLB-27	古	XCBb	細石核	(CB.0) + (CB.1)	36.0	3.5	0.8	0.80	先端				2214	36-117	
20	CLB-16	古	GIC	刮削器	(CB.0) + (-)	38.7	4.0	0.8	0.80	裏面・裏面				4830	36-118	
21	CLB-15	古	GIC	刮削器	30.4	6.7	4.5	0.8	0.80	裏面・裏面				2050	36-119	
22	CMG-29	古	GIC	刮削器	(CB.0) + (CB.1)	32.0	4.0	0.8	0.80	裏面				3075	36-120	
23	CLB-11	古	GIC	刮削器	(CB.0) + (CB.1)	34.0	4.5	0.7	0.80	裏面				2056	36-120	

第65図 石 器 (34)



编号	地层	层位	层	时代	直立(m)	横径(mm)	纵径(mm)	厚度(mm)	灰度	特征	参考文献	图号	采集地名	层位
1	CL40-10	中	10	新统	25.0	4.2	4.2	0.96	900	36-124		1	山西	新统
2	CM40-20	中	10	新统	23.0	4.2	2.8	0.41	907	36-129		2	山西	新统
3	CL40-11	中	6A.1a	新统	15.0	12.0	2.5	0.52	908	36-133		3	山西	新统
4	CM40-45	中	6A.1a	新统	12.0	16.4	2.1	0.72	909	36-136		4	山西	新统
5	CM40-11	中	6A.1a	新统	12.0	12.0	2.5	0.52	910	36-137		5	山西	新统
6	CL30-11	中	6A.1a	新统	13.0	27.0	5.8	1.22	911	36-138		6	山西	新统
7	CM40-9	中	6A.1a	新统	19.0	16.8	0.8	0.8	912	36-139		7	山西	新统
8	CM40-14	中	6A.1b	新统	18.0	12.0	2.4	0.82	913	36-140		8	山西	新统
9	CM40-44	中	6A.1b	新统	17.0	12.2	2.6	0.80	914	36-151		9	山西	新统
10	CM40-10	中	6A.1b	新统	19.0	18.0	4.0	0.80	915	36-152		10	山西	新统
11	CL30-10	中	6A.1b	新统	17.5	10.0	2.1	0.82	916	36-153		11	山西	新统
12	CL30-44	中	6A.1b	新统	16.0	18.0	2.2	0.80	917	36-154		12	山西	新统
13	CL30-11	中	6A.1b	新统	19.0	12.5	2.6	0.8	918	36-155		13	山西	新统
14	CL30-16	中	6A.1b	新统	18.5	12.5	4.8	0.8	919	36-156		14	山西	新统
15	CL30-18	中	6A.1b	新统	16.5	12.5	4.2	0.86	920	37-1		15	山西	新统
16	CM40-21	中	6A.1b	新统	21.0	20.0	3.2	0.82	921	37-2		16	山西	新统
17	CM40-13	中	6A.1b	新统	18.0	18.0	4.0	1.17	922	37-3		17	山西	新统
18	CL30-19	中	6A.1b	新统	20.0	21.0	3.6	1.12	923	37-4		18	山西	新统
19	CM40-27	下	6A.2a	新统	18.0	16.0	3.2	0.85	924	37-5		19	山西	新统
20	CL30-11	中	6A.2a	新统	14.0	25.0	3.0	0.70	925	37-6		20	山西	新统
21	CL30-14	中	6A.2b	新统	20.0	18.0	5.5	1.12	926	37-7		21	山西	新统
22	CL40-8	中	6A.2a	新统	17.0	24.0	3.5	0.80	927	37-8		22	山西	新统
23	CL40-5	中	6A.2a	新统	15.0	21.0	2.0	0.40	928	37-9		23	山西	新统
24	CL40-23	中	6A.2b	新统	18.0	22.0	4.5	0.85	929	37-10		24	山西	新统
25	CM40-14	中	6A.2b	新统	22.0	18.0	3.5	0.77	930	37-11		25	山西	新统

第66图 石 镰(35)



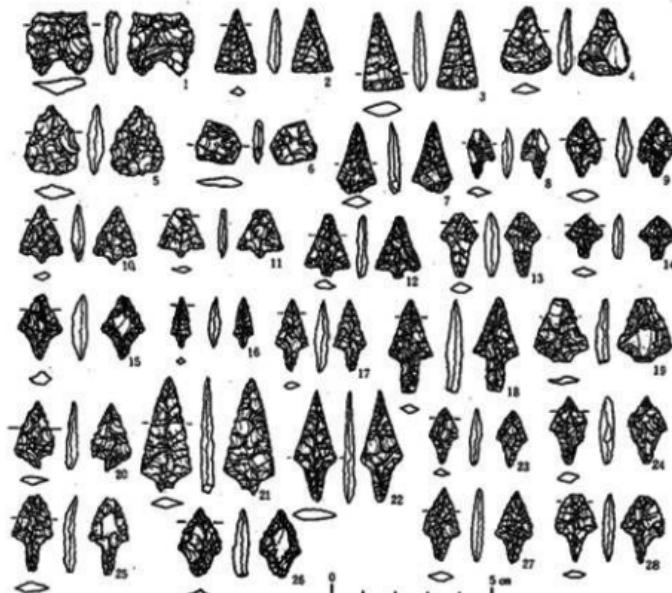
番号	出土地・層位	地質	分類	石種	全長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	火候	形状	TA(?)	番 号	出土地名	层
1	CH41-15	■	6A.02	碧玉灰岩	(25.5)	16.5	4.0	6.0	中	尖頭形	4427	27-17		
2	CH41-5	■	6A.02	碧玉灰岩	24.5	16.5	3.2	6.4	中	尖頭形	3624	27-13		
3	CH42-11	■	6A.02	碧玉灰岩	(25.45)	(13.45)	4.0	(8.9)	中	尖頭形	4055	27-14		
4	CH41-10	■	6A.02	碧玉灰岩	(25.5)	(12.45)	2.6	(8.4)	中	尖頭形	3329	27-15		
5	CL40-12	■	6A.03	碧玉灰岩	21.8	12.5	3.2	8.8	中	尖頭形	6629	27-16		
6	CL40-22	■	6A.03	碧玉灰岩	24.5	12.2	3.0	9.1	中堅	尖頭・直頭	4051	27-17		
7	CL40-23	■	6A.03	碧玉灰岩	22.8	10.0	2.7	9.32	中	尖頭形	5506	27-18		
8	CH40-4-6	■	6A.03	碧玉灰岩	23.9	12.5	4.0	(4.42)	堅	尖頭形	2266	27-19		
9	CH40-10	■	6A.03	碧玉灰岩	24.3	12.4	3.0	9.48	中	尖頭形	3625	27-20		
10	CH40-14b	■	6A.02	碧玉灰岩	29.2	24.4	3.2	1.2	中	尖頭形	3621	27-21		
11	CH41-12	■	6A.02	碧玉	22.5	12.5	2.1	8.9	中	尖頭形	511	27-22		
12	CH40-13	■	6A.02b	碧玉灰岩	(22.22)	(9.52)	2.0	(8.3)	中	尖頭形	3608	27-23		
13	CH40-4-8	■	6A.03	碧玉灰岩	(18.40)	(12.40)	3.2	(8.72)	中堅	4	3205	27-24		
14	CH40-4-6	■	6A.02b	碧玉灰岩	24.0	11.8	3.5	(8.4)	中	尖頭形	54	27-25		
15	CL39-12	■	6A.02a	碧玉	(18.40)	(12.40)	4.0	(8.4)	中	尖頭形	6128	27-26		
16	CL40-12	■	6A.02b	碧玉灰岩	(27.40)	(11.2)	3.5	(9.40)	中堅	尖頭・直頭	3624	27-27		
17	CH40-4b	■	6A.03	碧玉灰岩	(24.37)	(12.5)	3.7	(9.5)	中堅・直頭	(日吉安山産)	2268	27-28		
18	CH41-14	■	6A.03	碧玉灰岩	18.5	11.8	3.1	6.45	中	尖頭形	3620	27-29		
19	CL40-17	■	6A.02	碧玉灰岩	27.1	10.0	3.0	9.5	中	尖頭形	3534	27-30		
20	CL39-23	■	6A.03	碧玉灰岩	18.5	12.0	4.0	9.43	中	尖頭形	4709	27-31		
21	CL39-12	■	6A.03	碧玉灰岩	21.0	12.5	4.0	9.5	中	尖頭形	6625	27-32		
22	CH40-4-6	■	6A.03	碧玉灰岩	21.0	12.0	3.4	9.7	中	尖頭形	5794	27-33		
23	CH41-7	■	6A.03	碧玉灰岩	20.8	12.0	4.1	9.7	中	尖頭形	3409	27-34		
24	CL39-23	■	6A.03	碧玉灰岩	23.5	12.0	4.2	9.8	中	尖頭形	5775	27-35		
25	CH40-14	■	6A.03	碧玉灰岩	20.5	10.2	3.0	9.65	中	尖頭形	3206	27-36		

第67図 石 鋸(36)



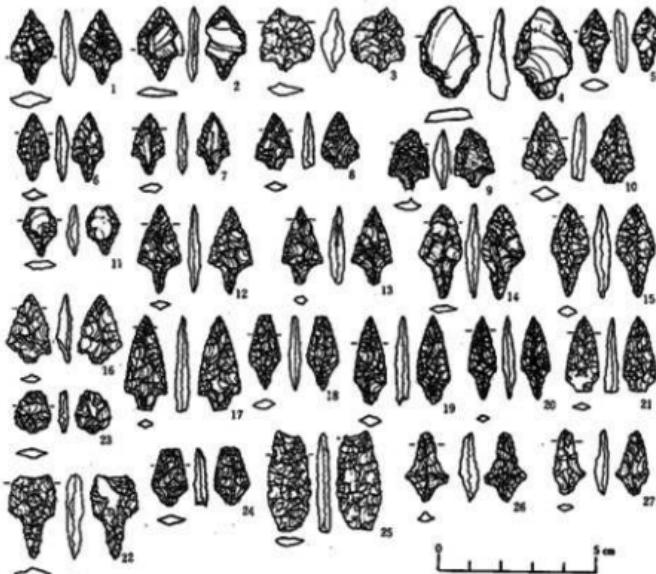
番号	地名・層位	特徴	分類	石 牙	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	火 焼 領	PALEOFA	年 代	記載番号	頁
1	CL4-9	白	6A.33	變化無く薄	21.8	12.0	3.5	9.5			3584	27-26	
2	CL4-11	白	6A.33	變化無く薄	23.4	12.0	3.0	9.7	火焼		3585	27-26	
3	CL3-21	白	6A.33	變化無く薄	22.8	12.0	3.0	9.5			3586	27-26	
4	CM4-4b	白	6A.33	白色薄肉	24.3	12.0	3.0	9.3	火焼		3587	27-26	
5	CL3-22	白	6A.33	変化無く薄	24.6	12.0	4.0	9.3	火焼	4	3588	27-26	
6	CM4C-26	白	6A.33	變化無く薄	25.8	12.0	3.0	9.4	火焼		3589	27-26	
7	CL3-32	白	6A.33	変化無く薄	24.6	12.0	3.0	9.3	火焼・薄肉	4	3590	27-26	
8	CM4C-14	白	6A.33	変化無く薄	24.4	12.0	3.0	9.3	火焼・薄肉	4	3591	27-26	
9	CL4-8	白	6A.33	変化無く薄	24.0	12.0	4.4	9.7	火焼	4	3592	27-26	
10	CL4-5	白	6A.33	変化無く薄	23.0	12.0	3.5	9.0	火焼		3593	27-26	
11	CL3-12	白	6A.33	変化無く薄	24.6	12.0	3.0	9.6	火焼・薄肉		3594	27-26	
12	CM4-15	白	6A.33	火焼	26.5	11.75	3.0	9.75	火焼		3595	27-26	
13	CM4C-19	白	6A.33	變化無く薄	22.4	12.0	3.0	9.5	火焼・薄肉		3596	27-26	
14	CL4-13	白	6A.33	火焼	22.6	12.0	3.0	9.4	火焼		3597	27-26	
15	CL4-5	白	6A.33	変化無く薄	27.0	12.0	2.6	9.5	火焼		3598	27-26	
16	CM4-38-17	白	6A.33	白色薄肉	25.2	12.0	3.0	9.2	火焼		3599	27-26	
17	CL3-22	白	6A.33	変化無く薄	24.5	12.0	3.0	9.45	火焼・薄肉		3600	27-26	
18	CM4C-14	白	6A.33	變化無く薄	23.8	12.0	3.0	9.3	火焼		3601	27-26	
19	CM4C-12	白	6A.33	変化無く薄	23.4	12.0	3.0	9.3	火焼・薄肉	4	3602	27-26	
20	CM4C-4d	白	6A.33	変化無く薄	28.4	12.0	2.8	9.4	火焼		3603	27-26	
21	CL3-26	白	6A.33	変化無く薄	25.4	12.0	3.5	9.4	火焼		3604	27-26	
22	CM4C-4d	白	6A.33	変化無く薄	23.4	12.0	2.9	9.5	火焼	4	3605	27-26	
23	CM4C-10	白	6A.33	変化無く薄	25.4	12.0	2.9	9.3	火焼・薄肉		3606	27-26	
24	CM4C-15	白	6A.33	変化無く薄	24.5	12.0	3.2	9.5	火焼		3607	27-26	
25	CM4C-17	白	6A.33	変化無く薄	24.4	12.0	3.0	9.4	火焼・薄肉	4	3608	27-26	

第58図 石 齒(37)



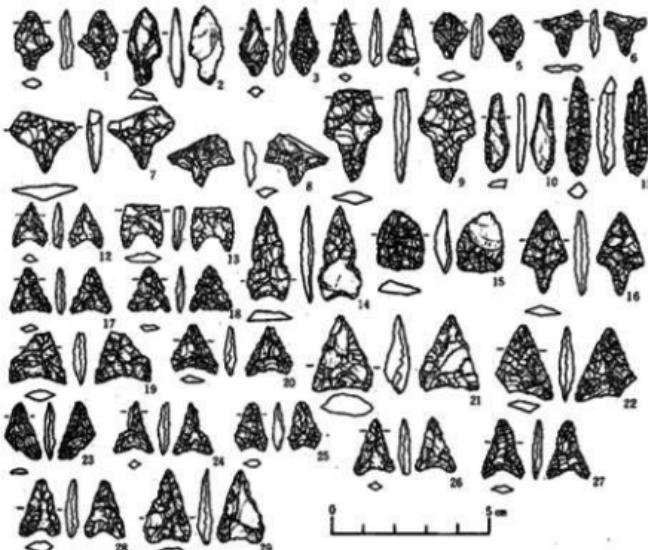
番号	地名	時代	分類	目	科	A(±cm)	B(±cm)	C(±cm)	重さ(g)	次元	アラフタ	圖	参考番号	記
1	CL39-22	■	WA123	石化頭骨		(20.0)	10.5	4.0	(3.0)	丸頭		5000	27-42	
2	CL39-21-1	■	WA124	石化頭骨		(20.0)	12.8	2.6	(0.4)	丸頭		2217	27-42	
3	CM40-4	■	WA613	石化頭骨		(21.0)	12.5	3.8	(0.4)	丸頭		5795	27-42	
4	CM40-24	■	WA614	石化頭骨		(21.0)	12.5	4.8	(0.7)	丸頭		5372	27-42	
5	CL39-10	■	WA615	石化頭骨		(21.0)	17.5	4.0	(1.3)	丸頭		4957	27-42	
6	CM40-4b	■	WA616	石化頭骨		(21.4)	12.0	3.2	(0.6)	丸頭・直頭		2482	27-42	
7	CM40-4d	■	WA617	石化頭骨		(21.0)	12.0	3.1	(0.6)	丸頭		55	27-42	
8	CM40-7	■	WA618	石化頭骨		(20.2)	12.5	3.0	(0.6)	丸頭・直頭		4956	27-42	
9	CL40-7	■	WA619	石化頭骨		16.3 - 23.5	10.5	4.5	(0.9)	直頭		5018	27-42	
10	CM40-14	■	WA620	石化頭骨		17.5 - 20.5	10.5	3.5	4.4	(直化頭骨)		3995	27-42	
11	CM40-7	■	WA61b	石化頭骨		(20.2) - (21.0)	12.0	3.5	(0.6)	丸頭		2284	27-42	
12	CM40-15	■	WA61b	石化頭骨		(20.0) - (20.5)	14.0	2.2	(0.6)	丸頭・直頭		3260	27-42	
13	CM40-8	■	WA61c	石化頭骨		(20.0)	12.0	4.2	(0.6)	丸頭・直頭		3695	27-42	
14	CM40-25	■	WA61c	石化頭骨		(24.0) - (25.0)	22.0	3.0	(0.10)	直頭		5428	27-42	
15	CM40-14	■	WA61c	石化頭骨		(21.0) - (22.0)	12.0	4.4	(0.6)	丸頭・直頭		2284	27-42	
16	CM40-4b	■	WA61c	石化頭骨		15.5 - 22.0	6.0	3.2	6.3			3263	27-42	
17	CM40-10	■	WA61c	石化頭骨		(22.0) - (24.5)	10.0	4.0	(0.6)	丸頭		3496	27-42	
18	CL39-6	■	WA61c	石化頭骨		(20.5) - (20.7)	12.0	4.9	(1.0)	丸頭・直頭	1	3631	27-42	
19	CM40-4d	■	WA61c	石化頭骨		(20.5) - (21.2)	16.4	3.4	(0.6)	丸頭・直頭	1	3283	27-42	
20	CM40-16	■	WA61c	石化頭骨		(21.0) - (21.5)	16.0	3.0	(0.6)	丸頭・直頭		3298	27-42	
21	CM40-18	■	WA61c	石化頭骨		(26.0) - (28.5)	15.0	3.0	(1.0)	直頭	1	3693	27-42	
22	CM40-4d	■	WA61c	石化頭骨		24.0 - 25.5	21.0	3.0	6.6			3793	27-42	
23	CM40-18	■	WA61c	石化頭骨		17.5 - 19.5	9.0	3.0	6.5			3697	27-42	
24	CL39-14	■	WA61c	石化頭骨		(20.0) - (21.0)	14.0	4.4	(0.7)	丸頭		3622	27-42	
25	CL40-7	■	WA61c	石化頭骨		(23.0) - (23.5)	12.0	3.2	(0.6)	丸頭・直頭		3648	27-42	
26	CM40-10	■	WA61c	石化頭骨		(21.0) - (22.0)	12.0	4.2	(0.7)	直頭		4406	27-42	
27	CM40-4d	■	WA61c	石化頭骨		(23.0) - (24.0)	11.0	3.4	(0.6)	直頭	1	3295	27-42	
28	CM40-4b	■	WA61c	石化頭骨		(21.0) - (21.5)	12.0	3.2	(0.6)	直頭		3282	27-42	

第69回 石 鎮(38)



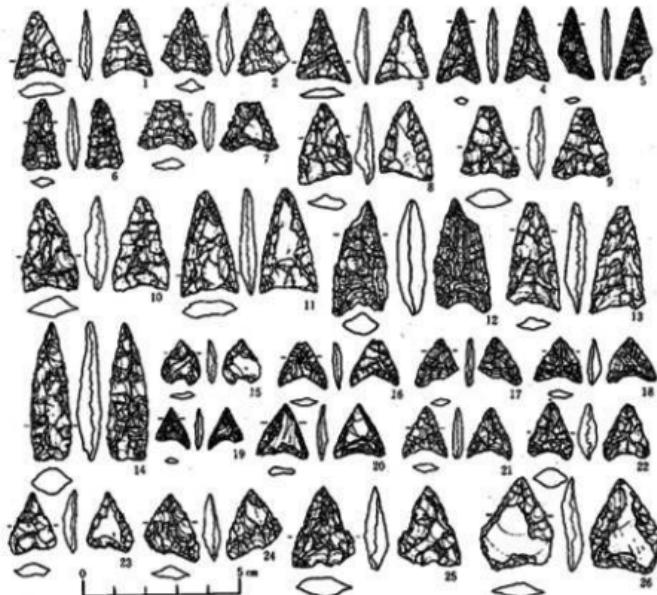
番号	IGR・層位	物語	分類	形	寸	幅(ミ)	厚(ミ)	厚(ミ)	火	標	アラカルト	標	年	地
1	CM41-17*	物	ICBn	直面尖頭	24.8 × 15.0	15.0	4.5	0.8				3116	27- 93	
2	CM41-7	物	ICBn	直面尖頭	23.0 × 15.2	15.0	2.8	0.7(?)				3176	27- 93	
3	CM41-7	物	ICBn	直面尖頭	(26.0) × (15.0)	17.0	6.6	0.6(?)	火端			3460	27- 93	(一帯山層)
4	CL39-25a	物	ICBn	直面尖頭	56.8 × 21.5	29.0	6.6	2.5				3910	27- 93	
5	CL41-4	物	ICBn	直面尖頭	20.8 × 11.6	9.5	3.2	0.6				849	27- 94	
6	CL41-17*	物	ICBn	直面尖頭	21.8 × 14.5	16.0	3.7	0.6(?)				3112	27- 95	
7	CM40-4b	物	ICBn	直面尖頭	(21.0)	12.0	3.3	0.4(?)	火端			3282	24- 11	
8	CM40-4d	物	ICBn	直面尖頭	(27.0) × 14.6	11.4	2.6	0.6(?)	直面・斜面			3667	27- 96	
9	CL41-5	物	ICBn	直面尖頭	(21.0) × (24.0)	12.0	4.5	0.6(?)	直面・斜面			3621	27- 97	
10	CL41-10	物	ICBn	直面尖頭	(21.0) × 16.5	14.6	4.0	0.7(?)	直面	1		3105	27- 98	
11	CL39-36	物	ICBn	直面尖頭	(21.0) × (24.0)	12.0	3.5	0.6(?)	直面			4652	27- 99	(五代山層)
12	CM40-4b	物	ICBn	直面尖頭	28.8 × 18.6	14.6	3.4	0.6				3490	27- 100	
13	CL41-9	物	ICBn	直面尖頭	(24.0) × 15.6	14.6	3.4	0.6				3430	27- 101	
14	CM40-4d	物	ICBn	直面尖頭	(24.0) × 16.7	13.0	3.9	0.7(?)	直面・斜面			3420	27- 102	
15	CM40-4d	物	ICBn	直面尖頭	(24.0) × (26.0)	12.0	4.6	0.6(?)	直面	1		3291	27- 103	
16	CM41-25a	物	ICBn	直面尖頭	(23.0) × (<?)	14.6	4.5	0.7(?)	直面・斜面			3264	27- 104	
17	CL41-21	物	ICBn	直面尖頭	(20.0) × (24.0)	13.0	4.2	0.7(?)	直面・斜面	1		3011	27- 105	
18	CL39-22	物	ICBn	直面尖頭	(23.0) × (22.0)	16.0	3.2	0.6(?)	直面	1		4711	27- 106	
19	CM40-4d	物	ICBn	直面尖頭	(24.0) × 20.8	16.0	4.0	0.6(?)	直面	2		3491	27- 107	
20	CM40-4d	物	ICBn	直面尖頭	26.3 × 27.1	11.0	3.5	0.5				3491	27- 108	
21	CM41-14	物	ICBn	直面尖頭	(24.0) × (26.0)	11.0	4.0	0.6(?)	直面・斜面	2		3170	27- 109	
22	CM41-16	物	ICBn	直面尖頭	(24.0) × (22.0)	14.0	5.0	0.5(?)	直面・斜面	2		3294	27- 110	
23	CL41-13	物	ICBn	直面	(32.4) × (31.0)	11.0	2.7	0.6(?)	直面・斜面			3190	27- 111	
24	CM40-4b	物	ICBn	直面尖頭	(24.0) × (23.0)	11.0	4.0	0.7(?)	直面・斜面			3254	27- 112	
25	CM39-6	物	ICBn	直面尖頭	(31.0) × (<?)	12.0	4.5	0.7(?)	直面・斜面			3120	27- 113	
26	CM41-8	物	ICBn	直面尖頭	(24.0) × (27.0)	13.0	5.7	0.6(?)	直面・斜面			819	27- 114	
27	CM41-14	物	ICBn	直面尖頭	(24.0) × (26.0)	10.0	4.0	0.6(?)	直面・斜面			3264	27- 115	

第70図 石器(39)



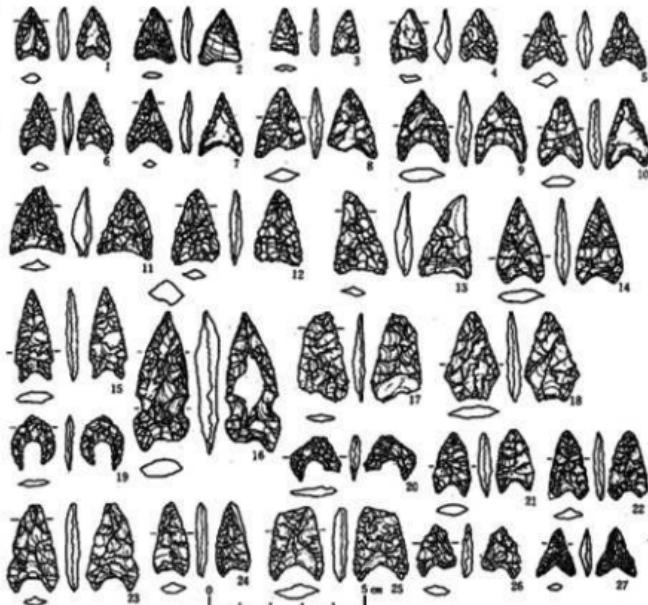
编号	时代	地点	分 布	石 制	直 长 (mm)	横 (cm)	厚 (mm)	重 (g)	文 饰	尺 寸	器 特 征	器 号	登记号	图 片	
1	CM41-3	W	ICB	磨光风化	(10.0-11.0)	(2.2)	3.5	3.0	无	无	无	1	CM41-2	2625	37-127
2	CL40-5	W	ICB	磨光风化	14.3	10.2	3.3	6.8	无	无	无	2	CM41-1	2626	37-128
3	CM40-22	W	ICD	磨光风化	(11.0-14.0)	9.0	3.5	3.0	无	无	无	3	CM41-3	2627	37-129
4	CM41-34	W	ICD	磨光风化	18.0	10.0	3.5	3.5	无	无	无	4	CM41-2	2628	37-130
5	CM40-49	W	ICD	磨光风化	(14.0-16.0)	(8.0)	3.5	3.0	无	无	无	5	CM41-2	2629	37-131
6	CL39-12	W	ICD	磨光风化	(5.0)	13.2	2.0	3.0	无	无	无	6	CM41-2	2630	37-132
7	CM40-49	W	ICD	磨光风化	(9.0-11.0)	(21.0)	5.5	3.5	无	无	无	7	CM41-2	2631	37-133
8	CM40-44	W	ICD	无	(17.0-18.0)	(20.0)	3.5	3.5	无	无	无	8	CM41-2	2632	37-134
9	CM41-10	W	IC1b	磨光风化	(29.0-32.0)	10.0	4.7	4.0	无	无	无	9	CM41-2	2633	37-135
10	CL41-5	W	ID	磨光风化	34.0	7.0	3.5	5.5	无	无	无	10	CM41-2	2634	37-136
11	CL39-21	W	ID	磨光风化	(31.0)	7.0	3.5	5.5	无	无	无	11	CM41-2	2635	37-137
12	CM41-4	W	ICB2a	磨光风化	35.0	(31.0)	3.0	5.0	无	无	无	12	CM41-2	2636	37-138
13	CM41-6	W	ICB2	磨光风化	(34.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	13	CM41-2	2637	37-139
14	CM41-5	W	ICB2b	磨光风化	36.0	14.0	3.5	5.5	无	无	无	14	CM41-2	2638	37-140
15	CL40-3	W	ICB2	无	35.5	14.0	4.5	5.5	无	无	无	15	CM41-2	2639	37-141
16	CM41-6	W	IC1a	磨光风化	(26.0-32.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	16	CM41-2	2640	37-142
17	CM40-5	W	IC1a	磨光风化	(25.0)	13.0	2.5	5.5	无	无	无	17	CM41-2	2641	37-143
18	CM40-5	W	IC1a	磨光风化	25.0	13.0	2.5	5.5	无	无	无	18	CM41-2	2642	37-144
19	CL41-3	W	IC1a	无	(24.0)	12.5	3.5	5.5	无	无	无	19	CM41-2	2643	37-145
20	CM40-5	W	IC1a	磨光风化	(25.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	20	CM41-2	2644	37-146
21	CL39-20	W	IC1a	磨光风化	(24.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	21	CM41-2	2645	37-147
22	CL40-2	W	IC1a	磨光风化	(23.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	22	CM41-2	2646	37-148
23	CL39-20	W	IC1a	磨光风化	(24.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	23	CM41-2	2647	37-149
24	CM40-5	W	IC1b	磨光风化	(27.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	24	CM41-2	2648	37-150
25	CM40-12	W	IC1b	磨光风化	(26.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	25	CM41-2	2649	37-151
26	CM40-5	W	IC1b	无	26.0	13.0	3.5	5.5	无	无	无	26	CM41-2	2650	37-152
27	CM40-5	W	IC1b	无	(28.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	27	CM41-2	2651	37-153
28	CM40-8	W	IC1b	磨光风化	(28.0)	13.0	3.5	5.5	无	无	无	28	CM41-2	2652	37-154
29	CL41-5	W	IC1b	磨光风化	22.0	13.0	4.5	5.5	无	无	无	29	CM41-2	2653	37-155

图71(2) 石 钺(40)



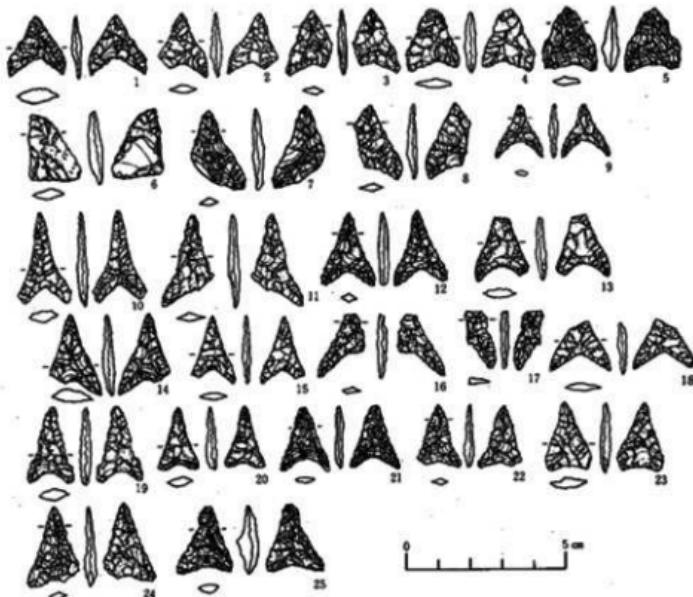
番号	地質・時代	材質	分類	石の材	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	火候	特徴	備考	出典番号	図
1	CLM-28	中砂	石器	石質灰岩	33.40	16.0	5.3	95.5	丸焼・直縁			612	16-2
2	CLM-4	中砂	石器	石質灰岩	22.0	15.0	5.0	65.0	直縁			3709	16-3
3	CKM-1	中砂	石器	石質灰岩	34.0	12.0	3.9	97.5	直縁			1111	16-4
4	CKM-2	中砂	石器	石質灰岩	24.5	12.5	3.0	85.0	直縁			2616	16-5
5	CLM-29	中砂	石器	石質灰岩	23.3	10.0	3.0	65.0	直縁			6719	16-6
6	CKM-2	中砂	石器	石質灰岩	23.0	12.0	3.5	90.0	丸焼			6040	16-7
7	CKM-3	中砂	石器	石質灰岩	25.0	10.0	3.5	85.0	丸焼・直縁			1136	16-8
8	ATM-1	中砂	石器	石質灰岩	25.0	10.0	3.0	85.0	丸焼			3693	16-9
9	CKM-2	中砂	石器	石質灰岩	22.5	10.0	3.0	85.0	丸焼・直縁			3706	16-10
10	CKM-2	中砂	石器	石質灰岩	28.0	17.2	4.8	125.0	丸焼			166	16-11
11	CLM-28	中砂	石器	石質灰岩	33.0	16.0	4.9	124.0	丸焼			412	16-12
12	CKM-2	中砂	石器	石質灰岩	25.0	16.0	4.7	143.0	丸焼・直縁			4102	16-13
13	CLM-3	中砂	石器	石質灰岩	32.0	17.0	5.0	135.0	丸焼			6402	16-14
14	CKM-1	中砂	石器	石質灰岩	24.0	12.0	3.4	85.0	直縁	直ツバクサ		881	16-15
15	CKM-2	中砂	石器	石質灰岩	14.0	12.0	2.7	50.0	直縁	(複合品)		709	16-16
16	CKM-2	中砂	石器	石質灰岩	23.0	16.0	3.3	95.0	直縁			109	16-17
17	CLM-2	中砂	石器	石質灰岩	25.0	16.0	3.5	104.0	丸焼・直縁			5472	16-18
18	CLM-2	中砂	石器	石質灰岩	23.0	15.0	4.0	95.0	丸焼	(複合品)		5471	16-19
19	CLM-5	中砂	石器	石質灰岩	33.0	16.0	3.7	105.0	直縁			5426	16-20
20	CLM-2	中砂	石器	石質灰岩	16.0	15.0	2.8	50.0	直縁			5401	16-21
21	CKM-1	中砂	石器	石質灰岩	16.0	16.0	2.6	50.0	丸焼			3696	16-22
22	CLM-2	中砂	石器	石質灰岩	18.0	16.0	3.4	60.0	丸焼・直縁			1145	16-23
23	CKM-1	中砂	石器	石質灰岩	18.0	16.0	3.5	67.0	直縁			32	16-24
24	CKM-2	中砂	石器	石質灰岩	21.2	17.0	5.3	95.0	直縁			4045	16-25
25	CLM-20	中砂	石器	石質灰岩	25.0	18.0	6.0	125.0	直縁			1132	16-26
26	CKM-4	中砂	石器	石質灰岩	20.0	20.0	3.1	95.0	直縁			620	16-27

第72回 石 織(41)



番号	地質・部位	形態	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	刃 面	
1	CM40-2	中層	GAE3D																								
2	CL40-4	上層	GAE3D																								
3	CM30-1	中層	GAE3D																								
4	CM40-7	中層	GAE3D																								
5	CM40-11	中層	GAE3D																								
6	CM40-11	中層	GAE3D																								
7	CL40-12	中層	GAE3D																								
8	CM30-1	中層	GAE3D																								
9	CL40-2	中層	GAE3D																								
10	CL40-13	中層	GAE3D																								
11	CM40-12	中層	GAE3D																								
12	CL40-3	中層	GAE3D																								
13	角	中層	GAE3D																								
14	CM40-4a	中層	GAE3D																								
15	CL40-2	中層	GAE3D																								
16	CL40-14	中層	GAE3D																								
17	CM40-8	中層	GAE3D																								
18	CM40-1	中層	GAE3D																								
19	BAS1-1	中層	GAE3D																								
20	CM40-7	中層	GAE3D																								
21	CM40-8	中層	GAE3D																								
22	CL40-2	中層	GAE3D																								
23	CM40-12	中層	GAE3D																								
24	CM40-1	中層	GAE3D																								
25	CM40-2	中層	GAE3D																								
26	CM40-1	中層	GAE3D																								
27	CL40-10	中層	GAE3D																								

第73図 石 鋒(42)



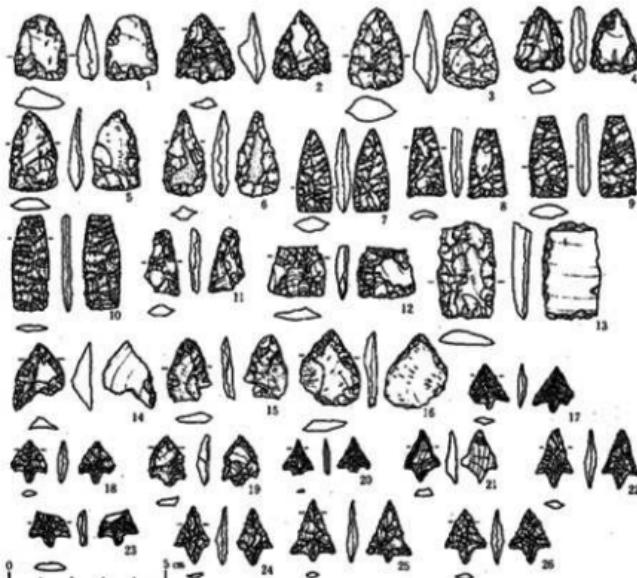
标号	产地	层位	齿型	齿高 (mm)	齿宽 (mm)	齿厚 (mm)	齿重 (g)	齿根型	牙根	齿根齿高比	齿根齿厚比
1	CKM-228	中生	AMNH	鲨尾形齿	19.5	9.5	2.1	0.2		200	20~50
2	CKM-45	中生	AMNH	鲨尾形齿	26.0	(25.0)	2.5	(2.0)	椭圆	200	20~50
3	CKM-11	中生	AMNH	鲨尾形齿	21.0	(20.0)	2.0	(1.8)	椭圆	200	20~50
4	CKM-4	中生	AMNH	鲨尾形齿	(19.0)	10.3	2.7	(2.0)	椭圆+直根	200	20~50
5	CLM-9	中生	AMNH	鲨尾形齿	19.5	10.6	2.2	(1.8)	直根	200	20~50
6	CKM-8	中生	AMNH	鲨尾形齿	21.0	(20.0)	2.9	(1.8)	椭圆+直根	200	20~50
7	CKM-11	中生	AMNH	鲨尾形齿	26.7	(22.0)	2.1	(0.8)	直根	200	20~50
8	CKM-11	中生	AMNH	鲨尾形齿	24.0	(24.0)	2.6	(0.8)	直根	200	20~50
9	CKM-6	中生	AMNH	鲨尾形齿	17.0	10.5	2.5	0.2		200	20~50
10	CKM-17	中生	AMNH	鲨尾形齿	(29.0)	16.8	3.1	(1.8)	直根	200	20~50
11	CKM-2	中生	AMNH	鲨尾形齿	26.5	(26.0)	2.8	(0.8)	直根	200	20~50
12	CLM-2	中生	AMNH	鲨尾形齿	22.5	16.5	2.7	0.3		200	20~50
13	CKM-1	中生	AMNH	鲨尾形齿	(20.0)	(17.0)	2.4	(0.8)	直根+直根	200	20~50
14	CQM-1	中生	AMNH	鲨尾形齿	26.0	(26.0)	3.0	(0.8)	直根	200	20~50
15	CKM-12	中生	AMNH	鲨尾形齿	22.0	(24.0)	2.8	(0.8)	直根	200	20~50
16	CKM-11	中生	AMNH	鲨尾形齿	(29.0)	(29.0)	3.0	(0.8)	直根+直根	200	20~50
17	CKM-11	中生	AMNH	鲨尾形齿	(18.0)	(20.0)	2.3	(0.8)	直根+直根	200	20~50
18	CKM-215	晚生	AMNH	直根	(18.0)	16.8	3.2	(0.8)	直根	200	20~70
19	CKM-2	晚生	AMNH	鲨尾形齿	24.0	16.5	3.2	(0.8)	直根	200	20~70
20	CKM-11	晚生	AMNH	直根	(20.0)	12.8	3.0	(0.8)	直根	200	20~70
21	CLM-6	晚生	AMNH	直根形齿	(18.0)	15.3	2.2	(0.8)	直根	200	20~70
22	CKM-7	晚生	AMNH	鲨尾形齿	(20.0)	(23.0)	3.1	(0.8)	直根+直根	200	20~70
23	CKM-2	晚生	AMNH	鲨尾形齿	21.5	(21.2)	3.0	(0.8)	直根	200	20~70
24	CKM-10	晚生	AMNH	鲨尾形齿	(20.0)	(17.0)	3.4	(0.7)	直根	200	20~70
25	CLM-1	晚生	AMNH	直根形齿	(20.0)	17.2	4.1	(1.8)	直根	200	20~70

图74(四) 石 齿(43)



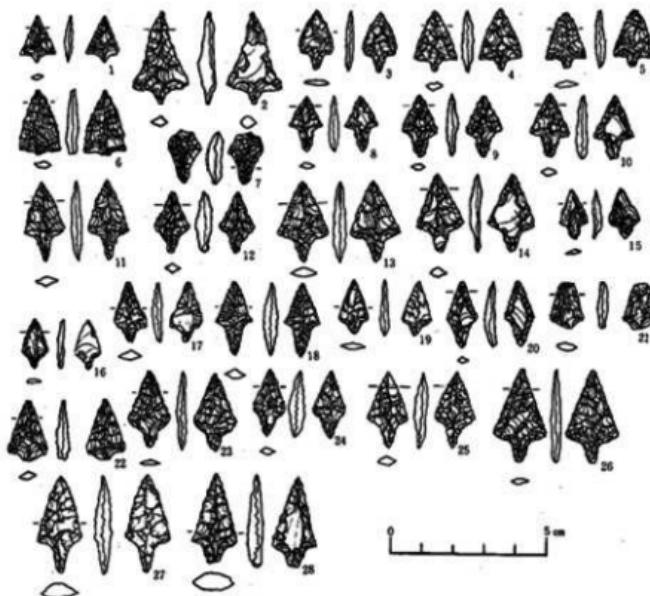
番号	属種・標出	時代	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	大きさ	記載者	番号	登録番号	年
1	CM4-8	中生	SALa	短柱形	36.0	16.0	2.0	0.2		4000	18-79	
2	CM4-2	中生	SALa	短柱形	31.0	17.0	2.2	0.35	内輪・高輪	4000	18-80	
3	CL4-2-X	中生	SALa	短柱形	33.0	11.0	2.0	0.25	内輪・高輪	3471	18-81	
4	CM4-8	中生	SALa	短柱形	35.0	10.0	2.1	0.25	内輪・高輪	3276	18-82	
5	CL4-2	中生	SALa	短柱形	32.0	17.0	2.0	0.25	内輪・高輪	5422	18-83	
6	CM4-8	中生	SALa	短柱形	32.0	17.0	2.1	0.25	内輪・高輪	2670	18-84	
7	CM4-5	中生	SALa	短柱形	25.0	15.0	2.0	0.45	内輪	3985	18-85	
8	CM4-5	中生	SALa	短柱形	34.0	14.0	2.2	0.25	内輪	3213	18-86	
9	DNA-2	中生	SALa	短柱形	37.0	20.0	4.5	1.0	内輪・高輪	9	18-87	
10	CM4-11	中生	SALa	短柱形	33.0	18.0	2.5	0.35	内輪	3712	18-88	
11	CM4-7	中生	SALa	短柱形	37.0	32.0	3.0	0.25	内輪・高輪	3511	18-89	
12	CM4-7	中生	SALa	短柱形	34.0	38.0	2.2	0.35	内輪・高輪	2513	18-90	
13	CM4-11	中生	SALa	短柱形	39.0	34.0	4.8	0.35	内輪・高輪	(未記化)	3709	18-91
14	CM4-3-X	中生	SALa	短柱形	38.0	32.0	6.0	2.0	高輪	1962	18-92	
15	CL4-38	中生	SALa	短柱形	37.0	18.0	3.0	0.7		1332	18-93	
16	CM4-2	中生	SALb	短柱形	39.0	15.0	3.5	0.5	内輪	3277	18-95	
17	CM4-5	中生	SALb	短柱形	23.0	16.0	5.2	1.35	内輪・高輪	2740	18-96	
18	CL4-2	中生	SALb	短柱形	35.0	15.0	3.5	0.5	内輪	9	18-97	
19	CL4-2	中生	SALb	短柱形	33.0	14.0	3.2	0.4	内輪	81	18-98	
20	CM4-2	中生	SALb	短柱形	39.0	12.5	4.5	1.0	内輪	1880	18-99	
21	CL4-2	中生	SALb	短柱形	31.0	16.0	3.7	1.0	内輪	3631	18-100	
22	DS4-1	中生	SALb	短柱形	39.0	18.5	5.0	1.45	内輪・高輪	1220	18-101	
23	CM4-7	中生	SALb	短柱形	38.0	18.0	5.5	1.3	内輪・高輪	3510	18-102	
24	CM4-7	中生	SALb	短柱形	34.0	32.0	3.2	0.4	内輪・高輪	3513	18-103	

第75回 石 錠(44)



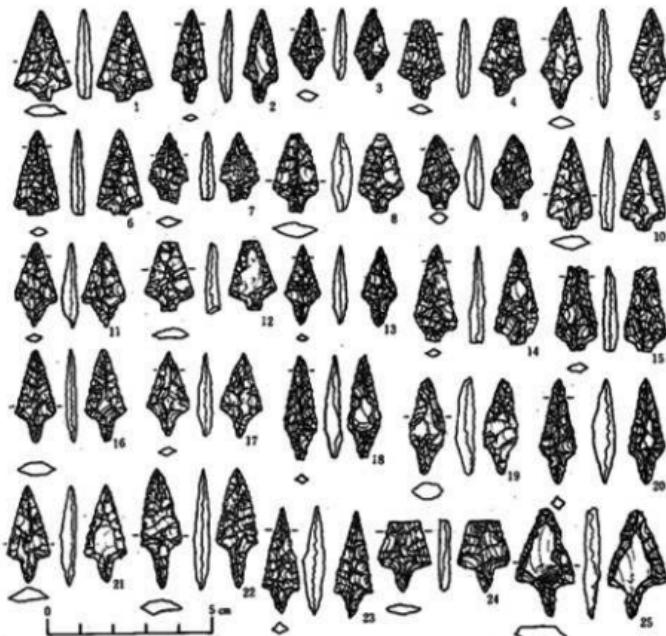
番号	地名・場所	経緯	性	形	石	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	火	鉄	銅	アラマニ	目	説明	出	年
1	CL47-1	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	20.3	16.7	6.3	2.25							4429	18-245
2	CM47-9	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	25.8	19.3	6.9	3.30	火						3629	18-256
3	CM39-2	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	26.0	27.5	7.1	3.40	火	鉄				3629	18-257	
4	CM47-11	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	21.9	26.0	4.0	3.00	火	鉄		(火鉄)		3629	18-258	
5	CL38-13	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	20.2	18.2	4.0	2.00	火	鉄				3162	18-107	
6	CM39-26	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	27.8	23.0	4.6	3.40	火					3629	18-259	
7	CM47-2	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	20.0	11.5	4.5	3.40	火					3629	18-260	
8	CL47-3-4	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	21.0	12.0	3.6	3.50	火	鉄				3162	18-108	
9	NC49-2	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	20.0	12.0	3.5	3.20	火					3629	18-261	
10	CM47-6	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	20.2	11.8	2.7	2.00	火	鉄				3629	18-262	
11	RAAS-1	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	21.0	21.0	3.1	2.40	火	鉄		(火鉄)		3629	18-263	
12	CM47-18	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	20.2	19.0	3.4	3.20	火					3629	18-264	
13	BC47-2	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	20.0	18.0	3.6	3.70	火					3629	18-265	
14	CM47-9	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	22.0	19.2	6.0	3.80	火					3627	18-2	
15	CM39-28	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	20.2	17.0	3.0	3.50	火					3629	18-2	
16	DP75-1	平野	打削	尖頭器	白雲母片岩	20.0	19.0	3.1	3.40	火					3	18-3	
17	CL39-25	平野	IA1a	尖頭器	白雲母片岩	14.3	21.0	2.5	0.90	火					3621	18-4	
18	CM39-6	平野	IA1a	尖頭器	白雲母片岩	12.0	21.0	4.3	3.1	火	鉄				3627	18-5	
19	CM47-9	平野	IA1b	尖頭器	白雲母片岩	15.0	21.0	3.3	2.80	火					3629	18-6	
20	II - 22	平野	IA1b	尖頭器	白雲母片岩	21.0	21.0	3.7	3.00	火					3626	18-7	
21	CL47-6	平野	IA1b	尖頭器	白雲母片岩	16.0	11.1	3.5	0.38						3162	18-9	
22	CM47-8	平野	IA1b	尖頭器	白雲母片岩	18.0	11.6	3.2	0.42	火					3629	18-8	
23	CL47-2	平野	IA1b	尖頭器	白雲母片岩	19.1	12.4	2.8	0.33	火	鉄		(火鉄)		3629	18-11	
24	CM47-10	平野	IA1b	尖頭器	白雲母片岩	18.0	11.0	3.0	0.30	火					3629	18-12	
25	CM47-8	平野	IA1b	尖頭器	白雲母片岩	17.2	12.4	12.7	3.9	0.4					3629	18-12	
26	CM47-22	平野	IA1a	尖頭器	白雲母片岩	20.0	14.0	3.4	0.4				(火鉄)		3629	18-13	

第76図 石器(45)



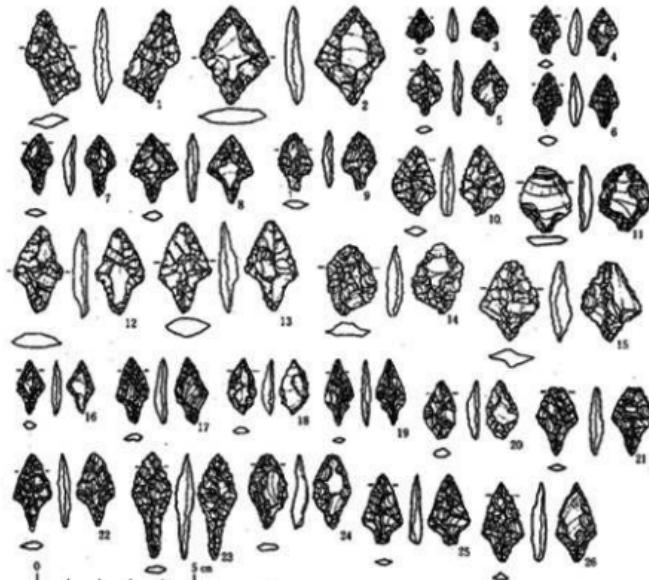
器号	地区	地层	形	刃	时	高( mm)	宽( mm)	厚( mm)	重( g)	文	质	产地	器号	器
1	新	石器	1	单刃	鸟足形	34.7	12.5	20.30	3.1	(0.02)	先秦·良渚		3000	13~14
2	CM4-10	石器	10	双刃	鸟足形	39.5	12.0	18.40	4.6	(0.02)	先秦·良渚		3001	13~15
3	CM4-7	石器	7	双刃	鸟足形	38.0	12.5	18.30	3.7	(0.02)	先秦·良渚		3002	13~16
4	CKH-8	石器	18	双刃	鸟足形	39.4	12.7	13.70	3.9	(0.02)	先秦·良渚		3078	13~17
5	CM4-1	石器	18.5	双刃	鸟足形	32.7	12.0	12.00	3.7	(0.02)	先秦·良渚		3400	13~17
6	CM4-12	石器	18.5	双刃	鸟足形	38.5	12.5	13.20	3.7	(0.02)	先秦·良渚	2	3078(良渚文化)	13~18
7	CLG-1	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.5	12.0	12.00	4.3	(0.02)	先秦·良渚		3700	13~19
8	N-3	石器	12.5	单刃	鸟足形	37.5	12.5	12.00	3.9	(0.02)	先秦·良渚		3624	13~19
9	CM4-11	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.0	12.5	12.00	3.2	(0.02)	先秦·良渚		3700	13~23
10	N-2	石器	12.5	单刃	鸟足形	39.0	12.7	12.50	3.9	(0.02)	先秦·良渚		3640	13~23
11	CKH-9	石器	12.5	单刃	鸟足形	35.0	12.5	12.00	3.5	(0.02)	先秦·良渚	2	3078(良渚文化)	13~23
12	DHS-1	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.5	12.5	12.00	4.7	(0.02)	先秦·良渚		3627	13~18
13	新	石器	12.5	单刃	鸟足形	35.0	12.5	12.00	3.9	(0.02)	先秦·良渚	1	3679	13~15
14	新	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.0	12.5	12.00	3.9	(0.02)	先秦·良渚		3700	13~18
15	CM4-11	石器	12.5	单刃	鸟足形	35.2	12.5	8.4	3.5	(0.02)	先秦·良渚		3700	13~27
16	CLG-4	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.5	12.0	12.00	2.8	(0.02)	先秦·良渚		3624	13~18
17	CKH-2	石器	12.5	单刃	鸟足形	39.0	12.0	12.00	3.7	(0.02)	先秦·良渚		3625	13~29
18	CM4-7	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.0	12.0	12.00	4.4	(0.02)	先秦·良渚	1	3620	13~29
19	CM4-10	石器	12.5	单刃	鸟足形	37.8	12.5	8.8	3.8	(0.02)	先秦·良渚		3625	13~24
20	CM4-10	石器	12.5	单刃	鸟足形	35.0	12.0	8.0	3.1	(0.02)	先秦·良渚		3620	13~23
21	CLG-4	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.0	12.0	12.00	3.2	(0.02)	先秦·良渚		3620	13~23
22	CM4-2	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.0	12.0	12.00	3.7	(0.02)	先秦·良渚		3620	13~24
23	CLG-7	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.5	12.0	12.00	3.5	(0.02)	先秦·良渚		3620	13~26
24	CM4-8	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.0	12.0	12.00	3.5	(0.02)	先秦·良渚		3620	13~26
25	CLG-1	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.5	12.0	12.00	3.5	(0.02)	先秦·良渚		3620	13~26
26	CM4-9	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.5	12.0	12.00	3.5	(0.02)	先秦·良渚		3620	13~26
27	CLG-7	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.5	12.0	12.00	3.5	(0.02)	先秦·良渚		3620	13~26
28	CM4-8	石器	12.5	单刃	鸟足形	38.0	12.0	12.00	3.5	(0.02)	先秦·良渚		3620	13~26

第77图 石 针(46)



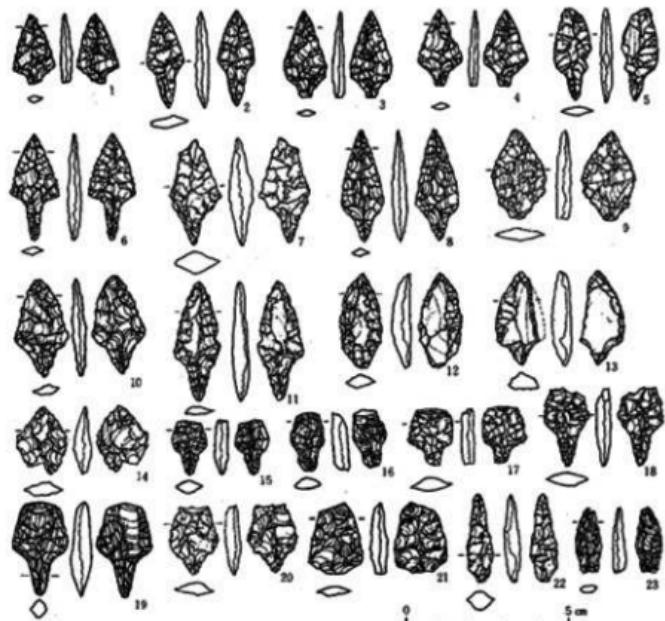
番号	時代	出所	分類	形	材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	大きさ	アラフタ	備考	記載番号	図
1	CH39-2	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.39)-(CH.7)	19.6	4.6	1.0	16.0	先端・直孔	(CH.39)	513	19-39	
2	CH40-9	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.39)-(CH.7)	21.0	10.8	3.5	9.7	直孔		563	19-40	
3	CH40-9	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	16.7	10.3	3.5	9.4	直孔		560	19-41	
4	CH40-1	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.39)-(CH.7)	16.0	10.3	3.5	9.4	直孔		564	19-42	
5	CH38-28	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.38)-(CH.7)	19.8	10.2	3.5	9.4	直孔		695	19-43	
6	CH40-7	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	16.6	10.5	3.5	9.4	直孔		561	19-44	
7	CH40-7	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	14.2	10.5	3.5	9.4	直孔	1	696	19-45	
8	CH40-8	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	14.9	5.5	3.5	9.4	直孔	1	697	19-46	
9	CH38-9	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.38)-(CH.7)	16.0	12.0	3.5	9.4	直孔	1	676	19-47	
10	CH40-26	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	13.7	12.2	3.5	9.4	直孔		147	19-48	
11	CH41-1	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.41)-(CH.7)	12.5	4.8	1.0	16.0	先端・直孔		565	19-49	
12	CL42-6	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.42)-(CH.7)	13.6	5.0	1.0	16.0	先端・直孔		773	19-50	
13	CH40-31	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	16.2	10.5	3.5	9.4	直孔		572	19-51	
14	CH38-203	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.38)-(CH.7)	25.4	12.0	4.3	13.0	先端・直孔		698	19-52	
15	CH40-8	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	12.5	4.4	1.0	16.0	先端・直孔		699	19-53	
16	CH40-3	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	16.0	10.0	3.5	9.7	直孔		67	19-54	
17	CL42-4	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.42)-(CH.7)	17.1	13.0	4.5	6.7			545	19-55	
18	直 端	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.39)-(CH.7)	16.2	4.7	1.0	16.0	先端・直孔		567	19-56	
19	CL38-10	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.38)-(CH.7)	13.0	5.4	1.0	16.0	先端・直孔		631	19-57	
20	CH40-5	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	23.2	12.5	4.5	14.8		1	2477	19-58	
21	CH38-2	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.38)-(CH.7)	19.5	21.7	13.0	4.5	直孔		676	19-59	
22	CL38-22	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.38)-(CH.7)	22.4	12.0	3.5	9.4			690	19-60	
23	CL37-2	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.37)-(CH.7)	21.5	24.2	12.0	4.5	直孔		633	19-61	
24	CH40-12	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	18.0	3.5	1.0	16.0	直孔		2777	19-62	
25	CH40-25	中絶	IC1b	直孔尖頭形	(CH.40)-(CH.7)	27.5	4.5	1.0	16.0	直孔		670	19-63	

第78回 石 鑿(47)



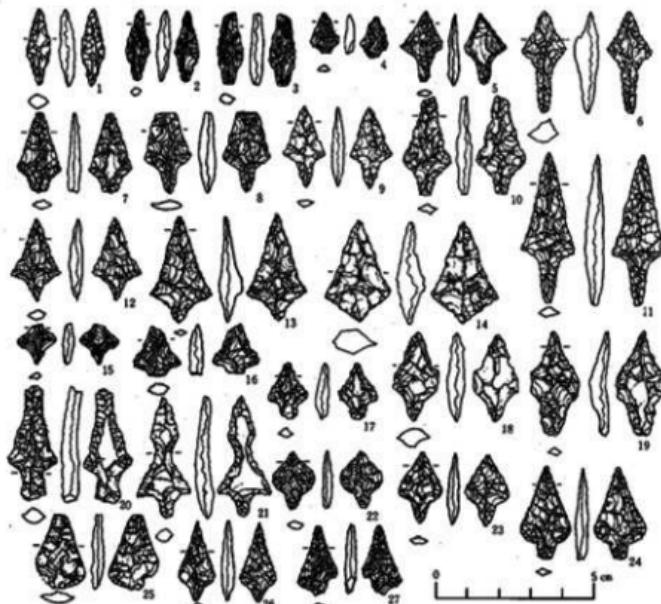
編號・標註	形狀	全長	刃長	刃寬	刃厚	尖端形	刀口形	打制部位	器名	發掘地點	層次
1. CM44-13	石刀	IC1b	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.5	1.4	先鋒-直刃	石刀	225	29-54
2. CM44-6	石刀	IC1b	直刃圓形	0.5-0.6	0.5	3.2	1.4	先鋒-直刃	石刀	226	29-45
3. CL4-8	石刀	IC2a	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.5	1.4	先鋒-直刃	石刀	244	29-45
4. CL4-1	石刀	IC2a	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.5	1.4	先鋒-直刃	石刀	245	29-45
5. CL4-3	石刀	IC2a	直刃圓形	0.7-0.8	0.7	3.7	1.5	先鋒-直刃	石刀	246	29-45
6. CM44-12	石刀	IC2a	直刃圓形	0.6-0.7	0.7	4.1	1.8	先鋒	石刀	270	29-45
7. # - 2	石刀	IC2a	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.5	1.4	先鋒	石刀	248	29-79
8. CM44-5	石刀	IC2a	直刃圓形	0.7-0.8	0.7	3.5	1.4	先鋒	石刀	227	29-71
9. CM44-1	石刀	IC2a	直刃圓形	0.7-0.8	0.7	3.5	1.4	先鋒	石刀	228	29-71
10. CM44-2	石刀	IC2a	直刃圓形	0.7-0.8	0.7	3.7	1.5	先鋒	石刀	229	29-71
11. CL4-1	石刀	IC2a	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	4.1	1.8	先鋒	石刀	247	29-71
12. CL4-2	石刀	IC2a	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.5	1.4	先鋒	石刀	251	29-71
13. CL4-3	石刀	IC2a	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.7	1.4	先鋒	石刀	252	29-71
14. CM44-10	石刀	IC2a	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	4.7	1.8	先鋒-直刃	石刀	265	29-71
15. CL4-1	石刀	IC2a	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	4.1	1.8	先鋒	石刀	271	29-71
16. CM44-11	石刀	IC2b	直刃圓形	0.7-0.8	0.7	3.5	1.4	先鋒	石刀	272	29-71
17. CM44-9	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.3	1.4	先鋒	石刀	273	29-71
18. CM44-6	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.5	3.5	1.4	先鋒	石刀	266	29-48
19. # - 2	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.5	1.4	先鋒-直刃	石刀	267	29-48
20. CM44-18	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.5	3.4	1.4	先鋒-直刃	石刀	268	29-48
21. CM44-6	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	4.1	1.4	先鋒	石刀	269	29-48
22. CL4-20B	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.5	1.4	先鋒-直刃	石刀	274	29-48
23. CM44-5	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	5.8	1.1	尖端	石刀	275	29-48
24. CM44-5	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	4.4	1.8	先鋒-直刃	石刀	276	29-48
25. CP4-2	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	3.5	1.4	先鋒	石刀	277	29-48
26. CM44-11	石刀	IC2b	直刃圓形	0.6-0.7	0.6	4.3	1.8	先鋒	石刀	278	29-48

第79圖 石 鋸(48)



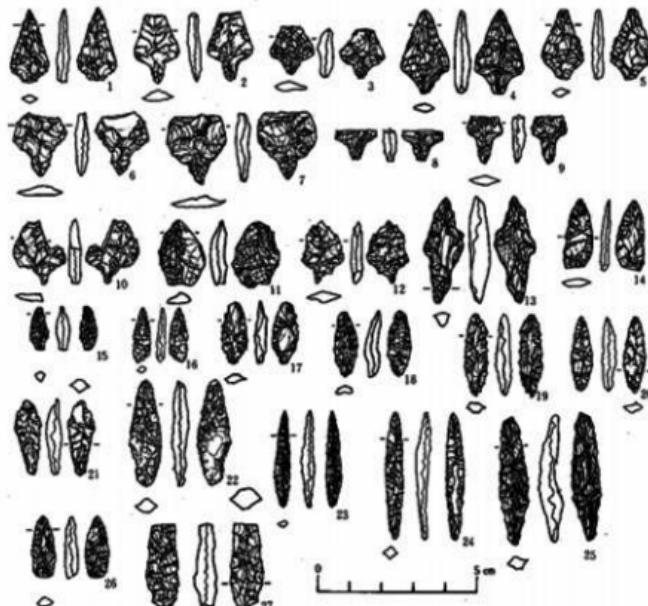
编号	材料	时代	形制	直径(毫米)	横径(毫米)	厚(毫米)	尖端形	用途	器物号	说明
1	石质·细石	中石	细石核	31.40~(31.8)	13.8	3.5	(0.4)	尖端·直形	2504	19~91
2	石质·细石	中石	细石核	29.5~16.7	11.5	3.4	0.7		1121	19~92
3	石质·细石	中石	细石核	27.40~36.5	18.0	3.5	(0.9)	直形	612	19~93
4	石质·细石	中石	细石核	23.6~37.2	18.0	2.8	(0.4)	直端·直形	6143	19~94
5	石质·细石	中石	细石核	23.40~31.40	21.5	3.0	(0.7)	尖端·直形	677	19~95
6	石质·细石	中石	细石核	34.5~39.9	19.6	4.3	1.0		2478	19~96
7	石质·细石	中石	细石核	33.40~33.40	18.0	7.5	(2.7)	尖端·直形	679	19~97
8	石质·细石	中石	细石核	35.40~37.5	18.6	4.1	(0.5)	直形	1712	19~98
9	石质·细石	中石	细石核	36.40~32.4	27.4	4.1	(0.4)	直端·直形	4495	19~99
10	石质·细石	中石	细石核	30.40~32.9	27.4	4.0	1.4	直端·直形	2697	19~100
11	石质·细石	中石	细石核	37.4~32.0	34.0	4.8	(3.0)	直形	1495	19~101
12	石质·细石	中石	细石核	30.40~32.2	26.0	6.0	(2.0)	直端·直形	3493	19~102
13	石质·细石	中石	细石核	29.5~21.4	33.5	5.6	(3.0)	直端·直形	8	19~103
14	石质·细石	中石	细石核	31.20~31.20	28.5	3.4	(1.0)	直形	3428	19~104
15	石质·细石	中石	细石核	37.12~36.8	20.2	4.6	(0.7)	直形	2722	19~105
16	X=3	中石	细石核	(37.75~(38.9)	(28.1)	4.5	(0.8)	直端·直形	6629	19~106
17	石质·细石	中石	细石核	33.40~34.0	14.0	3.7	(0.8)	直端·直形	24	19~107
18	石质·细石	中石	细石核	34.12~(31.32)	23.40	4.6	(3.2)	直端·直形	3622	19~108
19	石质·细石	中石	细石核	38.12~(35.8)	17.0	5.5	(3.0)	直形	1496	19~109
20	石质·细石	中石	细石核	39.5~(31.17)	15.7	4.5	(3.3)	直端	6146	19~110
21	石质·细石	中石	细石核	31.42~(18.2)	16.5	3.7	(3.6)	直端·直形	6494	19~111
22	石质·细石	中石	细石核	37.40~35.0	8.5	4.7	(0.7)	直形	1100	19~112
23	石质·细石	中石	细石核	(36.4)	7.8	3.9	(0.4)	直端·直形	6796	19~113

第805图 石器(49)



番号	地質・層位	物種	分類	形	年 代	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	外観	アラフタ	年 代	出露場所	層	総
1	CMD-6	不明	ICB1b	細長形	不明	24.8	7.5	4.7	6.6		197	19-114		
2	CLD-X	不明	ICB1b	細長形	不明	22.3	7.3	2.6	9.82	丸端・直縁	1926	19-115		
3	CMD-3	不明	ICB1b	褐色直縁	不明	21.9	7.7	4.1	9.80	丸端・直縁	1890	19-116		
4	CLD-X	不明	ICB1b	細長形	(13.5)-(14.4)	9.5	2.4	9.22	丸端・直縁	1926	19-117			
5	CDI-2	不明	ICB1b	細長形	(13.5)-(14.2)	12.0	2.4	9.22	丸端・直縁	(複数枚)	1927	19-118		
6	CDI-6	不明	ICB1b	細長形	(13.5)-(14.2)	12.0	2.4	9.47	丸端・直縁		1927	19-119		
7	CDI-6	不明	ICB1b	細長形	(13.5)-(14.2)	12.0	2.4	9.47	丸端・直縁		1927	19-120		
8	CLD-X	不明	ICB1b	細長形	(13.5)-(14.2)	12.0	2.4	9.47	丸端・直縁		1927	19-121		
9	CMD-8	不明	ICB1b	褐色直縁	不明	24.8	12.0	4.5	9.75		1929	19-122		
10	CKA-2	不明	ICB1b	褐色直縁	(19.5)-(20.0)	15.5	4.5	9.50	丸端・直縁		1927	19-123		
11	CKA-1-2	不明	ICB1b	褐色直縁	(17.5)-(18.0)	17.0	5.7	9.50	丸端・直縁		1927	19-124		
12	CKA-2	不明	ICB1b	褐色直縁	26.3	16.7	24.0	4.2	L型		1929	19-125		
13	CMD-11	不明	ICB1b	褐色直縁	(30.0)-(34.8)	29.0	7.0	3.0	丸端・直縁		1929	19-126		
14	CMD-12	不明	ICB1b	褐色直縁	(30.0)-(32.7)	29.0	6.1	3.0	丸端・直縁		1929	19-127		
15	CLD-3-4	不明	ICB1b	細長形	(13.5)-(21.7)	22.0	2.3	9.40	丸端・直縁		1927	19-128		
16	CMD-8	不明	ICB1b	褐色直縁	(19.5)-(21.0)	21.0	4.0	9.00	丸端・直縁		1929	19-129		
17	CMD-8	不明	ICB1b	褐色直縁	(18.5)-(20.5)	22.0	4.3	9.40	丸端・直縁		1929	19-130		
18	CLD-X	不明	ICB1b	褐色直縁	(28.0)-(37.0)	24.5	5.1	3.22	丸端・直縁		1927	19-131		
19	CMD-8	不明	ICB1b	褐色直縁	(30.5)-(31.5)	23.0	5.0	3.00	丸端・直縁		1929	19-132		
20	CLD-X	不明	ICB1b	細長形	(36.5)-(38.0)	25.0	4.8	3.7	丸端・直縁		1927	19-133		
21	OKI-2	不明	ICB1b	褐色直縁	(36.5)-(38.0)	27.0	4.4	3.40	丸端・直縁		1929	19-134		
22	CMD-10	不明	ICB1b	細長	(18.5)-(19.7)	19.0	2.7	9.82	丸端・直縁		1929	19-135		
23	OKI-1	不明	ICB1b	細長形	(25.0)-(27.2)	24.0	3.3	9.50	丸端・直縁		1927	19-136		
24	CLD-X	不明	ICB1b	褐色直縁	(26.0)-(28.0)	26.0	4.0	9.12	丸端・直縁		1927	19-137		
25	CLD-X	不明	ICB1b	褐色直縁	(23.0)-(25.0)	25.0	2.4	9.75	丸端・直縁		1927	19-138		
26	CLD-X	不明	ICB1b	褐色直縁	(25.0)-(28.0)	21.0	2.3	9.00	丸端・直縁		1927	19-139		
27	CLD-X	不明	ICB1b	褐色直縁	(21.0)-(23.0)	19.4	3.5	9.77	丸端・直縁		1927	19-140		

第81図 石 級(50)



番号	地質・層位	形態	分類	年 代	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	大きさ	特徴	タグ番号	番 号	出発場所	目 次
1	CMB-8	平行	IC	ICBb	細胞網状	(23.0-31.0)	(12.0-20.0)	3.8	10.2	丸形・網目	2	8022	20-25
2	CMB-11	平行	IC	ICBb	細胞網状	(23.0-33.0)	(14.5-21.0)	3.7	10.0	丸形	1301	20-25	
3	CL4-7	平行	IC	ICBb	細胞網状	(23.0-36.0)	(13.5-21.0)	3.7	10.0	丸形	2101	20-25	
4	CL4-3	平行	IC	ICBb	細胞網状	(23.0-33.0)	(14.5-21.0)	4.6	10.0	丸形	2201	20-25	
5	CMB-8	平行	IC	ICBb	細胞網状	(23.0-31.0)	(13.0-20.0)	3.5	10.0	丸形	2301	20-25	
6	CMB-12a	平行	IC	ICBb	細胞網状	(23.0-33.0)	(12.0-20.0)	3.6	10.0	丸形	2401	20-25	
7	CMB-3	平行	IC	ICBb	細胞網状	(23.0-32.0)	(12.0-20.0)	4.6	10.0	丸形	2501	20-25	
8	CMB-7	平行	IC	IC	細胞網状	(23.0-31.0)	(12.0-20.0)	3.5	10.0	丸形	2601	10-25	
9	CMB-7	平行	IC	IC	細胞網状	(23.0-31.0)	(12.0-20.0)	3.5	10.0	丸形	2701	10-25	
10	CMB-7	平行	IC	IC	細胞網状	(23.0-31.0)	(12.0-20.0)	2.1	5.5	4.0-42	丸形	2801	10-25
11	CL4-2	平行	IC	IC	細胞網状	(23.0-32.0)	(12.0-20.0)	3.5	10.0	丸形	2901	20-25	
12	CMB-7	平行	IC	IC	細胞網状	(23.0-31.0)	(12.0-20.0)	3.0	10.0	丸形	3101	20-25	
13	CMB-2	平行	IC	IC	細胞網状	(23.0-31.0)	(12.0-20.0)	2.8	4.0	10.0	(三層化)	3201	20-25
14	CL3b-2	平行	ID	細胞網状	(23.0-31.0)	(12.0-20.0)	5.5	5.5	3.0-30	丸形	3301	20-25	
15	CL3b-20	平行	ID	細胞網状	(23.0-32.0)	(12.0-20.0)	9.3	4.0	10.0	丸形	3401	20-25	
16	CL4-6	平行	ID	細胞	(23.0)	(12.0)	5.4	2.6	0.30	丸形	3426	20-25	
17	CMB-6	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	4.1	2.5	0.30	丸形・薄壁	3577	20-25	
18	x-3	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	7.1	4.5	0.3	丸形	3649	20-40	
19	CL3b-3	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	7.2	5.0	0.30	丸形	3771	20-40	
20	CKM-1	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	6.5	3.8	0.4	丸形	3771	20-40	
21	CL3b-20	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	6.8	4.8	0.6	丸形	3831	20-40	
22	CMB-8	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	4.3	1.20	0.00-0.05	丸形	3864	20-40	
23	CKM-2	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	5.0	4.0	0.60-0.7	丸形	3881	20-40	
24	CL3b-22	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	5.8	4.2	0.70	丸形	3921	20-40	
25	CKM-2	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	6.7	4.5	0.60-0.70	丸形	3991	20-40	
26	角 錐	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	7.4	4.0	0.70	丸形	4001	20-40	
27	CMB-10	平行	ID	細胞網状	(23.0)	(12.0)	10.1	7.0	0.40	丸形・薄壁	3801	20-40	

第62図 石 錐(51)

これらの矢傷の状況等は第11表に記したとおりである。

この6例の動物遺存体は、弓矢を使用した獵獲が行なわれていたことを裏づけるものであり、イノシシ・ニホンジカを問わず使用され、胸部を的にして射込まれていたと考えられるものである。また、その威力は肩甲骨（図版70-9）の骨壁を貫き、周囲の骨が剥離するほどもので、かなり殺傷力をもっていたと思われる。

このような哺乳動物（ヒトを除く）に狩猟具が射込まれている例は、県内だけでも4例報告されている。南境貝塚からシカの左肩甲骨（金子：1984・8）、田茂川貝塚から鯨・イルカ類の前腕部（宮城県史34-資料篇：1981・10）、沼津貝塚よりシカの座骨に石鏃が射込まれものが知られており、その他に里浜貝塚からエイ尾棘製ヤジリがささったシカの左肩甲骨（岡村：1986・3）が報告されている。

#### 尖頭器（第86図～第92図）

ここで尖頭器として取りあげる石器は、これまで石鏃として取り扱われている場合が多い。しかし、尖頭部の作り出しや平面形態に類似性を示すが、加工状況、断面形、重など種々の属性は石鏃としたものとは異なる傾向を示し、岡村道雄氏によって「新器種」とされた石器（岡村：1979）に相当するものを多く含む。総数94点が出土している。

#### 1分類

平面形から三角形状のもの（A）と木葉状のもの（B）に大別することができる。これらの基部形態には円基（1）、尖基（2）、平基（3）があり、側縁形態には外弯気味のもの（a）、直線的なもの（b）、内弯気味のもの（c）、ある。Aには1～3の基部形態が認められ、各々にa～cの側縁形態をもつものがある。また、Bでは1、2の基部形態が認められ、これらの側縁形態はいずれもbである。

つまり、下記のような11類に分けることができる。

$$A-1 \left\{ \begin{array}{l} a \\ b \\ c \end{array} \right. A-2 \left\{ \begin{array}{l} a \\ b \\ c \end{array} \right. A-3 \left\{ \begin{array}{l} a \\ b \\ c \end{array} \right. B-1 \left\{ \begin{array}{l} b \\ B-2b \end{array} \right.$$

これらを量的に見ると、第12表に示すようにA類が多く、B類は極めて少ない。基部形態では円基が多く、平基がこれに次ぐ。また、側縁形態では直線的なものが三角形状、木葉状とともに多く、内弯気味のものは極めて少ない。

#### 2出土状況と時期的变化

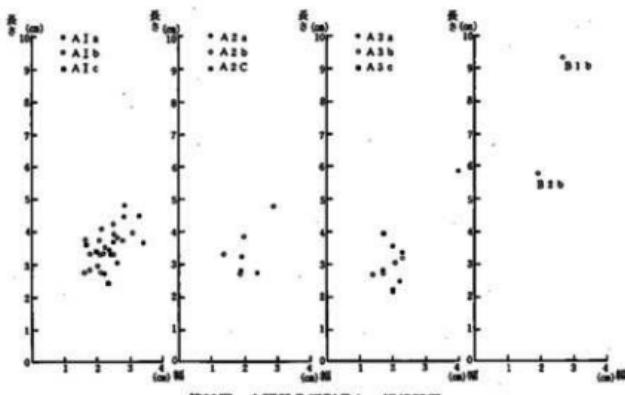
94点中63点は時期が特定できる。時期別に見ると第II期3点、第III期6点、第IV期10点、第V期22点、第VI期10点、第VII期5点、第VIII期7点となり、各時期ともに認められ第V期で最も多い出土量を示す（第12表参照）。これを分類別に見ると、A1b類が各時期に認められ、第II～VI期に多い傾向を示す。また、A1a類は第II～第VIに認められ、第V期では比率が高くなる。一方、A b類は第V期以降に認められ第VIII期での比率が高い。

### 3属性の特徴

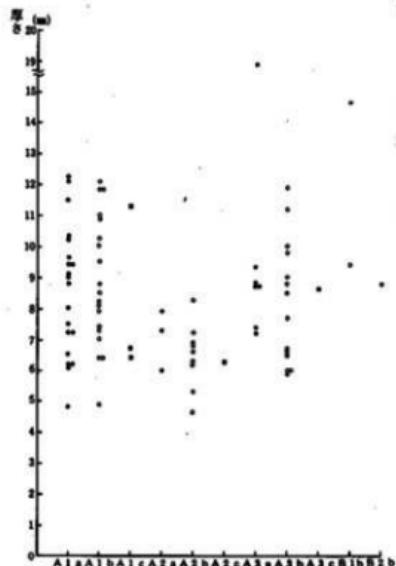
上記のように尖頭器は時期的な形態の変化はさほどみられない。そこで、以下に属性の特徴については、各層出土のものをまとめて記述する。

分類	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	Ⅺ	Ⅻ
A1a	1	1		2	1				11	8	29	
A1b		3	2	6	2	1	1	11	2	27		
A1c		2	3						3		3	
A2a	1	1				1			5		3	
A2b		2	1	1			1	1	5	8	20	
A2c				1					1		2	
A3a			2		1		1		3	4	7	
A3b			1	3	2			4	10	5	15	
A3c	1								1		1	
A4b	1	1	1	1	2	1		8	2	11		
B1b										2	2	
B2b							1		1		1	
B3b				1				1	1	1	2	
計	2	6	10	22	18	9	7	43	26	39	95	

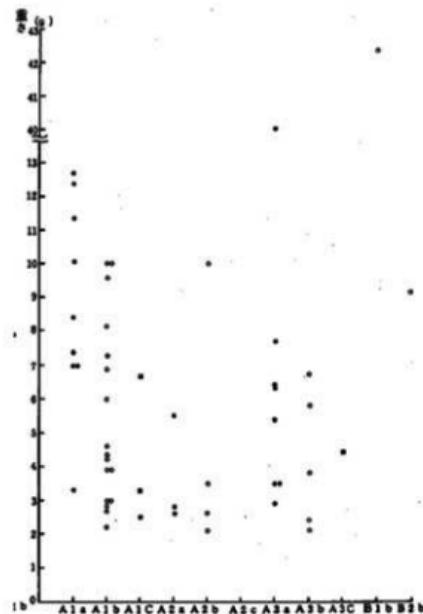
第12表 尖頭器時期別・分類別出土数量表



第83図 尖頭器分類別長さ・幅相関図



第84図 尖頭器分類別厚さ分布図



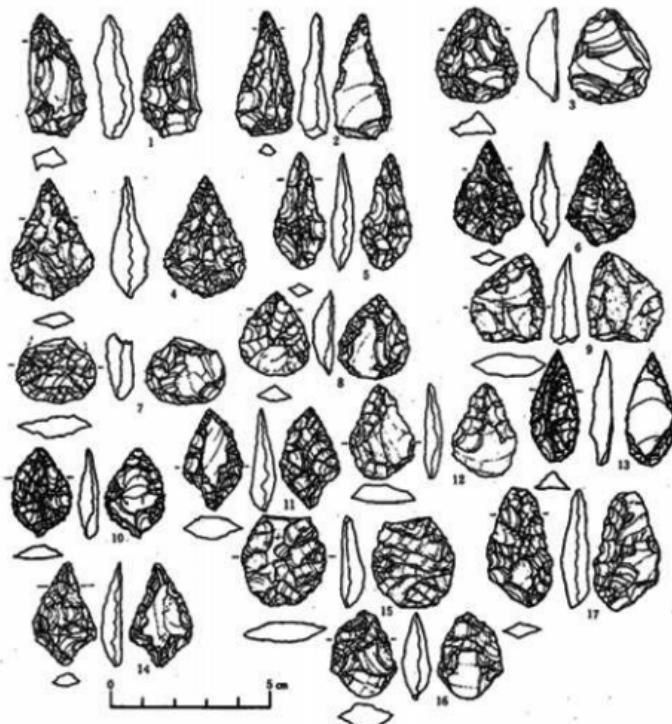
第85図 尖頭器分類別重さ分布図

### 大きさ・重さ (第 83・84・85 図)

A類は長さ3cm前後、幅2cm前後に集中するが、一部にはこれより大きいものがある。一方B類はA類と同じ幅であるが長さが長い。厚さはA1類が5mm～12mmの間でばらつきがあるが、A類は8mm以下に多数認められ、他のA類より薄いものが多い。B類は8mm以上で、15mmほどのものもある。重さはいずれも2g以上であり、A1類は13g以下に、A2類は10g以下にすべておさまる。A3類は8g以下に多くがもられるが、1点のみ40gを計るもの

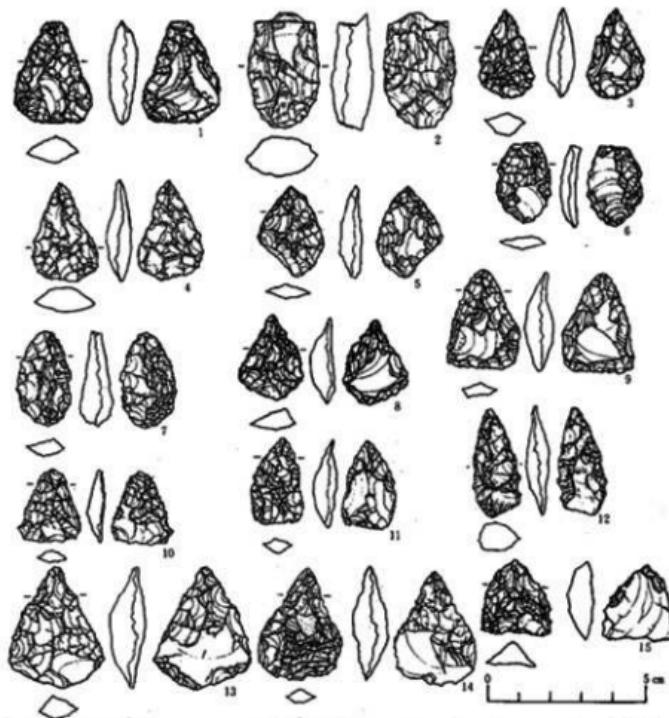
地層	石種	鉱物実相	化成鉱物相	黑色実相	玉 磨	磨 文	鉱物充填鉱物相	鉱物充填鉄鉱石相	玉 磨	鉱物充填鉄鉱石相	鉱物充填鉄鉱石相	鉱文実相	計
II	1 (39.3)		2 (66.7)										3
III	2 (59.4)	1 (36.4)	2 (54.5)	1 (36.4)									6
IV	1 (58.4)	2 (28.0)	5 (99.4)				1 (16.4)						24
V	8 (32.5)	9 (27.5)	2 (22.5)	2 (18.3)	1 (4.2)		1 (4.2)					1	38
VI	2 (22.2)	2 (22.2)	3 (53.5)	1 (21.1)	1 (31.1)								9
VII	2 (49.0)	1 (38.0)	3 (66.0)									1 (38.0)	5
VIII	2 (32.0)	2 (32.0)	1 (28.0)					1 (36.4)					6
IX	19 (56.2)	17 (57.4)	16 (58.0)	4 (6.4)	2 (3.8)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	2 (3.2)	2 (3.2)		63

第13表 尖頭器時期別・石材別出土数量表



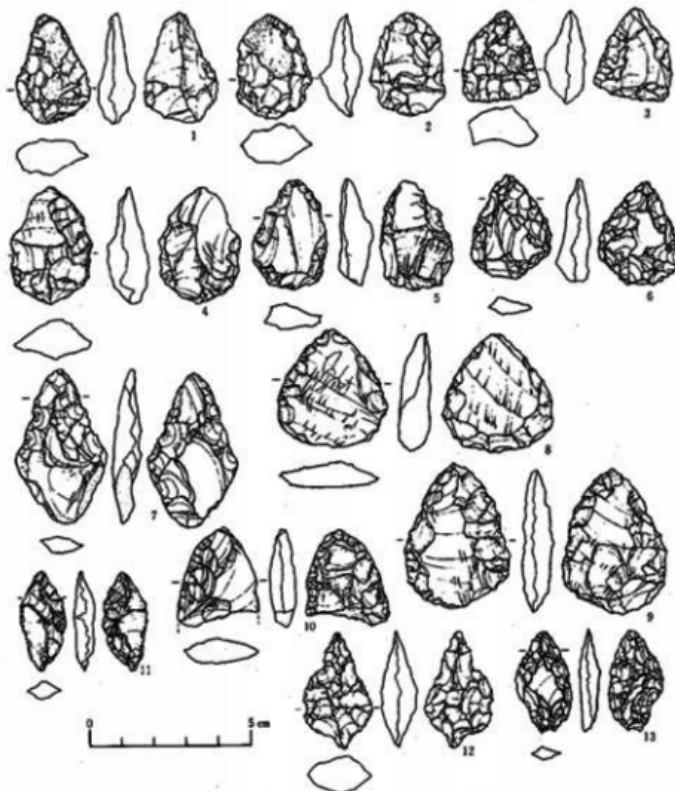
番号	地質・層位	種	形	分類	目	所	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	大	小	中	細	特徴	記	年	出発地	地
1	CM4-20	■	A3	直角尖頭器	26.0	23.0	7.25	8.75	■	○	○	△	網目			2488	29-29	
2	CL4-21	■	A3b	直角尖頭器	26.7	17.4	4.45	8.0	■	×	○	△	網目			1650	29-31	
3	CL4-22	■	A3b	直角尖頭器	26.0	20.0	7.0	9.4	■	×	○	△	網目			1235	29-32	
4	CM4-23	■	A3b	直角尖頭器	26.2	20.0	7.2	11.0	■	×	○	△	網目	(直角化)		1650	29-32	
5	CL4-24	■	A3b	直角尖頭器	27.0	18.2	3.0	7.0	■	×	○	△	網目			1271	29-38	
6	CL4-25	■	A3b	直角尖頭器	22.7	23.6	6.25	9.2	■	×	○	△	網目			428	29-34	
7	CM4-26	■	C4D	直角	24.7	20.4	4.3	6.0	直角	○	○	△	網目			2954	29-35	
8	CL3-26	■	A3b	直角尖頭器	27.6	22.0	3.3	6.5	■	×	○	△	直角			2954	29-36	
9	CL4-27	■	A3b	直角尖頭器	27.6	22.4	5.45	7.0	■	○	○	△	網目			4721	29-37	
10	CL3-26	■	A3b	直角尖頭器	26.6	19.5	2.00	5.00	■	×	○	△	網目			5142	29-38	
11	CL4-27	■	A3b	直角尖頭器	33.5	19.0	3.3	6.7	■	×	○	△	網目			4599	29-38	
12	CL4-28	■	A3b	直角尖頭器	29.6	20.2	2.00	4.9	■	×	○	△	網目			4322	29-35	
13	CL3-26	■	A3b	直角尖頭器	26.8	16.0	2.3	6.4	■	○	○	△	網目			2230	29-42	
14	CL4-28	■	A3b	直角尖頭器	(23.4)	20.5	Q.4	6.35	直角・網目	×	○	△	網目			4225	29-42	
15	CL4-27	■	C4L1	直角尖頭器	26.2	15.3	7.2	10.0	直角	○	○	△	網目			1957	29-34	
16	CM4-27	■	A3b	直角尖頭器	27.5	20.8	3.00	6.8	■	×	○	△	網目			2547	29-35	
17	CL3-26	■	A3b	直角尖頭器	(26.2)	20.5	(16.2)	8.25	直角	○	○	△	網目			5144	29-38	

第86図 尖頭器(1)



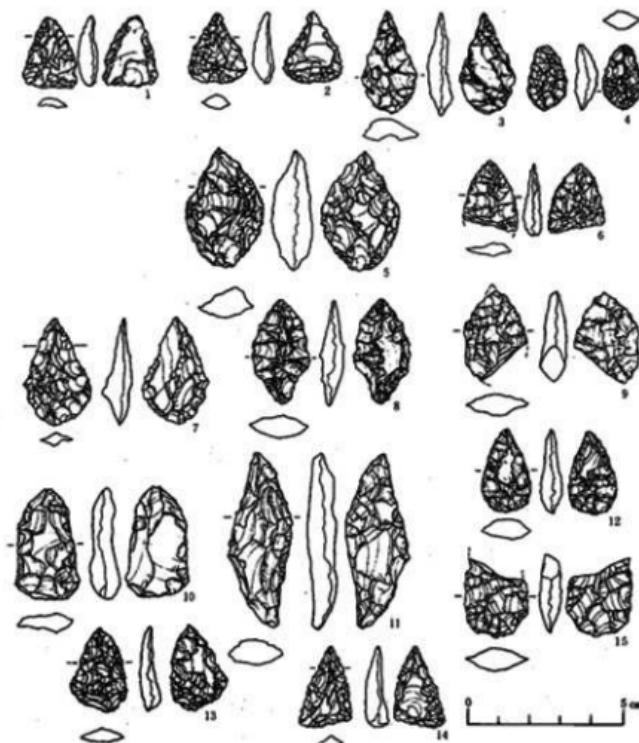
番号	地名	層位	形態	分類	記	長径(m)	幅径(m)	厚さ(m)	壳重(g)	壳重(m)	壳形	壳質	壳材質	壳工	標	年	記載番号	頁
1	CLH-35	Y	A3b	右心臓貝	(33.0) (35.0) (4.5)	33.0	35.0	4.5	16.2	16.2	丸錐	×	○	半肉質	二面バナナ	333	38-37	
2	CLH-37	Y	(3)	右心臓貝	(37.0)	33.3	(32.1)	13.2	16.2	16.2	丸錐-底錐	×	○	肉質		348	38-38	
3	CLH-38	Y	A1b	右心臓貝	29.0	34.0	3.9	7.3	無	無	丸錐	×	○	肉質		376	38-48	
4	CLH-39	Y	A3b	右心臓貝	32.5	31.8	4.35	3.3	無	無	丸錐	×	○	肉質		342	38-38	
5	CLH-40	Y	A3b	右心臓貝	(30.0) (31.0) (3.15)	30.0	31.0	3.15	16.2	16.2	丸錐-底錐	×	×	肉質		362	38-73	
6	CLH-41	Y	A1a	右心臓貝	(34.0)	37.5	(3.2)	4.8	無	無	丸錐	×	○	半肉質		343	38-72	
7	CLH-42	Y	A1b	右心臓貝	(31.0)	38.0	(4.15)	10.25	16.2	16.2	丸錐	×	×	肉質		347	38-23	
8	CL-M39-35	Y	A3b	右心臓貝	27.0	36.3	3.00	7.65	無	無	丸錐	○	半肉質	(複合貝)	367	38-74		
9	CLH-43	Y	A3b	右心臓貝	31.8	33.0	5.8	8.75	無	無	丸錐	○	肉質		326	38-75		
10	CLH-44	Y	A3b	右心臓貝	(34.0)	38.0	(2.1)	5.8	無	無	丸錐	×	○	肉質		357	38-16	
11	CLH-45	Y	A3b	右心臓貝	39.0	37.0	3.9	7.2	無	○	○	肉質		360	38-77			
12	CLH-46	Y	(A3)	左心臓	(33.0) (32.0) (4.6)	33.0	32.0	4.6	7.5	7.5	丸錐	×	○	半肉質	(複合心臓貝?)	324	38-78	
13	CL-M39-35B	Y	A3b	右心臓貝	39.0	36.3	10.2	11.05	无	无	丸錐	○	半肉質	(複合貝)	368	38-19		
14	CLH-47	Y	A3b	右心臓貝	37.1	37.1	8.15	10.2	無	○	○	肉質		371	38-80			
15	CL-M39-35	Y	A3b	右心臓貝	39.0	32.0	3.5	7.35	無	○	○	半肉質		369	38-1			

図87 図 大頭貝(2)



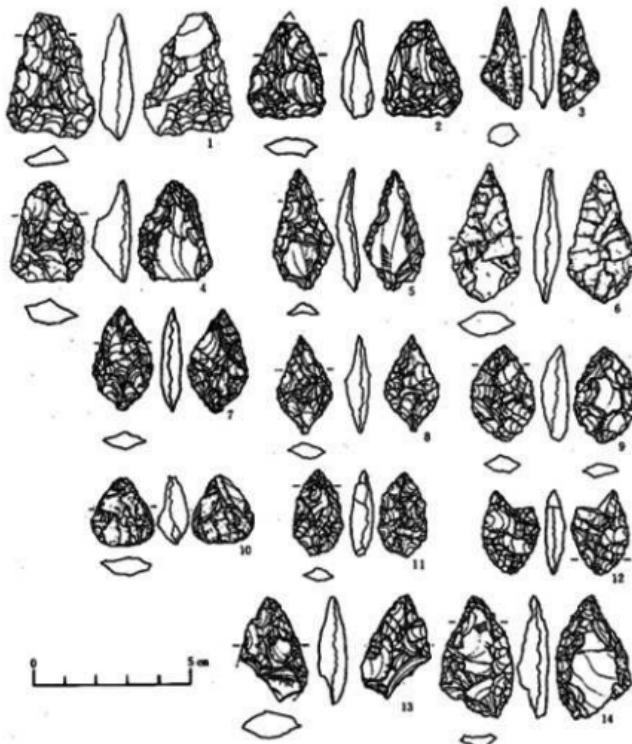
番号	地質・層位	分類	長さ	幅(刃)	厚さ	重さ	形状	表面	側面	形	参考	記録番号	地
1	CL40-25	Y Alk	24.3	22.7	6.66	11.3	無	×	○	手刀頭(複合)		220	21-2
2	CM40-2	Y Alk	22.4	23.8	7.38	12.1	無	×	○	両刃頭		220	21-3
3	CM40-3	Y Alk	27.0	23.5	6.7	11.2	無	×	○	片刃(複合)		220	21-4
4	CL39-23	Y Alk	26.5	25.6	8.4	11.2	無	×	○	手刀頭		220	21-5
5	CL41-16	Y Alk	26.0	23.2	7.6	9.6	無	○	両刃頭		412	21-6	
6	CL41-16	Y Alk	25.5	25.6	8.9	10.3	無	×	○	手刀頭		412	21-7
7	CL41-26	Y Alk	48.0	29.0	10.5	9.7	無	○	両刃頭		412	21-8	
8	CL39-21	Y Alk	26.2	24.7	11.36	7.5	無	*	○	両刃頭		270	21-9
9	CL39-26	Y Alk	45.0	26.6	12.4	9.6	無	○	○	両刃頭		280	21-10
10	CL39-22	Y (A2)	(21.1)	25.6	(5.26)	8.0	無頭	+	○	両刃頭		270	21-11
11	CL40-22	Y Alk	28.0	34.6	(2.2)	7.2	無頭	○	○	手刀頭(複合複合)		280	21-12
12	CL40-20	Y Alk	28.0	37.5	(3.30)	6.26	無頭	+	○	両刃頭		280	21-13
13	CL41-24	Y Alk	49.2	21.1	6.0	10.35	無	○	両刃頭		280	21-14	

第88図 尖頭器(3)



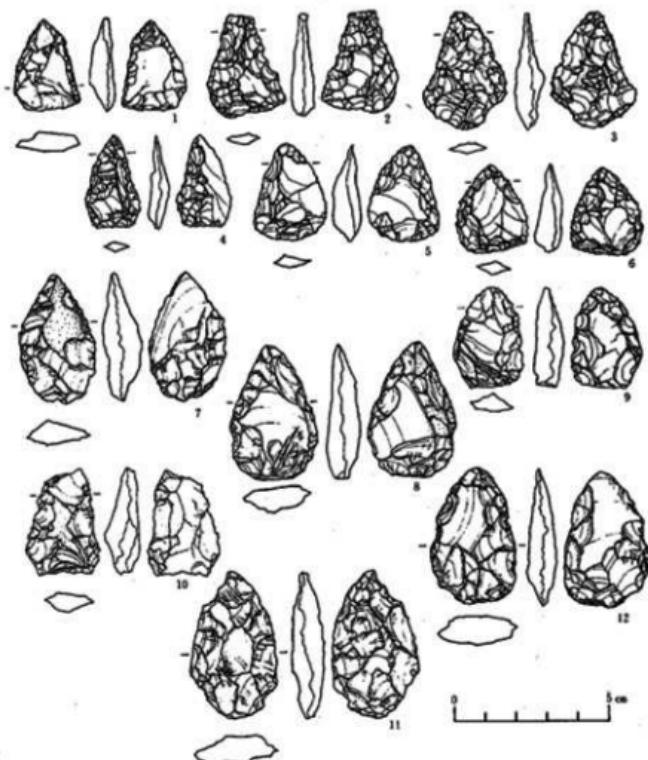
編號	地點	層位	形	質	長	寬	厚	長/寬	寬/厚	厚/長	尖端	側面	底面	器形	長	寬	厚	長/寬	寬/厚	厚/長	尖端	側面	底面	器形
1	CLM1-34	W	AIR	刮削器	(23.0)	17.5	(2.00)	6.0	先端	×	○	平	刮削器	23.0	17.5	(2.00)	6.0	先端	×	○	平	刮削器		
2	CLM1-36	W	AIR	刮刀	(23.0)	19.0	(2.0)	6.5	先端	×	○	平	刮刀	23.0	19.0	(2.0)	6.5	先端	×	○	平	刮刀		
3	CLM1-32	W	AIR	刮削器	(23.0)	19.0	3.7	6.4	先端	×	○	平	刮削器	23.0	19.0	3.7	6.4	先端	×	○	平	刮削器		
4	CLM1-39	W	AIR	刮削器	(23.0)	22.5	(3.00)	6.5	先端	○	×	平	刮削器	23.0	22.5	(3.00)	6.5	先端	○	×	平	刮削器		
5	CLM1-29	W	AIR	刮削器	(23.0)	25.0	18.2	11.8	先端	○	×	平	刮削器	23.0	25.0	18.2	11.8	先端	○	×	平	刮削器		
6*	CLM1-38	W	(Aa)	刮削器	(23.0)	(28.1)	(3.00)	6.1	先端	×	○	平	刮削器	23.0	(28.1)	(3.00)	6.1	先端	×	○	平	刮削器		
7	CLM1-16	W	AIR	刮削器	(23.0)	26.0	22.0	6.6	9.5	先端	×	○	平	刮削器	23.0	26.0	22.0	6.6	9.5	先端	×	○	平	刮削器
8	CLM1-36	W	AIR	刮削器	(23.0)	29.0	2.8	7.2	先端	○	平	刮削器	23.0	29.0	2.8	7.2	先端	○	平	刮削器	刮削器			
9	CLM1-29	W	(Aa)	刮削器	(23.0)	29.0	(4.0)	8.9	先端	○	平	刮削器	23.0	29.0	(4.0)	8.9	先端	○	平	刮削器	刮削器			
10	CLM1-17b	W	AIR	刮削器	(23.0)	30.0	3.4	8.7	先端	○	平	刮削器	23.0	30.0	3.4	8.7	先端	○	平	刮削器	刮削器			
11	CLM1-36	W	BDA	刮削器	(23.0)	30.5	8.1	8.7	先端	○	平	刮削器	23.0	30.5	8.1	8.7	先端	○	平	刮削器	刮削器			
12	CLM1-34-10	W	AIR	刮削器	(23.0)	30.0	2.8	6.4	先端	○	平	刮削器	23.0	30.0	2.8	6.4	先端	○	平	刮削器	刮削器			
13	CLM1-12	W	AIR	刮削器	(23.0)	30.0	2.0	6.2	先端	○	平	刮削器	23.0	30.0	2.0	6.2	先端	○	平	刮削器	刮削器			
14	CLM1-12-13	W	AIR	刮削器	(23.0)	32.0	2.1	6.7	先端	○	平	刮削器	23.0	32.0	2.1	6.7	先端	○	平	刮削器	刮削器			
15	CLM1-4-6	W	(BD)	刮削器	(23.0)	30.0	2.0	7.2	先端	×	○	平	刮削器	23.0	30.0	2.0	7.2	先端	×	○	平	刮削器		

第49圖 尖頭器(4)



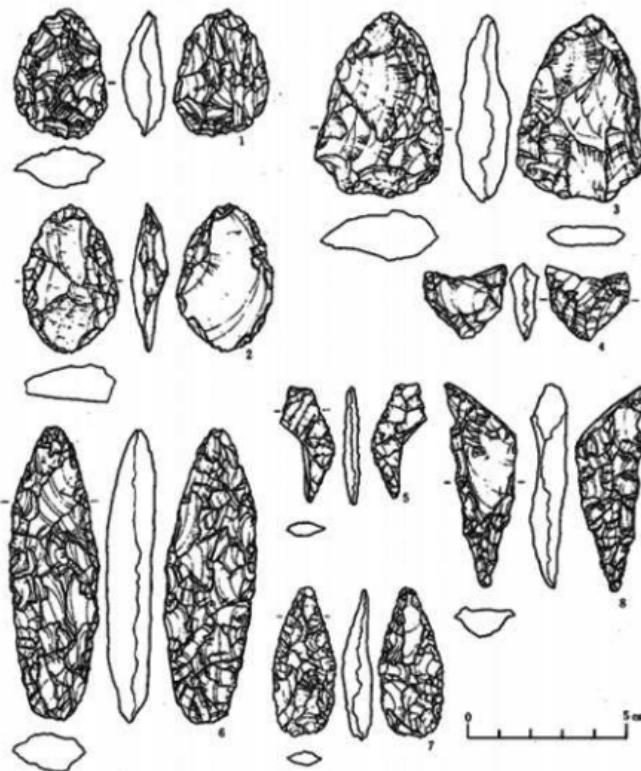
編號	時代・層位	地	形	長	寬	厚	寬/厚	長/寬	厚/寬	性質	器種	材質	顏色	說明	資料來源	備註
1 CMAS-13	中	A2b	直刃石矛頭	(46.4)	36.5	3.6	10.0	-	-	○	直刃	《新石器時代》	黑褐色	51-58	5000	21-28
2 CLG-13	中	A2b	直刃石矛頭	(31.5)	(21.2)	(4.8)	9.0	10.0	-	○	直刃	《新石器化》	黑褐色	51-72	5040	21-28
3 CLG-20	中	A2b	直刃石矛頭	33.9	33.5	2.1	6.6	-	-	○	直刃	黑褐色	51-22	5150	21-28	
4 CMAS-25	中	A2b	直刃石矛頭	(31.0)	35.8	11.0	11.0	11.0	1.0	○	直刃	黑褐色	51-28	5080	21-28	
5 CMAS-31	中	A2b	直刃石矛頭	36.5	36.8	3.3	11.0	-	-	○	直刃	黑褐色	51-25	5170	21-28	
6 CKAS-120	中	A2b	直刃石矛頭	(42.0)	32.5	3.0	10.0	-	-	○	直刃	《中華民族史》	黑褐色	51-27	5040	21-28
7 CLG-6	中	A2b	直刃石矛頭	(22.4)	24.6	3.7	6.6	-	-	○	直刃	黑褐色	51-27	5040	21-28	
8 CMAS-2	中	A2b	直刃石矛頭	(21.0)	27.0	3.0	9.0	-	-	○	直刃	黑褐色	51-28	5177	21-28	
9 CKAS-8	中	A2a	直刃石矛頭	(31.0)	30.5	4.0	7.5	-	-	○	直刃	黑褐色	51-28	5160	21-28	
10 BCeB-1	中	A2b	直刃石矛頭	22.9	30.0	3.5	8.8	-	-	×	直刃	黑褐色	51-28	5160	21-28	
11 CMAS-8	中	A2b	直刃石矛頭	(38.0)	36.0	(2.0)	7.0	36.0	-	○	直刃	黑褐色	51-15	5020	21-28	
12 CLG-3a	中	A2b	直刃石矛頭	(27.0)	36.5	(2.0)	6.3	36.5	-	×	直刃	黑褐色	51-28	5040	21-28	
13 BAeD-1	中	A2b	直刃石矛頭	(39.5)	(21.3)	(4.0)	9.6	39.5	-	×	直刃	黑褐色	51-28	5050	21-28	
14 CMAS-6	中	A2b	直刃石矛頭	(39.5)	(22.4)	(3.2)	10.0	39.5	-	○	直刃	黑褐色	51-28	5060	21-28	

第905圖 尖頭器(5)



器号	地层 - 地点	形 式	步 骤	石 材	长 (cm)	宽 (cm)	厚 (cm)	直 径	尖端部	断面部	工 艺	地 号	编号	时 代
1 CLM-2	中层	AIB	砾石敲打	25.8	36.5	3.5	0.6	直	○	磨制	II	21-45	2109	21-45
2 BCW-2	中层	AIB	砾石敲打	24.0	35.0	4.5	2.7	直	○	磨制	II	21-45	2108	21-45
3 CLM-2	中层	AIB	砾石敲打	25.0	37.4	4.7	3.5	直	×	磨制	II	21-45	2125	21-45
4 CMH-25	中层	AIB	砾石敲打	26.8	39.0	2.4	0.8	直	○	磨制	II	21-46	2105	21-46
5 CMH-10	中层	AIB	砾石敲打	23.0	38.0	2.9	0.7	直	○	磨制	II	21-46	2104	21-46
6 CMH-4	中层	AIB	砾石敲打	26.0	37.2	4.4	0.7	直	○	磨制	II	21-47	2103	21-47
7 CMH-2	中层	AIB	砾石敲打	43.6	34.5	9.8	2.1	直	○	磨制	II	21-48	21-12	
8 CMH-2	中层	AIB	砾石敲打	43.0	37.0	24.0	20.0	直	○	磨制	II	21-48	2107	21-48
9 BCW-2	中层	AIB	砾石敲打	33.5	32.5	7.7	3.5	直	○	磨制	II	21-49	2106	21-49
10 CLM-2	中层	AIB	砾石敲打	23.0	34.0	4.0	1.0	直	○	磨制	II	21-50	2100	21-50
11 CMH-2	中层	AIB	砾石敲打	45.2	38.2	21.7	3.1	直	×	磨制	II	21-51	2105	21-51
12 COH-22Ⅲ	中层	AIB	砾石敲打	44.2	37.5	30.5	9.4	直	○	磨制加工 (双刃)	II	21-52	2109	21-52

第91图 尖端器(6)



番号	地名・層位	特徴	分類	石種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	穿孔数	尖端形	合板型	穿孔形	加工	備考	登録番号	圖
1	CMB-2	中砂	A1a	燧石	48.41	29.4	13.13	12.2	尖端	×	○	直孔	無	3888	22-4	
2	CMB-20H	中砂	A1a	燧石	48.52	39.4	13.12	20.2	尖端	×	○	直孔	無	4724	22-6	
3	CLAS-1'v	中砂	A1a	燧石	39.1	49.0	40.0	39.0	尖端	×	×	直孔	無	4259	22-7	
4	CMB-4	中砂	A12	燧石	221.87	37.7	4.12	7.5	尖端	×	○	直孔	無	538	22-5	
5	CLAS-7-2	中砂	D1b	燧石	92.0	27.0	42.0	34.7	尖端	×	×	直孔	無	1756	22-6	
6	CLAS-31	中砂	A1b	燧石	137.03	13.4	4.6	4.6	尖端	×	×	直孔	無	3888	22-11	
7	CPH-3	中砂	B1b	燧石	148.40	28.4	7.85	5.4	尖端	×	○	直孔	无端火打造再加工	3387	22-9	
8	CPH-3	中砂	B1b	燧石	154.81	21.0	13.23	25.2	尖端	×	×	直孔	無	3888	22-10	

第92図 尖銛器(7)

五期	分類	石器別出土数量表											
		A1a	A1b	A1c	A1d	A1e	A1f	A1g	A1h	B1a	B1b	B1c	B1d
珪質頁岩		3	10	21			1		2	1	2	2	36
珪化凝灰岩		1	2	4	2	2		3	6				21
黑色頁岩		9	6	6	1	7	3		2				21
瓦		2	1			2							5
漆									2				2
鐵		1		1									2
鐵鋸切削頭									1				1
鐵鋸切削用工具頭													
鐵鋸切削頭													
鐵鋸切削頭													
鐵鋸切削頭										1		2	2
計		9	28	29	2	2	10	1	5	15	1	2	2

第14表 尖頭器分類別・石材別出土数量表

がある。B類は9 gほどのものと40 gを越えるものがある。

### 石 材 (第13・14表)

各時期ともに珪質頁岩、珪化凝灰岩、黒色頁岩の使用頻度が高く、全体の約8割りを占めている。第IV期では黒色頁岩の使用頻度が高く、第V期では逆に低い傾向を示す。なお、石鎚で認められた黒曜岩は用いられていない。また、分類別に石材をみても、特異な用い方をしている種類のものはない。

### 欠損部

出土総数の42%にあたる40点に欠損が認められる。欠損部位は先端部が最も多く、基部がこれに次ぐ。内訳は先端部のみ欠損するものが30点、先端部と基部を欠損するものが5点、基部のみ欠損するものが5点である。先端部の欠損したものが多いためは便用による衝撃の加わる部分と考えられ、先端が対象物にあたるもので刺突具としての用途を想定せらる。

### 加工状況

A類をみると、両面加工・半両面加工・片面加工のものがある。両面加工のものは丁寧な刺離のものも多数ある。半両面加工のものは基部を両面加工しているが、素材の尖がつた部分を先端部に利用しているもの、先端部を両面加工しているが基部に自然面や素材面を残すものがある。片面加工のものは、背面側に加工を施している。

以上、属性の特徴をみてきたが、三角形状のA類は、大きさ、厚さ、重さ、加工状況などの点で、"石鎚と異なる種々の属性をもつた一群" (岡村: 1979) といえるものである。これらは前述したように刺突具としての機能を推定させるものであり、広義の尖頭器に含まれるものと言える。また、木葉形のB類は諸属性の点で、石鎚やA類とは異なる。これは、形態や加工状況からいわゆる石槍といえるものである。

### 石 錐 (第96図~第108図)

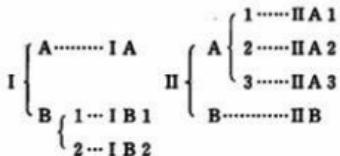
両面加工により棒状の身部を作り出しているものや、鋭利な端部をつくり出しているものを扱う。

## 1分類

形態と加工方法により分類を行なう。

形態的には I 類—頭部と身部からなるもの、II 類—頭部と身部の区別がないものに大別した。

I 類は頭部頂部に2次加工を施さないもの(A)と施されるもの(B)がある。さらに、(B)は頭部形状に丸みを呈びるもの(1)、凹むもの(2)がある。また、II 類は全体形が二等辺三角形形状のもの(A)棒状のもの(B)に分かれ、2次加工の施される部位により、頂部を残した全体に施されるもの(1)、全周縁に施されるもの(2)、先端部のみに施されるもの(3)がある。これをまとめると次のような種類がある。



身部は I・II 類とも菱形が多いが、II A3 類は三角形、II B 類は厚く他の II 類は扁平な菱形である。I 類は身部の断面形が菱形である。

## 2出土状況と時期的変化

本遺跡からは288点出土している。南側貝塚は197点、北側貝層0点、第1号住居跡より2点、その他貝層外出土のものが89点認められた。

時期が特定できるものは194点で、各時期ごとにみるとV期(後期中葉)に70点・全体の36%を占める。(第15表)。

分類ごとにみると、IA・IB1・IB2 類の3類が全時期を通して6割以上を占めており、そのおのおのの占める割合は時期によって大きく変化することはない。

分類	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	VIII	X	平均	標準
IA	1	2	3	14	7	6	11	48	34	47	
IB1			7	8	8	9	9	27	22	29	
IB2		2	6	2	2	1	14	4	38		
IA1		2	3		1			8	4	12	
IA2		1	6	2		1		10	8	10	
IA3			4	3	2			9	8	10	
IB		1	3	18	3	9	15	40	38	42	
その他	3		2	9	5	2	4	3	28	4	32
計	2	6	28	75	33	23	41	194	153	207	

第15表 石器時期別・分類別出土数量表

## 3属性の特徴

### 大きさ

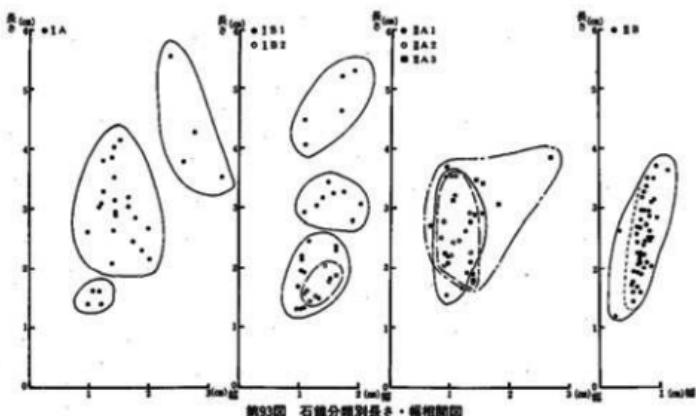
完形品に限って、長さと幅の相関関係を分類ごとにみてみる(第93図)。

IA 類は長さ 1.5cm・幅 1.2cm 前後の小形のもの、長さ 2.0~4.3cm・幅 1.0~2.0cm の中形

のもの、さらに長さ3.6~5.1cm・幅2.4~3.2cmの大形のものがある。中形のものが多い。

I B1類も同様に長さ1.3~2.5cm・幅1.0~1.6cmの小形のもの、長さ2.8~3.4cm・幅1.1~2.1cmの中形のもの、長さ4.0~5.3cm・幅1.1~2.0cmの大形のものになる。3種とも数に大きな違いはない。I A類と違い、頭部の大きさが1~2cmの幅にすべておさまり、身部が長いものでも頭部の大きさは変わらない。I B2は、長さ1.4~2.0cm・幅1.0~1.6cmの狭い範囲に集中する。

II A1類、II A2は長さ1.5~3.5cm・幅0.9~1.5cmの範囲にまとまり、II A3類は長さ1.7~3.9cm・幅0.7~2.6cmのやや広い範囲にみられ、大きさにばらつきがある。



第93図 石錐分類別長さ・幅相関図

石錐分類	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	VIII	II	不規	III	IV
直角尖端	1	1	20	27	13	28	19	1	42	20	121	
钝化細長形	2	4	13	12	18	17			60	32	92	
黑色尖端	5	27	5	2	3				42	14	56	
直 角	1	2	1	4	1				9	6	15	
尖山形									1		1	
鋸	2	4	21	70	23	22	42	1	134	92	287	
計	27	59	18	12	18	18	64	256	31	287		

第16表 石錐時期別・石材別出土數量表

分類	IA	IB1	IB2	HA1	HA2	HA3	HB	II	不規	III
直角尖端	27	28	8	6	6	7	23	137	24	121
钝化細長形	25	16	7	2	5	7	20	82	10	92
黑色尖端	9	10	2	4	5	3	18	53	5	56
直 角	5	5					1	13	2	35
尖山形	1		1					1	1	1
鋸	2							2	2	2
計	67	59	18	12	18	18	64	256	31	287

第17表 石錐分類別・石材別出土數量表

II B類は、長さ1.4~3.7cm・幅0.5~1.0cmの範囲に集中する。

#### 石 材 (第16・17表)

珪質頁岩が最も多く40%程度を占め、珪化凝灰岩が30%程度、黒色頁岩も20%程度を占めている。特に大きく変化する時期はない。

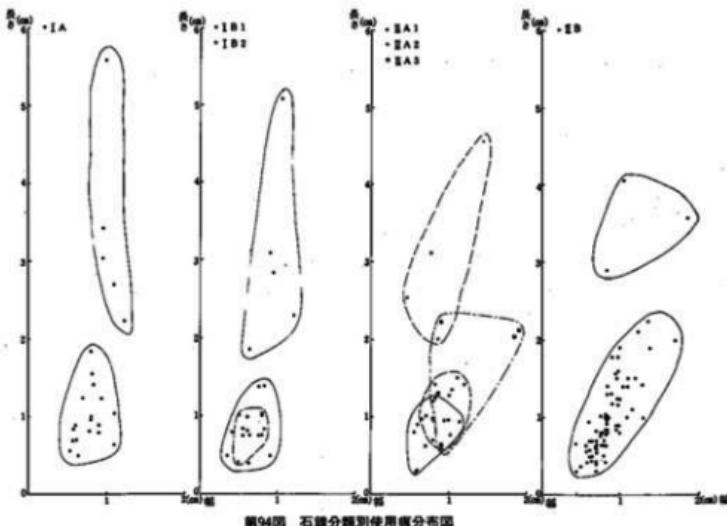
#### 欠損部 (第18表)

分類	欠損数	全件数	欠損率
I A	36	66	54.5
I B 1	33	59	55.9
I B 2	10	18	55.6
II A 1	2	11	18.2
II A 2	5	18	31.6
II A 3	6	17	35.3
II B	17	65	25.0
計	109	254	42.9

多くのものは身部の先端が欠損している。I A類は66点中36点、I B 1類は59点中33点、I B 2類も18点中10点が欠損しており、いずれも50%以上におよぶ。II A 1類は11点中2点、II A 2類は18点中5点、II A 3類は17点中6点が欠損しており、30%前後の欠損率である。

II B類は、65点中17点の25%のものが欠損している。

一般的に I 類は II 類に比べ、欠損しやすいものと言える。身部の欠損後、再加工しているもの6点、欠損面を残したまま再利用しているものが10点認められる。



第94図 石錠分類別使用域分布図

## 使用痕

顕微鏡で身部の使用痕を観察した結果、178点(61.8%)について認められた。

I類は身部が細長く、先端から両側縁にかけて、連続的に磨耗痕(つぶれや光沢が生じているもの)が観察される。先端からの痕跡の長さも I A類は0.4~1.8cmの短いものと、2.2~5.6cmの長いものがある。I B1類も同様に0.3~1.3cmの短いものと、1.9~5.1cmの長いものがある。I B2類は長さ0.3~1.1cm・幅0.5~0.9cmの限られた範囲に認められる。

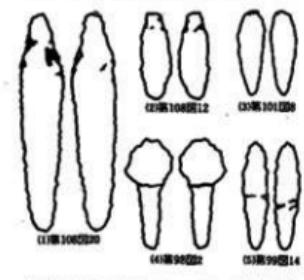
II類も身部の先端から両側縁にかけて磨耗痕がみられる。使用される範囲は、長さ0.3~1.2cm・幅0.6~1.2cmにまとまる II A1類に対して、II A2類は長さ0.5~1.4cm・幅0.6~1.2cmの短かいものと、長さ2.0~4.5cm・幅0.4~1.5cm長いものにまとまる。頭部の一部に磨耗痕が認められるものが2点(第98図16・22)ある。

II A3類の使用痕はII A1・II A2類と異なり、先端の稜に光沢が認められる程度である。その範囲も長さ0.6~2.2cm・幅0.9~1.9cmのやや分散したものになっている。II B類の磨耗痕は先端部が丸みを呈し光沢をおびるほどになる。さらには、第104図22のように先端部の使用痕のある部分と境に段がつき、同心円状の線条痕がみられ完全に丸くなっているものがある(図版71図1)。

II Bで特筆すべきことは、その使用痕のはげしいことだけでなく両端部に使用痕が認められることである。その割合は、使用痕が認められる59点中24点の50%におよぶ。使用痕の範囲は、長さ0.3~2.2cm・幅0.4~1.7cmに大半のものがみられる。また、これらとかけ離れた長さ2.9~4.1cm・幅0.8~1.9cmの大型のものがある。

以上、身部に残された使用痕をみてきたが、その状況から身部の先端が物に対して垂直にあたり、中心軸と回転軸がほぼ一体となって回転運動を行なっていたものと推定され、「穿孔行為」のためのものと考えられる。また、各類ごとにその使用痕の程度や範囲の差異が存在することも確認された。

## 4アスファルト付着状況



第95図 石籠アスファルト付着状況

5点についてアスファルトの不着が認められた。その状態を模式化したのが第95図である。これらは、2つのタイプに分けられる。

a タイプ：一方の端部が全面にみられるもの(第95図1・2・3・)

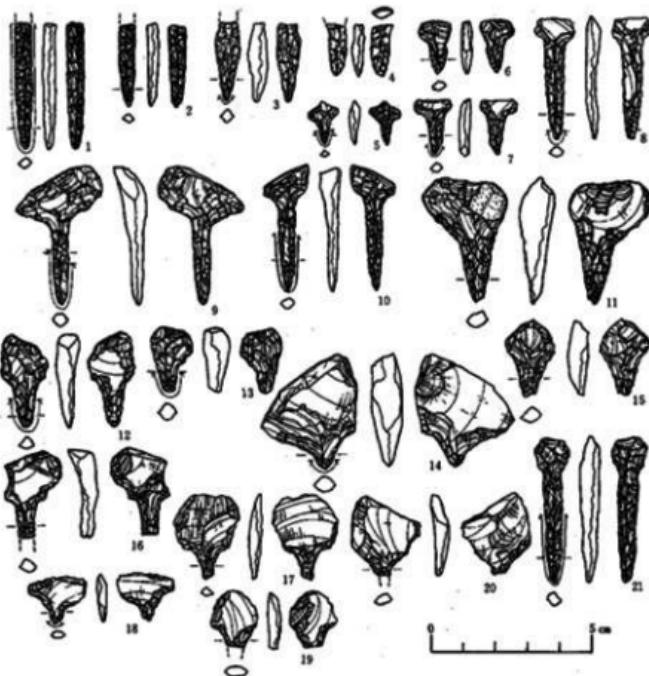
b タイプ：一条のひも状に巡ってみられるもの(第95図4・5)

a タイプの付着していない一方の先端がいずれも磨耗しており、アスファルトの膠着剤と考えならば、



No.	产地	层位	种类	性	H	W	厚 (mm)	高 (mm)	宽 (mm)	长 (mm)	大部高	宽 (mm)	厚 (mm)	性	H	W	厚 (mm)	高 (mm)	宽 (mm)	长 (mm)	
1	CJL-28	石	1.A	齿	齿形	12.0	4.0	12.7	11.4	4.3	12.13	齿形	—	—	—	—	—	—	11.14	2.2-2.3	
2	CJL-27	石	2.A	齿	齿形	10.0	4.0	10.6	10.0	4.0	10.13	齿形	—	—	—	—	—	—	10.13	2.2-2.3	
3	CML-36	石	2.A	齿	齿形	14.4	4.4	14.6	1.95	1.97	—	—	—	—	—	—	—	—	14.76	2.2-2.3	
4	CJL-18	石	2.A	齿	齿形	13.0	4.0	13.0	12.0	4.0	12.17	齿形	—	—	—	—	—	—	11.17	2.2-2.3	
5	CJL-28	石	BB	齿	齿形	10.0	4.0	10.0	1.00	0.5	10.00	上端	—	—	—	—	—	—	9.98	2.2-2.3	
6	CML-27	石	1.B1	齿	齿形	10.0	1.0	10.1	0.36	0.1	—	4.3×2.8	—	—	—	—	—	10.01	2.2-2.3		
7	CJL-23	石	1.B1	齿	齿形	12.0	4.0	12.0	9.0	4.0	9.0	齿形	5.3×4.1	齿形	—	—	—	—	—	12.00	2.2-2.3
8	CJL-28	石	1.B	齿	齿形	14.0	4.0	9.7	0.45	0.45	—	3.3×2.8	齿形	—	—	—	—	—	13.98	2.2-2.3	
9	CJL-27	石	1.A	齿	齿形	12.0	4.0	12.0	1.00	0.5	12.10	齿形	—	—	—	—	—	—	11.99	2.2-2.3	
10	CJL-25	石	1.A	齿	齿形	11.0	2.0	10.0	2.00	0.5	—	4.3×2.0	齿形化	—	—	—	—	—	—	10.54	2.2-2.3
11	CJL-28	石	2.B1	齿	齿形	10.0	4.0	10.0	0.36	0.1	—	10.3×4.5	—	—	—	—	—	—	9.96	2.2-2.3	
12	CJL-28	石	2.B1	齿	齿形	10.0	4.0	10.0	1.00	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	10.07	2.2-2.3	
13	CJL-18	石	齿形化	齿	齿形	13.4	10.0	9.0	0.5	—	—	2.3×1.5	—	—	—	—	—	—	13.71	2.2-2.3	
14	CML-27	石	1.B1	齿	齿形	10.0	4.0	10.0	0.45	0.15	—	3.3×2.8	—	—	—	—	—	—	9.96	2.2-2.3	
15	CJL-17	石	2.B1	齿	齿形	12.0	4.0	11.0	0.40	0.1	—	5.3×2.0	齿形化弱化	—	—	—	—	—	—	11.99	2.2-2.3
16	CJL-25	石	2.B1	齿	齿形	12.0	4.0	12.0	1.00	0.5	12.10	齿形	5.3×4.5	—	—	—	—	—	—	11.99	2.2-2.3
17	CJL-17	石	2.B1	齿	齿形	17.0	10.0	9.0	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.19	2.2-2.3	
18	CJL-17	石	2.B1	齿	齿形	18.0	10.0	12.0	1.42	0.80	12.00	齿形	—	—	—	—	—	—	17.00	2.2-2.3	
19	CJL-26	石	2.A	齿	齿形	12.0	10.0	12.0	1.00	—	—	1.3×2.0	—	—	—	—	—	—	11.99	2.2-2.3	
20	CJL-26	石	2.B	齿	齿形	12.0	10.0	12.0	0.55	—	—	10.3×4.2	—	—	—	—	—	—	11.99	2.2-2.3	
21	CJL-26	石	2.B	齿	齿形	11.0	5.0	5.0	0.36	—	—	5.3×4.5	—	—	—	—	—	—	10.96	2.2-2.3	
22	CJL-26	石	HAI	齿	齿形	10.0	4.0	10.0	0.70	0.1	—	10.3×5.0	—	—	—	—	—	—	9.96	2.2-2.3	

第96图 石 端(1)



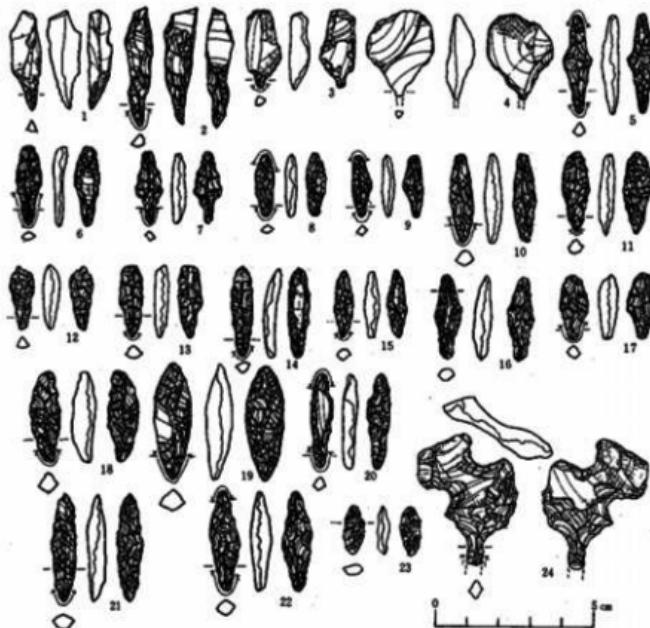
No.	发现地-时代	特征	分 布	形	长(毫米)	宽(毫米)	厚(毫米)	重量(克)	大	小	中	细	粗	直	弯	曲	凹	凸	斜	圆	方	扁	厚	薄	厚薄适中	厚薄不一
1	CLB-18	Y	—	刮削器形	38.2	5.0	1.0	—	上端	39.2	5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4072 23-24	
2	CLB-27	Y	—	刮削器形	35.7	4.0	0.4	—	上端	46.2	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4055 23-25	
3	CLB-35	Y	石器	刮削器形	33.4	7.0	1.0	10.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3539 15-13	
4	CLB-36	Y	石器	刮削器形	33.6	6.5	0.5	—	上端	44.8	4.7	(3.5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3538 23-24	
5	CLB-37	Y	石器	刮削器形	35.2	5.5	0.3	—	—	44.8	5.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3531 23-25	
6	CLB-38	Y	石器	刮削器形	38.0	5.0	0.3	—	—	44.8	5.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3532 23-25	
7	CLB-39	Y	石器	刮削器形	37.2	5.0	0.3	—	—	45.0	5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4087 23-25	
8	CLB-40	Y	石器	刮削器形	36.0	5.5	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3096 23-21	
9	CLB-41	Y	石器	刮削器形	43.0	2.7	3.0	—	—	45.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4059 23-22	
10	CLB-42	Y	石器	刮削器形	36.0	3.0	1.0	—	—	47.3	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4073 23-22	
11	CLB-43	Y	石器	刮削器形	37.0	2.8	1.0	—	—	47.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4052 23-24	
12	CLB-44	Y	石器	刮削器形	39.0	2.5	1.0	—	—	48.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2850 23-24	
13	CLB-45	Y	石器	刮削器形	39.0	2.5	2.2	—	—	49.2	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2851 23-24	
14	CLB-46	Y	石器	刮削器形	35.0	2.0	0.8	—	—	49.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3079 23-24	
15	CLB-47	Y	石器	刮削器形	33.0	2.0	0.8	—	—	49.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3080 23-24	
16	CLB-48	Y	石器	刮削器形	37.0	2.0	0.8	—	—	49.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3077 23-24	
17	CLB-49	Y	石器	刮削器形	36.0	2.0	0.8	—	—	49.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3066 23-24	
18	CLB-50	Y	石器	刮削器形	36.0	2.0	0.8	—	—	49.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3067 23-24	
19	CLB-51	Y	石器	刮削器形	37.0	2.0	0.8	—	—	49.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3068 23-24	
20	CLB-52	Y	石器	刮削器形	33.0	2.0	0.8	—	—	49.0	2.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3074 23-24	
21	CLB-53	Y	石器	刮削器形	45.0	18.7	1.0	35.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	346 23-24	

第97图 石 钻(2)



No.	地名・層位	種類	分	側面	時	長さ(m)	幅(m)	厚さ(m)	重さ(t)	標高(m)	北緯	東經	地	出所	註
1	CLM-15	?	?	?	?	(22.4)	15.2	1.15	0.16(0)	標高	—	—	2000	22°-4'	
2	CLM-15	?	?	?	?	(20.4)	12.5	1.13	0.16(2)	標高	0.24±0.1	アカツリコ	2002	22°-5'	
3	CLM-8	?	?	?	?	(22.3)	16.2	1.13	0.16(0)	標高	—	—	21	22°-6'	
4	CLM-21	?	?	?	?	(20.4)	16.0	1.14	0.16(0)	標高	—	—	1615	22°-7'	
5	CLM-25	?	?	?	?	(22.3)	16.1	0.48	0.16(0)	標高	—	—	2002	22°-8'	
6	CLM-25	?	?	?	?	(22.3)	16.1	0.48	0.16(2)	標高	0.34±1.7	(アカツリ)	2002	22°-9'	
7	CLM-15	?	?	?	?	(20.4)	16.2	0.48	0.16(0)	標高	—	—	2002	22°-10'	
8	CLM-15	?	?	?	?	(21.1)	16.1	1.14	0.16(0)	標高	4.29±3.0	高見山(阿蘇山)	2028	22°-11'	
9	CLM-25	?	?	?	?	(20.5)	15.5	1.06	0.16(0)	標高	—	—	2002	22°-12'	
10	CLM-24	?	?	?	?	(20.7)	16.2	1.15	0.16	標高	—	—	2004	22°-13'	
11	CLM-25	?	?	?	?	(18.1)	16.8	2.6	7.5	—	—	—	2002	22°-14'	(阿蘇山(日向))
12	CLM-30	?	?	?	?	(22.2)	16.6	1.6	16.0	—	—	—	2002	22°-15'	
13	CLM-25	?	?	?	?	(20.5)	16.3	0.68	0.16	0.24±0.1	—	—	2002	22°-16'	
14	CLM-25	?	?	?	?	(20.4)	15.3	2.9	0.6	—	0.24±0.0	—	2004	22°-17'	
15	CLM-26	?	?	?	?	(21.6)	16.9	1.03	0.16(2)	標高	—	—	2023	22°-18'	
16	CLM-26	?	?	?	?	(22.0)	16.6	0.5	1.06	—	—	—	2023	22°-19'	標高の一例(標高)
17	CLM-25	?	?	?	?	(20.7)	16.3	1.05	—	—	7.5±5.5	—	2023	22°-20'	
18	CLM-25	?	?	?	?	(22.1)	16.6	1.2	—	—	0.94±0.9	—	2002	22°-21'	
19	CLM-26	?	?	?	?	(20.9)	16.2	0.6	—	—	0.14±0.5	—	2002	22°-22'	
20	CLM-24	?	?	?	?	(20.4)	16.6	0.49	—	—	0.84±0.6	—	2002	22°-23'	
21	CLM-25	?	?	?	?	(20.1)	16.0	3.16	—	—	0.84±0.5	—	2002	22°-24'	高見山(日向)
22	CLM-31	?	?	?	?	(20.0)	14.5	1.265	0.33	標高	—	—	2002	22°-25'	

第96図 石 番(3)



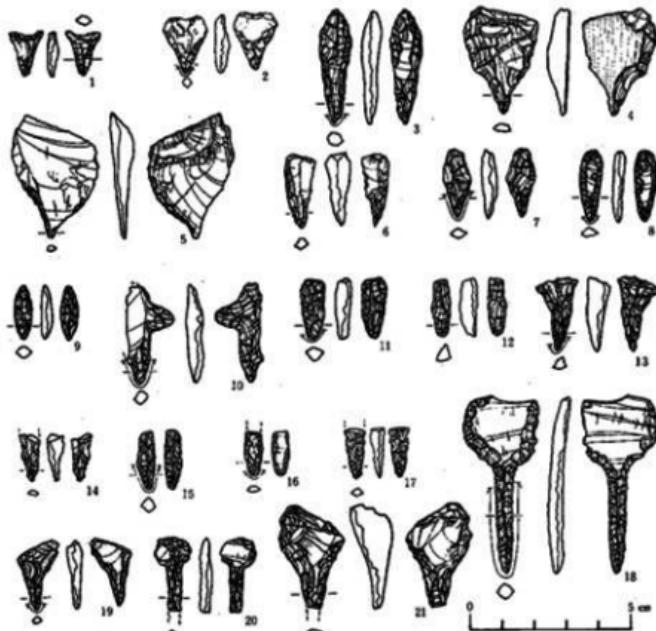
No.	地質・層位	形態	殻	殻高	殻長 (mm)	殻幅 (mm)	殻厚 (mm)	壳頂部	壳底部	殻	標本番号	地質・層位
1	CL41-25	Y	0.63	螺旋形	21.5	10.5	1.6	—	—	—	325	23-26
2	CL41-25	Y	0.63	螺旋形	26.7	9.5	2.7	8.8	—	6.54±2.3	3405	23-27
3	CL40-21	Y	0.63	螺旋形	23.0	11.5	2.4	(2.3)	(2.3)	1.5±2.2	4024	23-26
4	CL41-26	Y	0.63	螺旋形	20.0	12.0	2.0	(2.0)	(2.0)	—	3605	23-26
5	CL41-25	Y	0.63	螺旋形	23.0	9.5	2.9	—	—	6.54±2.3	3402	23-26
6	CL41-18	Y	0.63	螺旋形	24.0	7.7	0.6	—	—	3.54±2.0	3605	23-27
7	CL40-21	Y	0.63	螺旋形	22.0	10.0	2.0	(2.0)	(2.0)	—	4024	23-26
8	CL41-15	Y	0.63	螺旋形	20.0	9.5	0.6	—	—	3.54±2.0	3607	23-26
9	CL41-15	Y	0.63	螺旋形	21.0	9.5	0.6	—	—	3.54±2.0	3607	23-26
10	CL40-26	Y	0.63	螺旋形	27.0	7.5	0.6	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
11	CL39-21	Y	0.63	螺旋形	25.2	8.2	0.9	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
12	CL39-21	Y	0.63	螺旋形	26.0	7.2	0.8	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
13	CL39-21	Y	0.63	螺旋形	25.4	7.6	0.9	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
14	CL41-15	Y	0.63	螺旋形	26.0	6.6	0.6	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
15	CL40-25	Y	0.63	螺旋形	25.0	6.4	0.6	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
16	CL40-25	Y	0.63	螺旋形	26.2	6.2	0.6	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
17	CL41-25	Y	0.63	螺旋形	23.7	6.7	0.6	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
18	CL39-20	Y	0.63	螺旋形	26.3	6.6	1.0	—	—	4.04±2.0	3606	23-26
19	CL41-26	Y	0.63	螺旋形	36.2	11.4	2.0	—	—	10.04±5.0	402	23-41
20	CL41-25	Y	0.63	螺旋形	26.7	7.0	1.6	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
21	CL39-21	Y	0.63	螺旋形	23.2	7.8	1.5	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
22	CL40-20	Y	0.63	螺旋形	23.2	6.6	1.6	—	—	3.54±2.0	3604	23-26
23	CL41-25	Y	0.63	螺旋形	23.0	6.0	0.6	—	—	3.54±2.0	3605	23-26
24	CL-3409-32	Y	—	螺旋形	24.5	20.0	7.0	—	—	10.04±5.0	3607	23-26

第99図 石 級(4)



No.	地質・時代	母地	分	形	長	幅	厚	重 (g)	長 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	性	特	附	年	出處	註
1	CL40-24	V	-	齒狀物	14.0	4.5	0.5	—	上端	—	—	新	—	—	1950	22-51	
2	CL30-25	V	-	齒狀物	27.0	5.0	0.4	—	—	—	—	新	—	—	1950	22-52	
3	CM40-23	V	-	齒狀物	19.0	5.5	0.30	0.0	上端	—	—	新	—	—	1950	22-54	
4	CL40-15	V	-	齒狀物	20.50	6.00	0.30	—	上端	—	—	新	—	—	1950	22-52	
5	CL40-20-15	V	-	齒狀物	21.00	5.5	0.30	—	上端	—	—	新	—	—	1950	22-53	
6	CL30-22	V	-	齒狀物	27.00	6.0	0.30	—	上端	—	—	新	—	—	1950	22-56	
7	CL40-24	V	-	齒狀物	24.0	5.0	0.30	—	上端	—	—	新	—	—	1950	22-57	
8	CL30-29	W	1A	牙體	34.0	22.0	0.90	—	—	—	—	新	—	—	1952	22-58	
9	CL40-24	W	1B	齒狀物	27.0	9.0	0.40	10.1	—	—	—	新	—	—	1950	22-59	
10	CL40-24	W	1A	齒狀物	26.2	9.7	0.5	—	—	—	—	新	—	—	1950	22-60	
11	CL30-20	W	1A	齒狀物	26.0	16.2	0.80	0.93	齒狀	—	—	新	—	—	1950	22-61	
12	CL40-12	W	1A	齒狀物	26.1	12.0	1.0	—	—	—	—	新	—	—	1950	22-62	
13	CL30-20	W	1A	齒狀物	25.0	12.0	1.0	—	—	—	—	新	—	—	1950	22-63	
14	CL30-26	W	1A	齒狀物	29.0	12.0	0.80	0.77	齒狀	—	—	新	—	—	1950	22-64	
15	CL40-12	W	1A	齒狀物	26.0	12.0	1.0	—	—	—	—	新	—	—	1950	22-65	
16	CL40-20	W	1B	齒狀物	23.0	13.0	0.80	0.32	齒狀	—	—	(新)	—	—	1950	22-66	
17	CL30-26	W	1B	齒狀物	24.0	27.0	1.12	0.70	齒狀	—	—	(新)	—	—	1950	22-67	
18	CL40-14	W	1B	齒狀物	22.4	16.5	1.00	0.5	—	—	—	新	—	—	1950	22-68	
19	CM40-21	W	1B	齒狀物	27.00	23.0	0.80	0.0	齒狀	—	—	新	—	—	1950	22-69	
20	CL30-26	W	1B	齒狀物	19.77	18.0	0.80	0.20	齒狀	—	—	新	—	—	1950	22-70	
21	CM40-7	W	1B	齒狀物	30.0	14.0	0.5	0.0	—	—	—	新	—	—	1950	22-71	
22	CL40-12	W	1B	齒狀物	15.0	16.0	0.30	0.0	—	—	—	新	—	—	1950	22-72	
23	CM40-7	W	1B	齒狀物	15.1	12.0	0.30	7.6	—	—	4.2	新	—	—	1950	22-73	

第100圖 石齒(5)



No.	产地-层位	地层	分带	时代	齿高 D (mm)	齿宽 W (mm)	齿深 S (mm)	齿根深 R (mm)	齿根宽 G (mm)	齿根深/齿高	齿根宽/齿高	齿根深/齿宽	齿根宽/齿宽	齿根深/齿深	齿根宽/齿深	齿根深/齿根宽	齿根宽/齿根宽	
1	GLD-36	W	1.B1	晚奥陶世	19.5	19.5	8.9	—	—	—	—	1.00	1.00	2.17	2.17	2.17	2.17	
2	GL41-13	W	2.A2	早泥盆世	17.0	18.0	9.0	—	—	—	—	0.94	0.94	2.00	2.00	2.00	2.00	
3	CM46-21	W	2.A2	早泥盆世	20.4	18.0	1.70	17.5	—	—	—	1.00	1.00	11.54	11.54	11.54	11.54	
4	GL40-19	W	2.A3	晚奥陶世	(20.4)	22.4	(4.02)	9.6	—	—	—	0.90	0.90	2.17	2.17	2.17	2.17	
5	GL39-20	W	2.A3	晚奥陶世	20.4	20.8	4.0	9.2	—	—	—	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
6	GL41-16	W	2.A2	早泥盆世	22.5	9.0	1.2	—	—	—	—	2.50	2.50	2.00	2.00	2.00	2.00	
7	CL40-17	W	2.B2	晚奥陶世	(21.0)	8.0	(0.77)	—	上端	7.04	1.2	—	—	—	—	—	—	
8	GL41-14	W	2.B2	晚奥陶世	22.0	6.0	0.5	—	—	—	—	3.64	3.64	2.00	2.00	2.00	2.00	
9	CL39-20C	W	2.B2	晚奥陶世	16.8	6.0	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10	CL39-20B	W	—	晚奥陶世	< 9.37	(38.02)	(1.50)	—	上端	4.53	4.2	—	—	—	—	—	—	—
11	CL39-20E	W	—	晚奥陶世	(16.4)	7.7	(8.7)	—	上端	4.53	4.8	—	—	—	—	—	—	—
12	CL40-12	W	—	三叠纪	(17.0)	6.0	(8.00)	—	上端	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	GL41-13	W	—	晚奥陶世	(22.2)	(12.0)	(1.00)	—	上端	2.33	2.0	—	—	—	—	—	—	—
14	GL41-14	W	—	晚奥陶世	(22.5)	6.22	(8.20)	—	上端	—	(0.6)	—	—	—	—	—	—	—
15	CL39-20	W	—	晚奥陶世	(18.0)	5.2	(8.00)	—	上端	7.24	4.5	—	—	—	—	—	—	—
16	CM46-7	W	—	晚奥陶世	(12.0)	5.2	(8.00)	—	上端	3.23	5	—	—	—	—	—	—	—
17	GL41-14	W	—	晚奥陶世	(19.0)	6.22	(8.20)	—	上端	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	CM46-17b	W	1.A	晚奥陶世	50.7	23.6	9.5	20.9	—	28.3	5.0	1.20	1.20	2.21	2.21	2.21	2.21	
19	GL41-9	W	1.A	晚奥陶世	21.0	13.7	6.2	6.6	—	—	2.53	2.9	—	—	2.37	2.37	2.37	2.37
20	CL39-27	W	1.B1	晚奥陶世	(25.2)	21.0	16.7	(12.5)	磨耗	—	(0.66)	—	—	—	—	—	—	—
21	CM46-20	W	1.A	晚奥陶世	(20.0)	16.3	(4.72)	(12.3)	磨耗	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第101图 石 齿科



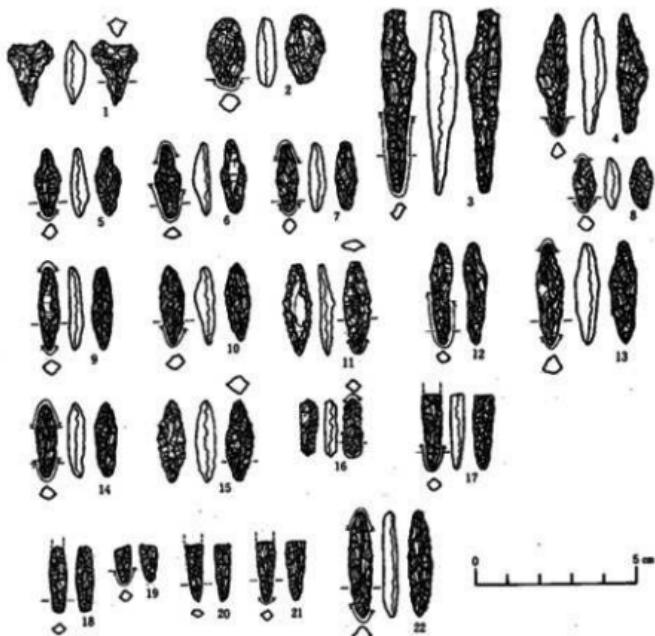
No.	产地	层位	时代	属	种	特征	壳宽(μm)	壳厚(μm)	壳形(μm)	壳壁	壳口	壳缘	壳顶	壳底	壳内	壳外	壳表	壳孔	壳孔数	壳孔形	壳孔位
1	CL40-18-15	15	晚奥陶世	IA	直孔虫	(28.4)	16.3	(2.08)	(3.1)	薄壁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	CL40-8	15	晚奥陶世	IB	直孔虫	(27.0)	20.6	(2.15)	(3.4)	薄壁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	CL40-17	15	晚奥陶世	IC	直孔虫	(27.0)	16.0	(3.15)	(5.6)	薄壁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	CL40-25	16	早泥盆世	ID	直孔虫	(28.4)	16.5	(1.2)	(2.5)	薄壁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	CL39-24	16	早泥盆世	IE	直孔虫	16.2	11.5	1.20	9.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	CL39-25	16	早泥盆世	IF	直孔虫	(28.5)	18.7	(0.92)	(3.7)	薄壁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	CL40-12	16	早泥盆世	IG	直孔虫	(28.5)	12.3	(0.94)	(8.0)	薄壁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	CL40-11	16	直孔虫	IA	直孔虫	(29.2)	12.9	(1.03)	(8.0)	薄壁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	CL40-8	16	直孔虫	IA3	直孔虫	28.0	12.0	0.8	7.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	CL40-28	16	直孔虫	IA3	直孔虫	34.5	22.2	2.25	2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	CL39-24	16	直孔虫	IB	直孔虫	19.6	6.4	1.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	CL40-16	16	直孔虫	IB	直孔虫	16.7	6.7	0.35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	CM40-29	16	直孔虫	IB	直孔虫	21.0	6.6	0.65	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	CL39-25	16	直孔虫	IB	直孔虫	14.4	3.7	0.35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	CL40-10	16	直孔虫	IB	直孔虫	16.0	5.5	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	CL40-8	16	—	直孔虫	—	(27.4)	(5.0)	(0.35)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	CL40-18	16	—	直孔虫	—	(23.3)	(5.0)	(0.2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	CM40-6	16	—	直孔虫	—	(25.4)	(5.0)	(0.2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	CM40-14	16	—	直孔虫	—	27.0	16.5	1.00	15.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	CM40-16	16	—	直孔虫	—	26.2	14.4	1.7	18.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	CM40-6	16	—	直孔虫	—	25.4	14.4	1.7	18.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	CL40-5	16	直孔虫	—	—	25.0	17.0	1.8	17.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

图102 直孔虫



No.	地點・時代	形狀	石	厚	長さ(cm)	幅(cm)	重さ(g)	剖面(cm)	大きさ	形状	用途	備考	参考番号	年	出所
1	CLD-22	1A	細長頭形	(CLD-2)	30.5	(7.4)	(13.2)	細長	—	—	—	—	0713	24-4	—
2	CLD-7	1A	細長頭形	(CLD-3)	27.4	(3.72)	(16.5)	細長	—	—	—	—	0649	24-10	—
3	CLD-5	1A	細長頭形	(CLD-4)	21.0	(3.80)	(9.8)	細長	—	—	—	—	0638	24-6	—
4	CMH-16	1A	細長頭形	(CLD-1)	25.7	(2.5)	(9.3)	細長	—	(直縁孔)	—	—	0535	24-7	—
5	CLD-23	1B	細長頭形	(CLD-5)	19.9	(3.5)	(10.6)	細長	7.5×4.0	(直縁孔)	—	—	1195	24-8	—
6	CLD-13	1B	細長頭形	(CLD-2)	16.1	(2.62)	(5.9)	細長	—	—	—	—	0442	24-9	—
7	CMH-32	1A	細長頭形	(CLD-3)	15.5	(4.69)	(4.6)	細長	—	(直縁孔)	—	—	0556	24-10	—
8	CMH-4-4	1A	細長頭形	(CLD-4)	10.9	(1.97)	(7.7)	細長	—	—	—	—	0500	24-11	—
9	CLD-7	1B	細長頭形	(CLD-5)	20.6	(7.26)	(9.4)	細長	1.7×3.2	—	—	—	0559	24-12	—
10	CLD-20	1A	細長頭形	(CLD-2)	19.6	(3.4)	(5.4)	細長	—	—	—	—	0549	24-13	—
11	CLD-23	1A	頭形	(CLD-3)	29.6	(8.30)	(7.24)	頭形	—	—	—	—	0556	24-14	—
12	CLD-13	1B	細長頭形	(CLD-2)	27.8	(3.4)	(5.4)	細長	—	(直縁孔)	—	—	0558	24-15	—
13	CLD-11	1B	細長頭形	(CLD-7)	26.4	(4.77)	(8.0)	細長	3.1×2.0	頭形	—	—	0553	24-16	—
14	CLD-3	1B	細長頭形	(CLD-2)	11.9	(1.80)	(26.5)	上端	—	—	—	—	146	24-17	—
15	CMH-12-13	1B	細長頭形	(CLD-4)	24.8	11.8	1.1	27.2	—	4.2×4.2	—	—	2273	24-18	—
16	CLD-22	1B	細長頭形	(CLD-3)	26.6	(8.02)	(2.4)	細長	—	—	—	—	0556	24-19	—
17	CLD-23	2B	細長頭形	(CLD-5)	24.5	14.8	2.3	26.7	—	—	—	—	1250	24-20	—

第103図 石 銛



No.	地點・標本	層位	分	厚	長	寬 (mm)	幅 (mm)	直徑 (mm)	形狀	大きさ	外見	分類	等	参考文	註
1	CLB-16	15	2.00	近地表風化	26.5	14.2	0.7	13.0	—	—	—	—	4622	34-21	
2	CMR-13	15	0.00	近地表風化	23.0	12.1	(1.00)	—	細長	—	—	—	4623	34-22	
3	CL41-5	15	0.00	近地表風化	23.2	10.4	(4.00)	—	細長	—	—	—	715	34-24	
4	CL41-12	15	0.00	近地表風化	27.2	9.5	1.5	—	—	—	—	—	4624	34-25	
5	CL41-13	15	0.00	近地表風化	21.0	8.0	0.6	—	—	—	—	—	3113	34-26	
6	CM41-12b	15	0.00	近地表風化	22.6	6.9	0.6	—	—	—	—	—	3680	34-27	
7	CL41-12-13	15	0.00	近地表風化	21.0	6.7	0.6	—	—	—	—	—	3113	34-28	
8	CMR-25	15	0.00	近地表風化	16.0	6.9	0.4	—	—	—	—	—	3682	34-29	
9	CLB-20	15	0.00	風化風化	25.8	6.2	0.7	—	—	—	—	—	5604	34-30	
10	CM40-4d	15	0.00	近地表風化	24.0	7.4	0.5	—	—	—	—	—	3595	34-31	
11	CL41-11	15	0.00	近地表風化	23.0	6.3	(8.0)	—	細長	—	—	—	3110	34-32	
12	CM41-16	15	0.00	近地表風化	21.8	7.0	1.0	—	—	—	—	—	367	34-33	
13	CLB-21	15	0.00	近地表風化	23.0	8.1	(1.7)	—	圓形	—	—	—	4625	34-34	
14	CM41-12	15	0.00	近地表風化	22.6	6.8	0.75	—	—	—	—	—	3683	34-35	
15	CLB-15	15	0.00	風化風化	25.9	6.5	1.5	—	—	—	—	—	4622	34-36	
16	CL41-7	15	0.00	近地表風化	27.5	5.5	0.6	—	—	—	—	—	3669	34-37	
17	CL41-12	15	—	近地表風化	(25.0)	(6.2)	(0.7)	—	細長	—	—	—	3120	34-38	
18	CLB-10	15	0.00	近地表風化	23.0	5.0	(0.3)	—	—	—	—	—	4777	34-39	
19	CL41-5	15	—	近地表風化	(21.0)	(4.0)	(0.10)	—	細長	—	—	—	3627	34-40	
20	CM41-9	15	—	近地表風化	(27.7)	(4.7)	(0.30)	—	細長	—	—	—	3628	34-41	
21	CM41-4d	15	—	近地表風化	(28.2)	(3.7)	(0.30)	—	細長	—	—	—	3629	34-42	
22	CM41-6	15	0.00	風化風化	23.4	1.00	—	—	—	—	—	—	3684	34-43	

第104図 石 錐(9)

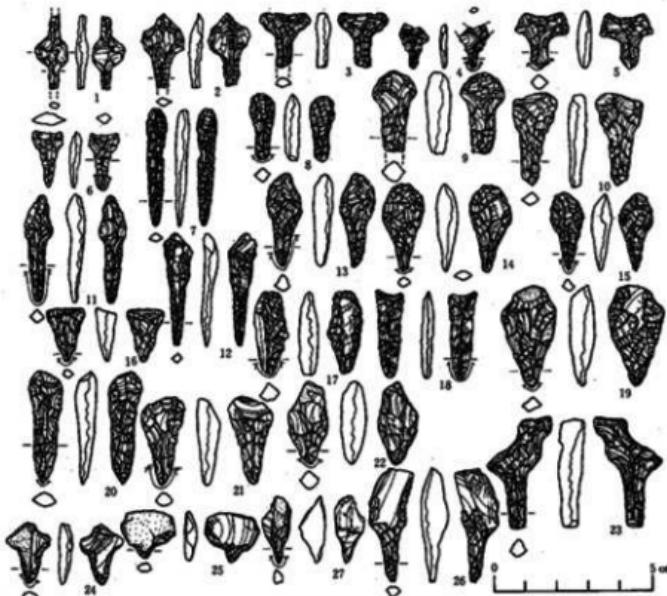


%	地区・時代	地層	分類	名	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	大きさ	性別	生長段	記号	出所
1	中国	IA.	鳥脚類	鳥脚類	36.3	10.7	9.37	7.8	—	1.2 × 2.3		680 24-42
2	CM40-45	IA.	鳥脚類	鳥脚類	36.4	11.7	9.42	7.4	—	2.2 × 2.3		680 24-44
3	CM40-17	IA.	鳥脚類	鳥脚類	49.4	14.3	1.75	36.8	—	2.6 × 3.5		710 24-44
4	CM38-239	IA.	鳥脚類	鳥脚類	36.3	16.6	1.4	39.8	—	3.0 × 3.3		680 24-45
5	GL47-2	IA.	鳥脚類	鳥脚類	23.2	10.7	2.5	7.7	—	3.2 × 4.5		510 24-47
6	CM38-238	IA.	鳥脚類	鳥脚類	28.2	17.2	2.5	7.2	—	3.2 × 4.7		510 24-48
7	MC40-2	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(21.75)	17.2	(4.3)	(16.32)	—	2.6 × 3.2		510 24-49
8	CM40-1	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(29.52)	29.7	(4.3)	(8.52)	—	(2.6) × 3.8		510 24-50
9	CM40-2	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(21.41)	10.7	(2.96)	(8.35)	—	—		510 24-51
10	RA40-1	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(29.72)	10.6	(2.11)	(8.61)	—	—		510 24-52
11	CM40-1	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(29.43)	11.5	(2.69)	(8.42)	—	2.5 × 3.5		510 24-53
12	CM40-7	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(33.23)	10.6	(3.66)	(12.40)	—	(2.6) × 4.5		510 24-53
13	CM40-5	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(27.2)	10.6	1.3	36.6	—	4.1 × 3.1	■+—△+	510 24-54
14	CM40-3	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(27.2)	20.6	3.6	17.8	—	20.5 × 44.0	(△)	510 24-55
15	CM40-8	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(28.4)	20.4	4.05	18.6	—	—		510 24-56
16	GL47-6	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(28.25)	29.1	(2.40)	(25.42)	—	—		510 24-57
17	AVB	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(28.40)	27.2	(2.6)	(5.22)	—	—		510 24-58
18	CM44-2	IA.	鳥脚類	鳥脚類	(26.51)	26.2	(2.27)	(6.12)	—	—		510 24-59

第105図 石 鰐

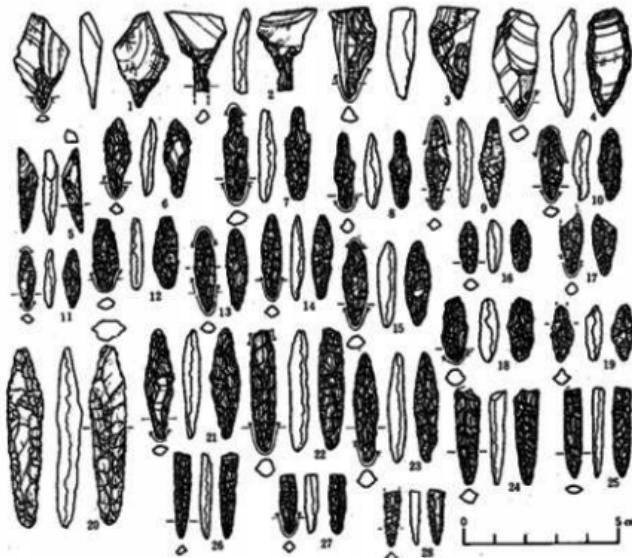


No.	层位	产地	分带	石	厚	宽(米)	高(米)	重(g)	半径(cm)	大形	小形	周	高	号	参考号	层	代
1	7-7	产地	2A	标本	28.6	14.5	2.8	8.7	-	2.3 × 9.8	-	-	-	205	24-61		
2	CNA-22	产地	1A	标本	41.3	15.7	3.5	7.4	-	2.8 × 4.0	-	-	-	406	24-62		
3	DRS-2	产地	2A	黑色壳	(28.4)	27.2	0.150	(12.0)	薄壁	(13.0) × 5.0	-	-	-	34	24-63		
4	CKB-7	产地	2A	标本	24.2	17.5	2.8	4.3	-	-	-	-	338	24-64			
5	CKB-10-2	产地	2A	黑色壳	(29.3)	18.8	(2.4)	4.30	薄壁	(2.4) × 3.2	-	-	-	302	24-65		
6	DRS-4	产地	1B	标本	(28.4)	20.5	(4.4)	(2.7)	薄壁	(1.7) × 5.3	(图版)	-	-	477	24-66		
7	CKB-8	产地	2A	标本	(28.4)	21.6	(4.5)	(5.5)	薄壁	-	-	-	-	395	24-67		
8	CM42-6	产地	1A	标本	(24.4)	20.7	(4.0)	(2.4)	薄壁	-	-	-	-	2494	24-68		
9	CKB-1	产地	2A	标本	(28.3)	25.1	(5.8)	(3.7)	薄壁	-	-	-	-	3429	24-69		
10	CKB-6	产地	2B	标本	(28.3)	19.6	1.50	9.0	-	3.8 × 3.5	-	-	-	3486	24-70		
11	CKB-9	产地	2B	标本	(28.9)	16.5	0.82	9.0	-	3.8 × 4.0	-	-	-	3479	24-71		
12	CLB-3	产地	2B	标本	(28.5)	11.0	0.8	9.8	-	2.9 × 3.1	-	-	-	3862			
13	CM42-11	产地	2B	标本	(22.7)	15.6	(1.0)	(18.0)	薄壁	2.3 × 3.9	-	-	-	4065	24-72		
14	CKB-2	产地	2B	标本	(22.4)	16.6	0.85	12.0	-	3.8 × 2.2	-	-	-	3432	24-73		
15	CKB-8	产地	2B	标本	(33.4)	24.3	(6.0)	(13.0)	薄壁	-	-	-	-	3185	24-74		
16	CKB-1	产地	2B	标本	(28.6)	20.0	2.00	16.0	-	-	-	-	1127	24-77			
17	CLB-14	产地	2B	标本	(28.6)	16.3	(4.0)	(14.0)	薄壁	-	-	-	-	3520	24-78		
18	CLB-7	产地	2B	标本	(28.7)	16.7	1.00	15.7	-	1.8 × 1.0	-	-	-	3453	24-79		
19	CLB-25	产地	2B	标本	(28.6)	12.0	1.20	15.0	-	6.0 × 2.0	-	-	-	3458	24-80		
20	BSB	产地	1B	黑色壳	22.3	17.2	2.0	30.0	-	34.2 × 5.1	-	-	-	385	24-81		
21	CM42-17	产地	2B	标本	(28.2)	22.0	(3.3)	(4.0)	薄壁	-	-	-	-	4210	24-82		



No.	時代・地質	時代	分類	種	可	長さ(ミリ)	幅(ミリ)	厚さ(ミリ)	高さ(ミリ)	横幅(ミリ)	大	形	特	用	標	年	出	地	層
1	CH41-1	中生	後乳歯	後乳歯	可	23.7	10.5	0.5	12.2	8.0	-	-	-	-	CH41-1	87	24-01		
2	CH41-1'	中生	後乳歯	後乳歯	可	23.9	12.2	0.6	8.5	8.5	-	-	-	-	CH41-1'	88	24-01		
3	CH41-15	中生	後乳歯	後乳歯	可	17.1	9.8	0.7	8.7	8.0	-	-	-	-	CH41-15	270	24-02		
4	CH41-45	中生	後乳歯	後乳歯	可	13.5	9.0	0.5	8.0	8.0	-	-	-	-	CH41-45	250	24-01		
5	CH41-46	中生	後乳歯	後乳歯	可	13.5	9.0	0.5	8.0	8.0	-	-	-	-	CH41-46	250	24-01		
6	CH41-5	中生	後乳歯	後乳歯	可	17.0	10.0	0.6	8.5	8.5	-	-	-	-	CH41-5	280	24-01		
7	CH41-11	中生	後乳歯	後乳歯	可	17.0	10.0	0.6	8.5	8.5	-	-	-	-	CH41-11	270	24-01		
8	CH41-8	中生	後乳歯	後乳歯	可	17.0	10.0	0.6	8.5	8.5	-	-	-	-	CH41-8	260	24-01		
9	CH41-21b	中生	後乳歯	後乳歯	可	21.0	10.0	0.6	8.5	8.5	-	-	-	-	CH41-21b	260	24-01		
10	CH41-4	中生	後乳歯	後乳歯	可	17.0	10.0	0.6	8.5	8.5	-	-	-	-	CH41-4	260	24-01		
11	CH41-17	中生	後乳歯	後乳歯	可	17.0	10.0	0.6	8.5	8.5	-	-	-	-	CH41-17	260	24-01		
12	CH41-7	中生	後乳歯	後乳歯	可	17.0	10.0	0.6	8.5	8.5	-	-	-	-	CH41-7	260	24-01		
13	CH41-63b	中生	後乳歯	後乳歯	可	23.0	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	CH41-63b	260	24-01		
14	CH41-2	中生	後乳歯	後乳歯	可	22.7	10.0	0.6	8.2	8.2	-	-	-	-	CH41-2	260	24-01		
15	CH41-5	中生	後乳歯	後乳歯	可	24.4	10.0	0.6	10.5	10.5	-	-	-	-	CH41-5	260	24-01		
16	CH41-10	中生	後乳歯	後乳歯	可	24.9	10.0	0.6	10.5	10.5	-	-	-	-	CH41-10	260	24-01		
17	CH41-6	中生	後乳歯	後乳歯	可	26.0	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	CH41-6	260	24-01		
18	CH41-11	中生	後乳歯	後乳歯	可	27.6	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	CH41-11	260	24-01		
19	CH41-2	中生	後乳歯	後乳歯	可	22.0	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	CH41-2	260	24-01		
20	CH41-4	中生	後乳歯	後乳歯	可	25.7	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	CH41-4	260	24-01		
21	CH41-3	中生	後乳歯	後乳歯	可	27.7	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	CH41-3	260	24-01		
22	CH41-2	中生	後乳歯	後乳歯	可	26.7	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	CH41-2	260	24-01		
23	後	中生	後乳歯	後乳歯	可	24.0	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	後	260	24-01		
24	CH41-11	中生	後乳歯	後乳歯	可	28.0	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	CH41-11	270	24-01		
25	後	中生	後乳歯	後乳歯	可	28.3	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	後	260	24-01		
26	CH41-9	中生	後乳歯	後乳歯	可	28.0	10.0	0.6	12.0	12.0	-	-	-	-	CH41-9	260	24-01		
27	ATD2-3	中生	後乳歯	後乳歯	可	21.2	9.5	1.0	8.5	8.5	-	-	-	-	ATD2-3	270	24-01		

第107回 石 鑑32



No.	石器種類	材質	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	表面形状	使用痕	備考	年	出	経
1	CL45-1''	半研	HAB	30.9	15.5	2.2	4.5	—	△×△×△	—	1948	22-22	—
2	CL28-9	半研	HAB	30.4	15.4	2.1	11.4	(18.0)	横壓	—	1924	23-24	—
3	CM48-2	半研	HAB	30.0	14.8	3.2	5.4	—	△×△×△	—	1959	23-25	—
4	CL47-7	半研	HAB	34.8	14.3	2.5	4.9	—	△×△×△	—	1972	23-26	—
5	CM46-8c	半研	HAB	37.2	6.9	0.6	—	—	—	—	1959	23-27	—
6	CM46-10	半研	HAB	34.0	6.3	0.8	—	—	△×△×△	—	1959	23-28	—
7	CL47-6	半研	HAB	30.6	7.5	1.5	—	—	△×△×△	—	1924	23-29	—
8	CM46-10c	半研	HAB	34.5	6.4	0.7	—	—	△×△×△	—	1959	23-29	—
9	CM46-12	半研	HAB	30.7	6.2	1.0	—	—	△×△×△	—	1959	23-40	—
10	CL47-5	半研	HAB	32.9	7.5	0.85	—	上端	△×△×△	—	1924	23-25	—
11	CL47-6	半研	HAB	37.3	5.3	0.9	—	—	△×△×△	—	1959	23-27	—
12	CL28-15	半研	HAB	31.1	6.3	0.8	—	上端	△×△×△	—	1924	23-24	—
13	CL28-20	半研	HAB	36.9	6.8	0.7	—	—	△×△×△	—	1959	23-23	—
14	CL47-2	半研	HAB	37.0	6.3	0.7	—	—	△×△×△	—	40	23-34	—
15	CL47-6	半研	HAB	37.4	7.9	1.2	—	—	△×△×△	—	1924	23-41	—
16	CM46-7	半研	HAB	35.3	5.8	0.5	—	上端	—	—	1959	23-42	—
17	CL47-6	半研	HAB	30.7	7.4	0.82	—	上端	△×△×△	—	1924	23-26	—
18	CM46-13	半研	HAB	30.2	6.6	1.06	—	上端	△×△×△	—	1959	23-43	—
19	CM46-8	半研	HAB	37.1	7.2	0.5	—	上端	—	—	1959	23-42	—
20	BS10-2	半研	HAB	38.0	12.6	0.4	7.00	△×△×△	上端アフタット付近、底面底	—	1959	23-39	—
21	CL28-12	半研	HAB	36.1	9.2	1.6	—	—	△×△×△	—	1959	23-44	—
22	CM46-17'	半研	HAB	30.4	6.5	2.1	—	—	△×△×△	—	1959	23-45	—
23	CL47-2	半研	HAB	36.1	7.8	2.49	—	—	△×△×△	—	1959	23-46	—
24	CM46-2	半研	—	30.7	7.0	2.17	—	△×△×△	—	—	1959	23-30	—
25	CM46-10a	半研	—	30.7	5.4	0.4	—	上端	—	—	1959	23-47	—
26	CM46-10b	半研	—	32.0	5.0	0.4	—	上端	—	—	1959	23-48	—
27	CM46-18	半研	—	30.7	5.1	0.38	—	上端	(8.0)×(3.8)	—	1959	23-49	—
28	CM46-7	半研	—	30.0	5.0	0.3	—	上端	—	—	1959	23-51	—

第105図 石器群

装着されて使用されていたと考えられる。

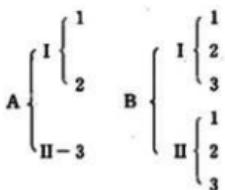
bタイプは2点みられ、いずれも先端が磨耗している。4はII B2類で頭部と身部のさかいにみられる。

### 石匙 (第111図～第120図)

ここでは、両側邊から抉りを入れて、つまみ部を作り出した石器を扱う。総数102点出土している。

#### 1分類

形態により(A)縦長のもの(B)横長のものに大別した。また、縁辺の構成する数により(I)2縁辺のもの(II)3縁辺のものに分け、さらに、先端部の形態で(1)丸みをおびるもの(2)尖頭状のもの(3)平坦なものに細分した。これらの分類には以下のような種類がある。



#### 2出土状況と時期的変化

遺構に伴うものではなく、南側遺物包含層を中心に出土しているものが多数ある。各区分ごとにみると、C L39区10点、C L40区7点、C L41区11点、CM39区6点、CM40区6点、C M41区4点、C L47区2点、CM47区1点が出土している。特に、C L39区37層から5点、C L41区15層から4点がまとまっている。次にこれらを時期的にみる(第19表)。時期の特定できるものは46点で、第III・IV期に最も多い12点づつが出土している。分類別にみると、A類が第III～IV

分類	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	計	平均	最高
A:1			2	2	3			6	7	15
A:2	1			3				4	12	16
A:3	5	1	3		1			9	14	23
A不明	4	1	2	3		1		-11	10	21
計	10	4	10	6	1	1	1	32	43	75
B:1								1	1	1
B:2		1						1		1
B:3	1		2	1	1	1	1	6	3	9
B:4	1	1				2		4	2	7
B:5								1	1	1
B不明	1	2	1	3	2	1	6	14	14	19
総計	1	12	5	12	6	2	6	46	56	102

第19表 石匙時期別・分類別出土数量表

期に多く、B類は第VIIに多数みられる。

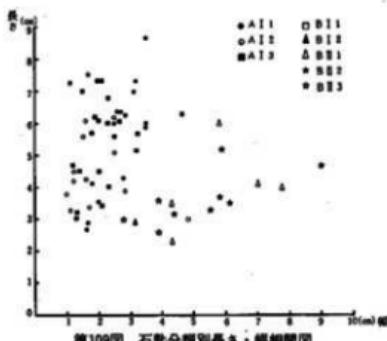
### 3属性の特徴

上記のように石匙は時期的な形態の変化はさほどみられない。そこで以下に属性の特徴については、各層出土のものをまとめて記述する。

#### 大きさ（第109図）

A類は長さ3~8cm・幅1~4cmの間にまとまり、B類は長さ2~6cm・幅3.5~9cmの間にみられる。A類とB類では、長さ・幅の相関関係で明瞭に違いがある。

#### 石材（第20・21表）



第109図 石匙分類別長さ・幅相関図

石匙	I	II	III	IV	V	VI	VII	VI	V	IV	III	II	Ⅰ	総数
直葉状匙	3	3	3	3	1	2	17	21	30					
直葉状匙	2		2			2	7	10	17					
直葉状匙	1	2	2	2	3		8	6	14					
直葉状匙直頭	1	6	3	1		3	12	12	24					
直葉状匙直頭									1					1
直葉状匙				1			1	4	5					
直葉（直葉状匙型）				1			1							1
直葉（直葉状匙型）								1						1
直葉									1					1
計	1	22	5	22	5	2	46	56	102					

第20表 石匙時期別・石材別出土數量表

石匙	A11	A12	A21	A平頭	B11	B12	B21	B22	B31	B32	B33	B平頭	計
直葉状匙直頭	2	4	10	1			3	2					34
直葉状匙	4	5	9	12			2	2	1	2			38
直葉状匙	4	2	0	6	1	2	1						24
直葉状匙	4	3	3	3			2		1	2			27
直葉（直葉状匙型）	1						2	2					1
直葉状匙									3	3			6
直葉状匙直頭				1									1
直葉				1									1
直葉（直葉状匙型）								1					1
計	15	15	24	25	1	2	9	7	5	4	4		145

第21表 石匙分類別・石材別出土數量表

石材の用いられる方には、時期別・分類別にみても他の剥片石器と大きくは違わない。ただ珪質凝灰質頁岩がやや多く認められることが一つの特徴と言える。

### 素材の用い方 (第22・23)

A類は縦長の剥片素材を多くの場合に用いているが、B類は縦長・横長と同じ程度に用いている。また、つまみ部が作り出されている位置と打面部との関係をみると、

Aタイプ一つまみと打面が同方向にあるもの

Bタイプ一つまみと打面が逆方向にあるもの

Cタイプ一つまみと打面方向がほぼ直交するもの

の3種類がある。このうちAタイプは全体の70%程度を占めており、打面に遠いほど素材が薄くなり刃部調整が容易になることなどが考慮されて素材が用いられていると言える。

分類	A I 1	A I 2	A II 2	B I 1	B I 2	B II 1	B II 2	B III	計
たて長	22	11	22	1	1	4	3	3	55
よこ長	4	2	2			5	4	3	20
計	26	13	22	1	1	9	7	5	75

第22表 石匙素材表

分類	A I 1	A I 2	A II 2	B I 1	B I 2	B II 1	B II 2	B III	計
Aタイプ	10	7	17	1	1	6	5	4	51
Bタイプ	3	2	2						7
Cタイプ	3	4	3			2	2	1	10
計	16	13	22	1	1	9	7	5	74

第23表 石匙つまみ部と打面部相関表

### 刃部調整

刃部の調整のあり方を検討すると、両面加工(a)・片面加工(b)・無調整(c)のものがあり、また縁辺全面にみられるもの(1)と一部にみられるもの(2)がある。これらを組み合わせると

a<sub>1</sub>両面加工で全縁辺に認められるもの

a<sub>2</sub>両面加工で一部の縁辺に認められるもの

b<sub>1</sub>片面加工で全縁辺に認められるもの

b<sub>2</sub>片面加工で一縁辺に認められるもの

c 無調整のもの

以上5つの刃部調整が各縁辺に施されている。これらのあり方をA類・B類にわけてみる。

#### A類(縦長のもの)

(1) A II 3類の中に特徴的なものがある。これは縦長の素材を用い、一般に腹面の右側縁に2次加工を施し、裏側の背面左側縁に加工の深い剥離を加え、刃角の小さい、両面加工の刃部を形成させる。そして、背面右側縁に刃角の大きい片面加工の刃部をつける。左側縁は凸線状

に右側縁は直線的もしくは凹線状になる。横断面形は背面を上にすると、最大幅が右側に寄っている。この加工方法は、縄文前期の松原遺跡(置賜考古学会:1977)で報告された「打面調整剥離」である。田柄貝塚では、第III期3点・第V期1点、不明10点が出土しており、少なくとも後期後葉の初め頃までこの調整方法が用いられていたと言える。(2) A類は、多くは背面側縁に片面加工を加えたものが主であるが、第119図4のように纖状をした2次加工を両面に施したものもある。(3)第117図10のように、先端部が棒状に作り出され、著しく磨耗しているものもある。これは石錐と同様の穿孔機能を倒していたものと考えられる。これに類するものは上深沢遺跡(1978)・勝負沢遺跡(1982)など多くの遺跡にみられる。(4)二重パティナのもの(第113図4)があり、著しく風化した後に、再び2次加工が施されたものである。

#### B類(横長のもの)

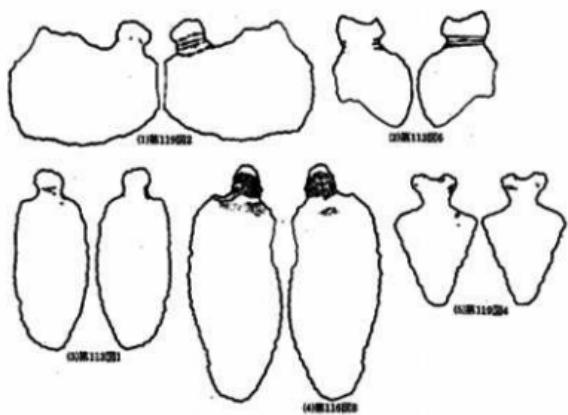
(1) 主要刃部がつまみ部の下方側縁にあり、背面に30° ~45° の片面加工するものが多い。また第113図10・第120図7のように両面加工されるものもある。(2)つまみ部の両肩の刃部において、背面左側に両面加工を、右側に片面加工を施すものが多い。

#### 4アスファルト付着(第110図)

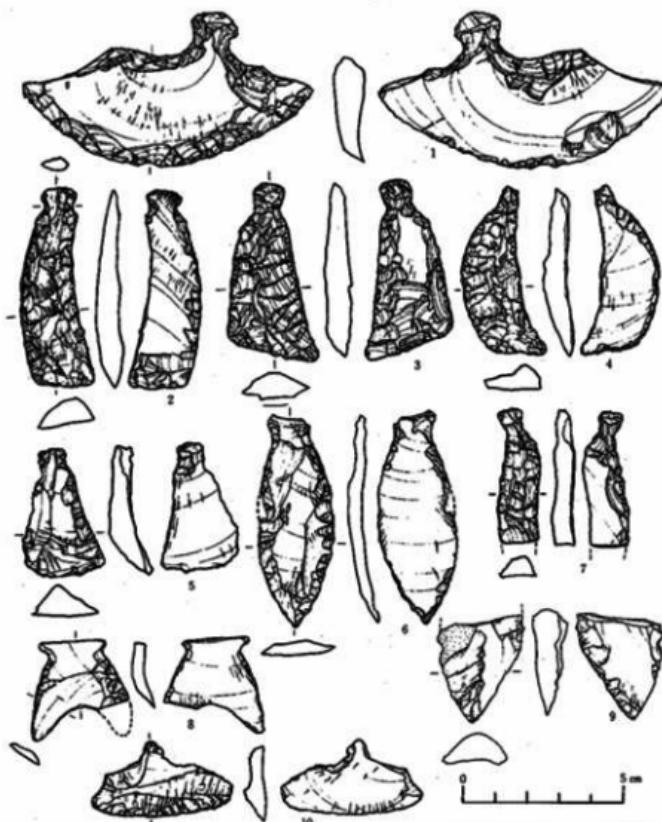
石匙にアスファルトの付着が認められるものが5点出土している。

この付着状況を観察すると、aタイプ一つまみ部の抉りの部分に線状に数本が認められるもの。bタイプ一つまみ部に帯状に認められるもの。cタイプ付着範囲を特定できないものがある。

aタイプは、第110図(1)・(2)・(3)で、(1)は、腹面側に4本、背面側に1本が認められる。(2)は、腹面側に3本、背面側の抉入の両端部に3本がみられ、中央部で切れた状態になっている。(3)は、背面側に2本みられ、左端で交わる。腹面には抉りの両端にやや認められる。bタイプは(4)でつまみの表裏に認められる。cタイプは(5)でつまみ部の頂部に抉りがはいり石錐と似た形で、つまみ部全体にまとまりのない付着を示す。本県では山王町遺跡(矢本町史:1973)晩期より、横型石匙のつまみ部にひもが巻きついて出土しており、aタイプはこれの例のようにひもが巻きつけられていた可能性が大きい。しかし、アスファルトが片側面に完全にみられるが、一方の面には明瞭には認められないものが多く、単にひもを巻きつけてあったものか、柄のようなものに一方の面を接し、巻きつけられていたのかは、特定することはできなかった。

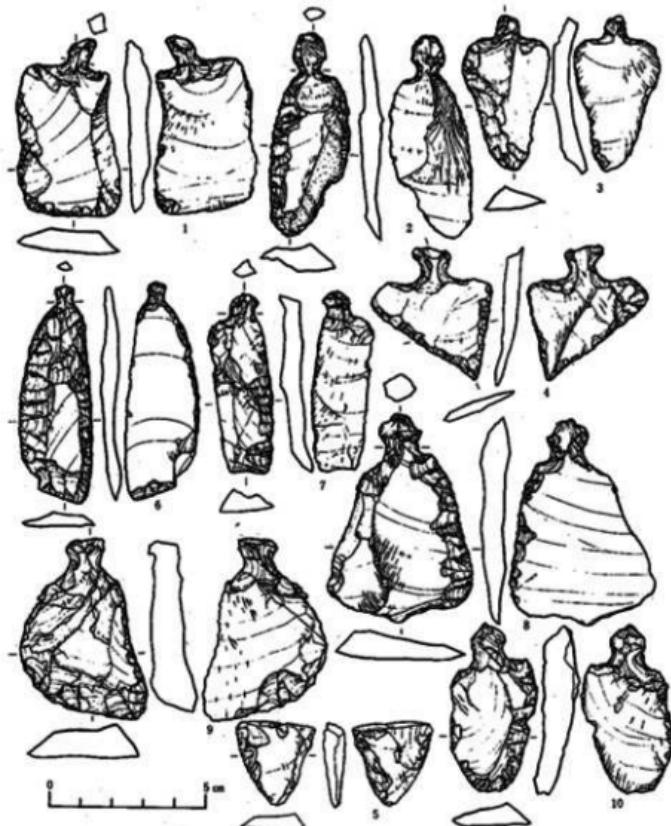


第110図 石動アスファルト付着状況



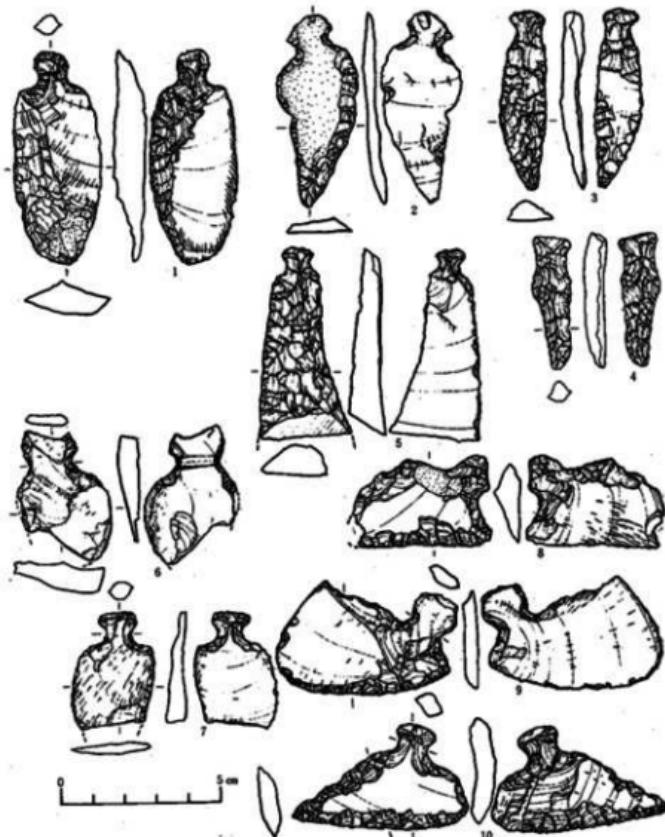
编号	层位·单位	地层	分带	石	H	L.D.×W.(mm)	厚	W.L.	W.L.	W.L.	月相与月龄			层号	层位	层号	
											Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ				
1	CMB-36	B	B12	刮削器	46.5	30.6	9.5	35.3	45.7-54.9	磨尖-A	×	—	—	14-47	14-47	14-47	
2	CLB-37	B	A13	刮削器	42.0	25.9	7.8	37.7	47-58.6	磨尖-B	×	41-59	41-65	41-77	1375	23-52	1375
3	CLB-37	B	A13	刮削器	54.3	25.6	7.9	35.3	47-58.6	磨尖-C	×	41-59	41-64	41-77	1375	23-54	1375
4	CLB-37	B	A13	刮削器	(53.8) × 27.6	3.1	46.7	(47.7) × 37.7	磨尖-A	×	41-62	41-69	41-78	1375	23-55	1375	
5	CLB-37	B	A13	刮削器	59.8	22.8	9.5	6.0	18'-36'	磨尖-A	×	41-59	41-67	41-76	1375	23-56	1375
6	CMB-3	B	A12	刮削器	60.1	24.2	4.7	7.3	47-52.5	磨尖-A	×	41-59	41-67	41-76	1360	23-57	1360
7	CLB-37	B	(A)	刮削器	(41.7) × 15.1	8.4	(3.3)	(37) × 7.5	磨尖-B	×	41-59	—	—	14-47	14-47	14-47	
8	CMB-3	B	(A)	刮削器	(32.7) × 28.4	6.0	(2.5)	17' × 20.7	磨尖-A	×	41-59	41-67	41-76	1360	23-58	1360	
9	CLB-38	B	(A)	刮削器	32.0 × 27.0	61.9	(7.4)	—	—	磨尖-C	○	41-59	—	—	1375	23-59	1375
10	CLB-39	B	B13	刮削器	29.4	45.7	7.8	5.3	17'-6.2	磨尖-A	×	41-59	36-47	36-49	1360	23-60	1360

第111图 石 钺(1)



号	石器-产地	石器	石	石	石器-石器	石器	石器	石器	石器	石器	产地-石器			号	石器	石器	石器
											石器	石器	石器				
1	CLG-25	W	A12	石器	56.7 × 32.6	3.9	25.4	16°-2.8	石器-A	×	0.1-0.97	0.1-0.97	0.1-0.97	120	21-61		
2	CLG-25	W	A13	石器	50.3 × 30.3	3.1	11.0	17°-10.7	石器-A	○	0.1-0.97	0.1-0.97	0.1-0.97	1027	21-62		
3	CLG-26	W	A11	石器	42.6 × 27.0	3.9	7.2	16°-7.3	石器-A	×	0.1-0.97	—	0.1-0.97	2004	21-63		
4	CLG-26	W	A12	石器	39.3 × 31.0	3.9	5.8	16°-12.2	石器-A	×	0.1-0.97	—	0.1-0.97	895	21-64		
5	CLG-25	W	(A)	石器	38.0 × 29.0	3.5	3.7	—	石器-A	×	0.1-0.97	—	0.1-0.97	2117	21-65		
6	CLG-24	W	A13	石器	37.5 × 23.6	3.7	3.4	2°-3.4	石器-B	×	0.1-0.97	0.1-0.97	0.1-0.97	1044	21-66		
7	CLG-16	V	A12	石器	37.0 × 27.0	3.5	8.6	2°-8.6	石器-A	×	0-0.97	0-0.97	0-0.97	2003	21-67		
8	CLG-15	V	A12	石器	35.9 × 26.2	3.6	23.3	16°-12.4	石器-A	×	0-0.97	0.2-0.97	0.2-0.97	562	21-68		
9	CLG-24	V	A12	石器	35.1 × 28.0	34.2	26.3	11°-12.2	石器-A	○	0.1-0.97	0.2-0.97	0.1-0.97	200	21-69		
10	CLG-15	V	A11	石器	40.3 × 27.0	32.1	22.9	16°-10.8	石器-A	×	0.1-0.97	0-0.97	0-0.97	2001	21-70		

第112图 石器2图



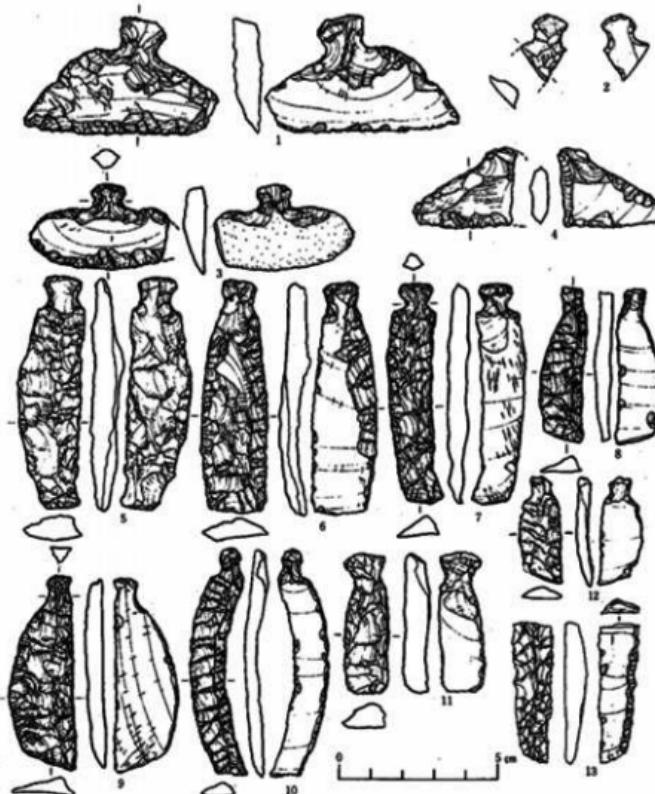
番号	種類	形態	分類	性	長さ×幅(㎜)	厚さ	重さ	参考文献	出所	測定値(㎜)			図	書	図
										長	幅	厚			
1 CLM-25	Y	A11	石核	直立	49.1 × 27.7	10.0	16.0	Y=18.8	直立・A	34.4	6.7	2.0	1	11	5
2 CLM-26a	Y	A12	石核	直立	39.6 × 24.3	4.9	6.1	Z=14.7	直立・A	34.4	5.7	—	2	11	6
3 CLM-15	Y	A12	石核	直立	35.6 × 14.6	8.7	4.3	Z=10.9	直立・A	40.2	10.7	—	3	11	7
4 CLM-16	Y	A12	石核	直立	42.0 × 13.2	8.8	3.7	—	直立	41.0	9.7	—	4	11	8
5 CLM-2-5	ED	(A)	石核	直立	(68.3) × (27.2)	10.0	10.0	—	直立・A	54.0	10.0	—	5	11	9
6 CM41-24	Y	(A)	石核	直立	(44.2) × (39.0)	19.8	10.0	(A)=10.2	直立・A	44.0	10.0	—	6	11	10
7 CM41-19	Y	(A)	石核	直立	(43.6) × (36.5)	19.4	10.0	(A)=10.2	直立・A	43.0	10.0	—	7	11	11
8 CLM-21	Y	EB1	石核	直立	39.2 × (41.4)	11.0	10.0	(B)=12.8	直立・A	34.0	10.0	—	8	11	12
9 CLM-22	Y	EB1	石核	直立	39.6 × 59.3	8.3	10.0	Y=16.8	直立・A	41.0	10.0	—	9	11	13
10 CM47-2	ED	(A)	石核	直立	39.3 × 59.3	7.3	10.0	Z=12.7	直立・A	41.0	10.0	—	10	11	14

第113図 石器



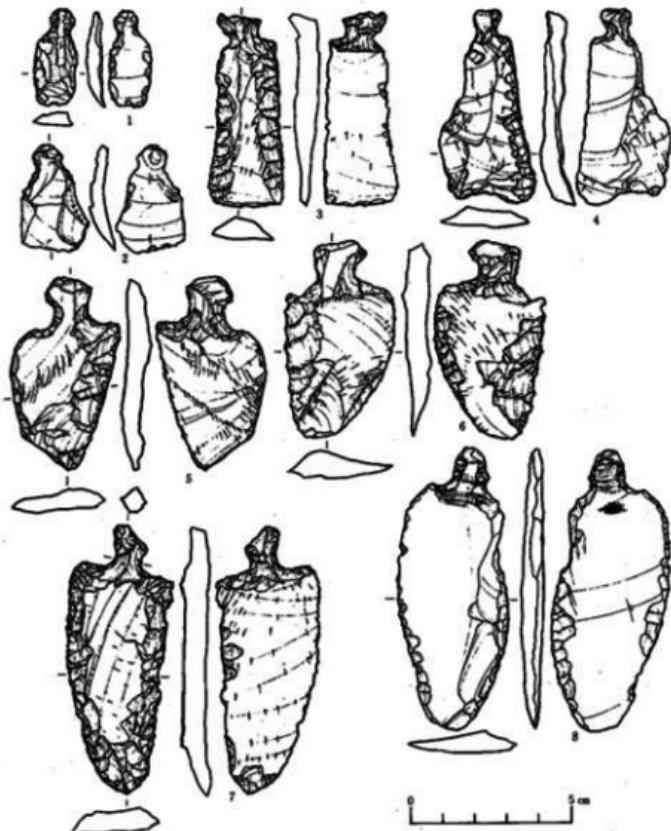
图号	出土地点	地层	类别	尺寸	厚度	石质	断面	用途	万历出土情况			图	图	图
									年	月	日			
1. GL41-12	W.	A11	刮削器	45.4 × 28.5	3.2	石器	7-(18.5)	刮削-C	○	≤ 19	—	54-26	—	—
2. GL41-19	W.	A11	刮削器	48.8 × 28.4	4.1	石器	7-(18.5)	刮削-C	○	≤ 19	—	54-44	—	—
3. GLN-30	W.	A11	刮削器	47.5 × 28.0	3.0	石器	7-18.5	刮削-A	×	≤ 19	—	54-27	—	—
4. CMH-12	W.	(A)	刮削器	39.3 × 21.8	6.0	石器	7-18.5	刮削-A	×	≤ 19	—	54-47	—	—
5. CMH-32	W.	A11	刮削器	34.9 × 25.9	3.2	石器	29-30.5	刮削-A	○	≤ 19	—	54-47	—	—
6. CMH-25	W.	(A)	刮削器	37.6 × 22.9	3.4	石器	—	刮削-	○	≤ 19	—	54-48	—	—
7. GL41-M	W.	(B)	刮削器	21.6 × 23.1	2.4	石器	17-(18.5)	刮削-A	○	≤ 19	—	54-47	—	—
8. GL41-13	W.	B11	刮削器	41.1 × 26.1	3.2	石器	17-18.5	刮削-A	×	≤ 19	—	54-26	—	—
9. CMH-28	W.	A12	刮削器	45.4 × 26.2	3.5	石器	17-18.5	刮削-A	×	≤ 19	—	54-27	—	—
10. GL41-11	W.	B11	刮削器	29.8 × 24.1	3.2	石器	17-(18.5)	刮削-C	×	—	—	54-26	—	—
11. CMH-47	W.	B12	刮削器	32.2 × 26.2	3.4	石器	17-18.5	刮削-A	×	≤ 19	—	54-26	—	—
12. CMH-12	W.	(B)	刮削器	39.4 × 26.2	7.1	石器	7-3.2	刮削-A	—	—	—	54-26	—	—

图114图 石器(4)



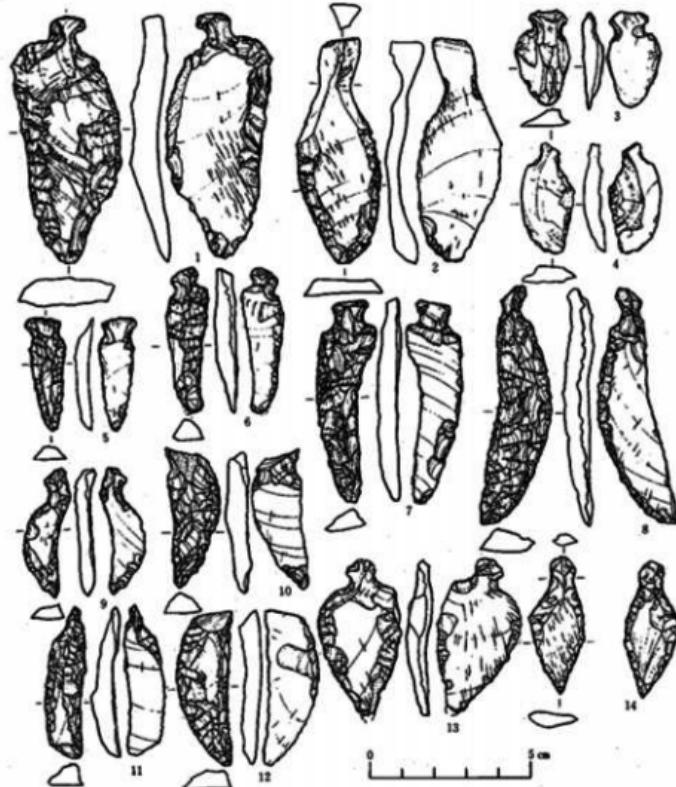
番号	種類・形態	大きさ	分類	石	厚さ	長さ	幅	側面形状	尖端	刃部(刃長・刃幅)			石	厚さ	長さ	幅
										厚さ	長さ	幅				
1	CM4-44 核	33.2	直立核	石	0.9	15.6	7.9	直立核	尖端-A	0.1-2.0	3.1-4.6	0.1-0.7	石	0.1	26-27	
2	CL4-1 核	(A)	直立核	石	137.43×12.43	64.72	10.8	直立核	尖端-B	—	—	—	石	—	—	34-35
2	CL4-3 核	(B)	直立核	石	36.4×142.42	6.1	16.1	直立核	尖端-C	0.1-0.7	3.1-4.6	0.1-0.7	石	0.1	26-27	
4	CL4-10-13 核	(C)	直立核	石	29.93×131.32	19.31	10.5	直立核	尖端-A	0.1-1.9	3.1-4.7	0.1-1.9	石	0.1	34-35	
5	CL4-1-2 W40 AB3	直立核	石	73.4×19.6	10.6	15.7	11.8	直立核-C	尖端-A	0.1-1.7	3.1-4.7	0.1-0.7	石	0.1	34-35	
6	CL4-1-2 AB3	直立核	石	73.3×19.6	10.5	15.7	11.8	直立核-C	尖端-A	0.1-1.7	3.1-4.7	0.1-0.7	石	0.1	34-35	
7	CM-46-5 W40 AB3	直立核	石	49.2×14.4	6.8	4.5	7-18.3	直立核-A	○	0.1-1.9	3.1-7.7	0.1-1.9	石	0.1	27-3	
8	CM4-2 W40 AB3	直立核	石	48.1×13.2	6.8	5.3	6.7	直立核-A	○	0.1-1.9	3.1-7.7	0.1-1.9	石	0.1	27-3	
9	CM4-18 W40 AB3	直立核	石	51.3×18.6	5.5	4.4	2-6.2	直立核-C	○	0.1-1.9	3.1-9.7	0.1-3.1	石	0.1	27-3	
10	CD4-1 W40 AB3	直立核	石	79.3×13.4	5.1	4.2	C-6.2	直立核-A	○	0.1-1.9	3.1-4.7	0.1-1.9	石	0.1	27-3	
11	CK4-1 W40 AB3	直立核	石	44.7×13.5	7.9	3.9	17-18.8	直立核-A	○	0.1-4.9	3.1-7.7	0.1-1.9	石	0.1	27-3	
12	SD4-7 W40 AB3	直立核	石	29.1×13.2	5.4	1.2	T-16.8	直立核-A	○	0.1-1.9	3.1-5.7	0.1-3.6	石	0.1	27-3	
13	CL4-2 W40 AB3	直立核	石	14.63×12.6	4.3	2.8	—	直立核	○	0.1-1.9	3.1-5.7	0.1-3.6	石	0.1	27-3	

第115図 石器④



号	地名	层位	分	石	M	高×宽(cm)	厚(cm)	重(g)	万石山Ⅱ·内度			M	N	层	石	M	N
									高	宽	厚						
1	BRB-3	中带	AII	刮削器		39.6×13.2	4.5	1.5	17.2	磨尖-A	○	54.2×27	4.27	14.7×7.7		55.6	27-13
2	CXH-29	中带	AII	刮削器		33.5×21.1	3.6	20.0	17.7×8.8	磨尖-A	×	42.9×27	4.27	14.7×7.7		6474	27-10
3	CXH-3	中带	AII	刮削器		40.8×23.1	7.3	16.0	17.7×13.2	磨尖-A	×	54.1×27	4.27	14.7×7.7		1063	27-13
4	CLG-2	中带	AII	刮削器		41.4×26.6	5.7	9.2	17.7×9.2	磨尖-A	×	42.7×27	4.27	14.7×7.7		6333	27-14
5	CXH-10	中带	AII	刮削器		51.7×31.8	7.7	12.4	22.7×14.8	磨尖-A	×	51.5×27	—	—		943	27-13
6	CXH-9	中带	AII	刮削器		69.3×25.6	9.4	16.5	22.7×14.8	磨尖-B	×	51.5×27	4.27	14.7×7.7		980	27-10
7	CXH-220	中带	AII	刮削器		72.3×32.1	6.2	22.1	22.7×18.0	磨尖-A	×	54.1×27	—	—		682	27-17
8	CLG-4	中带	AII	刮削器		36.5×36.4	6.4	21.6	17.7×11.2	磨尖-A	×	52.7×27	—	—	+	5471.0	27-10

图116图 石器⑥



器号	出土地点	地层	形	石	長さ×幅(cm)	厚さ	重さ	断面形状	測定値・度量			器名	圖	書
									上	中	下			
1	CCKH-1	中層	A11	石	48.1×36.7	3.5	25.7	刃状-A	42~49	34~52	34~72	打制石器	1	185 26~32
2	CKH	中層	A11	石	44.0×35.5	3.8	33.7	刃状-B	34~57	—	34~52	打制石器	2	186 26~32
3	CMH-11	中層	A11	石	46.0×35.7	3.5	34.0	刃状-C	34~57	—	34~52	打制石器	3	187 26~32
4	CMH-9	中層	A11	石	39.0×37.8	3.4	29.0	刃状-C	31~57	—	31~47	打制石器	4	188 26~32
5	SHH-1	中層	A12	石	25.1×11.4	4.5	13.7	刃状-D	31~45	—	31~47	打制石器	5	189 26~32
6	CPD-2	中層	A12	石	41.9×32.5	6.1	3.0	刃状-E	31~57	—	31~52	打制石器	6	190 26~32
7	CLG-3	中層	A12	石	41.4×36.0	5.7	6.4	刃状-F	31~57	—	31~52	打制石器	7	191 26~32
8	CPV-1	中層	A12	石	39.8×36.7	7.4	9.3	刃状-G	31~57	—	31~52	打制石器	8	192 26~32
9	CMH-2	中層	A12	石	37.0×30.4	6.5	1.8	刃状-H	31~57	—	31~72	打制石器	9	193 26~32
10	CMH-9	中層	A12	石	42.0×36.2	7.5	4.2	刃状-I	31~57	—	31~52	打制石器	10	194 26~32
11	CMH-4	中層	A12	石	46.9×31.8	7.1	3.7	刃状-J	31~64	31~65	31~57	打制石器	11	195 26~32
12	CMH-4?	中層	A12	石	48.0×32.4	5.0	4.0	刃状-K	31~49	—	31~71	打制石器	12	196 26~32
13	CMH-1	中層	A12	石	46.0×38.2	6.7	9.0	刃状-L	31~57	—	31~67	打制石器	13	197 26~32
14	CMH-1	中層	A12	石	39.0×37.4	3.7	3.0	刃状-M	31~57	—	31~67	打制石器	14	198 26~32

图117 石器



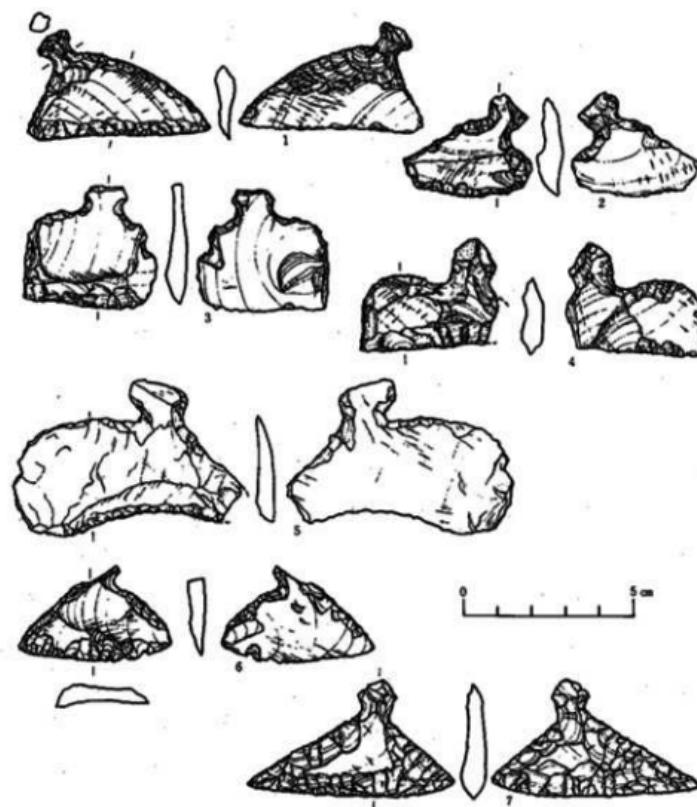
号	地层·部位	可辨	分	类	式	高×宽(厘米)	厚(厘米)	时代	特征	特征加二·两面			号	年	层	号	
										上	中	下					
1	地层	平顶	(A)	尖状		142.00×20.0	3.5(3.0)	—	磨制·B	○	a+50	—	b+50	1300	20-2		
2	CQD-1	平顶	(A)	尖状		131.00×18.0	3.1(3.0)	—	磨制·A	x	a+50	—	b+50	1779	20-1		
3	CLB-37	平顶	(A)	尖状		128.43×12.0	0.6(0.5)	—	磨制·A	○	a+50	—	b+50	1145	20-3		
4	DSD-2	平顶	(A)	扁平化形		146.37×17.2	5.1(4.0)	18.0>13.7	磨制·A	x	a+50	—	b+50	19	20-4		
5	CLB-82	平顶	(A)	尖状		147.73×14.0	7.6(6.0)	—>8.0	磨制·B	x	a+50	—	b+50	1610	20-5		
6	CKD-1+2	平顶	(A)	尖状		136.92×12.0	0.6(0.5)	—	14.0	磨制·A	x	a+50	—	b+50	2294	20-6	
7	CLB-4	平顶	(A)	尖状		23.83×18.0	0.6(1.2)	—	18.1	磨制·B	x	b+50	—	b+50	2295	20-7	
8	DSD-1	平顶	(B1)	尖状		56.7×42.0	3.0(2.0)	—	41.0	磨制·B	○	a+50	a+50	b+50	17770	20-8	
9	CKD-4	平顶	(B1)	尖状		49.0×36.0	2.0(2.0)	—	37.1	磨制·C	x	a+50	—	b+50	1952	20-9	

第116图 石器



番号	地名・層位	時期	分類	名	長×幅×厚(mm)	厚さ (mm)	重さ (kg)	大きさ(横×縦×高)(mm)	性	目	X線吸収・反射			名	目	量	量
											左	中	右				
1	CM42-12	平野	A11	褐色斑状	29.6 × 26.2	0.5	14.0	54° × (2.7)	破損・A	○	al+24°	al+49°	al+32°	CM42	28-18		
2	BNM8-2	平野	B12	褐色斑状	44.6 × (25.0)	10.4	234.0	(87) × 12.4	破損・A	×	c+30°	al+49°	—	BNM8	28-11		
3	DAM9-1	平野	(B)	褐色斑状	(36.2) × 25.0	7.4	94.0	87(16.4)	破損・A	×	—	al+49°	al+49°	DAM9	28-12		
4	BNM7-1	平野	A12	褐色斑状	39.3 × 26.4	3.2	5.4	27 × 36.8	破損・C	×	al+27°	—	al+27°	BNM7	28-13		
5	CP42-2	平野	A11	褐色斑状	50.0 × 25.4	6.1	7.0	47 × 32.4	破損	○	al+54°	—	al+49°	CP42	28-34		
6	CL38-14	平野	B13	褐色斑状	35.8 × 26.0	12.1	11.0	57 × 36.6	破損・A	○	al+24°	c+30°	b+—	CL38	28-25		
7	CL42-15	平野	(A)	褐色斑状	(49.5) × 26.0	9.6	0.0	— × 32.3	破損	×	al+49°	—	al+39°	CL42	28-26		
8	CM42-8	平野	(A)	褐色斑状	(11.8) × (26.0)	0.5	0.0	— × (35.0)	破損・A	×	al+49°	—	b+39°	CM42	28-17		
9	CM42-6	平野	(A)	褐色斑状	31.7 × (26.0)	7.2	4.0	34 × 13.4	破損・A	×	al+30°	—	al+30°	CM42	28-18		

第119図 石器



标号	地层·部位	层位	分带	石 壳	壳长×宽(cm)	厚( mm)	壳形	壳面构造	壳口	壳缘	壳内构造·隔壁			盖	中	带	带
											左	右	后				
1	CM43-1带	中带	B3带2	瓣壳灰岩	21.7 × 12.0	5.0	7.3	38°-18.6	瓣壳-C	x	a1-47	b1-26'	a1-39'		3753	39-39	
2	同上	中带	B3带2	瓣壳灰岩	20.3 × 27.6	7.7	9.3	38°-11.6	瓣壳-A	x	b1-47	b1-37'	b1-37'		3514	39-39	
3	CLG-2	中带	B3带2	瓣壳灰岩	26.0 × 30.9	7.7	10.6	38°-22.5	瓣壳-C	x	b2-37	b1-37'	b1-37'		3595	39-39	
4	DDM-2	中带	B3带2	瓣壳灰岩	30.7 × 35.0	8.8	10.0	38°-27.0	瓣壳-A	○	b2-37	a1-37	—	—	3395	39-39	
5	CM43-1	中带	B3带2	瓣壳灰岩	29.0 × 45.1	10.0	11.0	38°-27.5	瓣壳-C	x	c1-37	—	—	—	3633	39-39	
6	DDM-1	中带	B3带2	瓣壳灰岩	22.0 × 32.0	4.6	10.0	38°-30.0	瓣壳-C	x	a1-37	b1-37'	a1-42'	3753	39-39		
7	CM43-1	中带	B3带2	瓣壳灰岩	34.4 × 60.7	7.1	10.4	38°-12.9	瓣壳-C	x	a1-37	a1-37'	a1-37'	3753	39-39		

图120(a) 石勒沟

## 不定形石器、ピエス・エスキーユ、石核（第123図～第164図）

ここでは、石鏃、尖頭器、石錐、石匙を除く剥片石器を扱った。総数は383点出土している。

### 1分類

1刃部が作り出されている部位による区分

不定形石器の分類は加工によって鋭い縁辺が作り出されているものを刃部と認定し、刃部がどのように認められるかをもとに行った。そのため刃つぶし状に行われている加工はプランディングとし、下記の基準には含めていない。

#### I 剥片の1縁辺に刃部があるもの

- a 刃部を作り出しているもの
- b 刃部を作り出さず使用痕としてマイクロ・フレイキングが認められるもの(使用痕のある剥片)
- c 刃部を作り出し、折れ面あるいは折断面と組み合って鋭利な部分があるもの

#### II 剥片の2縁辺に刃部があるもの

- a 隣接している2縁辺に刃部が作り出されているもの
- b 2側縁に刃部が作り出されているもの
- c 刃部を作り出さず2側縁にマイクロ・フレイキングが認められるもの(使用痕のある剥片)
- d 2側縁に作り出された刃部が1点に収束しているもの

#### III 剥片の3縁辺に刃部があるもの

- a 刃部が作り出されているもの
- b 刃部が作り出されているもののうち、刃部が1点に収束し鋭利になっているもの
- c 刃部を作り出さずマイクロ・フレイキングが認められるもの(使用痕のある剥片)

#### IV 周縁に刃部があるもの

- a 多面角状を呈し、1頂部が鋭利に尖るもの
- b 長方形をしているもの
- c 円形をしているもの
- d 三角形をしているもの
- e いわゆる異形のもの

#### V 両極剥離による、1対または2対の刃部がみられるもの(ピエス・エスキーユ)

#### VI 石核

##### 2 刃部のあり方による分類

- 1 両刃をしているもの。深い剥離によって作り出され、刃部角度は小さい。

2 片刃をしているもの。浅い刺離によって片面から作り出されることが多い刃部で、刃部角度が大きい。

## 2出土状況

C L・M39～41区の包含層から層位的に出土しているのは175点で46%を占めている。

層との関係を時期ごとにみる。

第II期 C L41区20層から2点出土している。他はC L39区38層、CM39区38層、CM39区37層の各層から1点ずつ出土している。

第III期 C L39区37層から3点出土している。またC L41区17層、CM41区28層からは2点、他は1点ずつの出土である。

第IV期 C L40区26層が8点と最も多い。他にC L41区17層から4点、C L39区36層から3点、C L41区18層から2点、CM41区27層から1点出土している。

第V期 C L40区25層から10点出土しており最も多い。C L39区32層、C L39区31層、C L41区15層がこれにつぎ、8点の出土である。C L40区23層、CM41区26層からは5点出土している。4点出土しているのはC L40区24層、C L41区16層、CM41区23層である。CM39区32層、CM41区25層からは3点、C L39区31固層から2点、他は各層から1点ずつ出土している。

第VI期 C L40区22層から出土している5点が最も多い。C L39区30層、C L40区19層からは4点出土している。他にCM40区7層、C L41区14層から2点、他は各層から1点ずつ出土している。

第VII期 C L40区16層の3点が最多である。C L39区2面層、C L40区15層、C L41区10層、C L41区9層、C L41区8層から2点、C L39区25層、C L40区18層、CM39区27層、C L41区10層、C L41区9層、C L41区8層から2点、他は各層から1点ずつ出土している。

第VIII期 同一層位から2点出土しているのが点数としては最も多い。その他の地区層位からは1点のみ出土しており、特定の層から多量に出土していることはない。

第IX期 CM41区5層から2点出土している。

層位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	8010	8011	8012	8013	8014	8015	8016	8017	8018	8019	8020	8021	8022	8023	8024	8025	8026	8027	8028	8029	8030	8031	8032	8033	8034	8035	8036	8037	8038	8039	8040	8041	8042	8043	8044	8045	8046	8047	8048	8049	8050	8051	8052	8053	8054	8055	8056	8057	8058	8059	8060	8061	8062	8063	8064	8065	8066	8067	8068	8069	8070	8071	8072	8073	8074	8075	8076	8077	8078	8079	8080	8081	8082	8083	8084	8085	8086	8087	8088	8089	8090	8091	8092	8093	8094	8095	8096	8097	8098	8099	80100	80101	80102	80103	80104	80105	80106	80107	80108	80109	80110	80111	80112	80113	80114	80115	80116	80117	80118	80119	80120	80121	80122	80123	80124	80125	80126	80127	80128	80129	80130	80131	80132	80133	80134	80135	80136	80137	80138	80139	80140	80141	80142	80143	80144	80145	80146	80147	80148	80149	80150	80151	80152	80153	80154	80155	80156	80157	80158	80159	80160	80161	80162	80163	80164	80165	80166	80167	80168	80169	80170	80171	80172	80173	80174	80175	80176	80177	80178	80179	80180	80181	80182	80183	80184	80185	80186	80187	80188	80189	80190	80191	80192	80193	80194	80195	80196	80197	80198	80199	80200	80201	80202	80203	80204	80205	80206	80207	80208	80209	80210	80211	80212	80213	80214	80215	80216	80217	80218	80219	80220	80221	80222	80223	80224	80225	80226	80227	80228	80229	80230	80231	80232	80233	80234	80235	80236	80237	80238	80239	80240	80241	80242	80243	80244	80245	80246	80247	80248	80249	80250	80251	80252	80253	80254	80255	80256	80257	80258	80259	80260	80261	80262	80263	80264	80265	80266	80267	80268	80269	80270	80271	80272	80273	80274	80275	80276	80277	80278	80279	80280	80281	80282	80283	80284	80285	80286	80287	80288	80289	80290	80291	80292	80293	80294	80295	80296	80297	80298	80299	80300	80301	80302	80303	80304	80305	80306	80307	80308	80309	80310	80311	80312	80313	80314	80315	80316	80317	80318	80319	80320	80321	80322	80323	80324	80325	80326	80327	80328	80329	80330	80331	80332	80333	80334	80335	80336	80337	80338	80339	80340	80341	80342	80343	80344	80345	80346	80347	80348	80349	80350	80351	80352	80353	80354	80355	80356	80357	80358	80359	80360	80361	80362	80363	80364	80365	80366	80367	80368	80369	80370	80371	80372	80373	80374	80375	80376	80377	80378	80379	80380	80381	80382	80383	80384	80385	80386	80387	80388	80389	80390	80391	80392	80393	80394	80395	80396	80397	80398	80399	80400	80401	80402	80403	80404	80405	80406	80407	80408	80409	80410	80411	80412	80413	80414	80415	80416	80417	80418	80419	80420	80421	80422	80423	80424	80425	80426	80427	80428	80429	80430	80431	80432	80433	80434	80435	80436	80437	80438	80439	80440	80441	80442	80443	80444	80445	80446	80447	80448	80449	80450	80451	80452	80453	80454	80455	80456	80457	80458	80459	80460	80461	80462	80463	80464	80465	80466	80467	80468	80469	80470	80471	80472	80473	80474	80475	80476	80477	80478	80479	80480	80481	80482	80483	80484	80485	80486	80487	80488	80489	80490	80491	80492	80493	80494	80495	80496	80497	80498	80499	80500	80501	80502	80503	80504	80505	80506	80507	80508	80509	80510	

### 3時期による変化（第24表）

時期が特定できる不定形石器は第II期5点、第III期13点、第IV期20点、第V期71点、第VI期22点、第VII期7点、第VIII期25点、第IX期2点である。

第II・III期は貝層下の土層であるため水洗選別を行っていない。発掘時とりあげ分のみであるため、水洗選別を行っている第IV期以降と同列に出土数を比較することはできない。貝層形期（第IV期）以後では第V期・IXの出土数が他時期と違っている。第IV・VI～VII期は20点前後にまとまっているのに対し、第V期はその3.5倍、第IX期はその1/10になっている。

第II・III期は第II d類が多いが、全体量が少ないため正確な位置づけはできない。

石器	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	VII	IX	計
絆圓形器	1	0	6	28	10	9	12	—	—	74
黑色石器	2	3	9	27	5	1	3	2	32	—
縁化圓形器	2	—	1	7	—	2	4	—	13	—
玉	—	—	2	1	1	—	2	—	—	5
瓦状器	—	2	—	2	2	2	1	—	—	7
絆圓形器	—	—	—	1	1	—	—	—	—	3
縁化圓形器	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2
瓦状器	—	—	2	—	1	—	—	—	—	3
石尖端おび貝層圓形器	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
瓦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高級石質圓形器	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
縁化圓形器貝層圓形器	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2
縁化圓形器貝層圓形器	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
縁化圓形器	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
縁化圓形器貝層圓形器	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2
石尖端おび	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
計	5	13	20	21	22	27	25	2	—	126

第24表 不定形石器時期別・石材別出土数量表

石器	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	VII	IX	計
絆圓形器	24	0	2	15	1	10	3	1	28	87
縁化圓形器	9	2	2	3	2	1	2	2	—	24
玉	7	2	3	2	2	2	1	—	—	20
瓦状器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
瓦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高級石質圓形器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
縁化圓形器貝層圓形器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
縁化圓形器貝層圓形器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
縁化圓形器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
縁化圓形器貝層圓形器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石尖端おび	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30	4	12	16	5	10	5	2	1	126

第25表 不定形石器時期別・石材別出土数量表

第IV期は第II d<sub>1</sub>が5点と最も多い。3点はC L40区26層から出土している。

第V期は第II d<sub>1</sub>が25点ある。第VI類が2点あることも無視できない。

第VI期は第II d<sub>1</sub>類の5点、第I a<sub>1</sub>類の5点、第II b<sub>1</sub>類の3点がやや多いといえるが、特定の類に集中しているとはいえない。

第VII期は最も多いもので第I c<sub>1</sub>類、第II c<sub>1</sub>の3点であり、全体に散満なあり方をしている。

第VIII期は第I a<sub>1</sub>類が5点で最も多いが、特徴的なあり方を指摘することはできない。第VI類がある。

第IX期は2点のみであり、詳細は明らかにしえない。

#### 4石材 (第25・26表)

全体的には珪質頁岩が多い。時期別にみると第IV期に黒色頁岩が珪質頁岩より多く、第V期では黒色頁岩がほぼ同数になる。

分類別にみると珪質頁岩が多用されている傾向があるが、第IV d<sub>1</sub>・Vでは黒色頁岩が多い。

#### 5各類のあり方

分類した不定形石器を時期別にみると、第VI期までは第II d<sub>1</sub>類が多いことがわかる。石材別にみると第IV・V期では黒色頁岩と珪質頁岩が同じように使われており、他時期では珪質頁岩が多いことがわかる。

しかし、中には第IX期のように2点しか出土していない時期もあり、時期別に検討すると資料数が不足し、必ずしも適切な方法とはいえないくなってしまう。そこで、以下では田柄貝塚における不定形石器、ピエス・エスキーユ、石核のあり方としてまとめ、時期的には後期前半～晩期前半の様相として、その特徴をみてみたい。

##### 1第I～IV類のあり方

第II d<sub>1</sub>が81点で最も多い。以下、第II b<sub>1</sub>類、第I a<sub>1</sub>類、第I c<sub>1</sub>類、第III a<sub>1</sub>類、第II d<sub>2</sub>類などが続き、主要なタイプといえる。

形態を属性別にみると、2側縁が1点に収束するタイプ、すなわち第I c<sub>1</sub>類、第II d<sub>1</sub>類が多い。合わせて122点ある。そのうち第II d<sub>1</sub>類がより一般的である。

刃部のあり方では2類とした片刃型は多くない。第I a<sub>2</sub>・I c<sub>2</sub>・II a<sub>2</sub>・II b<sub>2</sub>・II c<sub>2</sub>・II d<sub>2</sub>・III a<sub>2</sub>・IV b<sub>2</sub>・IV c<sub>2</sub>類を合わせて44点で全体の11%にすぎない。こうした中では第II d<sub>2</sub>類が19点あることは注意される。

素材剥片は打痕部を残す剥片が多数をしめている。大部分が突出したバルブ形状をもつ。

折断技法は第I・II類に認められる。今回折断としたのは、折れ面に複数の剥離があること、あるいは両極剥離がみられることを根拠とした。第I類では第I c<sub>1</sub>類の他に折断によって三角形や台形を作り出しているものが第I a<sub>1</sub>類中にみられる。第II類には上下端を折断したもの

(第IIb類中)、上端を折断したもの(第II d類中)もある。これらは「折断調整石器」(阿子島1979)と深いゆかりがある。

第I～IV類のうち加工した刃部に使用痕が観察されるものは稀である。剥片に刃こぼれ状をしたマイクロ・フレイキング(第I b類など)は一般的にあるが、機能・用途を推定するには致らなかつた。

第IV類には、周縁に刃部を作り出されているものをまとめた。第I～III類とは異なり、やや丁寧に作られているが定形的な石器とはいえない。b類は第V類としたピエス・エスキーユ、c類はスクレイバー、d類もスクレイバーなどと関連して考えられる。e類はいわゆる異形石器である。

#### 2 第V類のあり方

第V類は形態、石材などに他の剥片石器にない特徴がある。このため項目別にその特徴を列記した後に、その使用法についてまとめてみたい。

##### (1) 形態

全体形は方形をしている。断面は凸レンズ状である。大きさは、長さ3cm以上4.5cm未満、幅2cm以上3cm未満のものが多く、中心部の厚さは1cm前後が多い。

##### (2) 加工・使用痕

両極刺離痕を持ち、向かい合っている辺の刃部につぶれがある。片面に自然面を残す例も多い。

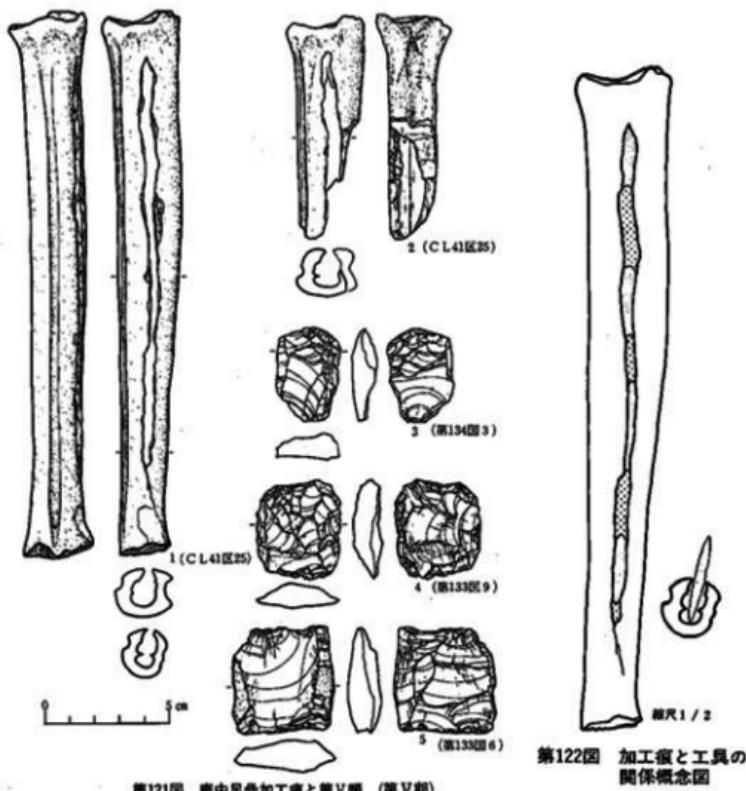
##### (3) 石材

田柄貝塚から出土している剥片石器は後述するように(付章参照)、珪質頁岩が多数を占めている。そうした中で第V類では黒色頁岩が珪質頁岩より圧倒的(65%)に多く用いられている。

##### (4) 用途

第V類がいかに扱われたかを断定する根拠を直接的に見つけることはできなかつた。対になってつぶれている刃部の一部を使用痕とすると、比較的硬いものに対して使用した楔とする岡村氏の説(岡村:1976)が現状では最も妥当といえよう。

田柄貝塚では数多くの骨角器とともに加工痕のある鹿角や骨が出土している。第121図1・2はそうしたものの一つで、鹿の中尾骨の外側に加工によって作られた溝が認められる。第121図の構をよく観察すると一直線になっているのではなく、2~3cmからなる小単位によって構成されていることがわかる。骨の内面には剥離がある。第122図1はそうした小単位にスクリーントーンを貼ったものである。ただし、隣り合っている小単位間の切り合いは剥離を観察してもわからなかつたため恣意的に行った(剥離をみると小単位はもっと短いことも考えられる)。

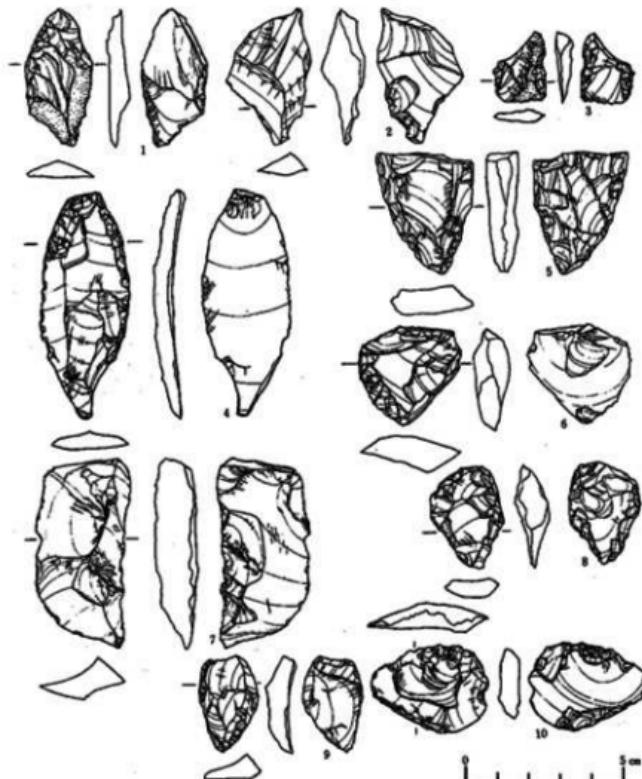


第121図 鹿中足骨加工痕と第V類（第V期）

第122図 加工痕と工具の関係概念図

この小単位のうち、最も遠位端寄りの単位は、長さ6mmほどである。溝の幅は4mmだが、断面でみるとこの溝の幅は隔壁にある溝と対応している。緻密質外側から隔壁までは1cm弱ある。

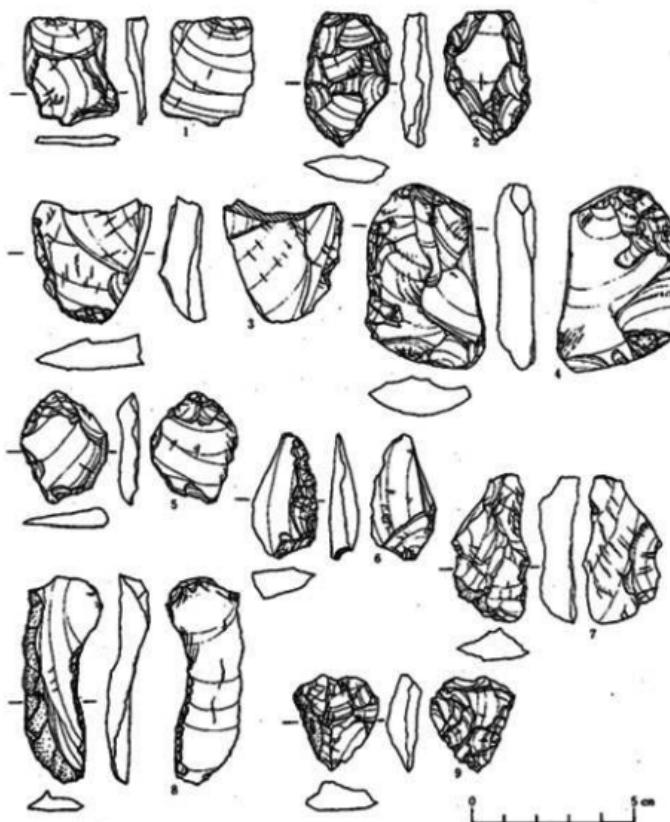
これらの溝は骨の緻密質を貫けるほど堅い材質で、厚さ5mmの刃部を持ち、しかもその刃部が隔壁にまでとどくもので、刃部の長さが3cmほどの道具によって施されたと考えられる。これらの条件にあてはまる道具を田柄貝塚から出土している遺物の中に求めるならば、現状では不定形石器第V類とした石器が最もふさわしいであろう。しかしこれはネガティブな論証で



N.Mus.はブランディング、M.L.はマイクロ・ブレインディングを指記

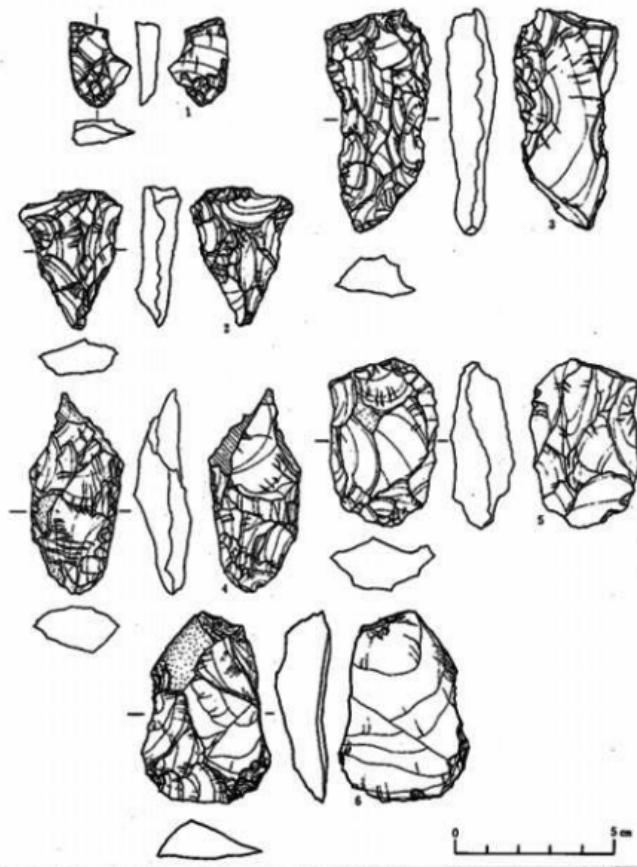
番号	地名・標記	地質	分類	名	材	厚(2mm)	幅(2mm)	厚(2mm)	幅(2mm)	厚(2mm)	幅(2mm)	方	中	細	標本番号	測定
1	C.L.38-28	E	1a	石 核	岩	4.8	21.0	5.4	12.0	5.4	12.0	不規	上規則	下規則	1000	20+1
2	C.L.41-20	E	2a	石 核	岩 核	4.6	19.0	7.0	9.0	5.0	10.0	不規	上規則	下規則	4029	20+2
3	C.L.42-20	E	2b	石 核	岩	22.7	24.2	4.0	17.7	4.0	17.7	不規	上規則	下規則	1013	20+3
4	C.M.28-20	E	3a	石 核	岩 核	10.7	20.0	5.7	8.0	5.7	8.0	不規	上規則	下規則	1491	20+1
5	C.M.28-27	E	3b	石 核	岩	20.6	29.0	7.0	12.0	不規	上規則	上規則	下規則	1019	20+1	
6	C.M.41-20	E	4a	石 核	岩	9.3	20.5	9.7	9.7	9.7	9.7	不規	上規則	下規則	1000	20+4
7	C.M.49-20	E	2b	石 核	岩	9.0	20.2	12.0	12.0	不規	不規	上規則	下規則	1074	20+7	
8	C.M.41-20	E	3d	石 核	岩	10.0	21.0	8.2	8.2	8.2	8.2	不規	上規則	下規則	1006	20+8
9	C.L.39-27	E	3d	石 核	岩	11.0	22.0	7.0	20.0	7.0	20.0	不規	上規則	下規則	1074	20+9
10	C.L.41-20	E	3d	石 核	岩	10.4	21.2	7.0	21.0	7.0	21.0	不規	上規則	下規則	1208	20+10

第123図 不定形石器(1)



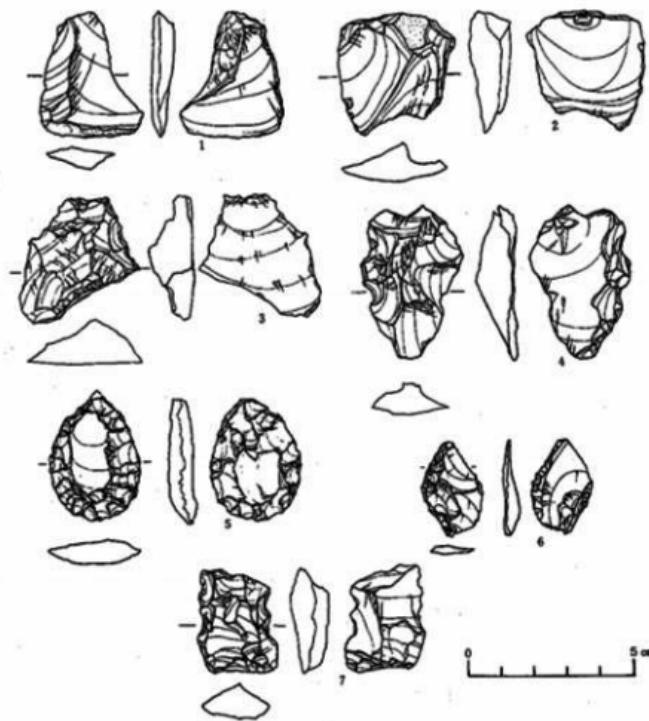
号	地层	层位	分带	形	质	长宽mm	厚mm	重g	特征	刀	石器	地层号	图
1	C.L.30-27	II	2m	片	砾	38.2	35.7	7.0	砾	直刃刮削器	直 - T型刮削器	IIIa	20-11
2	C.L.30-27	II	2m	片	砾	41.0	35.0	7.4	砾	直刃刮削器	直 - T型刮削器	IIIb	20-12
3	C.L.30-27	II	1.5m	片	砾	35.7	35.2	5.7	砾	T型刮削器	T型刮削器	IIIb	20-13
4	C.L.30-28	II	1.5m	片	砾	34.6	36.4	11.6	砾	刮削器	刮削器	IIIa	20-14
5	C.L.30-28	II	1.5m	片	砾	24.5	29.8	5.7	砾	刮削器	刮削器	IIIb	20-15
6	C.L.30-28	II	1.5m	片	砾	38.0	39.5	6.5	砾	刮削器	刮削器	IIIb	20-16
7	C.L.30-29	II	2.5m	片	砾	41.0	32.2	6.6	砾	刮削器	刮削器	IIIb	20-17
8	C.L.30-29	II	2.5m	片	砾	32.6	35.4	6.0	砾	刮削器	刮削器	IIIb	20-18
9	C.L.30-29	II	2.5m	片	砾	31.1	35.0	6.6	砾	刮削器	刮削器	IIIb	20-19

第124图 不定形石器(2)



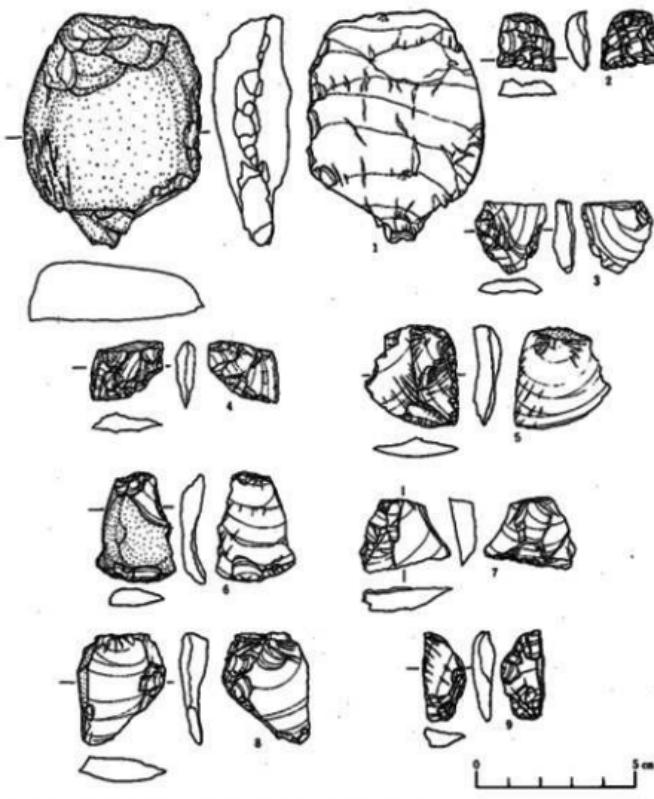
编号	所属文化期	材质	采集地	尺 寸	直 径 (mm)	厚 度 (mm)	重 量 (g)	断面形 状	性 质	出 处	
1	C.I.4-26	石	白水	刮削器(刃缘部分)	26.2	0.8	7.2	4.9	磨	灰一文化, 下层细砾土。	050 29-30
2	C.I.4-26	石	白水	刮削器	26.1	0.7	7.0	4.7	磨	灰一文化, 下层细砾土。2.2Mm.	204 29-30
3	C.I.4-26	石	白水	刮削器	26.2	0.6	6.6	4.1	磨	灰一文化, 下层细砾土。2.2Mm.	161 29-30
4	C.I.4-17	石	白水	刮削器	42.5	2.5	8.8	5.9	不	灰一文化, 细砾土, 距地表3Mm.	105 29-30
5	C.I.4-26	石	白水	刮削器	31.2	2.0	7.7	3.1	磨	灰一文化, 细砾土, 距地表3Mm.	206 29-30
6	C.I.4-27	石	白水	刮削器	26.1	0.5	7.0	4.7	磨	灰一文化, 细砾土。	163 29-30

图125图 不定形石器(3)



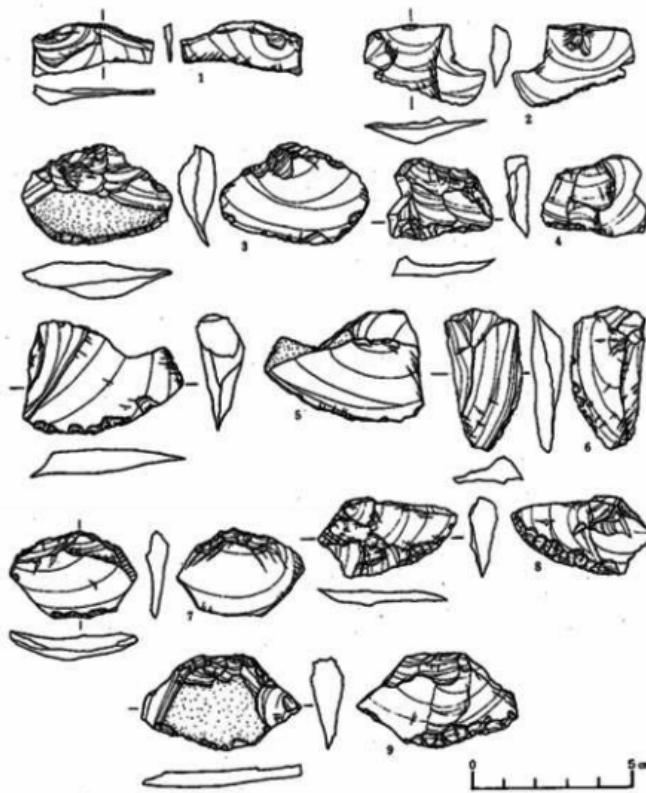
番号	場所・層位	形態	分類	直 径	厚 さ (mm)	幅 (mm)	厚 さ (mm)	重 さ(g)	断面形状	刀 根 の 形 態	標本番号	地 質
1	CL40-17	片	石器	直角	30.0	10.7	5.4	5.4	梯形	直・左・右・下端斜め,	4001	20-25
2	CL20-30	片	石器	直角	22.1	12.2	12.0	14.1	梯形	直・左・右・下端斜め, 断面複雑	4002	20-25
3	CL40-30	片	石器	直角	30.9	20.2	6.7	12.5	梯形	右端斜め, 断面複雑	4003	20-25
4	CL40-18	片	石器	直角	24.4	25.3	9.6	11.2	梯形	右端斜め, 断面複雑	4004	20-25
5	CL40-30	片	石器	直角	20.0	20.0	7.0	15.7	梯形	右端斜め	4005	20-25
6	CL40-17	片	石器	直角	20.0	18.0	8.0	1.7	梯形	右端斜め, 断面複雑	4006	20-25
7	CL20-34	片	石器	直角	22.1	22.5	10.8	7.7	梯形	右端斜め, 断面複雑アッシャット付着	4007	20-25

第126図 不定期石器(4)



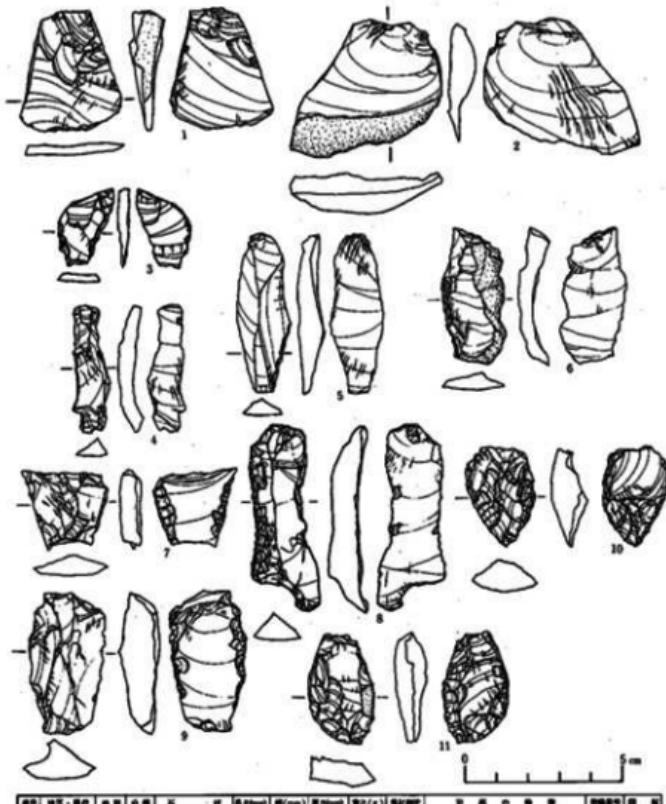
编号	地层・地点	标本	分型	名	材	高(毫米)	宽(毫米)	厚(毫米)	重(g)	制法	万	千	百	十	个	单件号	图
1	CL3-12	V	1m <sub>1</sub>	块 破 厚	石	25.5	36.5	2.5	125.7	砸	100	30-1					
2	CL4-12	V	1m <sub>2</sub>	块 破 厚	(石质)	24.0	36.0	2.5	21.1	砸	100	30-2					
3	CL8-12	V	1m <sub>2</sub>	块 破 厚	石	23.2	35.0	2.5	27.7	砸	100	30-3					
4	CL9-12	V	1m <sub>2</sub>	块 破 厚	石	23.5	36.2	2.5	22.9	砸	100	30-4					
5	GM6-25	V	1m <sub>1</sub>	块 破 厚	石	26.5	32.5	2.5	58.0	砸	100	30-5					
6	CL39-22	V	1m <sub>1</sub>	块 破 厚	石	24.5	35.0	2.5	49.0	砸	100	30-6					
7	CL40-22	V	1m <sub>1</sub>	块 破 厚	(石质)	21.0	36.0	2.5	45.0	砸	100	30-7					
8	CL41-22	V	1m <sub>1</sub>	块 破 厚	石	21.7	35.5	2.5	48.0	敲打剥刮削制, 下刃一定条件下锤击(石质)	100	30-8					
9	CL42-25	V	1m <sub>1</sub>	块 破 厚	石	23.5	32.7	2.5	59.0	砸	100	30-9					

第127图 不定形石器(5)



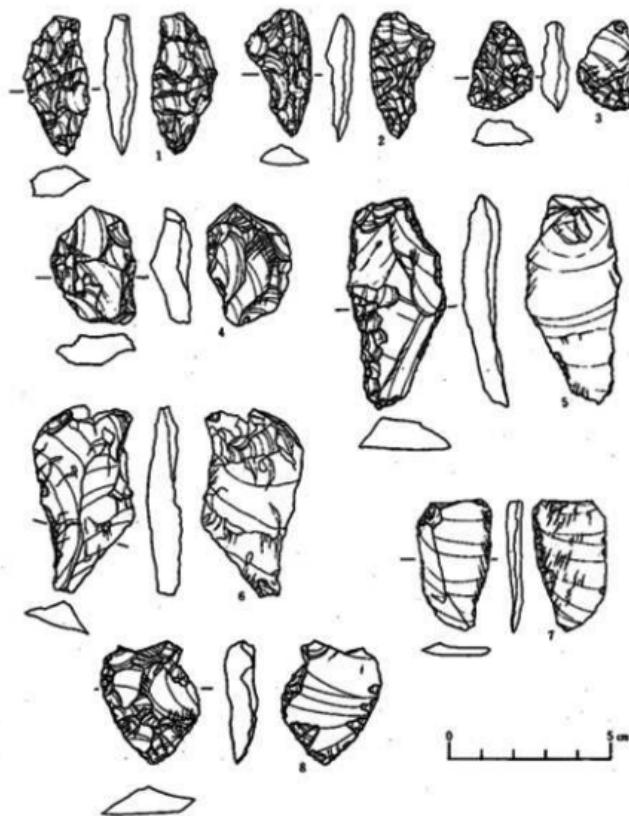
编号	层位	时代	形制	长	宽	厚	单位	标本号	层位	时代	形制	长	宽	厚	单位	标本号
1	CLB-18	Y	刮削器	22.0	9.0	4.0	厘米	CLB-18	下层地层	中	刮削器	20.7	9.0	3.0	厘米	CLB-18
2	CLB-22	Y	刮削器	9.0	8.0	3.0	厘米	CLB-22	下层地层	中	刮削器	9.0	8.0	3.0	厘米	CLB-22
3	CLB-23	Y	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CLB-23	上层地层	下层地层	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CLB-23
4	CLB-25	Y	刮削器	20.7	10.0	3.0	厘米	CLB-25	上层地层	下层地层	刮削器	20.7	10.0	3.0	厘米	CLB-25
5	CMG-23	Y	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CMG-23	上层地层	下层地层	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CMG-23
6	CLB-26	Y	刮削器	21.0	10.0	3.0	厘米	CLB-26	下层地层	中	刮削器	21.0	10.0	3.0	厘米	CLB-26
7	CLB-28	Y	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CLB-28	上层地层	下层地层	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CLB-28
8	CLB-32	Y	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CLB-32	下层地层	中	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CLB-32
9	CMG-25	Y	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CMG-25	上层地层	下层地层	刮削器	20.0	10.0	3.0	厘米	CMG-25

第128图 不定形石器(6)



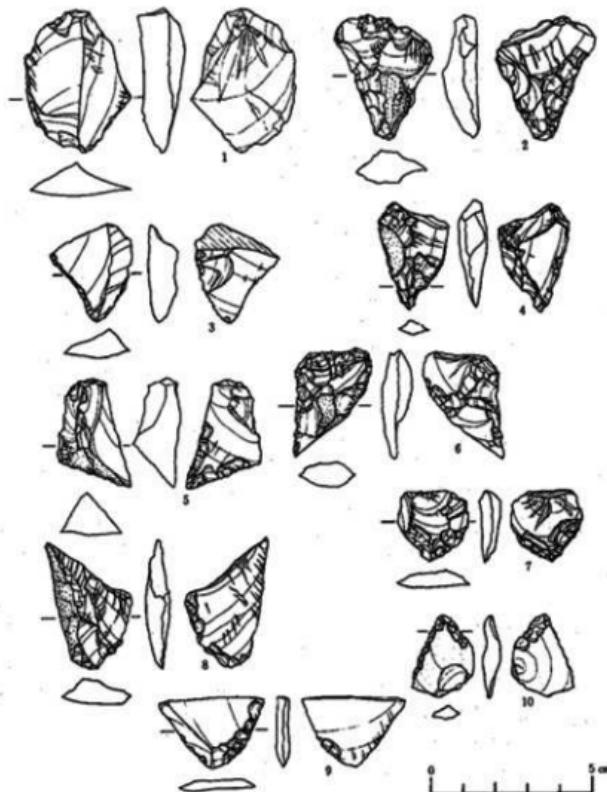
编号	材质	形制	分型	尺寸	直径(mm)	横径(mm)	厚度(mm)	重量(g)	说明	产地	时代
1	石	刮削器	1b	单面刮削器	30.1	31.0	3.2	35.4	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
2	石	刮削器	1b	单面刮削器	29.8	30.4	3.0	35.4	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
3	石	刮削器	1b	单面刮削器	29.0	32.3	3.2	35.4	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
4	石	刮削器	1b	单面刮削器	40.0	39.0	3.0	32.1	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
5	石	刮削器	1b	单面刮削器	33.0	32.8	3.0	32.1	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
6	石	刮削器	1b	单面刮削器	33.0	32.8	3.0	32.1	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
7	石	刮削器	1b	单面刮削器	33.0	32.8	3.0	32.1	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
8	石	刮削器	1b	单面刮削器	33.0	32.8	3.0	32.1	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
9	石	刮削器	1b	单面刮削器	33.0	32.8	3.0	32.1	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
10	石	刮削器	1b	单面刮削器	33.0	32.8	3.0	32.1	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代
11	石	刮削器	1b	单面刮削器	33.0	32.8	3.0	32.1	单面刮削器	下河寺遗址H12	新石器时代

图129图 不规则石器(7)



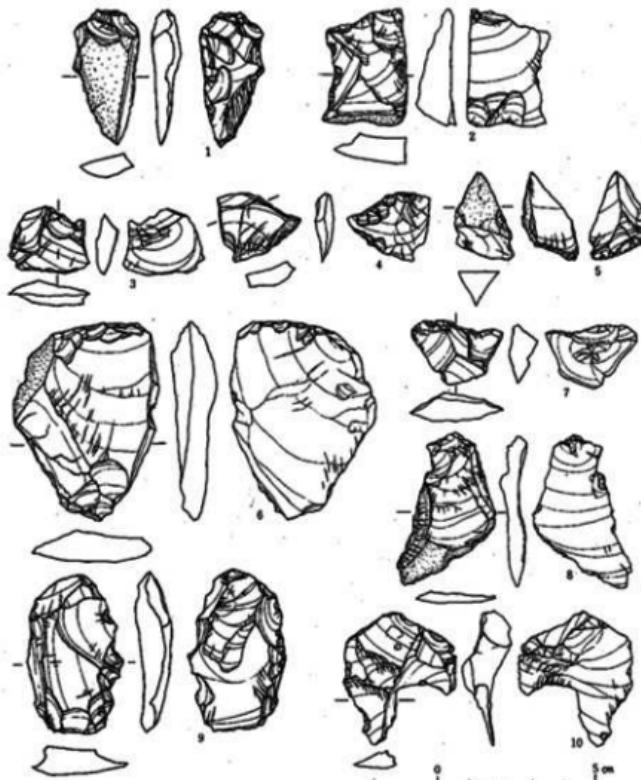
器号	地层	时代	石种	形	长(L)mm	宽(W)mm	厚(T)mm	制法	万	千	百	十	年号
1	C14-19	V	石英	刮削器	40.2	18.5	2.7	刮削器	三	四	一	九	4994
2	C14-19	V	石英	刮削器	36.1	24.0	4.0	刮削器	二	五	一	九	2020
3	C14-19	V	石英	刮削器	36.1	17.5	3.1	刮削器	二	五	一	九	2021
4	C14-19	V	石英	刮削器	36.2	20.0	3.7	刮削器	二	五	一	九	2022
5	C14-19	V	石英	刮削器	31.5	20.1	3.1	刮削器	二	五	一	九	2023
6	C14-19	V	石英	刮削器	36.0	20.7	3.0	刮削器	二	五	一	九	2024
7	C14-19	V	石英	刮削器	40.7	20.5	3.5	刮削器	二	五	一	九	2025
8	C14-19	V	石英	刮削器	36.0	20.0	3.2	刮削器	二	五	一	九	2026

第130图 不定形石器(8)



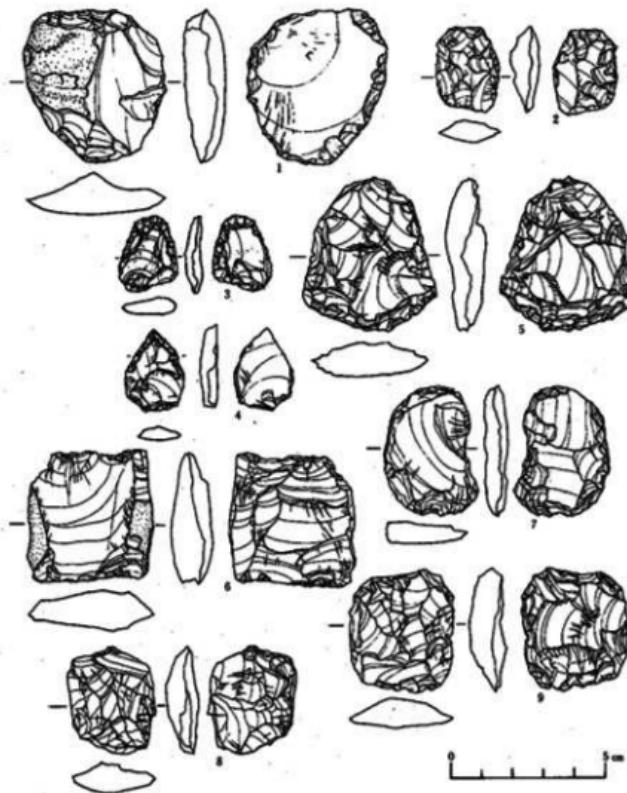
序号	地层	时代	类型	石	长(Lmm)	宽(Wmm)	厚(tmm)	重(g)	说明	采集地点	采集时间	图版编号	页数
1	CLB-25	V	细	石	45.0	35.4	3.6	6.6	直刃刮削器，刮削面长4.7cm。	6007	21-1		
2	CM41-25	V	细	石	37.4	31.2	3.5	5.6	直刃刮削器，刮削面长4.2cm。	6008	21-2		
3	CLB-25	V	细	石	30.7	26.5	3.8	4.8	直刃刮削器，刮削面长3.8cm。	6009	21-3		
4	CL-129-25	V	细	石	30.3	25.5	7.6	5.2	直刃刮削器，刮削面长4.2cm。	6010	21-4		
5	CLB-25	V	细	石	34.1	29.9	3.0	7.2	直刃刮削器，刮削面长3.8cm。	6011	21-5		
6	CL-51-25	V	细	石	30.7	27.4	7.0	6.4	直刃刮削器，刮削面长3.8cm。	6012	21-6		
7	CLB-25	V	细	石	30.4	28.1	4.0	2.7	直刃刮削器，刮削面长3.8cm。	6013	21-7		
8	CM39-25	V	细	石	32.0	31.2	7.0	5.9	直刃刮削器，刮削面长4.2cm。	6014	21-8		
9	CM39-25	V	细	石	31.6	30.3	4.0	2.4	直刃刮削器，刮削面长3.8cm。	6015	21-9		
10	CL-40-25	V	细	石	35.2	34.4	5.2	1.8	直刃刮削器，刮削面长4.2cm。	6016	21-10		

第131图 不定形石器(9)



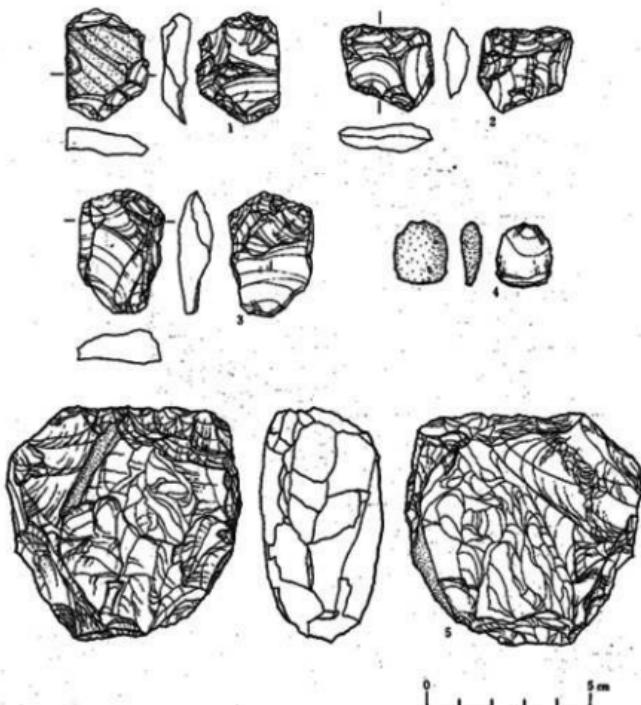
编号	地层·断面	地层	分层	形	长(mm)	宽(mm)	厚(mm)	重(g)	特征	形	地层·断面	地层号	层
1	CM40-35	V	X6	直口深腹盆	45.4	32.2	8.5	7.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CM40-35	4402	II-12
2	CL40-B	V	X6	直口深腹盆	32.0	35.6	7.0	15.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CL40-B	4403	II-12
3	CM40-B	V	X6	直口深腹盆	35.0	45.7	10.0	35.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CM40-B	4405	II-12
4	CL40-B	V	X6	直口深腹盆	51.1	35.6	4.0	3.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CL40-B	4406	II-14
5	CL40-B	V	X6	直口深腹盆	35.5	35.9	11.0	47.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CL40-B	4407	II-12
6	CL40-D	V	X6	直口深腹盆	51.1	45.7	20.0	27.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CL40-D	4408	II-12
7	CL40-D	V	X6	直口深腹盆	50.0	35.4	8.0	5.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CL40-D	4409	II-17
8	CL30-B	V	X6	直口深腹盆	35.0	35.2	3.0	2.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CL30-B	4410	II-12
9	CM40-E	V	X6	直口深腹盆	32.0	35.1	8.4	25.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CM40-E	4411	II-12
10	CM40-B	V	Z6	直口深腹盆	45.0	35.0	14.0	7.0	直口深腹盆	直口深腹盆	CM40-B	4412	II-12

第132图 不规则石器(10)



番号	地質・地層	分類	器	長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	断面形	片	裏	中	側	標本番号	図
1	CLG-3	V	石器	45.7	45.7	12.0	32.5	楕円	片	裏	中	側	101	11
2	CMG-2	V	石器	21.5	20.4	6.4	1.1	不規則	片	裏	中	側	102	11-12
3	CLM-67	V	石器	35.3	35.0	4.5	2.7	楕円	片	裏	中	側	103	11-12
4	CLH-3	V	石器	26.0	25.5	6.0	1.2	楕円	片	裏	中	側	104	11-12
5	CLL-5	V	石器	45.3	45.7	11.2	36.0	楕円	片	裏	中	側	105	11-12
6	CLB-2	V	石器	42.0	40.8	12.5	35.5	楕円	片	裏	中	側	106	11-12
7	CLG-2	V	石器	45.7	45.7	12.0	32.5	楕円	片	裏	中	側	107	11-12
8	CLG-2	V	石器	35.3	35.0	16.0	2.9	楕円	片	裏	中	側	108	11-12
9	CLB-2	V	石器	42.0	40.8	11.2	36.0	楕円	片	裏	中	側	109	11-12

第133図 不定期石器(ビエス・エスキューを含む)(11)



番号	地区・層位	地質	分類	計	高さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	採取場所	測定者	測定番号	寸法
1	CLd-22	V	Y	細 鋸 刃	34.8	25.3	4.7	7.7	不 命	上・下刃のみ	6612	21-30
2	CLd-22	V	Y	細 鋸 刃	26.0	21.0	5.5	6.7	不 命	上刃のみ	6608	21-30
3	CLd-22	V	Y	細 鋸 刃	35.7	25.7	5.2	10.2	不 命	上刃のみ	6610	21-30
4	CLd-22	V	Y	鋸 刃	35.3	25.2	5.4	1.6	無	無	—	21-30
5	CMH-32	V	Y	細 鋸 刃	75.4	71.0	21.1	29.0	不 命	上刃のみ	—	21-30

第134図 不定形石器(ビエス・エスキュー・石核を含む)(12)



番号	地名・施設	分類	石	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	特徴	刀 砍 の 物	発見年月日	目
1	CLE-1-11	石	1m	35.1	31.0	6.5	3.5	直刃打撃石器、m.e. か11	石斧	昭和31-1	1
2	CLE-1-2	石	1m	35.5	33	6.5	4.8	直刃打撃石器	石斧	昭和31-2	2
3	CLE-1-3	石	1m	35.0	37.5	4.5	3.4	直刃打撃石器、バット型らしい	石斧	昭和31-3	3
4	CLE-1-22	石	1m	35.0	35.4	3.0	1.7	直刃打撃石器	石斧	昭和31-4	4
5	CMA-4-7	石	1m	40.0	37.7	6.0	5.5	直刃打撃石器	石斧	昭和31-5	5
6	CLE-1-15	石	1m	35.1	37.5	5.5	3.4	直刃打撃石器	石斧	昭和31-6	6
7	CLE-1-24	石	1m	35.0	35.0	5.5	3.4	直刃打撃石器	石斧	昭和31-7	7
8	CLE-1-30	石	1m	35.0	35.0	5.5	3.4	直刃打撃石器	石斧	昭和31-8	8
9	CLE-1-32	石	1m	35.0	35.0	5.5	3.4	直刃打撃石器	石斧	昭和31-9	9
10	CMA-4-2	石	1m	35.0	37	1.5	2.0	直刃打撃石器	石斧	昭和31-10	10
11	CLE-1-39a	石	1m	35.0	35.5	7.0	4.0	直刃打撃石器	石斧	昭和31-11	11
12	CMA-4-7	石	1m	40.0	34.5	5.5	5.5	直刃打撃石器	石斧	昭和31-12	12

第135図 不定形石器(13)



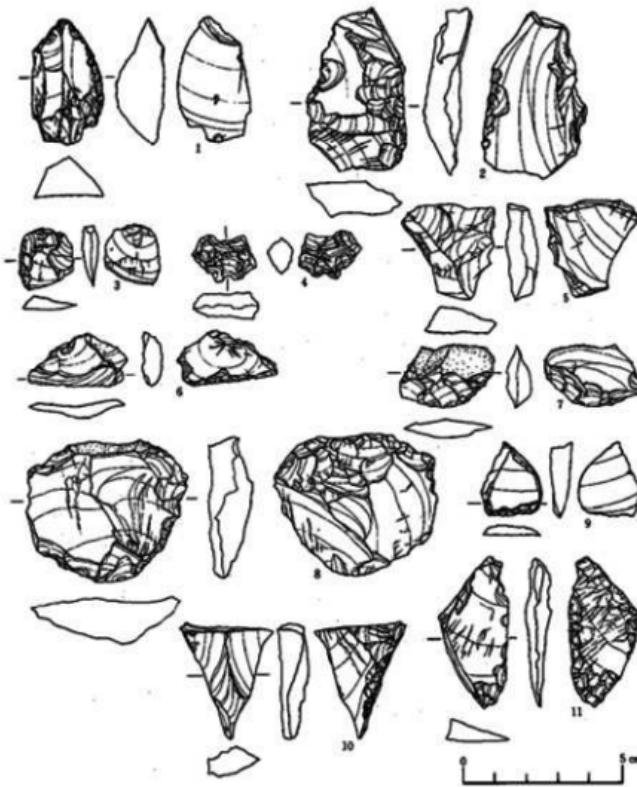
序号	地区·单位	地层	分带	石 种	长 (mm)	宽 (mm)	厚 (mm)	制法	产地	时代	出土地点
1	GL40-22	可	64c	砾 砂 岩	36.7	15.0	3.0	3.1	石·有刃刮削器 II. 上刮削器	III	30-32
2	GL41-14	可	64c	砾 砂 岩	31.7	21.0	3.0	3.0	石·有刃刮削器 II. 上刮削器	III	30-32
3	GL41-20	可	64c	砾 砂 岩	36.0	20.2	3.1	3.0	石·上刮刀. 石·刮削器 II. 刮削器	III	30-32
4	GL40-26a	可	64c	砾 砂 岩	36.5	20.0	3.0	3.0	石·有刃刮削器 II. 上刮削器	III	30-32
5	GL40-26b	可	64c	砾 砂 岩	40.2	31.1	3.0	3.0	石·上刮刀. 石·刮削器 II. 刮削器	III	30-32
6	GL41-24	可	64c	砾 砂 岩	29.2	23.0	4.2	3.4	石·上刮刀. 石·刮削器 II. 刮削器	III	30-32
7	GL40-29	可	IPb	砾 砂 岩	31.0	21.0	3.0	3.0	石·刮削器 II. 刮削器	III	30-32
8	GL40-30	可	IPb	砾 砂 岩	36.0	26.0	3.0	3.4	石·刮削器 II. 刮削器	III	30-32
9	GL40-30	可	V	砾 砂 岩	36.7	25.0	3.2	3.6	石·上·刮削器 II. 刮削器	III	30-32
10	GL40-30	可	V	砾 砂 岩	37.6	25.0	3.0	3.2	石·有刃刮削器 II. 刮削器	III	30-32

第136图 不定形石器(14)



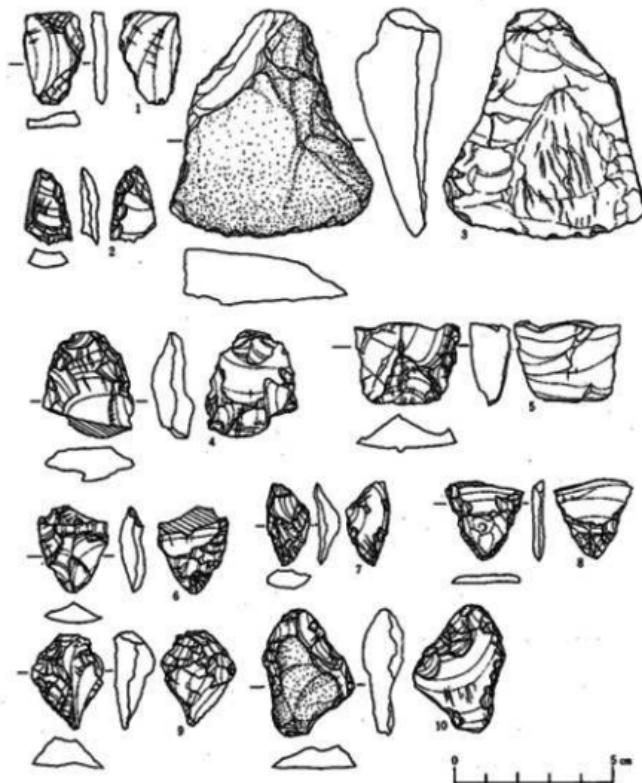
編號	地點・層位	形態	片數	長	寬	厚	高(毫米)	寬(毫米)	厚(毫米)	重(克)	說明	刀	斧	錐	鑿	鉤	器
1	CL46-22	W	1a	石	扁	寬	石	24.5	20.0	2.2	5.0	鋸	直	上	下	石	器
2	CH39-27	W	1b	石	扁	寬	石	21.7	23.0	2.6?	5.1	鋸	直	上	石	石	器
3	CL39-28	W	1c	石	扁	寬	石	20.5	26.0	2.0	5.5	2	鋸	直	上	石	器
4	CL41-19-15	W	1d	石	扁	寬	石	20.0	25.0	4.8	5.5	鋸	直	上	石	石	器
5	CL46-25	W	2a	石	扁	寬	石	24.5	28.0	3.0	8.0	鋸	直	下	石	石	器
6	CL46-25	W	2b	石	扁	寬	石	20.0	21.5	2.0	5.7	鋸	直	上	石	石	器
7	CL41-7	W	1e	石	扁	寬	石	20.0	21.1	2.0	5.5	鋸	直	上	石	石	器
8	CL41-2	W	2c	石	扁	寬	石	20.0	26.0	1.8	4.2	鋸	直	上	石	石	器
9	CL41-10	W	2d	石	扁	寬	石	20.4	25.0	2.0	5.0	鋸	直	上	石	石	器
10	CL41-10	W	2e	石	扁	寬	石	20.1	20.3	2.0	5.0	鋸	直	上	石	石	器
11	CL40-35	W	2f	石	扁	寬	石	20.6	27.0	2.0	5.0	鋸	上	石	下	石	器
12	CL40-35	W	2g	石	扁	寬	石	20.4	25.1	2.2	5.2	鋸	直	上	石	石	器
13	CL41-9	W	2h	石	扁	寬	石	20.0	23.0	1.6	3.2	鋸	直	上	石	石	器
14	CL41-9	W	2i	石	扁	寬	石	20.0	23.0	1.6	3.2	鋸	直	上	石	石	器
15	CL41-9	W	2j	石	扁	寬	石	20.0	23.0	1.6	3.2	鋸	直	上	石	石	器

第137圖 不定形石器(15)



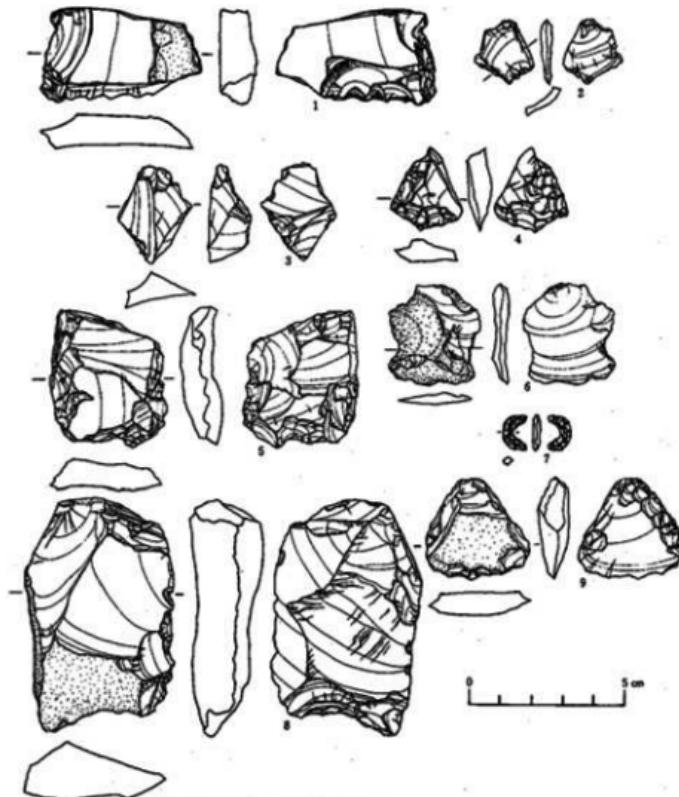
序号	地层	时代	类型	长	宽	厚	石种	标本号	产地	时代	类型	长	宽	厚	石种	标本号
1	CL40-1	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.2	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.1
2	CL40-2	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.1	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.2
3	CL40-3	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.2	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.1
4	CL40-4	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.3	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.2
5	GM40-1	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.4	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.3
6	CL40-5	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.5	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.4
7	GM40-2	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.6	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.5
8	CL40-6	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.7	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.6
9	CL40-7	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.8	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.7
10	CL40-8	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.9	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.8
11	CL40-9	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL1.0	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL0.9
12	CL40-10	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL1.1	SL	晚	刮削器	2.6	1.6	0.6	石英	SL1.0

第138图 不定形石器(16)



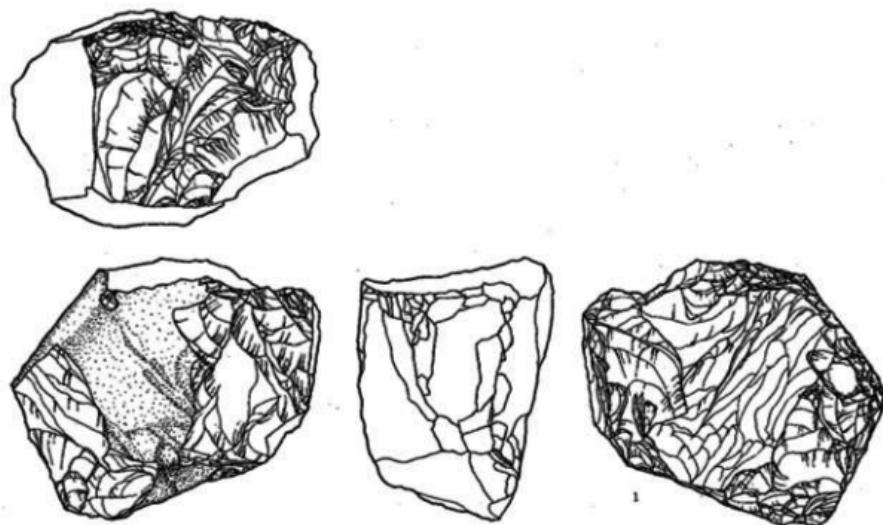
器名	地點・層位	特徴	形質	石	材	長(Lmm)	幅(Wmm)	厚(Tmm)	測量尺寸		測量部位	測量方法	標本號	圖
									長(L)	寬(W)				
1	CM-BI-36	■	1a.	石	圓錐形	35.5	12.0	4.0	1.8	1.8	頂部	直立等分法, 直立等分法	600	3-7
2	CM-BI-37	■	2a.	石	圓錐形	36.5	12.5	5.4	3.0	3.0	頂部	直立等分法, 丁字形等分, 直立等分法	601	3-8
3	CM-BI-40	■	3a.	石	圓錐形	16.3	11.4	10.5	8.5	8.5	頂部	直立等分法, 丁字形等分, 7段等分	602	3-9
4	CM-BI-21-2	■	4a.	石	圓錐形	36.0	12.0	10.5	10.2	10.2	頂部	直立等分法, 丁字形等分, 直立等分法	603	3-10
5	CL-BI-21-3	■	5a.	石	圓錐形	36.5	20.0	10.0	8.0	8.0	頂部	直立等分法, 直立等分法, 5段等分	604	3-11
6	CL-BI-22	■	6a.	石	圓錐形	37.2	21.6	12.0	10.0	10.0	頂部	直立等分法, R-直立等分法	605	3-12
7	CL-BI-40	■	7a.	石	圓錐形(底盤)	35.7	12.7	8.0	6.0	6.0	頂部	R-直立等分法	606	3-13
8	CM-BI-27	■	8a.	石	圓錐形	35.2	8.0	8.0	2.0	2.0	頂部	直立等分法, R-直立等分法	607	3-14
9	CM-BI-38	■	9a.	石	圓錐形	35.2	10.4	14.1	10.7	10.7	頂部	R-直立等分法	608	3-15
10	CM-BI-21-A	■	10a.	石	圓錐形	40.1	24.4	7.0	3.0	3.0	頂部	R-直立等分法	609	3-16

第139圖 不定形石器(17)



号	地名 - 地层	地层 分布	石	形	长mm	宽mm	厚mm	重g	性状	刀	中	有	标本号	图
1	CH40-15	石	石	石	15.9	10.7	3.0	8.5	刃口	二	刃	无	CH40-15	1-27
2	CH40-5	石	石	石	25.0	10.7	2.0	1.1	刃口	三	刃	无	CH40-5	3-35
3	CH40-4	石	石	石	25.5	10.0	2.0	1.0	刃口	四	刃	无	CH40-4	4-35
4	CH40-6	石	石	石	25.0	9.0	2.0	0.8	刃口	五	刃	无	CH40-6	5-35
5	CH40-25	石	石	石	25.0	10.7	1.0	5.7	刃口	六	刃	无	CH40-25	6-35
6	CH40-6	石	石	石	25.0	10.7	1.0	5.7	刃口	七	刃	无	CH40-6	7-35
7	CH40-25	石	石	石	25.0	10.7	1.0	5.7	刃口	八	刃	无	CH40-25	8-35
8	CH40-6	石	石	石	25.0	10.7	1.0	5.7	刃口	九	刃	无	CH40-6	9-35
9	CH40-25	石	石	石	25.0	10.7	1.0	5.7	刃口	十	刃	无	CH40-25	10-35
10	CH40-5	石	石	石	11.2	8.8	2.0	0.68	刃口	十一	刃	无	CH40-5	11-35
11	CH40-5	石	石	石	16.4	10.5	3.0	3.2	刃口	十二	刃	无	CH40-5	12-35
12	CH40-2	石	石	石	25.0	10.7	1.0	5.7	刃口	十三	刃	无	CH40-2	13-35

第140图 不定形石器(18)



器名	地質・層位	地圖	分類	石	形	厚 (mm)	幅 (mm)	周長 (mm)	重 (g)	備考	刀	標	出所	備考
1	CLII-3	■	石	核	石	8.0	10.2	40.0	450.0	—	—	—	—	—

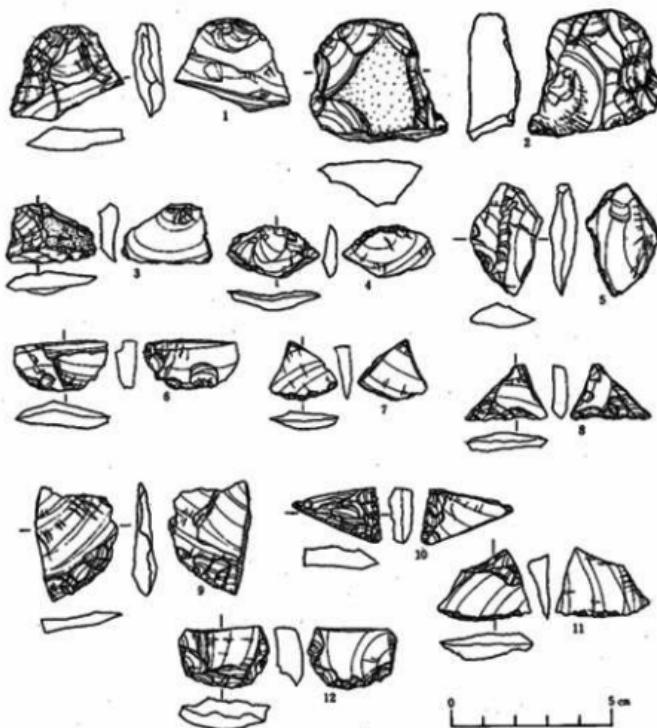


第141図 不定期石器(石核) (19)



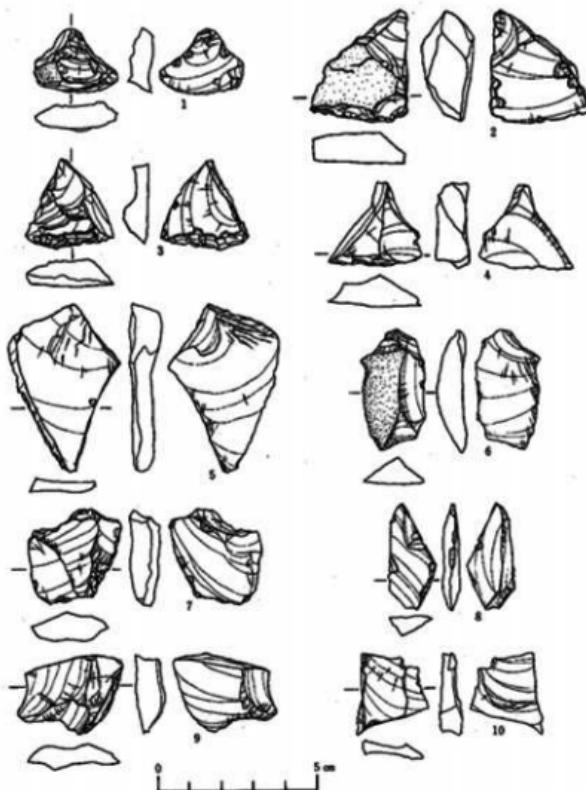
序号	地层 - 层位	地层	分型	石器	高(mm)	宽(mm)	厚(mm)	重(g)	断面形状	方 圆 中 形	编号	图 号
1	CL47-4# 不锈	不绣	1a <sub>1</sub>	块 破 壁 破	25.1	16.1	7.4	3.4	梯	方	CL47-4#不绣二	34-1
2	DB36-2 不锈	不绣	1a <sub>2</sub>	直	46.2	25.9	6.8	15.8	梯	圆	DB36-2不绣二	34-2
3	CL47-2 不锈	不绣	1a <sub>3</sub>	块 破 壁 破	40.1	15.6	4.1	1.6	梯	下圆顶破(双刃), 断面圆	34-3	
4	C536-1 不锈	不绣	1a <sub>4</sub>	直	31.9	18.5	4.0	2.3	梯	下圆顶, 双刃断面圆	34-4	
5	DB36-2 不锈	不绣	1a <sub>5</sub>	块 破 壁 破	30.2	22.8	8.9	4.4	梯	直断面, 双刃断面圆	34-5	
6	DB36-3 不锈	不绣	1a <sub>6</sub>	块 破 壁 破	30.7	6.8	2.1	0.7	梯	直断面, 双刃断面圆, 断面圆内	34-6	
7	CP47-3 不锈	不绣	1a <sub>7</sub>	直	20.1	16.6	4.3	2.1	梯	上、下圆, 下圆断面, 断面圆内	34-7	
8	DB36-1 不锈	不绣	1a <sub>8</sub>	直	20.5	9.4	3.2	1.6	梯	直, 断面圆, 上圆断面圆	34-8	
9	DB36-4 不锈	不绣	1a <sub>9</sub>	直	23.2	6.5	4.1	1.3	梯	上圆断面, 直断面圆	34-9	
10	CM47-3 铁	铁	1a <sub>10</sub>	直	20.0	6.9	3.0	1.5	梯	直, 断面圆, 断面圆内	34-10	

第142图 不定形石器(20)



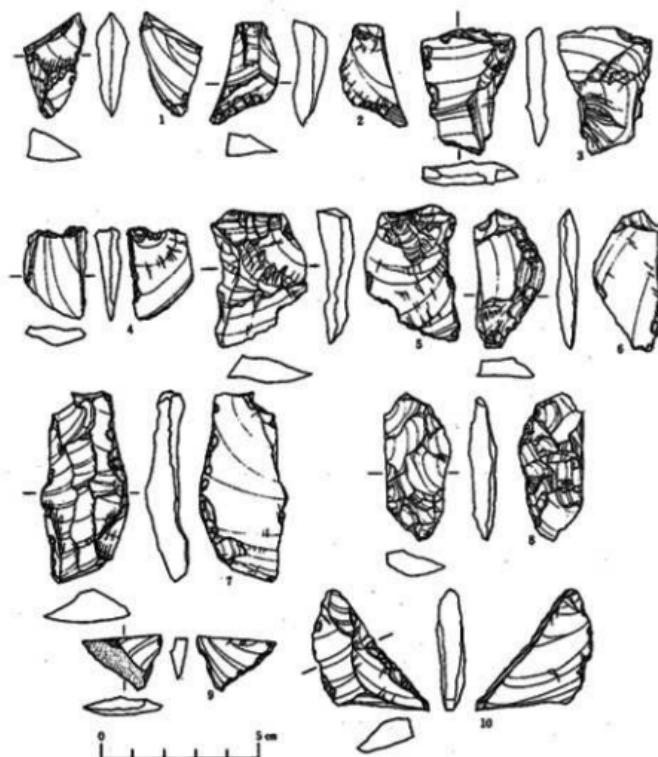
编号	地层·层位	地层	位置	石器种类	长(cm)	宽(cm)	厚(g)	材料特征	形制	用途
1	D3层-2	下层	1m	刮削器	30.7	10.4	7.0	黑	直刃刮削器, 断面磨制双刃	刮削
2	CH4层-2	下层	1m	刮削器	35.0	16.7	36.0	黑	直刃刮削器, 断面磨制双刃, 直刃毛面	刮削
3	DF3层-2	下层	1m	刮削器	35.4	13.0	7.2	黑	直刃刮削器, 断面磨制双刃	刮削
4	CH3层-2	下层	1m	刮削器	36.5	20.1	4.5	黑	直刃刮削器	刮削
5	CL3层-2	下层	1m	刮削器	36.6	17.7	5.6	黑	直刃刮削器	刮削
6	CH4层-3	下层	1m	刮削器	36.6	18.0	5.7	黑	直刃刮削器	刮削
7	CH4层-3	下层	1m	刮削器	36.6	18.0	5.7	黑	直刃刮削器, 断面磨制双刃	刮削
8	DF3层-3	下层	1m	刮削器	37.0	20.5	5.5	黑	直刃刮削器, 断面磨制双刃	刮削
9	CH4层-5	下层	1m	刮削器	37.0	20.5	5.5	黑	直刃刮削器, 断面磨制双刃	刮削
10	CH4层-5	下层	1m	刮削器	37.1	20.6	5.5	黑	直刃刮削器, 直刃毛面	刮削
11	CL3层-3	下层	1m	刮削器	37.4	20.6	5.5	黑	直刃刮削器, 断面磨制双刃	刮削
12	DF3层-3	下层	1m	刮削器	37.4	20.6	5.5	黑	直刃刮削器, 断面磨制双刃	刮削

第143图 不定形石器(21)



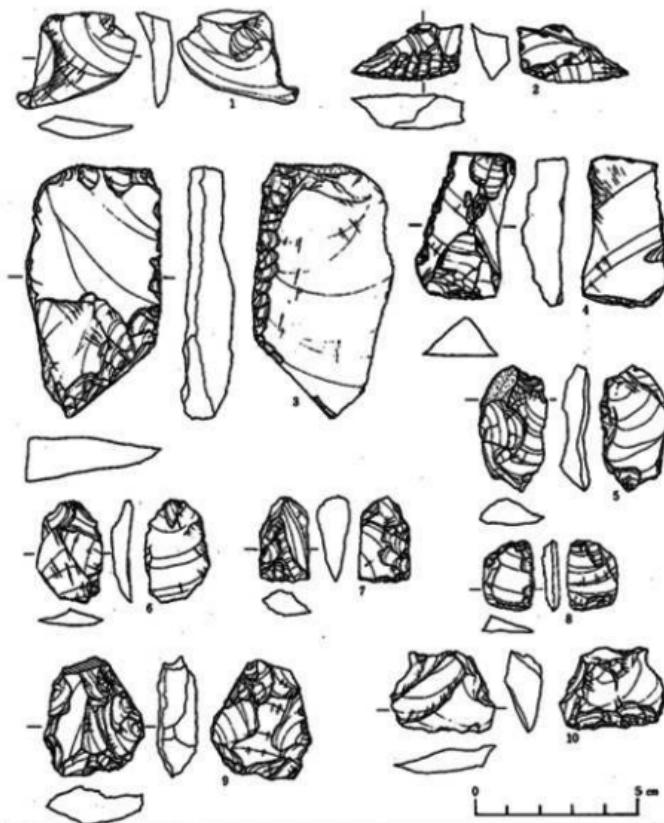
編號	地點	地層	形狀	石種	長	寬	厚	重量(g)	說明	刀	石	標本號	圖
1	CQH-2	不等	1a	圓錐形	21.1	10.1	4.1	4.1	直刃形, 下部有敲打面			078	24-21
2	CLM-2	不等	1m	圓錐形	26.0	10.0	3.7	7.5	直刃形, 下部有敲打面			085	24-26
3	ATB-2	不等	1m	圓錐形	26.5	21.5	7.0	6.3	直刃形, 有敲打面			089	24-25
4	CLM-2	不等	1m	圓錐形 (帶刃)	21.0	20.0	8.2	5.7	直刃形, 下部有敲打面			088	24-26
5	CLM-2	不等	1n	圓錐形 (帶刃)	26.5	11.0	4.0	11.8	直刃形, 下部有敲打面			084	24-27
6	CLM-2	不等	1n	圓錐形 (帶刃)	26.5	10.0	4.4	5.1	直刃形, 下部有敲打面			079	24-28
7	CMQ-2	不等	1b	圓錐形	30.1	14.2	7.0	8.1	直刃形			080	24-29
8	ATB-2	不等	1b	圓錐形	25.5	10.4	5.1	12.7	直刃形			083	24-30
9	CLM-2	不等	1b	圓錐形	26.5	16.0	7.0	6.1	直刃形, 上部有敲打面			087	24-31
10	CKH-2	不等	1b	圓錐形	26.0	16.0	6.2	3.4	直刃形, 下部有敲打面			079	24-32

第144圖 不定形石器(22)



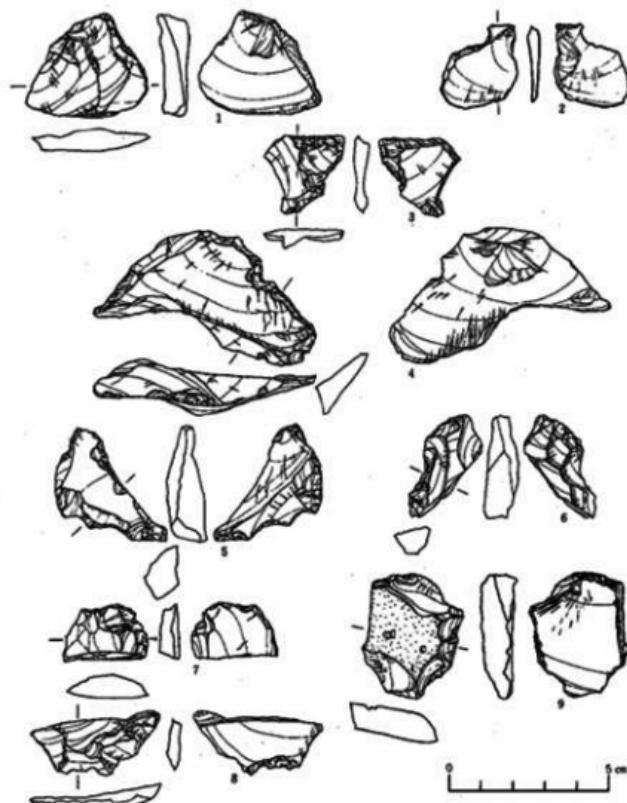
器号	地层・埋藏	形態	分類	石	厚	寬	長	高	寬/長	厚/長	厚/寬	形狀	說明	地層	層位
1	C4(4)-1	尖状	1m	燧	薄	窄	長	0.5	0.6	4.5	8.0	三棱形尖状器，有敲打痕迹。刮削器	Q11	34-22	
2	C4(4)-4	尖状	1m	燧	薄	窄	長	0.6	0.7	6.0	10.0	三棱形尖状器，有敲打痕迹。刮削器	Q10	34-22	
3	C4(4)-7	矛状	2m	燧	厚	寬	長	0.1	0.6	7.4	9.5	矛状器，有敲打痕迹。刮削器	Q12	34-22	
4	C4(4)-1	尖状	2m	燧	薄	窄	長	0.5	0.6	4.0	6.0	三棱形尖状器，有敲打痕迹。刮削器	Q10	34-22	
5	C4(4)-2	尖状	2m	燧	薄	窄	長	0.5	0.6	4.0	6.0	三棱形尖状器，有敲打痕迹。刮削器	Q10	34-22	
6	C4(4)-3	尖状	2m	燧	薄	窄	長	0.5	0.6	4.0	6.0	三棱形尖状器，有敲打痕迹。刮削器	Q10	34-22	
7	D4(4)-1	尖状	1m	燧	薄	窄	長	0.5	0.6	4.0	6.0	三棱形尖状器，有敲打痕迹。刮削器	Q10	34-22	
8	D4(4)-2	尖状	1m	燧	薄	窄	長	0.5	0.6	4.0	6.0	三棱形尖状器，有敲打痕迹。刮削器	Q10	34-22	
9	A1(2)-3	矛状	1m	燧	厚	寬	長	0.5	0.6	3.0	5.0	矛状器，有敲打痕迹。刮削器	Q12	34-22	
10	B	矛状	1m	燧	厚	寬	長	0.7	0.4	3.8	5.0	矛状器，有敲打痕迹。刮削器	Q12	34-22	
11	B(2)-2	矛状	1m	燧	厚	寬	長	0.7	0.4	3.8	5.0	矛状器，有敲打痕迹。刮削器	Q12	34-22	
12	C4(4)-2	矛状	2m	燧	厚	寬	長	0.5	0.6	7.8	10.0	矛状器，有敲打痕迹。刮削器	Q10	34-22	

第145圖 不定形石器(23)



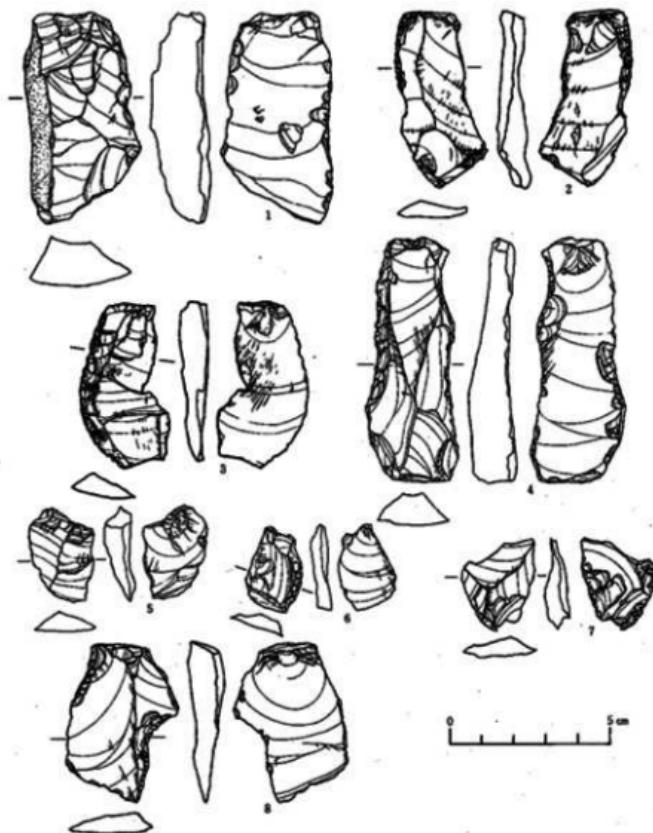
号数	地名・層位	性質	分類	石種	長(Width)	幅(Area)	厚(Thickness)	重さ(g)	断面形状	方解石付着	鉱物番号	記
1	CMG-1	不明	石器	石器	20.2	28.0	1.5	0.2	圓	是 北山 - 下段地層。厚度1cm。	0000	30-1
2	DBR-2	不明	石器	石器	27.1	28.5	1.8	0.6	次	丁家河剖面II下段之名古屋帶地層上段。	0000	30-2
3	CLB-3	不明	石器	石器	19.2	4.5	13.2	45.0	次	五郎井 - 上段地層。下段之名古屋帶地層上段。	0000	30-3
4	CLB-4	不明	石器	石器	46.5	34.2	15.2	13.5	圓	北山 - 下段地層上段。	0000	30-4
5	CLB-5	不明	石器	石器	29.3	39.0	6.0	6.4	次	五郎井 - Y2. 500-150cm	0000	30-5
6	DBR-3	不明	石器	石器	25.1	36.0	5.5	2.8	次	丁家河Y3. 700-500cm, m.4. 5.	0000	30-6
7	CMG-7-2	不明	石器	石器	31.1	35.0	7.8	8.2	次	是 北山 - 下段地層。下段之名古屋帶地層上段。	0000	30-7
8	CLB-6-2	不明	石器	石器	1.5	15.7	1.5	1.8	次	五郎井 - 上段地層上段。	0000	30-8
9	CMG-8-2	不明	石器	石器	41.4	34.2	12.0	14.0	次	是 北山 - 下段地層上段。	0000	30-9
10	CLB-9-12	不明	石器	石器	5.7	21.0	7.0	7.2	次	是 北山 - 下段地層上段。	0000	30-10

第146図 不定期石器(24)



编号	地层·地点	地层	分层	石器	长(mm)	宽(mm)	厚(mm)	重(g)	说明	刀	石器号	图
1	CLQ-25	下层	2m	刮削器	32.0	37.0	7.5	9.5	单面刮削器, 下边缘有敲打痕。	—	560	25-11
2	CMD-2	下层	2m	刮削器	34.8	34.8	6.0	1.9	单面刮削器, 下边缘有敲打痕, Y形断面。	—	561	25-12
3	DDH-36	下层	2m	刮削器	34.0	35.0	6.0	2.3	单面刮削器, 内边缘有敲打痕。	—	562	25-13
4	CMD-1	下层	2m	刮削器	32.0	33.5	6.0	2.6	Y形, 单面刮削器。	—	563	25-14
5	DFR-1	下层	2m	刮削器	32.0	31.7	5.0	9.4	单面刮削器, 钝圆, 上边缘有敲打痕, 内边缘有敲打痕。	—	564	25-15
6	DDH-2	下层	2m	刮削器	32.0	32.0	5.0	4.9	单面刮削器, 双刃形, 上边缘有敲打痕。	—	565	25-16
7	DDH-3	下层	2m	刮削器	32.0	32.0	5.0	4.9	单面刮削器, 上边缘有敲打痕。	—	566	25-17
8	CED-2	下层	2m	刮削器	32.0	41.5	11.4	3.8	Y形, 单面刮削器, 下边缘有敲打痕, 内边缘有敲打痕。	—	567	25-18
9	DEM-4	下层	2m	刮削器	32.2	36.5	9.5	14.0	双刃形, 锐利, Y形断面。	—	568	25-19

第147图 不整形石器(25)



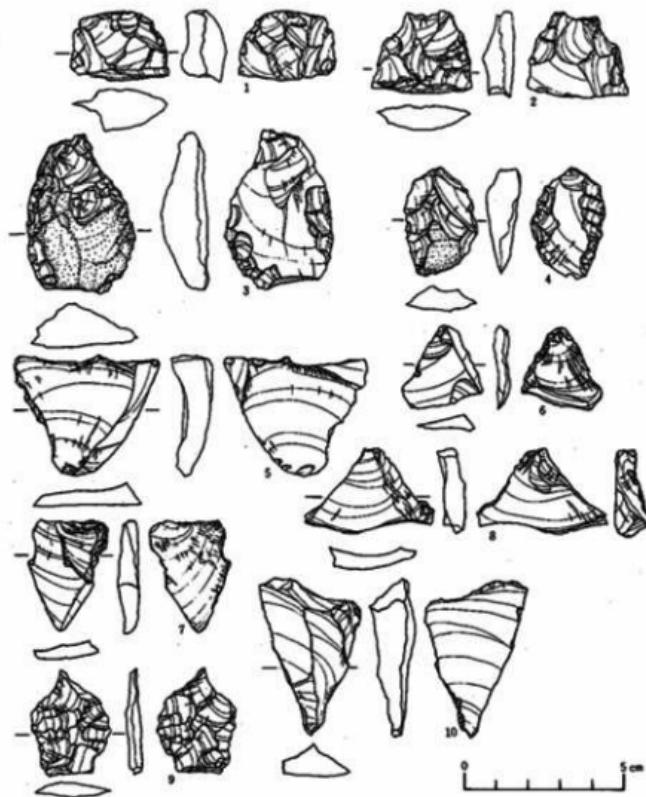
序号	地名·遗址	号数	分属	石 材	高(毫米)	宽(毫米)	厚(毫米)	重(克)	断面特征	方 面 的 特 征	编号	图
1	CMB40-2	2	石 破	石英岩	36.2	21.5	4.0	41.2	磨	直刃刮削器, 右边有敲打痕迹	6020	21-20
2	CMB41-2	2	石 破	石英岩	32.7	44.5	6.7	12.0	磨	直刃刮削器, 右边有敲打痕迹	6020	21-21
3	CMB40-1	2	石 破	石英岩	31.0	26.0	6.0	9.2	磨	直刃刮削器, 右边有敲打痕迹	6020	21-22
4	BQD33-1	2	石 破	石英岩	31.0	23.4	10.0	28.1	磨	直刃刮削器, 右边有敲打痕迹	6020	21-23
5	ATD3-2	2	石 破	石英岩	36.0	18.0	5.5	4.0	磨	直刃刮削器, 右边有敲打痕迹	6020	21-24
6	CPF4-2	2	石 破	石英岩	32.0	21.5	4.0	5.5	磨	直刃刮削器, 右边有敲打痕迹	6020	21-25
7	CEG40-4	2	石 破	石英岩	35.0	29.0	6.0	4.0	磨	直刃刮削器, 右边有敲打痕迹	6020	21-26
8	CEG40-1	2	石 破	石英岩	31.1	36.0	6.2	15.4	磨	直刃刮削器, 右边有敲打痕迹	6020	21-27

第148图 不定形石器(26)



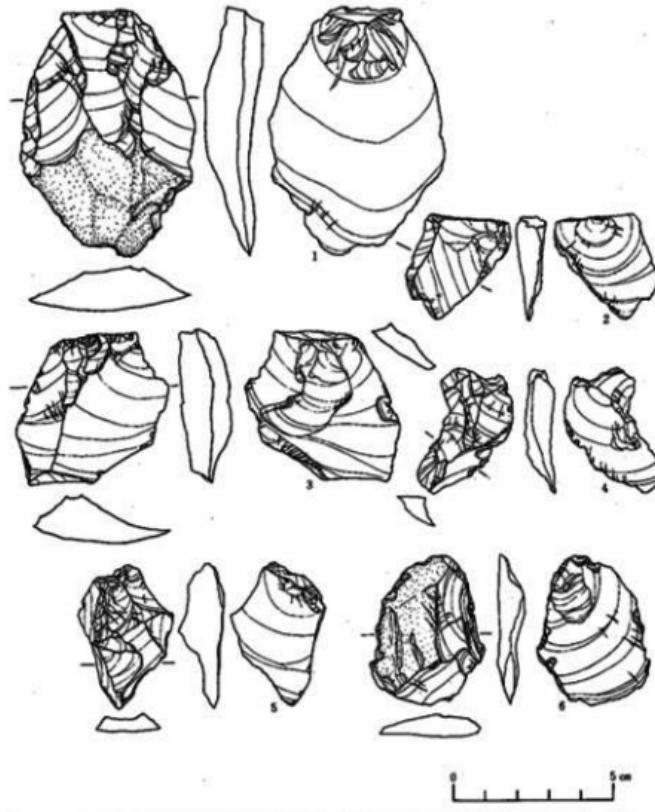
号	地层·单位	特征	分组	石	料	长(毫米)	宽(毫米)	厚(毫米)	重(g)	说明	石器名	标本号	图
1	CKH-1	2h	2h	砾	石	32.4	11.0	6.0	0.3	刮削器	刮·砾石刮削器	461	2-15
2	CQH-2	2h	2h	砾	石	32.0	14.0	3.7	2.0	刮削器	砾石刮削器	5010	2-19
3	砾	砾	砾	砾	砾	36.4	9.0	5.0	5.1	刮削器	砾石刮削器	5077	2-30
4	BCM-1	2h	2h	砾	石	31.2	16.0	6.0	5.3	刮削器	砾石刮削器	5140	2-31
5	CMB-1	2h	2h	砾	石	32.0	15.5	6.0	5.3	刮削器	砾石刮削器	5226	2-32
6	CMB-1	2h	2h	砾	石	40.0	20.0	7.4	10.0	刮削器	砾石刮削器	5281	2-33
7	CKH-1	2h	2h	砾	石	32.0	22.1	6.0	5.8	刮削器	砾石刮削器	5315	2-34
8	CKH-2	2h	2h	砾	石	32.0	23.7	6.1	3.0	刮削器	砾石刮削器	5320	2-35
9	CKH-1	2h	2h	砾	石	32.0	15.5	3.5	5.1	刮削器	砾石刮削器	5326	2-36
10	CPH-2	2h	2h	砾	石	36.4	15.0	6.7	5.0	刮削器	砾石刮削器	5330	2-37
11	CKH-2	2h	2h	砾	石	36.0	17.0	6.0	2.0	刮削器	砾石刮削器	5341	2-38
12	BDH-1	2h	2h	砾	石	35.8	20.0	5.4	4.0	刮削器	T形刮削器	5344	2-39
13	CKH-14	2h	2h	砾	石	31.5	23.2	5.5	6.0	刮削器	T形刮削器	5349	2-41

第149图 不定形石器(27)



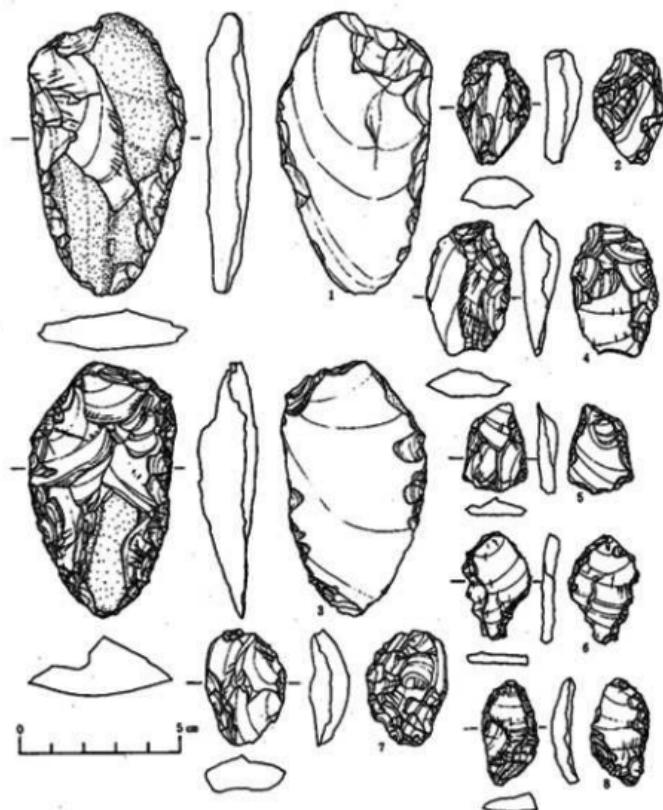
編號	地點・地層	形狀	直 徑 (mm)	厚 度 (mm)	重 量 (g)	材 質	工 作 手 段	註 記	
1	DG-II-2 不 明	石 核 器	22.7	10.8	6.9	木 質	下凹刮削、反-凸凹刮削和敲打	2520 36-2	
2	CG-II-2 不 明	石 核 器	21.2	10.5	7.7	6.6	下凹刮削、反-凸凹刮削和敲打	2570 36-2	
3	CL-II-8 不 明	石 核 器	31.0	20.0	12.7	21.4	敲 打-凹凸刮削和敲打、敲打和敲打	2600 36-2	
4	CM-II-7 不 明	石 核 器	31.0	20.4	9.2	6.5	敲 打-凹凸刮削和敲打、敲打和敲打	2620 36-2	
5	CO-II-1 不 明	石 核 器	30.4	16.0	12.0	6.6	凹 凸刮削和敲打、敲打和敲打	2640 36-2	
6	DD-II-2 不 明	石 核 器	30.2	17.0	4.8	2.4	凹 凸刮削和敲打、敲打和敲打	2650 36-2	
7	CM-II-25 不 明	石 核 器(穿孔器)	31.0	25.4	6.8	4.8	穿 孔	凹凸刮削和敲打、敲打和敲打	2670 36-2
8	CG-II-10 不 明	石 核 器	27.1	5.4	5.4	5.6	凹 凸刮削和敲打、敲打和敲打	2690 36-2	
9	EM 不 明	石 核 器	30.0	20.0	4.5	3.8	反-凸 凹刮削和敲打	2700 36-2	
10	CK-II-4 不 明	石 核 器	30.0	20.0	10.1	6.7	反-凸凹刮削和敲打	2720 36-2	

第150圖 不定形石器(28)



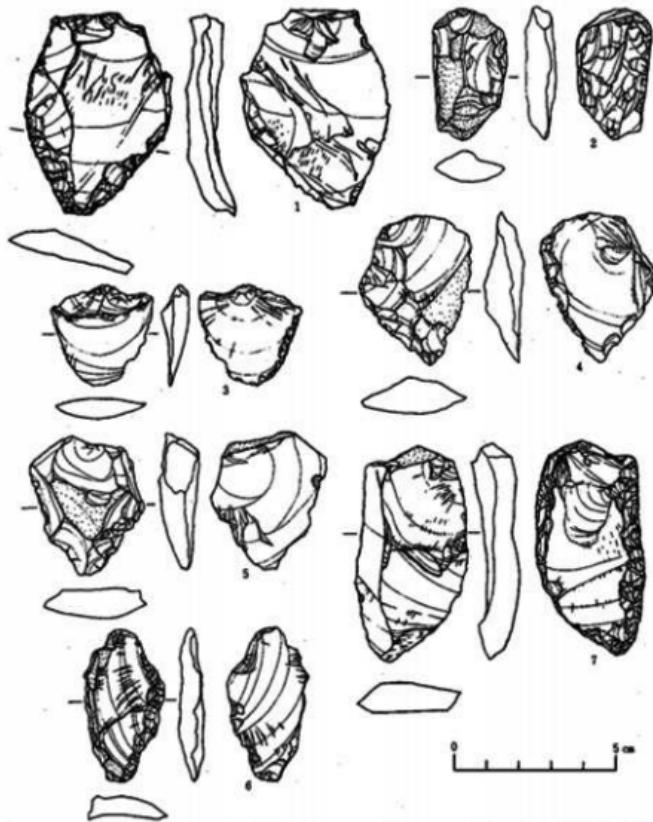
番号	地層・場所	地層	分類	形 式	大きさ(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	質地	方 向	特 徴	標本番号	圖 版
1	CX 41-2	35-10	Eto	細 長 形	19.3	3.6	15.7	中 堅	直立打撲。直立上斜打撲。下斜立打撲。	0778	図-11	
2	SDP 21+	35-10	Eto	細 長 形	31.0	2.4	5.7	中 堅	直立打撲。直立上斜打撲。	0779	図-12	
3	CX 39-2	35-10	Eto	細長形の包裏石核	49.3	6.2	14.3	中 堅	直立上斜打撲。下斜立打撲。直立打撲。	0780	図-13	
4	CX 41-4	35-10	Eto	細 長 形	30.0	2.1	8.6	中 堅	直立上斜打撲。	0781	図-14	
5	GL-M-(2)	35-10	Eto	細 長 形	45.6	3.1	12.0	中 堅	直立打撲。	0782	図-15	
6	CX 41-1	35-10	Eto	細長形の包裏石核	32.4	2.5	11.2	中 堅	直立打撲。	0783	図-16	

第151図 不定形石器(29)



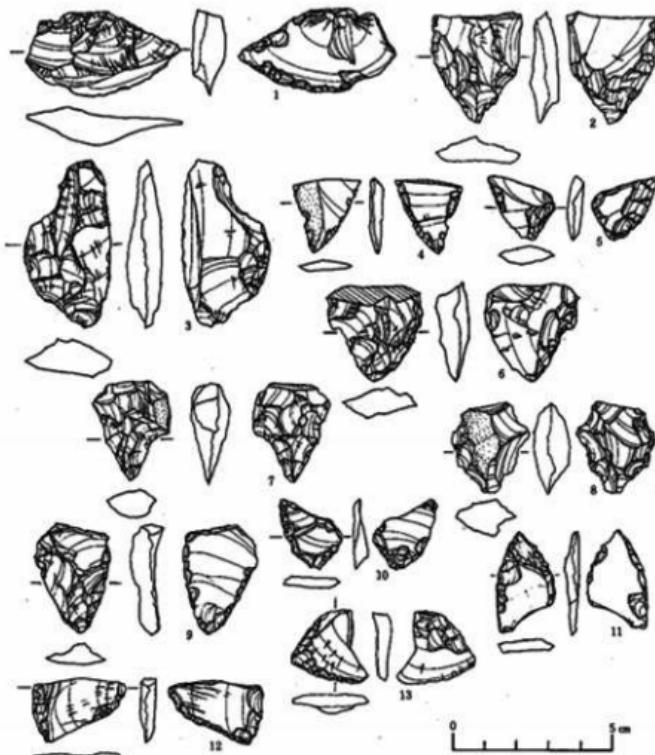
器号	地层	时代	分型	特征	长 (mm)	宽 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	附录	器名	器号	地层
1	CH-34-1-1	不明	石核	单面剥片	57.5	46.3	22.2	86.7	石核	直刃刮削器(细打制)、直刃刮削器(粗打制)	CH1	36-27
2	CH-35-42	不明	石核	单面剥片	56.5	31.4	9.7	8.8	石核	直刃刮削器(细打制)	CH2	36-12
3	CH-40-5	不明	石核	单面剥片	46.0	44.6	22.0	29.5	石核	直刃刮削器(粗打制)	CH3	36-19
4	CH-47-3	石	石核	单面剥片	41.0	31.4	9.8	92.0	石核	直刃刮削器、中等厚度(HM2)	CH4	36-35
5	CH-47-24	石	石核	单面剥片	37.7	38.2	5.4	2.0	石核	直刃刮削器、直刃刮削器、直刃刮削器(HM2)	CH5	36-21
6	CH-47-1	石	石核	单面剥片	32.5	34.4	5.3	2.1	石核	直刃刮削器、直刃刮削器、直刃刮削器(HM2)	CH6	36-22
7	CH-47-30	石	石核	单面剥片	32.5	36.0	10.8	5.0	石核	直刃刮削器、直刃刮削器	CH7	36-13
8	CH-47-2	石	石核	单面剥片	31.1	37.0	5.6	3.7	石核	直刃刮削器、直刃刮削器、直刃刮削器(HM2)	CH8	36-24

第152圖 不定期石器(30)



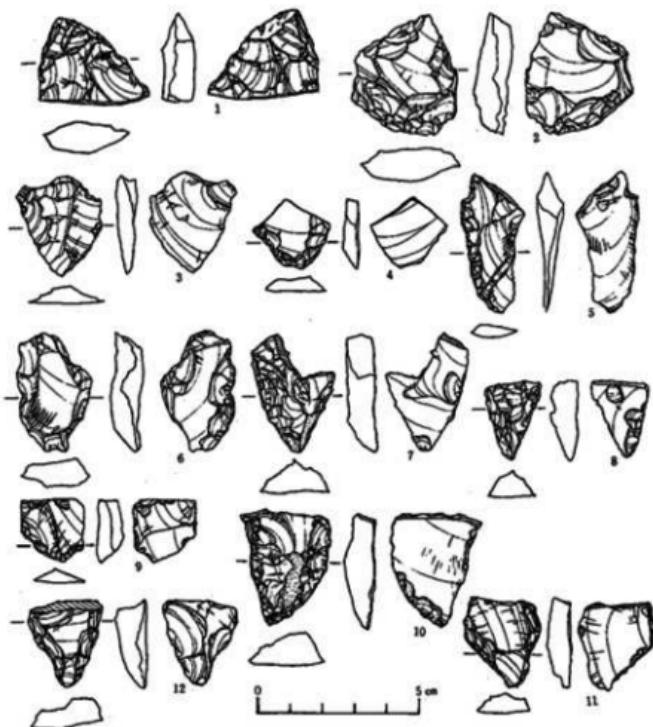
器号	地名	层位	分组	石	料	高(Hmm)	宽(Wmm)	厚(Tmm)	重(Pg)	断面形状	刀部	中	母器	使用符号	器类
1	CMB-9805	河 岸	X4a	黑	黑	53.5	23.5	6.0	26.4	梯	直	直	直	直	刮削器
2	DH-38-2	河 岸	X4a	黑	黑	41.1	25.7	5.5	12.2	平	直	直	直	直	刮削器
3	CMB-41-11	河 岸	X4a	黑	黑	31.0	20.1	6.0	9.8	梯	直	直	直	直	刮削器
4	CMB-41-12	河 岸	X4a	黑	黑	45.9	20.7	5.5	15.2	梯	直	直	直	直	刮削器
5	CMB-41-2	河 岸	X4a	黑	黑	45.0	22.0	5.4	15.2	梯	直	直	直	直	刮削器
6	CMB-41-3	河 岸	X4a	黑	黑	47.0	22.5	7.8	17.7	梯	直	直	直	直	刮削器
7	CMB-41-4	河 岸	X4a	黑	黑	46.0	24.0	5.0	15.2	梯	直	直	直	直	刮削器

图153图 不定形石器(31)



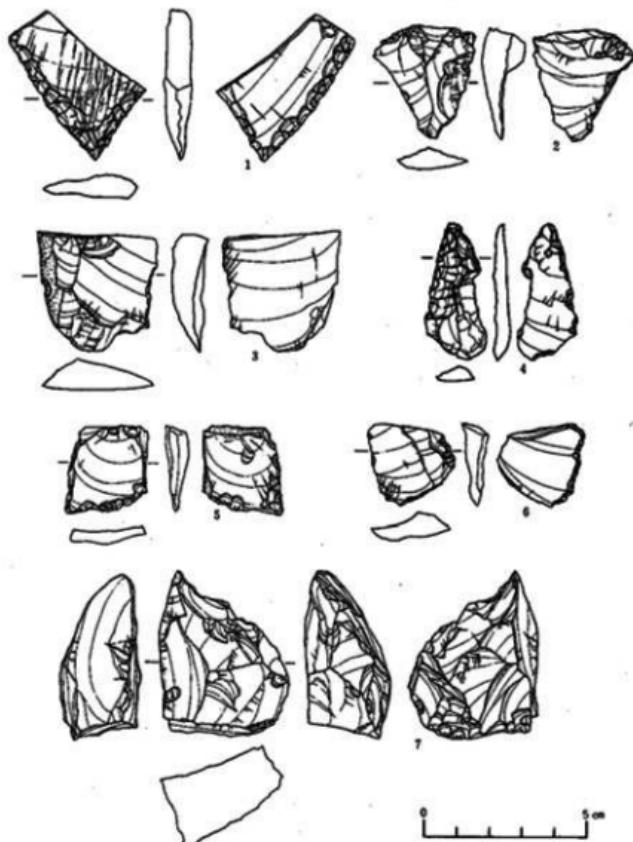
编号	地层 - 遗址	地层	分层	石	标	长(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重(克)	断面片	月	日	年	标本号	地
1	C1 破 - 2 不	26.	26. 破 石	36.4	46.9	35.8	9.7	5.7	5.7	上刃圆弧, 下刃直而钝	10	27	- 1	AMH	37 - 1
2	C1 破 - 不	26.	26. 破 石	36.7	39.5	7.8	9.8	5.7	5.7	三 - 五层剥刮器口部, 上刃直	10	27	- 2	AMH	37 - 2
3	C1 破 - 不	26.	26. 破 石	36.4	32.2	15.6	12.2	5.7	5.7	直而钝, 带上刃剥刮器口部	10	27	- 3	AMH	37 - 3
4	C1 破 - 不	26.	26. 破 石	36.0	32.5	2.2	1.2	5.7	5.7	三 - 五层剥刮器口部, 上刃直而钝	10	27	- 4	AMH	37 - 4
5	B4 破 - 2 不	26.	26. 破 石	36.4	32.5	2.2	1.2	5.7	5.7	三 - 五层剥刮器口部, 上刃直而钝	10	27	- 5	AMH	37 - 5
6	C1 破 - 不	26.	26. 破 石	36.2	35.1	8.8	7.8	5.7	5.7	直而钝, 直而直	10	27	- 6	AMH	37 - 6
7	C1 破 - 不	26.	26. 破 石	36.1	35.5	8.5	7.8	5.7	5.7	三 - 五层剥刮器口部, 直而直	10	27	- 7	AMH	37 - 7
8	C1 破 - 不	26.	26. 破 石	36.7	36.8	11.7	3.5	5.7	5.7	三 - 五层剥刮器口部, 平直而直	10	27	- 8	AMH	37 - 8
9	CQ 42 - 1 不	26.	26. 破 石	35.3	35.8	4.8	3.9	5.7	5.7	三 - 五层剥刮器口部	10	27	- 9	AMH	37 - 9
10	破	26.	26. 破 石	35.8	35.8	2.2	1.5	5.7	5.7	三 - 五层剥刮器口部	10	27	- 10	AMH	37 - 10
11	D1 破 - 2 不	26.	26. 破 石	36.4	36.5	2.5	2.2	5.7	5.7	下刃直, 上刃剥刮器口部	10	27	- 11	AMH	37 - 11
12	C1 破 - 2 不	26.	26. 破 石	36.3	36.7	9.7	9.9	2.5	5.7	上刃剥刮器口部, 下刃直而钝	10	27	- 12	AMH	37 - 12
13	C1 破 - 2 不	26.	26. 破 石	36.3	36.9	6.0	2.5	5.7	5.7	直而直, 上刃直, 下刃剥刮器口部	10	27	- 13	AMH	37 - 13

第154图 不定形石器(32)



编号	地层・地点	材质	分型	石核	高x宽x厚 (mm)	长x宽 (mm)	重 (g)	制打部位	刀 形 中 分 带	采集地号	图 序	
1	CX 41-2 不明	24.	石 破 刮 刮		21.0	30.1	10.4	9.7	平 刀	下层砾石带+中层砾石带	3000	21-14
2	BB 47-402 不明	24.	石 破 刮 刮		20.1	30.7	10.0	14.0	削 刀	下层砾石带+上层砾石带	3000	21-15
3	CN 39-2 不明	24.	石 刮 刮 刮		21.0	30.5	5.8	9.8	刮 刀	中层砾石带	3000	21-16
4	BA 52-2 不明	24.	石 破 刮 刮		21.0	30.2	4.8	12.0	削 刀	上层砾石带+中层砾石带	3000	21-17
5	BD 52-3 不明	24.	石 破 刮 刮		44.1	7.8	4.5	9.8	刮 刀	中层砾石带+中层砾石带	3000	21-18
6	CX 41-12 不明	24.	石 破 刮 刮		20.5	30.0	6.5	9.5	削 刀	中层砾石带	3000	21-19
7	CN 40-2 不明	24.	石 破 刮 刮		26.7	30.5	8.3	9.1	削 刀	中层砾石带	3000	21-20
8	未定 破 不明	24.	石 破 刮 刮		28.0	30.0	7.2	9.0	削 刀	砾石带	3000	21-21
9	未定 破 不明	24.	石 破 刮 刮		24.7	30.0	4.8	9.5	刮 刀	砾石带+中层砾石带	3000	21-22
10	SC 47-1 不明	24.	石 破 刮 刮		25.2	30.6	5.8	9.7	刮 刀	砾石带+中层砾石带+下层砾石带	3000	21-23
11	CX 40-2 不明	24.	石 破 刮 刮		26.0	30.5	6.2	9.8	削 刀	砾石带	3000	21-24
12	未定 破 不明	24.	石 破 刮 刮		25.7	30.7	6.8	9.2	刮 刀	上层砾石带+中层砾石带	3000	21-25

第155图 不定形石器(33)



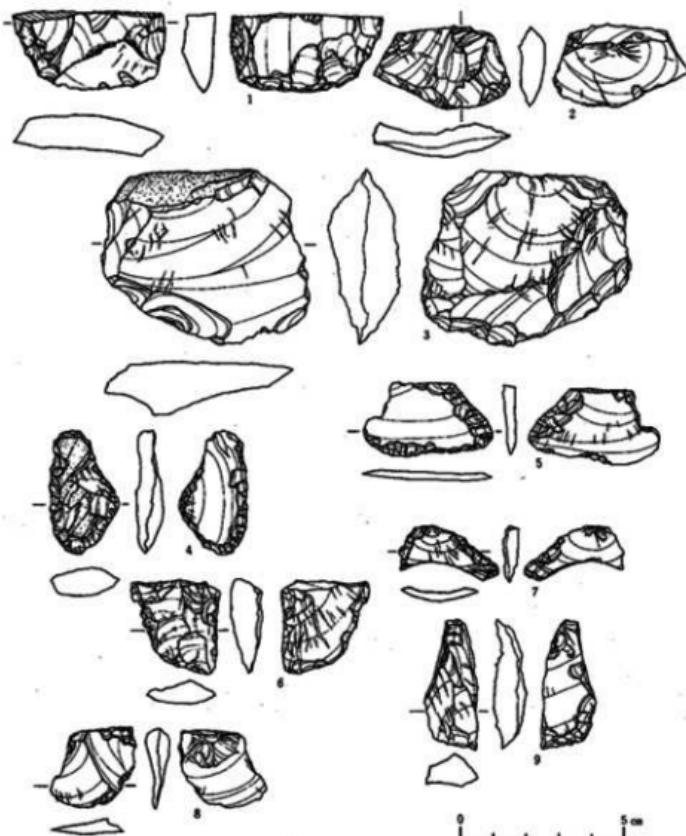
器号	地名·层位	单面	双面	刃	背	厚度mm	长宽mm	厚宽比	断面形	产地	时代	单面	双面
1	DH6-1 黑山	石	石	石	石	24.4	27.5	2.5	直	上山文化, 黑山-白石河遗址出土	新石器	石	石
2	CL6-2 黑山	石	石	石	石	24.0	21.0	2.7	直	上山文化, 黑山-白石河遗址出土	新石器	石	石
3	SD6-2 黑山	石	石	石	石	31.1	34.0	3.6	直	上山文化, 黑山-白石河遗址出土	新石器	石	石
4	BC4-2 黑山	石	石	石	石	42.0	33.0	4.4	直	上山文化, 黑山-白石河遗址出土	新石器	石	石
5	CMD-3 黑山	石	石	石	石	26.5	26.7	2.6	直	上山文化, 黑山-白石河遗址出土	新石器	石	石
6	CX6-4 黑山	石	石	石	石	26.4	24.0	3.6	直	上山文化, 黑山-白石河遗址出土	新石器	石	石
7	CL4-6 黑山	石	石	石	石	32.0	36.8	3.4	凹凸	上山文化, 黑山-白石河遗址出土	新石器	石	石

第156图 不定形石器(34)



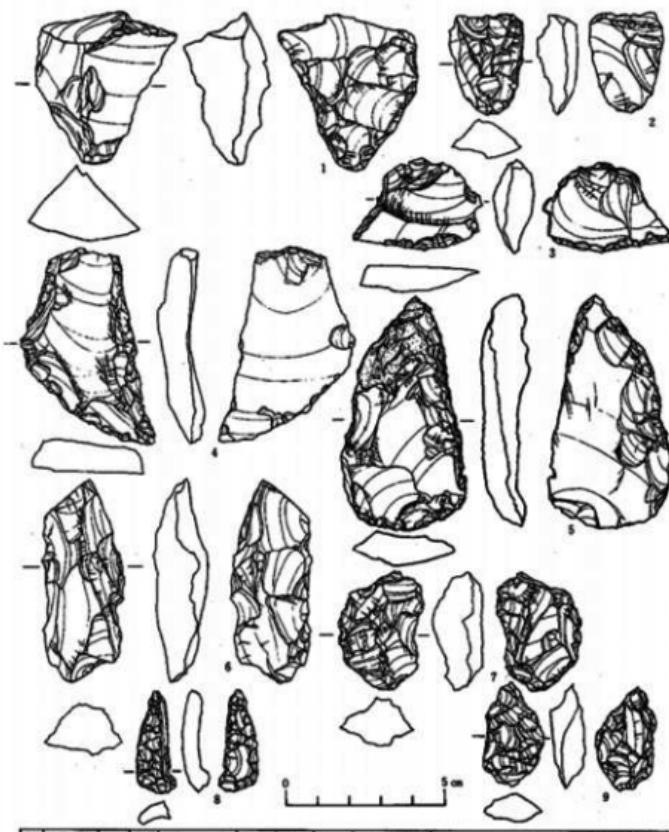
编号	地层·层位	地层	分层	石	石质	厚(毫米)	宽(毫米)	高(毫米)	重(g)	断面形	工	理 口 带	图版号	图
1	CM4-3 不可	E4	中	石	石	5.7	34.2	16.5	36.0	梯	上·下·	刮削器	157	2-1
2	CM4-11 不可	E4	中	石	石	10.0	33.5	7.2	4.0	梯	上·下·	刮削器	157	2-2
3	黑	E4	中	石	石	11.6	36.8	5.6	2.0	梯	上·下·	刮削器	157	2-3
4	CO4-1 不可	E4	中	石	石	27.3	17.7	10.0	4.7	不	上·下·	刮削器	157	2-4
5	BDB-1 不可	E4	中	石	石	16.5	16.0	5.0	5.4	梯	上·下·	刮削器	157	2-5
6	CLG-2 不可	E4	中	石	石	16.0	14.4	4.6	2.4	梯	上·下·	刮削器	157	2-6
7	CTG-1 不可	E4	中	石	石	0.1	32.5	4.3	0.7	梯	上·下·	刮削器	157	2-7
8	CLM-2 不可	E4	中	石	石	10.2	27.0	6.7	5.7	梯	上·下·	刮削器	157	2-8
9	DDH-1 不可	E4	中	石	石	20.2	24.0	15.0	16.0	梯	上·下·	刮削器	157	2-9
10	CE4-1 不可	E4	中	石	石	10.0	16.6	5.7	5.0	梯	上·下·	刮削器	157	2-10
11	CM4-10 不可	E4	中	石	石	11.2	16.2	7.6	6.0	梯	上·下·	刮削器	157	2-11
12	DG4-1 不可	E4	中	石	石	10.2	11.3	3.3	3.0	梯	上·下·	刮削器	157	2-12

第157图 不定形石器(35)



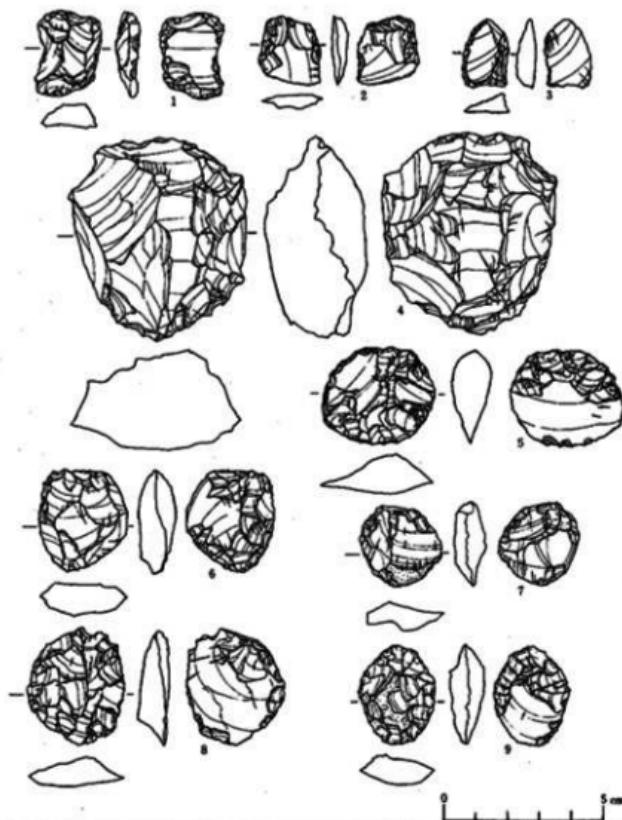
器号	地名	层位	出 地	石 种	高(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重(克)	形制特征	层 位	地名	出 地	石 种	高(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重(克)	形制特征
1	GD 01 - 1	不 明	石 破	砾 砂 岩	22.6	46.3	10.0	16.0	不 规	上层砂砾、砾、细颗粒层、下层砾石层	GD 02	石 破	砾 砂 岩	22.0	36.1	10.0	16.0	不 规
2	CN 01 - 12	不 明	石 破	砾 砂 岩	24.5	45.7	9.0	9.0	不 规	上层砾层、砾、细颗粒层	CN 02	石 破	砾 砂 岩	24.0	45.0	9.0	9.0	不 规
3	CQ 01 - 1	不 明	石 破	砾 砂 岩	24.7	57.0	16.2	63.4	不 规	砾 层、砾、下层砾石层	CQ 02	石 破	砾 砂 岩	24.0	57.0	16.2	63.4	不 规
4	CL 01 - 020	不 明	石 破	砾 砂 岩	25.5	51.0	7.4	5.3	不 规	砾 层、砾、下层砾石层	CL 02	石 破	砾 砂 岩	25.0	51.0	7.4	5.3	不 规
5	CN 01 - 1	不 明	石 破	砾 砂 岩	25.1	38.0	2.3	3.6	不 规	上层砾层、砾、下层砾石层、砾层砾石层	CN 02	石 破	砾 砂 岩	25.0	38.0	2.3	3.6	不 规
6	AQ 01 - 1	不 明	石 破	砾 砂 岩	26.4	35.0	7.6	4.6	不 规	上层砾层、砾、下层砾石层	AQ 02	石 破	砾 砂 岩	26.0	35.0	7.6	4.6	不 规
7	CN 01 - 3	不 明	石 破	砾 砂 岩	26.2	35.0	7.5	1.9	不 规	上层砾层、砾、下层砾石层	CN 02	石 破	砾 砂 岩	26.0	35.0	7.5	1.9	不 规
8	CN 01 - 2	不 明	石 破	砾 砂 岩	26.0	35.0	4.3	3.0	不 规	上层砾层、砾、下层砾石层	CN 02	石 破	砾 砂 岩	26.0	35.0	4.3	3.0	不 规
9	GD 01 - 2	不 明	石 破	砾 砂 岩	45.0	25.5	9.6	9.0	不 规	砾 层、砾、下层砾石层、砾层砾石层	GD 02	石 破	砾 砂 岩	45.0	25.5	9.6	9.0	不 规

第158图 不定形石器(36)



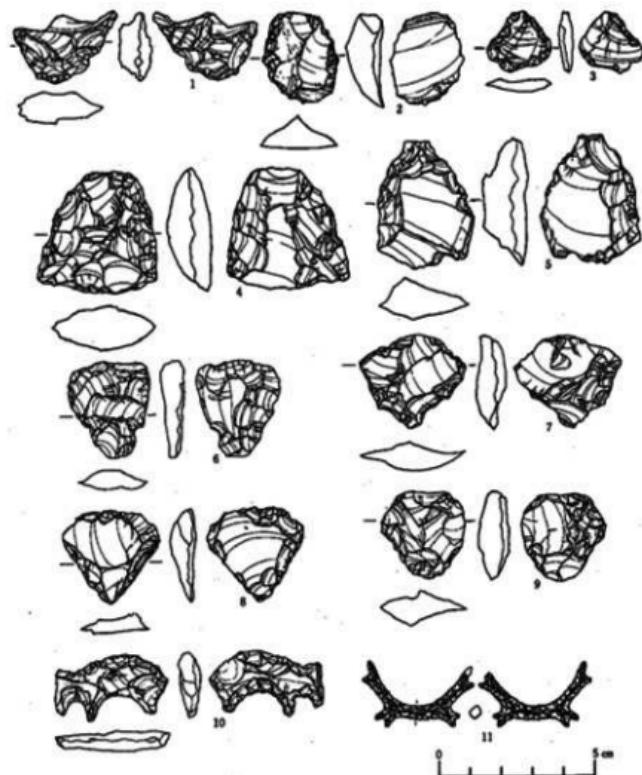
番号	地名・層位	地點	分類	石	厚	長(Width)	幅(Area)	厚(Thickness)	重さ(g)	断面形状	刀 鋒 の 特 徴	出土地名	目 標
1	CIO-1	1 不明	石器	レバード	0.3	0.2	0.4	0.5	0.1	切	多面打撲打削、刃部打削	1000	21-25
2	鹿	鹿 不明	石器	直角	0.0	21.0	12.4	0.5	1.5	直	上・側面打削、刃部打削	1010	21-21
3	DGM-2	2 不明	石器	直角	0.4	20.1	13.2	0.1	1.5	直	刃部打削、下刃打削、刃部打削	1000	21-21
4	CIO-4	4 不明	石器	直角	0.3	20.4	12.6	0.4	1.5	直	刃部打削、下刃打削、刃部打削	1010	21-21
5	CIE-9	9 不明	石器	直角	0.3	20.8	12.8	0.3	1.5	直	刃部打削、下刃打削、刃部打削	1010	21-21
6	CK-L4-2	2 不明	石器	直角	0.3	20.7	12.6	0.3	1.5	直	刃部打削	1010	21-21
7	CLM-16	16 不明	石器	直角	0.1	20.0	15.4	0.4	1.5	直	刃部打削	1000	21-21
8	鹿	鹿 不明	石器	直角	0.4	22.2	1.0	1.0	0.5	直	刃部打削	1000	21-21
9	CIO-3	3 不明	石器	直角	0.5	20.2	8.0	0.5	1.5	直	刃部打削	1000	21-21

第159図 不定形石器(37)



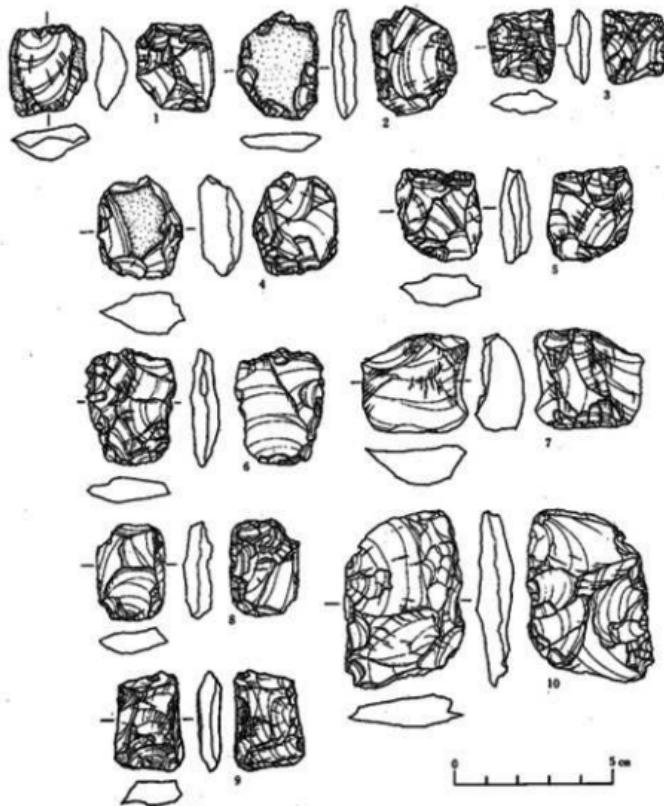
器名	地質・層位	地質	分類	形	厚	長( mm )	幅( mm )	重( g )	測定者	方 位 標 記	目録番号	圖 版
1 CHB-1	下段	W <sub>1</sub>	刮削器	刃	0.5	27.0	17.4	4.5	井	上、左：刮削器刃部。右：刮削器本体。	0001	38-19
2 CHB-2	下段	W <sub>1</sub>	刮削器	刃	0.5	23.0	18.0	4.0	井	上、左：刮削器刃部。右：刮削器本体。	0002	38-20
3 刮削器	下段	W <sub>1</sub>	刮削器	刃	0.5	32.0	24.4	5.0	井	刮削器本体。	0003	38-21
4 CHB-3	下段	W <sub>1</sub>	刮削器	刃	0.5	26.7	16.0	12.0	井	刮削器刃部。	0004	38-22
5 CHB-4	下段	W <sub>1</sub>	刮削器	刃	0.5	26.8	17.7	12.0	井	刮削器刃部。	0005	38-23
6 CHB-5	下段	W <sub>1</sub>	刮削器	刃	0.5	25.0	16.0	10.7	井	刮削器刃部。	0006	38-24
7 CHB-6	下段	W <sub>1</sub>	刮削器	刃	0.5	25.0	16.0	10.7	井	刮削器刃部。	0007	38-25
8 CHB-7	下段	W <sub>1</sub>	刮削器	刃	0.5	25.0	16.0	10.7	井	刮削器刃部。	0008	38-26
9 CHB-8	下段	W <sub>1</sub>	刮削器	刃	0.5	25.0	16.0	10.7	井	刮削器刃部。	0009	38-27

第160図 不定形石器(38)



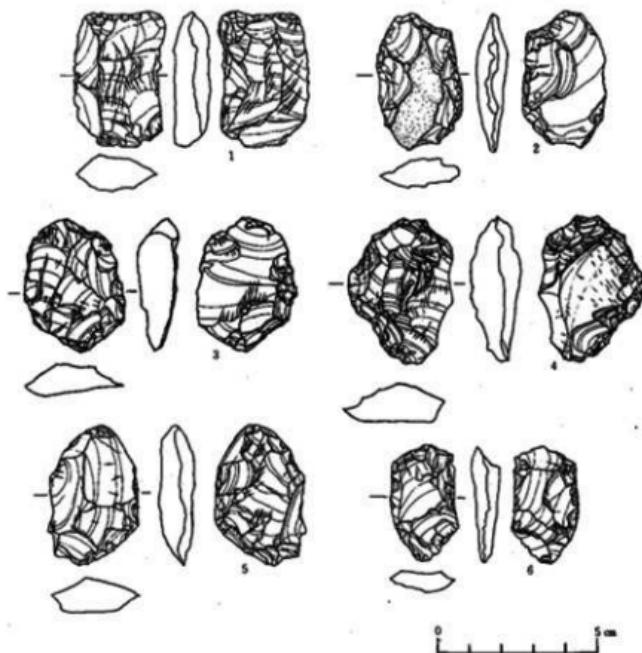
序号	地层·地点	地层	位置	形	直立高度 mm	厚 mm	宽 mm	高 mm	断面形状	刃	断面	器物编号	图
1	CM46-2	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	30.0	20.1	6.5	5.5	梯形	上	梯形	CM46-2	1
2	CL46-2	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	25.7	20.0	6.2	7.1	梯形	中	梯形	CL46-2	2
3	CM46-2	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	26.5	20.7	5.2	5.6	梯形	下	梯形	CM46-2	3
4	BC46-1	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	40.0	20.0	6.0	10.7	梯形	上	梯形	BC46-1	4
5	CH46-1	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	45.5	20.7	5.7	10.6	梯形	上	梯形	CH46-1	5
6	CM46-2	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	32.3	21.1	6.4	6.9	梯形	中	梯形	CM46-2	6
7	CL46-2	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	34.4	24.0	6.4	7.2	梯形	下	梯形	CL46-2	7
8	CK46-1	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	36.4	24.0	7.1	6.0	梯形	中	梯形	CK46-1	8
9	2	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	28.5	21.7	6.7	6.7	梯形	中	梯形	2	9
10	CM46-2	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	31.1	26.5	6.8	6.2	梯形	上	梯形	CM46-2	10
11	DE46-2	2	D <sub>1</sub>	直刮削器	31.6	26.0	5.2	10.0	梯形	中	梯形	DE46-2	11

第161圖 不定形石器(39)



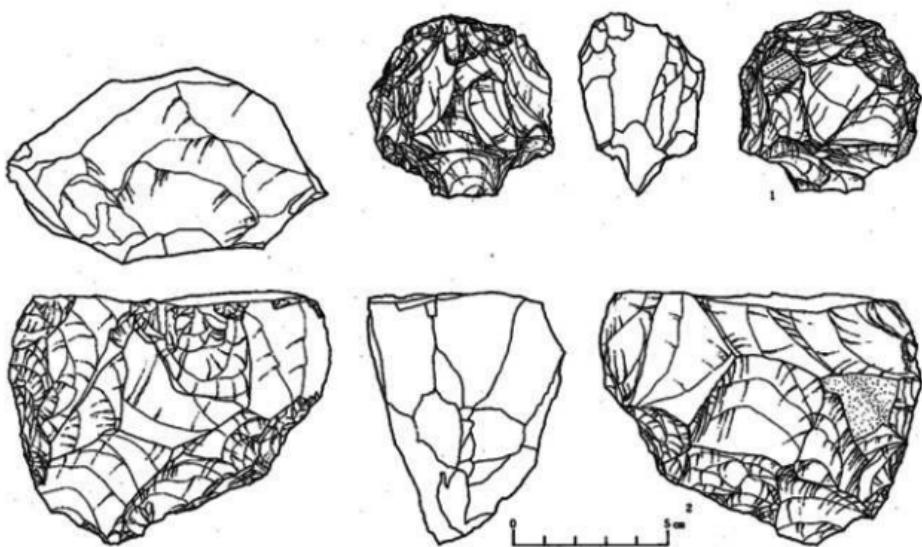
番号	地区・層位	性質	分類	石	材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	特徴	刀	器	標本番号	図	
1	SDM-1	石	器	V	石	色	石	31.0	36.7	5.7	1.0	不規	斜面挫打, 上・下刃づられ	0001	40-1
2	DBR-1	石	器	V	石	青灰	石	35.0	36.3	4.8	4.7	不規	斜面挫打, 上刃づられ	0002	40-2
3	CL47-3	石	器	V	石	色	石	33.4	35.8	7.1	11.9	不規		0007	40-3
4	CM45-11	石	器	V	石	色	石	30.2	35.8	15.2	3.8	不規	斜面挫打, 上・下・側面づられ	0008	40-4
5	CL45-4	石	器	V	石	青灰	石	36.0	36.4	5.6	9.5	不規	上刃づられ	0009	40-5
6	SD47-1	石	器	V	石	色	石	31.2	36.5	6.0	1.0	不規	斜面挫打	0010	40-6
7	CK38-5	石	器	V	石	青灰	石	34.8	35.0	12.0	18.7	不規	上・側面づられ	0011	40-7
8	CL45-2	石	器	V	石	青灰	石	34.6	31.6	6.6	4.8	不規	上刃づられ	0005	40-8
9	CK44-2	石	器	V	石	色	石	31.8	36.0	9.2	19.3	不規	上・側面づられ	0006	40-9
10	CM45-27	石	器	V	石	青灰	石	31.2	32.0	7.7	4.4	不規	上・側面づられ	0007	40-10

第162図 不定形石器(40)



番号	地名・層位	形態	分類	基	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	断面形状	刀	根	中	標	記
1	DJ.M-1	不規	V	無	43.0	25.5	11.0	15.8	不規	不規	不規	不規	不規	不規
2	DJ.M-2	不規	V	無	43.4	25.0	9.0	11.0	不規	不規	不規	不規	不規	不規
3	CL.M-30	不規	V	無	41.0	34.4	13.0	12.0	不規	不規	不規	不規	不規	不規
4	CL.M-32	不規	V	無	46.0	36.7	18.2	12.0	不規	不規	上・下	不規	不規	不規
5	CM.M-65	不規	V	無	46.0	35.0	13.0	16.3	不規	不規	不規	不規	不規	不規
6	CL.G-2	不規	V	無	39.4	21.6	4.4	4.4	不規	不規	不規	不規	不規	不規

第163図 不定形石器(41)



器号	地区・层位	地层	分层	石	砾石	砾石(4cm)	砾石(2cm)	砾石(g)	砾石(%)	刃	中	脊	圆锥号	石
1	C.L.CT-1-4	老	中	厚	粗	0.4	0.2	0.05	—	粗	中	粗	001	厚
2	D.D.G-2	老	中	厚	粗	0.1	0.2	0.02	—	粗	中	粗	002	厚

图164图 不定形石器(42)

あるためその可能性が考えられるにすぎない。

第121図に加工痕のある骨が出土した層と同一時期に形成された層から出土している第V類の一部を掲載しておく。

この第V類は、岡村道雄氏によってまず注目された石器で、ピエス・エスキューと呼ばれている(岡村:1976)。田柄貝塚の第V類は岡村氏の分類では第II類に含まれる。氏は、この種の石器を定形石器として扱っているが、加工の痕跡と使用の痕跡を区別し、形態を作り出す加工が行なっているとされない限り、定形石器とするのはむづかしい。ところで田柄貝塚で第IVb類とした不定形石器は押圧剥離によって長方形に加工された石器で6点出土している。両極剥離によって方形に作られたものと、押圧剥離によって方形に作られたものが同一器種とすれば、第Wb類は、定形石器としてのピエス・エスキューの仲間であるといえる。今後、この観点から石器をみていけば、ピエス・エスキューの位置づけはもっと明確になるものと思われる。

### 3第VI類(石核)

第VI類はいわゆる石核である。5点出土している。黒曜岩は径2cmほどの円錐を母岩にしており非常に小さい。今回図示していないが、黒曜岩の剥片は自然面を残している例が多く、小さことから大部分の母岩もこの石核と同じような大きさであったと考えられる。

珪質頁岩の石核は4点出土している。いずれも打面転移が激しく行われている。

田柄貝塚からは、出土している石器の量と較べるとわずかな石核しか出土していない。また打製石斧などに多い粘板岩の石核は出土していない。

## 打製石斧(第168図~第183図)

打製石斧は総数105点出土している。

### 1分類

全体の形態は基部加工と刃部加工によって成り立っていると考え、全体形による分類と共に形態を構成している部位ごとの分類も行った。分類項目は以下のようにした。

#### 1加工法及び形態による区分

- I片面加工によって全体形が短冊形に作り出されているもの
- II両面加工によって全体形が短冊形に作り出されているもの
- III両面加工によって全体形が方形に作り出されているもの
- IV両面加工によって全体形が撥形に作り出されているもの
- V両面加工によって刃部のみが作り出されているもの
- VI両極剥離による加工、あるいは端部につぶれを持つ剥離があり長方形をしているもの

#### 2大きさによる区分

A小形(完形時の最大長が10cm未満のもの、推定値を含む)

B中形(完形時の最大長が10cm以上20cm未満のもの、推定値を含む)

C大形(完形時の最大長が20cm以上のもの)

大きさによる区分は分類項目をみれば、だいたいの大きさがわかるように便宜的に区切ったにすぎない。

### 3基部平面形による区分

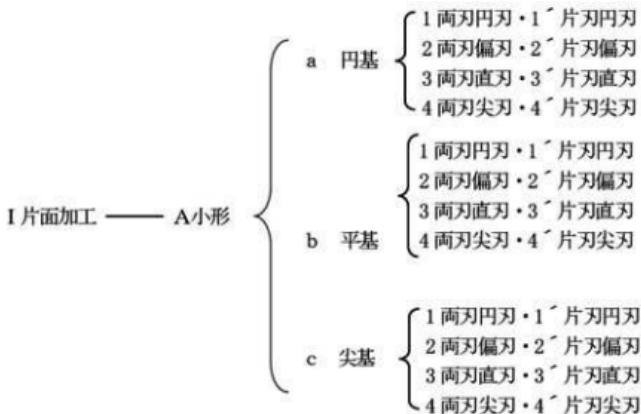
- a 円基 } 厳密には基端部の分類である。尖基には、円基(丸味のある基部)、平基(直線的な基部)に含まれない基部を含む。  
b 平基  
c 尖基

### 4刃部平面形による区分

- 1円刃  
2偏刃  
3直刃  
4尖刃 } 偏刃には、石斧長軸に対して刃部が斜めになっているものを含む。この他に断面形による区分がある。片刃と両刃がその分類だが、片刃は数字の右上に記号を付した。例えば片刃円刃は1'とした。

観察表中の分類欄には、上記区分に用いた記号を組み合わせて表している。例として第I類の表記法を図示する。

打製石斧第I類分類表(小形のみ)



### 2出土状況

調査区内で、CL39区～41区、CM39～41区から層位的に出土しているのは105点のうち33点で全体の31%を占める。

同一の層位からはC L39区37層から出土した3点が最も多い。またC L41区19層とCM41区28層からは2点出土している。他は各層から1点出土しているにすぎない。

分類別にみるとC L41区19層から第I Aa2類(片面加工による短冊形をした円基・偏刃の小形片刃石斧)が2点出土している。他に同一類が複数出土している地区、層位はない。

### 3時期による変化 (第27表)

時期別に出土数をみると、第II期2点、第III期12点、第IV期1点、第V期3点、第VI期3点、第VII期6点、第VIII期4点、第IX期2点となる。数だけをみると貝層下の土層を形成している第III期が多い。また第VII・VIII期も多いといえる。

最も多く出土している第III期は第I A類(片面加工小形片刃石斧)、第I B類(片面加工中形片刃石斧)、第V類(礫斧)を組み合わせとしている。6点ある第VII期も第III期とほぼ同様のあり方をしている。しかし、第VIII期はこれらと異なり、両刃の第I B類があり、第III類や第V類を欠いている。片刃石斧として第I A類があることから、組成に含まれていることも考えられるが、その頻度は低いと思われる。

地質	分類	I A片刃	I B片刃	Ⅲ貝層	Ⅳ貝層	Ⅴ貝層	Ⅵ貝層	Ⅶ貝層	Ⅷ貝層	Ⅸ貝層	Ⅹ貝層	Ⅺ貝層	Ⅻ貝層	計
貝		1						1						2
貝	Ⅲ	3						2		2				12
貝	Ⅳ											1		1
貝	Ⅴ	1				1						1		2
貝	Ⅵ	1	3			1								5
貝	Ⅶ	1	1		3	1	2							6
貝	Ⅷ	1		2				1	1					4
貝	Ⅸ												1	1
貝	Ⅹ													2
貝	Ⅺ													4
貝	Ⅻ	26	22	1	2	1	19	2	5	2	2	4	22	135
計		24	22	1	2	4	4	12	4	4	5	5	4	135

第27表 打製石斧時期別・分類別出土数量表

地質	分類	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	計
粘板岩		9	6	28	7	3	5							46
砂岩		6												6
石和田山地質構造		2	1											3
伊勢原地質構造		2	1											3
相模原地質構造		8												8
日高		6						1						7
相模原地質構造		4	1	1										6
伊勢原地質構造			1	2										4
伊勢原地質構造		2	1											3
宝山地質構造		2												2
花崗岩地質構造		3												3
相模原地質構造		1												1
相模原地質構造		1												1
不純石英岩		1												1
石英岩		1												1
島田地質構造		1												1
石和田山地質構造		1												1
良賀山地質構造		1												1
良賀(カルシファイナス)		1												1
内田地質構造		1												1
石和田地質構造		1												1
武藏野地質構造			1											1
計		60	13	53	6	4	5							186

第28表 打製石斧時期別・石材別出土数量表

#### 4石 材（第28表）

分類別に石材をみると第I類においては粘板岩・砂岩・凝灰質砂岩・石英安山岩質凝灰岩・砂質凝灰岩が同程度である。第II～IV類では粘板岩の使用頻度が高い。

#### 5形態的特徴と製作法

第3項では時期別に打製石斧の組成をみ、第III期には片刃石斧が出土していないことにふれた。しかし、時期別にみた場合、比較する資料が少なくなるため、これ以上のことは言及できない。そこで、以下では後期前半～晩期前半の様相として田柄貝塚における打製石斧の特徴を浮き彫りにしたい。

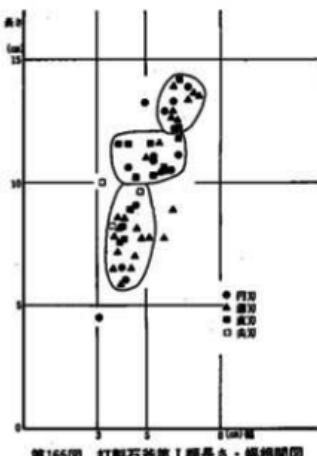
##### 1第I類

###### (a) 刃部形態と大きさの関係

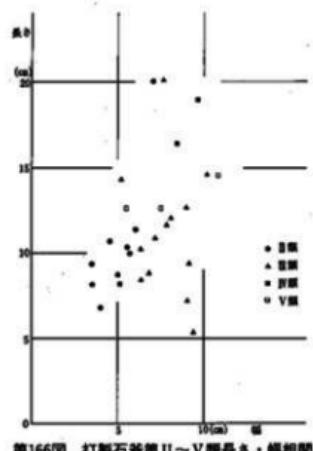
第I類の大部分は完形で出土している。第165図には第I類のうち、長さと幅がわかる資料を使ってその大きさを示した。これによればア(長さ12cm以上、幅5.5～7.5cmのもの)、イ(長さ10cm以上12cm未満、幅4～6cmのもの)、ウ(長さ5.5cm以上10cm未満、幅3.5～5cmのもの)に区別できる。

アでは偏刃と円刃を主要な構成要素とし若干の直刃を含む。円刃をした石斧の長さと偏刃をした石斧の長さには、大きな違いはないがわずかに偏刃が短い傾向にある。

イでは直刃と円刃を主要な構成要素とし偏刃を少し含む。直刃の長さは11.5cm前後に集中



第165図 打製石斧第I類長さ・幅相関図



第166図 打製石斧第II～V類長さ・幅相関図

しているが、幅は3.5~6.3cmの間と散満なあり方を示している。

ア・イは分類した第IA類に該当する。第IB類で基部形態のわかるのは24点で、内訳は円基22点、尖基1点、平基1点で円基が多數を占めている。

ウは分類でいう第IA類で偏刃を主な構成要素としており、それに若干の円刃・直刃・尖刃からなる。分布は縦に長く広がっている。先に述べたア・イはやや横に長く分布していることから幅にまとまりがあるのはウの特徴といえる。基部形態がわかるのは25点ある。内訳は円基12点、尖基9点、平基4点で第IB類に比して尖基が多い。

#### (b) 製作

主要剥離面が残っている資料ではいずれも背面全体に自然面を残した縦長剥片が用いられている。打点は基部側にあることが多い、円礫側面の丸みをそのまま石斧基部として利用している。

加工は片面から行われている。円刃では側面加工に先行して刃部が作り出される(刃部角が小さいものに多い)こともあるが、偏刃は両側縁を剥離した後に刃部が加工されている例が多い。偏刃には石斧製作時に作られたもの、刃部再調整によって作られたもの、使用による破損などの各要因が絡み合っていると思われる。

#### (c) 折れ

第IA類は完形品が多く、破損しているのは62点のうち第IB類に含まれる5点(破損率8.0%)にすぎない。厚いため破損しがたいのであろうが、折れている5点の資料はいずれも背面側が支点になり、対面にあたる腹面から折断されたように割れている。

#### (d) 使用痕

第IB類で観察される使用痕には刃部の磨滅、基端部の磨減、両側縁上部の磨減、刃部背面における縦位線条痕、両側縁上部背面にみられる横位線条痕がある。これに対して第IA類では基端部の磨滅は稀である。また、第IA・IB類とも刃部腹面には線条痕を見いただせない。

#### (e) 着柄

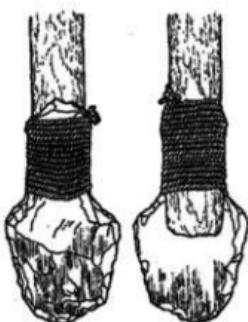
折れ方や使用痕のあり方を合わせて考えると第IB類は前主面片刃横斧(佐原:1977)として着柄・使用されたようである。つまり柄に対して刃部は直交し、腹面(刃部作り出しが行われている面)が柄に近い面として着柄されていた。背面を支点にして腹面から折れていること、縦位線条痕が刃部背面に観察できること(Semenov:1964)がその理由である。

第IB類の基部はその大部分を円基が占めている。基部形状は着柄と密接な関連があり、第IB類ではそれが円基として齊一性があることや、両側縁上部背面に横位線条痕がみられるところから、着柄された状況が考えられ、横斧としての結論とも矛盾しない。

これに対して第IA類は円基に次いで尖基も多くみられ、第IB類と同列に扱うのは難しい。線条痕からみると横斧として使用されていると考えられるが、着柄しない状況や偏刃が目

立つことから縦斧としての使用状況も可能性として考えられ、これらはアックス=アッズ(Steensberg: 1980)をも考慮に入れて再検討する必要がある。

#### (f) 用途



第167図 打製石斧第IV類着柄復元図

石材には粘土岩が多用されているなど磨製石斧の石材と大きな違いはないにもかかわらず、磨製石斧とは対照的に、ほとんど完形で出土している。刃部背面にある縦位線条痕は短く、不鮮明でありながら刃部は著しく磨滅している。このことから「折れる前に刃部がつぶれてしまうものが横斧の対象物として考えられ、石・木・骨よりも柔らかい土が可能性としてあげられる。その場合には着柄状況から考えて鎌のように使用されたことになる。

#### 2 第II~VI類

これらの石器は出土点数に限りがあるため、特徴を簡単にふれるに留める。

第II類の大きさは、第I類のイとウにほぼ一致している。(第166図)。片刃は1点で、両刃をした石斧が多い。

第III類は長さでは5~15cmと散漫に分布しているが、幅は6~10cmの間に収まる(第166図)。この大きさは第I類がちょうど見られないところであり、打製石斧としては第I類のあり方を補完していると考えられる。また第III類の形態には齊一性がないのが特徴である。ハンド・アッズであろうか。

第IV類は破損部が多く、第166図にはデータとして生かされていない。大きさを推定すると第I類の長さ・幅を大きくしたものと考えられる。厚さは変わらない。

ところで、第IV類には刃部と直交する線条痕が顕著にみられるものがある。線条痕は第181図3・4、第182図1に観察される(図版71図3)。第IV類の線条痕は、第I類のと違って肉眼でもはつきりわかる。また線条痕は正面によって若干の違いはあるが、刃部から長軸に沿って10cmほど中に入った部位まで及んでいる。両面に同じようにあるのも特徴である。

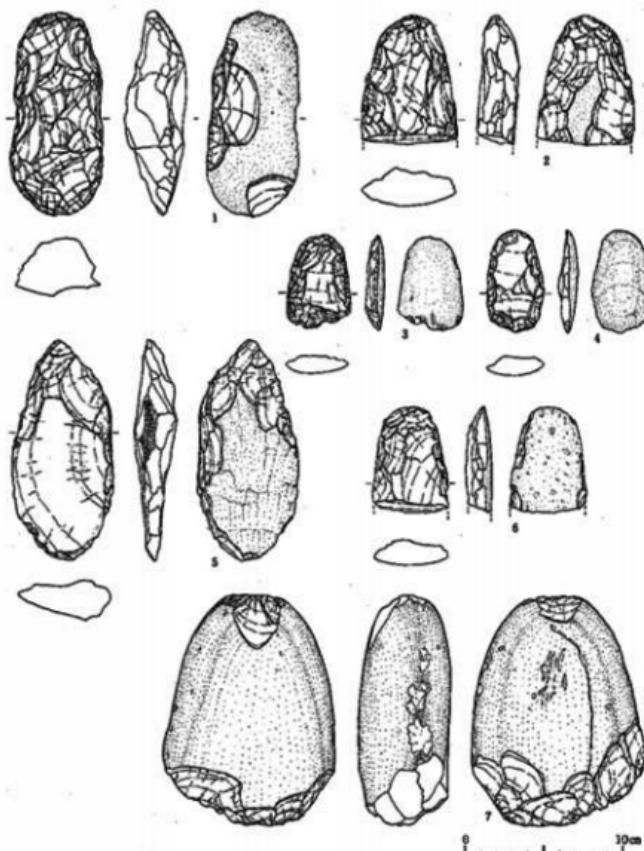
こうした使用痕と撥形している石斧であることを合わせると、第IV類の一部は石斧長軸の延長に柄が取り付けられ、今日のスコップのようなもの(京都府桑飼下遺跡で復元された着柄と同じ、鈴木: 1975)といえる(第167図)。線条痕は長く明瞭であり、刃部はつぶれていることから、斧身長軸と平行してつきたてて使用した道具(掘り棒か)と考えられる。

第VI類は剥離の特徴からみると一部には楔として使用された石器を含んでいよう。ただし転用されたものではない。



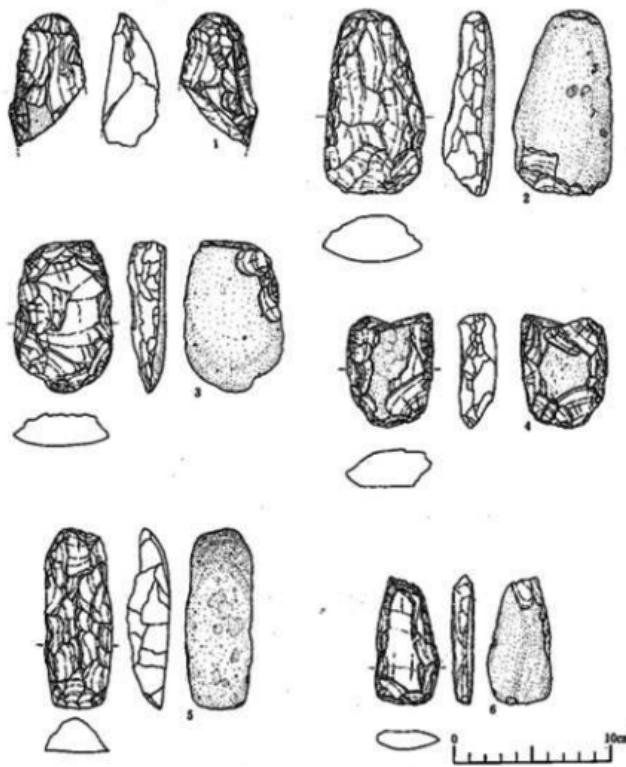
第168圖 打製石斧(1)

編號	地點・層位	形狀	直徑(Dmm)	寬	厚	長(Lmm)	厚度(Hmm)	直徑(Dmm)	寬	厚	編號	層位	地點・層位
1	CLBP-26	扁	38.0 <sup>a</sup>	24.0	2.0	215.0	40.0	26.0	20.0	10.0	260	Q-1	CLBP-26
2	CLBP-27	扁	38.0 <sup>a</sup>	24.0	2.0	212.0	40.0	26.0	20.0	10.0	262	Q-2	CLBP-27
3	CLBP-27	扁	38.0 <sup>a</sup>	24.0	2.0	208.0	40.0	26.0	20.0	10.0	267	Q-2	CLBP-27
4	CLBP-27	扁	38.0 <sup>a</sup>	24.0	2.0	215.0	40.0	26.0	20.0	10.0	268	Q-2	CLBP-27
5	CLBP-27	扁	38.0 <sup>a</sup>	24.0	2.0	217.0	35.0	26.0	20.0	10.0	269	Q-2	CLBP-27



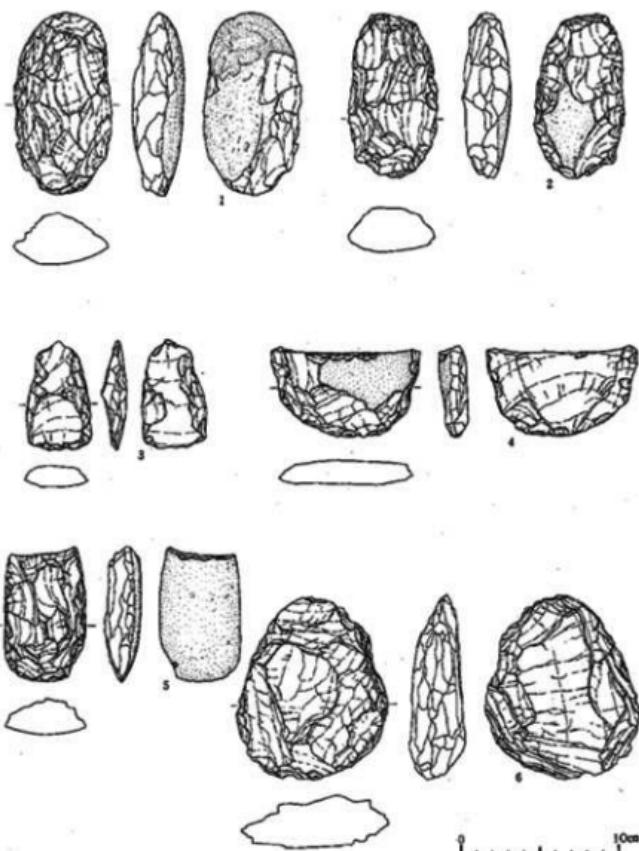
器号	地层・部位	单面	双面	断面(刃部)	形	式	高(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重(g)	器	单面	双面	形
1	C44-36	■	■	18cm <sup>2</sup>	刮削器(下部)	单面刮削器	18.5	9.5	2.5	350.0	刮削器-中等型	■	■	刮削器
2	C44-3	■	■	18cm <sup>2</sup>	刮削器	石质刮削器	18.0	9.0	2.0	311.5	刮削器-细长型	■	■	刮削器
3	C4-41-39	■	■	14cm <sup>2</sup>	刮削器	单面刮削器	19.0	10.0	2.0	35.0	刮削器-上部带子尖的	■	■	刮削器
4	C4-41-39	■	■	14cm <sup>2</sup>	刮削器	单面刮削器	19.0	10.0	2.0	35.0	刮削器-上部带子尖的	■	■	刮削器
5	C4B-2-2	■	■	18cm <sup>2</sup>	刮削器	单面刮削器	18.0	11.0	2.0	36.0	刮削器	■	■	刮削器
6	C4-41-39	■	■	18cm <sup>2</sup>	刮削器	单面刮削器	18.5	11.0	2.0	36.0	刮削器	■	■	刮削器
7	C4-41-39	■	■	18cm <sup>2</sup>	刮削器	单面刮削器	18.5	11.0	2.0	36.0	刮削器	■	■	刮削器

第169图 打制石器(2)



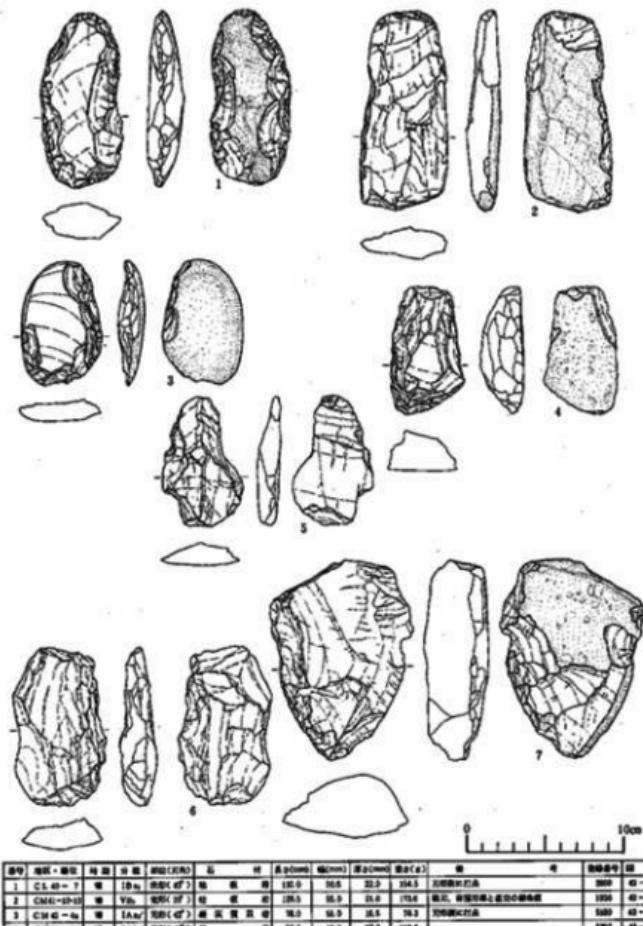
編號	地點	層次	形狀	長度(mm)	寬度(mm)	厚度(mm)	重量(g)	性質	說明
1	CLB-25	H	22a 石核	34.0	46.0	36.0	123.2	打制石器, 穩洞口-1件	2624 4-1
2	CMA-12	V	10a' 石核	12.1	43.0	34.0	196.0	打制石器, 空洞口-1件	2649 4-2
3	CMA-12	V	10b 石核	9.0	43.0	35.0	186.0	打制石器, 空洞口-1件	2650 4-3
4	CLG-25	V	12b 石核	20.0	55.0	22.0	252.2		274 4-4
5	CLB-29-26	W	12a' 石核	13.0	43.0	27.0	185.0		2640 4-5
6	CMA-12'	V	12a' 石核	22.0	46.0	13.0	41.2	打制石器	2659 4-6

第170圖 打制石器(3)



第171圖 打製石斧(4)

編號	地點・層位	形狀	中厚	寬x長(cm)	直 徑	直徑(cm)	寬x長(cm)	厚度(cm)	直 徑	直 徑	寬x長(cm)	厚度(cm)
1	C.L. 45-19	石 斧	2.0	30.0x10.0	14.0	10.0	30.0x10.0	2.0	14.0	10.0	30.0x10.0	2.0
2	C.L. 39-26	石 斧	2.0	30.0x10.0	15.0	10.0	30.0x10.0	2.0	15.0	10.0	30.0x10.0	2.0
3	C.L. 39-24	石 斧	2.0	30.0x10.0	16.0	10.0	30.0x10.0	2.0	16.0	10.0	30.0x10.0	2.0
4	C.M. 45-4	石 斧	2.0	30.0x10.0	16.5	11.0	31.0x10.0	2.0	16.5	11.0	31.0x10.0	2.0
5	C.L. 45-25	石 斧	2.0	30.0x10.0	16.5	11.0	31.0x10.0	2.0	16.5	11.0	31.0x10.0	2.0
6	C.L. 39-27	石 斧	2.0	30.0x10.0	17.0	11.0	31.0x10.0	2.0	17.0	11.0	31.0x10.0	2.0

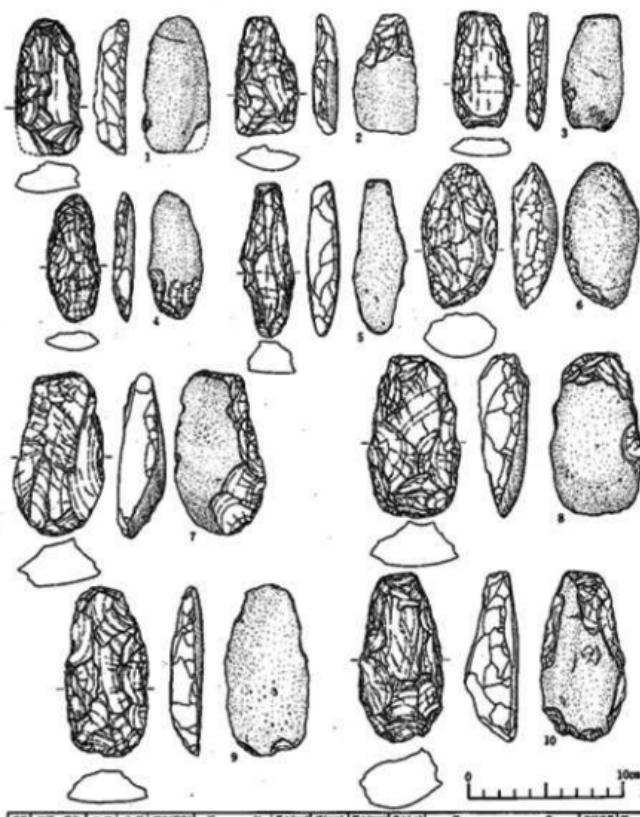


第172图 打制石器(5)



编号	地层	时代	类型	长(mm)	宽(mm)	厚(mm)	重(g)	说明	标本号	图
1	GM-4-20	末期	刮削器	45.5	30.5	7.5	35.0	磨圆度上等风化少	GM-4-8	1
2	GM-4-10	末期	刮削器	50.0	35.5	7.5	55.0		GM-4-9	2
3	ADM-1	末期	刮削器	50.5	35.0	8.0	134.2	磨圆度中等风化中等	ADM-1	3
4	DEB-1-4	末期	刮削器	50.5	41.0	8.0	32.0	磨圆度上等风化	DEB-1-11	4
5	CL-4-3	末期	刮削器	50.0	41.0	8.0	78.4	磨圆度中等风化	CL-4-10	5
6	CQ-4-3	末期	刮削器	51.5	39.0	8.5	55.7	磨圆度中等风化	CQ-4-27	6
7	CL-4-3	末期	刮削器	51.5	38.0	8.0	48.3		CL-4-23	7
8	DEB-1-3	末期	刮削器	71.5	38.0	9.5	46.3	刀形·磨圆度中等风化	DEB-1-25	8
9	DEB-1-4	末期	刮削器	71.0	45.0	10.0	72.2	穿孔刃·磨圆度中等风化	DEB-1-22	9
10	DO-1-1	末期	刮削器	51.5	45.5	10.0	56.0		DO-1-1	10
11	GL-4-2	末期	刮削器	71.0	37.0	10.0	48.0		GL-4-22	11
12	CXH-8	末期	刮削器	50.0	45.5	10.0	293.4	穿孔刃·上端C磨好	CXH-8	12

第173图 打制石斧(6)



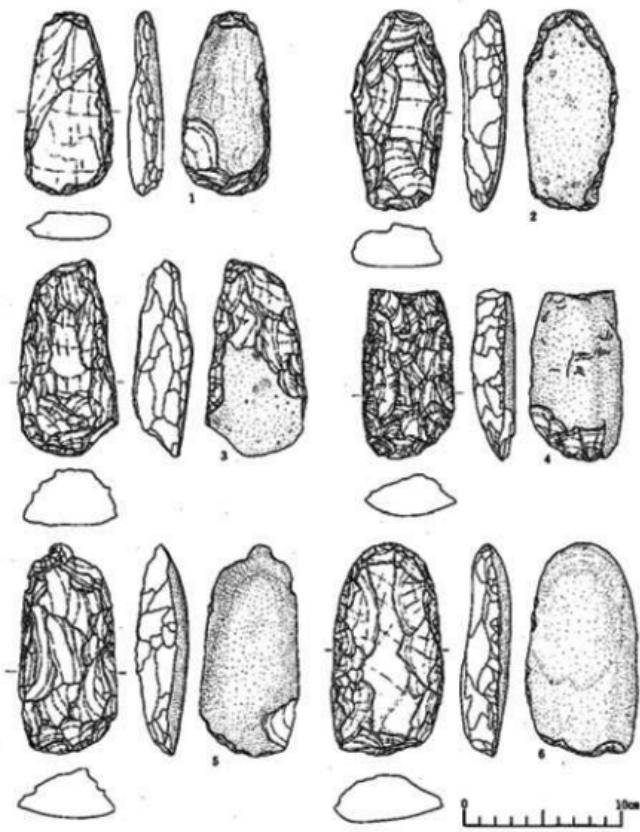
序号	地层·遗址	号数	分类	厚度mm	石	形	直边mm	侧边mm	厚x宽mm	质	号	编号	图
1	C3④-2	2	刮削器	14.0	砾石	刃	36.0	43.0	36.0x36.0	砾石	35	43-1	
2	CLM-821	5	刮削器	14.0	砾石	刃	37.0	46.0	36.0x36.0	砾石	36	43-2	
3	CDM-2	9	刮削器	14.0	砾石	刃	36.0	46.0	36.0x36.0	砾石	37	43-3	
4	CDM-3	2	刮削器	14.0	砾石	刃	36.0	46.0	36.0x36.0	砾石	38	43-4	
5	CHH-4	2	刮削器	14.0	砾石	刃	36.0	46.0	36.0x36.0	砾石	39	43-5	
6	CHH-4	4	刮削器	14.0	砾石	刃	36.0	46.0	36.0x36.0	砾石	40	43-6	
7	CHH-2	2	刮削器	14.0	砾石	刃	36.0	46.0	36.0x36.0	砾石	41	43-7	
8	CDM-3	2	刮削器	14.0	砾石	刃	36.0	46.0	36.0x36.0	砾石	42	43-8	
9	CLM-2	2	刮削器	14.0	砾石	刃	36.0	46.0	36.0x36.0	砾石	43	43-9	
10	CDM-3	16	刮削器	14.0	砾石	刃	36.0	46.0	36.0x36.0	砾石	44	43-10	

第174图 打制石斧(7)



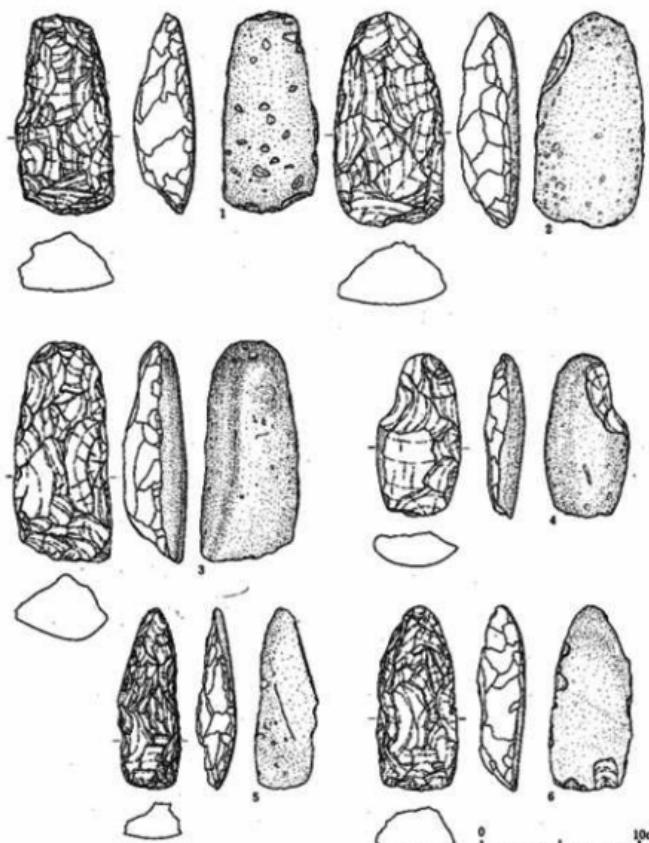
第175图 打制石斧(8)

号	地区-单位	地层	分组	M <sub>2</sub> (cm)	直 径	R <sub>2</sub> (cm)	R <sub>3</sub> (cm)	R <sub>4</sub> (mm)	厚度(s)	直 径	号	地区-号	直 径
1	DR 30-1 不明	10a/ <sup>2</sup>	磨光 破裂 破	30.5	48.0	30.0	30.0	12.0	厚约7	毛面带槽	1374	43-34	
2	CN 30-1 不明	10a/ <sup>2</sup>	磨光 破裂 破	30.1	48.5	30.5	30.0	12.0	厚约7	毛面带槽	1308	43-35	
3	CN 30-2 不明	10a/ <sup>2</sup>	磨光的带裂隙风化	30.0	49.0	30.0	30.0	12.0	厚约8	毛面带槽	1306	43-35	
4	CN 30-3 不明	10a/ <sup>2</sup>	磨光	30.0	49.0	30.0	30.0	12.0	厚约7	毛面带槽	1305	43-37	
5	未定 不明	10a/ <sup>2</sup>	磨光 破裂 破	30.0	47.0	30.0	30.0	12.0	厚约7	毛面带槽	1304	43-38	
6	CQ 30-2 不明	10a/ <sup>2</sup>	磨光 破裂 破	30.0	47.0	30.0	30.0	12.0	厚约7	毛面带槽	1303	43-39	



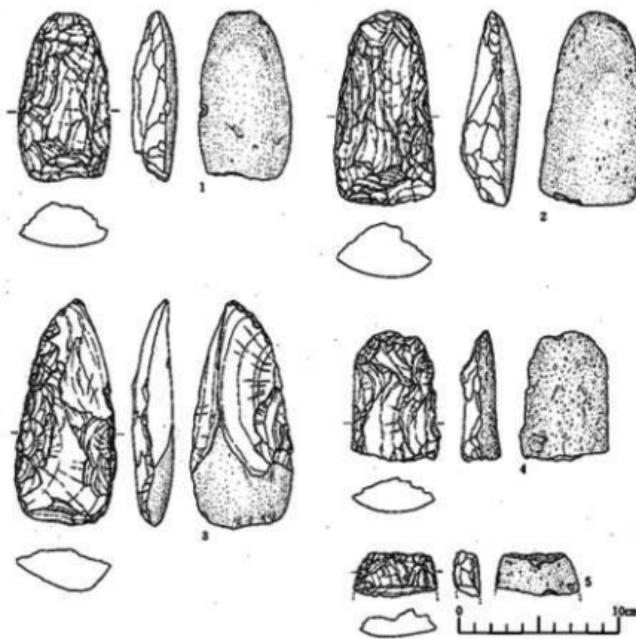
番号	地名・出處	種類	分類	測定値(cm)	石	厚	長さ(cm)	幅さ(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	性	出土地名	地質
1	CLD-1	石	刃	126.0	126.0	21.5	345.2	40.0	21.5	23.2	中	CLD-1	中
2	CQM-1	石	刃	126.0	126.0	40.0	345.0	40.0	21.5	23.2	中	CQM-1	中
3	BCH-2	石	刃	124.5	124.5	21.0	342.0	40.0	21.0	23.2	中	BCH-2	中
4	CMG-9	石	刃	126.0	126.0	21.5	345.0	40.0	21.5	23.2	中	CMG-9	中
5	CBH-1	石	刃	126.5	126.5	21.5	345.0	40.0	21.5	23.2	中	CBH-1	中
6	BCH-1	石	刃	126.5	126.5	20.5	345.0	40.0	20.5	23.2	中	BCH-1	中

第176図 打製石斧(9)



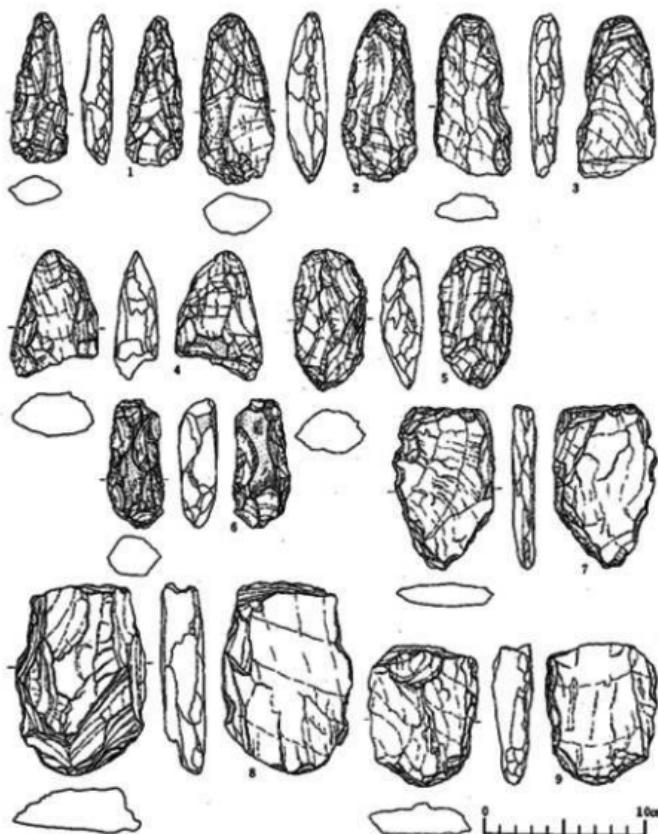
編號	地點	層位	形狀	斷面形狀	長	寬	厚	寬/厚	長/寬	長/厚	寬/長	厚/長	說明	註
1	C1.6-1	石器	石器	石器	19.5	6.5	3.5	1.8	3.0	5.5	3.0	0.2	打制石器	11-2
2	E.C.1-2	石器	石器	石器	18.5	6.5	3.5	1.8	2.8	5.2	3.0	0.2	打制石器	11-2
3	C.L.6-1	石器	石器	石器	18.5	6.5	3.5	1.8	2.8	5.2	3.0	0.2	打制石器	11-2
4	B.B.6-2	石器	石器	石器	18.0	6.5	3.5	1.8	2.7	5.1	3.0	0.2	打制石器	11-2
5	G.H.M-2	石器	石器	石器	18.0	6.5	3.5	1.8	2.7	5.1	3.0	0.2	打制石器	11-2
6	B.B.6-3	石器	石器	石器	17.5	6.5	3.5	1.8	2.6	4.9	3.0	0.2	打制石器	11-2

第177圖 打製石器(10)



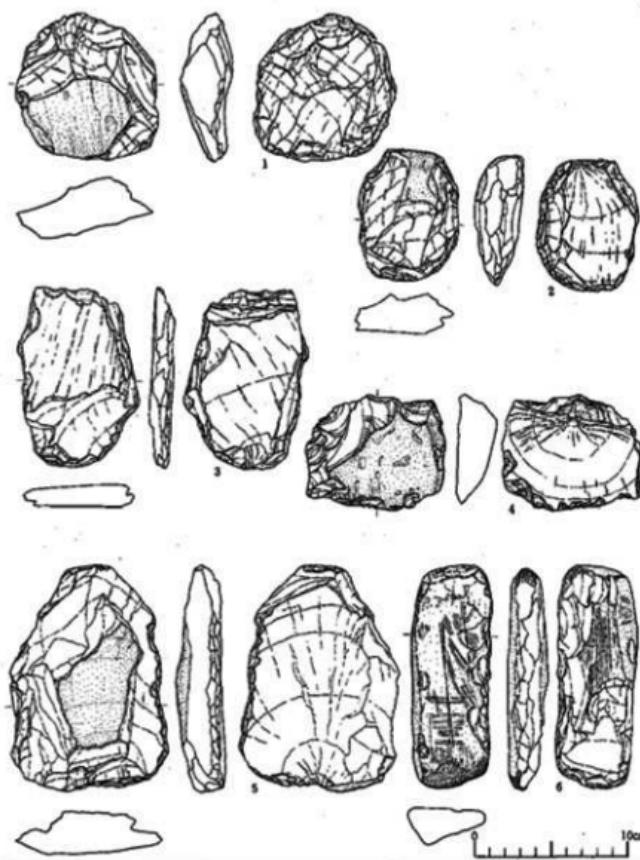
器号	地层・层位	地层	分层	层位(万年)	名	材	直(DH)	横(WH)	厚(H)	重(G)	性	器物号	图	文
1 CS 4-1	不 知	18m	200(4)	细 弦 刮 刀	石	28.0	5.0	2.5	220.0	打制石器	16	44-28		
2 CX 36-3	不 知	18m	200(4)	刮削器	石	32.5	6.5	3.0	250.0	打制石器	1642	44-28		
3 CM 45-2	不 知	18m	200(4)	刮 刀	石	34.0	6.5	2.5	230.0	刮刀	6427	44-28		
4 CQ 34-1	不 知	18m	200(4)	石 斧 用 刀	石	35.5	5.0	2.5	230.0	刮削器, 直刃型	669	44-28		
5 CM 47-2	不 知	18	200(6)	安 山 石 刮 刀	石	37.0	5.0	2.5	240.0	上下刃刮削器, 直刃型	1692	44-28		

第178圖 打制石斧(11)



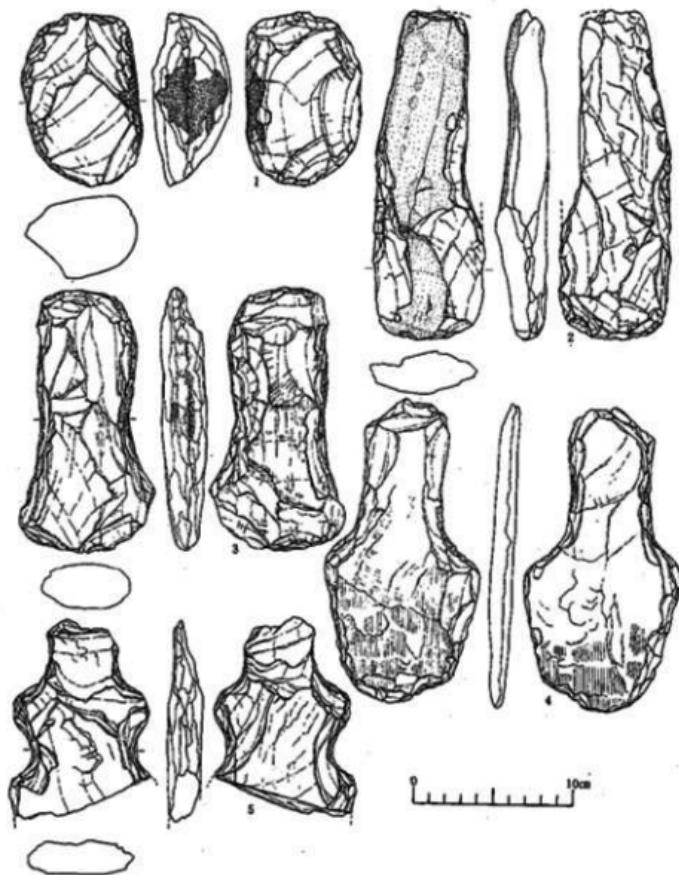
編號	地點 - 週期	分類	形狀	標本(厘米)	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石
1	CL 46-1 段	石核	石核(46#)	中	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直
2	CMB46-28	石核	石核(46#)	中	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直
3	CMB46-3	石核	石核(46#)	中	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直
4	CY 47-3	石核	石核(47#)	中	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直
5	DB 30-1	石核	石核(47#)	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直
6	CY 47-5	石核	石核(47#)	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直
7	CL 47-3 (E N)	石核	石核(47#)	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直
8	CL 46-2	石核	石核(46#)	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直
9	CS 42-1 (E S)	石核	石核(42#)	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直	直

第179圖 打制石斧(12)



番号	地名・施設	地層	工具	工具(石器)	石	石	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	番号	地名	地層
1	SHIM-2	第4回 SHIM-2	石器(?)	石	石	石	46.5	31.0	32.0	360	直角打削器	200	SHIM-2	
2	CNA-12	第4回 CNA-12	石器(?)	石	石	石	46.0	44.0	36.0	267	直角打削器あり、直角打削器	201	CNA-12	
3	SHIM-3	第4回 SHIM-3	石器(?)	石	石	石	21.0	31.0	14.0	162		202	SHIM-3	
4	DEM-1	第4回 DEM-1	石器(?)	石器(?)	石	石	31.0	31.0	26.0	209	直角打削器あり、直角打削器、直角打削器	203	DEM-1	
5	CNA-7	第4回 CNA-7	石器(?)	石	石	石	14.0	31.0	26.0	112	直角打削器あり、直角打削器、直角打削器	204	CNA-7	
6	SHIM-1	第4回 SHIM-1	石器(?)	石器(?)	石	石	14.0	31.0	26.0	112	直角打削器あり、直角打削器	205	SHIM-1	

第180図 打削石井(13)



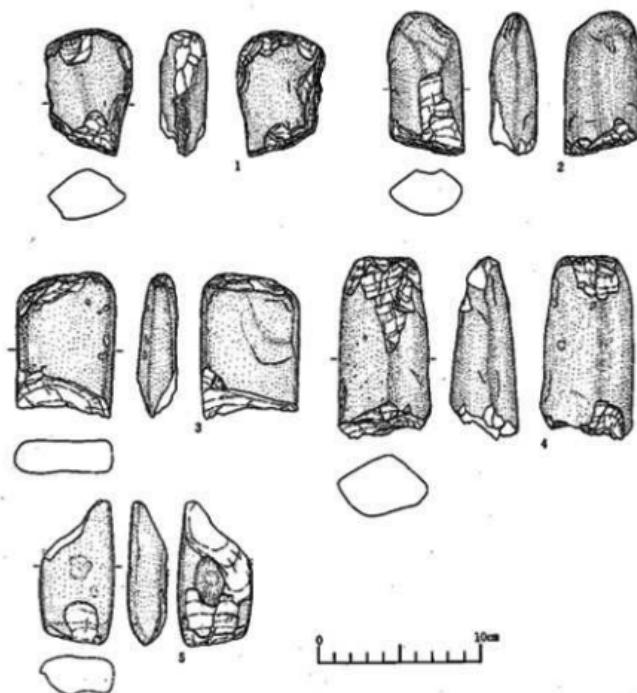
器名	形状・特徴	分類	測定値(mm)	基	材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備	号	登録番号	固	度
1	石斧・棒頭	石斧	295±20mm	石	質	295.0	71.5	45.5	480.0	丸刃、直刃打削込み	1	0000	45	-10
2	石斧・棒	石斧	285±20mm	石	質	295.0	71.5	45.5	480.0	丸刃、直刃打削込み	2	0002	45	-5
3	石斧・棒	石斧	295±20mm	石	質	295.0	71.5	45.5	480.0	丸刃、直刃打削込み	3	0003	45	-10
4	石斧・棒	石斧	295±20mm	石	質	295.0	71.5	45.5	480.0	丸刃、直刃打削込み	4	0004	45	-10
5	石斧・棒	石斧	295±20mm	石	質	295.0	71.5	22.5	250.0	丸刃、直刃打削込み	5	0005	45	-15

第181図 打削石斧(14)



图182(四) 打制石器(15)

号	地层·单位	地层	分层	层位(厘米)	形	质	高(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重(克)	号	地层号	层
1	C4H3-1	2	3	25.0	刮削器	石	椭	26.5	7.5	3.5	25.0	1200	6-12
2	B.F.27-1	3	3	25.0	刮削器	石	椭	36.0	8.0	3.5	38.0	495	6-14
3	12.2	2	4	25.0	刮削器	石	椭	12.5	7.0	3.5	36.0	210	6-7
4	C4-H.15	3	4	25.0	刮削器	石	椭	26.5	16.0	4.0	43.0	260	6-8

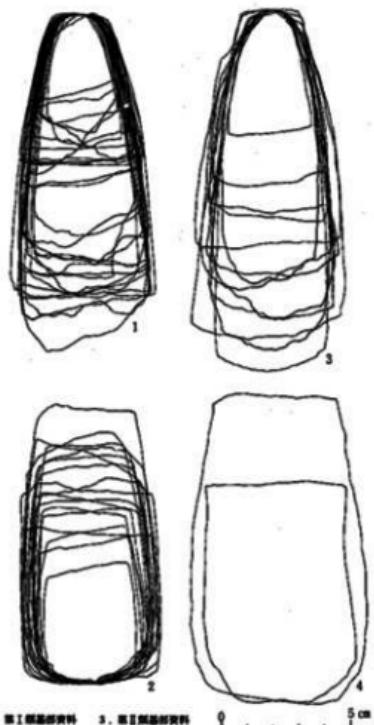


编号	材质	颜色	性状	用途(推测)	石	时	高(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重	石	时	高(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重	石	时	高(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重		
1	C440-2	石	黑	石	石	石	71.0	22.0	20.0	120.0	2	石	石	69.0	22.0	20.0	120.0	3	石	石	69.0	22.0	20.0	120.0
2	C440-3	石	黑	石	石	石	71.0	22.0	20.0	120.0	4	石	石	69.0	22.0	20.0	120.0	5	石	石	69.0	22.0	20.0	120.0
3	C440-1	石	黑	石	石	石	81.5	20.0	20.0	120.0	6	石	石	81.5	20.0	20.0	120.0	7	石	石	81.5	20.0	20.0	120.0
4	B400-1	石	黑	石	石	石	108.5	20.0	20.0	120.0	8	石	石	108.5	20.0	20.0	120.0	9	石	石	108.5	20.0	20.0	120.0
5	B400-2	石	黑	石	石	石	99.0	20.0	20.0	120.0	10	石	石	99.0	20.0	20.0	120.0	11	石	石	99.0	20.0	20.0	120.0

第183图 打制石片(16)

### 磨製石斧 (第187~第200図)

ここでは、研磨された石斧をまとめた。合わせて110点出土している。



第184図 痛脚石首第I・II頭の形態

第29表 磨盤石斧分類別・石材別出土數量表

### 3基部平面形による区分

- a 円基
- b 平基      再生基礎部とは基部破損後再加工してあるものをさす。
- c 尖基
- d 再生基礎部

### 4刃部平面形による区分

#### 1円刃

- 2偏刃      再生刃には、刃部が破損した後、数回の剥離によって作り直されたものをまとめた。また刃部断面図による区分は、打製石斧の場合と同様に片刃には「記号
- 3直刃
- 4尖刃      をつけて表記した。

#### 5再生刃

個別属性は以上のように行った。個々の石器の分類の欄には打製石斧の場合と同じで、各属性区分を組み合わせて表した。例えば、中形磨製石斧・円基円刃は I Bal として表記した。

### 2出土状況

所属時期の明らかなものは33点で、磨製石斧全体の30%である。出土点数は、C L39区37層・C L40区26層・C L41区18層から出土している3点が最も多い。量的にまとまって出土していないため層ごとに比較することはできない。わずかに、C L41区18層から第IV類が2点出土していることが注目される。

### 3時期による変化

第III期に11点出土しており最も多い。また第IV期の10点、第V期の6点もややまとまった点数といえる。第III・IV・V期だけで時期判明分の約70%を占めている。他には第VI期が4点、第VII期は3点、他の時期は1点ずつの出土である。

### 4石材 (第29表)

第I B類では砂質凝灰岩の使用が粘板岩のそれを上回っているが、他の各類はいずれも粘板岩が多く使用されている。

### 5形態の特徴と機能

時期が限定できる資料のみを対象にして特徴を捉えるのは数が少ない難しいが、第3項では貝層直下の土層と貝層形成初期に、磨製石斧の出土量が多いことが見てとれた。しかし、時期ごとに見るとこれ以上のことを指摘するのは難しい。このため、以下では後期前半から晩期前半の資料として田柄貝塚出土の磨製石斧を扱い記述を進めていきたい。

### 1第I類

第1類は総数81点出土しているが完形状態で出土しているものは1点もない。この点、打製

石斧第I類が大部分完形で出土しているのと対照的である。

第184図1・2は第I類の形態的特徴を外観するために、側面や基部が破損しているものや刃部再生が行われているものを除く資料の外形を重ね合わせた図である。この図をもとに、形態と破損についてふれ、そこから派生する問題を検討したい。

### (a) 形態の特徴

第184図1からもわかるが、基部は平基をしたものが多い。幅は1.8~2.8cmの間にまとまつており、平面形の類似とあわせると、形態に齊一性があることがわかる。

刃部は偏刃が最も多く、直刃は少ない。資料数が少ないため正確なことは不明だが、第184図2によれば、直刃をしている場合、他の刃部形態をしているものに較べ幅が広い傾向がみられる。

### (b) 製作法

第I類は最終工程として、研磨が行われているが、大部分の資料には敲打痕が残っている。工程の切り合いでみると、それらは、敲打→研磨の順序で作られていることがわかる。

次に研磨についてふれておく。研磨痕は両主面、側面とも右下り斜位にあることが多く、縦位がこれに次ぐ。ただし、刃部は横位研磨によって作り出されていることもある。

ところで磨製石斧の主面は実際には小さな研磨面の集積からなっている。隣り合っている小研磨面は稜によって区分されている。また小研磨面は平坦になっている。

磨製石斧にみられる研磨痕には右下り斜位が多いことは既に北海道聖山遺跡の報文(岡村:1979)中に述べられている。右下り斜位の擦痕は、斧身を持つにしろ、砥石を持つにしろ、左手で前後運動を行うことによって残ることが多い。体の軸と右肩の位置を前後した方が無理なく動けるからである。従って小研磨面は小さい砥石を持って研磨した場合と斧身を持って大きい砥石で研磨した場合に形成される。しかし田柄貝塚では後述するように大きい砥石が多いことから、後者の方法が考えられる。そして斧身は研磨痕の傾きから右手に持たれること多かつたといえる。

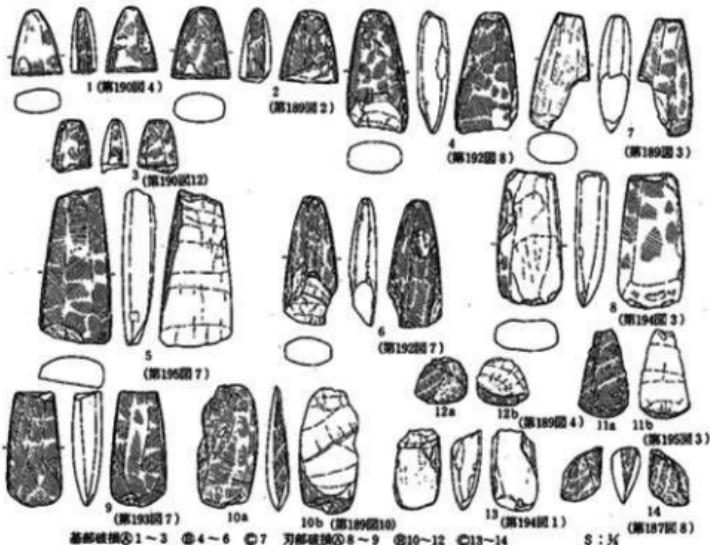
### (c) 破損

基部資料・刃部資料を見る限り、破損部は3つに類型化できる。それを以下にまとめる。

①類型 斧身の長さの中央より基部に寄った部位(基端部から約6~6.5cm)で折れる。折れ面は折断したようになっている(第185図1~3、8~9)。

②類型 刀部が大きく剥離する。破損西側の刀部でも刃縁に近い部位では5mmぐらいは研磨された面が残る(第185図4~6、10~12)。なお、基部資料では破損部を再加工して打製の刃部を作り出している例もある。

③類型 刀部が縦に剥離する(第185図7・13~14)



第185図 磨製石斧の破損類型

ただしこの類型は円刃や偏刃とした磨製石斧を観察した結果による。直刃は、資料が少ないためこれらの類型にあてはまるかどうか言及できない。というのは、直刃の場合はA類型しかないのである。小形磨製石斧もやはり資料数が少ないので各類型にあてはまるかどうか判断できない。

#### (d) 使用痕

第I類では研磨痕と使用痕である線条痕をはつきり識別するのはむずかしい。研磨痕は両主面とも右下り斜位に施されていることが多い。線条痕は対象物に対して両主面とも同じ角度で入るため、斜めに入角したときには左右の主面では擦痕の傾きが違ってくる。また垂直に入ると、対象に多く接触する主面がより明瞭ながら、前後の主面とも刃縁に対し縦位に線条痕がつく(Semenov: 1964)。使用痕(線条痕)と研磨痕は上述した観点から区別した。

線条痕はB類型の破損をしている資料にのみ観察された。第195図11の刃部には先に述べた条件にあてはまる擦痕(図版71図6)がある。a面にみられる研磨痕は縦位～右下り斜位に施されている。線条痕は刃部の「中央やや右寄り」に左下り斜位に見える。b面は破損した側で、刃縁から5mmの部位まで右下り斜位の擦痕があり、研磨痕と線条痕は同じ傾きをしている。第185図12のa面は刃部「中央から右側縁」にかけて左下り、b面に右下り斜位の線条痕

と研磨痕がある。b面は歯縁付近を残して破損している。破損している側に右下り斜位の線条痕があることは第185図11と同じである。

第185図10のb両刃部左端には刃こぼれ状のマイクロ・フレイキングがあるが、線条痕は不明確である。上部にみられる破損は基部側からおきている。

これによると、左下りの線条痕は研磨面が残っている面(a面)の刃部「中央から右側縫」にかけてみられ、右下りの線条痕は破損がおきている面(b面)にあることが共通点としてあげられる。

#### (e) 着柄

④類型は使用時に破損したとすると、刃部から基部へと伝わってきた力を、主面上方で折れるように変えている「もの」が基部にあったことが予想される。それは当然ながら、斧身を柄に結びつける方法と関連があろう。基端部から6cm付近で折断されたように折れた例が多いことなど、破損に齊一性があること、基部平面形や斜面形に規格性があることから、単に緊縛しただけとも思われない。

福井県鳥浜貝塚からは縄文時代前期の木製石斧柄が出土している(山田:1979)。この柄には斧身装着用にソケットが作られている。これを参考にすると、田柄貝塚から出土している磨製石斧もソケット部をもつ柄によって覆われていたとするのが妥当であろう。つまり、④類型の基部資料の長さは、ソケット部に補填されていた範囲を示しているのであろう。

⑤類型の刃部資料にはa面の刃部「中央から右側縫」にかけて左下り斜位の線条痕や刃こぼれがあることを指摘した。左下り斜めの線条痕があるのは縦斧名主面として使用された斧身に多いことが実験により確かめられている(Semenov:1964)。また佐原真氏は「縦斧では、後側刃角、後側面下端(四面石斧)、後側縫下端(二面石斧)」が「最もいちじるしく損耗し、早くへてくる」と指摘している(佐原:1977)。このことから、先に検討した第185図10~12のa面は右主面、b面は左主面として着柄されていたといえる。

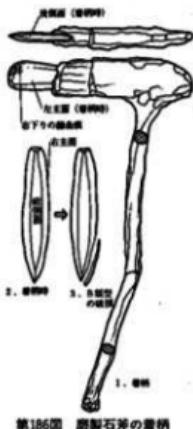
(第186図1)。したがって、⑥類型の基部資料では破損している側が右主面になる。(第186図3)。

⑦類型は、同様に考えると破損している部位が縦斧後側面になる。

#### (f) 機能・用途

第I類の刃部は丁寧に研磨され、鋭利に作られているが、いずれも資料も破損している。使用によって折れたとすると、石でも簡単に折れてしまうほど硬いもの(木や骨)が対象物であったのであろう。

⑧類型はソケット部にねじれた力が働いたためにおこる



第186図 磨製石斧の着柄

破損と考えられるが、⑩類型と⑪類型は刃部に不自然な力が働いたためにおきた破損である。今後類例を積み重ねることによって⑩・⑪類型の違いをはつきり区別できると思われるが、現状ではB類型を立木伐採時では、立木の右側から「斜めに振りおろす行為」、⑪類型をまき割りのように正面上方から「まっすぐ振りおろす行為」の時におきた破損としておきたい。ただしこれらのことは、使用痕が観察された、第ⅠB1・2類（中形磨製石斧円刃・偏刃）に限定しておく。

## 2第Ⅱ類

第Ⅱ類も第Ⅰ類と同じように完形品はない。第184図をみると第Ⅱ類の基部には尖基が多いことがわかる。幅は第Ⅰ類を大きくしたものが多い。

第Ⅱ類には剥離・敲打・部分的な研磨の3つの工程があり、それらは剥離→敲打→研磨と順に行われていることが各資料から観察される。敲打工程は第Ⅱ類を特徴づける手法だが、第199図2をみると、正面だけでなく両側面も第Ⅰ類同様の形態が敲打によって作られている。このことから第Ⅱ類は第Ⅰ類の未成品を含んでいると考えられる。その場合、第Ⅱ類には尖基が多く、Ⅰ類には平基が多いことから、基礎部の調整は最終工程（研磨）で行われていることになる。

折れ面には折断されたようなものがある。しかし基端部からの長さにまとまりがなく、第Ⅰ類のように破損部位・形状をもとに類型化することはできないことから、敲打整形時に破損したものを含んでいよう。また、中には正面に剥離を加えて打製の刃部を作り出しているものもある。

## 3第Ⅲ類

第Ⅲ類で刃部に研磨が施されているのは第200図3だけである。3の背面には長めの縦位線条痕が、腹面には短めの縦位線条痕が認められ、腹面を前正面（柄に近い面）とする横斧として使用されたことを示している。他の第Ⅲ類は剥離後に部分的な研磨が行われているが、不明な部分が多い。

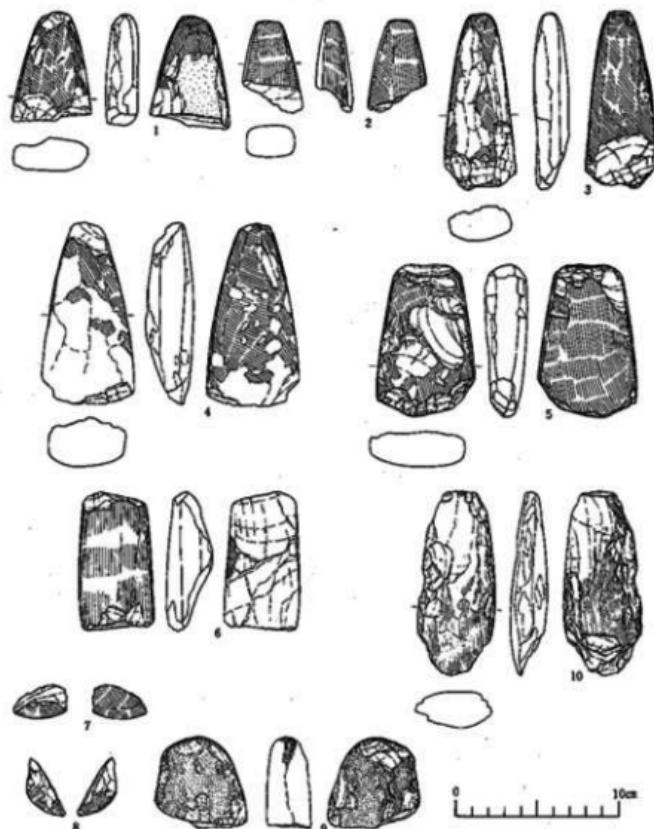
## 4第Ⅳ類

第Ⅳ類は第Ⅰ～Ⅲ類と断面形態や整形法が類似していることから、これらを転用したものと考えた。このうち端部に両極剥離痕をもつもの、つぶれをもつものはビエス・エスキューに、研磨があるものは磨石に転用されたのであろう。



序号	产地-层位	性 别	中 极	尾 极	种名(属)	石 物	长(厘米)	宽(厘米)	高(厘米)	重(g)	描 述	参考文献	图 号
1	CMB-27	♀	15a	尾极	浅 窄	右	46.0	43.0	36.0	95.0	右侧扁，上部D-L型，浅分带	2520	d=1
2	CLG-27	♀	2Ab	尾极	深 窄	右	31.5	28.0	16.5	21.1		261	d=2
3	CMB-28	♀	15b	尾极	深 窄	左	39.5	36.0	25.0	104.7	左侧扁，上部D-L型	2521	d=3
4	CLM-28	♀	15b	尾极	深 窄	右	34.0	31.0	26.5	125.0		2720	d=4
5	CLG-27	♀	15d	尾极	深 窄	右	34.5	31.0	26.5	125.0		261	d=5
6	CLM-27	♀	15d	尾极	深 窄	右	34.5	31.0	26.5	125.0		2720	d=6
7	CLG-28	♀	20c	尾极	深 窄	右	36.0	33.0	21.0	125.5	右侧扁，下部带D-L型	261	d=7
8	CLM-27	♀	15e	尾极	深 窄	右	32.5	44.5	26.5	104.5	右侧扁，下部带D-L型	2720	d=8

第187图 南阳石斧(1)



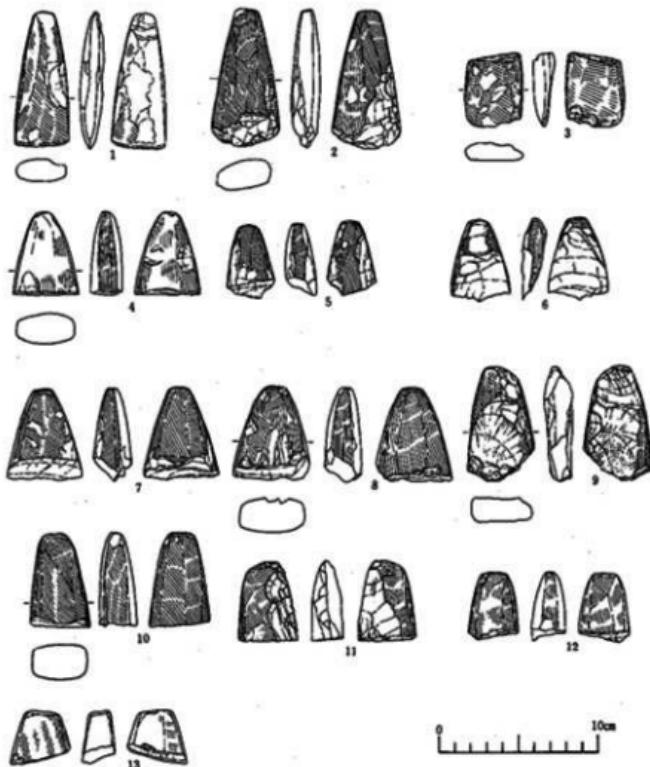
号	地层·单位	形	分组	长(厘米)	石	形	高(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重(g)	号	地层号	层	图
1	CL 40-25	II	10a	3.5	砾	尖	37.0	21.0	11.0	37.8				
2	CL 40-26	II	10b	3.5	砾	尖	38.0	21.0	11.5	37.4				
3	CM4-27	II	10a	30.0	砾	尖	33.0	23.5	11.0	341.4				
4	CL 39-36	II	10a'	32.0	砾	尖	31.0	23.0	11.0	340.4				
5	CL 39-36	II	10a''	32.0	砾	尖	31.0	23.0	11.0	340.4				
6	CL 40-19	II	10b	3.5	砾	尖	31.0	21.0	11.5	285.0	片状石			
7	CL 40-19	II	10c	3.5	砾	尖	31.0	21.0	11.5	285.0	片状石			
8	CL 40-19	II	10d	3.5	砾	尖	31.0	21.0	11.5	285.0	片状石			
9	CL 40-26	II	10a	3.5	砾	尖	31.0	21.0	11.5	285.0	片状石			
10	CL 40-26	II	10a'	3.5	砾	尖	31.0	21.0	11.5	285.0	片状石			

第188图 磨制石斧(2)



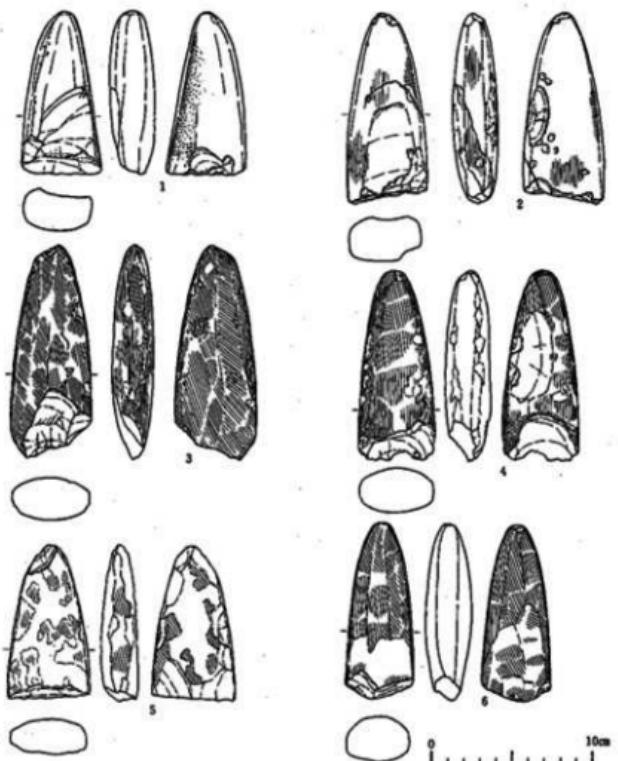
编号	地层	地名	分组	石器(石器)	石	长(cm)	宽(cm)	厚(cm)	重(g)	号	出土地点	图	页
1	CMB-35	V	13a	刮削器	砂岩	41.5	22.0	22.5	62.7		1084	45-2	
2	CLG-35	V	13b	刮削器	砂岩	57.5	46.0	24.0	94.0		1022	45-2	
3	CLG-35	V	13b <sub>1</sub>	刮削器	砂岩	34.0	42.0	24.5	128.7		1023	45-2	
4	CMB-35	V	13a <sub>1</sub>	刮削器	砂岩	34.5	48.0	9.5	22.0	1084	45-2		
5	CMB-35	V	13a <sub>2</sub>	刮削器	砂岩	36.5	38.0	46.0	240.0		1023	45-2	
6	CMB-35	V	13a <sub>3</sub>	刮削器	砂岩	57.0	33.0	28.0	47.0		1020	45-2	
7	CLB-35	V	13a <sub>4</sub>	刮削器	砂岩	56.0	45.0	24.0	111.1	开刃、刮削—敲打	100	45-2	
8	CLB-35C	V	13	刮削器	砂岩	23.5	9.0	4.5	1.4		1020	45-2	
9	CLB-35	V	13b <sub>1</sub>	刮削器	砂岩	94.0	45.0	38.0	200.5	刮削—敲打	1001	45-2	
10	CLB-35	V	13b <sub>2</sub>	刮削器	砂岩	69.0	42.0	17.0	110.0		1040	45-2	
11	CLB-35	V	13a <sub>5</sub>	刮削器	砂岩	67.0	46.0	25.0	193.8		71	45-2	
12	CLB-35	V	13a <sub>6</sub>	刮削器	砂岩	34.0	38.0	21.0	32.0		1021	45-2	
13	CLB-35	V	13b <sub>3</sub>	刮削器	砂岩	44.5	28.0	32.0	25.0		1040	45-2	
14	CLB-35	V	13b <sub>4</sub>	刮削器	砂岩	196.0	48.0	31.0	280.0	刮削—敲打—刮削	1011	45-2	
15	CLB-35	V	13b <sub>5</sub>	刮削器	砂岩	55.0	42.0	20.0	45.0	开刃—敲打—刮削	100	45-2	

第189图 磨制石斧(3)



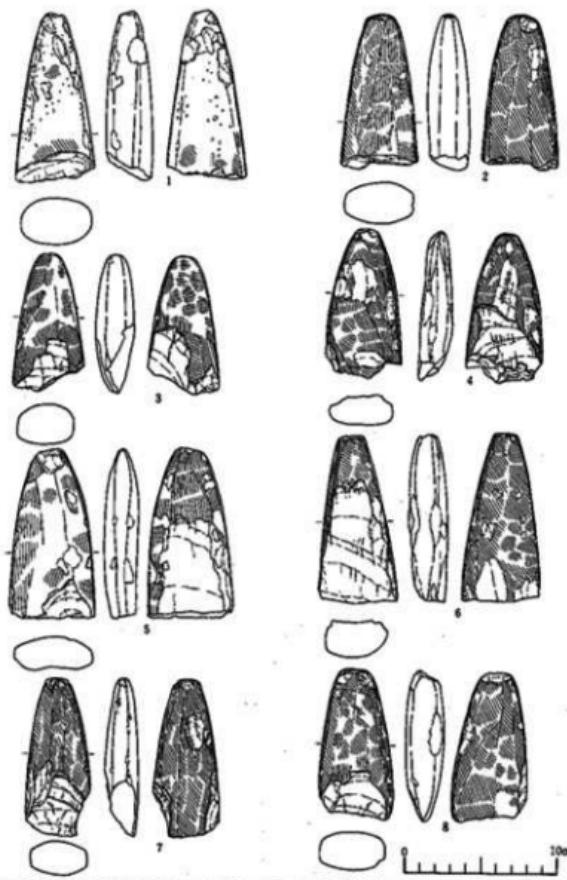
編號	地點	形狀	長度(毫米)	寬	厚度(毫米)	寬度(毫米)	厚度(毫米)	標	年	登錄號	註
1	CKH-1 不規	石斧	300(14.2)	中寬	44.0	35.0	16.0			121	65-35
2	CKH-2 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	35.0	17.0			120	65-35
3	CKH-3 不規	石斧	300(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
4	CKH-4 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
5	CKH-5 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
6	CKH-6 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
7	CKH-7 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
8	CKH-8 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
9	CKH-9 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
10	CKH-10 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
11	CKH-11 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
12	CKH-12 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35
13	CKH-13 不規	石斧	310(14.7)	中寬	46.0	34.0	18.0	標記: 二三頭兩頭一頭頭兩頭		1210	65-35

第190圖 磨製石斧(4)



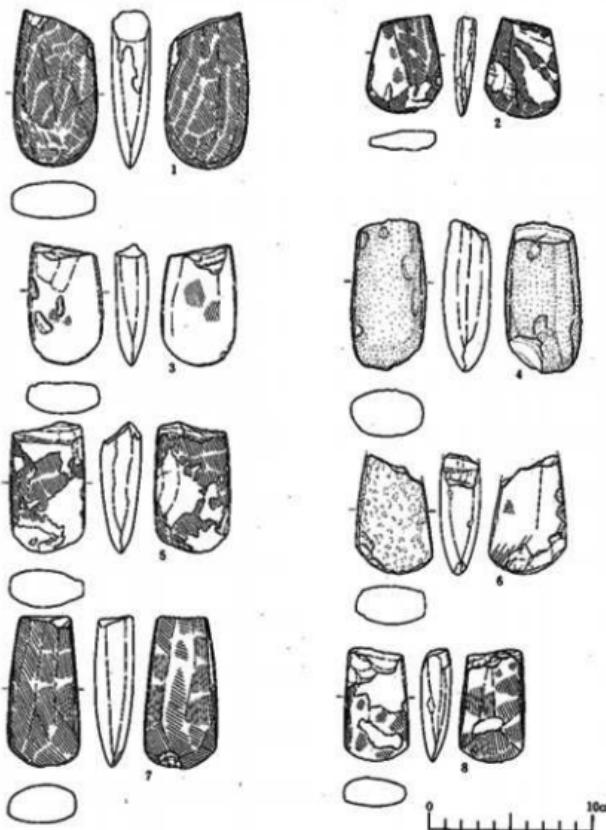
器号	地区·层位	地层	分组	特征(形态)	石	片	厚度(mm)	横宽(mm)	纵宽(mm)	厚比(%)	基	号	特征	石	片
1	CDM-1	不 确	13c	细长	参见(图版)	参见	20.0	4.5	26.5	18.5		467	47-1		
2	CH40-1	不 确	13c	细	参见	参见	21.0	5.0	27.5	20.0		468	47-2		
3	CE39-6	不 确	13c	细	参见	参见	20.0	5.0	26.0	20.0		469	47-3		
4	CL47-3a	不 确	13c	细长	参见	参见	22.0	4.0	22.0	22.0		470	47-4		
5	CL47-3	不 确	13c	细	参见	参见	24.0	5.0	28.0	22.0		471	47-5		
6	DB35-1	不 确	13c	细长	参见	参见	20.0	4.5	26.0	18.5		472	47-6		

第191图 磨制石斧(5)



編號	地點・層位	形狀	長度(mm)	寬度(mm)	厚度(mm)	重量(g)	編號	地點・層位
1	QH-B-1 水 利 12a	長	200	20.0	2.0	24.0	12	47-1
2	CL-B-3 水 12a	中 長	200	20.0	2.0	24.0	13	47-5
3	CH-B-23 水 12a	中 短	190.0	20.0	2.0	24.0	14	47-5
4	CH-B-24 水 12a	短	190.0	20.0	2.0	24.0	15	47-12
5	CH-B-25 水 12a	長	210.0	20.0	2.0	24.0	16	47-12
6	CB-B-1 水 12a	長	210.0	20.0	2.0	24.0	17	47-12
7	BT-B-1 水 12a	中 長	200.0	20.0	2.0	24.0	18	47-12
8	CT-B-1 水 12a	中 短	200.0	20.0	2.0	24.0	19	47-12
9	CP-B-1 水 12a	短	190.0	20.0	2.0	24.0	20	47-12

第192圖 磨製石矛(6)



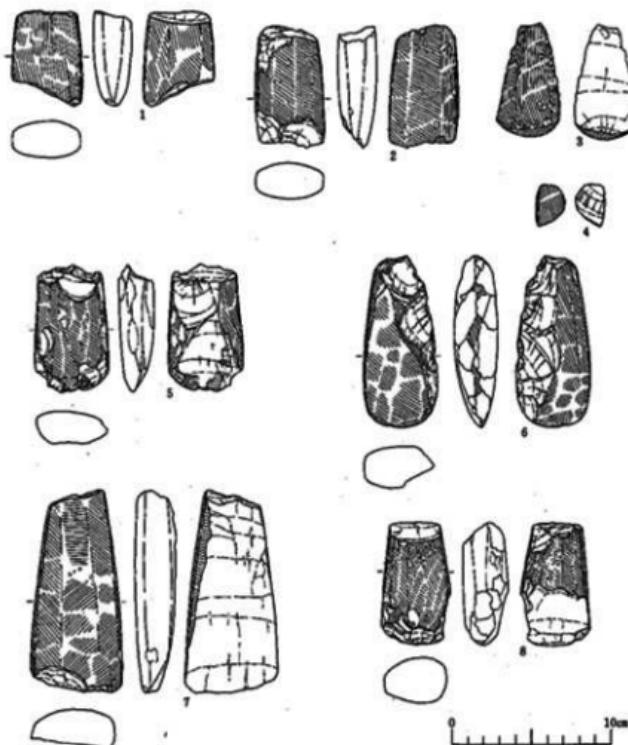
番号	地区・場所	地層	分類	絶対年齢(万年)	石	材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	出典番号	頁
1	CMA-1 沖	平成	石刀	12.0	2084.287	粘板岩	51.0	50.5	23.0	175.0		502	47- 15
2	CLB-2000	2- 40	石刀	2084.277	中質板状岩	62.0	45.0	11.0	45.4		261	47- 16	
3	DEM-4	2- 40	石刀	2084.477	中質板状岩	71.0	45.0	10.0	194.1		160	47- 17	
4	東	新	石刀	2084.57	中質板状岩	52.0	45.0	26.0	194.1	表面磨耗。刃部つぶれ	204	47- 18	
5	GC-49-2	2- 40	石刀	2084.477	中質板状岩	51.0	44.5	36.0	136.4	刃部つぶれ	213	47- 19	
6	BS-51-1	2- 40	石刀	2084.477	砂岩	72.0	45.4	24.4	237.0	刃部つぶれ	201	47- 20	
7	GPM-1	2- 40	石刀	2084.477	中質板状岩	55.0	44.0	22.0	194.2		229	47- 21	
8	CNAE-8-4	2- 40	石刀	2084.477	中質板状岩	60.0	35.6	18.0	175.0		161	47- 22	

第193図 磨製石斧(7)



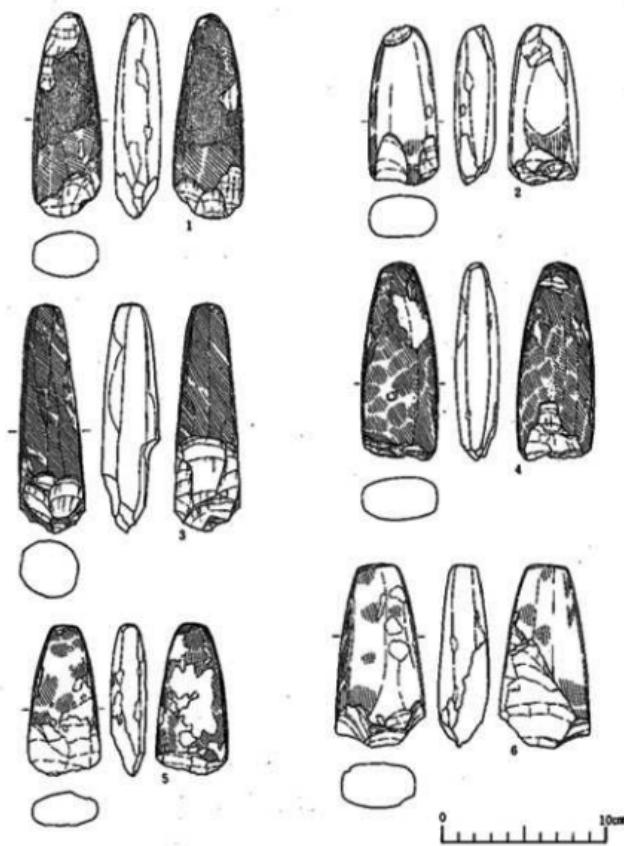
番号	地質・層位	特徴	分類	測定(3次元)	石	形	長さ(3次元)	幅さ(3次元)	厚さ(3次元)	重さ(g)	性	出土地名	組	年
1	DHEG-1	不規	1b <sub>1</sub>	200×45×47	砂	錐状	36.0	20.5	14.0	14.0	下部の小斜面、刃部の凹凸	11	47-25	
2	CPM-1	不規	1b <sub>2</sub>	200×45×47	砂	錐状	35.8	21.5	24.5	18.0	上部・刃部の凹凸	100	47-24	
3	CLG-1	不規	1b <sub>3</sub>	200×45×47	砂	錐状	36.8	21.0	24.5	22.0	下部の小斜面、刃部の凹凸、刃部磨	640	47-25	
4	BCG-1	不規	1b <sub>2</sub>	200×45×47	砂	錐状	35.5	20.0	20.5	14.0	上部上面の凹凸	132	47-25	
5	DEG-1	不規	1b <sub>2</sub>	200×45×47	砂	錐状	36.5	21.0	24.0	19.4	刃部の凹凸	100	47-27	
6	DAEG-1	不規	1b <sub>2</sub>	200×45×47	砂	錐状	36.5	21.5	24.0	17.0	上部の小斜面、刃部の凹凸	800	47-25	
7	CHG-1	不規	1b <sub>2</sub>	200×45×47	砂	錐状	35.9	21.5	25.5	13.3	刃部	800	47-25	
8	CEG-1	不規	1b <sub>2</sub>	200×45×47	角	錐状	35.3	24.0	26.5	20.0	刃部、刃部と底面の凹凸	100	47-25	

第194図 磨製石斧(8)



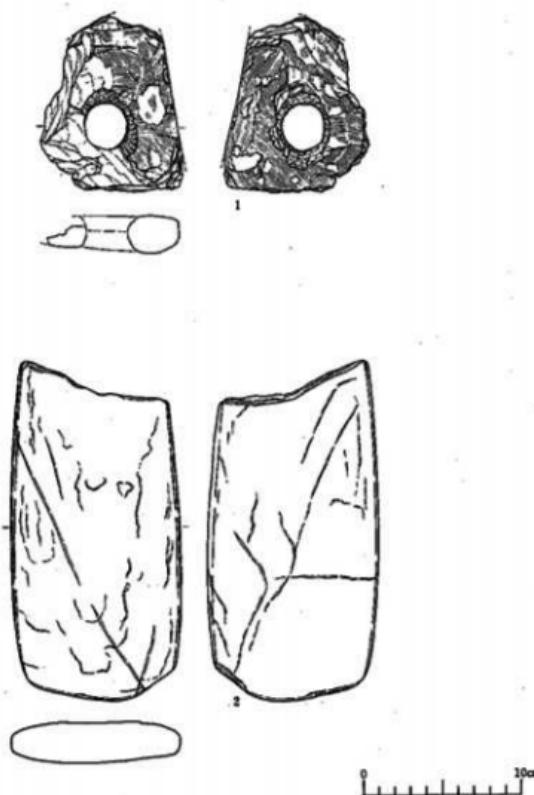
番号	場所・層位	年	分類	測定値(CM)	石	材	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	番号	年	測定値(CM)	石	材	
1	C.GN-1	不	不	15	中空	砂	青	灰	18.0	45.5	34.0		21	4-1			
2	C.LG-1	不	不	19	中空	砂	青	灰	18.5	45.5	34.0		24	4-1			
3	D.GN-1	不	不	19	中空	砂	青	灰	18.5	45.5	34.0		24	4-1			
4	B.GN-1	不	不	20	中空	砂	青	灰	18.0	45.5	34.0	刃部と斜面する縦溝	132	4-1			
5	B.GN-2	不	不	20	中空	砂	青	灰	18.0	45.5	34.0		133	4-1			
6	C.LG-2	不	不	20	中空	砂	青	灰	18.0	45.5	34.0		25	4-1			
7	D.GN-2	不	不	20	中空	砂	青	灰	18.5	45.5	34.0		26	4-1			
8	B.GN-3	不	不	20	中空	砂	青	灰	18.0	45.5	34.0	刃部つぶれ	23	4-1			
9	C.MG-4	不	不	20	中空	砂	青	灰	18.5	45.5	34.0	刃部つぶれ	24	4-1			

第195図 磨製石斧(9)



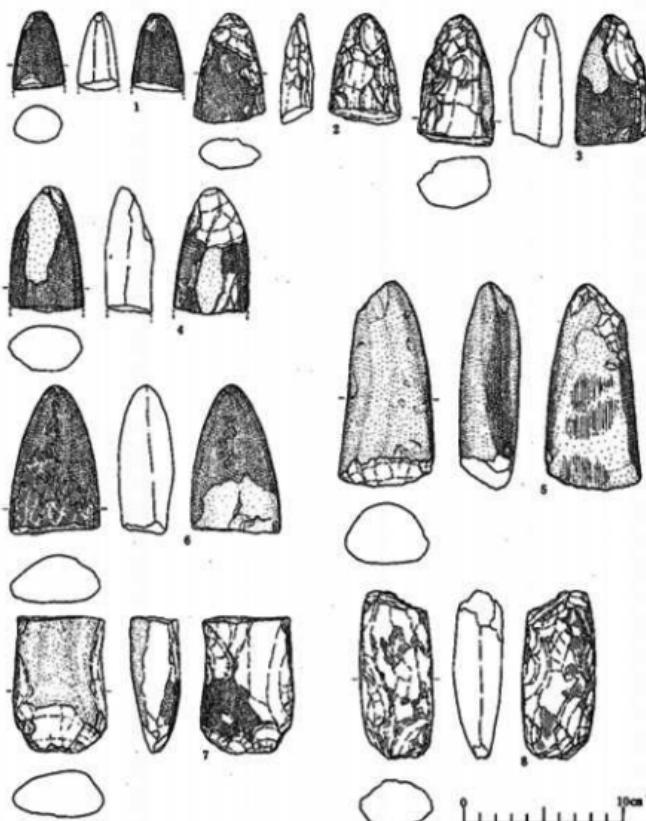
番号	地名・層位	地質	分類	頭足(胸肉)	石	材	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	標	号	地質番号	絶	絶
1	CQM-1	不	明	19.0	頭足(胸肉)	中	質	良	42.0	22.5	23.0	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)
2	CQM-2	不	明	19.0	頭足(胸肉)	中	質	良	42.0	24.5	23.0	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)
3	BCM-2	不	明	19.0	頭足(胸肉)	中	質	良	39.0	23.0	20.0	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)
4	BAE-4	不	明	19.0	頭足(胸肉)	中	質	良	42.0	25.0	22.0	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)
5	CQM-11	不	明	19.0	頭足(胸肉)	中	質	良	31.0	33.5	21.0	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)
6	CQM-1	不	明	19.0	頭足(胸肉)	中	質	良	32.0	34.0	20.0	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)	頭足(胸肉)

第196図 痛製石斧(10)



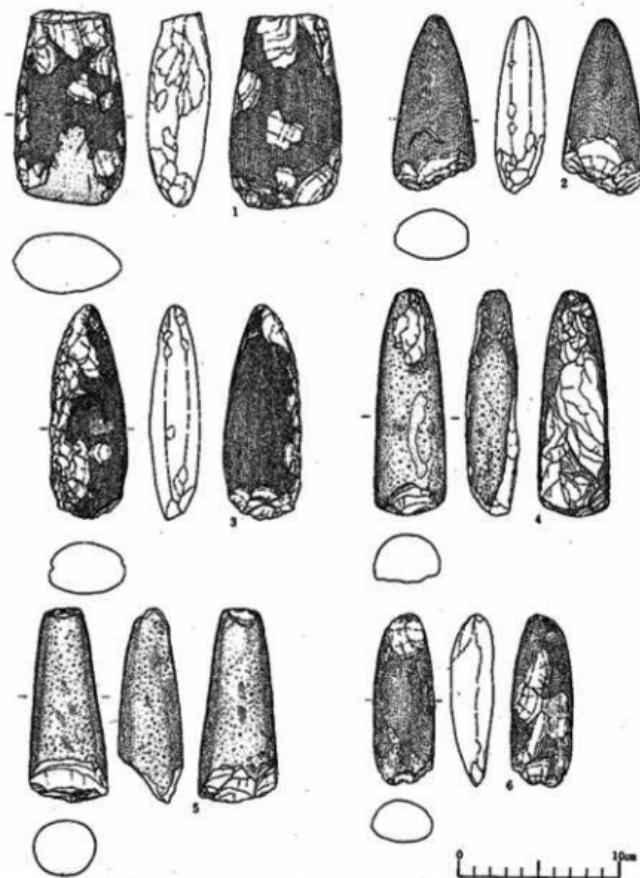
第197圖 磨製石斧(1)

號	地點	層次	分類	長寬(HW)	形	質	長寬(HW)	厚度(WD)	厚寬比(H/W)	形	質	長寬(HW)	厚度(WD)	厚寬比(H/W)
1	CRM-1	2	IC	磨制石斧	圓	石	122.0	86.0	0.75	磨制石斧	石	28	45-55	
2	CQG-1	2	IC	磨制石斧	圓	石	203.0	136.0	0.65	磨制石斧	石	100	45-55	



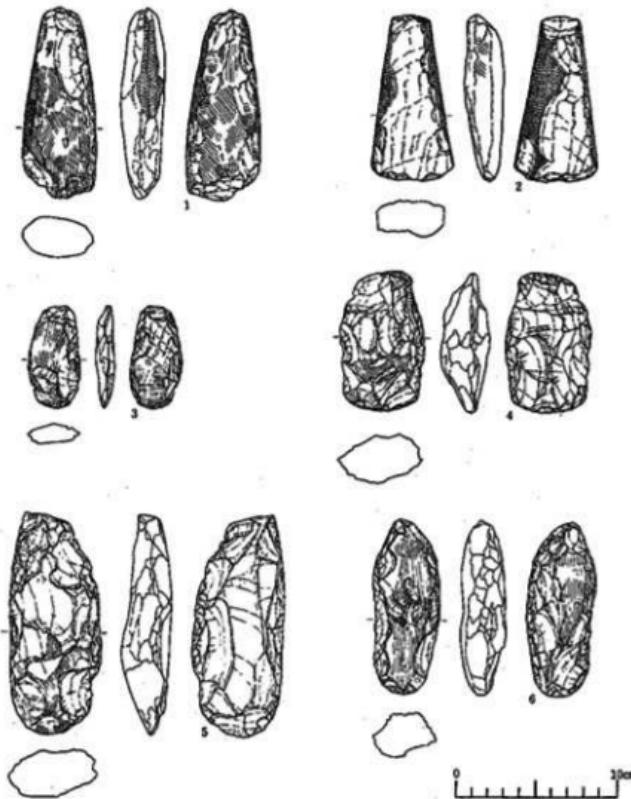
番号	地名・層位	地質	分類	標高(万メートル)	高	幅	A.B.(mm)	B.C.(mm)	C.D.(mm)	厚さ(mm)	断面(s)	記	説明番号	目
1	DQ-03-1	不規	砂岩	0	35	35	45.0	32.0	25.0	45.7			102	45-27
2	CL-07-3a	岩	砂岩	0	35	35	45.0	32.0	25.0	45.7			102	45-28
3	CM-L4-1	不規	砂岩	0	35	35	45.0	32.0	25.0	45.7			102	45-29
4	CL-07-4	不規	砂岩	0	35	35	45.0	32.0	25.0	45.7			102	45-30
5	CQ-H4-1	不規	砂岩	0	35	35	45.0	32.0	25.0	45.7			102	45-31
6	CM-H-4a	不規	砂岩	0	35	35	45.0	32.0	25.0	45.7			102	45-32
7	CM-0-1	不規	砂岩	0	35	35	45.0	32.0	25.0	45.7			102	45-33
8	CG-Q-1	不規	砂岩	0	35	35	45.0	32.0	25.0	45.7			102	45-34

第198図 磨製石斧(12)



番号	地名・井位	岩相	分類	鏡面(CM)	厚	底面(CM)	鏡面(CM)	厚さ(CM)	底面(CM)	厚	鏡面番号	厚
1	SD-4-深井 3.0m	EB	角閃石片岩	2.0	10.5	45.0	31.5	11.5	44.0	自燃點火、角閃-斜長	2001	40-1
2	SD-4-1 深井 30m	EB	角閃石片岩	2.0	10.5	26.0	35.0	21.0	31.0	角閃-斜長、角閃-カル	2119	40-2
3	SD-4-1 深井 25m	EB	角閃石片岩	2.0	10.5	47.0	21.0	20.0	20.0	角閃-カル、角閃	2002	40-3
4	CQ-4-深井 3.0m	EB	角閃石片岩	2.0	10.5	45.0	31.5	11.5	44.0	自燃點火、角閃-斜長	1991	40-4
5	SD-2-1 深井 30m	EB	角閃石片岩	2.0	10.5	26.0	35.0	21.0	31.0	角閃-斜長、角閃-カル	2007	40-5
6	CQ-2-1 深井 30m	EB	角閃石片岩	2.0	10.5	31.0	21.0	14.0	14.0	角閃-カル、角閃	2004	40-6

第199図 磨製石井(13)



编号	地层·层位	地层	分层	厚度(mm)	形	质	长(L)(mm)	宽(W)(mm)	厚(H)(mm)	综合(A)	号	新旧程度号	新	旧
1	CN d1-1 不锈	BNm	BNm(4°)	粗	粗	125.5	45.5	35.5	200.0	0000-0001-000000	000	40-7		
2	CQ d1-1 不锈	BNm	BNm(2°)	粗	粗	105.0	55.0	25.0	144.2	0000-0001-000000	000	40-5		
3	CJ d1-2 不锈	BNm	BNm(2°)	粗	粗	64.0	32.0	11.5	95.4	0000-0001-000000	000	40-5		
4	BC d1-4 不锈	BNm	BNm(4°)	粗	粗	67.0	62.0	25.5	150.0	0000-0001-000000	000	40-10		
5	CD d1-2 不锈	BNm	BNm(4°)	粗	粗	125.5	58.0	35.0	200.0	0000-0001-000000	000	40-11		
6	CQ d1-1 不锈	BNm	BNm(4°)	粗	粗	41.5	41.5	25.0	185.0	(0000-0001)-000000	00	40-12		

第200图 磨制石斧(14)

ているとし、同じ部位に敲打痕がある第B2—①類との違いを使用頻度の差と考えたい。そうして主面に敲打痕がある第B2類は、②タイプの敲打痕があることからそれを持たないA類より力を必要とする使用法に基づくとし、A類と区別する。植物を例にとるならば、②タイプは殻がやや堅いクルミ類、①タイプはその他の堅果類が加工されたものとして考えられる。

### 3第III類（凹石）

破損している例が多いため、第201図中に資料化したものは少ない。形態aが2点、形態bが3点ある。窪みには数千、数万回におよぶ敲打が集中したような、断面が「U」字形をしたものと、同心円状の回転運動が行われた結果のように、断面が「V」字形をしたものがある。いずれにしても窪みの具合からみて、第I・II類のように、手を持って使用された状況は想定しにくい。台として固定されたものもある。

### 4第IV類（石皿）

第IV類には完形品がない。全体の大きさを推定できるのは約 $1/2$ が残っている第241図1である。この資料の完形状態を復元すると、長さ45cm、幅17.6cmの楕円形になる。大部分の縁辺や底面、主面の平面部を敲打によって作り出している。石皿の脚部も出土している。

主面が荒れた状態は第IA1類と類似している。縦条痕は長軸に沿って（継立）みられる。これらの中には、前述したように、第IA類とセットになって使用されたものを含んでいる。

### 5第V類（砥石）

第V類の縁辺には剥離が施されているものが多い。長さ15cm以上ある大形のものが多く、第244図3のような小さいものは稀である。

研磨面は平坦な例（A類）が多い。表面は第IV類と同じように荒れている。縦条痕は継位・不定あるいは不明で齊一性がない。溝状の磨面をもつもの（B類）は単独でみられないでA類の研磨面中にある。縦条痕は継位にある。使用にあたっては、A類は板状、B類は棒状製品の研磨に用いられたと考えられる。素材としては、骨角品、木器、石製品が想定される。

### 6大別した使用痕が重複しているものについて

ここでは磨石類の属性が1つの石器に2つ以上みられるものについて述べる。

第I+II類は長さこそ6~13.5cmとバラツキがあるものの、長幅比は5:4前後にまとまる。楕円形のもの（第I:II類のa類）が26点、長方形のもの（第I類b類）が5点で前者が極端に多い。このあたりは第I類（磨石）の特徴と一致している。第I類の属性ではB類が多い（第31表）。第II類の属性ではA類が13点、B類が8点、A・B類が8点出土している。この比率は第II類のうち、AとB類が単独にみられるものの比率とほぼ同じであることから、第I+II類に特に多い属性ではないことがわかる。研磨と敲打の切り合いは不明確なため、転用か共用かは不明である。

## 磨石類・石皿類（第202図～第244図）

ここでは、磨石・敲石・凹石・石皿・砥石をまとめて扱う。全部で177点出土している。これらの石器は全体としてみると使用痕が残っている石器群としてまとめられることから、分類にあたっては使用痕による区分を重視することにした。

### 1分類

#### 1 使用痕による大別

I 円礫に減摩あるいは研磨がみられるもの（磨石）

肉眼観察によると、磨石の磨面には2種類あると考えられた。1つは使用によって礫がすり減り、平らな面になっているものであり、他の1つは礫面がすり出され光沢を帯びているものである。そこで用語では前者の状態をさして「減摩」、後者の状態をさして「研磨」と区別することにした。

II 円礫に敲打痕がみられるもの（敲石）

敲打痕にはほとんど窪みがないものと、浅く皿状に窪んでいるものがある。輪郭は不鮮明である。

III 円礫に逆円錐形の窪みがみられるもの（凹石）

ここでいう窪みは輪郭がはっきりしており、「U」字状や「V」状の断面形をしている。

IV 大形礫に平面的な磨面がみられるもの（石皿）

V 角礫に平坦あるいは溝状の磨面がみられるもの（砥石）

### 2 各類の細別

次に使用痕の状態や観察される部位をもとに、前記I～V類を細別する。

#### 1 第I類（磨石）

##### （1） 使用痕による区分

###### A 減摩

1長軸に対して縦位にすられているもの

2長軸に対して横位にすられているもの

###### B 研磨

1長軸に対して縦位にすられているもの

2長軸に対して横位にすられているもの

3長軸に対して横位にすられており、磨面がやや平坦になっているもの

4研磨の方向が不定なもの及び不明確なもの

##### （2） 矽の平面形による区分

a 楕円形をしたもの

b 長方形をしたもの

## 2 第II類(敲石)

(1) 敲打痕がみられる部位による区分

A側面部にあるもの

1上面または下面にみられるもの

2右面または左面にみられるもの

B正面にあるもの

1周縁部にみられるもの

2中心部にみられるもの

(2) 碓の平面形による区分

a 楕円形をしたもの

b 長方形をしたもの

この他に敲打痕の種類による区分がある。これには①ほとんど窪みがないものと②浅く皿状に窪んでおり、窪み中に数ヶ所にわたって部分的に深くなっているものがある。

## 3 第III類(凹石)

(1) 窪みがみられる部位による区分

A周縁部にみられるもの

B中心部にみられるもの

C破損しているため、状況の把握できないもの

(2) 碓の平面形による区分

a 楕円形をしたもの

b 長方形をしたもの

## 4 第IV類(石皿)

第IV類には剥離や敲打によって成形・整形されたものと、そうでないものがある。ここでは成形の要素も含めて分類した。

A1 敲打によって縁取られており、平坦な磨面があるもの

A2 敲打によって縁取られており、彎曲した磨面があるもの

B1 縁取りが行われておらず、彎曲した磨面があるもの

## 5 第V類(砥石)

A 平坦な磨面があるもの

B 溝状の磨面があるもの

## 2出土状況

ここでは、C L・M39~41区の各層から出土しているものを扱う。

第II期 この時期に形成された層で最も多く出土しているのはCM39区37層の4点(第I類・第II類・第I+II類2点)である。他にCL39区38層から3点(第I・第II類・第I+II類) CM41区29層から1点(第II類)出土している。また大木9式期の堅穴住居跡の堆積土上面と考えられるCM39区38層から3点(第I類・第II類・第I+II類)出土している。

第III期 CL39区37層から8点(第I類・第II類・第I+II類・第III類・第IV類・第V類)、CL41区28層から5点(第I類・第I+II類のみ)、CL41区19層から3(第II類・第I+II類・第IV類)、CM39区36層から3点(第I類2点第V類)出土している。CL39区37層は各類がみられるがCL41区28層は第I・II類のみがあり、層による違いがはっきりしている。

第IV期 CL39区36層から5点(第I類・第II類・第I+II類・第V類2点)、CL41区18層から4点(第I類・第II類・第I+II類・第IV類)、CL40区26層、CL41区17層、CMH1区17層から第I類が各1点出土している。

層	Ⅲ	ⅣA	ⅣB	ⅤA	ⅤB	ⅥA	ⅥB	ⅦA	ⅦB	ⅧA	ⅧB	ⅨA	ⅨB	ⅩA	ⅩB	ⅪA	ⅪB	ⅫA	ⅫB	Ⅼ	Ⅽ	Ⅾ
Ⅲ	1			2												1		2				
Ⅳ																				1		1
Ⅴ				2	1	1																
Ⅵ					2	1																
Ⅶ						2																
Ⅷ							2															
Ⅸ								2														
Ⅹ									2													
Ⅺ										2												
Ⅻ											2											
Ⅼ												2										
Ⅽ													2									
Ⅾ														2								
計	5	3	2	20	1	22	5	7	2	2	1	6	9	0	0	1	2	1	2	1	2	1
	7	2	6	26	1	25	34	1	7	2	3	4	6	1	2	4	2	3	2	3	2	1

層	Ⅲ	ⅣA	ⅣB	ⅤA	ⅤB	ⅥA	ⅥB	ⅦA	ⅦB	ⅧA	ⅧB	ⅨA	ⅨB	ⅩA	ⅩB	ⅪA	ⅪB	ⅫA	ⅫB	Ⅼ	Ⅽ	Ⅾ
Ⅲ		1																		10		
Ⅳ	4	2						2	2											10		
Ⅴ		1	2					2	2											6		
Ⅵ		1	2					2	2											10		
Ⅶ			1					2	2											10		
Ⅷ				1				2	2											5		
Ⅸ					2			2	2											7		
Ⅹ						2		2	2											6		
Ⅺ							2	2	2											1		
Ⅻ		2	2	2	2	1	1	1	5	4	4	2	2	1	2	2	1	1	10			
計	8	2	10	2	1	1	1	5	8	2	1	2	1	1	2	2	1	2	1	10		

第30表 磨石類・石皿類時期別・分類別出土数量表

層	Ⅲ	ⅣA	ⅣB	ⅤA	ⅤB	ⅥA	ⅥB	ⅦA	ⅦB	ⅧA	ⅧB	ⅨA	ⅨB	ⅩA	ⅩB	ⅪA	ⅪB	ⅫA	ⅫB	Ⅼ	Ⅽ	Ⅾ
Ⅲ	1	2																		2	2	
Ⅳ		3		1	1														2	1	2	
Ⅴ		4																		2		
Ⅵ		1	2																	2		
Ⅶ		1	2																	2		
Ⅷ			1																	2		
Ⅸ				1	2															2		
Ⅹ					1															2		
Ⅺ						1														2		
Ⅻ							1													2		
Ⅼ								1												2		
Ⅽ									1											2		
Ⅾ										1										2		
計	2	2	1	1	1	1	1	1	5	8	2	1	2	1	2	2	1	2	1	2	2	2

第31表 磨石類・石皿類時期別・分類=形態出土数量表

第V期 CL40区24層から3点(第I類・第II類・第V類)、CM41区26層から3点(第II類2点・第I+II類)、CL40区25層から2点(第II類2点)、CM41区24層から2点(第II類2点)、CL41区16層から1点(第I+II類)、CL39区31層から1点(第II類)出土している。

第VI~VII期 CL41区12層のみ第III+IV類がみられ、他は第I類、第I+II類が各層から出土している。

第VIII期 CM41区15層から2点(第II類・第I+II類)が出土している。他の4つの層からは第I類が1点出土している。

第IX期 CL41区3層から第I類が1点出土している。

### 3時期による変化

ここでは各層を検討した結果、導かれた時期をもとに磨石類・石皿類の組成をみるとことにする(第30表)。明確に時期がわかるのは177点のうち82点で全体の46%を占めている。内訳は第II期10点、第III期22点、第IV期13点、第V期12点、第VI期5点、第VII期7点、第VIII6点、第IX期1点である。その他に第II期とIII期のいずれかに含められる資料が6点ある。これらのことから貝層下の土層(第II・III)が最も多く、貝層形成初期がこれに次いでいることが分かり、時期が新しくなるにつれて出土数が減っている傾向がみられる。

次に第31表をもとに、各時期ごとの組成をみていく。第II期から第V期では第IB類(研磨

分類	分類										小計
	I	II	III	IV	V	I+II	I+III	II+III	II+IV	III+IV	
砂 岩	12	15	3	2	4	30	2	1	2	40	40
火成岩類	0	0	2	2	4	4	1	2	2	22	22
安山岩	12	1		2	1	1					17
花 砂 岩	1	9				2	1	1			14
花崗岩類	2	7				1					10
角 石	5	3					2				10
砂質灰岩	4		1	2	1	1					9
珊瑚灰岩	2	4					1				2
瓦房店層貝質灰岩	2		1			1					4
瓦房店層	1	2		1			1				4
鞍山巖質灰岩	2						1				3
鞍山灰岩	1						1				3
中生代-第三紀	3										3
角 石 帶	2					1					3
アルカイック砂岩			2								2
砂質灰岩	1						1				2
泥質灰岩	1	1									2
泥質灰岩	1						1				2
細粒花崗アーリーアルゴ					1						1
細粒砂岩			1								1
砂質粘土岩					1						1
石 沢 帶			1								1
細粒灰岩		1									1
細粒灰岩				1							1
細粒灰岩					1						1
瓦房店層	1						1				1
瓦房店層	1						1				1
アラウイ	1							1			1
細粒はんれい岩-砂岩						1					1
小 計	50	35	6	12	11	30	3	3	2	177	

第32表 磨石類・石皿類石材別・分類別出土数量表

をもつ磨石)、第II B類(主面敲打による敲石)、第V類(砥石)、第I B類+第II A類(研磨をもつ磨石と側面に敲打痕をもつ敲石)を含む。これらが礫石器として基本的な組み合わせなのである。第V期にも第I A類を始め、第I B・II A・II B・V・I B+II B類と多くのタイプが出土している。時期的変化としては、第II A類が新しい時期に出土していることが目にとまる。また第V期では第I類や第II類が多い。

分類別では第I B2類が各時期にある。第II A1・VA・I B+II A類もほとんどの時期から出土している。第IV類は第V期以後にはみられない。

#### 4 石材 (第32表)

各類とも砂岩カギが多く使用されているが第I類は安山岩、第II類は粘板岩の使用も目立つ。

#### 5 各類の特徴

第3項で磨石類・石皿類の器種組成を時期ごとにみてきた。そこでは数量は新しくなるにつれて減ってくるが、時期ごとに組成の特徴があるとはいえないことがわかった。そのため、次に田柄貝塚から出土している磨石類をまとめて扱い後期前半～晩期前半の様相として各類の形態や使用痕から、その使用法について考えることにする。

#### 1 第I類(磨石)

##### (a) 形態と使用痕との関連について

第201図は第I～III類の大きさをみるための図である。完形品をもとに作成したため、用いた資料は図化した資料より少ない。

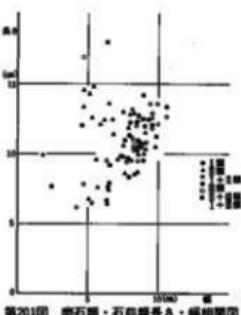
第I類はほとんど完形で出土している。長さ8～14cm、幅7～10cmの間に大半の資料があつてまり、長幅比は4:3ぐらいのものが多い。幅の方が長さより齊一性がある。

形態でみると、a類(橢円形)は47点、b類(長方形)は11点でa類が81%を占めている。

使用痕にはA類(減摩)とB類(研磨)があるが、そのうちB類が95%を占めている。使用痕と形態との結びつきでは使用痕A類は形態b類の縦にあることが多く、線条痕の方向は1類(縦位)である。また使用痕B類は形態a類の主面にみられ、線条痕の方向は2類(横位)でこの第B a類の中には研磨され、縦の表面が鏡面のようになり岩石を構成している鉱物が容易にわかるほどに変わっている例もある。

##### (b) 使用法・用途

前項において減摩(A類)と長方形(b類)、研磨(B類)と橢円形(a類)に結びつきがあり、前者の線条痕



は縦位(1類)、後者の線条痕は横位(2類)が多いとした。磨面の状態を作り出している線条痕の方向が、減摩と研磨では違うことから、両者の差異を使用程度の差異とはいえない。第B2類が過度に使用されたものが第B3類と思われる、研磨された面には光沢があり減摩された面はザラザラしていることから、両者の差異は使用法の違いを反映している。

減摩面は縦位線条痕が多いことから使用時に礫は縦に持たれたと考えられる。減摩面は平らで表面がザラザラとしたものに接触したため曲面が変形したものと思われる。このため直接的には、大きな平坦面をもつ第V類(石皿)などと共に用いられた結果を示していよう。従って、減摩は厳密には対象物との間に生じた使用の痕跡ではなく、使用時に一緒に用いられる石器との間に生じた前後の運動運動の痕跡であることになる。このような使用法から臼のような道具を想定できる。

また第I B類の研磨面には横位線条痕が多いことから、使用時に礫は横に持たれたと考えられる。光沢が著しく見られるにもかかわらず、曲面のままであることから軟らかいものの状態を整える行為、すなわち獸皮の加工等や木器の磨きに使われた可能性がある。

## 2 第II類

### a 形態と敲打痕の関係

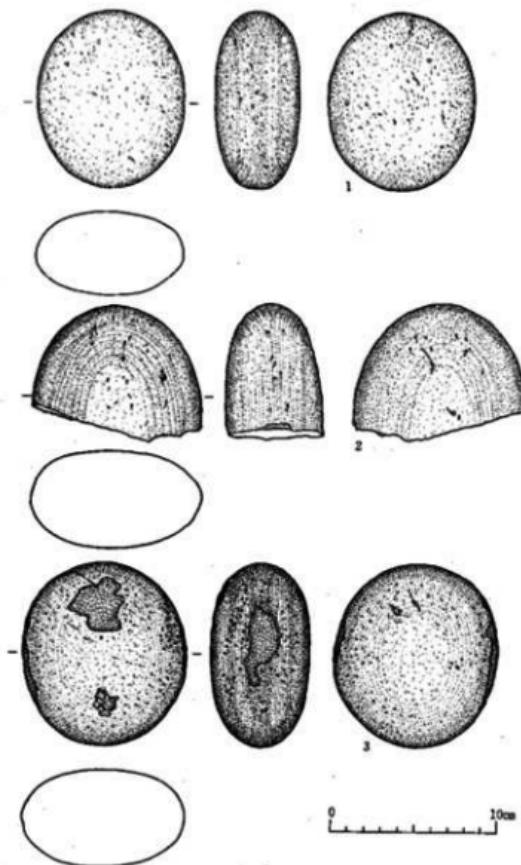
第201図をみると、第II類には長幅比が5:4のものと1:2前後のものがある。このうち前者は形態a、後者はbに対応するが、第II類の形態bは第I類の形態bより細長い。出土数はa類が24点、b類が24点で同数である。

主面の中央部にある敲打痕(第B2類)には、分類の項で述べた①の敲打痕と共に②のタイプの敲打痕である。このタイプの敲打痕は少なく、第208図2・5、第212図1の3点にすぎないが、いずれも左下り斜位に敲打痕は集中している。

一方、主面の周縁(B1類)や側面(A1・A2類)には①タイプの敲打痕がみられる。このうち形態bと強く結びついているのは第A1類で、中には第205図2、第207図3、第232図1のように縁辺が直線的に変形しているものもある。B1-①類、B2-①類、B2-②類、A2-①類には形態aが多い。

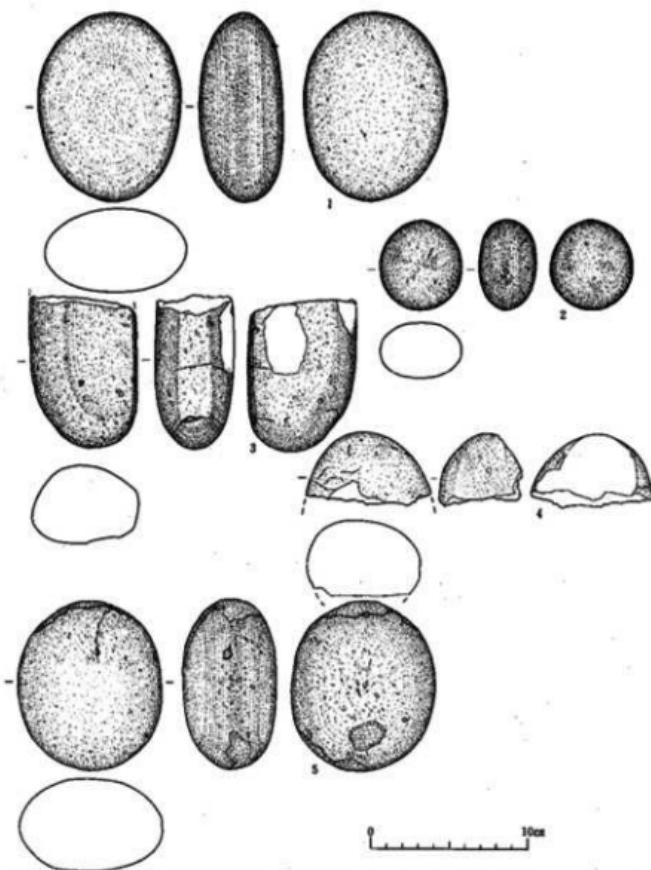
### b 使用法

第A1-b-①類には敲打されて縁辺が直線的になっている例もあることから、第I A類と同じように台をくる石器と一緒に使用されていた可能性が考えられる。他に特徴的な使用が考えられるものに第B2-②類がある。この類には左下り斜位に敲打痕が集まっているものがある。このことは、一見、磨製石斧に右下り斜位の研磨痕があり、これを右手で磨いた結果としたことと矛盾している。しかし磨石類には第I B2-3類のように横に持つて使用された状況が想定されるものがある。このことからみて第II B2-②類も横位に持つて主面中央部で破いた結果を示し



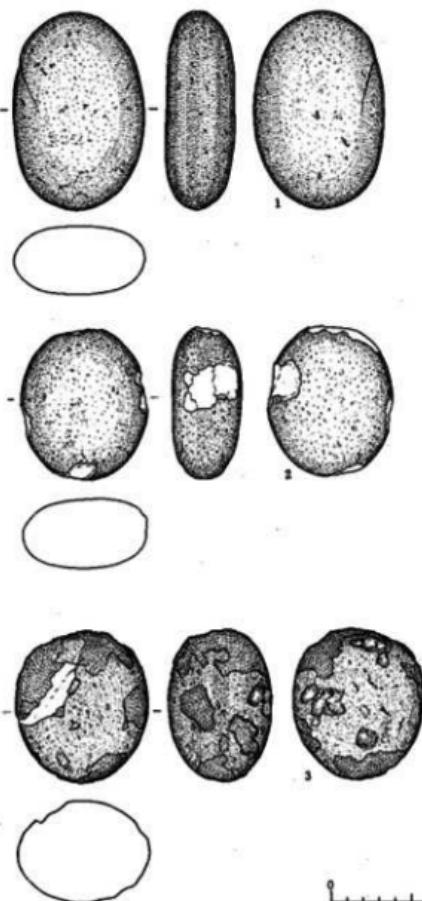
器号	地层・层位	地层	分 布	形 状	直 径 (cm)	高 (cm)	厚 (cm)	重 (kg)	性 质	存 号	存 号
1 CL45-27	2#层	2#层	中	圆	26.5	8.5	8.5	750.0	下凹磨制	2242	49-12
2 CL45-27	2#层	2#层	中	圆	(26.5)	8.5	8.4	607.0	下凹磨制	2243	49-14
3 CL39-38	3#层	1b <sub>1</sub> +2a+2a <sub>2</sub>	中	圆	26.0	87.2	88.0	696.0	下凹磨制	2244	49-25

第202图 磨石精・石底砾(1)



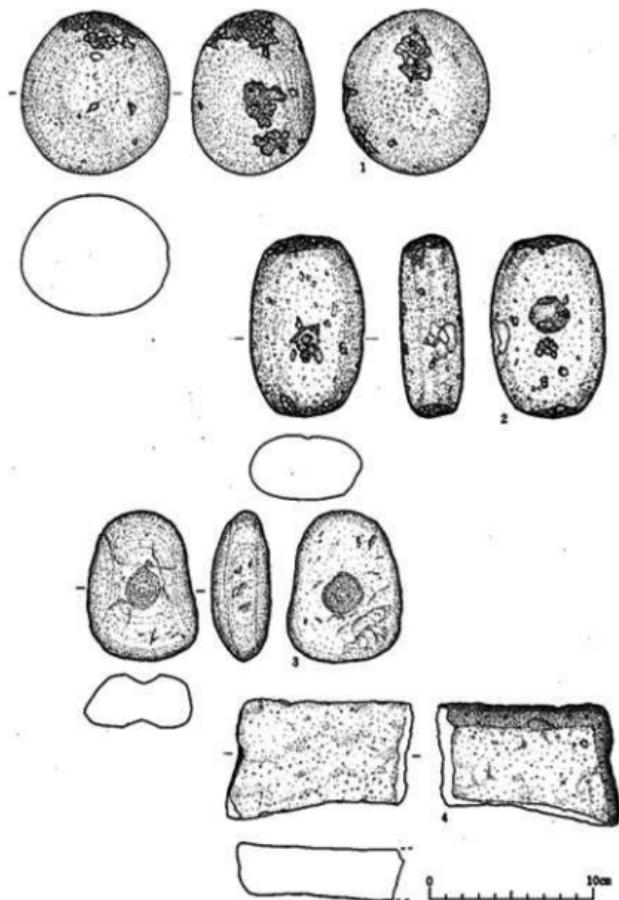
番号	地名・層位	年月	分類	形	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	番	地名	層位
1	C.L.W.-26	5	Hb.	卵	28.0	46.0	8.5	25.0	1	西	26-27
2	C.L.W.-27	5	Hb.	卵 壁 破	28.0	46.1	8.5	25.0	2	西	26-27
3	C.L.W.-28	5	U.b.	卵 壁 破	28.0	46.2	8.5	25.0	3	中	26-27
4	C.L.W.-27	5	Hb.	卵 壁 破	28.0	46.3	8.5	25.0	4	上	26-27
5	C.L.W.-27	5	Hb.	卵 壁 破	28.0	46.4	8.5	25.0	5	上	26-27

第203図 鹿石頭・石頭頭(2)



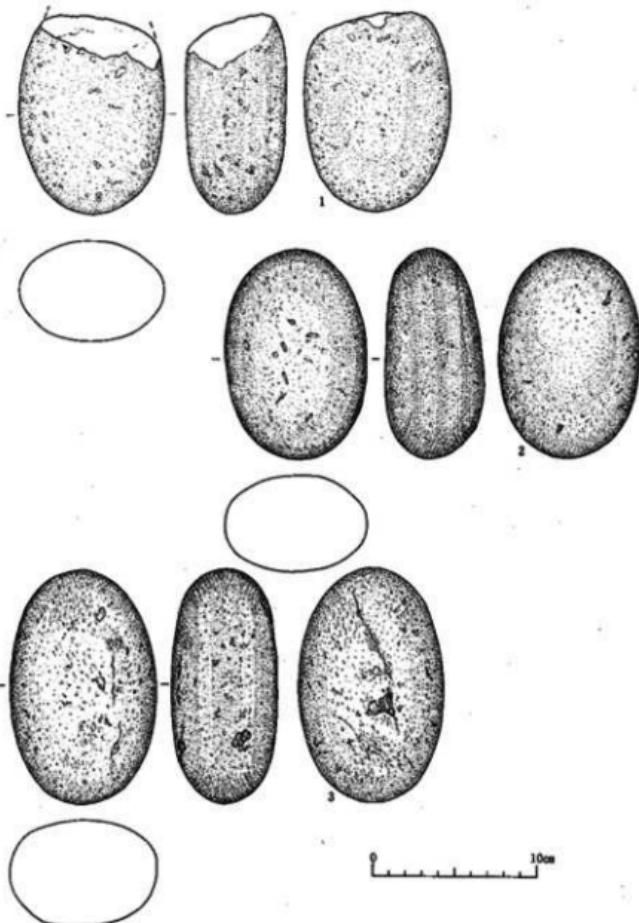
第204図 石珊瑚・石藻類(3)

番号	地区・地質	特徴	分類	名	H	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	年	出典番号	図
1	CL 40-27	2cm	15mm	伊	新	125.0	60.5	42.5	25.0	下部の小形	1957	56-1	1
2	CN 39-37	3	15x+25mm	伊	新	95.0	77.0	42.5	20.0	上部の打	1956	56-2	2
3	CL 39-38	3	24x+25mm	花	海	94.5	81.5	42.2	20.0	海側の白打	1956	56-3	3



第205図 磷石類・石炭類(4)

番号	地質・層位	分類	分類	形	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	出所	標本番号	記号
1	CM41-29	シ	BA <sub>2</sub> -BA <sub>3</sub>	丸	圓	10.4	10.5	11.2	66.0		1000	II-1
2	CM40-27	シ	BA <sub>2</sub> -BA <sub>3</sub>	半	10.4	10.2	10.6	102.0	上・下端、両側に瘤状突起		1000	II-1
3	CL40-27	半	BA <sub>2</sub>	半	9.5	10.0	10.2	35.0			1000	II-1
4	CM30-36	シ	VA	半	(17.7)	10.0	10.0	60.0	表面磨耗による凹凸有り		1000	II-1



番号	地名・発見	地質	分類	石	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (kg)	備考	番号	地質
1	CM 26-36	3	18m	新石一室山形	122.6	38.0	6.5	1,865.0	上端破損	3420	30- 8
2	CM 26-36	3	18m	新石一室山形	127.2	38.4	6.1	1,860.0		3425	30- 9
3	CL 26-27	3	18m	新	142.2	38.0	6.7	1,860.0	上・下端中央及上半の端部破損	3224	30- 10

第206図 磨石頭・石皿頭(5)

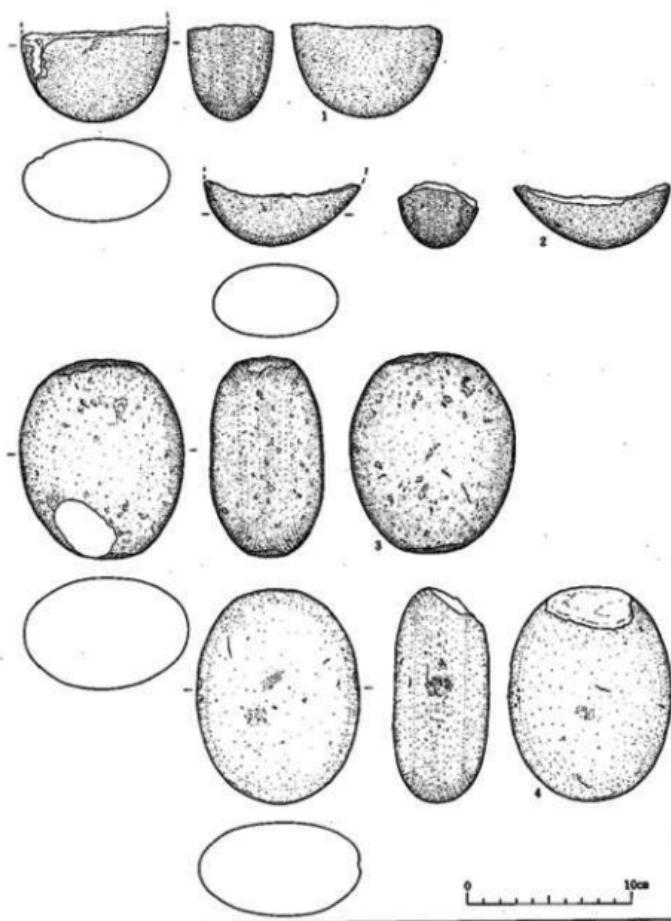
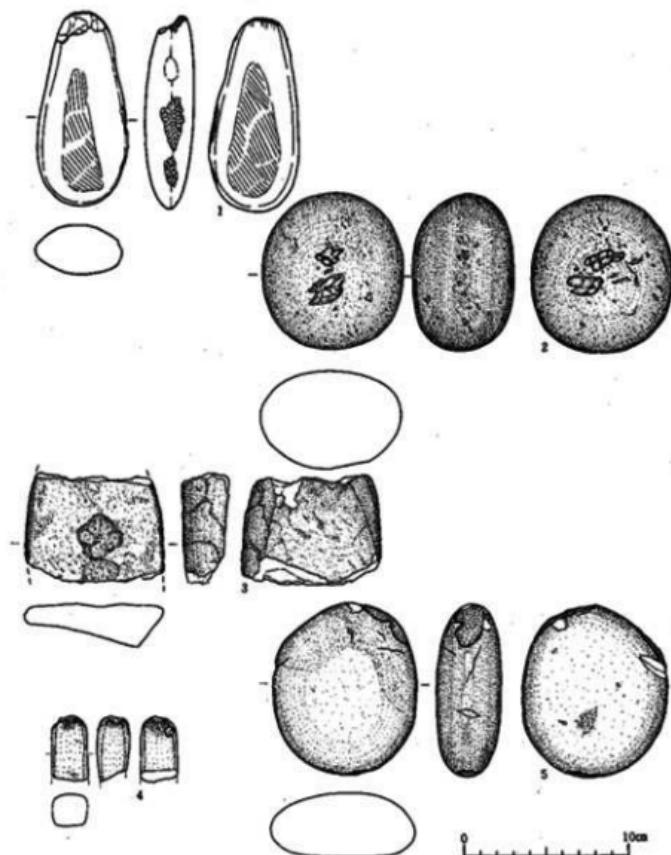


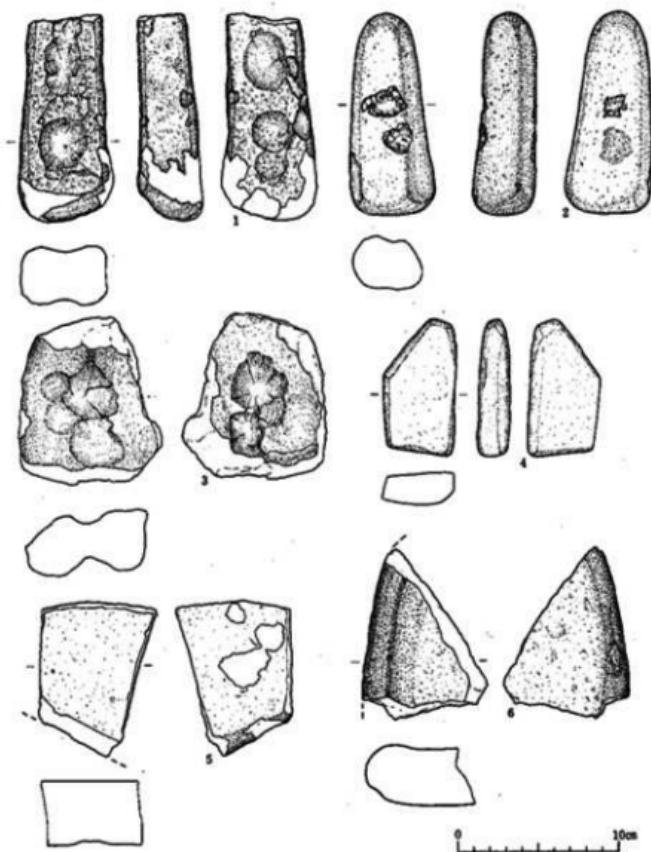
図207 磨石類・石皿類(6)

番号	地質・位置	地質	分類	石	厚	長さ(mm)	幅(mm)	高さ(mm)	重さ(g)	番	年	出土地号	地
1	CM41-28	E	1B <sub>2</sub>	石	薄	10.4	36.0	10.4	370.0	1014	30-11		
2	CL39-27	E	1B <sub>2</sub>	石	薄	30.2	34.7	44.1	384.0	6937	30-12		
3	CM41-29	E	1B <sub>2</sub> +2A <sub>12</sub>	石	薄	28.0	36.0	35.1	388.0	2115	30-12		
4	CM41-28	E	1B <sub>2</sub> +2A <sub>12</sub>	石	薄	20.1	36.4	11.6	3334	30-14			



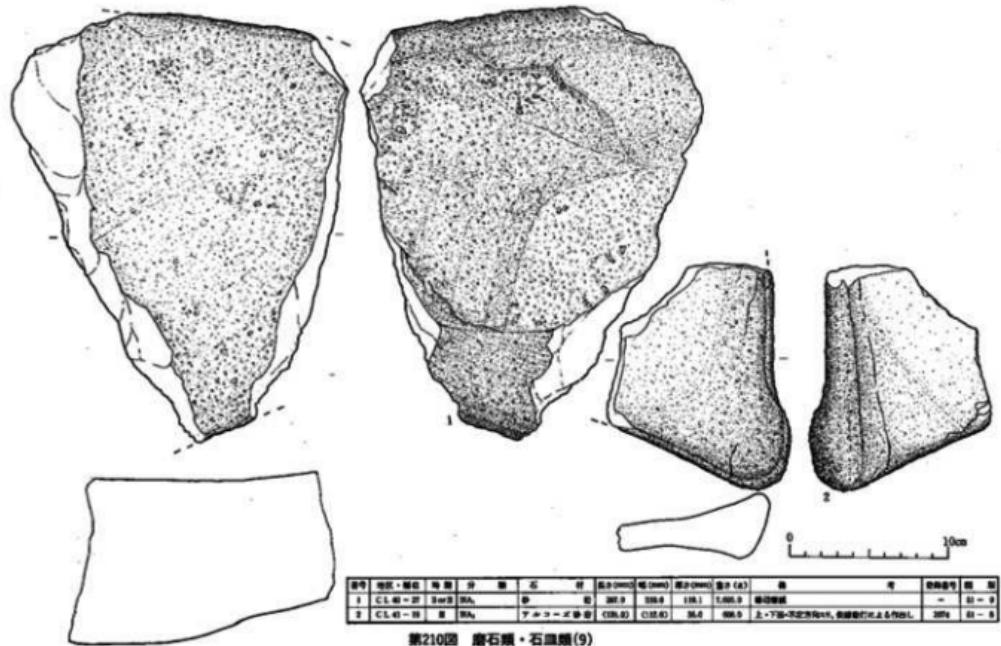
器名・部位	地層	分類	材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	標本番号	地層
1 CL41-39	Ⅱ	II <sub>1</sub> +II <sub>2</sub>	粘土	39.0	46.4	20.0	79.0	上・下の縫合部の凹凸部	100	30-32
2 CM41-39	Ⅱ	II <sub>1</sub> +II <sub>2</sub>	砂	35.4	55.0	20.0	76.0	側面の上部斜面	100	30-32
3 CL41-39	Ⅱ	II <sub>1</sub> +II <sub>2</sub>	砂	45.0	64.1	20.0	212.0	下の縫合部	100	30-32
4 CL41-39	Ⅱ	II <sub>2</sub>	砂	46.0	25.0	20.0	21.0		205	30-32
5 CL41-39	Ⅱ	II <sub>2</sub>	砂	35.4	57.0	20.0	24.0		200	31-1

第208図 磨石類・石皿類(7)

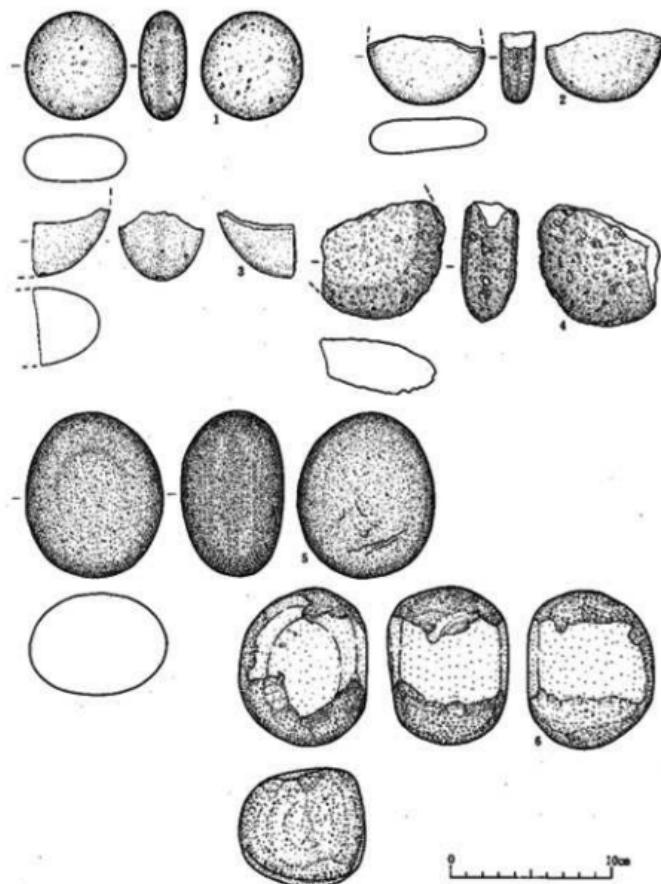


番号	地区・層位	年 代	分 類	正 型	高さ(ミク)	幅(ミク)	厚さ(ミク)	度合(%)	規	年	標本番号	圖
1	CL.Ⅲ-27	■	DA-3va	花 瓶 例 題	CH13.0	38.7	35.6	40.0	上部側面、下部側面	1951	SI-3	
2	CL.Ⅲ-27	■	DA-3va	花 瓶 例 題	CH12.8	32.5	35.4	39.5	下部側面、火口部	1951	SI-3	
3	CL.Ⅲ-27	■	BC	紹 裝 例 題	CH13.0	38.7	37.3	40.0		1951	SI-4	
4	CH.Ⅲ-28	■	VA	紹 例	ML5	45.0	35.6	32.0		1951	SI-5	
5	CL.Ⅲ-27	■	VA	紹 例	CH10.0	71.0	45.0	47.0	側面方向不明	1951	SI-6	
6	CL.Ⅲ-27	■	DA	花 瓶 例	CH14.0	77.4	38.0	39.0	上、下部側面、火口部	1951	SI-7	

第209図 煙石頭・石皿頭(8)

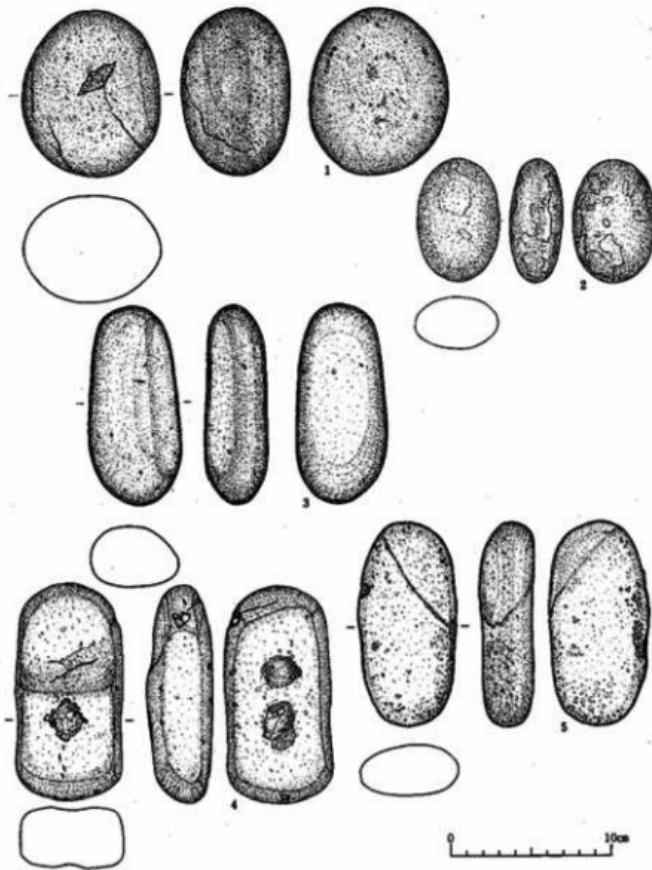


第210図 磨石類・石皿類(9)



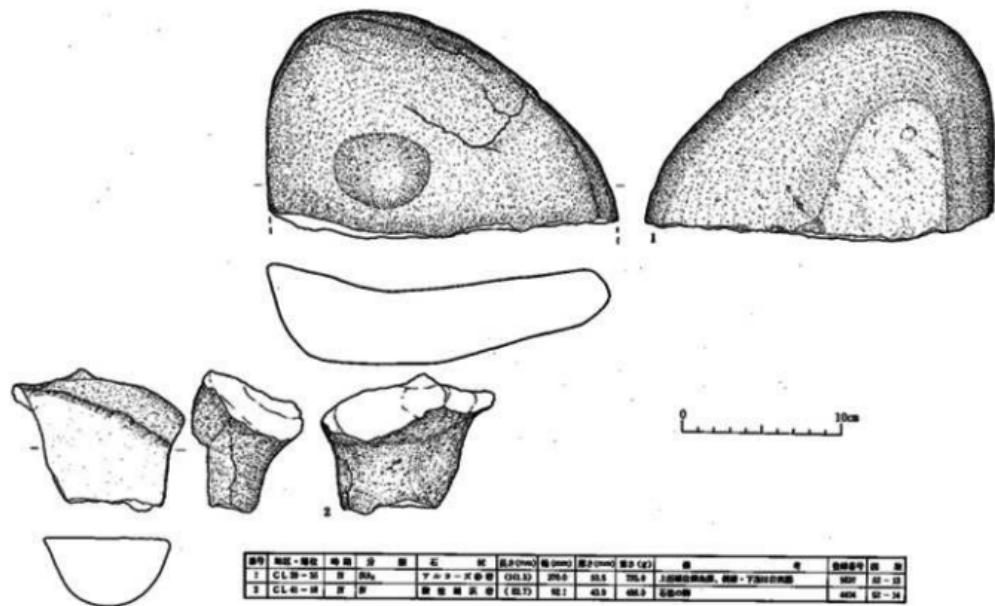
番号	地図・場所	地質	中 無	石 破	高さ(mm)	幅2(mm)	幅3(mm)	厚さ(ε)	■	名	標本番号	組	層
1	C.L.41-17	N	12m	宝山岩	55.0	22.5	26.5	100.0			400	組1	
2	C.L.41-18	N	12m	宝山岩～紫砂岩	45.7	21.4	20.8	100.0			400	組2	
3	C.L.41-26	N	12m	?	41.0	24.3	43.1	90.0			300	組3	
4	C.L.39-36	N	12m	宝山带紫砂岩	74.0	27.5	40.0	100.0			300	組4	
5	C.M.41-27	N	12m	宝山带紫砂岩	102.0	34.0	43.0	100.0	下部火成岩帶		200	組5	
6	C.L.41-19	N	12m+2A <sub>1</sub>	?	45.0	22.7	5.0	100.0	中打火成岩		300	組6	

第211図 磨石類・石皿類(10)



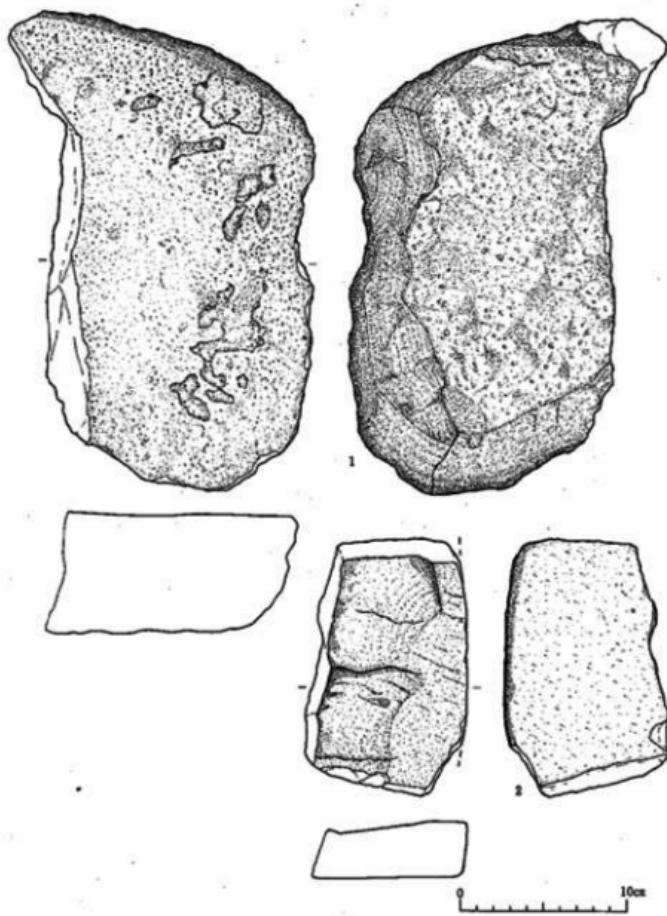
番号	種別・部位	地質	分類	石	形	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	標	号	標本番号	地	層
1	CL 30-30	W	1b <sub>1</sub> +2b <sub>2</sub>	■	圓	104.2	55.0	11.0	166.0	上部砂岩の砂岩		0004	地 - 7	
2	CL 30-30	W	2A <sub>1</sub>	圓	圓	76.3	51.7	10.2	122.0			0005	地 - 8	
3	CL 40-35	V	2A <sub>2</sub>	■	圓	126.0	56.4	12.8	200.0	下部砂岩の砂岩		0006	地 - 9	
4	CL 41-10	W	2A <sub>2</sub> -2b <sub>1</sub>	■	圓	134.4	51.1	10.0	188.0	下部砂岩の砂岩		0007	地 - 10	
5	CL 40-220	V	2A <sub>2</sub>	■	圓	234.0	56.4	12.8	400.0	下部中砂岩の砂岩		0008	地 - 11	

図212 図 磨石類・石頭類(1)



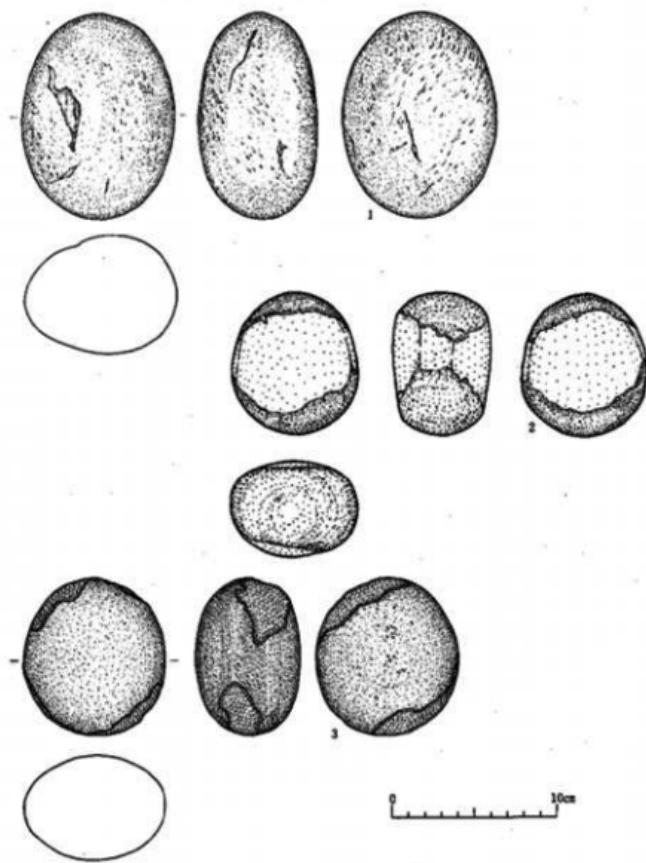
第213図 磨石類・石皿類(12)

番号	地名	施設	分類	石	形	SL(1mm)	SL(2mm)	SL(3mm)	種	年	出土地名	出土地點
1	CL38-30	井	石器	テルマーク系	(SL1)	25.5	31.5	35.5	上絶縁石器類、磨石・T字形石器	1997	32-33	
2	CL46-38	井	石器	新石器時代	(SL2)	41.1	43.9	46.3	石器類	1994	32-34	



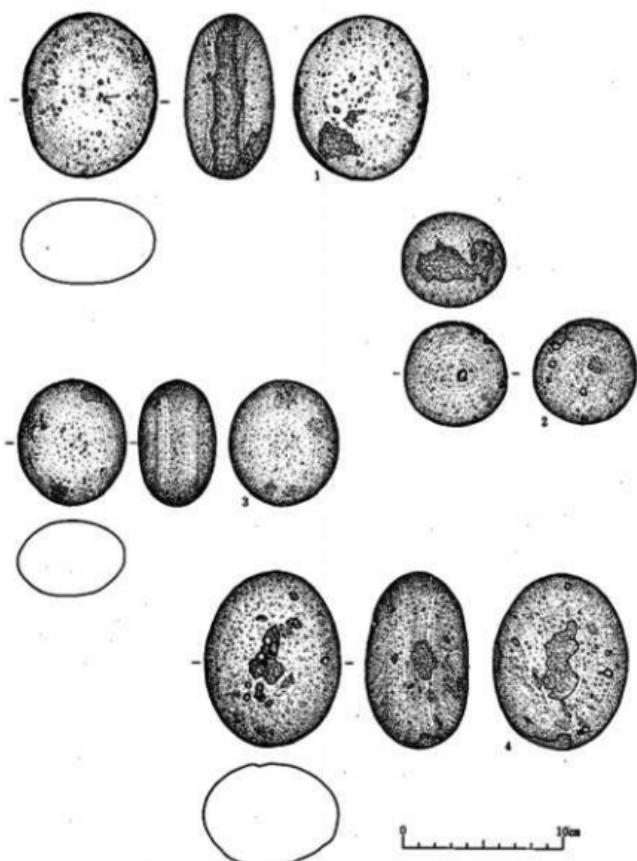
器号	地区・層位	地圖	分類	石	材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備	登録番号	図
1	C1.39-G36	II	V.A	安山岩	366.4	63.0	71.3	1,950.0	上端、鋸齒状欠損、側面打	2077	II - 15	
2	C1.39-G36	II	V.A	安山岩	353.13	49.65	34.8	955.0	上端部分中央に小孔穿入、T字形打痕有り	2078	II - 12	

第214図 磨石類・石器類(13)



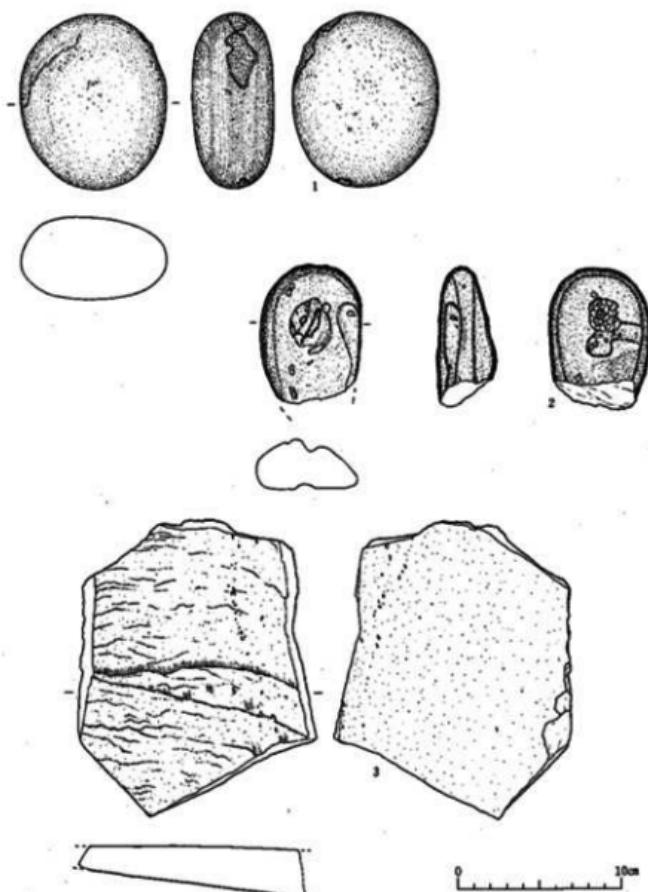
番号	地名・層位	特徴	分類	石	材	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(kg)	備考	年	出所番号	記
1	CL 40 - 34	Y	1B <sub>2</sub>	卵	岩	34.0	36.0	71.1	1,700.0	中央より左の個体無数	1926	12 - 1	
2	CM 41 - 35	Y	3A <sub>1</sub>	卵	岩	31.0	36.4	71.9	1,700.0		1926	12 - 2	
3	CL 41 - 35	Y	1B <sub>2</sub> -3A <sub>1</sub>	複合(1B <sub>2</sub> -3A <sub>1</sub> )	岩	35.0	43.4	81.8	2,010.0	中央より右の個体無数、周縁部・大部剥離	1926	12 - 3	

第215図 唐石類・石皿類(14)



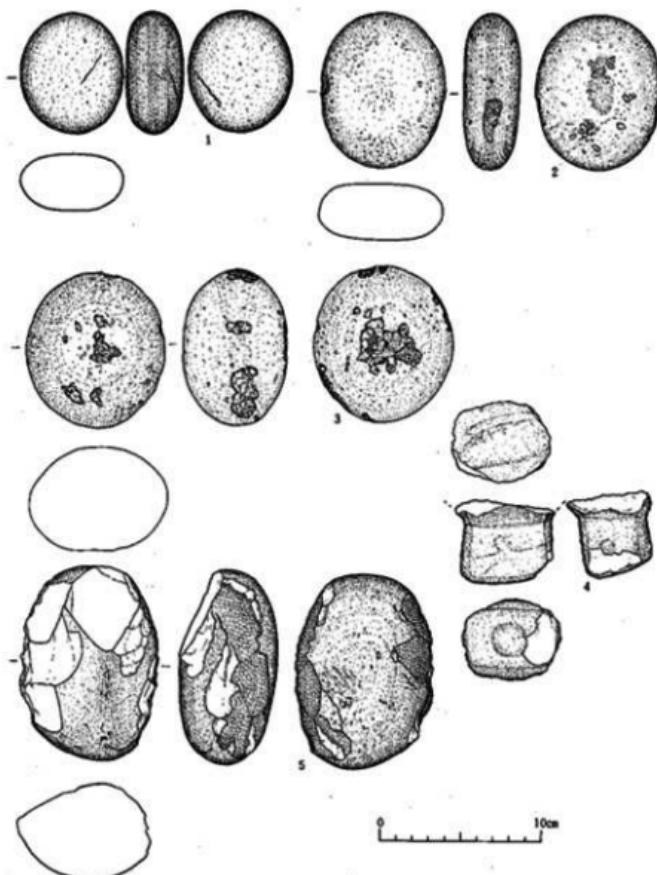
番号	地図・標名	地質	分類	石	材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備	号	採取番号	日	年
1	C.M.41-36	V	$\text{CaCO}_3 + \text{MgCO}_3$	砂岩	～	105.7	49.3	12.1	341.0	薄緑色大斜方晶石	6502	22-4		
2	C.M.41-34	V	$\text{CaCO}_3$	砂	質	45.0	44.0	9.2	248.0		3746	22-1		
3	C.M.41-36	V	$\text{CaCO}_3$	砂	質	71.3	49.0	9.0	298.0		2019	22-6		
4	C.M.41-34	V	$\text{CaCO}_3$	アブ	？イ	96.0	49.3	11.7	373.0		3247	22-7		

第216図 磨石焼・石墨類(15)



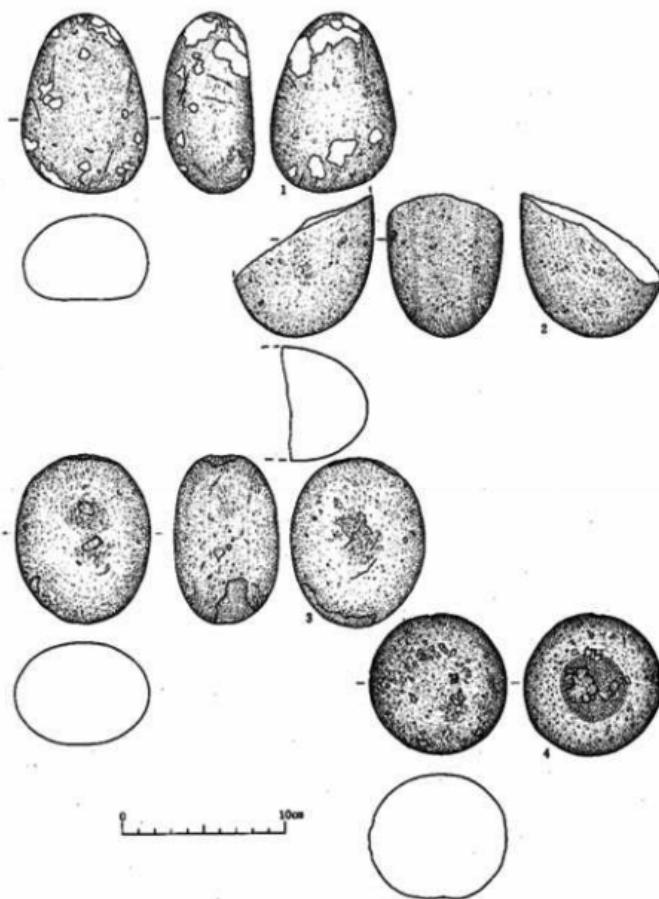
序号	地名	层位	性 质	石 器	高(米)	宽(米)	厚(米)(厚×宽)	重	号	地名	层	时 代
1	CLW-25	Y	砂岩	①	0.07.0	0.05.0	0.01.0	150.0			CLW	S3-S4
2	CLW-26	Y	砂岩	②(砾石器)	0.03.0	0.02.0	0.00.5	200.0			CLW	S3-S4
3	CLW-26	Y	砂岩	③	0.28.0	0.10.0	0.025.0	1000.0	上砾石层			S3-S4

第217图 磨石類・石器類(16)



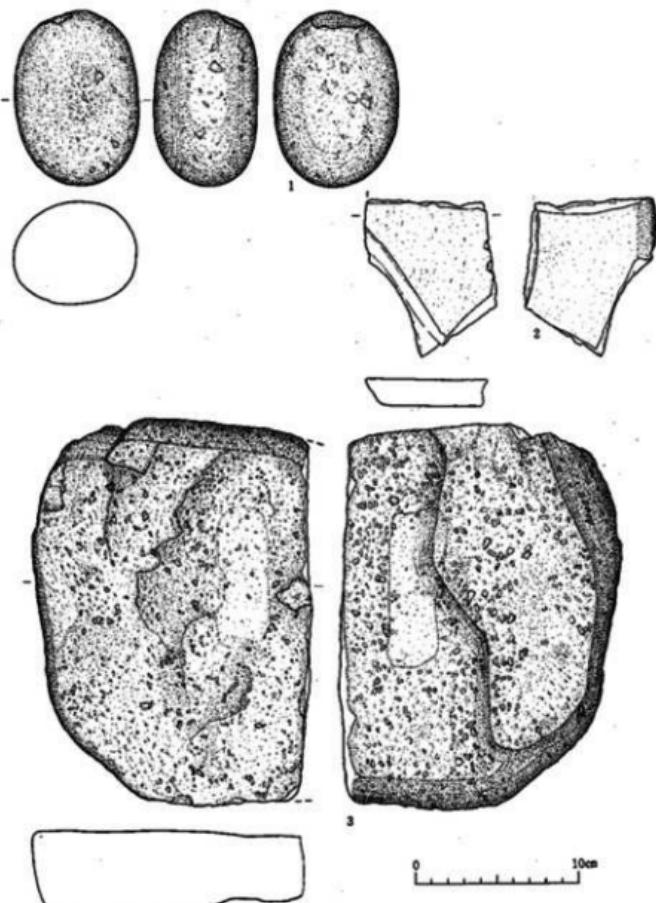
组号	地层 - 岩性	层位	壳	壳	壳高 (mm)	壳宽 (mm)	壳厚 (mm)	壳重 (g)	壳	壳	壳	壳	壳	壳
1	CL39-26a	15	25cm	单	74.5	35.5	3.5	260.0	单	75.0	35.0	3.5	265.0	22-23
2	CL39-26	15	25cm-25m	单壳	95.5	71.4	3.5	370.0	单壳	95.5	71.4	3.5	370.0	22-23
3	CL41-H	15	25cm-25m	单	95.5	58.5	3.5	370.0	单壳	95.5	58.5	3.5	370.0	22-23
4	CL41-12	15	25cm	断壳	91.0	56.4	3.5	344.0	断壳	91.0	56.4	3.5	344.0	22-23
5	CL39-25a	15	25cm-25m	单壳	120.0	55.5	3.5	450.0	单壳	120.0	55.5	3.5	450.0	22-23

第218图 磷石层·石盐层(17)



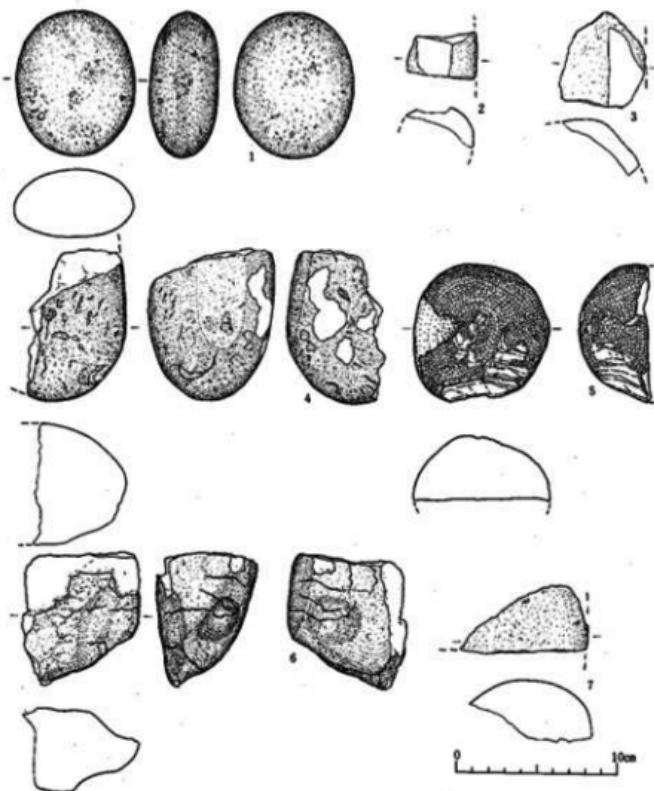
番号	長さ・厚さ	分類	石種	高さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	資料番号	図
1	CM 40- 6 14mm	石 器	砂岩	136.0	76.5	51.7	665.0	下部の小切妻、上部の斜面削除	2226	10- 10
2	CL 40-27-16 13mm	石 器	砂岩	157.23	95.0	55.0	882.0		2221	10- 17
3	CM 40- 4 13.5+2A-02a 約	石 器	砂岩	104.7	60.2	55.7	515.0		2217	10- 1
4	CL 39- 21 16mm	石 器	砂岩	55.7	53.0	55.4	508.0		2240	10- 2

第219図 磨石類・石皿類(18)



器号	形制 - 厚度	地 质	分 布	层	时 期	长(L) mm	宽(W) mm	厚(H) mm	重(G) g	器 号	出 地	存 放
1 CMG-35	球	ZAn	高 高 高 高	II	新石器时代	26.4	15.0	42.5	354.0	MGD	34-3	
2 CMG-36	球	VA	中 低 低 低	II	新石器时代	19.12	174.77	16.8	388.0	MGH	34-4	
3 CLG-32	球	VA	低 低 低 低	II	新石器时代	23.2	38.8	43.2	1800.0	MGH	34-5	

第220图 磨石砾·石盆砾(19)



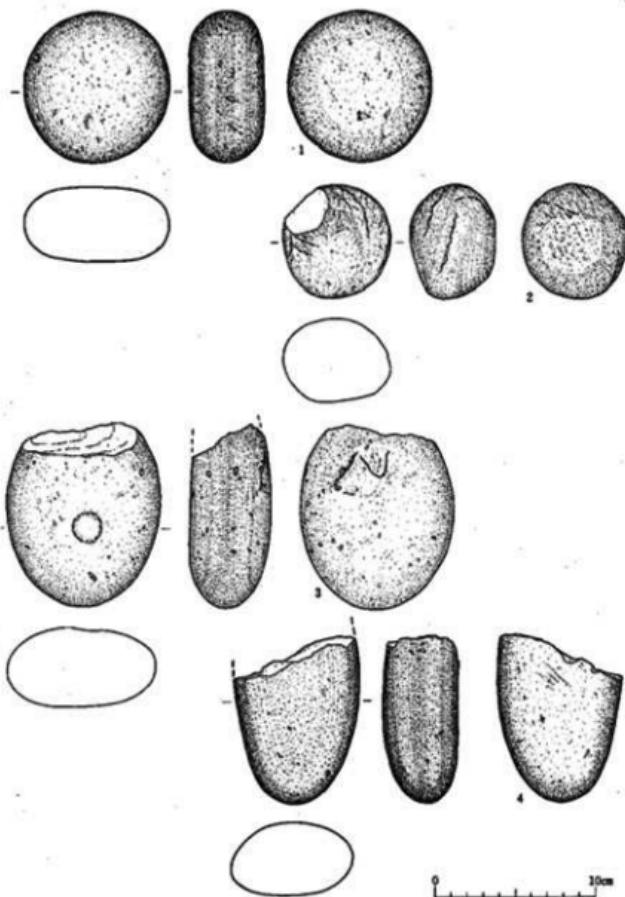
番号	地名・層位	種類	分類	材	高さmm	幅mm	厚さmm	重さkg	番	地名	高さmm	幅mm
1	CL.41-6	塊	J3m	安山岩	90.6	155	42.6	45.6	1	ST10	24-6	
2	CL.39-32	塊	J3m	安山岩	130.0	140.0	35.0	52.0	2	ST10	24-7	
3	CL.39-33	塊	J3m	安山岩	135.0	140.0	35.0	52.0	3	ST10	24-8	
4	CM4-12-02	塊	J3m	安山岩質風化物	140.0	140.0	75.0	204.0	4	ST10	24-9	
5	CM4-12-03	塊	J3m	安山岩	140.0	140.0	75.0	204.0	5	ST10	24-10	
6	CM4-12-04	塊	J3m	安山岩	140.0	140.0	75.0	204.0	6	ST10	24-11	
7	CM4-12-05	塊	J3m+K2m	安山岩質風化物	140.0	140.0	75.0	204.0	7	ST10	24-12	
8	CL4-1	塊	J3m	安山岩質風化物	60.0	130.0	40.0	30.0	8	ST10	24-13	

第221図 硫石類・石英類(20)



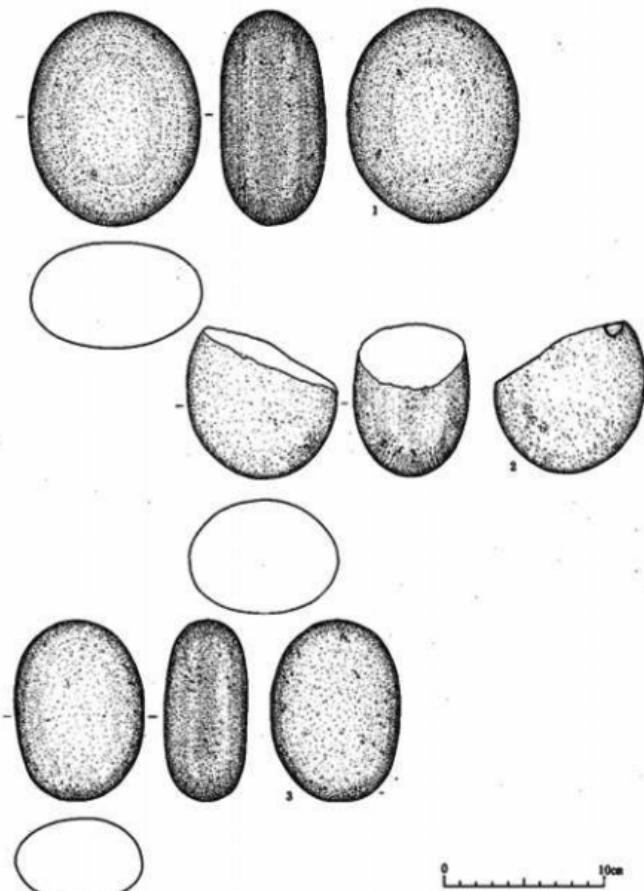
器物	地點・層位	形態	分類	石種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考	登錄番号	図
1	SD-36-1 不規	花崗岩	IA <sub>1</sub>	花崗岩	123.0	6.0	7.6	144.5	圓錐形の小石器	SD36	15-1
2	CN-45-12 不規	砂	IA <sub>2</sub>	砂岩	1.81.0	49.0	49.0	4.086.5	右上部・左側面に平行な溝線。下部に不定方向	CN45	15-2
3	無 不規	砂	IA <sub>3</sub>	砂岩	76.8	22.0	22.0	336.0	丁字形の複合石器	-	15-3
4	SD-37-2 不規	砂	IA <sub>4</sub>	砂岩	1.96.0	46.2	30.0	454.0	右側面に平行な溝線。上面斜傾	SD37	15-4
5	CN-34-8 不規	砂	IA <sub>5</sub>	砂岩	120.0	45.2	28.0	201.0	上面、正面に平行な溝線。下部に不定方向	CN34	15-5

第222圖 磨石類・石器類(21)



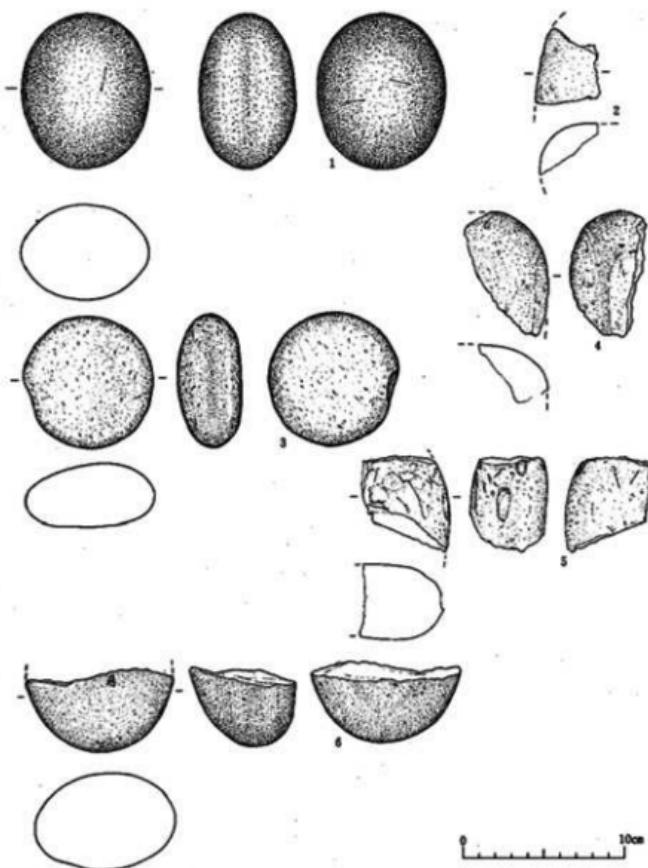
番号	地名・部位	分類	分類	石	計	直径(mm)	横径(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	番	年	出土地名	地
1	佐世保 - 1	火 烧	火 烧	石	1	34.0	30.2	4.4	650.0	4007	50 - 5		
2	CIM-18-2	火 烧	火 烧	石	2	79.0	65.0	11.3	3050.0	5000	50 - 7		
3	CIM-18-3	火 烧	火 烧	石	3	216.0	24.5	49.1	810.0	上田山城台跡地、下田山城跡	5000	50 - 5	
4	CIM-18-1	火 烧	火 烧	石	4	213.0	73.1	49.2	480.0	下田山城跡地	5007	50 - 5	

第223図 磨石類・石皿類(22)



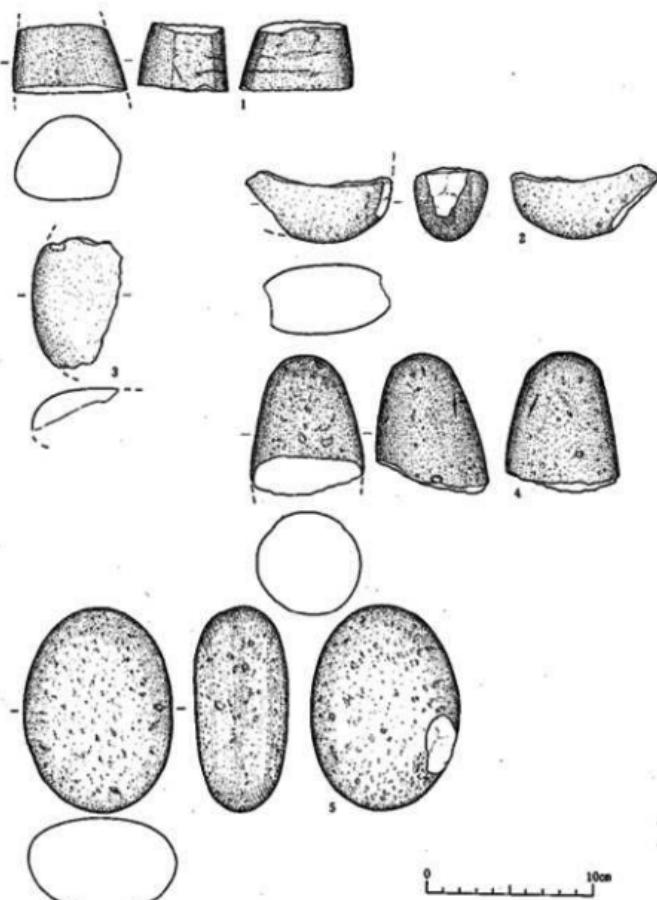
番号	地図・場所	地質	分類	石	材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備	年	出土地点	地
1	CK-30-1	不	砂	砂	岩	220.0	105.0	45.5	1,260.0		1954	95-22	
2	DQ-CMH-30-1	不	砂	石英安山岩	岩	142.0	92.0	35.5	854.0	上部斜面、砂質斜面	1952	95-21	
3	CK-40-1a	不	砂	砂	岩	112.0	79.0	34.5	715.0		1950	95-12	

図224 磨石器・石器類(23)



号	地名・層位	地圖	分類	石	材	高さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備	年	出土地名	層
1	CL4-11 X 破	18a	砂	卵	砂	36.5	36.5	16.7	62.0	-	11-12		
2	BW6-2 水 破	18a	泥	山	砂	45.5	36.5	16.9	63.0	18a	11-12		
3	CH4-2 完	18a	砂	卵	砂	36.4	36.5	16.8	55.0	-	11-12		
4	CL4-23 X 破	18a	陶	卵	砂	45.0	45.0	15.6	122.0	18a	11-12		
5	CL4-3-4 完	18a	砂	卵	砂	56.0	50.0	16.7	205.0	18a	11-12		
6	BW-4 完	18a	砂	卵	砂	46.2	36.5	16.6	122.0	上層の小砂砾	11-12		

第225図 磨石類・石皿類(24)



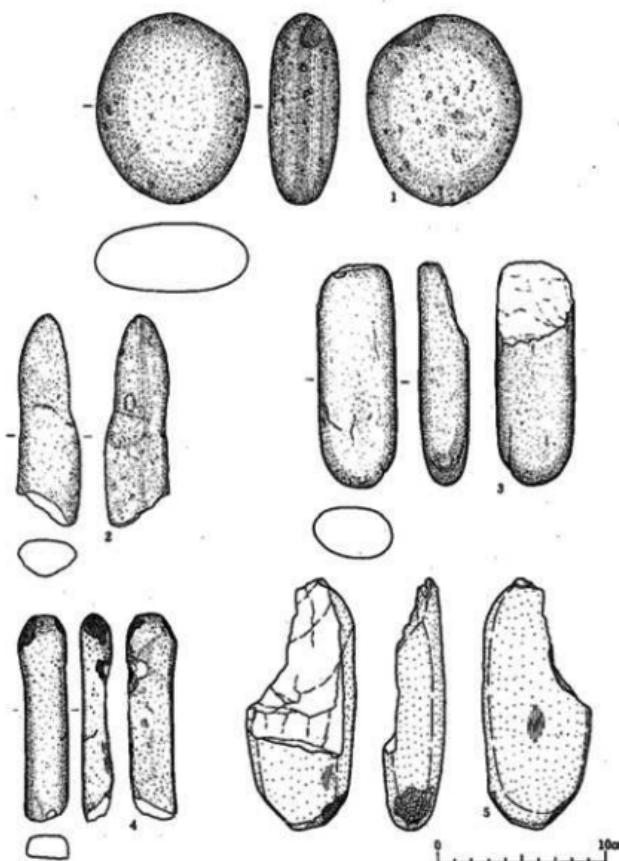
器名	地名	层	石	石	石	石	石	石	石	石	石
			名	号	名	号	名	号	名	号	名
1	CXK-6b	水明	1Aa	砂	砾	138.02	47.8	36.5	210.6	QJ上层小砾带	1013 16-1
2	CXK-12	水明	1Bb	黄	山	砾	144.12	11.92	43.5	182.0	1021 16-2
3	水	明	1Bb	黄	山	砾	172.12	11.92	34.8	182.0	2142 16-3
4	CP 36-1	水明	1Bb	砂	砾(砾带)	183.0	57.5	43.5	440.0	先期砾带	1022 16-4
5	BC 35-1	水明	1Bb	黄	山	砾	213.0	95.6	36.4	322.0	2112 16-5

第226图 磨石砾·石砾砾(25)



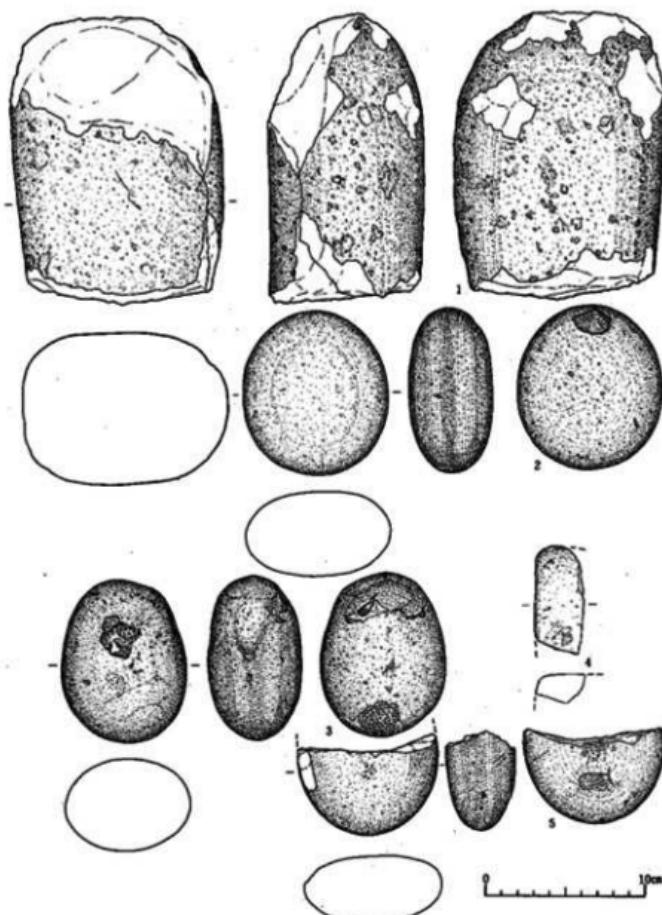
序号	地層・層位	特征	分類	石	材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	備考	地層号	層位
1	A3 85-2 不規	15mm	石	骨	骨	46.7	26.1	3.5	226.0		III	16-2
2	CM42-2 不規	15mm	石	骨	骨	29.0	26.0	3.5	186.0		III	16-2
3	CG30-2 不規	15mm	石	骨	骨	46.0	14.0	3.0	281.0		III	16-2
4	BC40-1 不規	15mm	石	骨	骨	46.0	14.0	3.0	281.0		III	16-2
5	BC47-2 不規	15mm	石	骨	骨	46.0	14.0	3.0	281.0		III	16-2
6	BC47-3 不規	15mm	石	骨	骨	46.0	14.0	3.0	281.0		III	16-2
7	CM42-12 不規	15mm	石	骨	骨	46.7	26.6	3.5	218.0		III	16-2
8	BC40-2 不規	15mm	石	骨	骨	71.0	26.0	3.5	226.0		III	16-2
9	CM42-32 不規	15mm	石	骨	骨	46.0	16.8	3.5	186.0		III	16-2

第227図 磨石類・石器類(26)



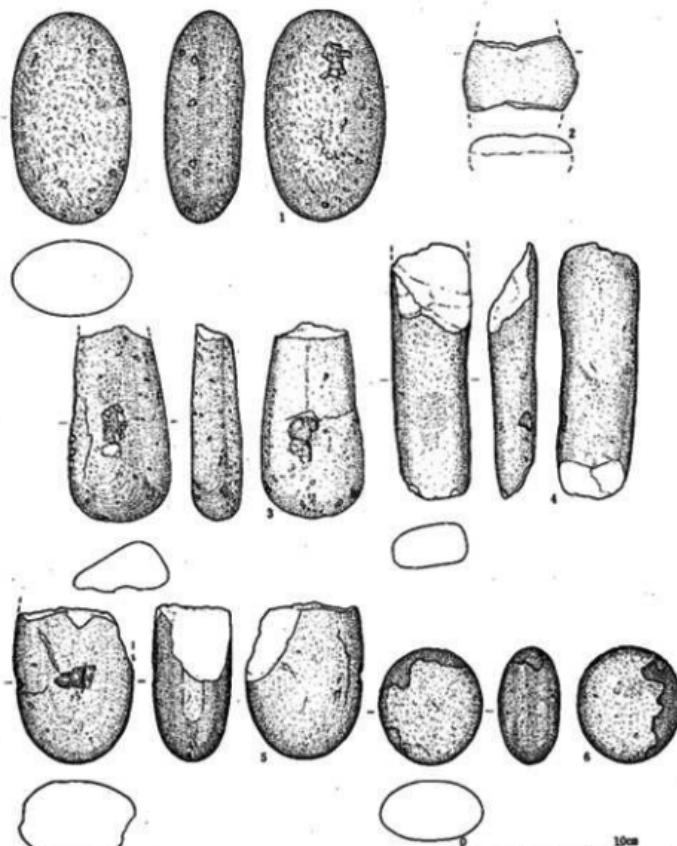
番号	地図・場所	種類	分類	石	寸	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	出土地号	出土地
1	CM45-3	■	SA <sub>1a</sub>	宝山寺～新宿	114.0	10.5	26.1	626.0	下端幅小石磨打	1689	35-15	
2	CM46-1	水	SA <sub>1a</sub>	同	135.6	21.5	33.0	346.0		1692	35-16	
3	CM46-22	不	SA <sub>1a</sub>	同	155.7	45.0	26.7	255.0		2075	35-27	
4	CM46-22	不	SA <sub>1a</sub>	同	132.4	36.0	8.5	255.0		2644	35-28	
5	CM46-28	水	SA <sub>1a</sub>	同	135.7	27.0	42.0	36.0		1770	35-29	

第228図 磨石類・石皿類(27)



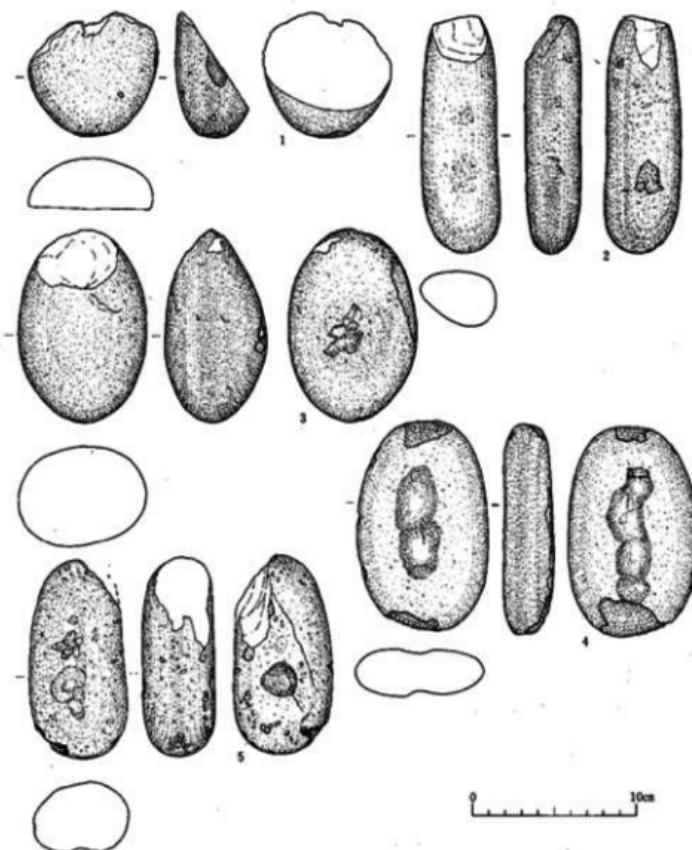
标号	地层・岩性	地层	分 岩	石	树	高さcm	幅 cm	厚さ cm	断面	標	号	地層名	岩
1	CL-6-7	元	砂	石	木	120.0	125.5	96.0	3.00m	1	2007	元-2	
2	CM-6-15	元	砂	石	木	115.5	115.5	115.5	2.00m	2	2008	元-1	
3	CX-20-8	元	砂	石	木	205.5	80.0	98.0	2.00m	3	2015	元-2	
4	A13-1	元	砂	石	木	140.0	167.0	80.0	2.00m	4	2011	元-1	
5	CM-2-2	元	砂	石	木	140.0	80.0	80.0	2.00m	5	2009	元-4	

第229図 磨石頭・石皿類(28)



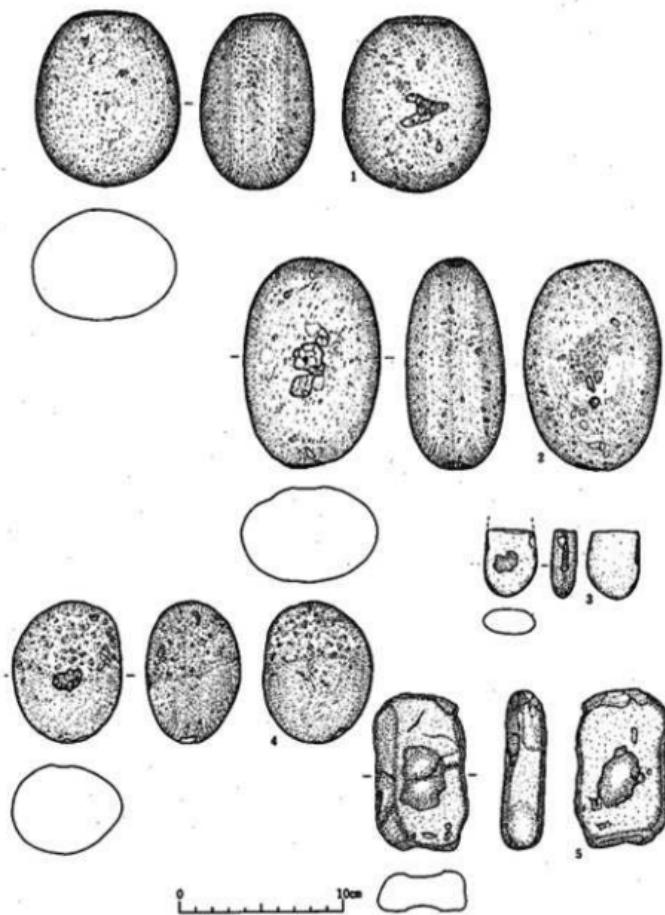
第230圖 磨石頭・石皿類(29)

編號	地點・層位	形狀	材 質	直 徑 (mm)	橫 直 (mm)	厚 度 (mm)	重 量 (g)	備 記	存 号	出 号
1	DCM-1	不規	石	0	75.0	10.5	76.5		600	27- 5
2	CMG-4	不規	石	0	46.0	15.0	76.0		601	27- 6
3	CMG-5	不規	石	0	23.0	6.0	32.0		602	27- 7
4	CMG-6	不規	石	0	19.0	5.0	37.0		603	27- 8
5	SDH-1	不規	石	0	46.0	15.0	88.0		604	27- 9
6	CM-X-8	不規	石	0	75.0	10.5	77.0		605	28- 1



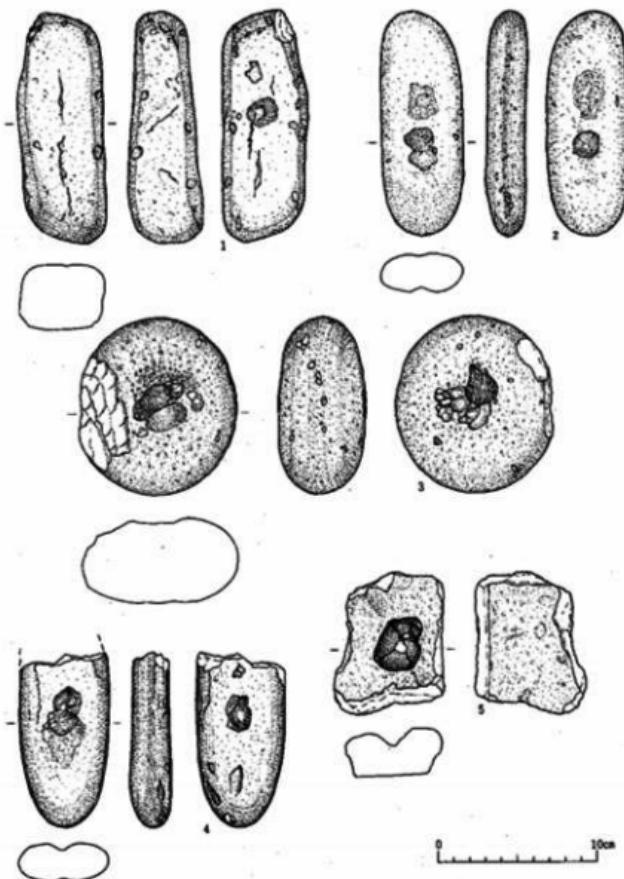
番号	地名・層位	種類	分類	石	卵	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	標	年	出所番号	範囲
1	CL42-9	不規	Na+Ca	圓	圓	53.5	35.2	45.0	362.0	標印無		2255	16-22
2	CM42-II	不規	Na+Ca	圓	圓(斜面形)	54.0	45.5	35.0	378.0			2266	21-25
3	CK38-II	不規	Ca	圓	圓	53.5	35.5	45.0	378.0			2267	21-25
4	CD+CH-II	不規	Ca	圓	圓	53.0	35.0	45.0	400.0			2268	21-25
5	CQ42-I	不規	Ca	圓	圓	57.5	36.0	45.0	470.0			2269	21-25

第231図 磨石類・石蛋類(30)



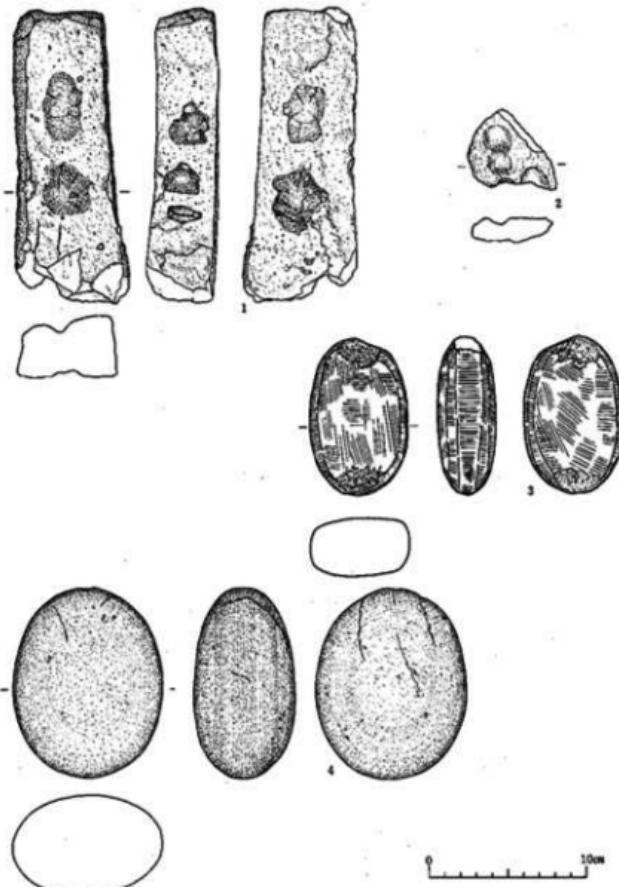
番号	地名・基岩	種類	分類	石	形	長さ( mm )	幅( mm )	厚さ( mm )	重さ( g )	規	号	標本番号	地	點
1	ODO-001-1 平野	火成岩	安山岩	石	圓	287.0	66.0	25.0	980.0			2229	27- 14	
2	CP-N- 1 不規	火成岩	安山岩	石	圓	228.0	61.0	21.0	950.0			2231	27- 15	
3	CM-01- 2 不規	火成岩	安山岩	石	圓	( 41.0 )	36.0	15.0	38.0			2230	27- 16	
4	CM-01- 2 不規	火成岩	安山岩	石	圓	98.1	76.0	26.0	660.0			2232	27- 17	
5	CL-01-0 不規	火成岩	安山岩	石	圓	96.0	91.0	24.0	380.0			2234	27- 18	

第232図 磨石頭・石皿類(31)



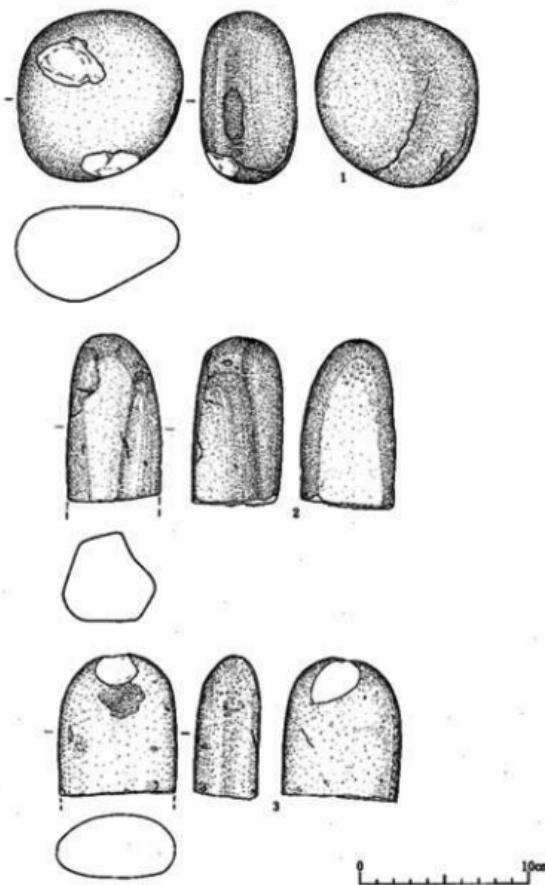
第223圖 磨石頭・石墨頭(32)

番号	地質・層位	地點	分類	形 状	長 軸	幅 (mm)	幅 (mm)	厚 (mm)	厚 (mm)	註	年	標本番号	地 點
1	CIM 41 - 1	不 明	3.5~5.0	直 線 形	24.0	12.5	6.2	5.0			1945	18-1	
2	CIM 42-1	不 明	3.5~5.0	直 線 形	24.0	11.4	5.7	5.0			1945	18-2	
3	CJ 39 - 2	不 明	3.5	圓	11.8	10.0	5.0	5.0			1945	18-3	
4	CIM 41 - 2	不 明	3.5	直 線 形	19.0	10.4	5.2	5.0			1945	18-4	
5	CJ 41 - 1	不 明	3.5	直 線 形	18.7	9.0	5.0	5.0			1945	18-5	



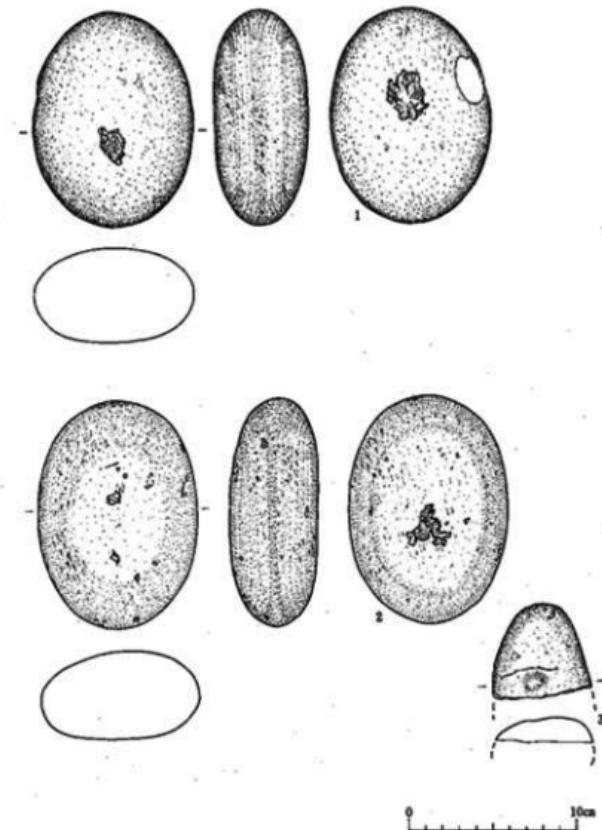
第234図 墓石類・石皿類(33)

番号	地区・場所	年	分類	石	形	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(kg)	備考	年	分類	石
1	CN-40-1	元	石	板状	板状	10.0	36.0	3.0	300	(30-4)			
2	DD-30-2	元	石	板状	板状	4.0	35.0	2.0	100	(30-1)			
3	CJ-40-1-0	元	石	板状+板塊状	板狀	4.0	36.0	3.0	100	(30-1)			
4	日	日	石	板状	板状	10.0	36.0	3.0	300	(30-3)			



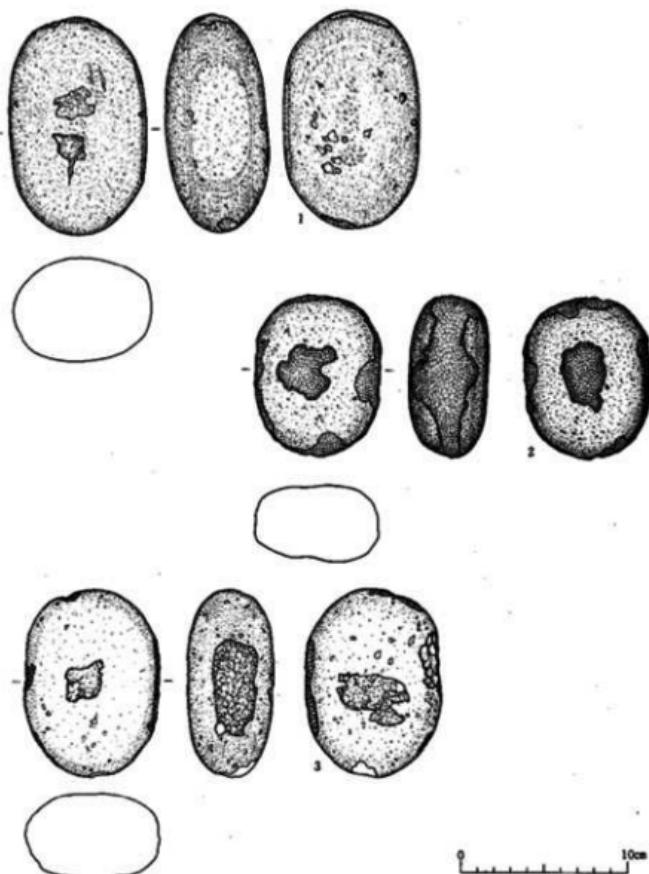
器号	地区・層位	時期	分類	形	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備考	出典番号	地點
1. BN37-2	本明	LB <sub>2</sub> +EB <sub>1</sub>	安山	片	10.8	39.0	36.6			1380	56-28
2. BD-2-2	本明	LB <sub>2</sub> +EB <sub>1</sub>	細長・穿孔	片	19.22	42.5	32.2	12.5		1381	56-21
3. DI36-1	本明	LB <sub>2</sub> +EB <sub>1</sub>	花崗岩	片	< 9.45	39.0	36.6	< 16.03		1382	56-22

第235図 磨石類・石皿類(34)



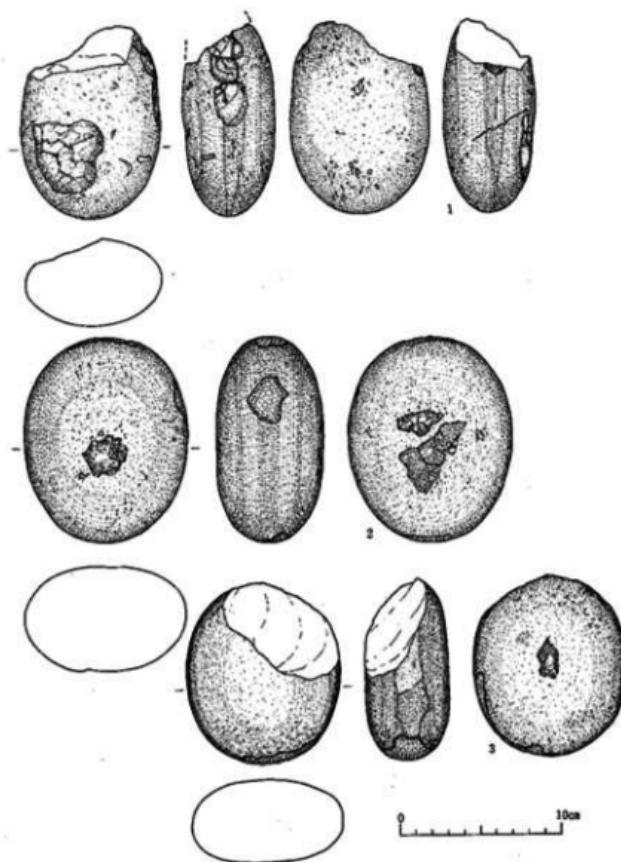
第236図 厚石類・石血類(35)

番号	成因・部位	性質	分類	石	相	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	番	名	出所	番	相
1	CO-CO <sub>2</sub> -H <sub>2</sub> O 不溶	13g+22g <sub>1</sub>	否	無定形	相	38.5	9.5	2.5	1,050.0	336	35- 22			
2	BC-N - 2 不溶	13g+23g <sub>1</sub>	?	?	?	39.5	9.5	2.5	1,044.5	332	35- 24	上部・側面薄片部、下部・側面薄片部		
3	CPD - 1 不溶	13g+23g <sub>1</sub>	?	?	?	36.0	9.5	2.5	1,010.0	337	35- 25			



番号	形状・特徴	分類	名	高さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (kg)	層	名	岩相学	層別
1 SB-25-1	不明	15a+15b <sub>1</sub>	無灰質砂岩	12.0	45.2	42.5	25.0	中生代・新安峰地塊、下部・新生地塊	2207	25-34	
2 CM-49-25	不明	15a+15b <sub>1</sub> +15c <sub>1</sub>	帶有鐵黃石的	17.2	75.0	45.7	45.0	中生代地層	4600	35-47	
3 CL-38-890	不明	15a+15b <sub>1</sub> +15c <sub>1</sub>	帶鐵黃石的	11.0	45.0	35.0	20.0	中生代地層	4600	35-47	

第237図 磷石類・石油類(36)



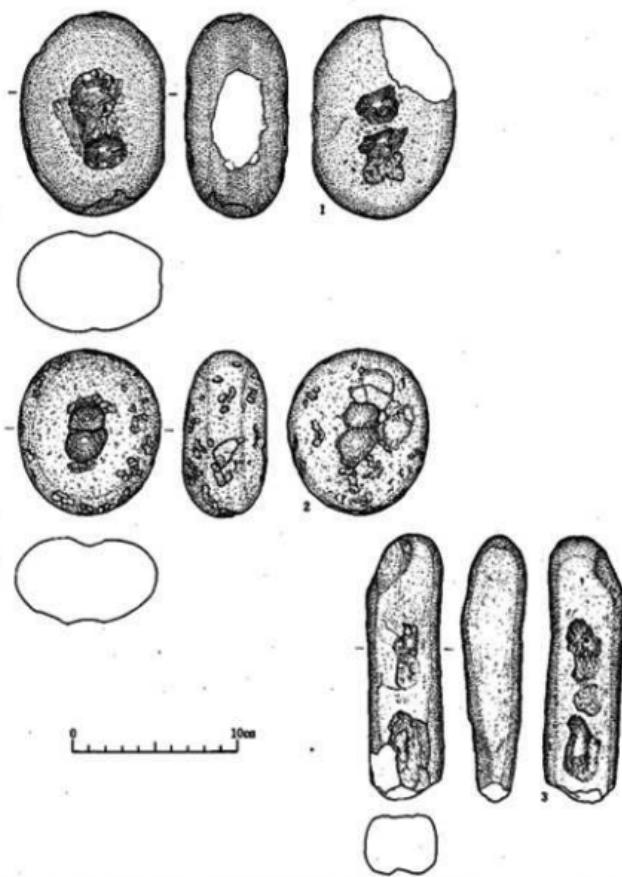
番号	地区・場所	地層	岩相	石	材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (kg)	標	号	標本番号	記	附
1	CM40-20	不規	1b+2a <sub>1</sub>	砂	泥	105.0	35.0	54.0	77.0			9402	20-1	
2	CL40-2	不規	1b+2a <sub>1</sub> +2a <sub>2</sub>	陶	砂	105.0	36.0	64.0	139.0			9403	20-2	
3	CM42-12	2	2b	1b+2a <sub>1</sub> +2a <sub>2</sub>	砂	110.0	32.0	62.0	146.0			9404	20-3	

第238図 磷石類・石墨類(37)



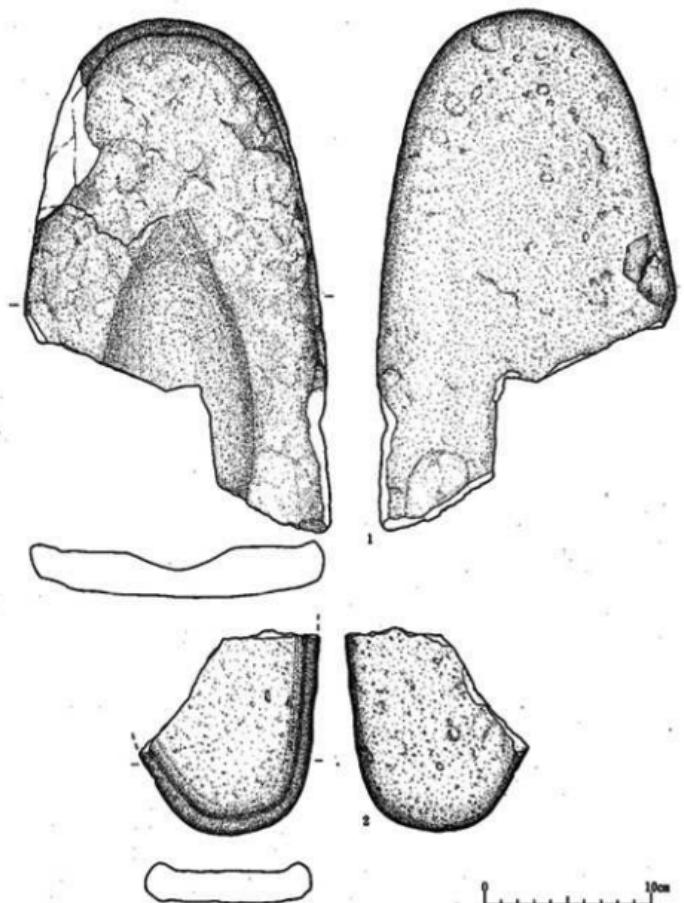
第239图 硅石壳·石墨壳(38)

番号	地質・層位	肉眼	分類	名	時	底面(Φmm)	側面(Φmm)	腹面(Φmm)	高さ(ε)	標	年	出所番号	標
1	B.C. 58 - 2	不規	1A <sub>1</sub> +B <sub>2</sub>	多	新	130.0	77.0	38.1	766.0	1000	28- 4		
2	C.M.42 - 4D	不規	1A <sub>1</sub> +B <sub>2</sub>	少	質・黑	130.0	67.2	35.9	556.0	1000	28- 3		
3	C.P.34 - 2	不規	1A <sub>1</sub> +B <sub>2</sub>	少	質	110.0	69.5	37.0	466.0	1000	28- 6		
4	C.K.39 - 2	不規	2A <sub>1</sub> +B <sub>2</sub>	少	無	160.0	82.0	31.0	436.0	1000	28- 7		



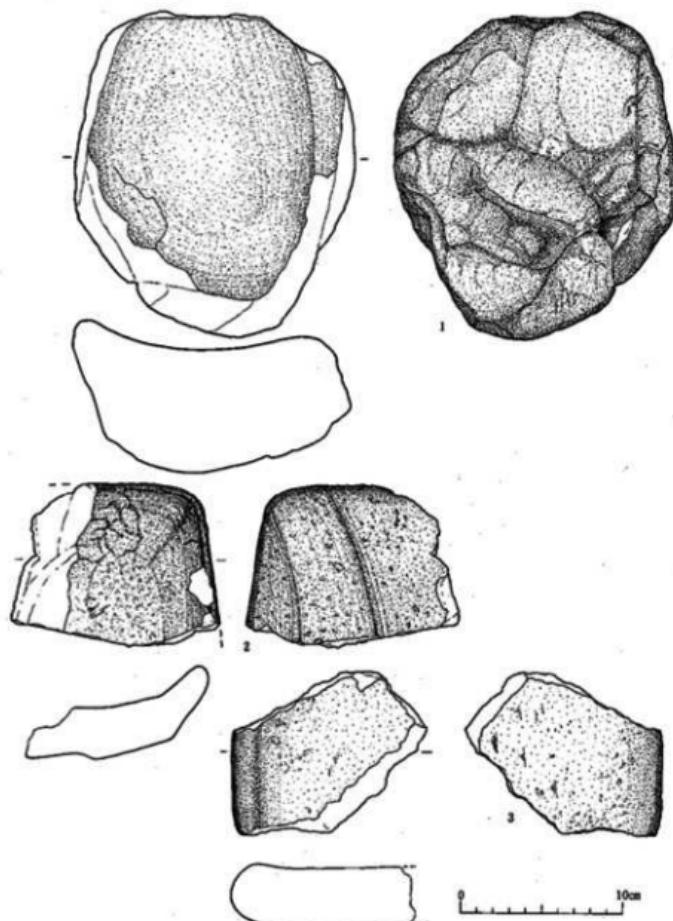
番号	地名・標本	分類	石	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	番号(43)	種	名	新番号	地	期
1	BH-07-2	石	砂岩	124.0	46.3	16.5	1271.0			2071	50- 8	
2	CQ-24-1	石	砂岩	100.0	46.7	16.5	879.0			2089	50- 9	
3	CL-29-1	石	砂岩	35.0	45.0	15.5	453.0	クモモドリ		2012	50- 10	

第240図 磷石類・石炭類(39)



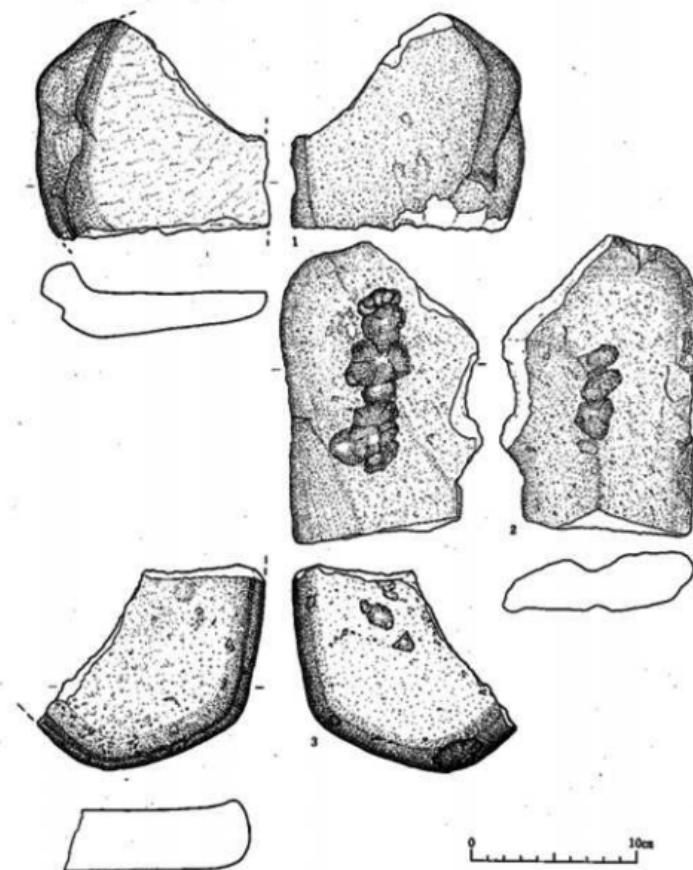
第241图 磨石器·石墨器(40)

器号	地区·遗址	地层	分 布	石 器	直 径 (mm)	厚 度 (mm)	重 量 (g)	性 质	器物编号	性 质
1	C M 45—1	下部	石器	(石器)	175.7	30.0	1,900.0	上·下两面打制石器, 上面有敲打痕迹	1002	石器
2	C L 47—2	上	石器	(石器)	151.1	30.0	810.0	上两面打制石器, 下面有敲打痕迹	1003	石器



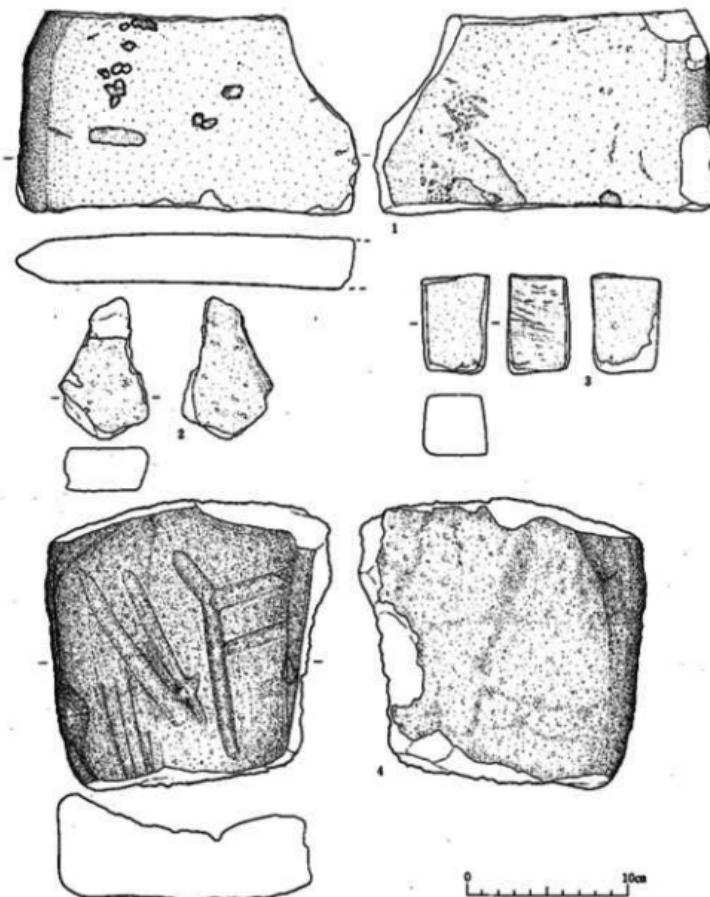
编号	地层 - 层位	地层	层	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石
				长	宽	厚	重(g)	重(g)	重(g)	重(g)	重(g)	重(g)	重(g)	重(g)
1	CM49-2-5 不明	砂	沙	198.8	270.0	75.5	3,320.0							
2	CM42-12 不明	红河山前冲积带	(W1)	123.12	26.5	55.0	266.0							
3	CL47-2 不明	红	山	190.0	210.0	26.0	450.0							

第242图 磨石器·石刀器(41)



第243圖 磨石頭・石頭頭(42)

標號	地區	層位	地質	分類	石	件	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	量(枚)	標	年	登錄標號	註
1	C.P.4-1	米 帶	河 庫	種	種	1	238.45	218.85	36.5	261.5	下而無齒	1960	40- 5	
2	CM.40-2	米 帶	河 庫	中 級	種	2	219.10	217.10	34.0	264.0	上・下而無齒而有牙。中央兩齒有孔	1960	40- 5	
3	CL.39-3a	米 帶	河 庫	高 級	種	3	218.02	216.02	36.5	264.0	下而無齒而有孔。上而一側有齒而有孔	1960	40- 5	



編號	地點・標名	地層	分類	石種	長 (mm)	寬 (mm)	厚 (mm)	標	年	出土地點	標
1	C.E.第- 8	不規	V.A+B	砂	284.4	200.5	31.5	L.184.4	2166	21 - 1	
2	C.L.第- 22	不規	V.A	黑灰質砂岩	2.86.12	23.0	36.5	IR4.0	2047	40 - 2	
3	C.O.第- 22	不規	V.A	綠色質砂岩	1.86.5	4.02.2	35.7	IR6.0	4066	40 - 3	
4	B.G.第- 1	不規	V.A+B	黑灰質砂岩	156.4	176.4	41.5	IR6.0	1021	51 - 2	

第244圖 磨石頭・石皿類(43)

他の組み合わせには第Ⅰ+Ⅲ類・第Ⅱ+Ⅲ類・第Ⅲ+Ⅳ類がある。しかし資料は少なく、他の属性と強く結びつくものは第ⅠB類と第Ⅱ類であることをネガティブに語っているにすぎない。

### 石棒類（第245図～第260図）

ここでは、剥離・敲打・研磨によって作り出された棒状の石器を扱う。総数106点出土している。この種の石器は、破片で出土しており、全容が不明なものが多い。そのため、断面形をもとにして、部位別区分を行った。

#### 1分類

##### 1断面形による区分

I 断面が円形をしたもの（一般的には石棒といわれているものに相当）

###### A頭部

1やや扁平なもの

2丸いもの

###### B頭部

1胴部中央から頭部にかけて徐々に細くなっているもの

2円筒形の胴部で、頭部のみ括れているもの

3円筒形をしているもの

###### C端部

###### D中間部（胴部）

II 断面形が扁平なもの（一般的には石剣といわれているものに相当）

###### A頭部

###### C端部

###### D中間部（胴部）

III 断面形が長方形のもの

1長さ15cm以上のもの

2長さ15cm未満のもの

IV 断面形が円形あるいは扁平であり、第I～II類を再利用していると考えられるもの

1刃部が作り出されているもの

2端部につぶれや、研磨があるもの

##### 2製作工程による区分

1剥離のみのもの

- 2剥離一敲打の工程があるもの  
 3剥離一細かい研磨の工程があるもの（研磨は全体に及ぶ）  
 4剥離一敲打→細かい研磨の工程があるもの（研磨は全体に及ぶ）  
 5敲打→粗い研磨→細かい研磨工程あるもの（研磨は全体に及ぶ）  
 6部分的に細かい研磨があるもの  
 7敲打のみのもの

## 2出土状況

同一層から2点出土しているには、CL39区37層、CL39区23層、CM41区14層がある。他の層はいずれも1点の出土である。

### 3時期による変化

所屬時期が明らかなものは106点のうち21点で全体の20%を占めている。これを、時期別にみると第II期1点、第III期3点、第IV期1点、第V期2点、第VI期2点、第VII期4点、第VIII期7点、第IX期1点になる。1点とか2点の出土である時期が多く、最も多いものでも第VIII期の7点である。

### 4石材（第33表）

第I、III、IV類は粘板岩が多い。第II類はホレンフェルスが多い。石棒類は他の石器に比して使用されている石材の種類が少ない。

### 5部位間の結びつきと製作工程について

時期別に検討すると資料数が不足する時期もあり、第3項で述べた以上のこととは言えない。そこで以下では、後期前半～晩期前半の様相としてまとめて扱い、各類のあり方を浮き彫りにしたい。

#### （1）部位間の結びつき

第I類の頭部資料A1類（第248図1）には、長方形をした文様が横位に2単位刻まれている。この頭部は製作工程第5類によって作られたB1類である。頭部資料A2類は第B3類の頭部を持ち、第2類の製作工程で作られたものが多いが、第4類もある。

第II類の頭部資料は1点出土しているが、破損品であり、頭部資料との関係は不明である。

第III類は完形品である、第256図1によって代表される。第I、II類に較べて太く、棍棒のような形をしている。

	I A	I A+II A	I A+II B	I A+II C	I B	I B <sub>1</sub>	I B <sub>2</sub>	I C	I D	I A	I C	I D	I A <sub>1</sub>	I A <sub>2</sub>	II B	II B <sub>1</sub>	II B <sub>2</sub>	II C	II D	II A <sub>1</sub>	II A <sub>2</sub>	III B	III C	III D	IV	V	平均	計
頭部	2	0	0	1	0	1	1	1	0	14	2	10	4	1	1	2	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	49	
アーマーフィルム	0							1	0	4	6	6	14			1		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	33
頭部																												1
頭部等に付属する																												1
頭部等に付属する																												1
頭部	0	2	1	3	2	0	1	1	2	0	14	1	17	16	1	2	1	0	1	20	1	2	0	0	0	0	0	295

第33表 石棒類分類別・石材別出土数量表

## (2) 製作工程・破損

第I類のうち、第A1+B1として結びつく資料は、頭部に文様が描かれていることから完成したもののが破損していると考えられる。従って第5類は完成品にみられる製作工程であることがわかる。また、第A2+B2類として結びつく資料には少數ながら第4類の製作工程を持つものがある。また、第2類の製作工程が多いことから第2類と第4類は、製作の順序を示しているといえる。従つて、第A2+B2類のうち、第2類の製作工程のものは未製品が破損したものと考えられる。第4類と第5類は、最終工程である研磨による差であることから、第A1+B1類と第A2+B3類という形態差は、完成状態における形の違いを表していることが考えられる。

第II類は第3類の製作工程によって作られたものが多い。第255図5もそうした資料で画面中央に2分割するための溝が敲打によって作られた未製品である。既に両側面は研磨されている。

のことから、第3類によって作られた第II類には側面研磨後に切断面を整形したものを含んでいることがわかる。第II類は第4項の石材であれたように、ホルンフェルスが多用されていることから、石材選択時において既に第1類と区別されていたようである。

第III類は第2類の製作工程で作られている。敲打は側面に施されている。第2類は第I類の製作にも多用されているが、断面形が大きく違い、器種としてみた場合、第1類と同じとは言えない。明確な根拠はないが、完成品が破損したものと考えられる。

最後に破損についてふれる。第I・II類は、④横折れ(第248図4)⑥斜め折れ(第248図1)、⑦縦半裁(第251図9)⑧縦割れ(第246図5)のいずれかによって折れている。しかし、故意に折れているのか、あるいは折れてしまったのかを判断することはできなかった。第III類は⑥斜め折れによって折れていることが多い。

## 6機能・用途

前節での検討から、第I～III類には、未製品も多く含まれていることが明らかになった。また完成品も、破損して出土しているため、使用による痕跡を見出すことができなかつた。この類は、類型化が可能な破損形態を分析していくことによって、何らかの答えが見出せるかも知れないが、現状では、各類とも機能・用途は不明である。

## 7第IV類

第IV類は、第I・II類にみられる破損として類型化した⑨～⑪と同じ折れをもつ。

刃部が作り出されているものには2つのタイプがある。1つは⑩類型の折れをもち、一方の端部に刃部をもつもの(第259図3～6)である。他の1つは、⑨・⑪類型の折れがあり、⑪類型の端部に刃部をもつもの(第259図1～2・7～9・第260図1～3)である。刃部は各資料とも片刃に作られている。また中には刃縁がつぶれているものもある。これらの石器は、全体形や刃部の位置から考えて、石斧として再利用されていると考えられる。刃部に、打製石斧第

I類と同じような「つぶれ」があることから、その対象物は土と思われる。また、道具としてみると、⑥類型の折れを用いているものは、打製石斧第IV類と同じく、スコップ状に着柄された可能性が考えられる。しかし、⑩類型の折れを用いているもので細長いもの（第260図1～3）は、スコップ状に着柄された可能性と共に、直接手を持って使用されたことも考えられる。いずれにしても打製石斧を道具としてみると、実に様々な使われ方をしているとしなければならない。他には、磨石類第II類（敲石）に転用されていると考えられるものに⑧類型の折れをした両端がつぶれている資料（第260図4～6）がある。また、⑩類型の折れをした両端が研磨されているもの（第260図7・8）は、磨石類第I類（磨石）として利用されているようである。最後に石材についてふれる。第II類に多用されているホルンフェルスは、刃部を作り出しているもの（第IV1類）には少ない。多くは粘板岩が用いられている。これに対し、つぶれや、研磨がみられるもの（第IV2類）は、ホルンフェルスが使われているようである。

以上第I・II類を転用したもの（第IV類）についてふれた。これをまとめると第IV1類は、粘板岩が多いことから、第I類との関連、第IV2類はホルンフェルスが多いことから第II類との関連が考えられる。従って、第IV1類は石棒類第I類（石棒）が打製石斧に、また第IV2類は石棒類第II類（石劍）が磨石類に転用されている可能性もある。今回、石棒類第I・II類の機能・用途について接近できなかったが、その糸口は案外こんなところにあるかもしれない。

#### IV. 石製品

前述した剥片石器・礫石器以外の石製品をまとめた。いずれも遺構に伴うものではなく、南側埴物包含層を中心に出土したものである。以下、各種類ごとに述べる。

##### 玉類（第261図1～5）

1は大型で、2～5は小型のものである。5は粗雑な整形がなされているが、その他は丁寧なものである。いずれも単孔の貫通孔がある。

##### ペンダント類（第261図6～20）

6・7は多角形のものである。8面・6面に面取りされ、薄手の断面に両孔の貫通孔がある。

8～12は楕円形のものである。8は厚手、9～12は薄手の断面に両孔の貫通孔がある。

19は円形のものである。扁平な半月状の断面に両孔の貫通孔をもち、表裏に著しく整形痕を残す。

13は三日月状のものである。表裏に平行な数条の沈刻文様をもち、上部に両孔による穿孔が行われるが、磨かれていたり頂部の欠損面にも穿孔痕が認められる。

14～18は縦長のものである。14～17は両孔による穿孔が1ヶ所つつあるが、15・17は欠損面にも穿孔痕が認められ、両穿孔の可能性がある。また、17の片面には孔から太い沈刻線が両端

部へ走っている。18は下方を棒状に整形して、上部に両孔による穿孔を行った痕跡が認められる。

20は不整の円形状のものである。上部中央に貫通孔がみられ、表裏に沈刻文と盲孔状の凹みによって文様が施される。左右非対称で、表面の右下の沈刻文が新しい施文になっている。

#### 岩 偶 (第262図1)

全体形が方形で、断面が「く」字状のものである。頂部中央に環状の作り出しがあり、張り出しひきの肩部をもつ。中央部両側縁には抉りを入れ胸部を作り出し、下端部に至ってやや幅が狭くなる。表の全面にわたって、格子状に沈刻文が施され、上部右側に円文、左側に四角文で乳房が表現される。裏は凹みかげんで、文様は施されない。

#### 沈刻棒状石製品 (第262図2)

棒状で断面が不整の四角形状を呈する。全面に、縦位の沈刻が施された後に、横に巡る沈刻が施される。表面全体に、黄色い粉状のものが認められる。用途は不明である。

#### 浮 子 (第262図3~7、第263図1)

3・4是有孔のもので、3は鈴状、4は楕円形の板状のものである。

5~7・1は無孔のもので、6は円盤状、5・7・1は長楕円形のものである。7の上部にやや屈曲がある。

#### 有孔円盤状石製品 (第263図2)

2は円盤状で、全面を研磨しており、線条痕が著しく残る。中央部に両孔による貫通孔がある。

#### 円盤状石製品 (第263図3)

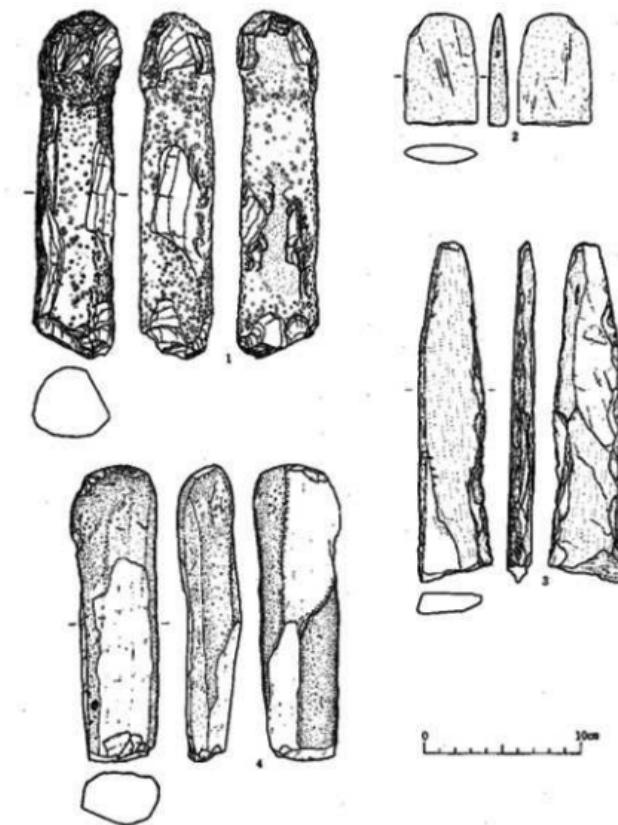
3は周縁を打ち欠いて円盤状に整形したもので、4は研磨により周縁を面取りしたものである。

#### 板状石製品 (第263図5・6)

5は上端が丸みを呈し、一条の沈刻が上部に巡る。6は縦長の薄手で、下方がやや幅広になっている。全面に線条痕が認められる。

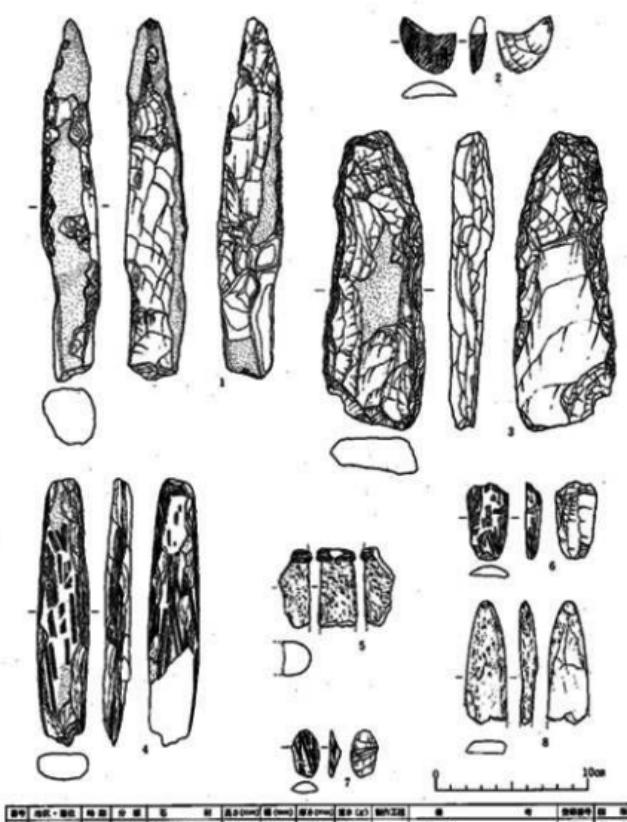
#### 石 鍤 (第263図7・8)

7は周縁を打ち欠いて整形し、上部の両側縁から抉りを入れている。表には礫面を残し、裏は凹みかげんで線条痕を残す。8は鈴形状で、全面が研磨による整形がなされる。上部に一条の沈刻が巡っている。



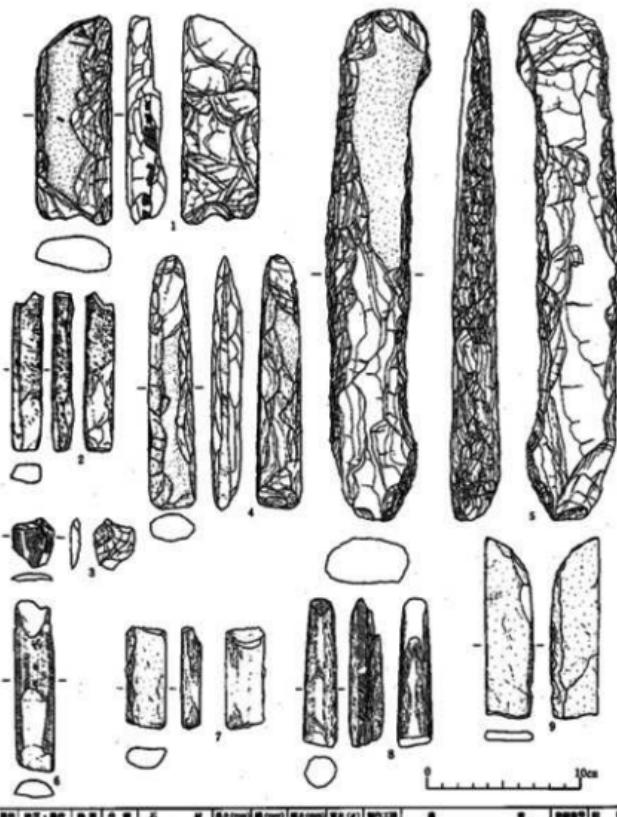
番号	地図・施設	地質	分類	名	材	高さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	形状	名	地	地番号	北	東
1	CL30-27	E	My+Ib	石	岩	32.1	4.6	0.6	0.6	2	石神類-27	07N	01-3		
2	CM4-29	E	Br	石	花崗岩	45.7	11.8	4.6	0.6	3	石神類-29	05N	01-4		
3	CM4-28	BrB	Br	石	花崗岩	45.0	11.9	10.3	0.6	4	石神類-28	05N	01-3		
4	CL30-27	BrB	Br	石	岩	38.0	4.6	0.6	0.6	5	石神類-27	05N	01-2		

第245図 石神類(1)



號	地點・層位	種類	分類	名	H	長さ(cm)	幅さ(cm)	厚さ(cm)	備考	號	地點・層位	分類	名
1	C.LH-28	P	I+	石	■	28.0	43.2	30.5	30.0	1	新石器時代	石	石棒頭
2	C.MH-28	V	I+	石	■	18.0	35.0	1.0	3.0	2	新石器時代	石	石棒頭
3	C.MH-28	V	II+	石	■	19.0	53.1	24.7	4.0	3	新石器時代	石	石棒頭
4	C.MH-28	T	II+	石	■	17.0	33.7	3.1	3.0	4	新石器時代	石	石棒頭
5	C.LH-28	W	II+	石	■	13.0	38.0	2.0	2.0	5	新石器時代	石	石棒頭
6	C.LH-28	W	II+	石	■	13.0	35.7	1.0	2.0	6	新石器時代	石	石棒頭
7	C.LH-28	W	II+	石	■	13.0	35.7	1.0	2.0	7	新石器時代	石	石棒頭
8	C.LH-28	W	II+	石	■	13.0	36.4	1.0	2.0	8	新石器時代	石	石棒頭

第246図 石棒頭(2)



番号	地質	形態	分類	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	測定者	備考	番号	地質	形態	分類
1	CLD-0-X	板	ED	45.0	23.0	3.0	36.0	2		79	GL-1		
2	CMG-0-13	板	1c	35.0	23.0	3.0	32.0	2		80	GL-2		
3	CLB-0-13	板	7	13.0	6.0	1.0	1.0	2		81	GL-3		
4	CMG-0-34	板	2c	35.0	23.0	3.0	35.0	1		82	GL-4		
5	CMG-0-14	板	1a	35.0	23.0	3.0	35.0	1	石神-00007	83	GL-1		
6	CMG-0-X	板	1D	35.0	23.0	3.0	35.0	2		84	GL-2		
7	CLB-0-13	板	1D	35.0	23.0	3.0	35.0	2		85	GL-3		
8	CLB-0-5	板	1c	35.0	23.0	3.0	35.0	2		86	GL-5		
9	CMG-0-1a	板	1a	35.0	23.0	3.0	35.0	1		87	GL-6		

第247図 石神類(3)

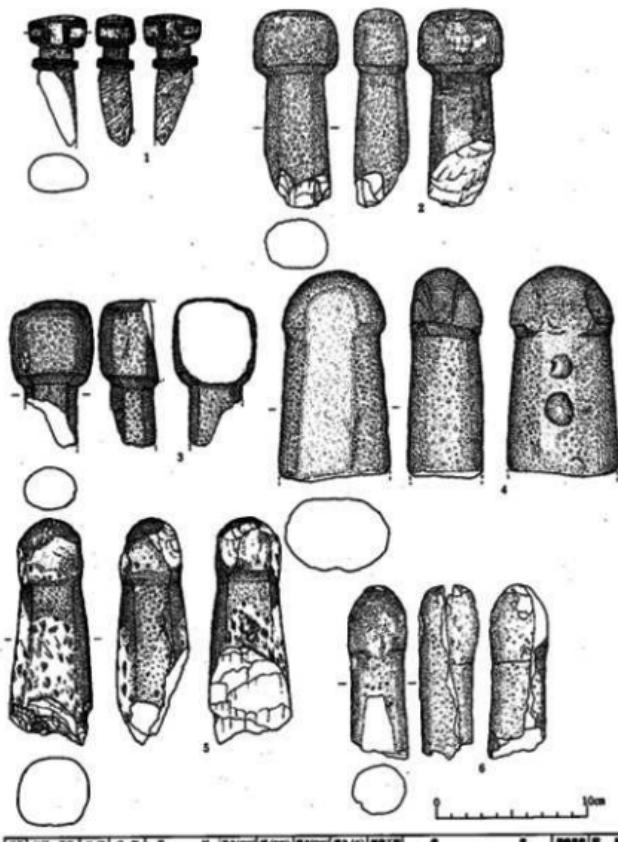
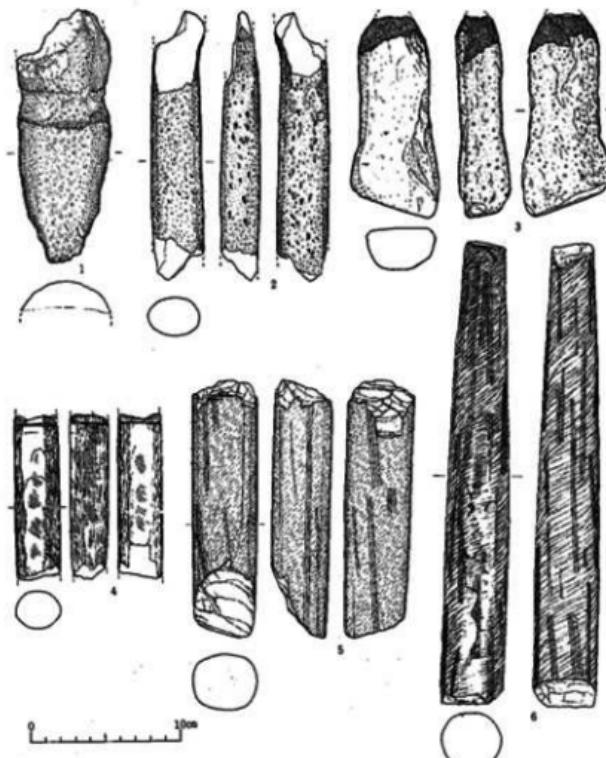


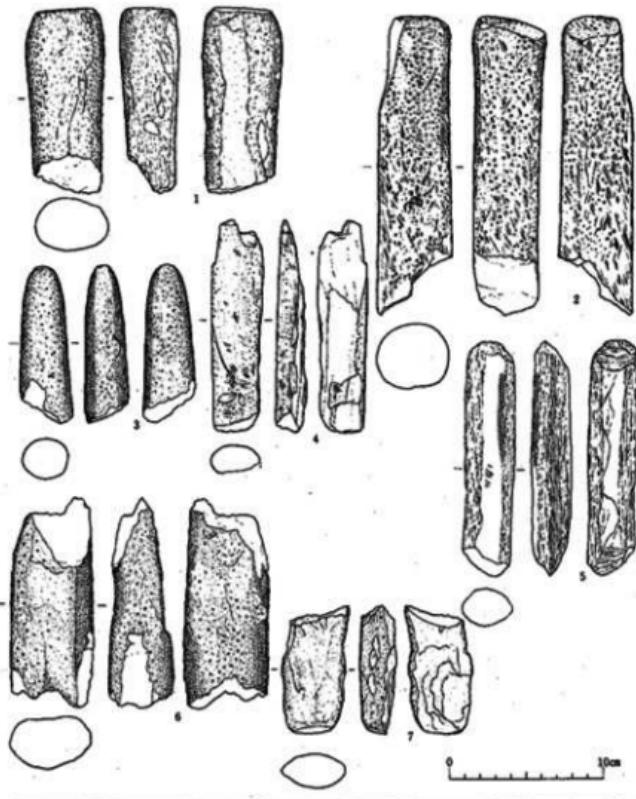
图248(2) 石梯烦(4)

组别	产地	层位	牙型	齿冠高度	齿根高度	齿根宽度	齿根横径	齿根纵径	齿根横纵比	齿根纵横比	齿根横纵比	齿根纵横比
1	CIM-2	灰岩带	Ua+Ub	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	CIM-1	灰岩带	Ua+Ub	19.1	41.2	20.5	38.0	72.0	0.45	0.53	0.45	0.53
3	CIM-1	灰岩带	Ua+Ub	20.1	38.1	20.5	38.0	72.0	0.51	0.50	0.51	0.50
4	CIM-1	灰岩带	Ua+Ub	20.1	38.1	20.5	38.0	72.0	0.51	0.50	0.51	0.50
5	CIM-2	灰岩带	Ua+Ub	20.1	38.1	20.5	38.0	72.0	0.51	0.50	0.51	0.50
6	CIM-2	灰岩带	Ua+Ub	20.1	38.1	20.5	38.0	72.0	0.51	0.50	0.51	0.50



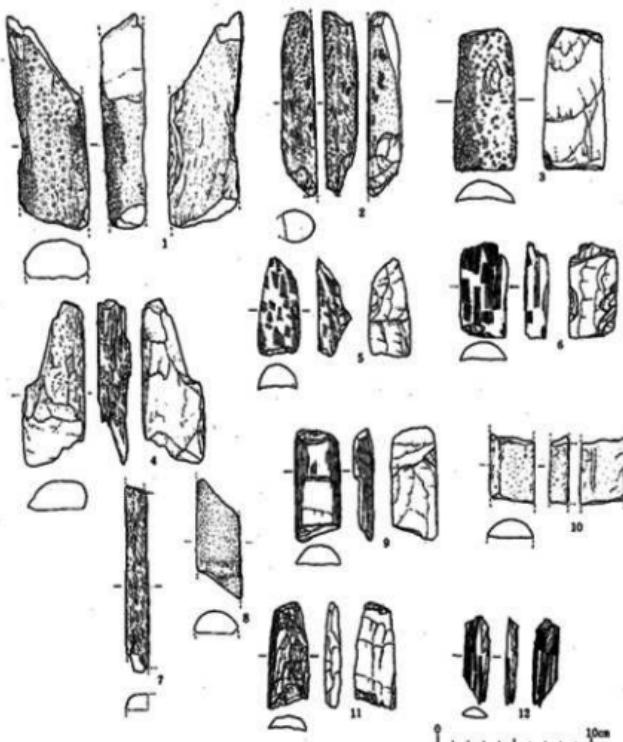
番号	地名・層位	年期	計	器	直徑(Dmm)	厚さ(Hmm)	重さ(Wg)	形状(工具)	備	器	地名	番号	層
1	高 不 10	La-Da	10	器	約30.0	約0.8	約1.7	34.8	3		2240	II-1	
2	DGM-1 不 10	La-Da	10	器	約30.0	約0.8	約1.7	34.8	3		2241	II-2	
3	CDRHM-9 不 10	1b	10	器	約30.0	約0.8	約1.7	34.8	3		2242	II-3	
4	CDRHM-9 不 10	1b	10	器	約30.0	約0.8	約1.7	34.8	3		2243	II-4	
5	CL4-6 X 40	1b	10	器	約30.0	約0.8	約1.7	34.8	3		2244	II-5	
6	CL4-6 X 40	1b	10	器	約30.0	約0.8	約1.7	34.8	3		2245	II-6	

第249図 石棒頭(5)



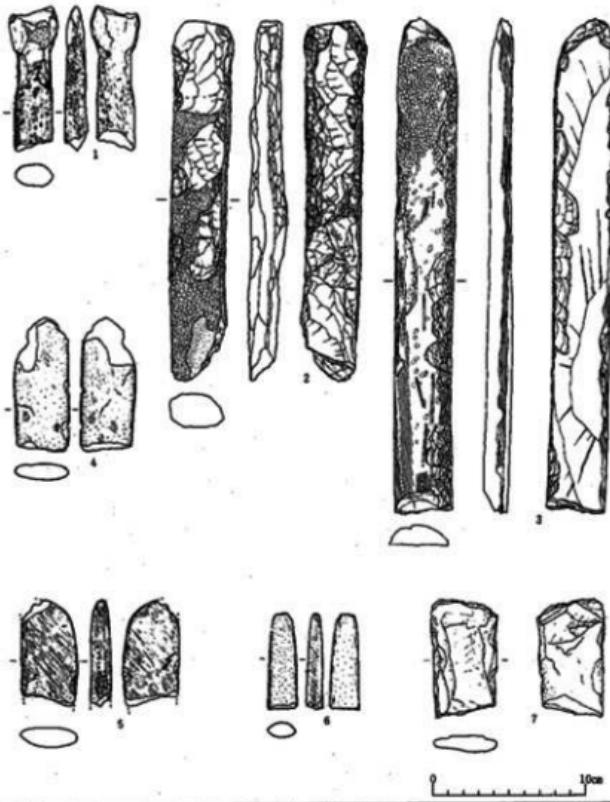
番号	地名・遺物	分類	石	材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	加工工具	備考	号	出土地名	目	期
1	CTB-1	石核	1e	セメントアーマード	130.0	47.0	33.0	370.0	2	上磨石器	21	江戸-20		
2	SLM-1	石核	1e	セメントアーマード	120.0	45.0	32.0	360.0	4	上磨石器の敲打	160	江戸-21		
3	SLM-1	石核	1e	セメントアーマード	120.0	39.0	34.0	340.0			3645	江戸-22		
4	CTB-1	石核	1e	セメントアーマード	130.0	42.0	33.0	350.0	1		10	江戸-23		
5	CTB-1	石核	1D	セメントアーマード	120.0	35.0	32.0	360.0	3		252	江戸-24		
6	CTB-1	石核	1D	セメントアーマード	120.0	36.0	32.0	360.0	4		200	江戸-25		
7	X	石核	1D	セメントアーマード	120.0	35.0	34.0	360.0	2	下磨石器	150	江戸-26		

図2500 石棒頭(6)



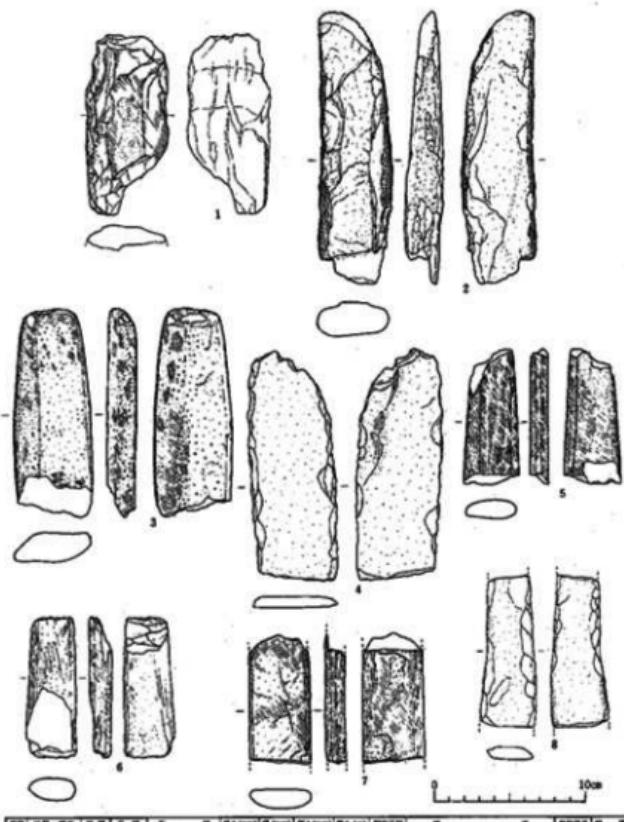
番号	地名・発見地	発見年	性別	年齢	性	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	形状(工具)	備考	番号	地名・発見地	発見年	性別	年齢	性	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
1	佐世保市	昭和	男	中高年	男	13.0(4)	6.0	0.8(0.5)	22.0	2		13	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
2	CSM-1 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	C 10.0	2.0	35.0	3		14	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
3	CPM-1 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	C 10.0	2.0	35.0	3		15	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
4	ICM-1 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	C 10.0	2.0	35.0	3		16	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
5	CLM-3 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	35.0	1.0	35.0	4		17	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
6	CPM-1 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	35.0	1.0	35.0	4		18	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
7	CPM-1 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	35.0	1.0	35.0	4		19	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
8	CLM-4 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	C 10.0	2.0	35.0	5		20	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
9	DSM-1 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	C 10.0	2.0	35.0	5		21	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
10	CPM-1 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	C 10.0	2.0	35.0	4		22	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
11	ICM-1 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	C 10.0	2.0	35.0	4		23	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—
12	COO-2 不明	ID	?	?	?	13.0(4)	L 10.0	1.0	35.0	5		24	佐世保市	昭和	男	中高年	男	—	—	—	—

第251図 石核類(7)



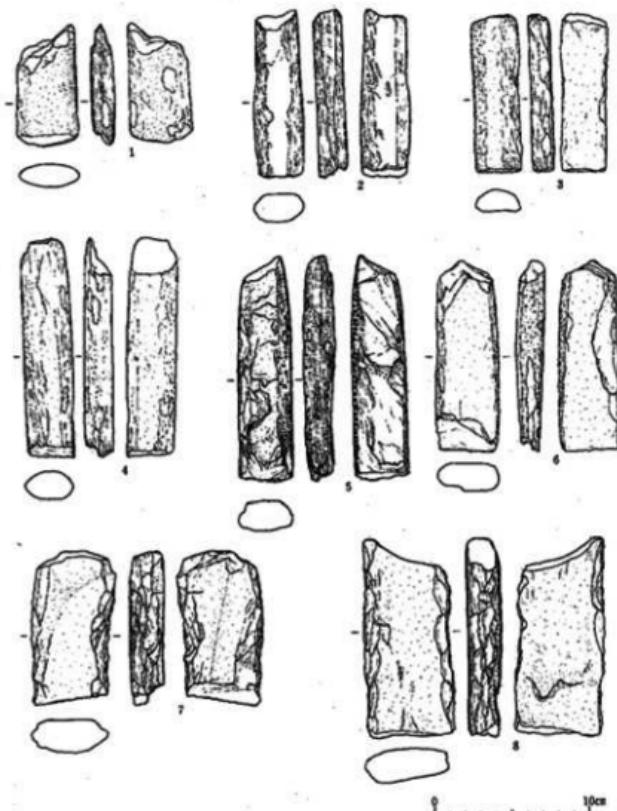
番号	材質・表面	分類	形	長さ(mm)	幅さ(mm)	厚さ(mm)	形状	製作工具	備考	長さ(cm)	幅さ(cm)
1	CPG-1	石	柱	55	14.5	24.5	34.5	40.5	4	140	22-23
2	PG-2	石	柱	55	14.5	24.5	35.5	35.5	2	-	22-24
3	PG-3	石	柱	55	14.5	24.5	35.5	35.5	2	130	22-24
4	PG-4	石	柱	55	14.5	24.5	35.5	35.5	2	130	22-24
5	CPG-5	石	柱	55	14.5	24.5	35.5	35.5	2	130	22-24
6	CPG-6	石	柱	55	14.5	24.5	35.5	35.5	2	130	22-24
7	CLG-7	石	柱	77.5	14.5	24.5	35.5	35.5	2	130	22-24
8	DG-8	石	柱	55	14.5	24.5	35.5	35.5	2	130	22-24

図252(3) 石棒類(8)



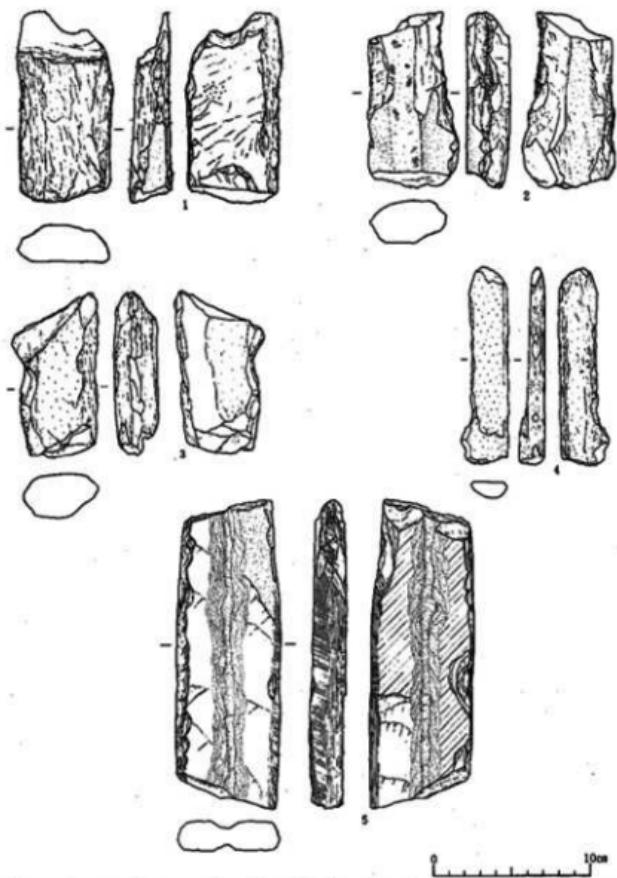
番号	地名・発生	地質	分類	形	材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	断面 (mm)	加工工具	備	地	出土地名	日
1.	佐久一郷	下	石	块	石	10.0	4.0	3.0	10.0	手	-	佐	佐久一郷	20
2.	CMD-1	下	石	块	石	43.0	21.0	10.0	21.0	手	-	佐	CMD-1	20
3.	BCG-1	下	石	块	石	36.0	24.0	10.0	24.0	手	-	佐	BCG-1	20
4.	DDB-1	下	石	块	石	79.0	2.0	10.0	2.0	手	-	佐	DDB-1	20
5.	CPD-1	下	石	块	石	35.0	11.0	10.0	11.0	手	-	佐	CPD-1	20
6.	BCG-2	下	石	块	石	36.0	20.0	10.0	20.0	下	手	佐	BCG-2	20
7.	CMD-2	下	石	块	石	46.0	22.0	10.0	22.0	手	-	佐	CMD-2	20
8.	CMD-3	下	石	块	石	39.0	8.0	10.0	8.0	手	-	佐	CMD-3	20

第253図 石斧類(9)



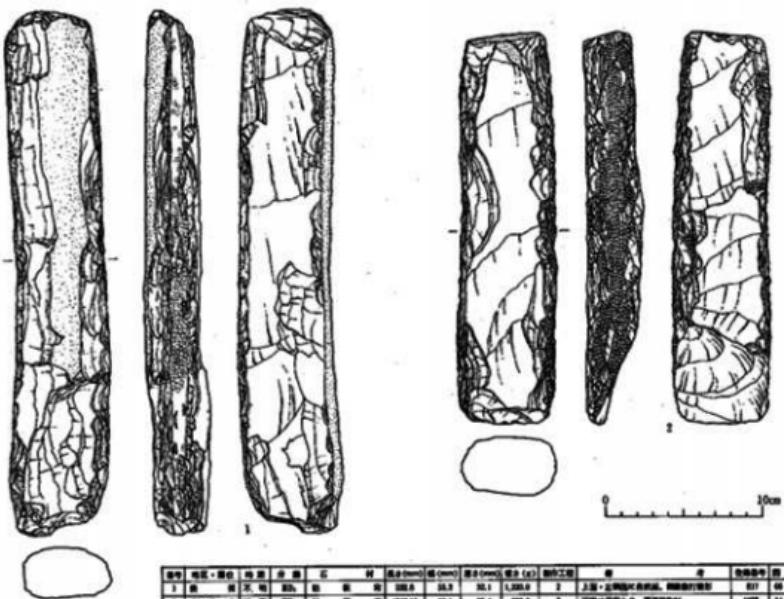
番号	名前	性質	分類	石	長さ(ミリ)	幅(ミリ)	厚さ(ミリ)	重さ(グラム)	形状工具	説	記	登録番号	年	地
1	B24-20	不規	ED	カルシフリル石	170.0	26.7	5.0	45.0	1	Y頭部		2027	65-21	
2	C4-20	不規	ED	カルシフリル石	193.7	25.3	5.0	45.0	2	両頭部の小切妻		2028	65-21	
3	CQM-1	不規	ED	カルシフリル石	136.0	20.5	5.0	35.0	3	両頭部の小切妻		2029	65-21	
4	CME-1	不規	ED	カルシフリル石	146.0	25.8	5.0	45.0	3	両頭部の小切妻		4030	65-21	
5	CME-2	不規	ED	カルシフリル石	116.0	26.0	5.0	35.0	3	両頭部の小切妻		4031	65-21	
6	D23-1	不規	ED	カルシフリル石	133.7	43.0	5.0	45.0	2	両頭部の小切妻		2070	64-1	
7	CBA-20	不規	ED	カルシフリル石	195.7	30.7	5.0	45.0	1			2020	64-2	
8	CQH-1	不規	ED	カルシフリル石	128.0	34.4	5.0	35.0	1			1022	64-3	

図254 石器類(10)



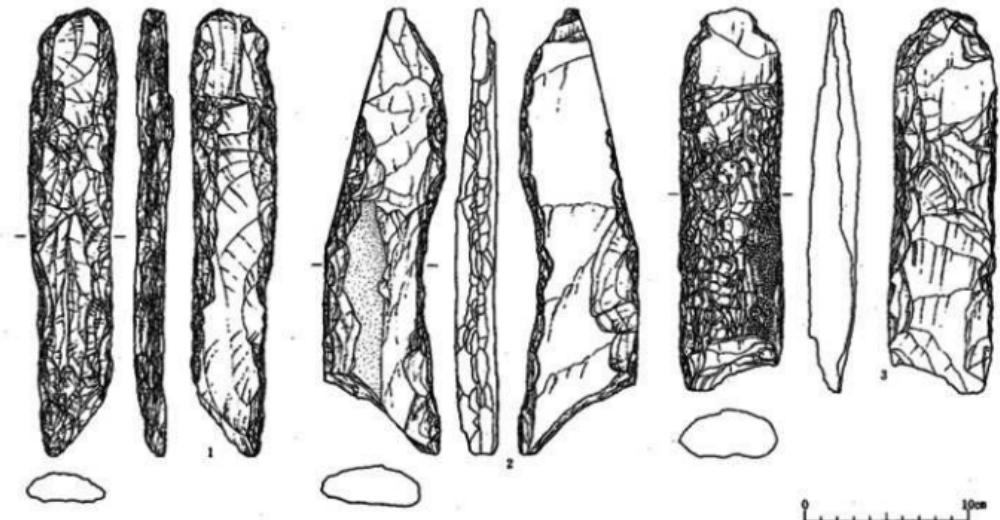
第255図 石棒頭(11)

番号	地質・層位	色調	分類	行	列	高さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備考	番号	地	層	高さ (mm)	幅 (mm)
1	SG-H-1	赤褐色	SD	キルシフコルカ	◎	10.8	21.2	3.6	1		200	14	1		
2	CF-H-2	赤褐色	SD	■	●	10.6	21.5	3.6	2	△斜面切削、側面磨耗	200	14	2		
3	CJ-H-1	赤褐色	SD	キルシフコルカ	◎	10.2	21.6	3.6	2		200	14	3		
4	DD-H-2	赤褐色	SD	キルシフコルカ	◎	11.0	21.6	3.6	2		200	14	4		
5	CM-H-1	赤褐色	SD	キルシフコルカ	◎	10.8	21.4	3.6	2	△斜面切削、中央の側面磨耗	200	14	5		



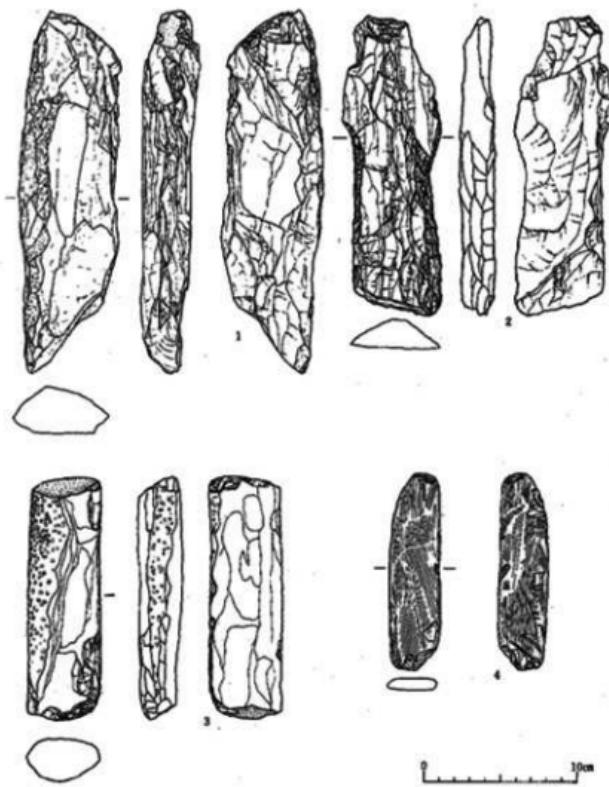
第256図 石棒頭(12)

番号	種類	長さ	幅	厚さ	重さ	標高(m)	標高(m)(EAST)	標高(m)(WEST)	標高(m)(NORTH)	標高(m)(SOUTH)	標高(m)(EAST)	標高(m)(WEST)	標高(m)(NORTH)	標高(m)(SOUTH)
1	石	33.0	13.0	10.0	35.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
2	CH 6-T	33.0	13.0	10.0	35.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
3	CH 6-T	33.0	13.0	10.0	35.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0



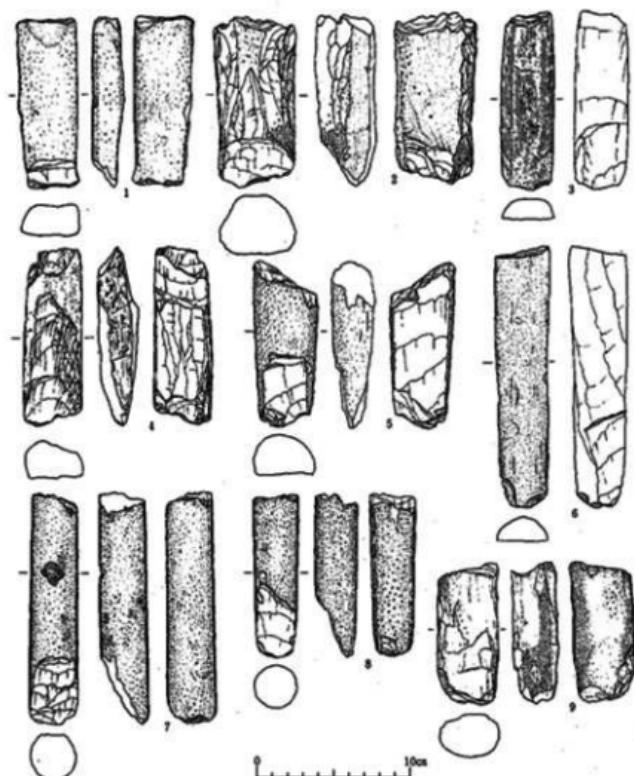
番号	地区・層位	時期	分類	名	長さ(mm)	幅さ(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)	測定者	名	登録番号	目
1	CM 45-1	不詳	石器	石 砺	20.1	4.9	17.1	36.0	2	下野山遺跡出土品	2000	石-12
2	CD 44-1-2	不詳	石器	タケシカヌカヌ	20.0	5.8	25.0	35.0	2	吉野里遺跡	1897	石-11
3	CM 42-8a	不詳	石器	?	20.0	5.8	26.0	32.0	2		1899	石-12

第257図 石棒頭(13)



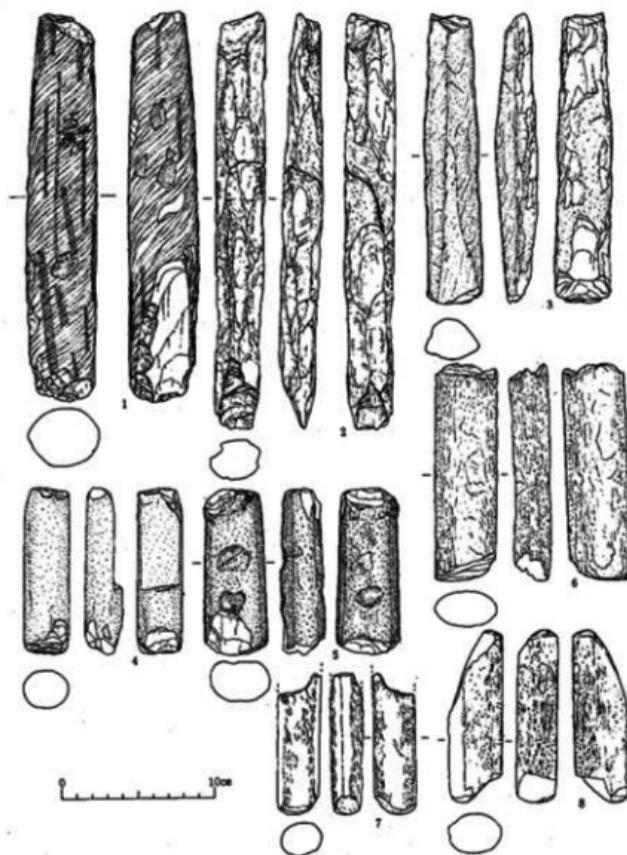
號	地點	時代	分類	名	長 (mm)	寬 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	備註	號	地點	時代	分類
1	C7 41-1	新石器	石刀	石刀	180.0	42.2	3.6	263.0	2	A3867		新石器	石刀
2	CN 01-99	新石器	石刀	石刀	136.0	43.1	3.6	266.0	2	P3867		新石器	石刀
3	C7 01-1	新石器	石刀	石刀	193.0	42.8	3.6	263.0	2	Z7867		新石器	石刀
4	CO 34-2	新石器	石刀	石刀	183.0	35.6	3.1	263.0	4	Q3867		新石器	石刀

第258圖 石標頭(14)



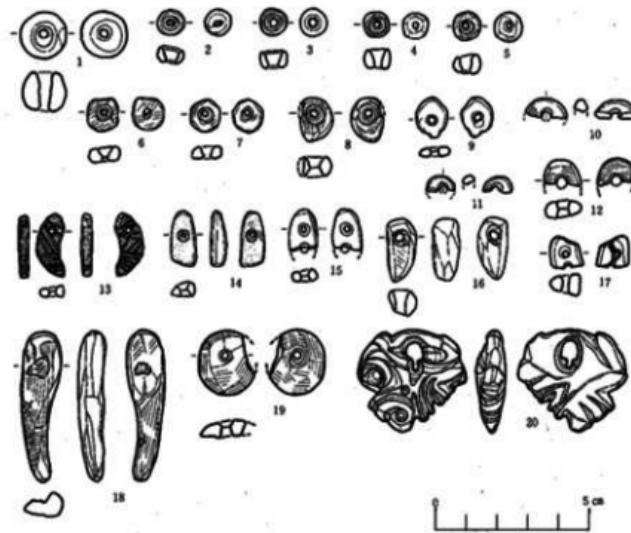
番号	地質・標高	地質	少	石	M	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	断面	備考	年	発見者	日	月
1	D-B-41-1	木	木	石	石	115.0	26.4	20.4	185.0	6+7	自然崩壊・自然風化・自然剥離・下端つぶれ	2000	65-3		
2	C-S-40-1	木	木	石	石	103.0	26.0	16.0	180.0	7	自然崩壊・自然風化・自然剥離・下端つぶれ	2000	65-3		
3	D-S-30-1	木	木	石	石	108.0	24.5	21.7	185.0	5		2000	65-3		
4	D-B-36-1	木	木	石	石	107.0	21.7	16.1	185.0	4		2000	65-3		
5	C-S-30-1	木	木	石	石	108.0	20.1	16.1	185.0	7		2000	65-3		
6	B-S-40-1	木	木	石	石	117.0	26.4	15.0	185.0	3	自然崩壊・下端つぶれ	2000	65-3		
7	B-D-32-2	木	木	石	石	107.0	26.4	20.4	185.0	4	中央に薄い白帯	2000	65-3		
8	A-S-30-1	木	木	石	石	102.0	26.0	16.0	185.0	2		1470	65-12		
9	D-C-30-2	木	木	石	石	110.0	26.5	20.1	185.0	2		2	65-12		

第259図 石棒類(15)



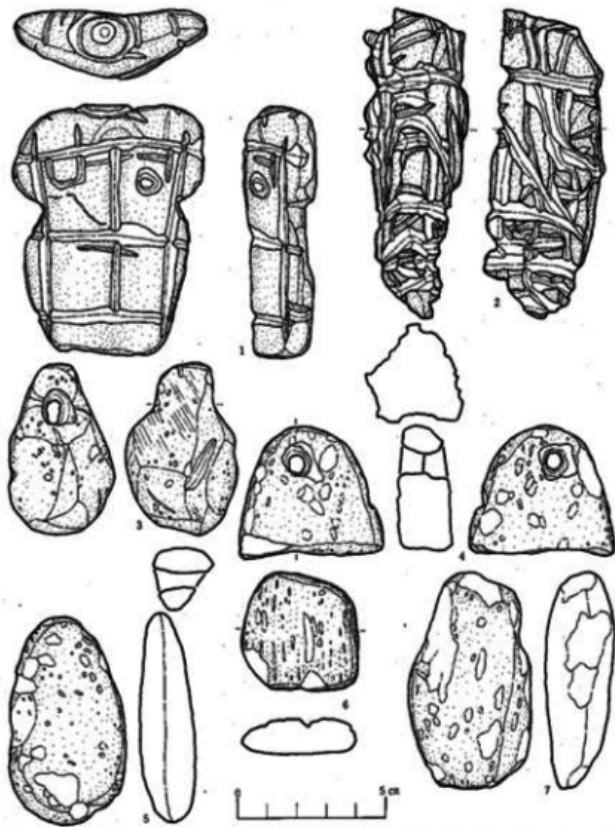
番号	地図・場所	分類	合	石	W(1mm)	W(2mm)	W(3mm)	W(4mm)	形状	年	出土地名	地	層
1	CH-54-1-1	石	石	石	28.2	46.5	38.0	78.0	5	下河(14)	1000	10-24	
2	CH-54-1-2	石	石	石	27.6	32.5	25.7	59.0	2	下河(14)、河原(14)	(1000)	10-22	
3	石	石	石	石	19.1	26.8	25.6	50.0	3	1000	10-22		
4	CH-54-1	石	石	石	28.7	26.5	28.0	59.0	3	上河(14)	1000	10-27	
5	CO-2-2	石	石	石	19.2	26.1	25.5	50.0	2	上河(14)、河原(14)	1000	10-25	
6	CP-4-2	石	石	石	26.6	40.7	35.0	80.0	3	1000	10-23		
7	DAE-1	石	石	石	30.0	34.9	33.0	60.0	3	上河(14)	1000	10-23	
8	CO-1-10	石	石	石	12.0	26.7	25.8	50.0	4	1000	10-21		

第260図 石斧類(16)



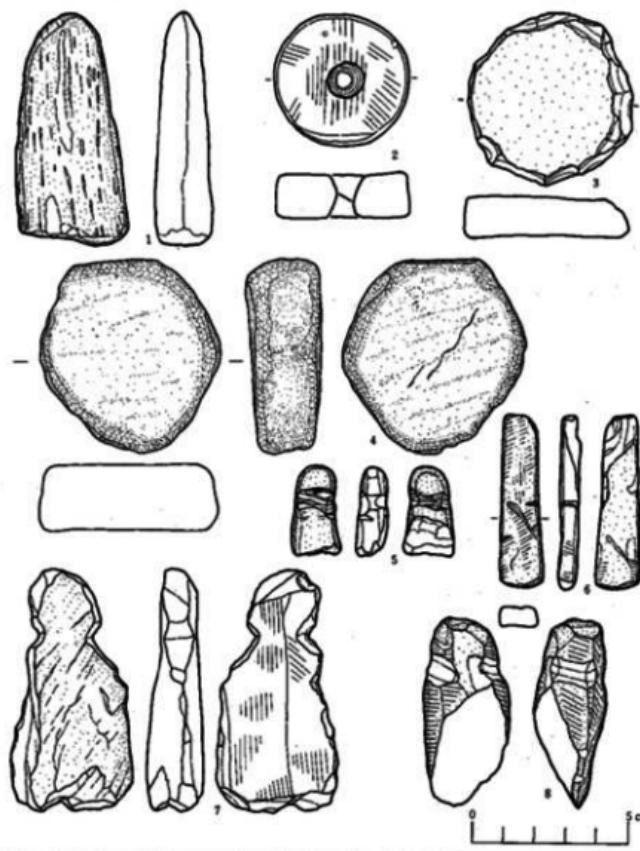
番号	種名・標本	形態	大きさ	最大径(μm)	最小径(μm)	厚さ	上部(μm)・中部(μm)・下部(μm)	底子(μm)	種名	参考文献	出
1	CMB-3	丸形	近似	25.7	21.6	3.6	6.0 - 12.0	3.9		400	66-5
2	CLM-16	丸形	近似	6.5	5.0	3.6	4.5 - 10.4	0.4		400	66-6
3	CLM-18	丸形	近似	6.8	5.5	3.6	5.3 - 10.5	0.4		300	66-7
4	CMB-20	丸形	近似	6.2	5.4	3.6	5.0 - 12.2	0.5		300	66-8
5	CLM-15	Y字形	近似	6.2	5.4	3.6	5.0 - 12.2	0.6		300	66-9
6	CLM-17	Y字形	近似	6.8	5.8	3.6	4.5 - 12.1	0.6		300	66-10
7	CLM-19	Y字形	近似	11.4	9.8	3.6	5.5 - 12.7	0.8		300	66-11
8	CLM-20	Y字形	近似	9.0	7.5	3.6	3.7 - 12.2 - 3.6	0.8		400	66-12
9	-12	円筒	近似	16.0	7.7	3.6	6.3 - 12.3 - 6.0	(1.30)		300	66-13
10	CLM-21	円筒	近似	12.9	7.9	3.6	3.4 - 12.5 - 1.7	(8.30)		400	66-13
11	CLM-22	円筒	近似	13.2	4.4	3.6	3.3 - 12.7 - 3.3	(2.25)		300	66-14
12	CLM-23	円筒	近似	9.3	2.9	3.6	2.9 - 12.3 - 3.4	(8.3)		400	66-15
13	CLM-24	円筒	近似	11.4	5.0	3.6	4.2 - 12.5 - 4.5	(8.3)		300	66-16
番号	種名・標本	形態	大きさ	最大径(μm)	最小径(μm)	厚さ	上部(μm)・中部(μm)・下部(μm)	底子(μm)	種名	参考文献	出
13	CMB-5	円筒	近似	28.4	2.4	3.6	2.6 - 1.7 - 2.7			400	66-17
14	CLM-16	Y字形	近似	15.7	8.4	3.6	9.0			400	66-18
15	CLM-17	Y字形	近似	(13.0)	9.2	3.6	3.0 - 12.3 - 3.7			300	66-18
16	CMB-18	Y字形	近似	26.1	9.3	3.6	4.2 - 12.5 - 4.8			300	66-19
17	CLM-18	Y字形	近似	(9.0)	6.7	3.6	(0.80)			300	66-20
18	CLM-19	Y字形	近似	40.0	22.7	8.4	(0.40)			400	66-21
19	CLM-20	Y字形	近似	28.0	(28.0)	34.8	(1.30)	40.0	3.9 - 3.1 - 4.2	200	66-22
20	CLM-21	Y字形	近似	22.4	24.8	9.5	30.7			300	66-24

第261図 五類・ペンダント類



序号	石器·器物	材质	形	高(厘米)	宽(厘米)	厚(厘米)	重量(克)	上端(厘米)·中端(厘米)·下端(厘米)	编号	出土地点
1	CMB-55.1	石质	斧	38.0	44.0	11.0	113.0		208	II-1
2	CMB-11	石质	斧	30.5	33.7	10.0	140.0		209	II-2
3	CMB-34	石质	刮削器	27.3	35.0	11.0	120.0	11.0-7.4-9.4	210	II-3
4	C L3-25	石质	斧	40.2	46.0	12.0	16.0	9.7-6.4-9.5	211	II-4
5	C L4-23	石质	刮刀	70.7	39.0	10.0	14.7		212	II-5
6	C L4-4	石质	刮刀	46.6	39.3	11.0	14.8		213	II-6
7	C L4-35	石质	刮刀	72.0	46.0	20.7	15.2		214	II-7

第262图 岩奥·沈刻棒状石制品·浮子



番号	地名・層位	略記	分類	形	片	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	形状	上端(cm) × 中間(cm) × 下端(cm)	重さ	参考番号	註
1	C.I.4-4	平野	浮子	丸形	丸	75.2	39.8	10.0	丸形	18.5 × 8.0 × 10.2	3420	67-8	
2	C.I.38-220	平野	浮子	丸形	丸	43.7	14.6	3.0	丸形	10.5 × 4.5 × 3.0	681	67-9	
3	x-3	平野	円盤状石器	圓盤状	丸	55.0	54.4	10.1	丸形	18.5 × 8.0 × 10.2	5625	67-10	
4	C.I.40-45	平野	円盤状石器	圓盤状	丸	105.2	37.0	20.0	圓盤状	33.0 × 10.0 × 20.0	2380	67-11	
5	C.I.40-44	平野	平面石器	平面	丸	28.0	15.9	9.0	( 4.0 )	10.0 × 5.0 × 4.0	5627	67-12	
6	C.I.45-1	平野	平面石器	平面	丸	28.0	14.0	6.0	( 3.0 )	10.0 × 5.0 × 3.0	5628	67-13	
7	C.I.46-14	平	石錐	錐形	錐	177.2	37.0	18.0	( 18.0 )	55.0 × 15.0 × 18.0	270	67-14	
8	C.I.46-30	平	石錐	アブナイ	錐	68.0	37.0	12.0	( 10.0 )	20.0 × 10.0 × 12.0	5627	67-14	

第263図 浮子・石錐・その他の石製品

## V. まとめ

### 土製品

田柄貝塚出土の土製品には、袖珍土器、土偶、土製耳飾り、円盤状土製品、土玉、土錐などがあり、総数592点におよぶ。これらを分析・観察した結果、以下のようなことがわかった。土偶では、破片で出土する理由を、破損面にみられる接着剤なわちアスファルトを重視して、従来の土偶破壊説をとらず、繰り返し使用された過程で破損してしまった結果と考えられること。土製耳飾りでは、中央が空白で、環状をなすB I類が第VII期（後期末葉）に最も多くなり、主体を占めること。円盤状土製品では、土器片の周縁を打ち欠いただけのものが主で、第V期（後期後葉）に最も多く出土していること。

### 石器・石製品

石器には、石鏃、尖頭器、石錐、石匙、不定形石器（ビエス・エスキーユ、石核を含む）、打製石斧、磨製石斧、磨石類・石皿類（碧石・凹石・敲石・石皿・砥石を含む）、石棒類があり、総数2541点におよぶ。また、石製品には、玉類、ペンダント類、岩偶、石錐などがあり、総数36点におよぶ。その他、チップや剥片が多数ある。

以下、石器組成、石材組成、チップとの関連性についてふれたい。共伴する土器により時期の特定できる石器は1621点で、各器種ごとの時期別の比率は第34表のようになる。

第II、III期（中期後葉～後期中葉）の石器は、貝層下の土層出土のもので、水洗処理をしていないためサンプリング・エラーが小形の石器（石鏃等の剥片石器類）に大きい傾向がある。（第3分冊自然遺物編第1表参照）。成比は、剥片石器が60～7%、礫石器が30～40%を占める。器種別では、石鏃が30～40%を、磨石類・石皿類が20～30%を示している。

第IV～VII期（後期後葉～晩期初頃）の石器は貝層出土のもので、水洗処理をしているためサンプリング・エラーが少ない資料である。構成比は、剥片石器が90%と主体を占め、残りの10%程度が礫石器である。器種別では、剥片石器をみると、石鏃が60～70%と最も多く、石錐、不定形石器、尖頭器、石匙の順序で占める。礫石器をみると、各器種ともに同程度である。この構成比は、第IV～VII期を通して変化なく安定したものである。

第IX期（晩期前・中葉）の石器は、搅乱や削平を受けて、制約のある資料である。

次に、石材の組成の変化をみてみる。石材は各器種ごとに詳しくふれたが、剥片石器では全時期を通して、珪質頁岩が主体的で、珪化凝灰岩、黒色頁岩がこれに次いでいる。しかし、最も数の多い石鏃では第IV～VII期にかけて珪化凝灰岩が増加し、黒色頁岩が減少する傾向を示している。これらの剥片石器の原石は奥羽山系の新第三系に求められるもの（付篇参照）、原産地における変化があり得たことを示している。また、礫石器の石材である粘板岩や安山岩などは北上山系のものではある（付篇参照）が、その構成比には時期的変化は認められない。

なお、浮子に用いられている軽石は、いわゆる多孔質でかより新しく第四紀の噴出物であるらしく、那須火山帯あたりの噴出物と考えられる。<sup>注</sup>

各区・各層から出土した石器と、40 当たりのチップ（第3分冊自然遺物編第1表）との量を比較してみる。各区の第V期の層からは石器とチップがともに他の時期よりも多数認められ、その量的変化に関連性がある。このことは、石器製作の場が貝塚付近にあったことを示している。また、石器・チップなどが多数出土している割には石核が少なく、石材が剥片の状態で遺跡内に持ち込まれていた可能性が大きい。特に、黒曜岩は石鏃のような小型のものに用いられおり、他の石材よりもより小さな状態であったと推定される。

最後に、石器の分析成果を、特徴ある器種についてみたい。

石鐵では、0A II 3類が根ばさみに装着されるものである可能性があることや、動物遺存体に石鐵の射込まれた痕跡をもつものがあり、弓矢による狩猟が行なわれていたことが確認された。

不定形石器第V類(ピエス・エスキーネ)は、鹿の中足骨の溝の状況から骨角器製作のための工具の役割をしていた可能性が指摘された。

打製石斧では、使用痕や破損状態から、柄に直角に装着する(第I類)と柄の延長上に装着する類(第IV類)が区別され、共に土を掘る道具と考えられた。

磨製石斧では、使用痕や破損状態から第Ⅰ類（円刃・偏刃）が縦斧として装着され、木や骨など比較的硬いものに対して使用されたことが推定された。

磨石類では、使用痕の状態から紙に持て石皿とセットで利用されるもの（第IA類）と、横に持て単独で研磨するのに利用されるもの（第IB類）があり、砥石でも使用痕の状態から板状に研磨するものと棒状に研磨するものがあることが推定された。

注) 東北大学教養部地学教室 蟹沢聰史教授の御教示による。

第34表 石器組成表

## 引用参考文献

- 赤堀英三（1929.3）：「石器研究の一方法、石器に関する二三の試み」『人類学雑誌』第44巻 第3号
- 阿子島香（1979）：「折衝調整石器」『聖山』東北大学文学部考古学研究会考古学資料集別冊2
- （1979）：「不定形石器」『聖山』東北大学文学部考古学研究会考古学資料集別冊2
- 安達厚三（1983）：「石皿」『縄文文化の研究』第7巻、雄山閣
- 阿子島香（1983）：「不定形石器分析の視点」『文化』47-304
- 阿部恵、金子浩昌、西本豊弘（1985）：「石器のささる歯骨」『季刊・考古学』第11号
- 伊東信雄編（1981）：宮城県史 34（資料篇11）
- 岡村道雄（1976）：「ピエス・エスキューについて」『東北考古学の諸問題』東出版楽社
- （1979）：「石斧」『聖山』東北大学文学部考古学研究会考古学資料集別冊2
- （1979.3）：「縄文時代石器の基礎的研究法とその具体例—その1—」『東北歴史資料館研究紀要』第5巻
- （1994.3）：「鹿の肩甲骨にささったエイ尾棘製のヤジリ」『東北歴史資料館報』No.13
- 置賜考古学会（1977.11）：『松原』
- 鎌木義昌編（1965.7）：『縄文時代』『日本の考古学』II 河出書房新社
- 梶原洋（1982.9）：「石器の使用痕分析—仙台市三神峯遺跡・出土資料を使って—東北大学使用痕研究チームによる研究報告N o3』『考古学雑誌』第68巻第2号
- 加藤晋平、鶴丸俊明（1980）：『凶跡石器の基礎知識III 縄文』柏書房
- 加藤道男、阿部博志、小池晶（1984.3）：『二星敷地跡』宮城県文化財調査報告書第90集
- 金子浩昌（1984.8）：『貝塚の歯骨の知識。人と動物とのかかわり』考古学シリーズ10、東京美術
- 日下部善巳（1972.2）：「縄文時代の東日本における生産用具の時間的空間的様相」『福島考古』第13号
- 草間俊一、金子浩昌（1987.1.12）：『貝鳥貝塚』花泉町教育委員会・岩手県文化財保護協会
- 工藤竹久（1977.8）：「北日本の石槍、石鎌について」『北奥古代・文化』第9号
- 小林行雄（1969）：「すり石、磨石」『図解考古学辞典』東京創元社
- 小林行雄、佐原真（1964）：『紫雲出』詔問町文化財保護委員会
- 後藤秀一（1979）：「敲石・凹石・磨石」『聖山』東北大学文学部考古学研究会考古学資料集別冊2
- 佐原真（1977）：「石斧論—横斧から縦斧へ—」『考古論集—松崎寿和先生六十三歳論文集—』
- （1982）：「石斧再論」『森貞次郎先生古稀記念論文集』
- 埼玉県立博物館（1984）：『寿能炭層遺跡発掘調査報告書』埼玉県教育委員会
- 鈴木次郎他（1977）：『尾崎遺跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告書13
- 鈴木次郎（1983）：「打製石斧」『縄文文化の研究』第7巻、雄山閣
- 鈴木忠司他（1975）：『京都府舞鶴市桑田下遺跡発掘調査報告書』舞鶴市教育委員会
- 鈴木道之助（1983）：「石器」『縄文文化の研究』第7巻、雄山閣
- 須藤隆（1984.9）：『中沢貝塚』東北大学文学部考古学研究会

- 田辺昭三編(1973)：『湖西縄文系遺跡調査報告書』滋賀県教育委員会
- 田中英司(1977)：「縄文時代における剥片石器の製作について」『埼玉考古』16
- 中島庄一(1983)：「使用痕」『縄文文化の研究』第7巻 雄山閣
- 中村良幸、小野美代子(1979.3)：『立石遺跡』大迫町埋蔵文化財調査報告第3集
- 中谷治宇二郎(1925.4)：「石題に対する二・三の考察」『人類学雑誌』第40巻4号
- 丹羽茂、阿部博志、小野寺洋一郎(1982.9)：『菅生田遺跡』宮城県文化財調査報告書第92集
- 西井幸雄他(1984)：『三ヶ尻林(2)・台』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第34集
- 早川正一(1983)：「磨製石斧」『縄文文化の研究』第7巻 雄山閣
- 古川知明(1981)：「尖頭器における折損について」『新潟史学』14
- 宮城県教育委員会(1978.3)：『上深沢遺跡』宮城県文化財調査報告書第52号
- 桃野真晃(1982)：「石器を作るハンマー—凹石の用途について」『考古学論考—小林行雄博士古稀記念論文集—』平凡社
- 山田昌久他(1979)：『鳥浜貝塚—縄文前期を主とする低湿地遺跡の調査I—』福井県教育委員会
- 矢島國雄・前山耕明(1983)：「石錐」『縄文文化の研究』第7巻 雄山閣
- 八幡一郎(1938)：「日本の乳棒状石斧」『人類学雑誌』53-5  
(1941)：「石鍬」『考古学雑誌』31-3
- 矢本町史編纂委員会(1973.5)：『矢本町史』第1巻 矢本町
- 渡辺誠(1973)：『縄文時代の魚業』雄山閣  
(1975)：『縄文時代の植物食』雄山閣
- Semenov, S. A. 1964 "Prehistoric Technology — An Experimental Study of the oldest Tools and Artefacts traces of Manufacture and Wear—" (translated by Thompson, M.W.) Cory Adams & Mackay, London
- Steensberg, Axel 1980 "New Guinea Gardens—A Study of Husbandry with Parallel Lines in Prehistoric Europe—" Academic Press, London, New York